

柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画（案）

令和7（2025）年度～令和16（2034）年度

令和7（2025）年3月



柏市公共施設等総合管理計画

第2期計画（案）

目 次

第1章 柏市公共施設等総合管理計画の位置付け等	1
1-1 計画の背景と目的	1
1-2 計画の位置付けと構成	2
1-3 計画期間	4
1-4 対象施設	5
第2章 これまでの公共施設マネジメントの取組	7
2-1 これまでの取組と成果及び効果	7
2-1-1 施設保有面積の推移	7
2-1-2 基本方針に基づく取組状況	8
2-2 第2期計画策定に向けた課題のまとめ	9
第3章 公共施設等を取りまく現状と課題	11
3-1 人口状況	11
3-1-1 人口の推移・将来予測	11
3-1-2 地域別の人口変化	12
3-2 地域状況	14
3-2-1 地域区分の考え方	14
3-2-2 各地域の状況	15
(1) 北部地域	15
(2) 中央地域	16
(3) 南部地域	17
(4) 東部地域	18
3-3 財政状況	19
3-3-1 歳入・歳出の推移	19
(1) 歳入の推移	19
(2) 歳出の推移	20
3-3-2 経常収支比率の推移	21
3-3-3 今後の財政の見通し	22
3-4 保有施設の状況	23
3-4-1 建築物系施設	23
(1) 保有面積・整備状況	23
(2) 中核市との保有面積の比較	25
(3) 学校施設における課題	26
3-4-2 インフラ系施設	27
(1) 上水道施設	27
(2) 下水道施設	29

(3) 雨水排水施設	31
(4) 道路施設	32
(5) 橋梁施設 きょうりょう	33
(6) 公園施設	35
3-5 有形固定資産減価償却率の推移	37
3-6 建築物系施設のライフサイクルコスト試算	38
3-6-1 施設整備の維持・更新コストと今後の方向性	38
第4章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	41
4-1 公共施設等の管理に係る基本方針及び目標	41
4-1-1 建築物系施設の管理に係る基本方針	41
4-1-2 インフラ系施設の管理に係る基本方針	46
4-1-3 目標	47
第5章 公共施設等に係る基本方針に基づく取組	49
5-1 取組（手法，方針等）の検討における考え方	49
5-1-1 評価項目と評価指数	49
5-1-2 施設評価のフロー	50
5-1-3 1次評価（定量的評価）	51
5-1-4 2次評価（定性的評価）	52
5-1-5 取組の手法	53
5-1-6 施設類型別方針の取組（「5-2 建築物系施設」）の見方	56
5-2 建築物系施設	57
5-2-1 重点取組施設	57
(1) 近隣センター	57
(2) 学校	74
(3) 保育園	99
(4) 庁舎等	112
5-2-2 重点取組施設以外の施設	123
5-3 インフラ系施設	305
第6章 計画の推進に向けて	309
6-1 推進体制	309
6-1-1 庁内の推進体制	309
(1) 全庁的な連携強化の実施	309
(2) 情報の管理・共有化のあり方	309
(3) 計画の進捗管理・マネジメントのあり方	309
6-1-2 市民への理解促進（市民参画の促進）	311
資料編	313

※ 本計画をお読みになる前に

- 図及び表のデータ数値は、端数処理を行っているため、合計が一致しない場合があります。

第1章

柏市公共施設等総合管理計画の位置付け等

1-1. 計画の背景と目的

本市における公共施設等は、高度経済成長期から昭和50年代に整備されたものが多く、それ以前に整備されたものも含め、今後は、一定期間に大規模改修や建替が集中することが想定されます。さらには、少子高齢化が一層進み、人口全体に対する高齢人口の割合が上昇する一方で、生産年齢人口と年少人口の割合が低下することから、将来的な財源の不足や余剰施設の増加が想定されます。限られた経営資源の中で、公共施設等によるサービスを将来にわたり持続的に提供するためには、財政状況や社会情勢の変化を考慮しながら、公共施設等の全体を適正に管理していく必要があります。

そこで本市では、平成28（2016）年3月に柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」、平成29（2017）年3月に柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」、平成31（2019）年3月に柏市公共施設等総合管理計画「個別施設再編方針」、令和2（2020）年3月に「個別施設再編アクションプラン」を策定し、公共施設等の適正な管理に取り組んでいるところです。

全国的な取組としても、公共施設等総合管理計画（以下、総合管理計画）に基づく個別施設計画の策定が進み、令和3（2021）年1月に総務省より、個別施設計画等を反映した総合管理計画の見直しを行うことが求められ、令和5（2023）年10月には「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」が改訂されています。

また、文部科学省は、学校施設における長寿命化計画（個別施設計画）の策定以降の進め方として、最新の教育動向や地域の実態に応じた計画の充実・見直しをするための内容を整理した「学校施設等の整備・管理に係る部局横断的な実行計画の解説書」を令和4（2022）年3月に策定しています。この中では、教育委員会と首長部局との間で横断的な検討体制を構築し、学校施設の適正規模・適正配置や複合化・共用化、管理運営・維持管理の見直し等の検討等を行う際の業務の進め方など、総合管理計画との連携についても記載されるなど、施設分類を超えた総合的な視点が求められています。

本市においては、基本方針編の策定から約8年が経過しているところですが、地域によって変動の大きい人口動向、今後より厳しさが増すことが予想される財政状況、新型コロナウイルス感染症等による経済活動・社会活動等の変化など、当初の予測を上回る大きな変化が起きていることから、「柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画」（以下、第2期計画）は策定期間を前倒しして、時代の変化に応じて今後の公共施設等のあり方を見直すこととしました。

1-2. 計画の位置付けと構成

市政を総合的かつ計画的に進めるための指針であり、本市が策定する各種の計画のうち最上位の計画である「柏市第六次総合計画」では、本市が目指すまちづくりを実現するための施策を体系的に示しています。

第2期計画は、本市の公共施設等の最適化を図る取組等を推進するための計画として、「柏市第六次総合計画」に基づき策定するものです。

「柏市公共施設等総合管理計画 第1期計画」（以下、第1期計画）は、「施設白書編」、「基本方針編」で公共施設等の基礎的なデータを整理し、公共施設等の現状と課題を整理するとともに、建築物系施設における再編の方向性と取組、実施時期を示した「個別施設再編方針」で構成されており、今後の公共施設等の基本的な考え方を示しています。その後、最新の建築物系施設の取組状況を確認するツールとして「個別施設再編アクションプラン」を作成（毎年度更新）しています。

今回の第2期計画においては、図1に示すように「施設白書編」、「基本方針編」、「個別施設再編方針」を一体化し、現状・課題とそれに基づく全体方針・施設類型別方針、さらに個別施設の方針までが1つの計画のなかで確認できるようにしました。「個別施設再編アクションプラン」は、引き続き最新の建築物系施設の取組状況を確認できるよう、別途毎年度更新を行い、個別施設再編方針が一体化した「第2期計画」と「個別施設再編アクションプラン」をあわせて国から策定が求められている「個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）」として位置付けます。また、インフラ系施設については、引き続き既存の各施設種別ごとに定める計画を国から策定が求められている個別施設計画として位置付けます。

なお、第2期計画は、「各個別施設計画」、「建築物等の保全に関する基本的な考え方」などの下位計画及び「各種関連計画」との整合を図ります。

図1 計画の構成

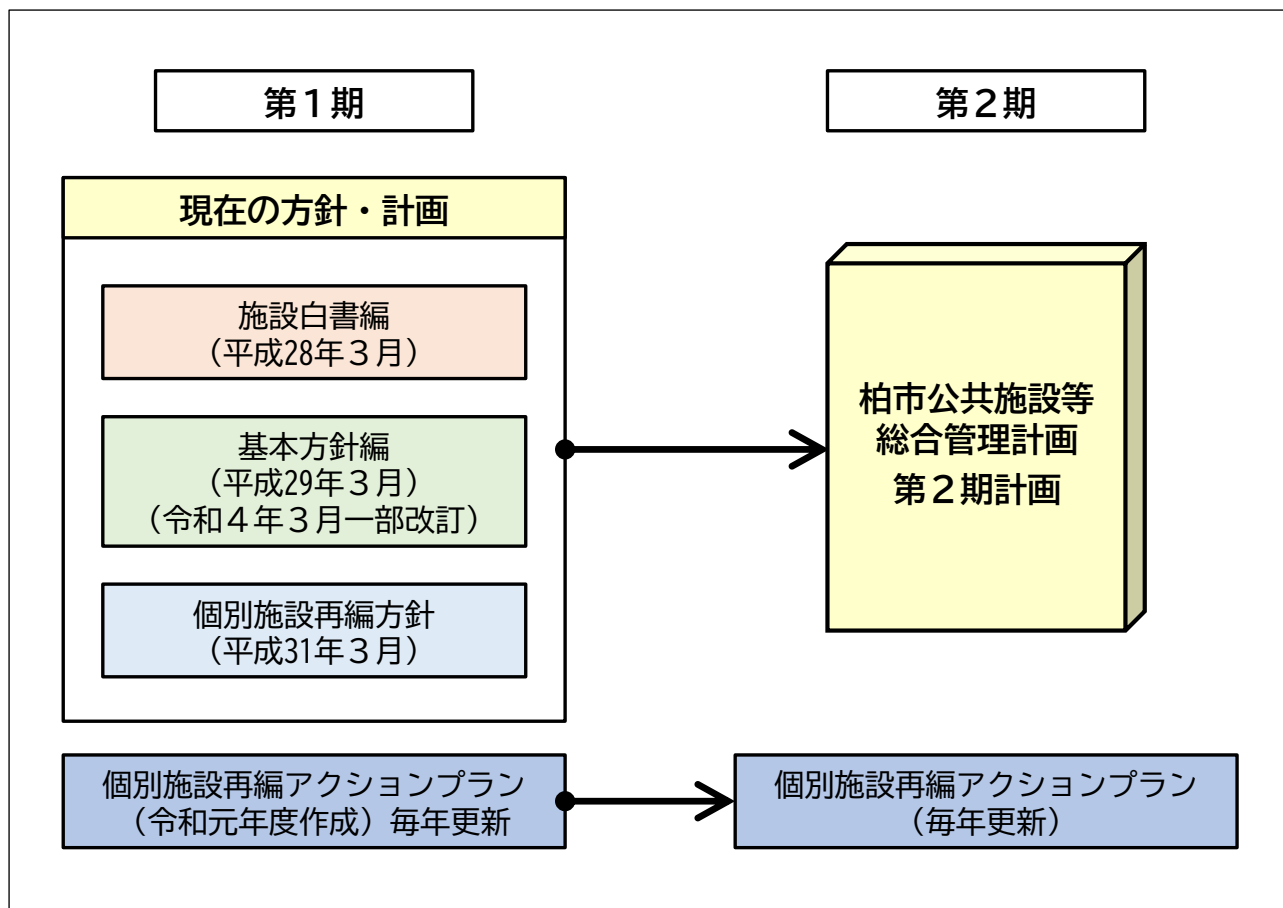
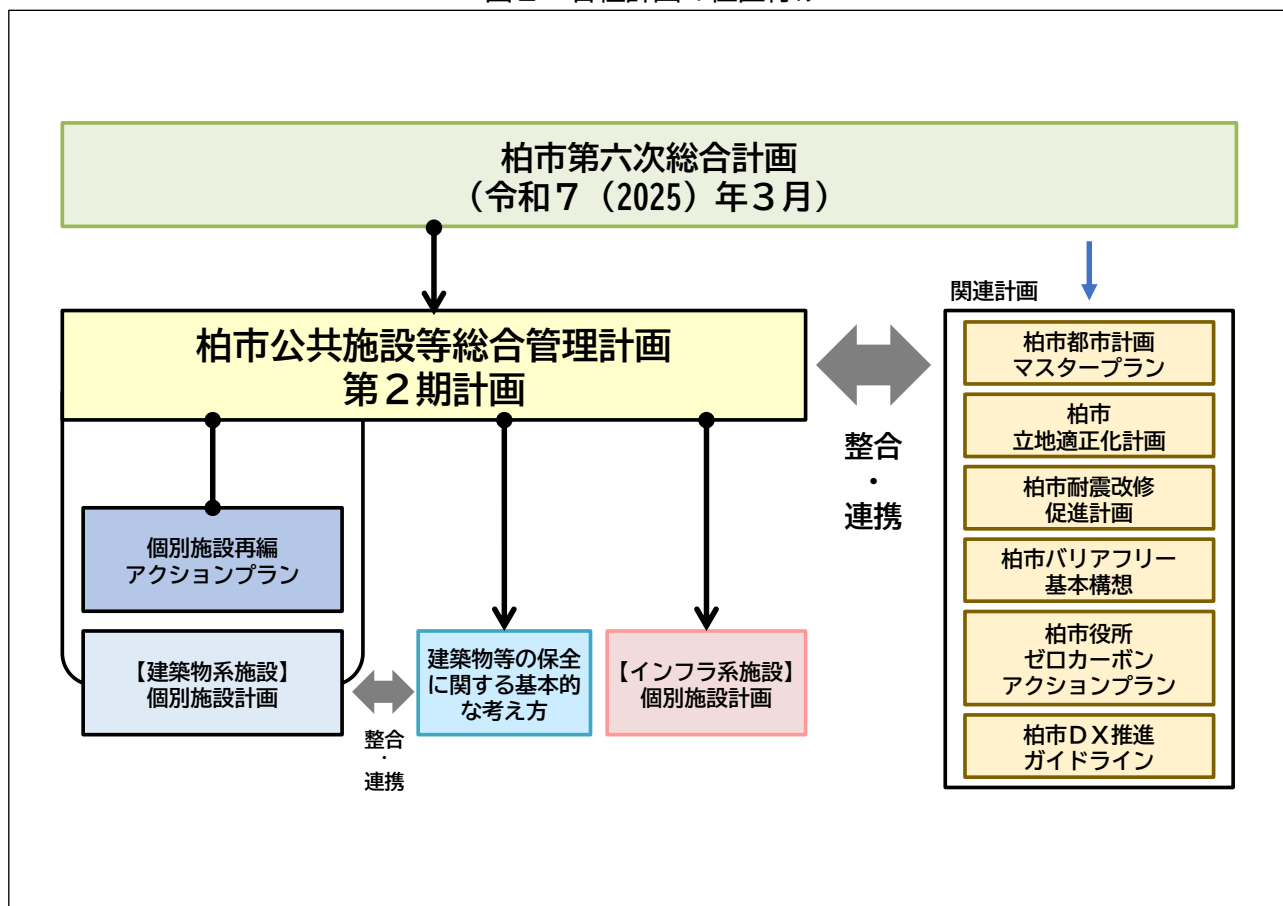


図2 各種計画の位置付け

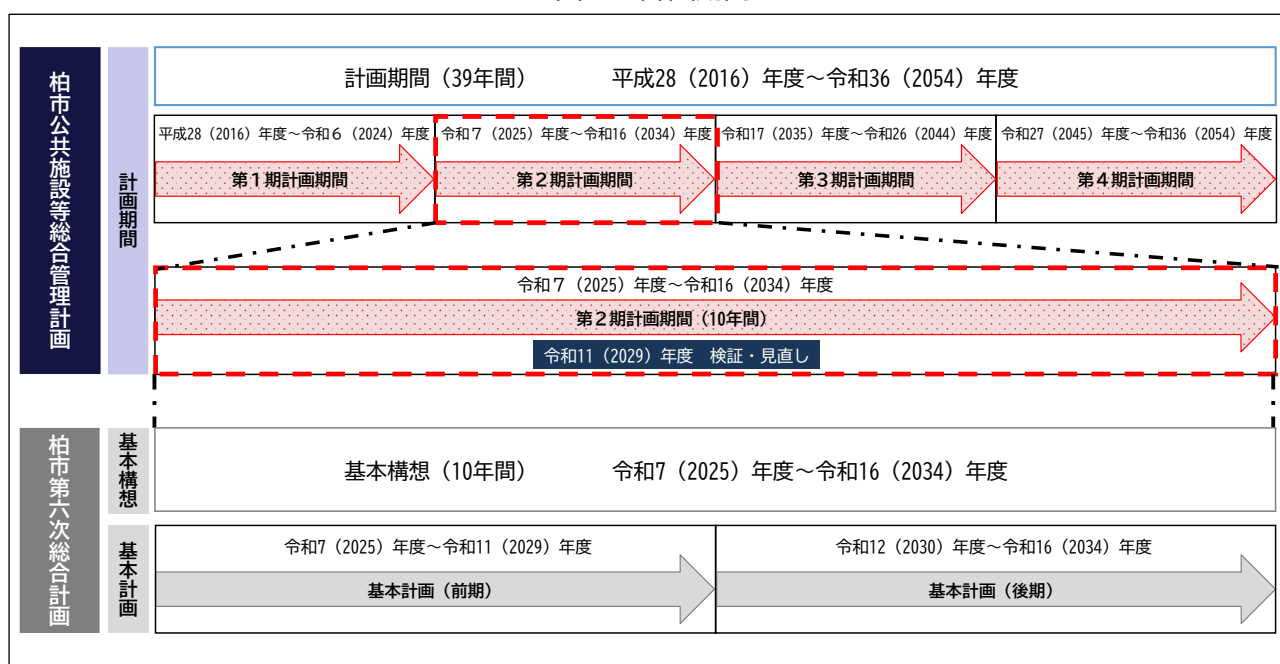


1-3. 計画期間

総合管理計画では、施設の目標使用年数も視野に入れた中長期的な観点からの検討が必要不可欠であり、かつ、今回1年前倒しで計画の策定を行ったため、平成28（2016）年度から令和36（2054）年度までの39年間を計画期間とします。第2期計画期間については、柏市第六次総合計画の基本構想の計画期間と合わせ、令和7（2025）年度から令和16（2034）年度までの10年間とします。また、時代の変化に伴って新たに生じた課題等に柔軟かつ臨機応変に対応するため、以後10年ごとに、第3期及び第4期の計画を定めます。

ただし、計画期間内であっても柏市第六次総合計画の前期基本計画の計画期間と合わせ、5年をめぐりに検証・見直しを行います。

図3 計画期間



1-4. 対象施設

本計画で対象とする「公共施設等」について、総務省の「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」（令和5（2023）年10月改訂）では、「公共施設、公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいう。具体的には、いわゆるハコモノの他、道路・橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設（上水道、下水道等）、プラント系施設（廃棄物処理場、斎場、浄水場、汚水処理場等）等も含む包括的な概念である。なお、地方独立行政法人が保有する施設など、当該地方公共団体が所有していないが、維持管理・更新費等の財政負担を負うことが見込まれる施設を含む。」とされています。

これを踏まえた上で、本計画では、公共施設等を「建築物系施設」及び「インフラ系施設」に区分し、以下の表のとおり整理します。なお、表1にある「重点取組施設」については、第2章で解説しています。

表1 建築物系施設（令和4（2022）年度末時点）

	大分類	中分類	類型別方針用途	施設数	延床面積（㎡）
重点取組施設	1 市民文化系施設	(1) 集会施設	1 近隣センター	35	28,233.33
	5 学校教育系施設	(1) 学校	2 学校	64	445,114.72
	6 子育て支援施設	(1) 保育園	3 保育園	22	23,604.19
	9 行政系施設	(1) 庁舎等	4 庁舎等	11	29,410.39
重点取組施設以外	1 市民文化系施設	(1) 集会施設	1 その他集会施設	4	1,134.11
		(2) 文化施設	2 文化施設	2	9,574.93
		(3) 交流施設	3 交流施設	1	63.76
	2 社会教育系施設	(1) 図書館	4 図書館	18	5,553.83
		(2) 公民館	5 公民館	1	4,143.63
		(3) 博物館等	6 博物館等	3	918.18
		(4) その他社会教育施設	7 その他社会教育施設	1	106.32
	3 スポーツ・レクリエーション施設	(1) スポーツ施設	8 スポーツ施設	17	16,534.42
	4 産業系施設	(1) 産業系施設	9 産業系施設	2	3,978.80
	5 学校教育系施設	(2) その他教育施設	10 その他教育施設	2	1,383.73
	6 子育て支援施設	(2) 幼児・児童施設	11 幼児・児童施設	66	11,788.74
		(3) 幼児・児童福祉施設	12 幼児・児童福祉施設	3	2,200.16
	7 保健・福祉施設	(1) 高齢者福祉施設	13 高齢者福祉施設	8	9,637.81
		(2) 障害福祉施設	14 障害福祉施設	4	2,925.34
		(3) 保健施設	15 保健施設	5	9,524.26
		(4) 福祉施設	16 福祉施設	2	2,872.64
	8 医療施設	(1) 医療施設	17 医療施設	2	13,144.06
	9 行政系施設	(1) 庁舎等	18 出張所	10	815.24
			19 その他庁舎等	11	4,706.91
		(2) 消防施設	20 消防庁舎	13	14,091.36
			21 消防団器具置場	42	3,465.16
			22 環境施設	4	3,675.87
		(4) 防災施設	23 防災施設	10	1,271.11
	10 公営住宅	(1) 公営住宅	24 公営住宅	10	47,763.60

	大分類	中分類	類型別方針用途		施設数	延床面積 (㎡)
重点 取組 施設 以外	11 公園	(1) 公園	25	公園	12	16,790.02
	12 供給処理施設	(1) 供給処理施設	26	供給処理施設	4	46,424.34
	13 その他施設	(1) その他施設	27	その他施設	15	67,212.86
	14 未利用施設等	(1) 未利用施設・廃止予定施設	28	未利用施設・廃止予定施設	6	7,562.53
	15 建物賃借物件	(1) 建物賃借物件	29	建物賃借物件	7	2,837.92
合計					417	838,464.27
「15 建物賃借物件」を除く					410	835,626.35

- 令和5～6（2023～2024）年度に再編が決まっている施設を含む。

表2 インフラ系施設

大分類	中分類	保有量	単位
上水道施設	配水管	1,428	管路延長 (km)
	導水管	16	管路延長 (km)
	送水管	10	管路延長 (km)
	水源地	5	箇所
下水道施設	下水道管	1,348	管路延長 (km)
	篠籠田貯留場	9,237	敷地面積 (㎡)
	柏ビレジ排水ポンプ	1,517	敷地面積 (㎡)
雨水排水施設	管路	409	管路延長 (km)
	調整池	147	箇所
	学校貯留施設	9	箇所
	雨水ポンプ	36	箇所
	樋管	24	箇所
道路施設	道路	8,572	路線数
		1,446	実延長 (km)
		8,734,121	面積 (㎡)
きょうりょう 橋梁施設	橋梁	181	箇所
公園施設	都市公園	664	箇所
		187	面積 (ha)
	その他	77	箇所
		21	面積 (ha)

第2章

これまでの公共施設マネジメントの取組

2-1. これまでの取組と成果及び効果

2-1-1. 施設保有面積の推移

第1期計画策定時における本市の建築物系施設の保有面積（対象施設）は、442施設 788,067㎡（平成26（2014）年度末時点）でした。

令和4（2022）年度末時点での保有面積は、410施設 835,626.35㎡となっており、約4.75万㎡（6.0%）の増加が見られます。人口も第1期計画策定時の予測を上回る増加となっており、それに伴う児童生徒数の急増対策として、田中小、田中北小、柏の葉小、柏の葉中の移転改築や新築など学校の増築が主な増加要因となっています。一方、減少要因としては旧柏市社会福祉センター、柏駅東口第二駐輪場、藤ヶ谷区民会館等の廃止となっています。

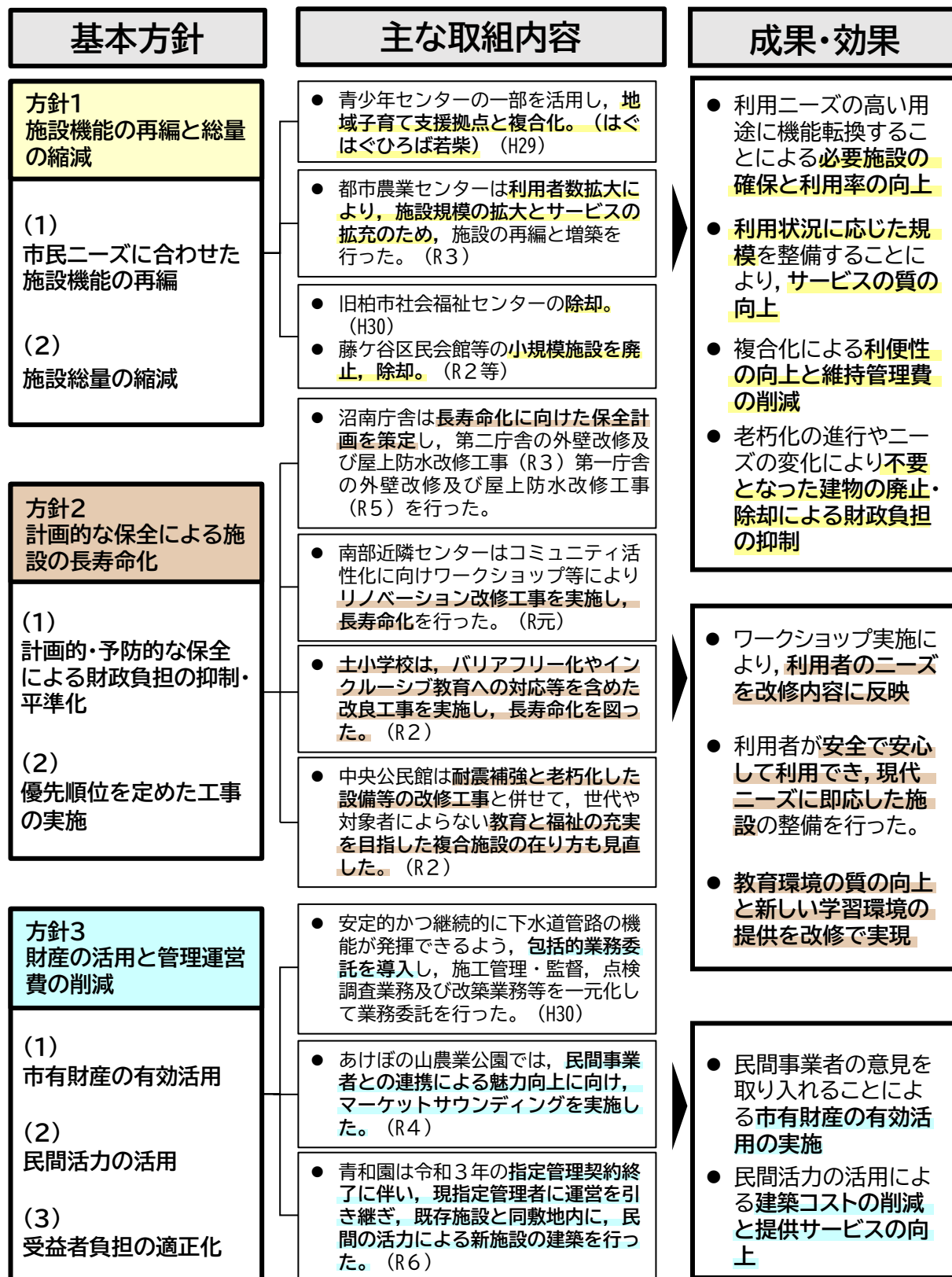
図4 施設保有面積の比較（第1期計画と第2期計画の策定時）



2-1-2. 基本方針に基づく取組状況

第1期計画「基本方針編」における「公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針」に基づき、以下の取組を行ってきました。

図5 基本方針に基づく主な取組状況



2-2. 第2期計画策定に向けた課題のまとめ

■ 施設保有面積の推移より

- ・ 老朽化の進行等により、不要となった建物の廃止・除却を行いました。当初の予測を上回る人口増加が進み、特に北部地域の児童生徒数急増対策により学校面積が増加したため、結果として約4.75万㎡増加となっています。
- ・ 一部の施設で長寿命化改修等を実施していますが、全体では施設の老朽化が進行しています。



- 人口動向や財政状況などを踏まえて施設のあり方を見直し、将来の変化に柔軟性をもって現実的に対応していく必要があります。

■ 基本方針に基づく取組状況より

- ・ 近隣センターや学校等の改修時に、利用者ニーズを反映して機能向上を図っていますが、一部の施設に限定されており、さらに推進する必要があります。
- ・ 青少年センターや中央公民館で複合化が促進されましたが、施設数の多い近隣センターや面積の多い学校での複合化を含めた施設のあり方の検討については今後の課題となっています。



- 建築物系施設のうち学校施設が過半を占めており、学校は地域住民にとって身近な施設でもあることから、学校施設と他の公共施設等を合わせて見直しを検討する必要があります。特に、学校施設への複合化の可能性について積極的に検討する必要があります。
- 環境施策やDX化への対応などを踏まえ、公共施設等のあり方について検討する必要があります。

■ 公共施設の管理状況の課題

- ・ 建物の耐用年数に基づいた目標使用年数を見越して適切な時期に行うべき改修が実施できていない施設がありました。建物の維持に必要な部位のみの限定的な修繕や、緊急性等を考慮し保全計画上の優先順位を変更するなどにより、財政負担の抑制に寄与する一方、施設の安全性・機能性・利便性・快適性など施設の健全度の確保において適切な内容で修繕が実施されない場合があります。
- ・ 第1期計画において、推進体制を構築し庁内の連携や協力体制を整え、各施設の保全状況について全庁で情報共有を図ることを目指していましたが、情報の共有化が徹底されなかったことにより、施設の新設や増築の情報が公共施設等の統括マネジメント担当部署に集約されず、施設の改修履歴や現況の適切な把握に基づく改修計画が立案できませんでした。



- 公共施設の目標使用年数を見越し、施設の安全性・機能性・利便性・快適性など施設の健全度の確保において適切な時期に適切な保全を実施する必要があります。
- 公共施設の計画的な再編を行うため、施設に関する諸情報を集約し庁内の組織横断的な連携を効果的に行う必要があります。
- 庁内の組織横断的な連携を効果的に行うために、分散管理されている施設に関する施設毎の改修履歴や現況といった施設情報を一元管理する必要があります。

■ 課題への対応

・ 重点取組施設の設定

第2期計画では、上記で整理した課題も踏まえて、重点取組施設を位置付け、戦略的な計画策定を目指します。重点取組となる対象施設は、市民利用が多くかつ延床面積や施設数も多い①近隣センター、②学校、③保育園、④庁舎等の4つとし、これらの施設の方向性については、より具体的に踏み込んだ内容として示していきます。

・ 管理体制の再構築

公共施設に関する各種情報が公共施設等の統括マネジメント担当部署を通じて庁内の公共マネジメント推進体制で活用されるべく、公共施設の基本情報や健全性といった各種情報をまとめた「施設カルテ」により施設情報の一元化を図ります。

第3章 公共施設等を取りまく現状と課題

3-1. 人口状況

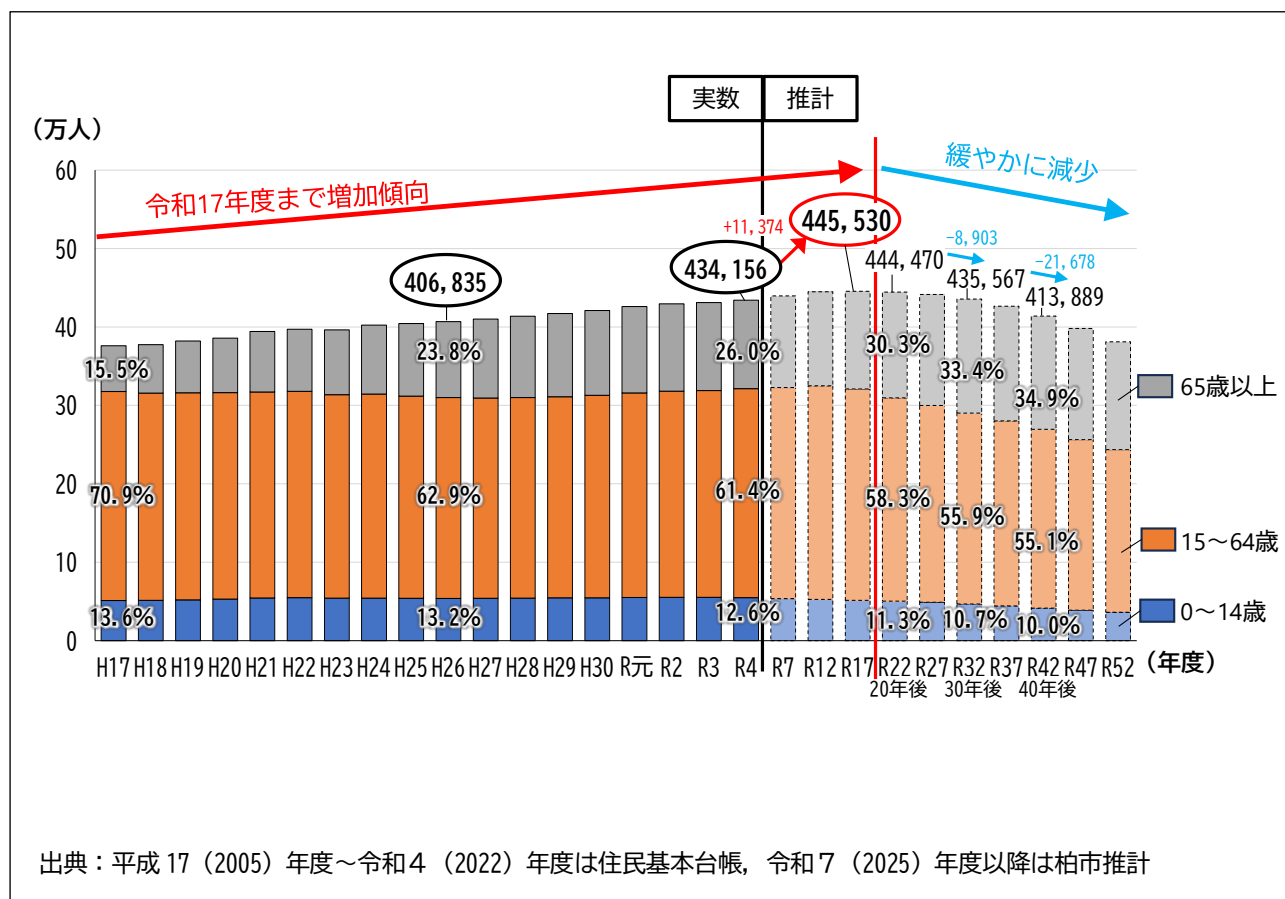
3-1-1. 人口の推移・将来予測

本市の総人口は戦後一貫して増加傾向にあります。特に昭和35（1960）年から平成2（1990）年の30年間では急激な市街化に伴い約24万人増加し、それ以降も緩やかな増加を続けており、第1期計画策定時の平成26（2014）年度の406,835人に対し、令和4（2022）年度は434,156人へと約6.7%増加しています。

今後もしばらくは増加の傾向が続くと見通されますが、令和17（2035）年度の445,530人をピークに減少に転じると予測されています。

公共施設等の整備については、中長期的な人口動向を見据えることが重要である一方、直近の人口増にも配慮する必要があります。このため、施設整備の際には、既存建物の未利用スペースの活用や施設の複合化、民間建物の賃借等、保有量の増加を抑える方策により、市民ニーズに対応しつつ将来の人口減少を視野に入れた対応を検討するなど、市の特性に則した適正な施設保有量を確保することが課題となります。

図6 総人口の推移・予測



3-1-2. 地域別の人口変化

今後12年間の予測において、北部1及び中央1・2の3地域が増加、北部2、南部1・2及び沼南の4地域が減少となっています。北部2及び南部1・2の3地域が市の平均より高齢化率が高く高齢化が進む予測となっています。また、同じ地域内でも増加傾向のエリアと減少傾向のエリアがあり、増減に伴い各地域における公共施設のあり方を検討し直すなどきめ細かな対応が必要になります。

3階層別の人口増減では、北部1地域のみ全階層で増加の予測ですが、その一方で、北部2、中央1及び南部1の各地域は年少人口が1,000人以上減少となっています。

図7 地域別の人口変化（今後12年後までの将来予測）（北部・中央地域）

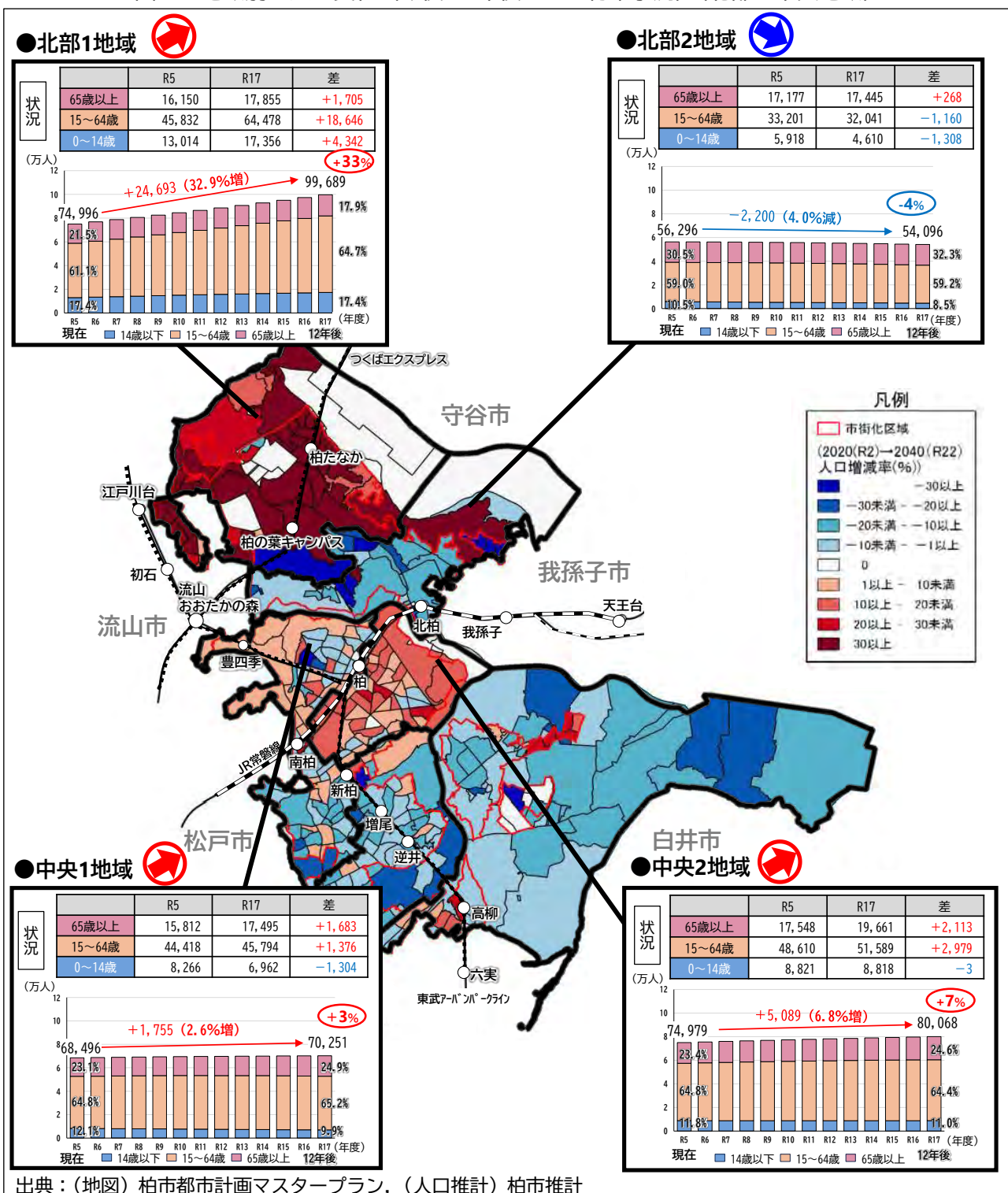
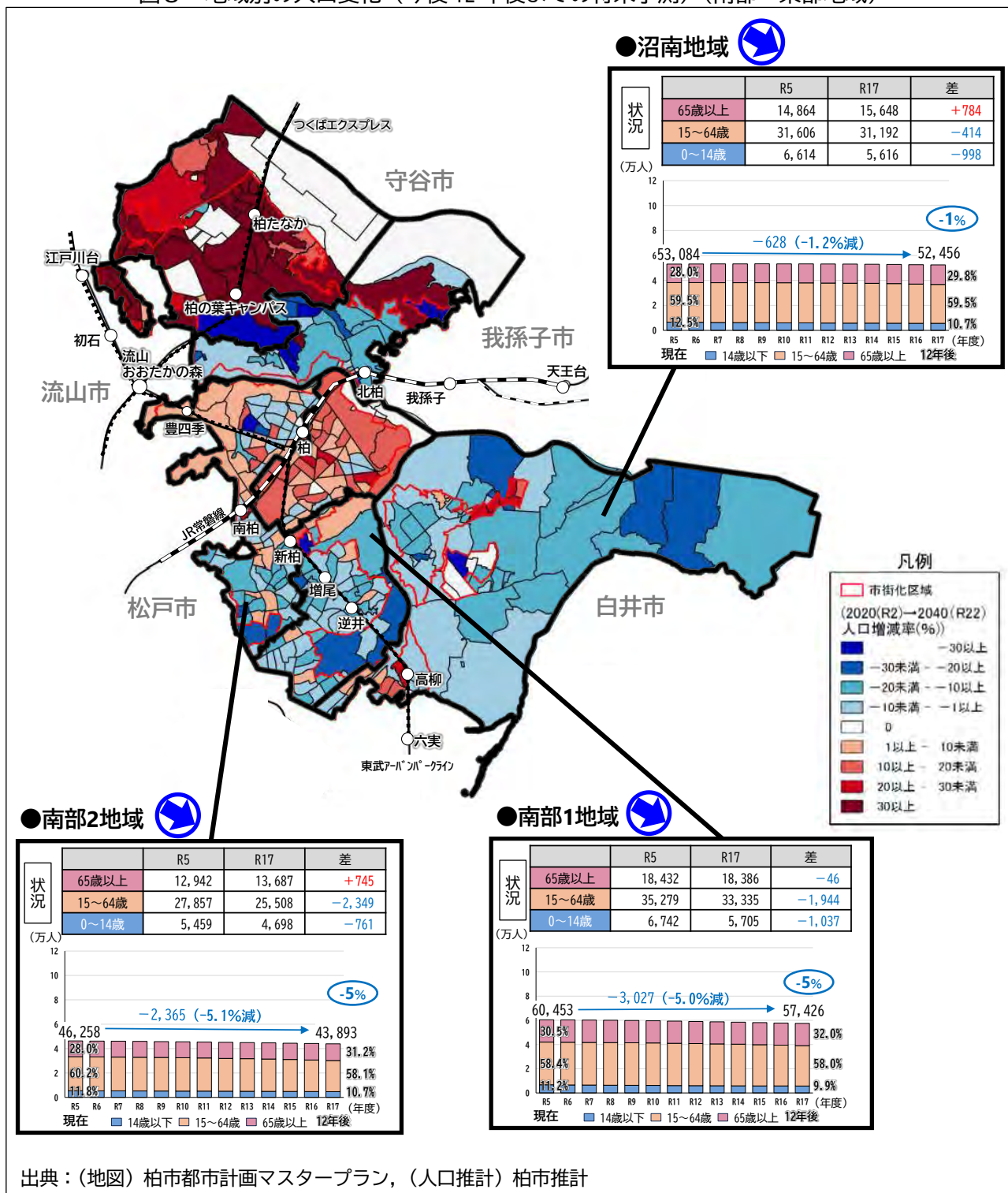


図8 地域別の人口変化（今後12年後までの将来予測）（南部・東部地域）



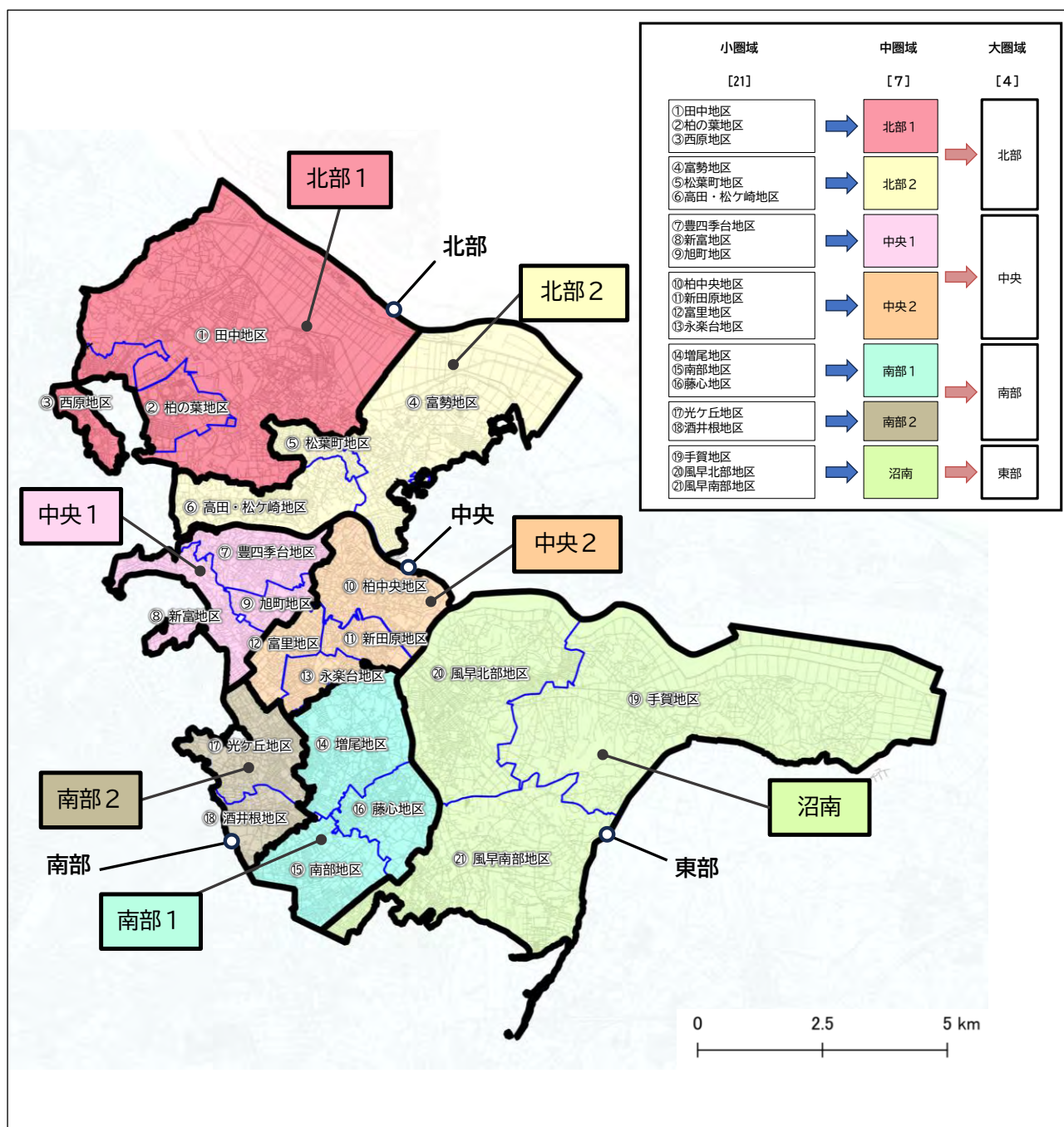
3-2. 地域状況

3-2-1. 地域区分の考え方

柏市では、昭和 50 年代から新旧住民の融和と地域自治意識の向上を目的とした「ふるさと運動」が展開され、現在では近隣センターを活動拠点とした住民組織である「ふるさと協議会」が市内 21 の地区（コミュニティエリア）に組織されています。

柏市の地域区分を考えるに当たっては、柏市高齢者いきいきプラン 21 等の諸計画と同様に、この 21 の地区を小圏域として地域区分の基礎単位とし、7つの中圏域、4つの大圏域に区分します。

図9 柏市の地域区分



3-2-2. 各地域の状況

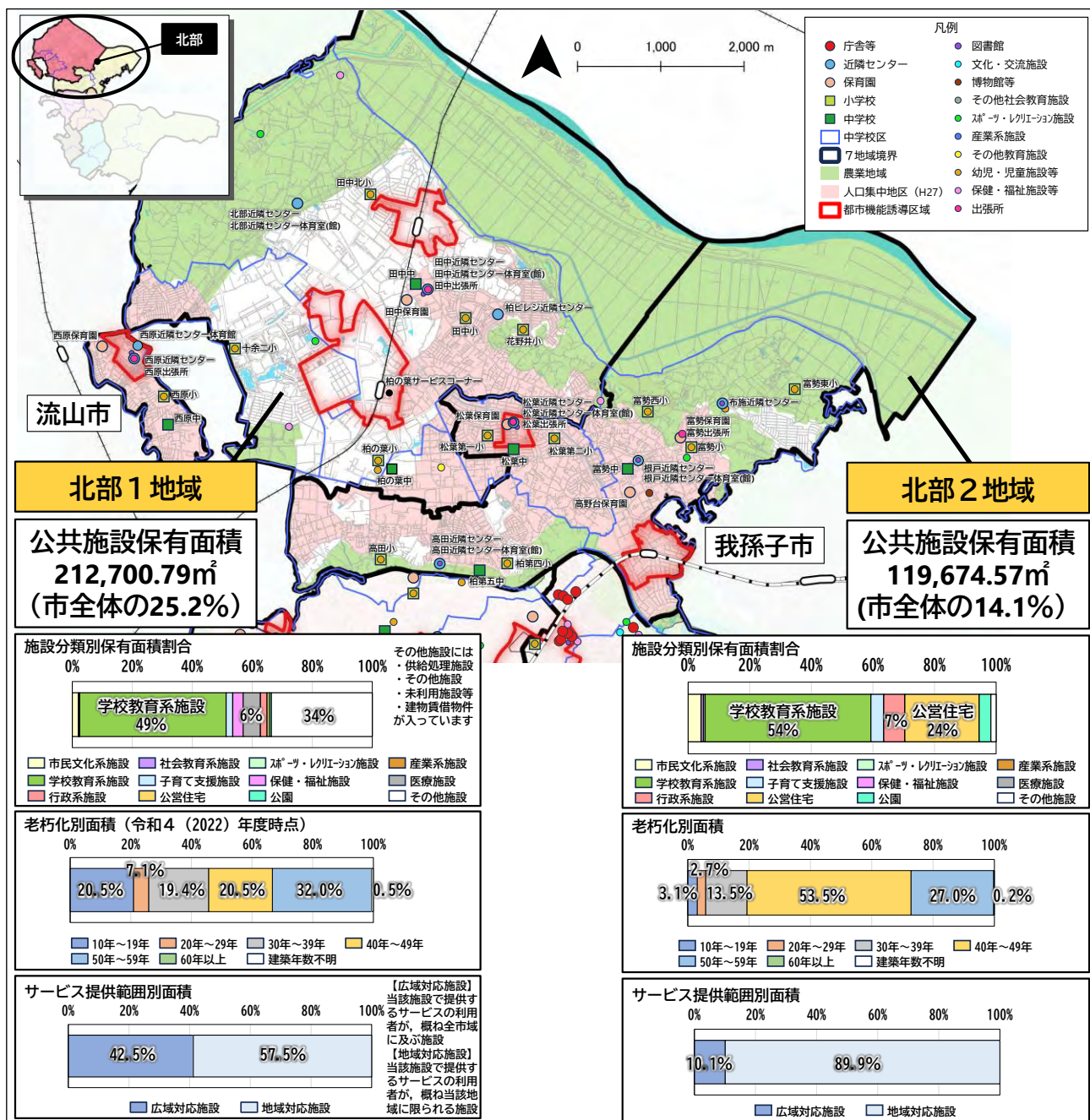
(1) 北部地域

北部1地域にはつくばエクスプレスが通っており、2つの駅周辺と西原地区で都市機能誘導区域が設定されています。地域の西側は流山市に隣接しており、主な行動範囲が流山市のエリアもあります。7地域の中で一番公共施設の保有量が多く、地域内公共施設のうち約50%が学校教育系施設となっています。

北部2地域にはJR常磐線の北柏駅が立地し、我孫子駅が近く、主な行動範囲が我孫子市のエリアもあります。東西に長い地域です。

地域内公共施設の約52%が学校教育系施設であり、保有している公共施設のうち、約80%が築40年以上のため施設の老朽化が進んでいます。

図10 北部地域の地域状況



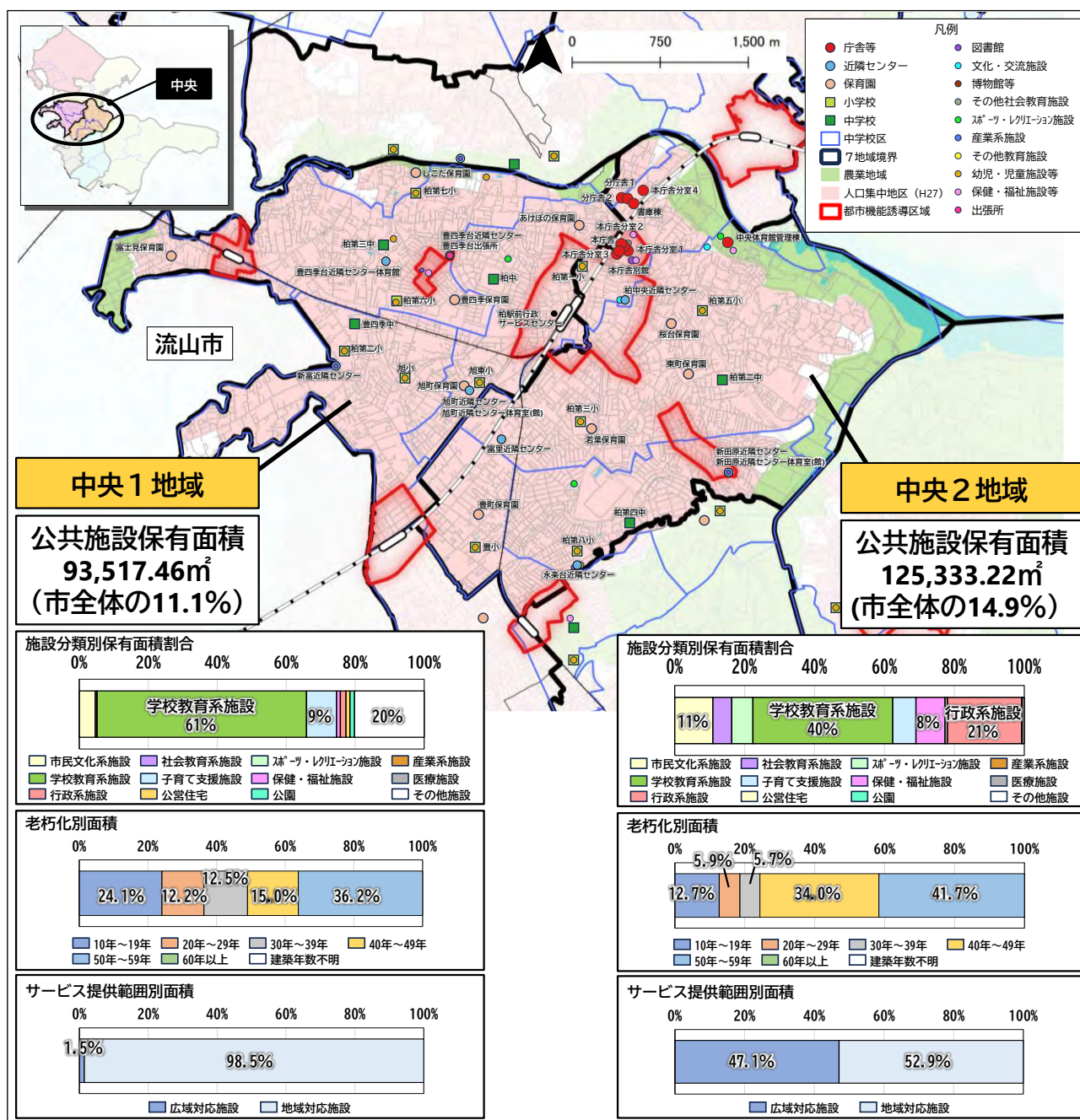
(2) 中央地域

中央1地域は3つの駅と豊四季台地区の4か所に都市機能誘導区域が設定されています。柏市の中心地域ですが、西側は流山市と隣接しており主な行動範囲が流山市のエリアもあります。

地域内公共施設のうち約61%が学校教育系施設であり、旭小学校等4つの小学校が近接しています。また、約50%が築40年以上、約99%が地域対応施設となっています。

中央2地域はJR常磐線柏駅の東側に位置しており、柏駅周辺と新田原地区に都市機能誘導区域が設定され、柏市の中心となっています。地域内公共施設のうち、約40%が学校教育系施設、約21%が行政系施設であり、柏市本庁舎が立地しています。保有している公共施設のうち、約75%が築40年以上のため施設の老朽化が進んでいます。

図11 中央地域の地域状況



(3) 南部地域

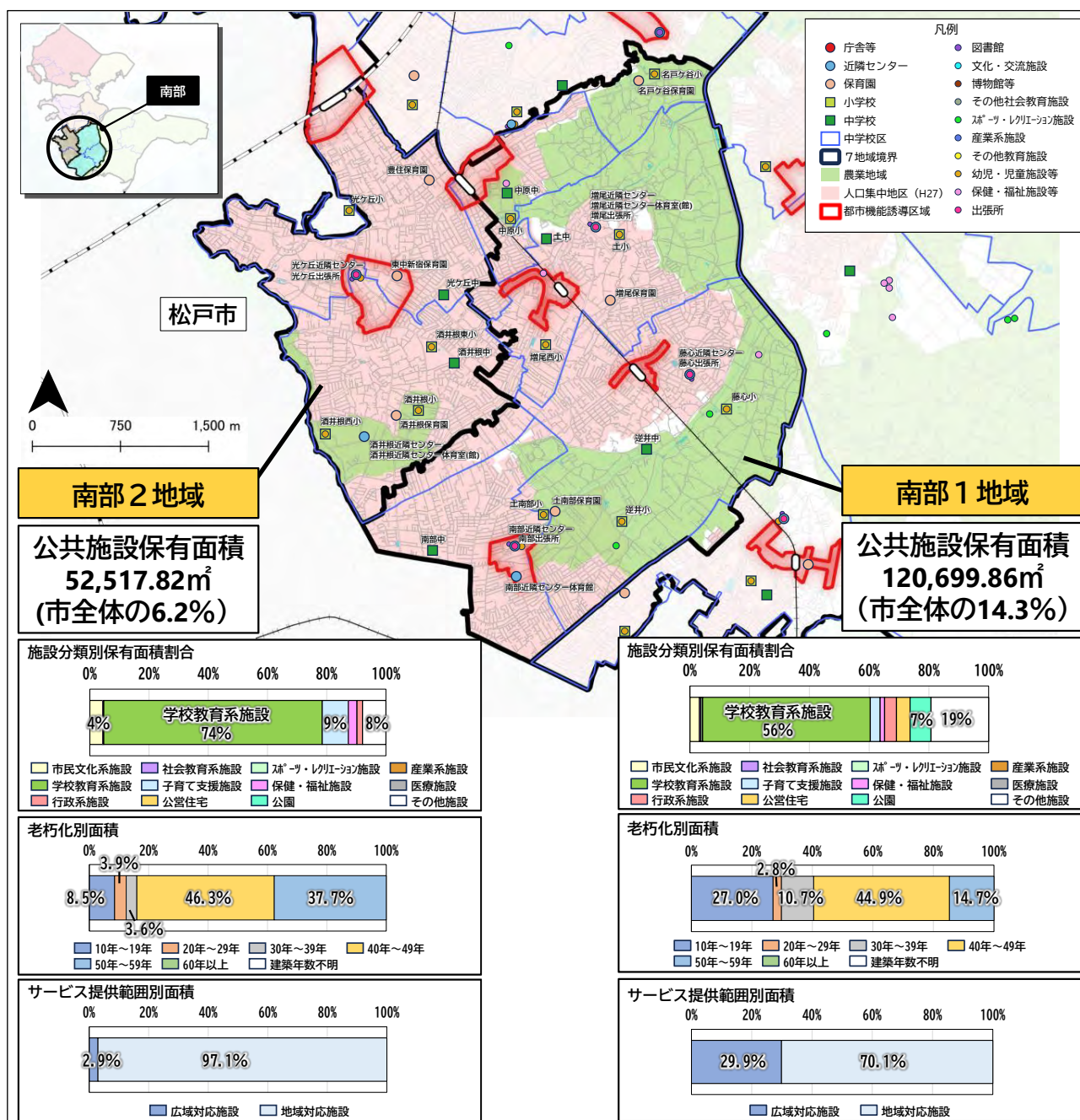
南部1地域は3つの駅と南部近隣センター周辺に都市機能誘導区域が設定されています。駅周辺の人口集中地区を囲むように農業地域があるのが特徴となっています。

地域内公共施設のうち、約56%が学校教育系施設であり、約60%が築40年以上、約70%が地域対応施設となっています。

南部2地域は地域の西部に位置し、2つの駅と光ヶ丘地区に都市機能誘導区域が設定されています。地域の西部は松戸市と隣接しており生活拠点が松戸市の人もあります。

地域内公共施設のうち約74%が学校教育系施設であり、約84%が築40年以上で老朽化が進行しています。

図12 南部地域の地域状況

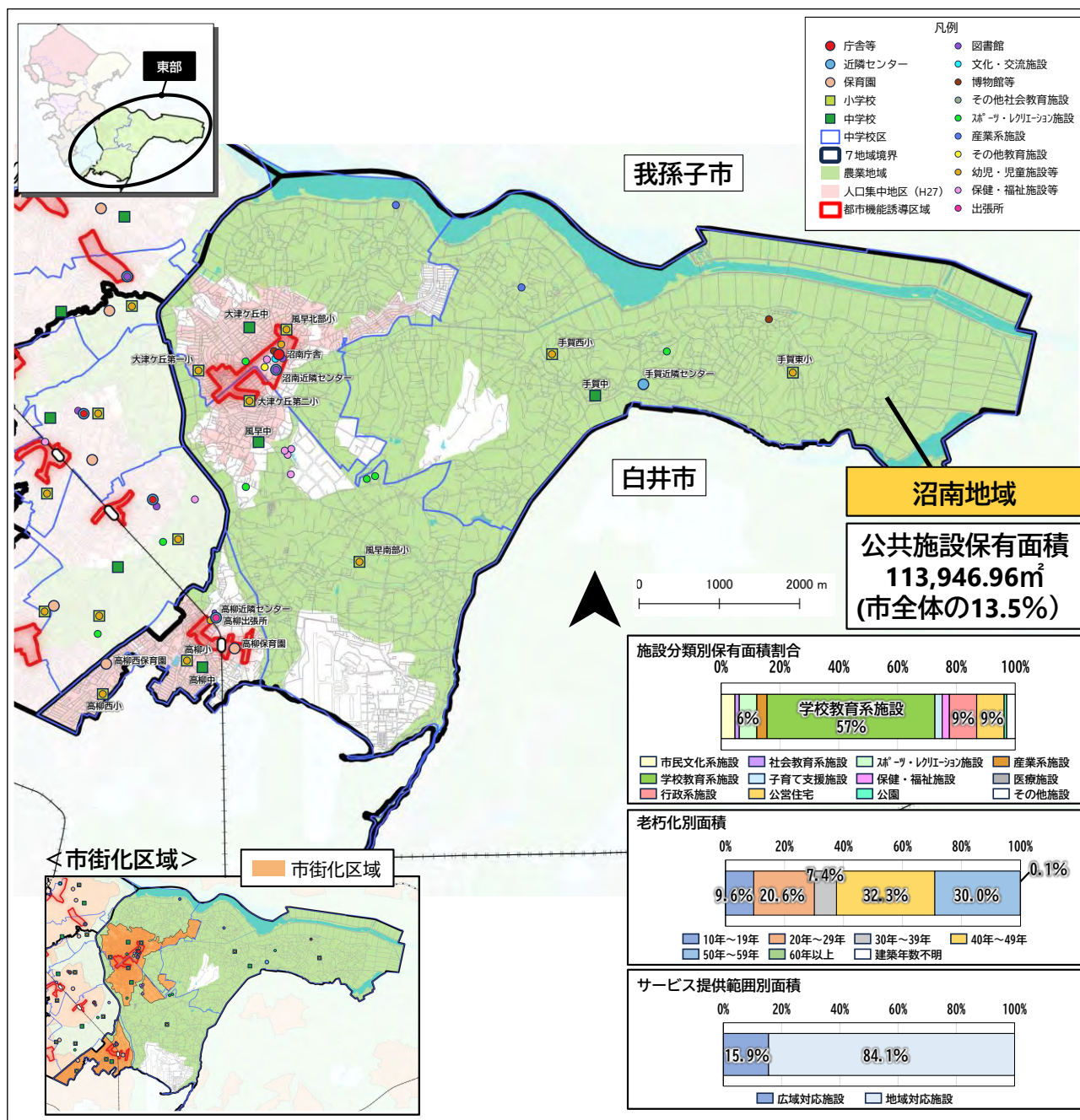


(4) 東部地域

沼南地域は地域の多くが市街化調整区域に指定されており、そのうち保全配慮地区に指定されている地域が手賀地区や風早南部地区を中心にあります。沼南庁舎周辺と高柳駅周辺に都市機能誘導区域が設定されており、公共施設の多くも沼南庁舎周辺と高柳駅周辺に集まっています。

地域内公共施設の約 57%が学校教育系施設であり、約 62%が築 40 年以上、約 84%が地域対応施設となっています。

図 13 東部地域の地域状況



3-3. 財政状況

3-3-1. 歳入・歳出の推移

(1) 歳入の推移

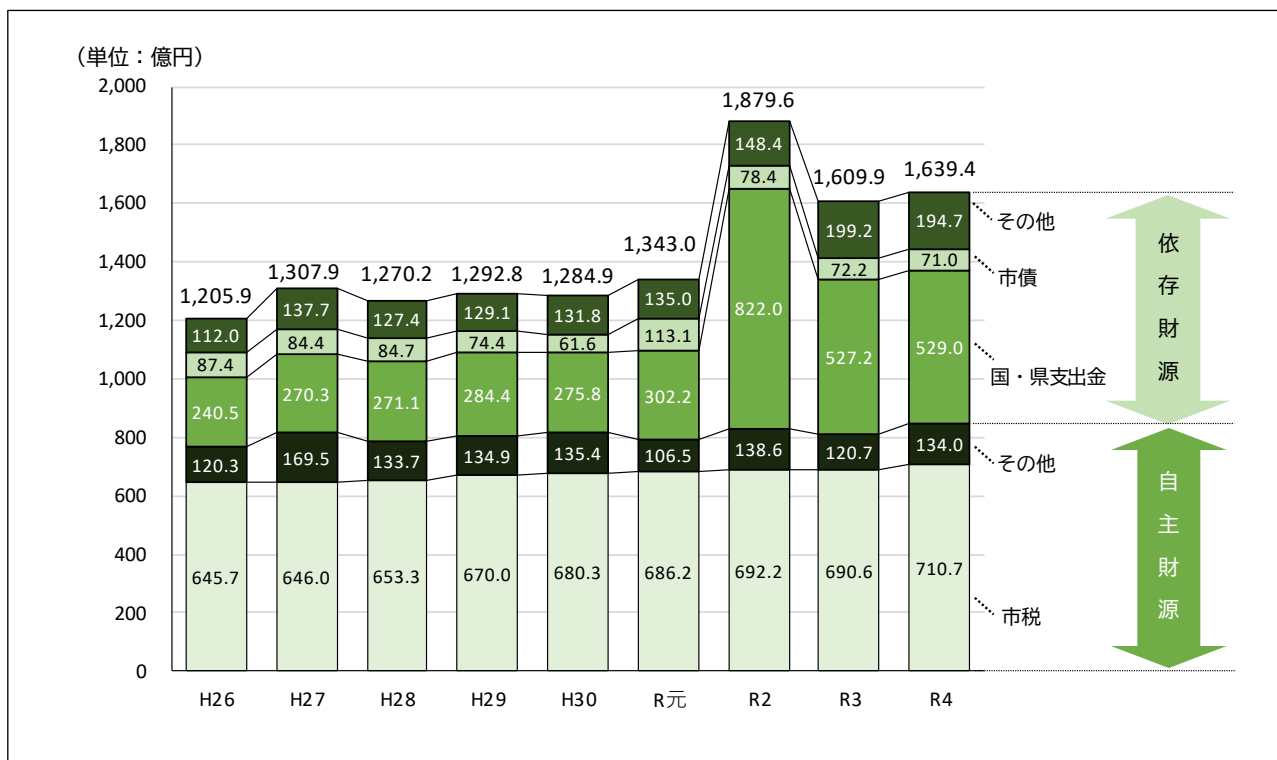
令和4（2022）年度決算の歳入総額約1,639億円のうち、市税など自主財源は約845億円（約51.6%）、国・県からの補助金や市債などの依存財源は約794億円（約48.4%）となっています。

自主財源の大部分を占める市税収入は、個人市民税・固定資産税を中心に増加傾向で推移しており、平成26（2014）年度と比較して約10.1%の伸びとなっています。

一方で、令和2（2020）年度以降、新型コロナウイルス感染症や長期化する物価高騰への対策にかかる給付金など、大規模な国の財政支援が続いていることを受け、令和元（2019）年度と比較して歳入総額が大幅に増加しているほか、依存財源の割合も高くなっています。

自主財源の割合が高ければ、行政活動の自主性・安定性を確保することができます。今後も、持続可能な行財政運営を行いながら、市独自の事業を推進していくにあたっては、自主財源を中心とした歳入確保の取組を進めることが重要となります。

図14 歳入の推移＜一般会計＞



(2) 歳出の推移

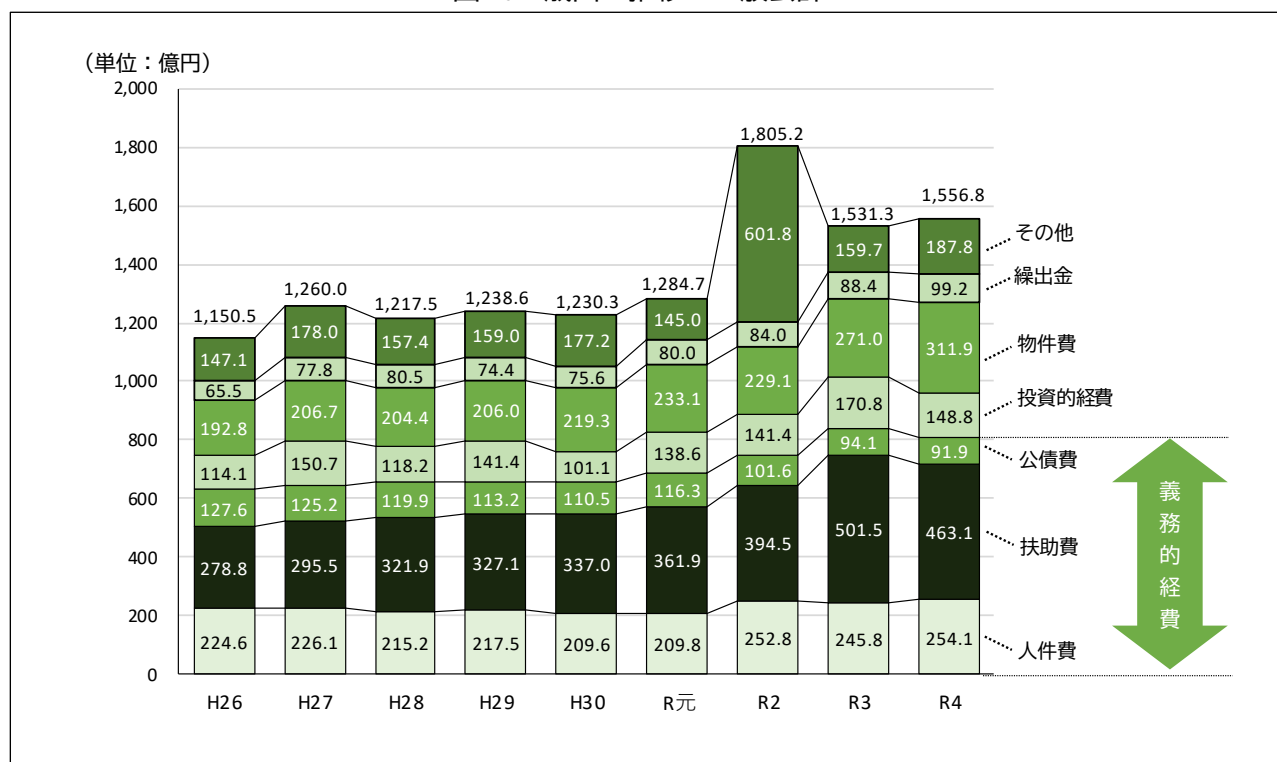
令和4(2022)年度決算の歳出総額約1,557億円のうち、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費は約809億円(約51.9%)、投資的経費は約149億円(約9.6%)、物件費や補助費などその他の経費が約599億円(約38.5%)となっています。

令和2(2020)年度以降は、新型コロナウイルス感染症への対策や物価高騰に対する給付金事業の実施により、扶助費・補助費等をはじめ、関連する事務経費が大幅に増加しているため、歳出規模も大きくなっています。

今後も少子・高齢化の進展などに伴って、子育て支援や福祉、医療など市民生活を支える扶助費の増加のほか、物価や労務単価の上昇による物件費の増加も見込まれます。

持続可能な行財政運営を行いながら、地域の特性を活かしたまちづくりを進めるためには、既存の事務事業の見直しや行政運営の効率化によるコスト削減など歳出抑制の取組が不可欠であるとともに、新たな投資については、抱える負債や維持費などが将来世代に与える影響を考慮しながら、必要性を的確に判断していくことが重要です。

図 15 歳出の推移<一般会計>



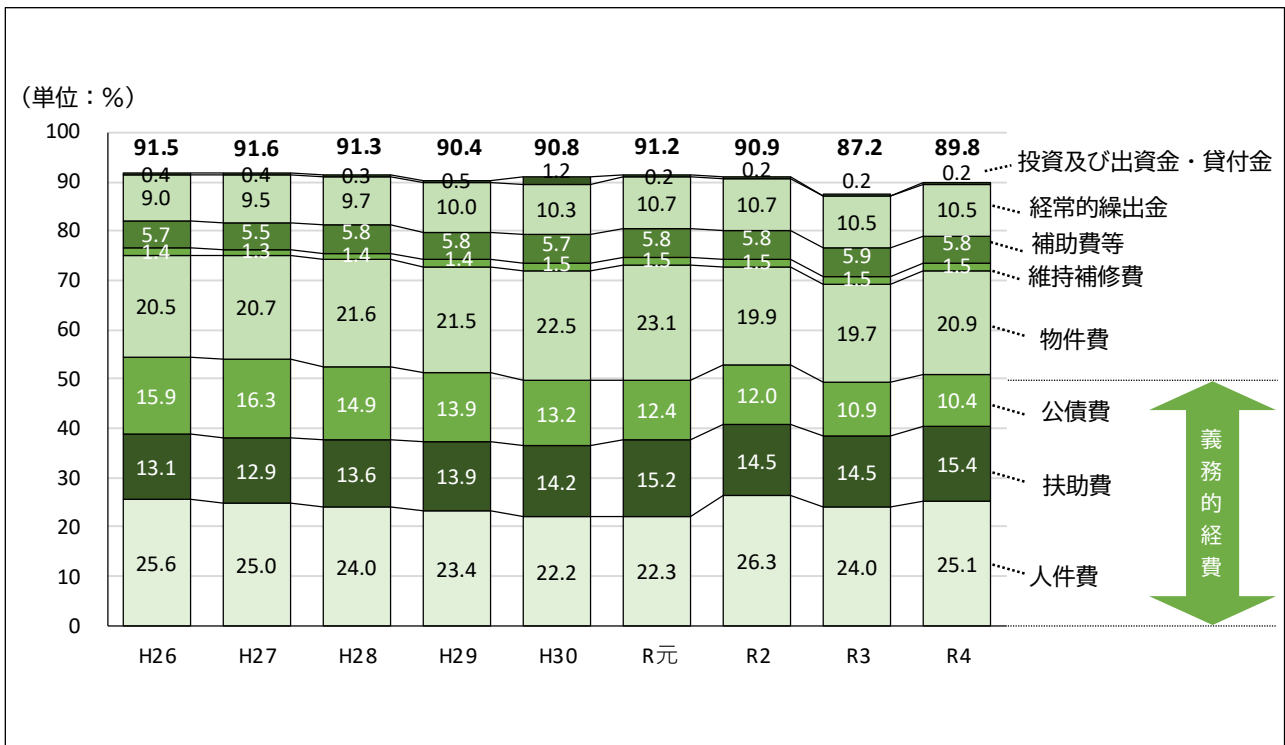
3-3-2. 経常収支比率の推移

経常収支比率は、市税など毎年決まって収入される一般財源のうち、毎年経常的に支出される経費が占める割合を示したもので、数値が低いほど財政に「ゆとり」があるとされています。

柏市の経常収支比率は令和3（2022）年度※を除くと、概ね90～92%の範囲で推移していますが、平成26（2015）年度と令和4（2023）年度とを比較すると扶助費が2.3ポイントの増となっています。

※国税の増収に伴い、地方交付税が大幅に追加交付されたことによって一時的に改善した。

図 16 経常収支比率の推移



3-3-3. 今後の財政の見通し

「柏市第六次総合計画」では令和7（2025）年度から令和16（2034）年度までの財政の見通しを示しています。

歳入の根幹である市税については、将来人口推計における生産年齢人口の推移などから一定の増加が見込まれます。

一方、歳出では少子高齢化の進行に伴い、子ども・子育て支援や生活保護などの扶助費をはじめとする社会保障関係費が今後も増加する見通しです。

また、高度経済成長期から昭和50年代にかけて集中的に整備された公共施設が更新時期を迎えることから、令和7（2025）年度以降の投資的経費は増加する見通しです。

このことから、増加する投資的経費の財源として市債を活用するほか、収支不足が生じる年度は基金からの繰入を行う必要があり、将来的に財政状況が厳しくなることが見込まれます。

図17 今後の歳入の見通し＜一般会計＞

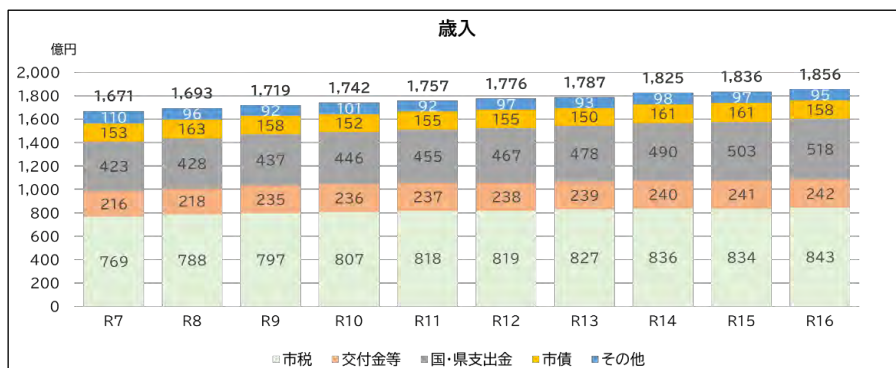


図18 今後の歳出の見通し＜一般会計＞

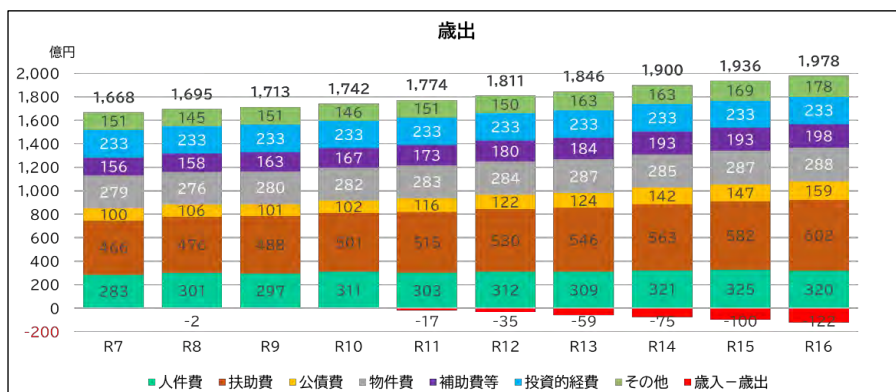
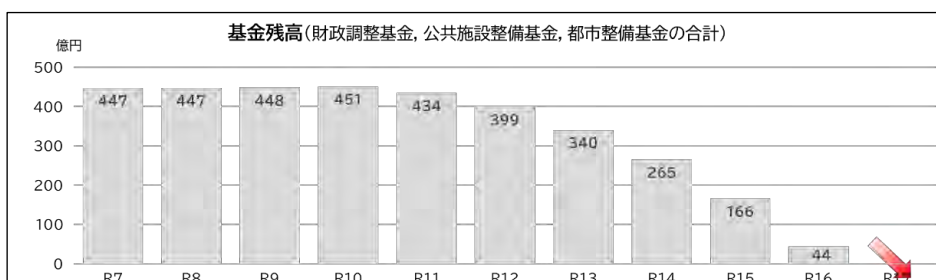


図19 今後の基金残高の見通し＜一般会計＞



柏市第六次総合計画（案）より

＜財政推計の前提条件について＞

- ・令和6年度当初予算を前提とした決算ベースによる試算のため、予算計上時には財政規模が増加します。
- ・人件費は、人事院勧告を反映した上で試算しています。
- ・投資的経費及びその財源は継続費や債務負担行為などの予算措置を行っている事業費のほか、公共施設及びインフラの老朽化に係る更新費用を含み、推計期間中の事業費などを平準化した上で試算しています。

3-4. 保有施設の状況

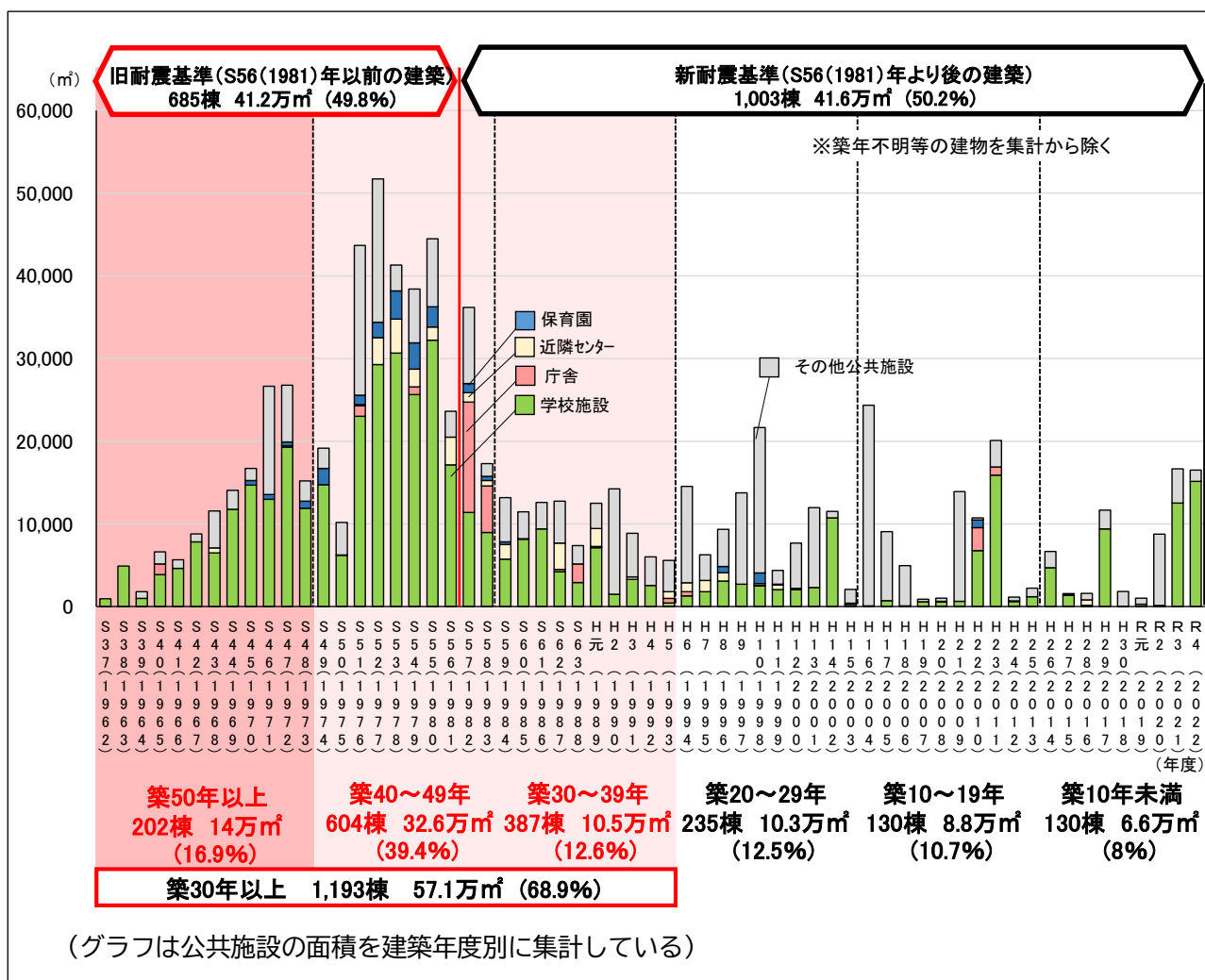
3-4-1. 建築物系施設

(1) 保有面積・整備状況

本市では建築物系施設を約83.6万㎡保有しています。築年別に施設の整備状況を確認すると、昭和40年代から昭和50年代にかけて、市の人口の増加に伴い、学校施設をはじめとする多くの施設が整備されています。この結果、現在は建築後30年以上が経過した施設が市の保有面積の約69%を占めており、今後、老朽化による建替や改修に多くのコストが必要となる見込みです。多くの築年数が経過した施設は、建設当時の基準を基に建設されているため、現在求められている水準に合致していない場合があります、また、今まで建物の機能維持に必要な部位のみの限定的な修繕などにとどまっていた場合が多く、安全性、機能性、利便性及び快適性といった施設の健全度が適切に確保されていない場合があります。

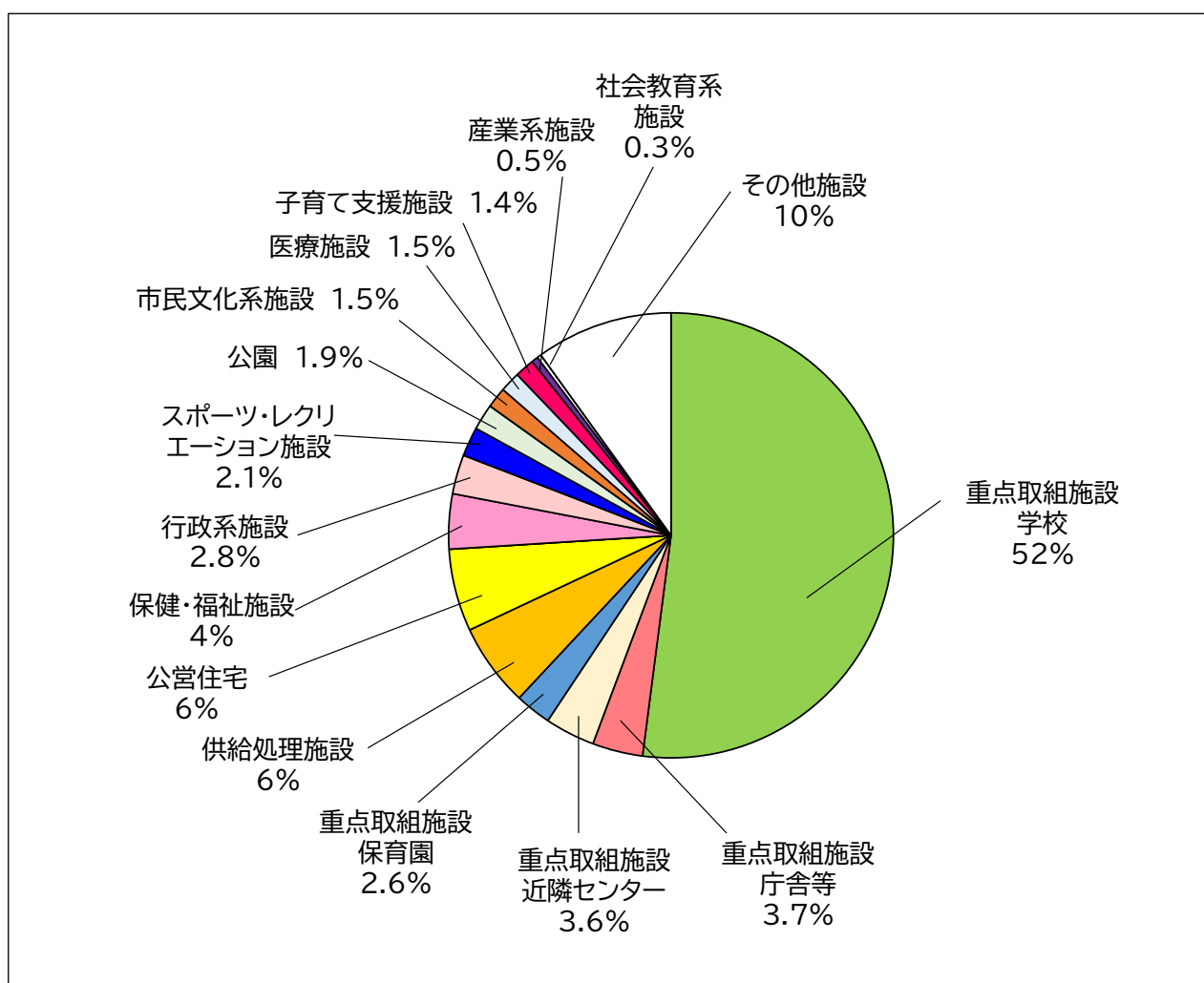
施設の用途によって規模が異なり、施設規模に比例して整備費用が大きくなることに加え、現在求められている施設機能を持たせる必要もあるため、改修・建替ともに、今後どのように建物を整備していくかが大きな課題となっています。

図 20 施設の整備状況(築年別)



保有面積の用途区分の内訳を見ると、学校施設が最も多く約43.2万㎡で全体の面積の約52%を占めています。学校施設は殆どの建築物が築30年以上を経過し老朽化が進行しているうえ、地域によっては児童生徒数の増加への対応が必要であり、建替や改修に加えて増築対応が必要になっており、今後多くの整備費用が必要となる見込みです。重点取組施設である、学校を含めた市民利用が多くかつ延床面積や施設数が多い施設は合計で約51.4万㎡であり、保有面積の半分以上を占めます。重点取組施設以外の施設の延床面積は約31.6万㎡で、保有面積が多いのは規模の大きな建築物を有する供給処理施設や公営住宅です。次いで保健・福祉施設、重点取組施設である庁舎等以外の行政系施設の順に保有面積が多くなっています。

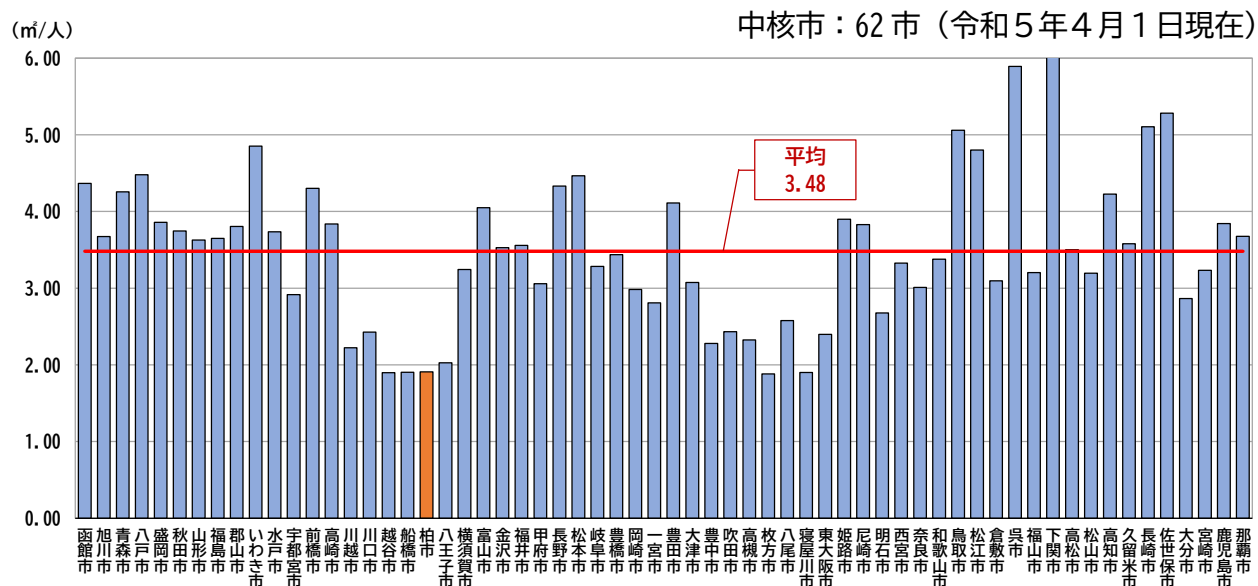
図 21 用途区分の保有面積構成



(2) 中核市との保有面積の比較

中核市における人口1人当たりの施設の保有面積（総延床面積）の平均は3.48 m²/人です。柏市は1.91 m²/人であり、中核市の平均と比較して低い水準となっています。

図 22 中核市の人口1人当たりの施設（建築系施設）総延床面積



公共施設面積・公共施設状況調査（令和4年度）、人口・住民基本台帳（令和5年1月1日現在）により作成
 ※比較のため、公共施設状況調査（総務省）の数値を用いています。

(3) 学校施設における課題

令和4（2022）年に文部科学省における有識者会議がまとめた報告書「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」によれば、これからの学校施設には1人1台のICT端末による学習に対応したより大きな机や教室、多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応するためのバリアフリートイレやスロープによる段差解消等のバリアフリー化などが求められており、さらにバリアフリー法とも相まってより広い廊下などの整備も必要となっています。

本市における学校施設は昭和40年代から昭和50年代に集中して整備されたため、多くの学校で築40年以上が経過し老朽化が進んでいることから、今後の改修や建替には「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」等で示された学校づくり（ゆとりある教室の整備、多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応、バリアフリー化の推進等）のためにより広い学校施設が求められています。

<<新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方>>

〈教室用机の状況〉

(参考例)

旧JIS規格	新JIS規格
 旧JIS規格の教室用机では、教科書、ノート、補助教材、筆記用具等で机上がふさがっている。ICT端末を同時に活用することが難しい。	 新JIS規格の教室用机では、ICT端末と教科書等の教材・教具を同時に活用できている。一方、通路幅が狭くなり、机間巡視がしにくい、などの課題も見受けられる。

(出典) 「新しい時代の学びに対応した学校施設を検討するための基礎的調査」(国立教育政策研究所文部施設研究センターが実施した抽出調査(令和2年9月24日 暫定値))等を基に文部科学省作成

参考 29/92

出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（令和4（2022）年）参考資料」より抜粋

〈バリアフリー法に基づく建築物移動等円滑化基準，建築物移動等円滑化誘導基準の例〉

出入口

○主な基準

	義務基準	誘導基準
出入口の幅	80cm以上※1	90cm以上※2

※1 高齢者、障害者等が利用する居室等に至る1以上の経路に係る基準

※2 直接地上に通じる出入口は120cm以上

廊下等

○主な基準

	義務基準	誘導基準
廊下の幅	120cm以上※1	180cm以上※2

※1 高齢者、障害者等が利用する居室等に至る1以上の経路に係る基準

※2 廊下の状況により緩和・適用除外あり

傾斜路

○主な基準

	義務基準	誘導基準
手すり	片側設置※1	両側設置※1
傾斜路の幅	120cm以上※2	150cm以上※2

※1 低位部分は適用除外

※2 傾斜路の状況により緩和・適用除外あり

エレベーター及びその乗降ロビー

○主な基準

	義務基準	誘導基準
出入口の幅	80cm以上※1	90cm以上※3
かごの幅	140cm以上※1・2	160cm以上※3
乗降ロビーの広さ	150cm角以上※1・2	180cm角以上※3

※1 高齢者、障害者等が利用する居室等に至る1以上の経路に係る基準(適用除外あり)

※2 2000㎡以上の建築物における不特定多数の者が利用するものに限り

※3 不特定多数の者が利用するもので必要階に停止する1以上のものに限り

便所

○主な基準

	義務基準	誘導基準
車いす使用者用便所の数	建物に1以上	各階に原則2%以上
オストメイト対応水洗器具を設けた便所の数	建物に1以上	各階に1以上

※その他以下の施設に係る基準がある。

- ・階段
- ・ホテル又は旅館の客室
- ・敷地内の通路
- ・駐車場
- ・標識
- ・案内設備
- ・浴室等

出典：国土交通省「建築物のバリアフリー化に係る制度の概要」より抜粋

3-4-2. インフラ系施設

(1) 上水道施設

①施設概要

本市の上水道施設は、主に管路と水源地施設で構成されています。

管路については、会計処理上の法定耐用年数である 40 年を経過したものは全体の約 13.8%（令和 4（2022）年度末時点）ですが、実際の老朽度合いを踏まえて策定した更新計画に沿って、老朽化対策を適切に行っていくことが必要となります。

老朽化対策や各施設の更新を想定した場合、「柏市水道事業ビジョン（中間見直し版）」の財政計画において、令和 3（2021）年度から令和 7（2025）年度の 5 年間は、平均 40 億円/年の建設改良費が必要となることが見込まれています。

表3 保有量

管種別管路延長（令和 3（2021）年度）

管種			管路総延長(km)		耐震化済管路延長(km)		耐震化率	
				構成比		構成比		
配水管	口径400mm未満		1,395.5	96.0%	455.4	94.8%	32.6%	
	口径400mm以上		32.5	2.2%	14.7	3.1%	45.2%	43.0%
導水管		基幹 管路	15.9	1.1%	7.5	1.6%	47.3%	
送水管			9.6	0.7%	2.7	0.6%	28.2%	
基幹管路合計			58.0	4.0%	24.9	5.2%	43.0%	
合計			1,453.5	100%	480.4	100%	33.0%	

②施設の状況

〈老朽化状況〉

上水道の施設（土木構造物、建築物、機械・電気設備等）や管路の多くは、人口急増期に建設されており、建設から 30 年以上を経過したものが多く存在しているため、市民生活の基盤となる重要なライフラインとして、安全な水を安定して供給していくための適切な維持管理が今後ますます重要になっていきます。

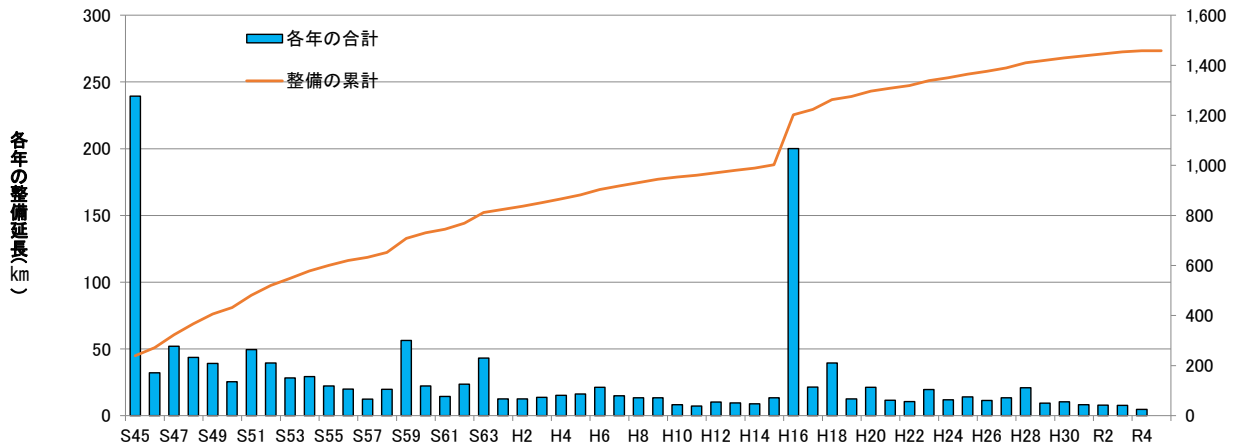
法定耐用年数による更新は使用実態を考慮すると現実的ではなく、また、必要以上に過大な費用負担を伴います。このため、施設の健全性を確保しながら計画的に更新を進めるため、施設・管路の種別ごとに、使用年数の実績や使用環境、劣化状況等を踏まえた市独自の更新基準年数を設定しています。これに基づきアセットマネジメントを実施することによって、中長期の更新需要を算出し、財政計画に反映させています。

このほか様々な経営努力により、令和 40（2058）年頃までは健全な経営のもと、適切に維持管理を行うことが可能な見通しですが、人口減少等の環境変化による水需要の減少が想定を超えるスピードで進むと、これよりも早い時期に経営改善のため料金改定が必要になることも考えられます。

〈その他の課題〉

市北部において人口増加により水需要が伸びている地域については、施設を再拡充する検討が必要です。

図 23 これまでの整備状況



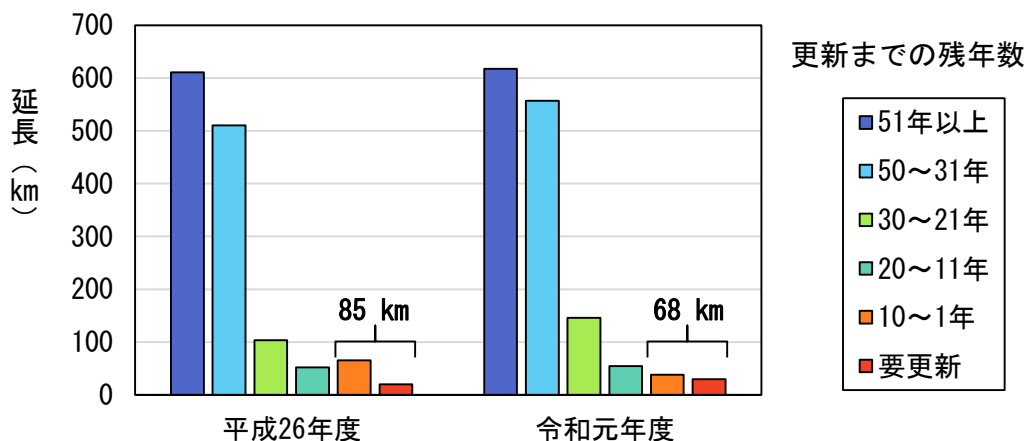
③施設管理の方針

国の「新水道ビジョン」では、将来の水道の理想像を実現するために、「強靱」・「安全」・「持続」の3つの観点から課題抽出や推進方策を具体的に示していくことが記されています。柏市においても、基本理念を実現するための重点的な実現方策を、前述の3つの観点ごとに整理し、基本目標として定めました。

④重点的に取り組む事項とこれまでの実施状況等

管路の老朽化は日々進行しますが、柏市水道事業ビジョンに基づき適切に更新を進め、老朽化に伴う劣化や不具合の発生を防いでいます。水道管の種類によって実際に使用可能な年数が異なることを踏まえ、5年間の管路の経年化の状況の変化について、更新までの残年数ごとの延長を示しています。計画的に管路更新を進めたことで、今後10年間に更新が必要な管路は、令和元（2019）年度時点で平成26（2014）年度時点の85kmから68kmまで減少しました。

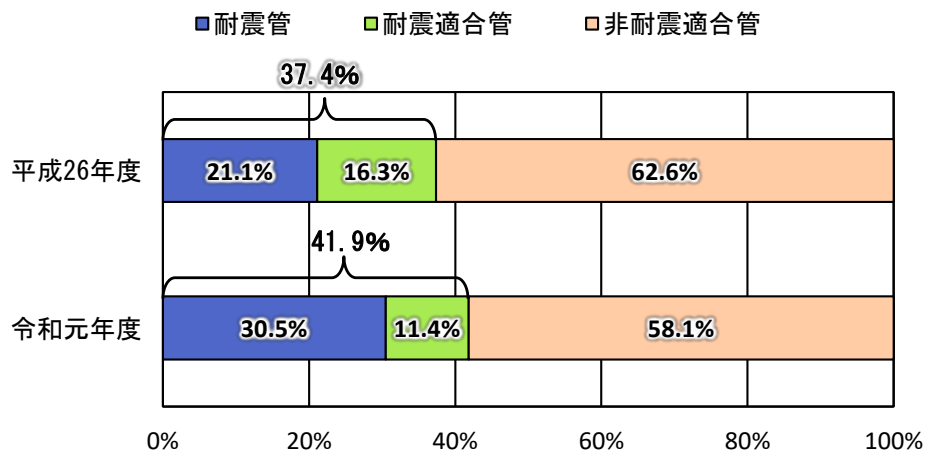
図 24 管路の更新までの残年数（令和元（2019）年度時点）



※更新までの残年数=更新基準年数-布設からの経過年数

また、管路の更新時等に耐震管への布設替を行うことにより、管路の耐震化率は年々向上しており、令和元（2019）年度末までに、30.5%（耐震適合管を含む割合では41.9%）となりました。

図 25 管路全体における耐震管と耐震適合管の割合（令和元（2019）年度時点）



出典：柏市水道事業ビジョン中間見直し版（令和3（2021）年4月）

（2）下水道施設

①施設概要

本市の公共下水道管路延長は、令和5（2023）年度末で1,348kmです。現在（令和5（2023）年度末）の下水道処理人口普及率は90.9%となっています。

また、下水道施設は、篠籠田貯留場及び柏ビレジ排水ポンプ場の2か所があり、それぞれ、昭和40年代、50年代に整備されました。なお、篠籠田貯留場は令和7（2025）年度より建替工事、柏ビレジ排水ポンプ場の耐震化が今後必要であることが確認されています。

表4 保有量

	汚水			雨水幹線	合計
	手賀沼 処理区	江戸川左岸 処理区	計	全処理区 計	
着手時期	S47.3	S63.3	-	-	-
供用開始時期	S56.4	H3.1	-	-	-
整備延長(km)	1,149.0	59.9	1,208.9	139.1	1,348.0

施設名	敷地面積	建設年次
篠籠田貯留場	9,237m ²	S46.3～S48.9
柏ビレジ排水ポンプ場 (雨水の調整池)	1,516.94m ²	S54:事業者施工 S55:柏市帰属

②施設の状況

〈老朽化状況〉

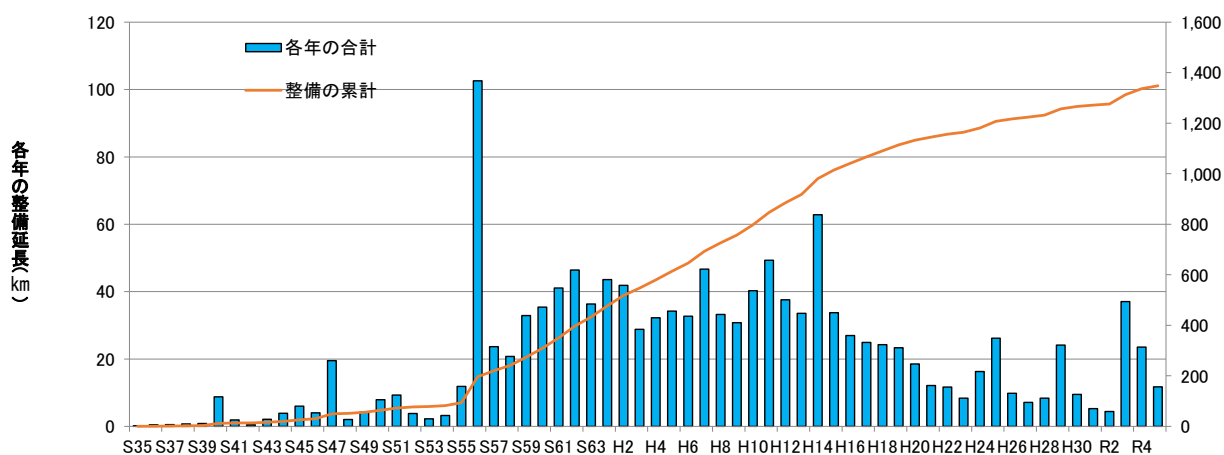
現在（令和5（2023）年度末）は、50年を経過した下水道管路延長は約220.1kmですが、今後は50年を超えて老朽化した管路が急増すると想定されます。

下水道施設についても、昭和40年代、50年代に整備された施設であり、今後、施設の老朽化による、修繕・更新需要が増大する見込みです。

〈その他の課題〉

浸水対策、地震対策、合流式下水道の分流化等への対応が必要です。また、将来的には使用料収入が減少（水需要量の減少）する見込みとなっています。

図 26 これまでの整備状況



③施設管理の方針

柏市下水道事業の将来像を「施策」、「経営」の観点から整理し、柏市総合計画を踏まえた上で「経営理念」、「基本方針」を次のように設定しました。

〈経営理念〉

下水道サービスを将来にわたり安定的に提供する。

〈基本方針〉

快適・環境：市民のみなさまの快適な生活を支えるとともに、未来につなぐ豊かな水環境の保全と環境に優しい循環型社会の推進に貢献します。

安心：安全で安心できる暮らしを守ります。

持続：健全経営のもとで施設の機能を維持し安定した事業経営の持続性を確保します。

④重点的に取り組む事項とこれまでの実施状況等

令和2（2020）年度において、「中長期経営計画」の後期5か年分（令和3（2021）年～令和7（2025）年）を改訂し、下水道サービスの将来的な安定提供に向けて、事業進捗と財務健全化の両面において目標を設定しました。改訂作業の中で、中長期的な収支シミュレーションを基にした使用料改定の必要性を、外部委員で構成される経営委員会場で検討した結果、コスト縮減や新型コロナの影響も踏まえて継続審議となったところです。

令和4（2022）年度において、「下水道ストックマネジメント計画」を改訂し、令和3（2021）年～令和7（2025）年の改築実施計画を定め、「柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託」（以下、柏管路包括委託）（令和4（2022）年1月～令和10（2028）年1月）はストックマネジメント計画における主要事業となっています。

柏管路包括委託では、施工管理・監督、点検調査業務及び改築業務を一元化して発注しています。委託発注の効果として、職員4人の人件費削減や業務をパッケージ化することで年間約1億円の費用削減効果や民間ノウハウの活用により、下水道サービスの向上が見込まれています。令和6（2024）年3月時点で、柏管路包括委託の全体進捗は12%（事業費ベース）です。

「長期経営計画」（令和3（2021）年3月）における老朽化対策事業費は、ポンプ施設の老朽化対策なども含め令和7（2025）年度までの5年間で約76億円を予定しています。

雨水（浸水）対策、総合地震対策計画、下水道施設の老朽化対応については継続して実施していきます。また、このほかに、未普及地域の下水道整備、手賀沼の汚濁負荷削減のための合流区域の分流化、下水熱利用についても検討を進めます。

（3）雨水排水施設

①施設概要

本市は、公共下水道（雨水）以外にも、排水路（約61km）や雨水ポンプ（電気施設及び機械施設）、雨水調整池などの雨水排水施設を保有しています。また、2級河川に準じた準用河川として、上大津川、上大津川支川、諏訪下川も管理しています。

- 水路施設（開水路）：約61km
- ポンプ施設（電気施設）：36か所
ポンプ施設（機械施設）：71基
- 雨水調整池：147か所

表5 保有量

	保有量	備考
管路	総延長409km マンホール:13,981個	(土水路, 小規模開渠, 約40kmを除く)
調整池	147か所	
学校貯留施設	9か所	
雨水ポンプ	36か所 71基	
樋管	24か所	(利根川1か所, 利根運河2か所, 手賀沼2か所, 大津川19か所)

②施設の状況

〈老朽化状況〉

多くの施設は、公共下水道を整備するまでの暫定施設のため、費用対効果の観点から破損後に修繕（事後保全）をしてきましたが、設置後の経過年数が長期化したため、一部を不具合発生前に対応する予防保全へと管理方法の見直しを進めています。

雨水調整池と多くの排水路は、標準耐用年数が50年の土木（コンクリート）施設ですが、雨水調整池の約3分の1、排水路の4分の3以上が平成元（1989）年までに設置され、老朽化が進行しています。ポンプ施設は、定期的な保守点検により正常稼働を維持していますが、耐用年数を超過している機械施設もあり、不具合発生前に対応する必要性が高まっています。

③施設管理の方針

計画対象の調査方法の確立等により、劣化状況の把握や不具合の発生時期の予測が可能な施設は、設備の状態に応じた予防保全を実施します。劣化状況の把握や不具合の発生時期の予測が困難な施設は、一定の周期（目標耐用年数など）ごとに対策を行います。

④重点的に取り組む事項とこれまでの実施状況等

すべての雨水排水施設を再整備した場合の費用は高額となることが想定されるため、暫定施設と位置付けられる雨水排水施設は、施設自体を状況に応じて整理し費用の縮減を図っていきます。

また、小規模な開発において整備された小規模な雨水調整池や暫定的なポンプ施設などについては、施設の稼働状況や公共下水道の整備状況などを踏まえつつ、施設の統廃合を図ります。

併せて、道路と宅地との間に設置されている水路施設（開水路）については、当該水路施設（開水路）及び道路を、道路下に水路施設（暗渠）を設置した道路として整備し直すことで、周辺住民の利便性と安全性の向上なども図っていきます。

（４）道路施設

①施設概要

本市が管理している道路は、令和5（2023）年9月末日現在で、延長（実延長）1,446km、面積約873haに及びます。また、道路率（市域面積に対する道路面積の割合）は7.6%、舗装率（面積）は87.1%となっています。市が管理する道路の多くが幹線道路（1級・2級）以外の道路であり、全体に占める割合は延長（実延長）で82.1%、面積で69.1%を占めています。

表6 保有量

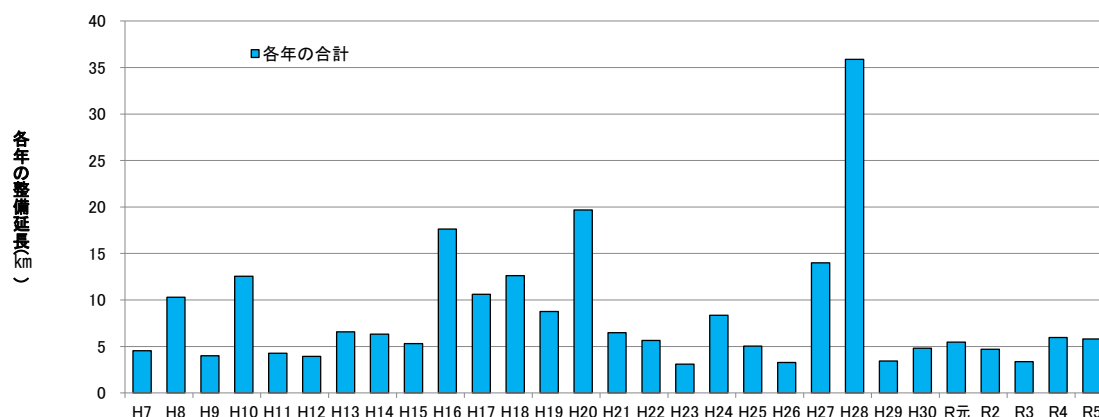
	1 級	2 級	その他	自歩道	合計
路線数	172	153	8,138	109	8,572
実延長(km)	159	93	1,187	7	1,446
構成比	11.0%	6.4%	82.1%	0.5%	100.0%
面積(m ²)	1,879,411	781,848	6,033,797	39,065	8,734,121
構成比	21.5%	9.0%	69.1%	0.4%	100.0%

②施設の状況

〈老朽化状況〉

本市の道路は、高度経済成長期に大量に整備してきたため、近い将来、老朽化による維持管理費の増大あるいは更新需要が集中することが予想されます。今後は、安全で安心な道路環境を提供するとともに、ライフサイクルコストの縮減と平準化を図っていく必要があります。

図 27 これまでの整備状況



※平成 17(2005)年度に旧沼南町から引き継いだ路線は各年の整備延長に含まない

③施設管理の方針

本市では、「柏市道路維持修繕管理方針」を定め、今後の道路の維持修繕方針を定めています。

重要度の高い車道については、劣化状況の適切な把握に基づく予防保全型の維持管理を推進することで、維持管理コストの縮減を図る一方で、その他の道路施設についても、定期的に施設の健全度を把握し、計画的な維持管理を実施し、また、不要不急な道路附属施設等については、廃止等も含めて維持管理を行うなど、施設の重要度や施設特性を踏まえ、施設に応じた適切な維持管理を実施する方針です。

④重点的に取り組む事項とこれまでの実施状況等

ライフサイクルコスト縮減の具体的な取組としては、道路を構成する各施設の特性に応じた適切な維持管理を行う必要があるため、方針に基づき、①車道の舗装、②重要構造物、③歩道舗装・街路樹等、④道路排水施設、⑤道路附属物の分類別に、それぞれの特性に応じた効率的で効果的な維持管理を推進していきます。

(5) ^{きょうりょう}橋 梁 施設

①施設概要

本市では、181 橋の橋梁を管理しています。このうち、橋長 15m未満の短い橋梁が 102 橋

で、56.4%を占めています。構造別内訳を見ると、PC橋やBOXカルバート等のコンクリート構造の橋梁が全体の65.2%を占めています。

表7 保有量

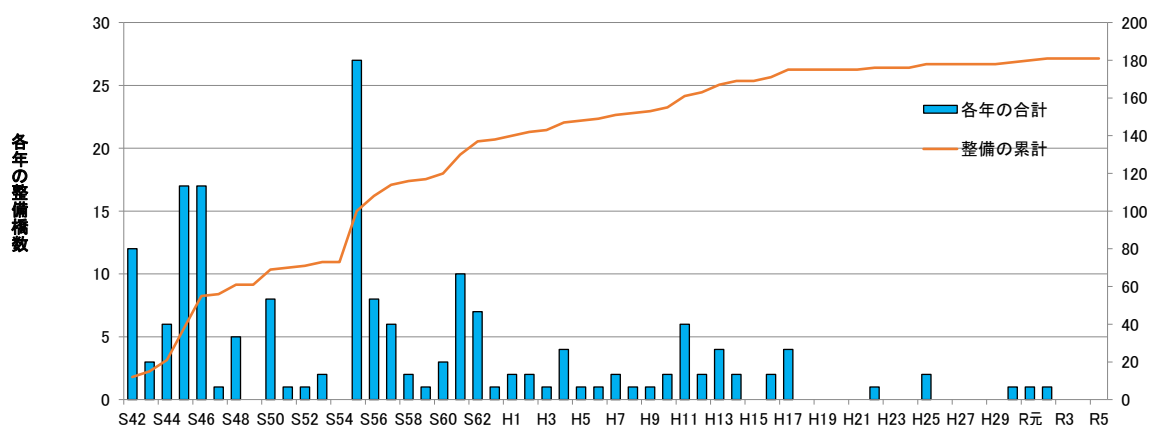
橋梁区分	橋梁形式	橋長		小計	交差条件					小計	バス路線
		15m未満	15m以上		鉄道	高速	国道	道路	河川		
道路橋	鋼橋	9	24	33	5			1	27		1
	PC橋	24	19	43	3	2		1	37		3
	RC橋	13	2	15		2		1	12		
	BOXカルバート	53	1	54				3	51		5
	小計	99	46	145	8	4	0	6	127	145	9
人道橋	鋼橋	3	27	30	17		3	7	3		
	PC橋		2	2					2		
	RC橋		4	4		1		3			
	BOXカルバート			0							
	小計	3	33	36	17	1	3	10	5	36	0
(歩道橋)	鋼橋		(8)	0	(1)		(1)	(5)	(1)		
	PC橋			0							
	RC橋		(3)	0		(1)		(2)			
	BOXカルバート			0							
	小計	(0)	(11)	0	(1)	(1)	(1)	(7)	(1)	(11)	(0)
合計		102	79	181	25	5	3	16	132	181	9

※人道橋の項目に歩道橋を含む。

②施設の状況

橋梁の架設年の分布を見ると、昭和40年代、50年代に作られた橋梁が多くなっていることから、近い将来老朽化対策を講じる必要のある橋梁が複数発生することが想定されます。

図28 これまでの整備状況



③施設管理の方針

橋梁等については、劣化状況の適切な把握に基づく予防保全型の維持管理を推進することで、維持管理コストの縮減を図る一方で、その他の施設についても、定期的に施設の健全度を把握し、計画的な維持管理を実施し、施設の重要度や施設特性を踏まえ、施設に応じた適切な維持管理を実施する方針です。

④重点的に取り組む事項とこれまでの実施状況等

「柏市^{きょうりょう}橋梁維持管理計画」に従い、修繕を進めると共に、定期点検を実施し、その結果を用いて計画の修正を行います。さらに、今後新たに開発される技術、工法についても採用を検討し、より効果的、経済的な修繕を行うこととします。

また、今後の橋梁修繕は、周辺動向や財政状況を勘案しつつ、必要に応じ内容を見直しながら進めます。また、東日本大震災のような大規模地震に耐え得る性能まで高める「耐震補強」を併せ、計画的、効率的に事業を行っていきます。

(6) 公園施設

①施設概要

本市は 741 か所の公園や緑地等を管理しており、総面積は 207ha に及びます。そのうち、都市公園が 664 か所で、その中でも街区公園が 534 か所あり、全体の 80.4%を占めています。面積別に見ると、街区公園が 46.1ha と全体の 24.7%を占めているほか、総合公園が2か所で 34.3ha、緑地が 71 か所で 39.7ha、近隣公園が 17 か所で 37.4ha となっています。

表8 保有量

	名 称	箇所数	面積(ha)
都 市 公 園	街区公園	534	46.16
	近隣公園	17	37.42
	地区公園	3	12.79
	総合公園	2	34.28
	広域公園	0	—
	特殊公園	3	9.78
	緑地	71	39.68
	緑道	34	6.39
	計	664	186.5
そ の 他	児童遊園	10	1.49
	子供の遊び場	27	3.25
	みどりの広場	8	2.25
	市民緑地	5	3.32
	特別保全地区	8	7.71
	未公告	17	0.75
	その他	2	2.05
	計	77	20.82
合計		741	207.33

上記のうち、柏市公園施設長寿命化計画の計画対象公園

箇所数	面積(ha)
299	134

②施設の状況

本市では都市化の急激な人口増加に伴い整備された多くの公園施設について、通常の維持管理費とは別に今後莫大な修繕費用が掛かることが予想されることから、予防的保全的管理を行い、安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減を考慮して計画的な改築等に取り組み、施設の長寿命化を図ります。なお、現在、長寿命化計画として整理している施設は、遊具及びトイレのみとなっています。

令和6(2024)年度の都市公園 539 か所を対象に実施した遊具の健全度調査の結果を見ると、健全とみなされるA・B判定が全体の約6割を占めており、何らかの補修が必要なC判定や早急に更新・利用禁止措置の必要なD判定は約4割となっている状況です。

③施設管理の方針

現在、維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検を随時実施しています。今後は、施設の劣化及び損傷の早期発見を行うために、状態監視保全の考え方に基づく維持管理が必要であると考えています。

また、遊具の異常が発見された場合は、使用を中止し事故等を予防します。さらに合わせて、健全度調査を実施し、修繕、もしくは更新を判定します。

その他にも、公園内の清掃等について、市による実施のほかにも、町会やNPO団体等によるアダプトプログラムの活用を推進する方針です。

④重点的に取り組む事項とこれまでの実施状況

一部の公園内の施設は、利用状況や劣化状況を踏まえて、廃止の方向で検討していきます。指定管理者制度を導入している施設については、制度に基づいた業務の進捗管理や指定管理料の見直しなど、維持管理・運営の改善や効率化を進めます。

存続させる施設については、日常的な点検や定期的な修繕に加え、中長期的な計画に基づく大規模修繕等を実施すること（計画的な保全）により長寿命化を図ります。

柏市が管理する都市公園施設（修景施設、休養施設、運動施設、便所、遊戯施設）について、予防保全の観点も踏まえながら、施設点検や維持補修等の取組を行っていきます。

3-5. 有形固定資産減価償却率の推移

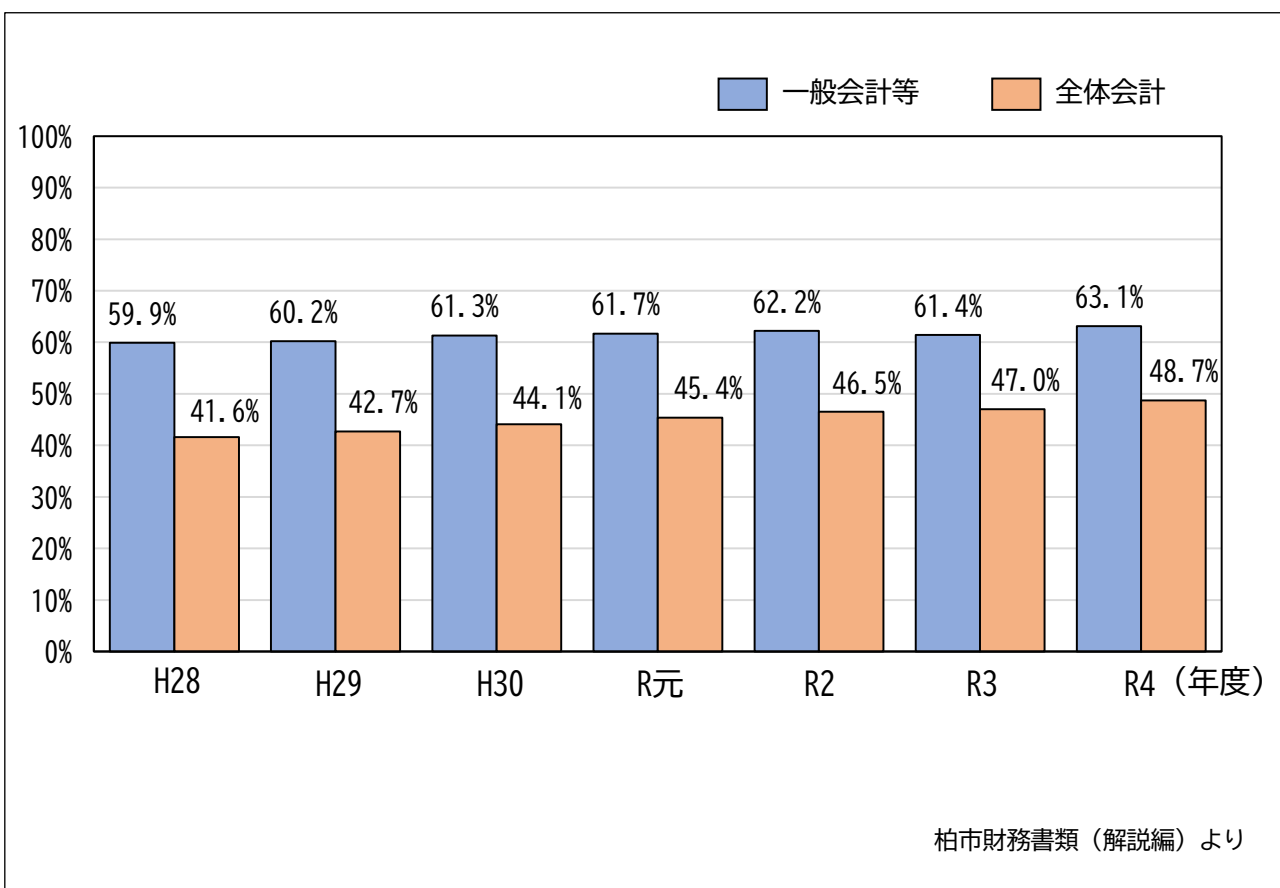
有形固定資産減価償却率は、所有する償却資産の取得価額に対する償却の進捗割合を測ることで、資産が耐用年数に対してどの程度経過したかを測る指標です。割合が高い程、資産の老朽化が進んでいるということになります。全体会計は、インフラ系施設の水道事業や下水道事業なども含んだ場合の数値となっています。

一般会計及び上下水道を含む全体会計ともに数値の上昇が見られ、老朽化が進んでいることがわかります。

【計算式】 減価償却累計額 ÷ (有形固定資産(※) - 土地 + 減価償却累計額)

※物品及び建設仮勘定は除きます

図 29 有形固定資産減価償却率の推移



3-6. 建築物系施設のライフサイクルコスト試算

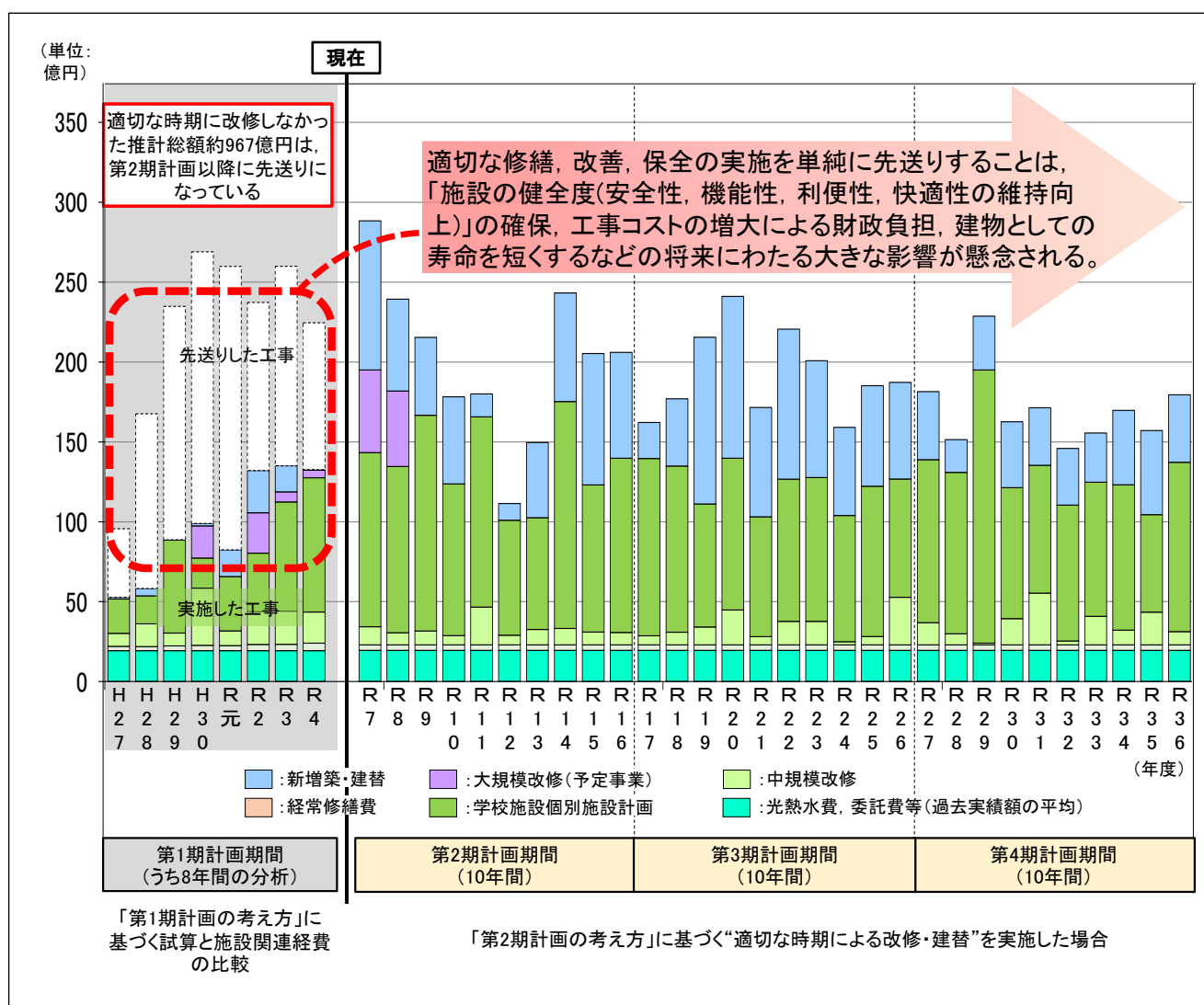
3-6-1. 施設整備の維持・更新コストと今後の方向性

平成27（2015）年度から令和4（2022）年度までの施設の維持管理にかかった全体費用は総額約779億円、年平均約97億円です。新たな建築物の建築や既存建築物の建替以外では、耐震補強工事や屋上防水の更新、外壁改修、設備の更新を実施し、劣化した部位の機能回復を進めました。その他に、トイレ改修やLED化等の部位改修を実施しています。

本市の建築物系施設の状況を見ると、屋上防水や外壁の劣化対応、設備の更新など、安全確保や施設の運営に必要な内容に限定した工事を優先し対応してきたことにより、建物内部の劣化や使い勝手の課題、例えばバリアフリー化の対応不足などが多く残っている状況です。

長寿命化改修を適切な時期に実施する想定での維持・更新コストの試算と比較すると、第1期計画期間中に未実施の工事が存在し、これらが第2期計画以降に先送りにされている状況になります。適切な改修を実施せず、内部の劣化や使い勝手の課題が残ったまま老朽化が進行している建物は、長寿命化改修費が高額になったり、長寿命化しても長く建物を使うことが困難になるなど、将来にわたる大きな影響が懸念されます。

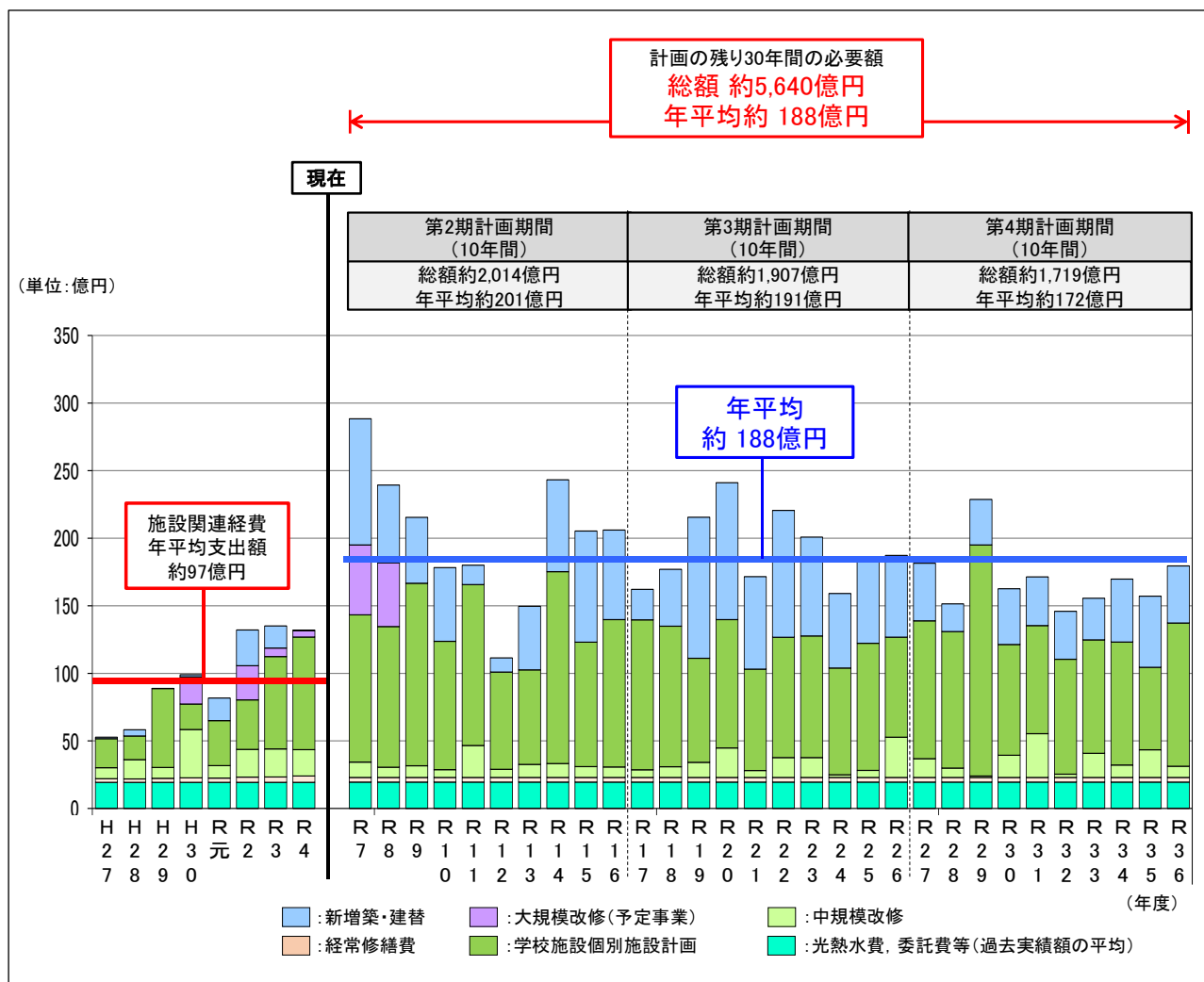
図 30 本市のこれまでの施設整備状況



※今後の個別施設ごとの計画等により変動の場合あり

第2期計画以降において、効率的に施設の維持更新を行い、老朽化した建物を建替えると仮定して維持更新コストを試算すると、計画の残り期間である30年間で総額約5,640億円、年平均約188億円となります。

図 31 維持更新コスト



※今後の個別施設ごとの計画等により変動の場合あり

第4章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する 基本的な方針

4-1. 公共施設等の管理に係る基本方針及び目標

4-1-1. 建築物系施設の管理に係る基本方針

市の建築物系施設の目標使用年数を、公共施設については建築後60年間、ただし学校については建築後80年間を原則とし、更新（建替、改修、廃止等）時期の目安とします。

本計画では、建築物系施設の目標使用年数、現状及び課題を踏まえ、「施設機能の再編と総量の適正化」、「施設の計画的・予防的な適正保全の実施」及び「財産の活用と管理運営費の縮減」の3つの基本方針を定め、公共施設の縮充を進めます。

《建築物系施設の目標使用年数の考え方》

総合管理計画における建築物系施設の目標使用年数は、個別施設ごとの実情に合わせ、適宜点検結果に基づく適切な修繕、改善、保全を行った上で次のとおりとします。

- 公共施設は、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会著）により示された“鉄筋コンクリート造の普通の品質の建築物の目標耐用年数の代表値（平均値）60年”を参考に、目標使用年数を建築後60年間に設定する。
- ただし学校は、「柏市立学校施設個別施設計画」に基づき、昭和46（1971）年以前に建設した校舎以外は、整備時期の集中や財源の平準化を図るため、原則築40年の長寿命化改修の実施により、目標使用年数を建築後80年間に設定する。※

建物の望ましい目標使用年数は、構造種別や建築物の品質により異なります。また構造^{くたい}躯体の物理的耐用年数は、施工時の状況やその後の使用状況及び立地環境から、建物によっても異なります。そのため、目標使用年数は、更新（建替、改修、廃止等）時期の目安となるものですが、更新に当たっては、目標使用年数を踏まえ、建築後の改修経緯、施設の現況、経済性、更新手法等といった観点から個別施設ごとに十分な検討を行う必要があります。

※当該計画は、令和6・7（2024・2025）年度で見直しをかけており、目標使用年数についても見直しを実施する予定。

「適切な修繕、改善、保全の実施の必要性」

適切な修繕、改善、保全の実施が出来なければ、多くの部位に改修が必要となることで工事コストが増大し、また、適切な時期に改修しないことで建物としての寿命が短くなり、早期の建替が必要になることもあります。柏市においても、第1期計画期間中の修繕、改善、保全等の実施状況から、同様の状況が予想されます。

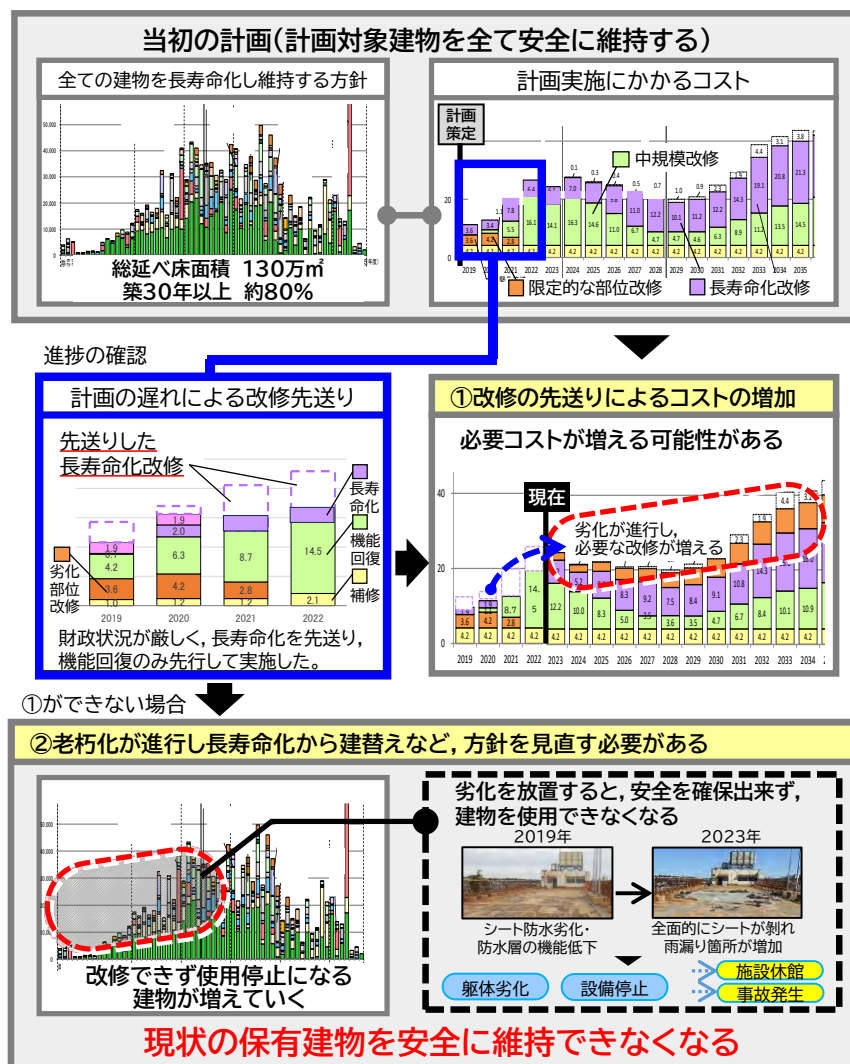
【参考コラム】 修繕・改修の積み残しの増加による弊害

個別施設計画策定後の状況の変化により、本来実施する予定だった建物の修繕や改修が実施できなかった場合、積み残しとして実施を先送りすることになります。

積み残した分が先送りされると、元々の修繕計画や他の施設の改修計画と重なり、後年度の財政負担が膨らむため、対策がさらに先送りになる等、進捗に大きな支障が生じます。

対策がさらに先送りされることで、建物の劣化が進み、安全上問題が生じたり、長寿命化できたはずの建物を建替えに方針転換せざるを得なくなるなど大きな影響が懸念されます。このような問題が生じないように、施設基本情報の継続的なデータ更新を行い、計画を見直し、実行性のある詳細な予算計画を組み立てることが必要です。

〈積み残しの増加例〉



文部科学省：学校の適正規模・適正配置及びより良い教育環境の実現に向けた部局横断的な検討体制による学校施設に係る計画策定事例に関する調査報告書P64より抜粋

基本方針１：施設機能の再編と総量の適正化

柏市の人口１人当たりの建築物系施設の延床面積は、中核市の平均と比べて低い水準にあり、「中核市として求められる行政サービスの提供場所として、建築物系施設が少ない」と考えることも可能です。しかし、他の自治体と同様、中長期的には少子高齢化に伴う人口減少社会の到来により、財政状況が厳しくなることが確実であり、今後の施設整備においては、さらなる効果的かつ効率的な取組が必要です。

そのため、現状の行政サービスが市民ニーズ（利用需要）に合っているか再検証を行い、さらに将来の市民ニーズ（利用需要）を見据えた施設整備のあり方に基づき、「量」の適正化と「質」の向上との両立による「縮充」を目指します。

（１）市民ニーズ（利用需要）に合わせた施設機能の再編

人口減少や人口構成の変化、社会環境の変化に伴い、市民の行政サービスに対するニーズは変化していきます。これに対して、建築物系施設で提供する行政サービスも変化していくべきですが、利用率が低下した施設が存在するなど、これまで必ずしも柔軟に対応してきたとは言えません。

さらに、地域によって人口動向の変動が大きく、同じ地域内でも増加傾向のエリアと減少傾向のエリアがあり、よりきめ細かな対応が必要となっており、今後の検討に当たっては、全市一律ではなく、地域ごとの特性に応じた機能再編により、変化に柔軟に対応していきます。

この場合、建築物系施設を単にハコモノとして捉えるのではなく、そこで提供されている行政サービスや活動に着目し、施設の持つ機能が利用者のニーズにあった質の高いサービス提供が可能となるように見直しを行います。例えば、近隣センターは、集会施設、体育館（室）、図書館分館等の機能を持つ複合施設ですが、全ての近隣センターに同様の機能を持たせるのではなく、地域のニーズに応じて利用度の低い機能は見直し、利用が多く見込まれる機能は新たに加えることなども検討します。

また、今後は、各施設・室場について、利用者数、利用率やコスト等の状況を的確に把握し可視化することで、利用者数の減少、利用率が概ね 50%未満、利用する年代層の変化といった市民ニーズ（利用需要）との乖離^{かいり}や、高コストの状況があると認められるときは、施設及び室場のあり方を含めた施設の運営見直しを検討します。

（２）施設総量の適正化

施設機能の再編と同時に、施設総量の縮減を図ります。施設の延床面積を減らしていくことにより、建築物系施設の大規模修繕や建替に伴う財政負担を抑制します。

一方で、人口推計によれば令和 17（2035）年までは人口が増加し、その後令和 37（2055）年頃までの人口減少は極めて緩やかであること、また少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化や高度化などへの対応のため、財政負担の抑制を図りつつ、施設機能の再編、再整備や新規整備等も行いながら市の特性に即した公共施設の適正な保有量の確保を目指します。

基本方針２：施設の計画的・予防的な適正保全の実施

市の建築物系施設を見ると、築 30 年以上の建物が多くを占めています。一般的に建物は建築から 30 年で外装や設備の劣化が急速に進行するとされており、目標使用年数の間、行政サービスの提供を安定的に継続していくためには、安全性、機能性、利便性及び快適性の維持向上といった施設の健全度の確保が必要です。これに対して、計画的・予防的な保全を適切に実施していくべきですが、歳出抑制を図ってきたことから、適切な時期、内容で実施できていない施設が存在するなど、必ずしもこれまで確実に対応してきたとは言えず、必要な保全が先送りになっている状態です。

また、今後も厳しい財政状況が見込まれる中、安定的な行財政運営を持続させるためには、工事の優先順位を定め、緊急性が高いものから優先的に実施していくことが必要です。

こうした課題に対応していくため、中長期的な市有建築物の保全について、基本的な考え方や方向性を示すものであり、全庁的に統一された考えの下に、計画的で効果的な維持管理を行うための指針となる「建築物等の保全に関する基本的な考え方」に基づき、建築物系施設の計画的・予防的な適正保全の実施を目指します。

（１）計画的・予防的な適正保全による健全度（安全性・機能性・利便性・快適性）の確保

公共施設の多くは市民が利用する施設であることから、日常的な点検を通して各部位の劣化の進行を的確に把握し、施設の保全を計画的・予防的に行うことにより、最優先として施設の健全度（安全性・機能性・利便性・快適性）の確保を図ります。

（２）計画的・予防的な適正保全による財政負担の抑制・平準化

点検を通して継続的に施設の劣化状況を把握し、建物の適切な修繕、改善、保全を計画的・予防的に行うことにより、突発的な改修費用の発生を防ぎ、財政負担の抑制・平準化を図ります。

（３）保全の優先順位の検討・設定

限られた予算の中で建物の計画的・予防的な適正保全を行うために、優先順位を定めたメリハリのある保全の実施を図ります。

基本方針３：財産の活用と管理運営費の縮減

今後も厳しい財政状況が見込まれる中、建築物系施設の整備に振り向ける限られた財源を確保するため、柏市第六次総合計画や各公営企業の事業方針との整合を図りつつ、市有財産の活用と、民間活力の活用や受益者負担の適正化などによる管理運営費の縮減に取り組みます。

（１）市有財産の有効活用

土地や建物などの市有財産は、過去に市が事業を行う上で必要として取得したものであり、市民共有の財産です。

しかしながら、今後の財政状況を考えると、財産を保有することで発生する管理運営費等の負担を縮減していくことが必要となります。

これまでも未利用となった市有財産（土地・建物）の庁内活用による歳出の抑制、民間への売却や貸付による歳入の確保といった財源の確保において一定の成果をあげてきましたが、今後とも「保有する財産」から「活用する財産」へ発想を転換し、さらなる市有財産の有効活用による財源の確保を図ります。

（２）民間活力の活用及びＤＸの推進

建築物系施設の整備や管理運営などの事業を実施するに当たり、民間事業者の専門性を活用して行政サービスの向上及び事業の効率化（経費の縮減を含む）を図ります。このため、業務委託や指定管理者制度の活用などによる有効性が確認できる場合は、事業の外部化を進めます。また、民間事業者が実施主体となってサービスの提供ができる事業については、民営化を進めます。

また、ネット予約やキャッシュレス決済端末の設置、相談窓口のオンライン化など、事業におけるＤＸの推進により行政サービスの向上及び事業の効率化（経費の縮減を含む）を図ります。

（３）受益者負担の適正化

社会経済情勢の変化に合わせた市の役割分担の明確化、行政サービスを利用する方としない方との公平性の確保、効率的な事業運営による行政サービス提供経費の縮減などの基本方針を定めた「受益者負担の適正化基準」等に基づき、使用料等の見直しを行います。

4-1-2. インフラ系施設の管理に係る基本方針

基本方針

インフラ系施設は、市民生活や地域経済を支える重要な施設であり、廃止や統合を行うことは、都市構造自体を見直さなくてはならなくなり、厳しい財政状況の中であっても現実的ではありません。

そのため、当面は長寿命化対策を基本とし、「安全性の確保と中長期的なコスト管理」、「優先順位を定めた効率的な整備」及び「民間ノウハウ及び新技術の活用」の3つの基本方針を定め、インフラ系施設の適切な管理に係る取組を進めます。

基本方針1：安全性の確保と中長期的なコスト管理

インフラ系施設は、市民生活や地域経済を支える基盤であり、施設の安全性や信頼性の確保は非常に重要となります。

このため、予防保全型の維持管理手法を導入することにより長寿命化を実現して、施設の安全性の確保と中長期的なコストの縮減を図ります。

また、各施設の状況に応じたメンテナンスサイクルを構築することで、工事の実施時期を計画的に分散させることにより、費用負担の平準化を図ります。

基本方針2：優先順位を定めた効率的な整備

道路、^{きょうりょう}橋梁、上水道、下水道等の施設ごとに、劣化状況を把握するとともに、劣化の進みやすさや、機能が損なわれた際の社会的な被害（リスク）の大きさなどを勘案して管理水準を定めるなど、優先順位を設定し、効率的に維持管理、修繕、更新等を実施します。

基本方針3：民間ノウハウ及び新技術の活用

包括的な管理委託の導入による日常的な管理運営費用の縮減や、電気やガスなどの埋設民間インフラとの共同管理によるサービス提供等に係る費用の縮減など、より効率的な管理を行うため、民間事業者のノウハウの活用を図ります。

また、施設の維持管理や補修・補強等に当たっては、より高い耐久性が期待できる素材や構造等を用いるなど、より効率的かつ効果的に長寿命化に資する新技術の活用を図ります。

(1) 第1期計画における目標の考え方及び振り返り

第1期計画においては、建築物系施設の大規模修繕や建替で必要とされる事業費に対し、過去10年間に投資した実績とのギャップを解消するための様々な方策の1つとして、建築物系施設の総量（延床面積）の縮減を掲げ、「今後40年間で約13%縮減する」ことを数値目標としました。

その後、第1期計画期間中に、人口動態の分析に使用した将来人口推計が見直され、柏市の人口の増加ピークが後ろ倒し（令和7（2025）年から令和17（2035）年）になり、柏市公共施設等総合管理計画 第4期計画（以下、第4期計画）の計画期間終了時期の人口が上方修正されました（令和37（2055）年時点で388,264人から426,543人）。

結果として第1期計画においては、第1期計画策定時からの人口増加（平成26（2014）年から令和4（2022）年で約6.7%増）に伴い、必要な施設を整備する必要があったため、公共施設の保有量は増加（同約6.0%増）しました。

また、財政面では、建物の維持に必要な部位のみを限定的に修繕することや、緊急性等を考慮し保全計画上の優先順位を変更するなど、財政負担の抑制に努めてきました。

一方で、このことにより施設の保全面からは安全性、機能性、利便性及び快適性といった施設の健全度の確保において、適切な時期、内容で実施できていない施設が存在するなど、必ずしも確実に対応してきたとは言えず、今後、公共施設等の保全や更新のための費用の集中が見込まれます。

(2) 第2期計画における目標の考え方

第3章で述べたように、今後第4期計画の計画終了時点（令和36（2054）年時点）までに市の人口については減少することが見込まれており、また財政状況についても、人口減少や人口構成の変化の影響を受け、一層厳しさが増すと推計されています。

このことから、公共施設の総量については、今後抑制していくことを考えていく必要があります。しかし一方で、柏市第六次総合計画で定めた将来を見据えたまちづくりの目標の実現、災害対策の重要性の高まりや昨今の良好な教育環境の整備に対応するための老朽化した学校の建替など、持続可能な柏市を築いていくために必要な行政サービスは提供していくことが求められ、新たな施設整備が必要となることも想定されます。

このようなことを勘案し、本計画では第4期計画（令和36（2054）年度までの計画期間）までの全体目標として、「建築物系施設の整備については、人口動向や財政状況などを踏まえ、基本方針に基づく効果的かつ効率的な取組を進める。」こととし、中長期的・大局的なまちづくり及び行政経営の視点からも検証を行いながら、柔軟性を持って現実的な対応に取り組めます。

第5章 公共施設等に係る基本方針に基づく取組

5-1. 取組（手法、方針等）の検討における考え方

5-1-1. 評価項目と評価指標

施設が持つハード面（品質）とソフト面（供給・財務）の3つの視点ごとに、評価項目と評価指標を設定します。

表9 評価項目と評価指標

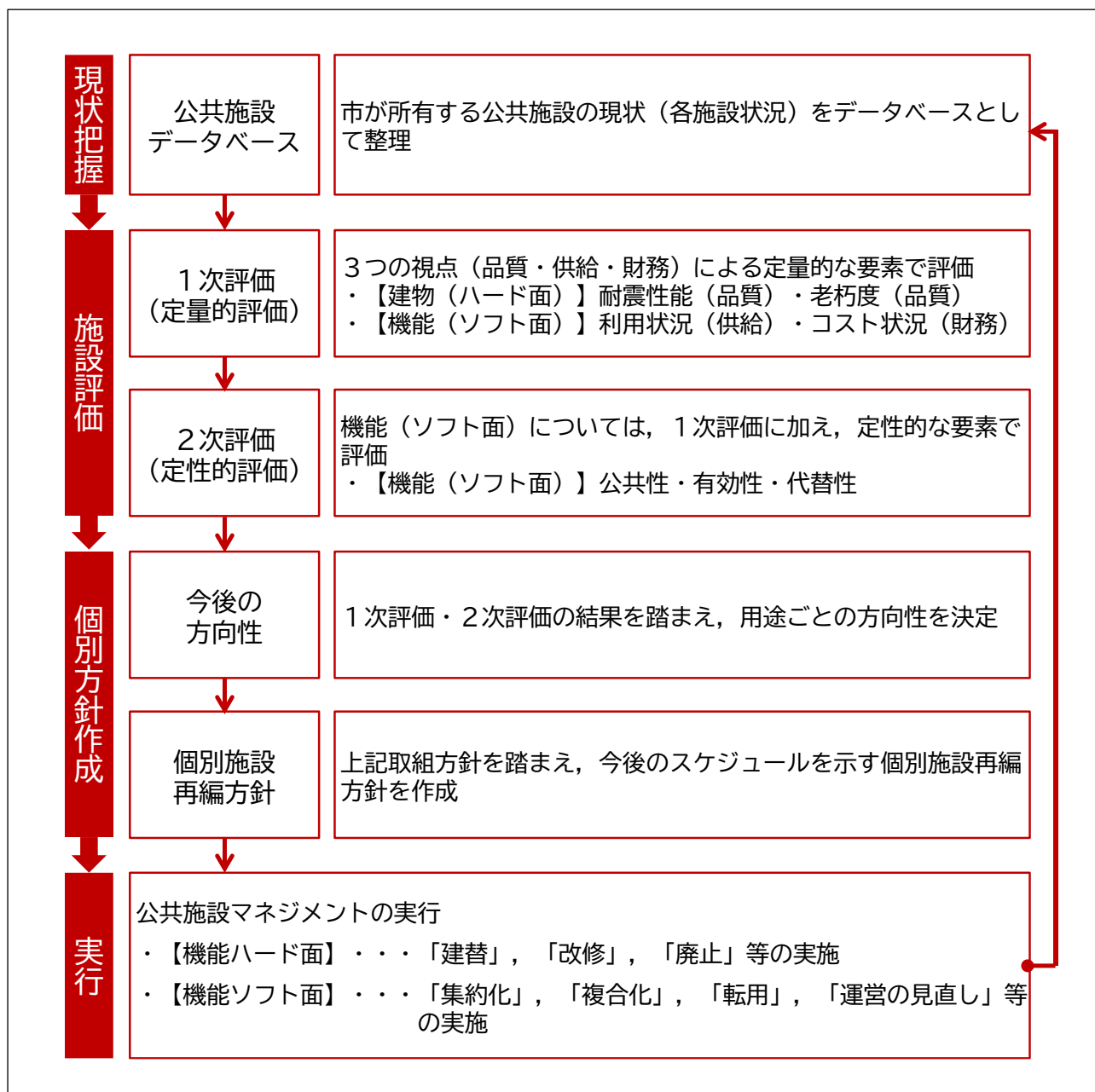
評価項目		評価指標	算出方法
ハード面	品質	1. 老朽化	①築年数（※） 建築後の経過年数
	供給	2. 利用状況	②稼働率等 a 利用コマ数÷年間利用可能コマ数（＝年間稼働率） b 利用者(件)数÷年間開館日数（1日当たり利用者(件)数）等
ソフト面	財務	3. コスト状況	③利用者1人当たりのコスト 支出合計（円）÷利用者数（人）
		④利用件数1件当たりのコスト	支出合計（円）÷利用件数（件）

※老朽化の評価は築年数で行っているが、更新（建替，改修，廃止等）の検討に当たっては，定期点検結果による劣化状況や過去の工事履歴等を評価の考慮に加える。

5-1-2. 施設評価のフロー

評価の手順としては、始めに施設の定量的な要素（1.老朽化／2.利用状況／3.コスト状況）を基に1次評価を実施します。次に定性的な要素（将来的な市民ニーズや代替施設の有無など）を勘案して2次評価を行います。最後に施設所管部署をはじめ関係部署との調整を経て今後の方向性を作成します。

図32 施設評価とその後の流れ



5-1-3. 1次評価（定量的評価）

今後の施設の適正化や再編を検討するに当たっては、まず、現状の施設の市民ニーズ（利用需要）を把握することが重要です。また、将来的な人口減少に伴う税収の減少等により、施設運営費にかけられる費用もますます厳しくなることが予測されるため、ニーズに応じた効率的な運営ができていくかについて、コストパフォーマンスの視点から評価を行います。

用途ごとに、「利用可能件数」と「利用件数」から「稼働率」，「利用者数」と「コスト」から「利用者1人当たりのコスト」などの評価を1軸として設定します。評価の軸は他にも「利用者数」，「入園率」，「学級数」などが考えられます。

もう1軸は、施設の築年数による老朽化状況から、早急に対処が必要な施設群と、保全の観点で優先順位が低い施設群を分類します。

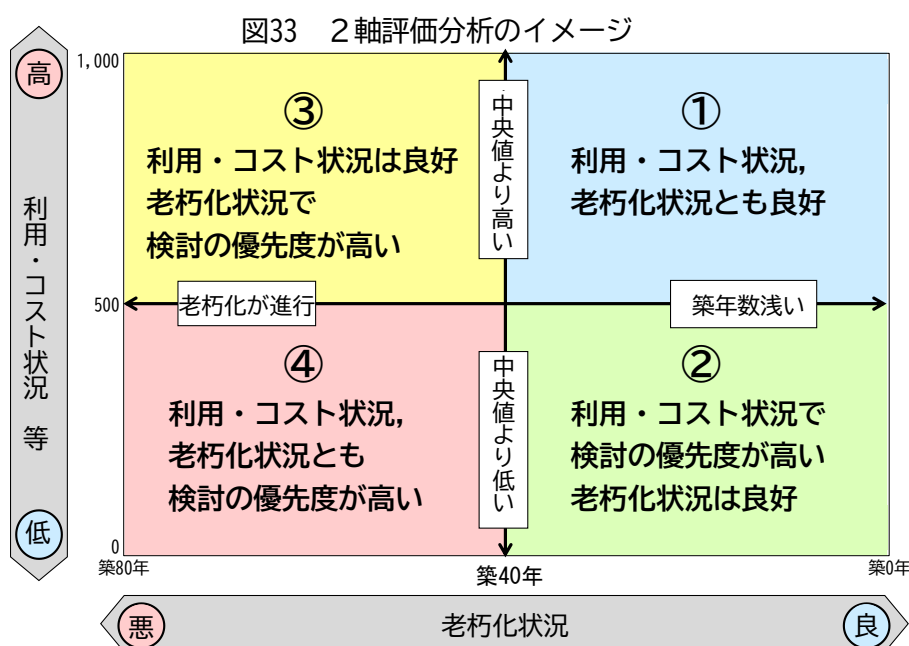


表10 2軸評価分析結果と方向性

分析結果	方向性
① 利用・コスト状況：高 老朽化状況：良	- 利用・コスト状況，老朽化状況ともに比較的良好な状態にある施設。 - 基本的には，現状のまま運営するが，適正配置の観点から集約化・複合化の受入先として機能再編の対象となる場合もある。
② 利用・コスト状況：低 老朽化状況：良	- 老朽化状況は比較的良好な状態にあるものの，利用が少ない，コストが高いなどソフト面で改善検討の優先度が高い。 - 適正配置の観点から，他の施設への転用や集約化・複合化の受入先として機能再編の対象となる。
③ 利用・コスト状況：高 老朽化状況：悪	- 利用・コスト状況は比較的良好な状態にあるものの，老朽化が進んでいるなどハード面で改善検討の優先度が高い。 - 改修または建替を行い，現状のまま運営する。または，他の品質の良い建物がある場合，機能移転を検討する。
④ 利用・コスト状況：低 老朽化状況：悪	- 老朽化が進んでいるなどハード面で検討の優先度が高い。改修または建替が必要な施設。 - 利用が少ない，コストが高いなどソフト面でも改善検討の優先度が高い。 - 集約化・複合化・転用などの機能再編と総量の縮減を優先的に検討する。

5-1-4. 2次評価（定性的評価）

2次評価では、政策的視点や義務的視点など量や数値で判断できない定性的な視点から、施設の必要性や課題などを確認します。利用状況等が数値で把握できない用途についても、定性的な視点からの評価で今後の方向性の検討を行います。

表11 定性的評価の評価視点

評価の視点	内容
政策的な重要度	同じ施設群（類型）において、サービスを提供するにあたり基幹となる機能を果たしているか。
行政関与の必要性	- 法令等により実施が義務付けられているか。 - 市民生活にとって欠かせない施設であるか。
当初の設置目的との整合性	- 設置目的の意義が低下していないか。 - 機能が当初の設置目的に即しているか。
利用状況（供給）	- 利用状況は適切か。 - 今後の利用状況の見込みはどうか。
コスト（財務）	- 維持管理費用は適切であるか。 - 維持管理コストの推移はどうか。
機能の代替性	- 同地区内（若しくは近隣）で、他の公共施設による機能提供の可能性 - 民間事業者による機能提供の可能性
建物（品質）	老朽化状況
施設の規模や配置状況	施設の規模や配置状況

5-1-5. 取組の手法

「5-2 建築物系施設」以降に記載される施設類型別方針の取組については、具体的な取組として、表12にある再編の手法の一覧より施設の方向性に合致する手法を選択または組み合わせることによって示します。

例1 取組：施設利用状況や建物^{くたい}躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。

⇒改修

例2 取組：大規模改修で更新した施設機器類が更新時期を迎える。費用対効果を考慮し、建築状況や立地条件から、大幅な機能向上は難しくアクセスにも課題があるため、中核市に相応しい規模で立地適正化の観点から適地に移転する。

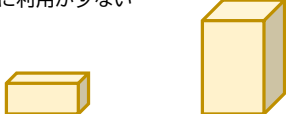
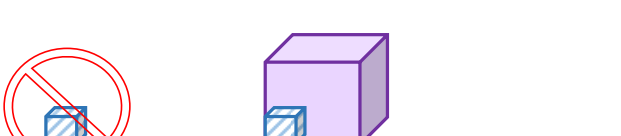
⇒移転＋廃止（既存施設）

表12 再編の手法

手法	主な内容
現状のまま存続	今後も継続して行政需要が見込まれる施設について、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により現状のまま存続すること。
改修	今後も継続して行政需要や建物の需要が見込まれる施設について、改修により長寿命化を図ること（一部、長寿命化を伴わない改修も記載あり）。なお、市民ニーズ（利用需要）に合わなくなっている施設については、快適で魅力ある施設に再整備する。
集約化	今後も継続して行政需要が見込まれるが、利便性を確保するためには移転や建替が必要な施設と、単体の施設として運営していくよりも、機能を他の施設へ集約した方が、より効率的で効果的な行政サービスの提供が見込まれる「同種または類似の施設」を統合すること。手法として、①一体の施設として再整備（建替）、②「同種または類似の施設」の受入、③既存施設を廃止し、他の「同種または類似の施設」に移転・集約化、の3つの手法がある。
複合化	今後も継続して行政需要が見込まれるが、利便性を確保するためには移転や建替が必要な施設と、単体の施設として運用していくよりも、機能を他の施設へ併設した方が、より効率的で効果的な行政サービスの提供が見込まれる「異なる種類の施設」を統合すること。手法として、①合築して複数機能を持つ複合施設として再整備（建替）、②「異なる種類の施設」の受入、③既存施設を廃止し、他の「異なる種類の施設」の転用可能なスペースに移転・複合化、の3つの手法がある。
転用	行政需要が低下傾向にある施設や、当初の設置目的に即さない利用がなされている施設、また、機能の転換により施設需要の増加が見込まれる施設について、他の施設用途へと改修し、新たな施設として再整備をすること。

廃止	目標使用年数を間近に控えて（または超えて）いる施設や、行政需要が低下傾向にある施設または機能を廃止すること。
移転	まちづくりの観点や、市民ニーズ（利用需要）を踏まえた観点から、現在地よりも他の場所に移した方が、より効率的で効果的なサービスの提供が見込まれる施設または機能について移転すること。なお、継続して需要が見込まれるが、都市整備等にあわせてやむを得ず移転が必要な場合も含む。
譲渡	既に運営を民間事業者委ねている施設（公設民営の施設）や、民間事業者に貸し付けている施設で、市が運営に関与するよりも、民間ノウハウを活用してより充実したサービスの提供が見込まれる施設について、当該民間事業者に譲渡すること。
除却	既に廃止されている施設（複合施設では、構成する全施設が廃止）や、不要となった建物について除却すること。
民間施設の活用	必要となる施設規模や設備、立地条件等を総合的に見極め、民間施設への入居が可能であり、公共施設を自ら整備するよりも、より効率的で効果的なサービスの提供が見込まれる場合について、民間施設の活用をすること。
主体の変更	事業の実施主体や、施設の管理運営主体について、指定管理者制度の導入、民営化等により、民間事業者によるサービスの提供が可能であり、かつ市が直接運営するよりも、より効率的で効果的なサービスの提供が見込まれる施設について、主体を変更すること。
新設、増築、拡大、建替、更新	地域の行政サービス機能の充実など、必要に応じて新たな施設の整備や、既存施設の増築または既存スペースの拡大を行うこと。なお、今後も継続して行政需要が見込まれる施設については、建替や設備の更新を行う。
縮小、削減、減築（ダウンサイジング）	未利用スペース、低利用なスペース、または使い方の見直し可能なスペースについて、転用をして規模を縮小するか、移転や建替のタイミングにあわせて規模の縮小や面積の削減を図ること。なお、施設内に未利用や低利用な建物及びスペースがあり、構造的に減築や除却が可能であれば、改修のタイミングにあわせて実施する。

図34 集約化・複合化・転用のイメージ

手法	取組イメージ	
	実施前	実施後
集約化 (建替統合)	 A 近隣センター (延床面積：800㎡) B 近隣センター (延床面積：800㎡)	 廃止 廃止 C 近隣センター 集約後施設 (延床面積：1,200㎡)
	既存の同種又は類似の公共施設を統合し、 <u>一体の施設</u> として再整備（ <u>建替</u> ）する手法です。	
集約化 (機能集約)	A 近隣センター，B 近隣センター ともに利用が少ない  A 近隣センター (延床面積：600㎡) B 近隣センター (延床面積：1,200㎡)	 廃止 B 近隣センター (延床面積：1,200㎡) B 近隣センターの余剰スペースで， A 近隣センターの行政サービスが まかなえると判断された場合
	既存の同種又は類似の公共施設で， <u>1 施設に機能集約が可能と判断された場合</u> ， <u>一方の施設を廃止して統合</u> する手法です。	
複合化 (建替合築)	 児童センター (延床面積：800㎡) 老人福祉センター (延床面積：800㎡)	 廃止 廃止 児童センター 老人福祉センター 複合施設（他世代交流施設） (延床面積：1,200㎡)
	既存の異なる種類の公共施設を合築し， <u>これらの機能を有した複合施設</u> として再整備（ <u>建替</u> ）する手法です。	
複合化 (用途変更)	 こどもルーム (延床面積：400㎡) 学校 (延床面積：4,000㎡)	 廃止 複合施設 (延床面積：4,000㎡ [400㎡+3,600㎡])
	既存の異なる種類の公共施設で， <u>一方の施設にある余剰スペースの用途変更で</u> ， <u>もう一方の施設の機能確保が可能と判断された場合</u> ， <u>後者の施設を廃止して統合</u> する手法です。	
転用	 市営住宅 (延床面積：3,000㎡)	 特別養護老人ホーム (延床面積：3,000㎡)
	既存の公共施設を改修し， <u>他の施設として利用</u> する手法です。	

5-1-6. 施設類型別方針の取組（「5-2 建築物系施設」）の見方

●施設概要

類型別方針用途（29用途）ごとに施設の基本情報（施設名、所在地、延床面積、建築年度、築年数等）を記載しています。また、1つの施設に建物が複数存在する場合は、施設の用途を代表する建物の建築年度と築年数を記載しています。

●配置状況

該当施設が柏市のどこに立地しているか地図に記載しています。

●運営状況

各施設の閉館日及び開館時間等を記載しています。

●実態及び課題

「建物状況」、「利用状況」、「コスト状況」の3点から実態及び課題を記載しています。

●2軸評価

「利用・コスト状況等」と「老朽化状況」との2軸による評価を記載しています。

●今後の方向性

「施設概要」、「配置状況」、「運営状況」、「実態及び課題」、「2軸評価」及び1次評価、2次評価から用途ごとの今後の方向性を記載しています。

※数値等については、原則として令和4（2022）年度末現在の数値を記載しています。

●個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組					
		④	第1期 H28(2016)～R6(2024)		第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)
		⑤	除却(一部)		改修		集約化+移転または建替
		⑥	期首	930.26	期末	921.48	921.48
① 田中近隣センター	② S53(1978)	⑦	(第1期) ※平成29(2017)年度に老朽化した自転車置場を除却。 (第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に北部近隣センターを集約化し、移転、または、建替を行う。その後、柏ビレジ近隣センターを当該センターの築60年を目途に集約化する。				
③ 複合施設(親)	⑧ 複合施設名	図書館田中分館(子)、田中出張所(子)					⑨ 敷地面積 (㎡)
							2,510.61

項目	内容
①施設名	対象施設の名称
②建築年度	対象施設の建築年度
③複合施設の状態	対象施設の複合化状況(親施設もしくは子施設)
④計画期間	平成28(2016)年からの39年間を4期に分け、いずれの期に実施するか概ねの時期を掲示
⑤取組	再編の手法 ※目標使用年数の到達箇所に網かけあり
⑥延床面積	取組を反映させた公共施設の延床面積
⑦内容	各計画期間で行う取組について、詳細な内容を記載
⑧複合施設名	複合化している施設名
⑨敷地面積	対象施設の敷地面積

5-2. 建築物系施設

5-2-1. 重点取組施設

(1) 近隣センター

① 施設概要

- ・近隣センターは市内に23施設（うち、同敷地内に存する体育室が9施設）あります。市民に自主的な活動の場を提供し、市民相互の交流を支援して、地域づくりに関する事業を推進していくために設置されています。

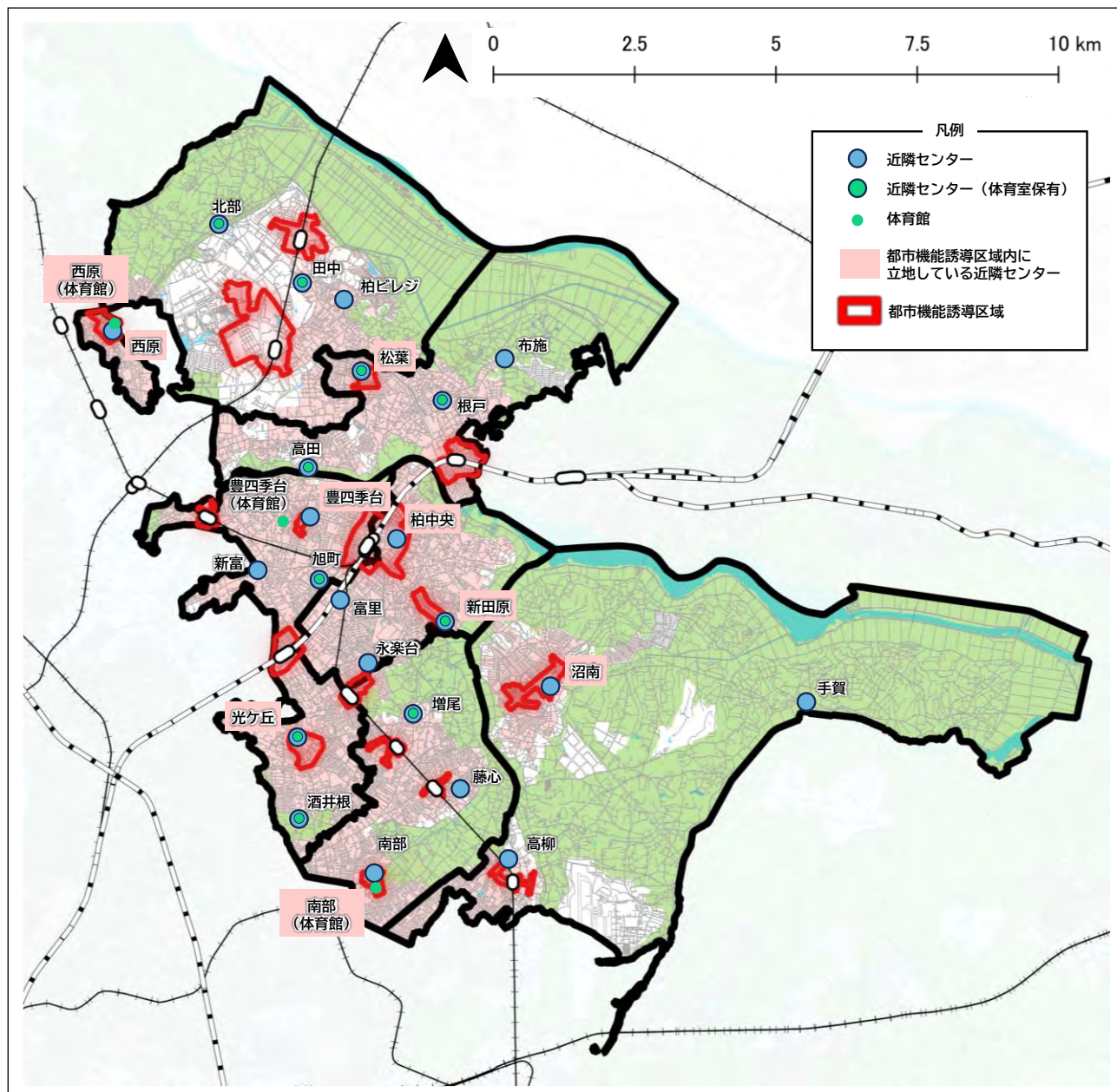
【施設一覧】

■ 築40年以上

中圏域	No	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年数 (年)	出張 所	図書 館	せ い き い き セ ン タ ー	体 育 室	ホ ー ル	実 習 室	料 理	備考
北部1	1	田中近隣センター	柏市大室249-1	921.48	S53	44	●	●	●	●		●	●	避難所
	2	田中近隣センター体育室（館）		405.00										
	3	西原近隣センター	柏市西原三丁目2-48	493.00	S53	44	●	●					●	避難所
	4	西原近隣センター体育館	柏市西原二丁目10-62	626.65	S62	35				▲				
	5	柏ビレジ近隣センター	柏市大室1285-1	399.99	S56	41							●	テニスコート2面
	6	北部近隣センター	柏市大青田1541-2	592.39	H元	33				●	●			多目的ホール：62㎡ 避難所
	7	北部近隣センター体育室（館）		415.00										
北部2	8	布施近隣センター	柏市布施1196-5	1,031.36	S54	43		●	●				●	避難所
	9	高田近隣センター	柏市高田693-2	739.78	S57	40		●		●			●	避難所
	10	高田近隣センター体育室（館）		369.00										
	11	根戸近隣センター	柏市根戸467-178	880.66	S43	54		●		●			●	避難所
	12	根戸近隣センター体育室（館）		417.00	S58	39								
	13	松葉近隣センター	柏市松葉町四丁目11	878.61	S62	35	●	●	●	●	●	●	●	多目的ホール：54㎡ 避難所
	14	松葉近隣センター体育室（館）		416.00										
中央1	15	旭町近隣センター	柏市旭町五丁目3-32	947.00	H7	27				●	●	●	●	多目的ホール：50㎡ 避難所
	16	旭町近隣センター体育室（館）		417.00										
	17	豊四季近隣センター	柏市豊四季台一丁目1-116	1,000.93	S53	44	●		●				●	避難所
	18	豊四季近隣センター体育館	柏市かやの町2-65	1,012.15	H8	26				▲				
	19	新富近隣センター	柏市豊四季945-1	981.85	S56	41		●	●		●	●	●	多目的ホール：121㎡ 避難所
中央2	20	永楽台近隣センター	柏市永楽台二丁目11-25	681.49	S54	43		●					●	避難所
	21	富里近隣センター	柏市富里二丁目4-4	595.57	S56	41							●	避難所
	22	新田原近隣センター	柏市東柏二丁目2-15	649.35	S59	38		●		●	●	●	●	多目的ホール：76㎡ 避難所
	23	新田原近隣センター体育室（館）		400.00										
	24	柏中央近隣センター	柏市柏六丁目2-22	1,810.67	H10	24							●	アミューゼ柏（親施設） 音楽室：73㎡ 避難所
南部1	25	南部近隣センター	柏市新逆井二丁目5-13	986.98	S53	44	●	●	●				●	避難所
	26	南部近隣センター体育館	柏市南逆井一丁目20-1	798.12	H5	29				▲				
	27	増尾近隣センター	柏市増尾三丁目1-1	963.31	S55	42	●	●		●			●	避難所
	28	増尾近隣センター体育室（館）		386.00										
	29	藤心近隣センター	柏市藤心四丁目1-11	784.39	S62	35	●	●			●	●	●	多目的ホール：142㎡ 避難所
南部2	30	光ヶ丘近隣センター	柏市光ヶ丘団地200-5	1,155.97	S56	41	●	●	●		●	●	●	多目的ホール：48㎡ 光ヶ丘遊戯室 避難所
	31	酒井根近隣センター	柏市酒井根653-4	755.13	H元	33				●	●	●	●	多目的ホール：71㎡ 避難所
	32	酒井根近隣センター体育室（館）		391.00										
沼南	33	高柳近隣センター	柏市高柳1652-10	867.86	H6	28	●	●	●		●	●	●	多目的ホール：168㎡ 避難所
	34	沼南近隣センター	柏市大島田440-1	3,395.20	S52	45		●			●			大ホール：900㎡ 多目的ホール：144㎡ 音楽室A、B：55㎡、12㎡ 避難所
	35	手賀近隣センター	柏市柳戸511-11	667.44	H28	6					●			多目的ホールA：105㎡ 多目的ホールB：87㎡ 避難所
合計				28,233.33										

▲ 近隣センターに併設していない体育館

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	年末年始（12月29日から1月3日まで）第3月曜日
開館時間	月～日祝：9：00～21：00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・近隣センター23施設の延床面積は約2.8万㎡です。
- ・23施設中、14施設（約61%）が築40年以上経過しており、老朽化が進行しています。平均的な規模は約1,000㎡ですが、柏中央近隣センターは約1,811㎡、沼南近隣センターは約3,395㎡と、他の近隣センターに比べ規模の大きい建物です。令和元（2019）年度に南部近隣センター、令和5（2023）年度に高田近隣センターについてそれぞれ2年度をかけてリノベーション改修工事を行いました。

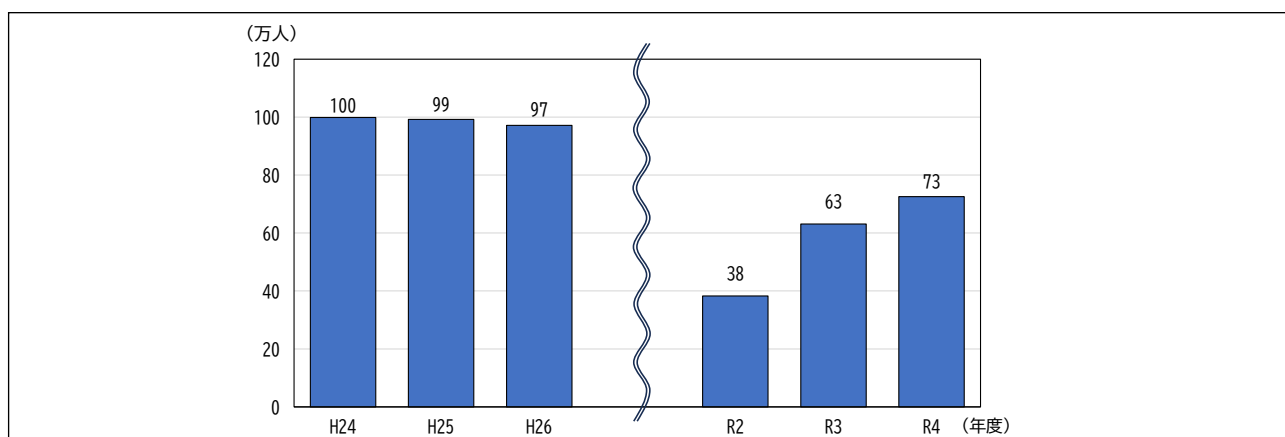
● 利用状況

- ・利用者は平成24（2012）年度から平成26（2014）年度は約99万人で推移していました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和2（2020）年度は利用者が減少しましたが、令和4（2022）年度時点では約73万人とコロナ禍の約7割程度まで回復しています。
- ・施設別では、柏中央近隣センター、光ヶ丘近隣センター、沼南近隣センターは年間4万人以上利用がある一方で、西原近隣センター、北部近隣センター、手賀近隣センターは年間1万人未満の利用者となっており、立地している地域や保有機能によって利用者数に差があります。配置状況や保有機能等を含めて施設のあり方を検討する必要があります。

● コスト状況

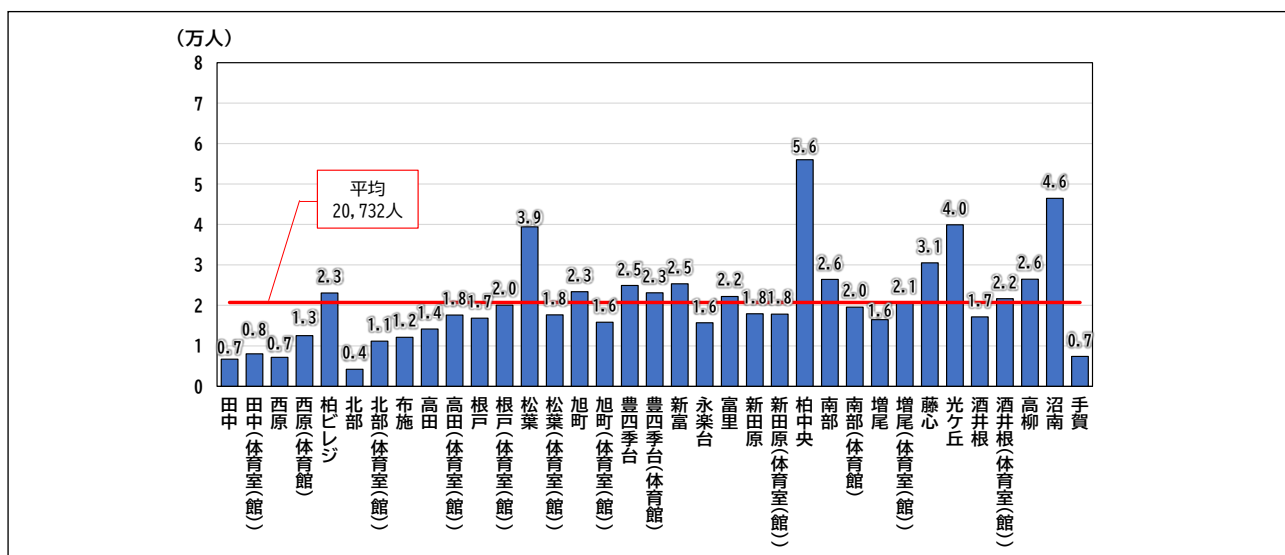
- ・トータルコストは約7億5,422万円で、施設に係るコストが約39.0%、人に係るコストが約26.8%となっています。
- ・施設別トータルコストは、多い順に沼南近隣センター、柏中央近隣センター、南部近隣センターとなっており、その施設は利用者数も多くなっています。

【年度別利用者数の推移】

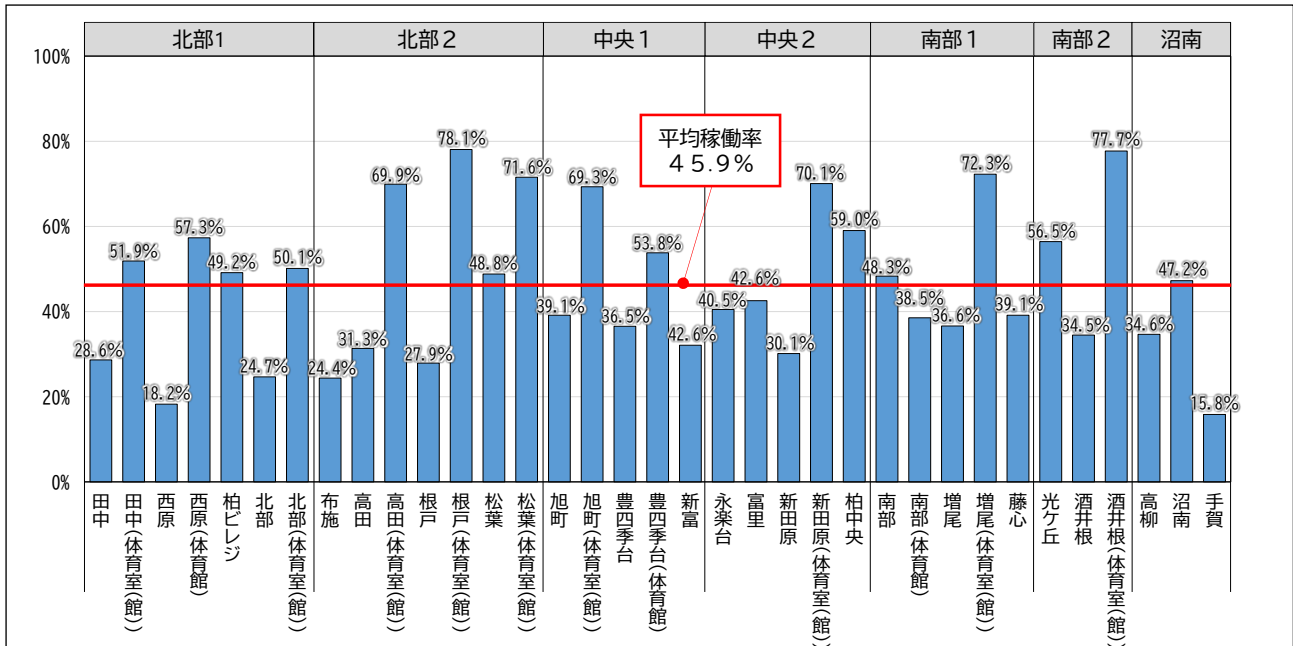


出典：平成24（2012）年度～平成26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成28年3月）

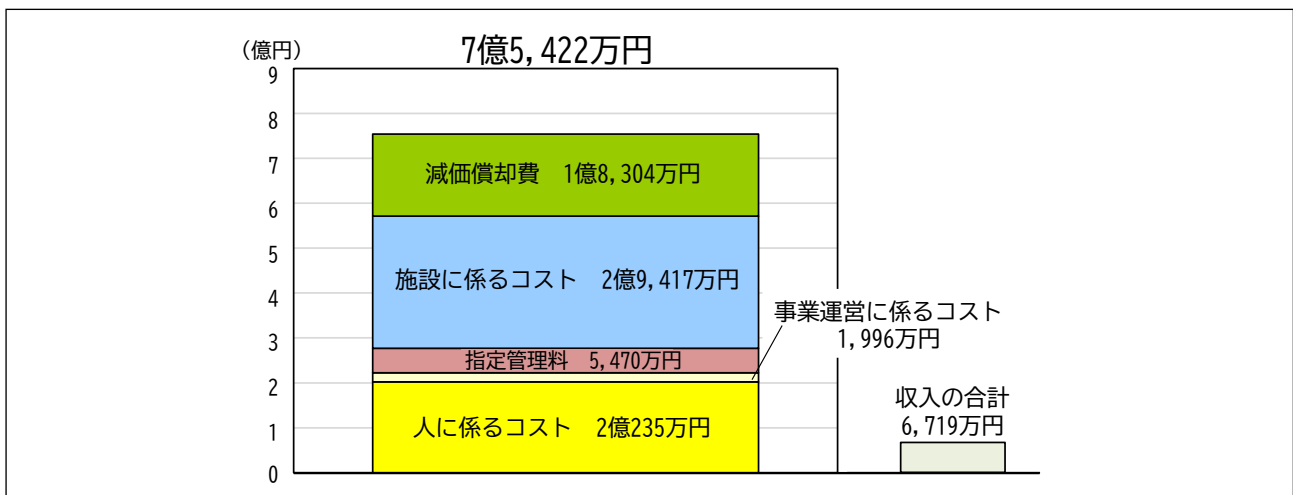
【施設別利用者数 令和4（2022）年度】



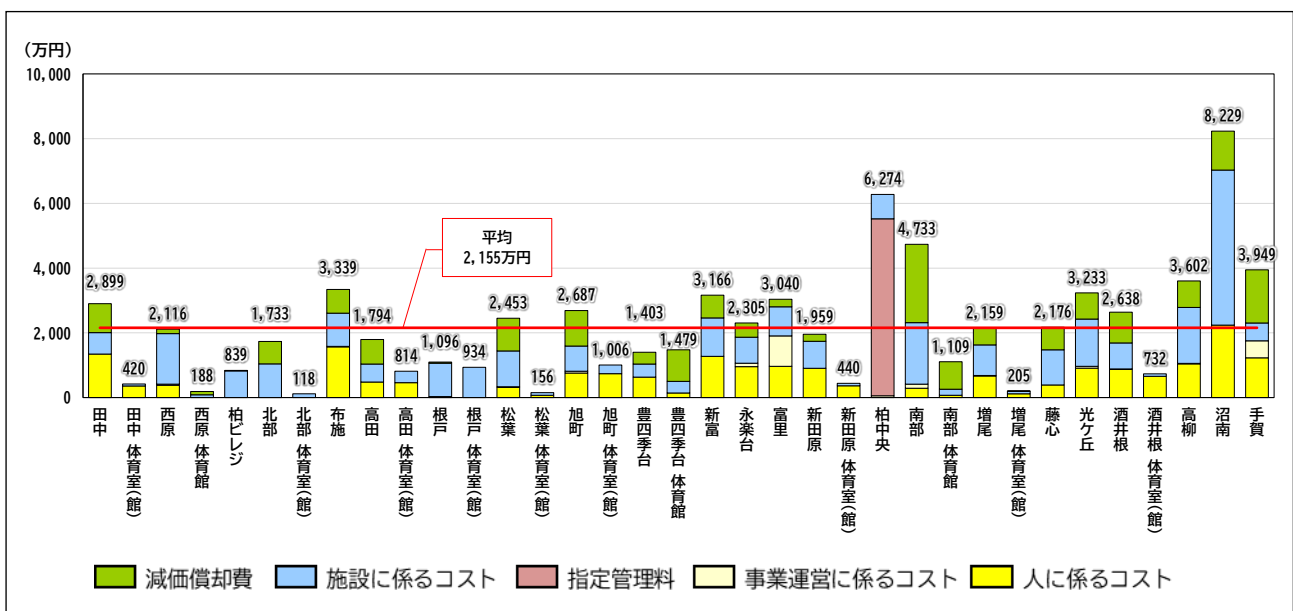
【近隣センター稼働率 令和4（2022）年度】



【トータルコスト 令和4（2022）年度】

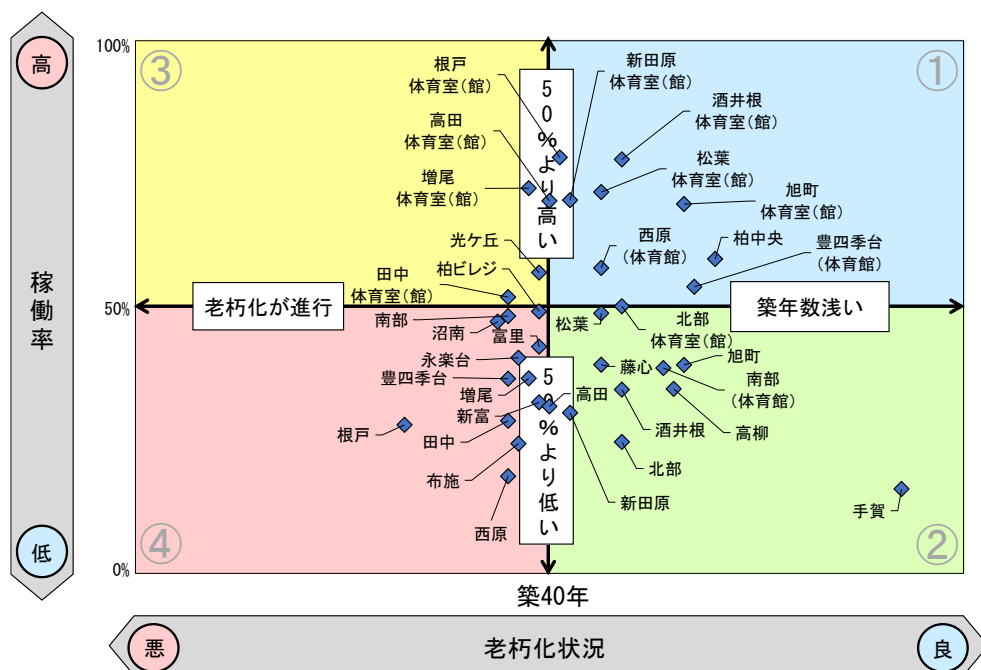


【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 2軸評価

●建物状況と稼働率

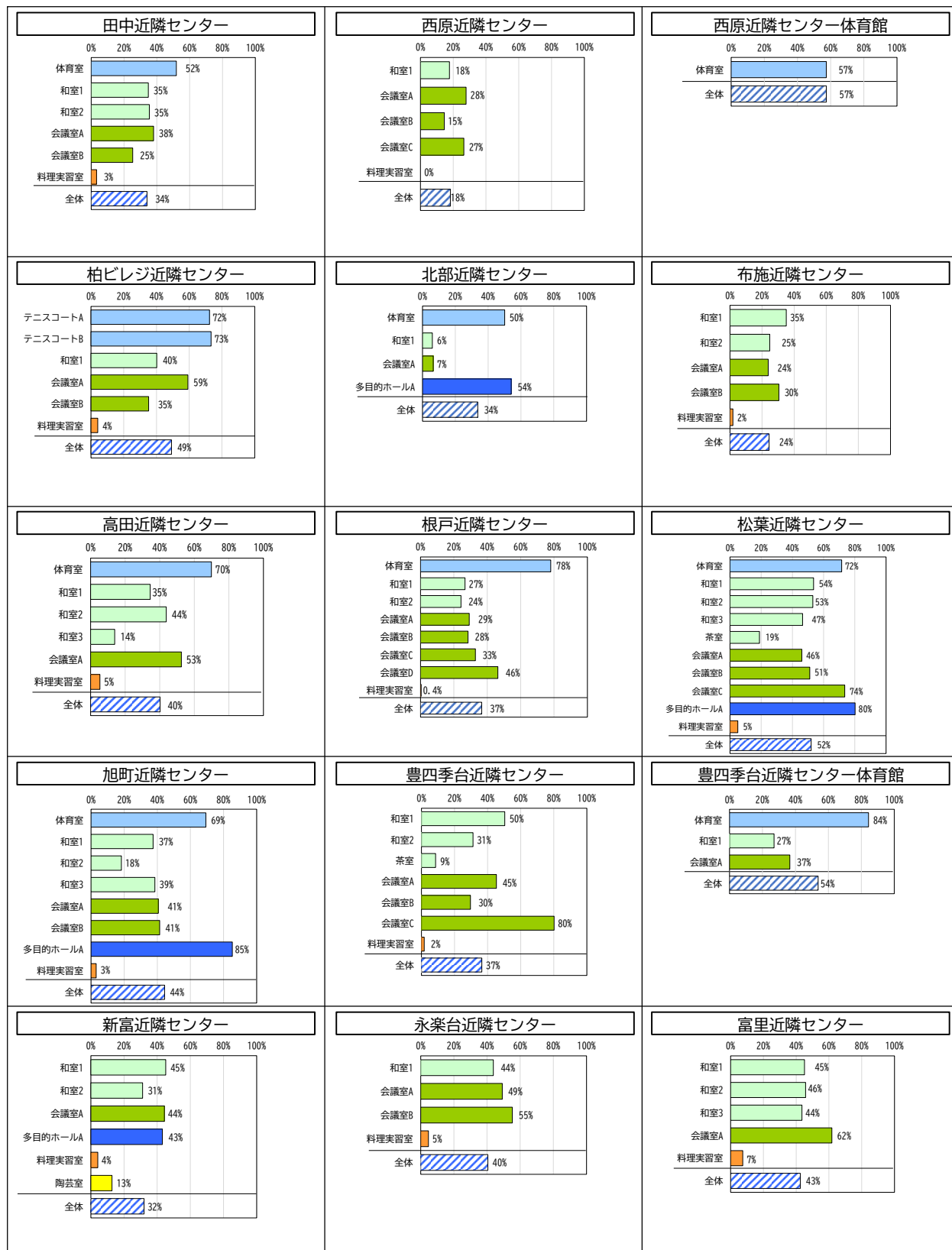


⑥ 今後の方向性検討

● 各部屋の稼働率

- ・ 部屋の用途によって稼働率に差が生じています。体育室・多目的ホール・音楽室は稼働率が高く、料理実習室・茶室が低い傾向にあります。

【施設別諸室稼働率 令和4（2022）年度】





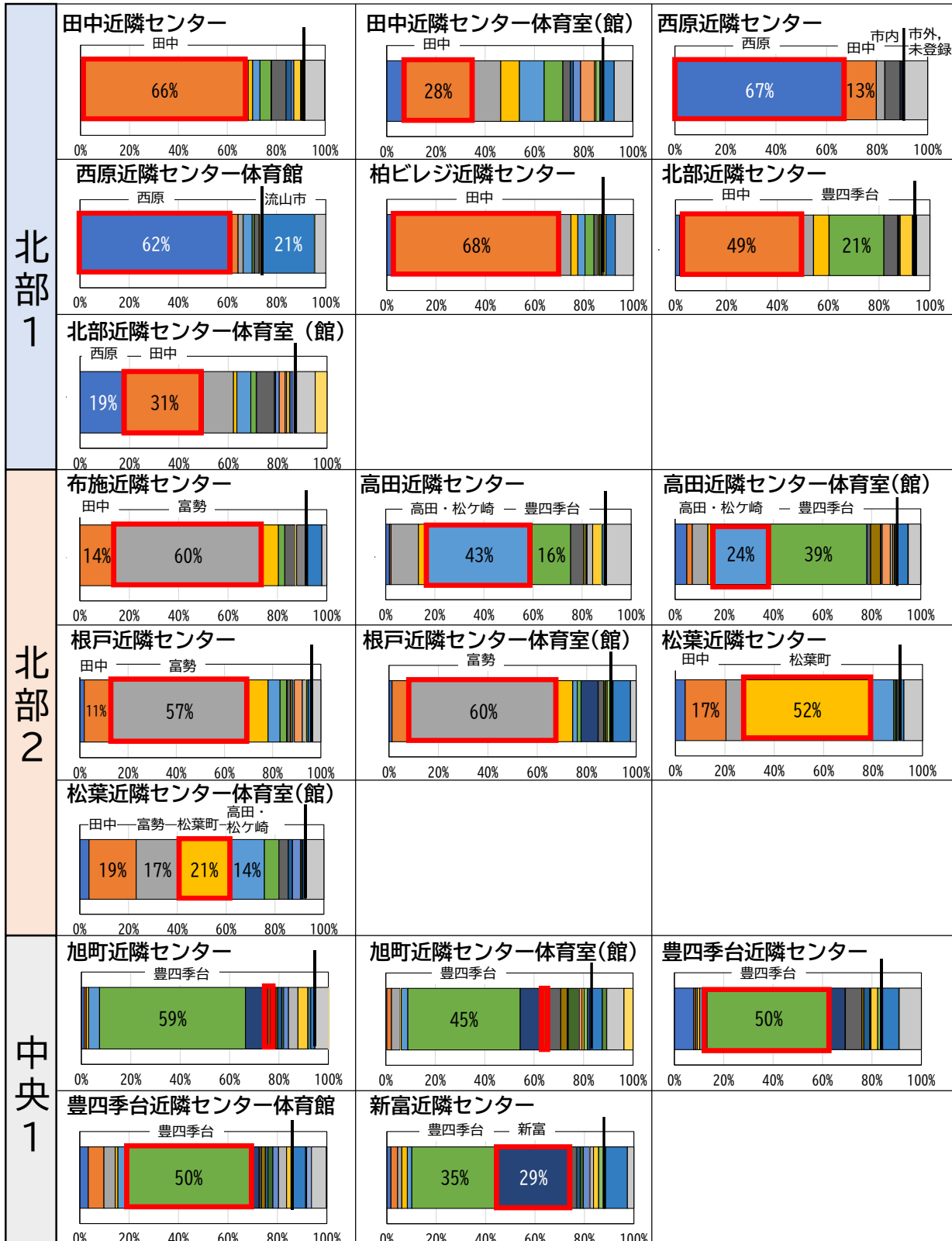
● 地域からのニーズ

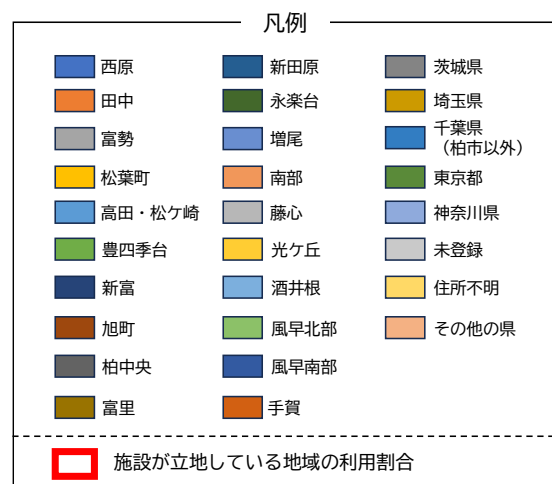
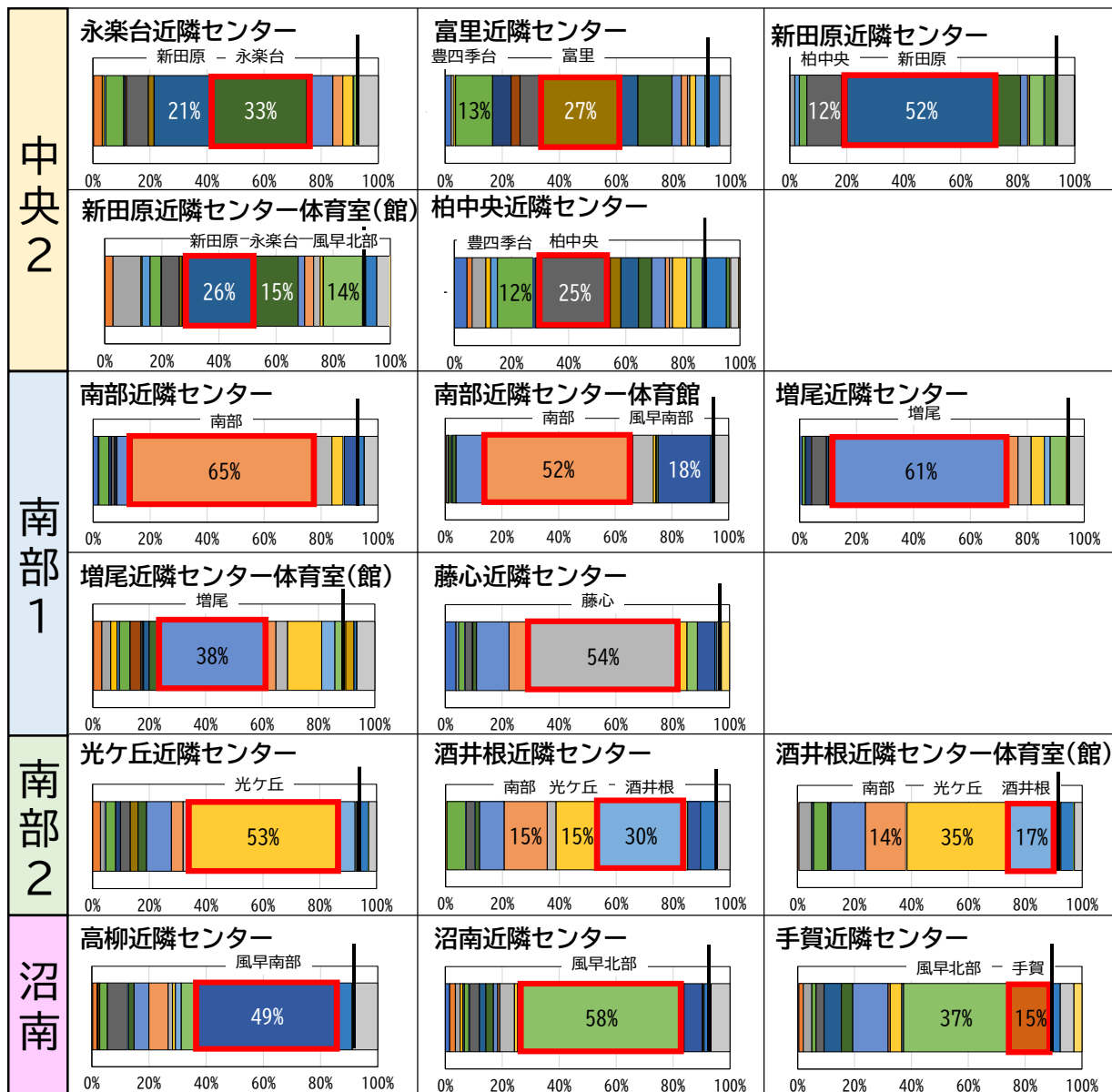
- ・これまでの2件のリノベーションモデル事業において、共通していた主な意見の内、実現できたものは次のとおりです。
 - ・バリアフリー化（エレベーターの設置）
 - ・多目的に利用できる部屋の増加
 - ・ロビー等フリースペースの拡大
 - ・周辺施設（公園）との一体化
 - ・駐車場の拡大

● 利用者の地域性

- ・各近隣センターの立地するコミュニティエリア内の居住者の利用が多くなっています。
但し、体育館（室）については周辺エリアからの利用も多くなっています。

【施設別利用者（代表者）地域割合 令和4（2022）年度】





⑦ 今後の方向性

- 近隣センターは、地域コミュニティの拠点として、また、地域防災拠点として、1コミュニティエリア(中学校区相当)に1つ維持する施設とします。
- 未整備の柏の葉エリアには、柏の葉キャンパス駅周辺地区に、必要な行政機能等の集約を図りながら、早期に近隣センターの整備を進めます。
- 近隣センターは、築 60 年を目安に建物を除却し、適正な配置・規模で再整備することを基本とします。但し、改修工事の実施状況によっては築 60 年を超えて現建物の活用を検討します。
- 施設の再整備にあたっては、利用者である地域住民の将来の人口動向を踏まえ、施設機能の再編や集約化、複合化により施設規模を縮小し、学校の大規模改修や建替等の機会を捉え、学校施設との複合化も検討します。
- 再整備前においても、需要が高い室場への転用や福祉機能の追加など、施設機能を見直します。

⑧ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	田中近隣センター S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	除却(一部)				改修			集約化＋移転または建替			
		延床面積 (㎡)	期首	930.26	期末	921.48	921.48			921.48		921.48	
		内容	(第1期) ※平成29(2017)年度に老朽化した自転車置場を除却。 (第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に北部近隣センターを集約化し、移転、または、建替を行う。その後、柏ビレジ近隣センターを当該センターの築60年を目途に集約化する。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館田中分館(子)、田中出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,510.61
2	田中近隣センター体育室(館) S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								集約化＋移転		移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	405.00	期末	405.00	405.00			1,007.39		1,007.39	
		内容	(第3期) 築60年を目途に北部近隣センター体育室(館)を集約化し、北部近隣センターへ移転する。 (第4期) 移転先の旧北部近隣センターの築60年を目途に移転、または、建替を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	2,510.61
3	西原近隣センター S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修			移転または建替			
		延床面積 (㎡)	期首	493.00	期末	493.00	493.00			493.00		493.00	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に移転、または、建替を行う。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館西原分館(子)、西原出張所(子)									敷地面積 (㎡)	992.87
4	西原近隣センター体育館 S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	626.65	期末	626.65	626.65			626.65		626.65	
		内容	(第4期) 築60年を目途に移転、または、建替を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,536.95
5	柏ビレジ近隣センター S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								集約化＋廃止＋転用			
		延床面積 (㎡)	期首	399.99	期末	399.99	399.99			0.00		0.00	
		内容	(第3期) 築60年を目途に田中近隣センターへ集約化し、柏ビレジ近隣センターは廃止する。テニスコートについては、スポーツ施設として転用を図る。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	3,544.68

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組												
6	北部近隣センター H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組								集約化＋廃止				
		延床面積 (㎡)	期首	592.39	期末	592.39	592.39			0.00		0.00		
		内容	(第3期) 田中近隣センターへ集約化し、北部近隣センターは廃止する。 ※建物は田中近隣センター体育館として利用する。											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,839.32	
7	北部近隣センター体育室(館) H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組								集約化＋廃止		移転または建替		
		延床面積 (㎡)	期首	415.00	期末	415.00	415.00			0.00		0.00		
		内容	(第3期) 田中近隣センター体育室(館)に集約化し、北部近隣センターは廃止する。 ※建物は田中近隣センター体育館として利用する。 (第4期) 築60年を目途に田中近隣センター体育館として移転、または、建替を行う。											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,839.32	
8	布施近隣センター S54(1979)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					複合化＋集約化＋移転または建替							
		延床面積 (㎡)	期首	1,031.36	期末	1,031.36	1,031.36			1,031.36		1,031.36		
		内容	(第2期) 富勢出張所を複合化する。複合化に合わせて内装を補修する。築60年を目途に根戸近隣センターを集約化し、移転、または、建替を行う。											
		複合施設(親)	複合施設名	図書館布施分館(子)、布施遊戯室(子)									敷地面積 (㎡)	2,149.14
9	高田近隣センター S57(1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	改修											
		延床面積 (㎡)	期首	739.78	期末	739.78	739.78			739.78		739.78		
		内容	(第1期) 令和3(2021)年度から実施したワークショップ等による検討結果を踏まえ、令和5(2023)年度から令和6(2024)年度にリノベーション改修工事を実施。											
		複合施設(親)	複合施設名	図書館高田分館(子)									敷地面積 (㎡)	2,325.55
10	高田近隣センター体育室(館) S57(1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	改修											
		延床面積 (㎡)	期首	369.00	期末	369.00	369.00			369.00		369.00		
		内容	(第1期) 令和3(2021)年度から実施したワークショップ等による検討結果を踏まえ、令和5(2023)年度から令和6(2024)年度にリノベーション改修工事を実施。											
		複合施設(親)	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	2,325.55

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	根戸近隣センター S43 (1968)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					廃止						
		延床面積 (㎡)	期首	880.66	期末	880.66	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 布施近隣センターに集約化し、根戸近隣センターは廃止する。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館根戸分館(子)								敷地面積 (㎡)	4,812.62	
12	根戸近隣センター体育 室(館) S58 (1983)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					移転または建替						
		延床面積 (㎡)	期首	417.00	期末	417.00	417.00			417.00		417.00	
		内容	(第2期) 根戸近隣センターの布施近隣センターへの集約化に合わせて、移転、または、建替を行う。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	4,812.62	
13	松葉近隣センター S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					改修					移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	878.61	期末	878.61	878.61			878.61		878.61	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館松葉分館(子)、松葉出張所(子)								敷地面積 (㎡)	5,000.02	
14	松葉近隣センター体育 室(館) S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組										移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	416.00	期末	416.00	416.00			416.00		416.00	
		内容	(第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	5,000.02	
15	旭町近隣センター H7 (1995)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					改修						
		延床面積 (㎡)	期首	947.00	期末	947.00	947.00			947.00		947.00	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,433.26	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
16	旭町近隣センター体育 室(館) H7(1995)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	417.00	期末	417.00	417.00		417.00		417.00	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,433.26
17	豊四季台近隣センター S53(1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修		移転または建替			
		延床面積 (㎡)	期首	1,000.93	期末	1,000.93	1,000.93		1,000.93		1,000.93	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に移転,または、建替を行う。									
	複合施設(親)	複合 施設名	豊四季台出張所(子)								敷地面積 (㎡)	2,043.04
18	豊四季台近隣センター 体育館 H8(1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,012.15	期末	1,012.15	1,012.15		1,012.15		1,012.15	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	3,148.73
19	新富近隣センター S56(1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修		移転または建替			
		延床面積 (㎡)	期首	981.85	期末	981.85	981.85		981.85		981.85	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に移転複合化,または、建替を行う。									
	複合施設(親)	複合 施設名	図書館新富分館(子)								敷地面積 (㎡)	1,446.40
20	永楽台近隣センター S54(1979)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修		移転または建替			
		延床面積 (㎡)	期首	681.49	期末	681.49	681.49		681.49		681.49	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に移転複合化,または、建替を行う。									
	複合施設(親)	複合 施設名	図書館永楽台分館(子),永楽台児童センター(子)								敷地面積 (㎡)	944.87

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
21	富里近隣センター S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組	除却(一部)				改修			移転または建替			
		延床面積 (㎡)	期首	598.80	期末	595.57	595.57			595.57		595.57	
		内容	(第1期) ※平成29(2017)年度に老朽化した倉庫を除却。 (第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,623.17
22	新田原近隣センター S59 (1984)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組					改修					移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	653.28	期末	649.35	649.35			649.35		649.35	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館新田原分館(子)									敷地面積 (㎡)	1,854.98
23	新田原近隣センター体育室(館) S59 (1984)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組										移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	400.00	期末	400.00	400.00			400.00		400.00	
		内容	(第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,854.98
24	柏中央近隣センター H10 (1998)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,810.67	期末	1,810.67	1,810.67			1,810.67		1,810.67	
		内容											
	複合施設(子)	複合施設名	アミューゼ柏(親)									敷地面積 (㎡)	2,014.42
25	南部近隣センター S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)										
		延床面積 (㎡)	期首	1,124.25	期末	986.98	986.98			986.98		986.98	
		内容	(第1期) 平成29(2017)年度から実施したワークショップ等による検討結果を踏まえ、令和元(2019)年度にリノベーション改修工事を行う。 ※令和元(2019)年度にリノベーション改修工事実施済み。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館南部分館(子)、南部こどもの広場(子)、南部出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,314.26

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組												
26	南部近隣センター体育館 H5 (1993)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組										移転または建替		
		延床面積 (㎡)	期首	798.12	期末	798.12	798.12			798.12		798.12		
		内容	(第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,507.50	
27	増尾近隣センター S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					改修							
		延床面積 (㎡)	期首	963.31	期末	963.31	963.31			963.31		963.31		
		内容	(第2期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。											
	-	複合施設(親)	複合施設名	図書館増尾分館(子)、増尾出張所(子)									敷地面積 (㎡)	3,418.87
28	増尾近隣センター体育室(館) S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					改修							
		延床面積 (㎡)	期首	386.00	期末	386.00	386.00			386.00		386.00		
		内容	(第2期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。											
	-	複合施設(親)	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	3,418.87
29	藤心近隣センター S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					改修					移転または建替		
		延床面積 (㎡)	期首	784.39	期末	784.39	784.39			784.39		784.39		
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。											
	-	複合施設(親)	複合施設名	図書館藤心分館(子)、藤心出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,014.53
30	光ヶ丘近隣センター S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					改修			移転または建替				
		延床面積 (㎡)	期首	1,155.97	期末	1,155.97	1,087.97			1,087.97		1,087.97		
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第3期) 築60年を目途に移転または建替を行う。											
	-	複合施設(親)	複合施設名	図書館光ヶ丘分館(子)、光ヶ丘遊戯室(子)、光ヶ丘出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,906.01

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
31	酒井根近隣センター H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修					移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	755.13	期末	755.13	755.13			755.13		755.13	
		内容	(第2期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。 (第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,000.79	
32	酒井根近隣センター体育室(館) H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										移転または建替	
		延床面積 (㎡)	期首	391.00	期末	391.00	391.00			391.00		391.00	
		内容	(第4期) 築60年を目途に移転または建替を行う。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,000.79	
33	高柳近隣センター H6(1994)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								改修			
		延床面積 (㎡)	期首	867.86	期末	867.86	867.86			867.86		867.86	
		内容	(第3期) 施設利用状況や建物躯体の劣化状況等を総合的に判断してバリアフリー化改修を行う。改修に合わせて内装を補修する。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館高柳分館(子), 高柳出張所(子)								敷地面積 (㎡)	2,787.33	
34	沼南近隣センター S52(1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	除却(一部)				廃止+移転または建替+除却						
		延床面積 (㎡)	期首	3,536.81	期末	3,395.20	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第1期) 平成29年(2018)年度に図書用倉庫・車庫を除却。 (第2期) 現建物は安全性確保の見通しが立たないため廃止する。新たな近隣センターの検討を行い、速やかな再整備と除却を行う。										
	複合施設(親)	複合施設名	図書館沼南分館(子)								敷地面積 (㎡)	6,023.14	
35	手賀近隣センター H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	667.44	667.44			667.44		667.44	
		内容	(第1期) ※平成29(2017)年4月18日に開所。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,967.19	

(2) 学校

① 施設概要

- ・ 小学校は 42 校、中学校は 21 校、市立高等学校は 1 校が整備されています。各施設の延床面積の合計は、小学校が約 266,283 m²、中学校が約 157,687 m²で、小中学校全体で市の保有する公共施設の過半を占めています。
- ・ 市立柏高等学校は、急激な都市化の進展・人口の増加に伴い、市内の教育環境の充実や、教育機会の均等を目的に、柏市立の高等学校として設置されました。

【施設一覧】

● 小学校

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (m ²)	建築年度	築年数 (年)	通常学級 児童数	特別支援学 級児童数	通常学級数	特別支援 学級数
1	柏第一小学校	中央2	柏市あけぼの一丁目7-6	6,515.52	S38	61	576	33	19	5
2	柏第二小学校	中央1	柏市豊四季310	5,813.73	S40	59	437	24	16	4
3	柏第三小学校	中央2	柏市若葉町4-54	9,588.31	S39	60	996	47	31	8
4	柏第四小学校	北部2	柏市松ヶ崎1182-9	6,486.35	S44	55	643	16	20	3
5	柏第五小学校	中央2	柏市柏932-7	7,376.70	S42	57	890	31	29	5
6	柏第六小学校	中央1	柏市豊四季台四丁目2-1	5,477.67	S38	61	525	21	18	4
7	光ヶ丘小学校	南部2	流山市向小金四丁目20-1	6,646.91	S40	59	852	29	28	4
8	土小学校	南部1	柏市増尾四丁目4-1	5,560.68	S40	59	428	26	14	4
9	富勢小学校	北部2	柏市布施925-1	5,856.13	S39	60	577	29	19	5
10	田中小学校	北部1	柏市大室1193-3	10,965.02	S46	53	798	42	25	6
11	田中北小学校	北部1	柏市船戸一丁目7-1	15,122.49	R4	2	960	39	30	6
12	土南部小学校	南部1	柏市新逆井一丁目10-1	5,769.67	S43	56	483	24	16	4
13	柏第七小学校	中央1	柏市篠籠田723-1	6,403.19	S44	55	836	25	26	4
14	柏第八小学校	中央2	柏市永楽台二丁目8-1	6,005.52	S45	54	483	28	18	4
15	酒井根小学校	南部2	柏市酒井根19-2	5,827.94	S45	54	575	27	19	4
16	西原小学校	北部1	柏市西原四丁目17-1	6,791.47	S47	52	570	32	19	5
17	旭小学校	中央1	柏市旭町六丁目5-17	5,745.30	S47	52	529	19	18	4
18	藤心小学校	南部1	柏市藤心880-1	4,607.51	S49	50	261	14	10	3
19	中原小学校	南部1	柏市中原1821-1	6,372.17	S49	50	597	20	20	4
20	酒井根西小学校	南部2	柏市酒井根662-1	5,183.78	S51	48	196	14	7	2
21	高田小学校	北部2	柏市高田376-3	5,308.20	S51	48	437	21	15	4
22	名戸ヶ谷小学校	南部1	柏市名戸ヶ谷474-1	5,156.55	S51	48	410	21	14	4
23	増尾西小学校	南部1	柏市増尾台三丁目5-9	6,482.82	S53	46	531	15	18	3
24	逆井小学校	南部1	柏市逆井452-2	6,022.25	S52	47	281	9	12	2
25	富勢東小学校	北部2	柏市布施2176-2	5,457.68	S53	46	99	3	6	1
26	豊小学校	中央2	柏市豊四季610-2	5,272.34	S54	45	491	23	18	4
27	酒井根東小学校	南部2	柏市酒井根一丁目2-1	5,679.71	S55	44	389	16	13	3
28	旭東小学校	中央1	柏市旭町五丁目3-9	4,379.72	S55	44	309	19	12	3
29	松葉第一小学校	北部2	柏市松葉町五丁目3	6,356.67	S55	44	667	33	21	5
30	花野井小学校	北部1	柏市花野井1652-34	6,039.30	S56	43	273	21	12	3
31	松葉第二小学校	北部2	柏市松葉町二丁目16	6,205.16	S56	43	548	42	19	6
32	富勢西小学校	北部2	柏市布施84-2	6,040.30	S57	42	157	14	7	3
33	十余二小学校	北部1	柏市柏の葉四丁目4-1	5,369.58	S61	38	528	22	18	4
34	風早南部小学校	沼南	柏市藤ヶ谷新田111-2	5,963.19	H22	14	257	14	11	3
35	風早北部小学校	沼南	柏市大井1854-1	6,105.12	S43	56	635	32	22	5
36	手賀西小学校	沼南	柏市泉541	2,993.32	S46	53	97	8	6	2
37	手賀東小学校	沼南	柏市手賀479-7	3,152.19	S58	41	68	2	6	1
38	高柳小学校	沼南	柏市高南台三丁目14-12	6,024.13	S46	53	665	23	23	4
39	大津ヶ丘第一小学校	沼南	柏市大津ヶ丘三丁目50	5,938.66	S52	47	290	22	12	3
40	大津ヶ丘第二小学校	沼南	柏市大津ヶ丘四丁目8	4,882.19	S52	47	295	16	12	3
41	高柳西小学校	沼南	柏市しいの木台三丁目2	4,850.77	S54	45	241	18	11	3
42	柏の葉小学校	北部1	柏市十余二348-51 404-1	14,486.83	H23	13	1,283	28	39	4
小学校合計				266,282.74			21,163	962	729	161

※児童数は令和6（2024）年5月1日現在の数値を掲載

※築年数（年）は令和6（2024）年3月31日を基準に掲載

● 中学校

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	通常学級 生徒数	特別支援学 級生徒数	通常学級数	特別支援 学級数
1	柏中学校	中央1	柏市明原四丁目1-1	13,628.38	H14	22	476	15	13	3
2	柏第二中学校	中央2	柏市弥生町6-6	8,720.26	S44	55	782	26	22	4
3	土中学校	南部1	柏市増尾一丁目23-1	6,409.39	S40	59	229	9	8	2
4	富勢中学校	北部2	柏市根戸467-1	7,761.35	S40	59	480	24	14	3
5	田中中学校	北部1	柏市大室249-9	7,025.38	S44	55	619	21	18	4
6	光ヶ丘中学校	南部2	柏市光ヶ丘四丁目23-1	7,324.53	S42	57	562	17	16	3
7	柏第三中学校	中央1	柏市篠籠田987-1	7,876.07	S46	53	538	16	16	3
8	柏第四中学校	中央2	柏市名戸ヶ谷一丁目6-8	6,647.35	S47	52	409	18	12	3
9	南部中学校	南部1	柏市南増尾六丁目16-1	6,581.82	S48	51	280	5	9	1
10	柏第五中学校	北部2	柏市高田919-1	7,086.28	S51	48	537	9	16	2
11	酒井根中学校	南部2	柏市酒井根一丁目3-1	8,064.17	S52	47	639	21	18	4
12	西原中学校	北部1	柏市西原六丁目13-1	7,271.50	S53	46	503	13	14	3
13	逆井中学校	南部1	柏市逆井555	7,792.17	S55	44	595	22	16	4
14	松葉中学校	北部2	柏市松葉町三丁目14	7,823.45	S55	44	625	21	18	4
15	中原中学校	南部1	柏市中原1816-2	6,941.94	S60	39	380	25	12	4
16	豊四季中学校	中央1	柏市豊四季287-7	7,360.93	H元	35	501	13	14	2
17	風早中学校	沼南	柏市塚崎1319	6,008.32	S41	58	289	10	9	2
18	手賀中学校	沼南	柏市柳戸690	4,018.19	S42	57	88	3	3	2
19	大津ヶ丘中学校	沼南	柏市大津ヶ丘一丁目25	7,283.32	S52	47	557	14	17	3
20	高柳中学校	沼南	柏市高南台一丁目1-1	6,807.35	S55	44	514	15	15	3
21	柏の葉中学校	北部1	柏市十余二337-93	9,254.63	H29	7	367	7	12	2
中学校合計				157,686.78			9,970	324	292	61

※生徒数は令和6（2024）年5月1日現在の数値を掲載

※築年数（年）は令和6（2024）年3月31日を基準に掲載

● 高等学校

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	生徒数（人）		学級数（学級）	
							普通科	スポーツ科 学科	普通科	スポーツ科 学科
1	市立柏高等学校	北部1	柏市船戸山高野325-1	21,145.20	S52	47	828	116	21	3

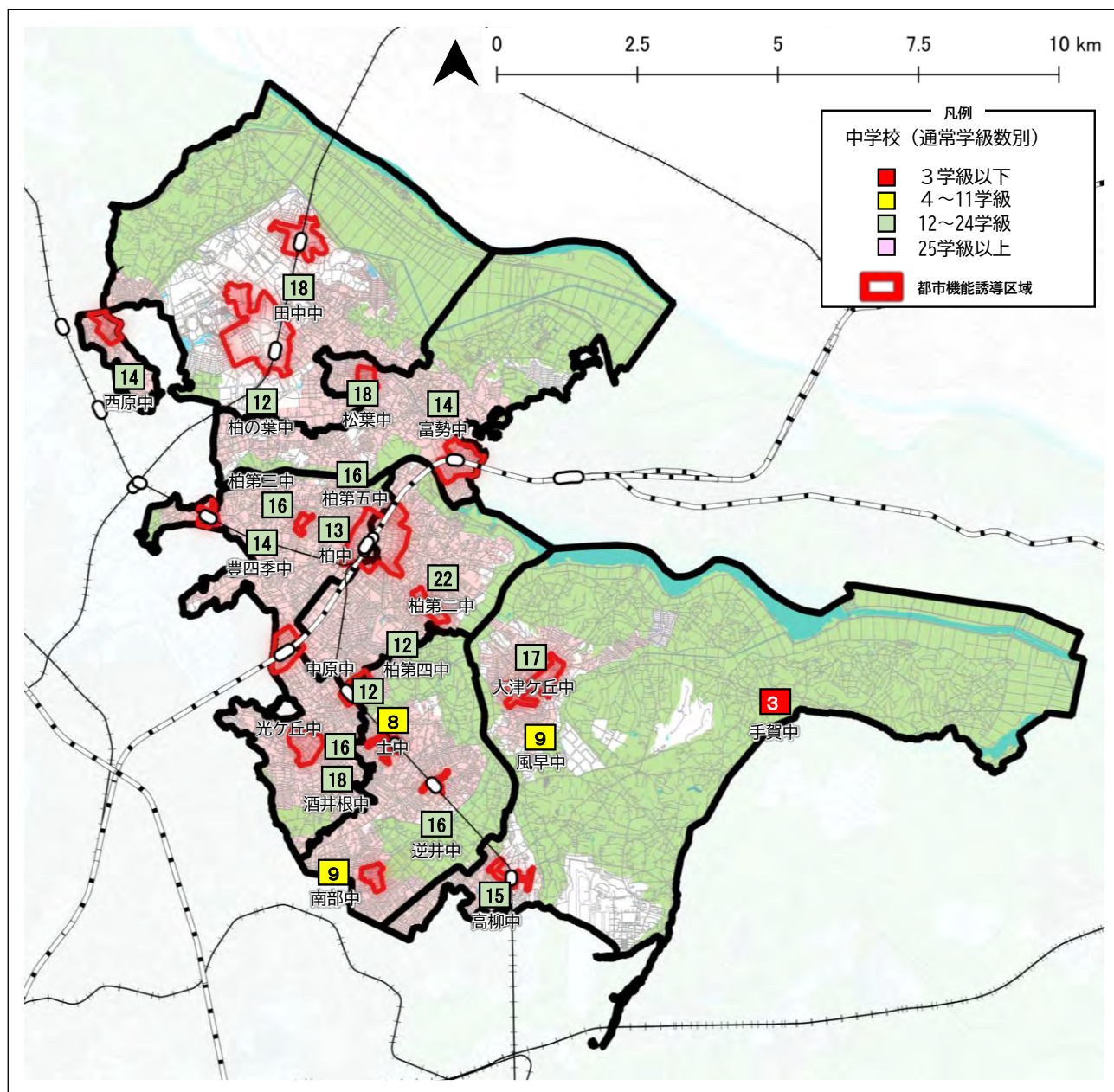
※生徒数は令和6（2024）年5月1日現在の数値を掲載

※築年数（年）は令和6（2024）年3月31日を基準に掲載

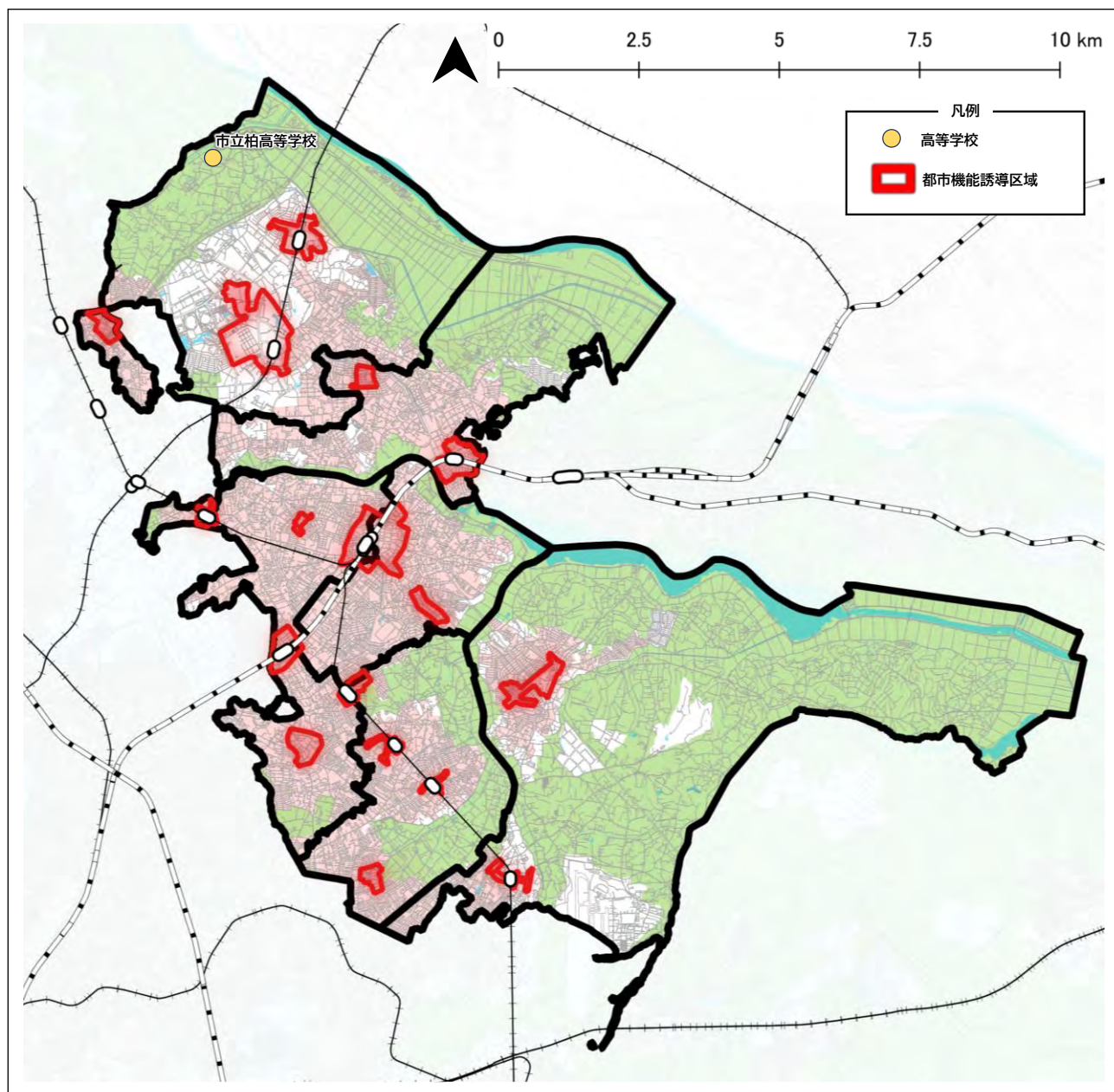
● 小学校



● 中学校



● 高等学校



③ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 小学校が 42 校，中学校が 21 校あり，延床面積の合計は小学校が約 266,283 m²，中学校が約 157,687 m²です。
- ・ 小学校の約 90%の 38 校，中学校の約 81%の 17 校が築 40 年以上経過しており，築 50 年を超えた学校も小学校で 21 校，中学校で 10 校あります。
- ・ 小学校の平均延床面積は約 6,340 m²，中学校の平均延床面積は約 7,509 m²です。近年建替を行った田中北小学校，柏の葉小学校は延床面積がそれぞれ，約 15,122 m²，約 14,487 m²で規模の大きな学校です。
- ・ 令和 3（2021）年度に田中小学校の第一校舎建替工事，令和 5（2023）年度から田中中学校校舎増築工事，西原小学校校舎長寿命化工事などを実施しています。

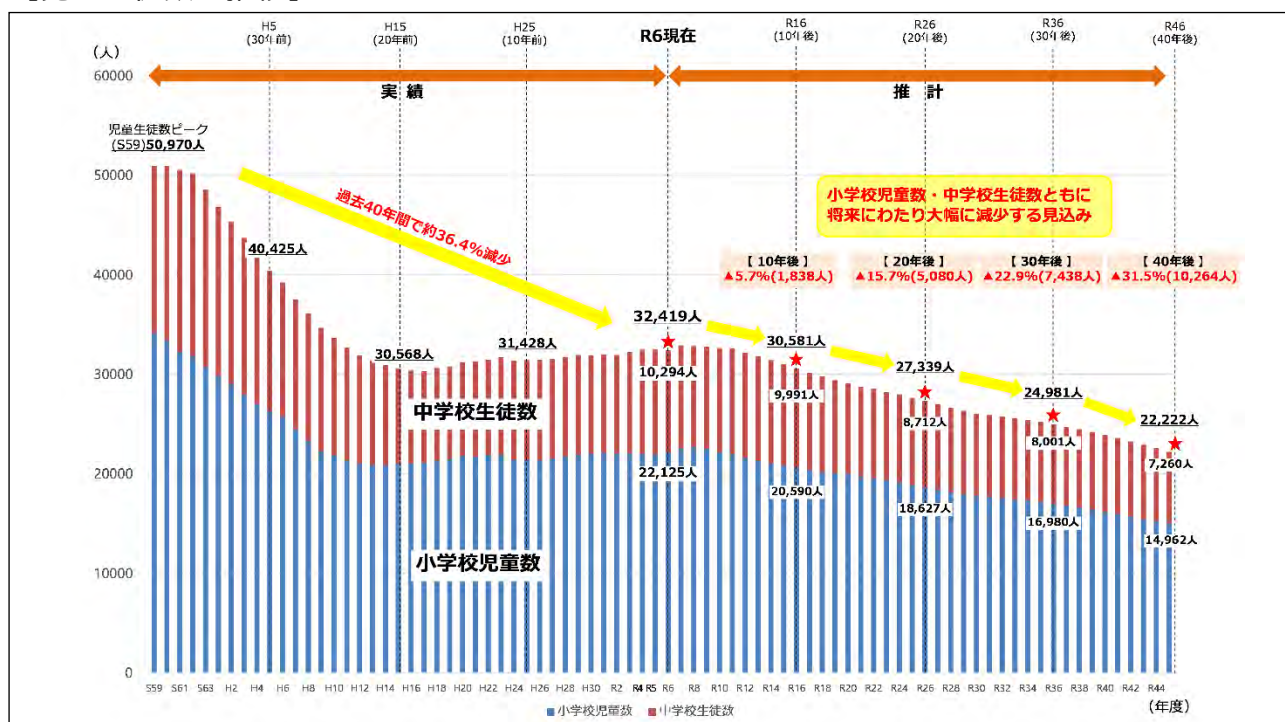
● 児童生徒数

- ・ 市全体では，児童生徒数がピーク時よりも減少しており，今後も減少する見込みとなっています。
- ・ 市北部地域では，つくばエクスプレス沿線の柏たなか駅周辺の住宅開発により児童数が増加し，令和 5（2023）年 4 月に田中北小学校を移転しています。この地域を含め，柏の葉キャンパス駅周辺や一部の市中央地域では今後も増加が見込まれています。
- ・ 一方で，市南部地域では，現在既に小規模になっている学校も存在し，今後も児童生徒数の減少が見込まれています。地域によって状況が異なることから，各学校の児童生徒数の動向に留意する必要があります。

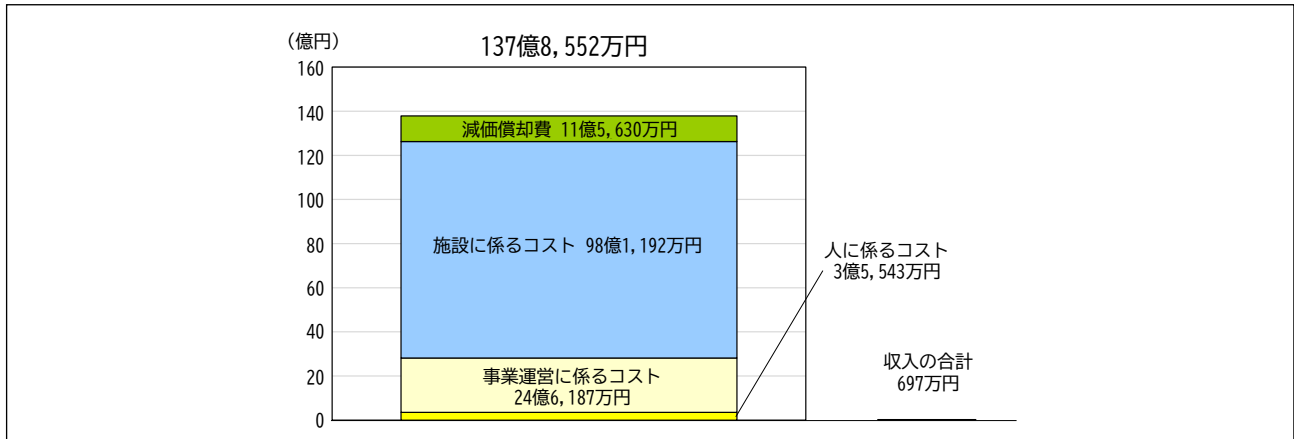
● コスト状況

- ・ 小学校のトータルコストは約 137 億 8,552 万円で，施設に係るコストが約 71.1%，事業運営に係るコストが約 17.8%，人に係るコストが約 2.6%となっています。
- ・ 小学校別トータルコストは，多い順に田中北小学校，田中小学校，富勢小学校となっています。
- ・ 中学校のトータルコストは約 35 億 7,309 万円で，施設に係るコストが約 38.6%，事業運営に係るコストが約 38.0%，人に係るコストが約 3.8%となっています。
- ・ 中学校別トータルコストは，多い順に富勢中学校，柏第三中学校，柏の葉中学校となっています。
- ・ 小学校及び中学校は老朽化が進んだ校舎や体育館が多く，今後のあり方について検討が必要です。
- ・ 高等学校のトータルコストは約 5 億 8,654 万円で，施設に係るコストが約 36.6%，事業に係るコストが約 34.8%，人に係るコストが約 11.6%となっています。

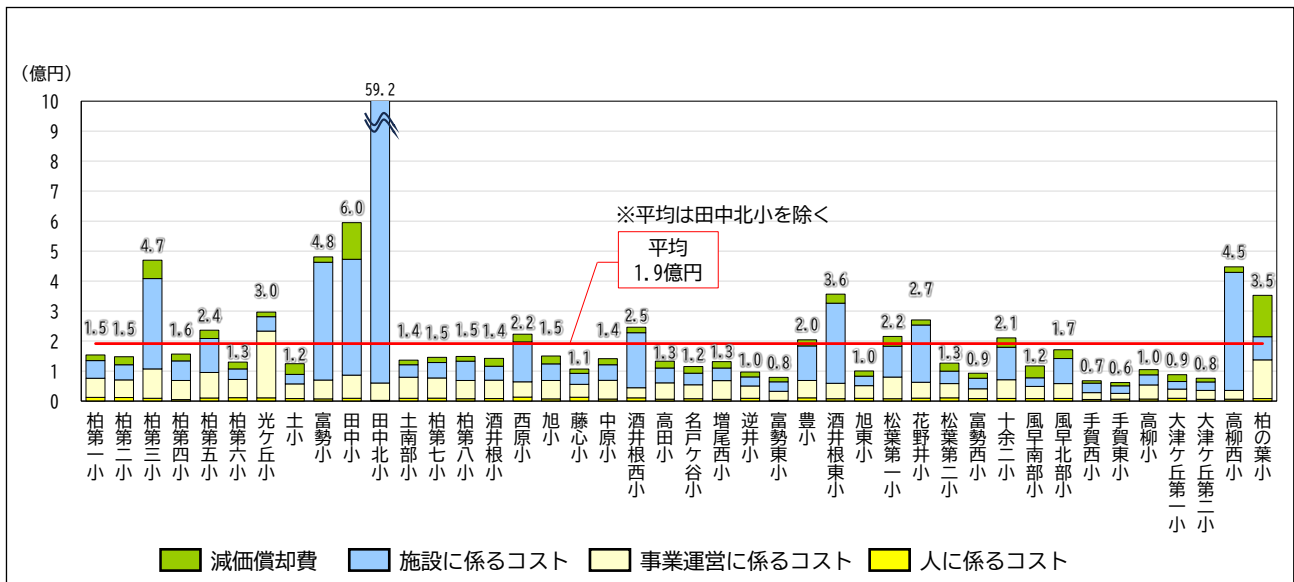
【児童生徒数の推移】



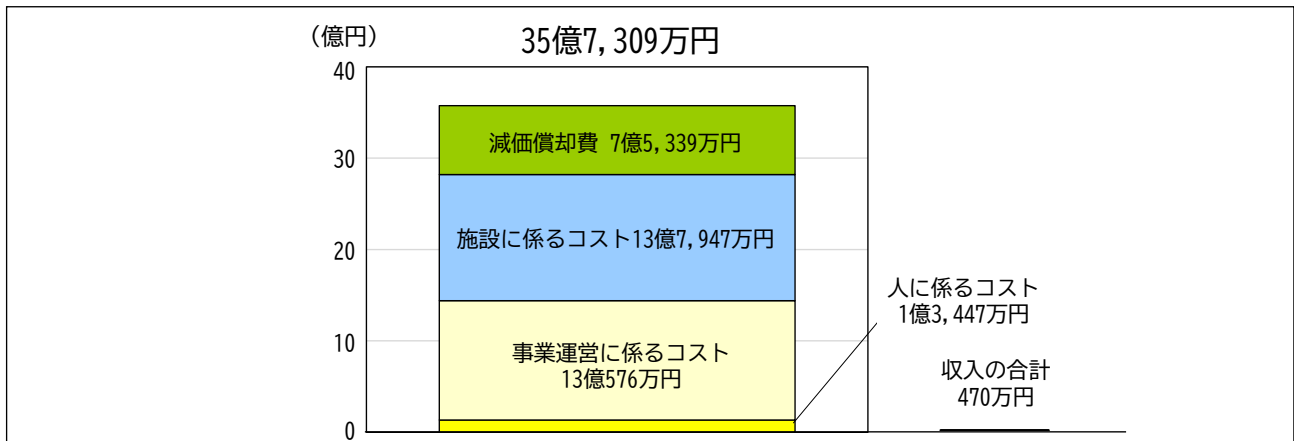
【小学校 トータルコスト 令和4（2022）年度】



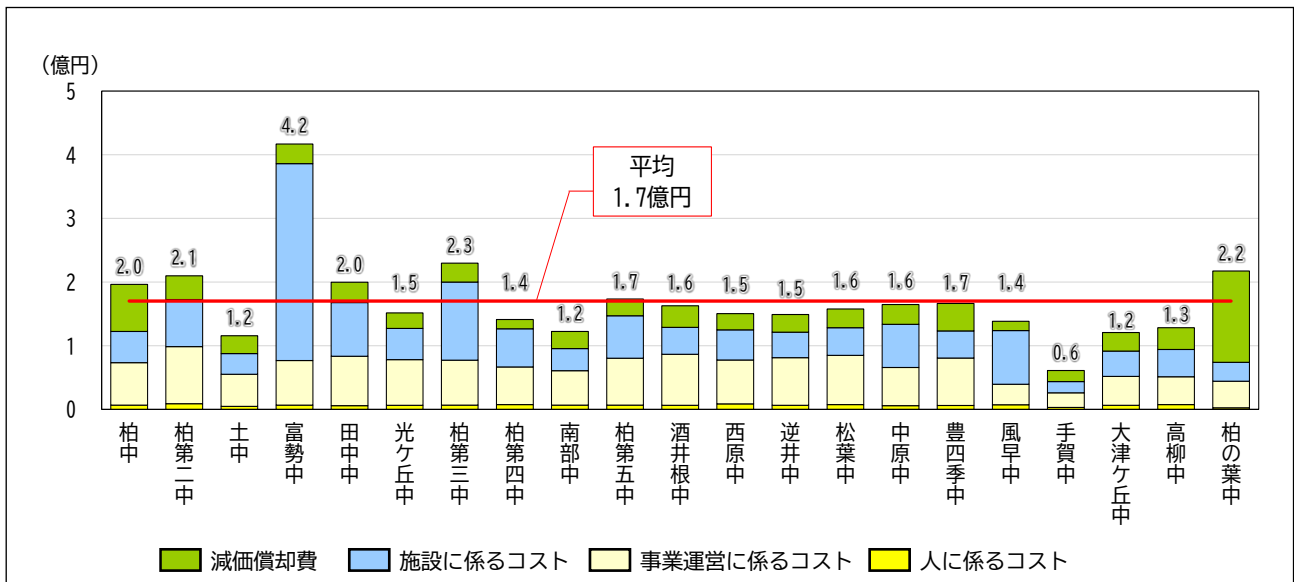
【小学校 学校別トータルコスト 令和4（2022）年度】



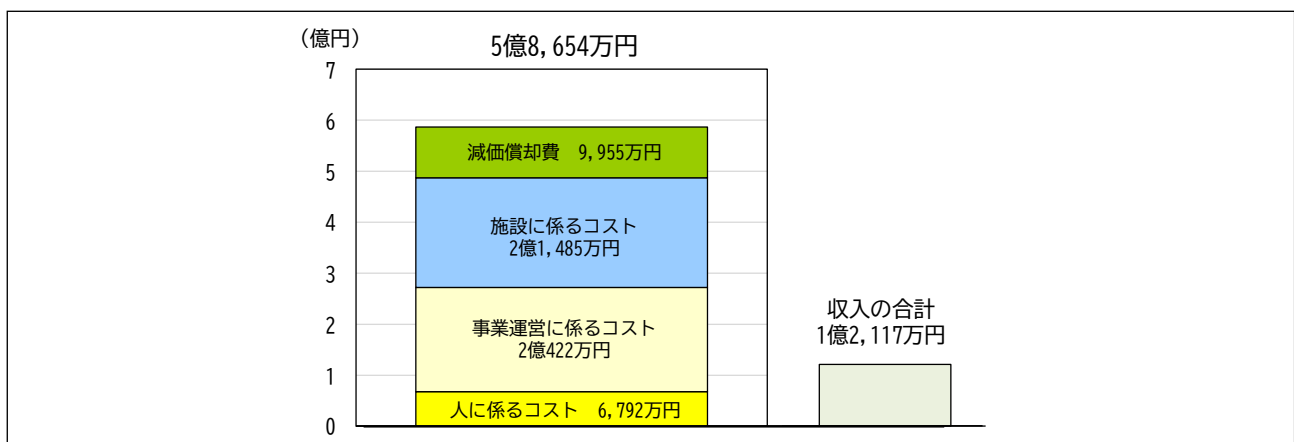
【中学校 トータルコスト 令和4（2022）年度】



【中学校 学校別トータルコスト 令和4（2022）年度】

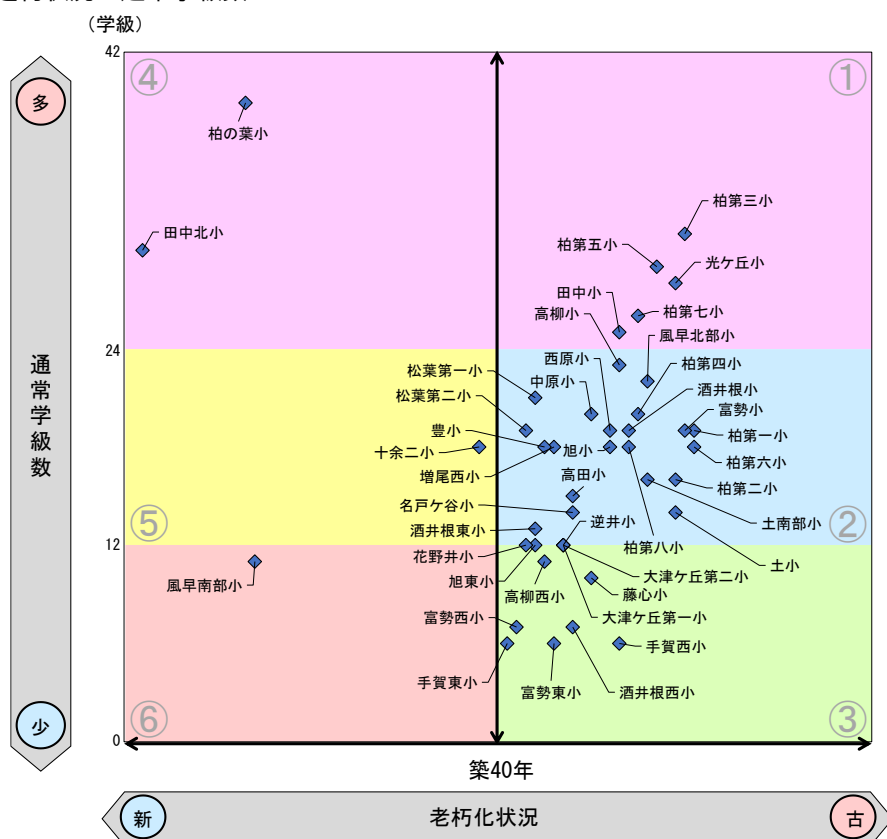


【高等学校 トータルコスト 令和4（2022）年度】

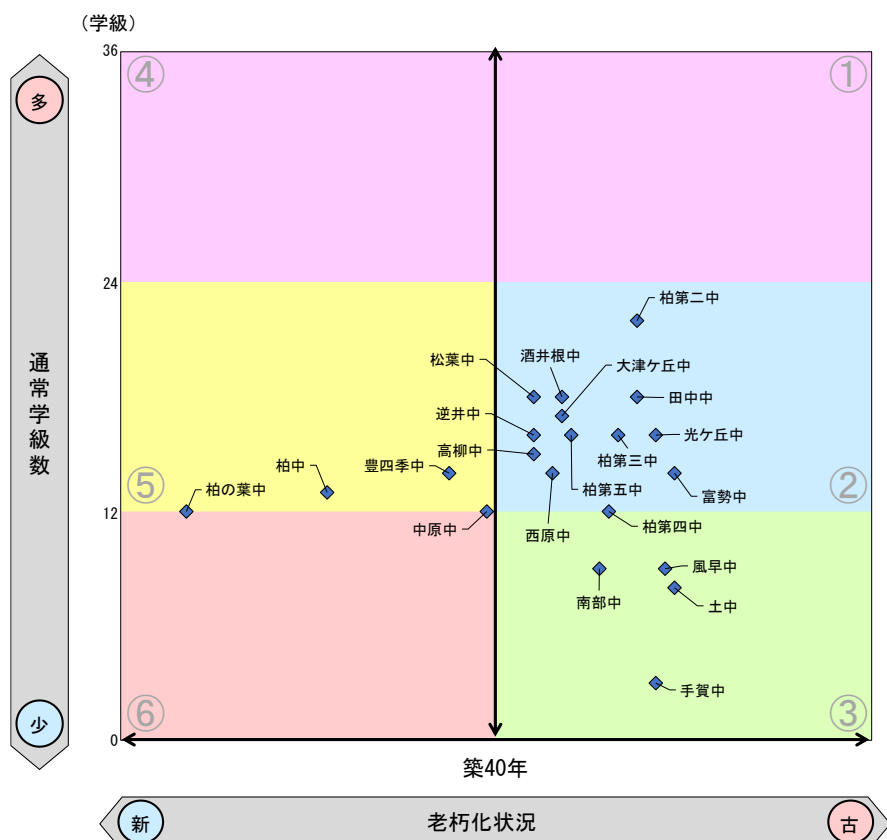


④ 2軸評価

●小学校 建物状況と通常学級数



●中学校 建物状況と通常学級数



⑤ 学校施設の目指すべき姿

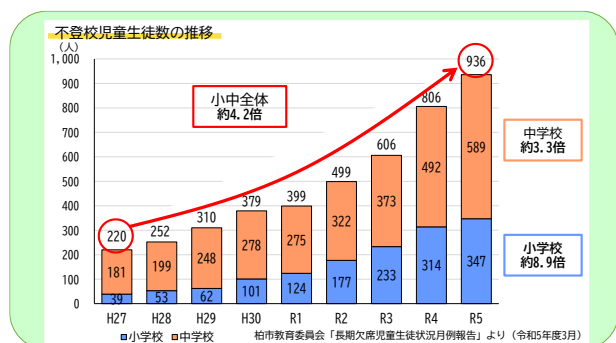
●「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定

- ・「よりよい教育環境の確保」と「教育の質の向上」を図ることを目的として、令和7（2025）年3月に「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」を策定しました。
- ・基本方針策定の背景として、「学校現場の多種多様な教育課題」と「児童生徒数の減少」があります。

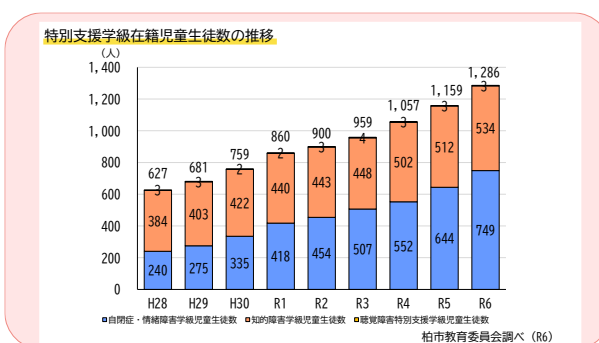
柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針

今日的な教育課題や児童生徒数の減少見込み等を踏まえ、将来における「新しい学校のあり方」を幅広い視点で検討し、『よりよい教育環境の確保』と『教育の質の向上』を図る

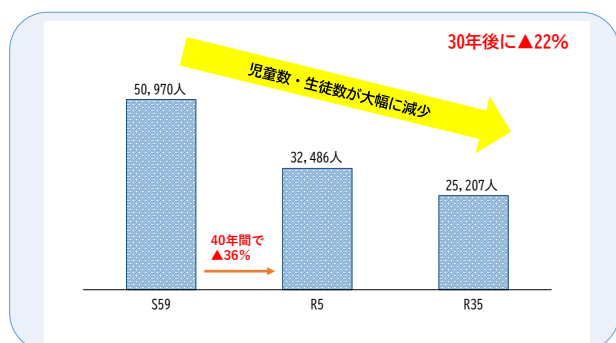
現状① 不登校児童生徒が大幅に増加傾向



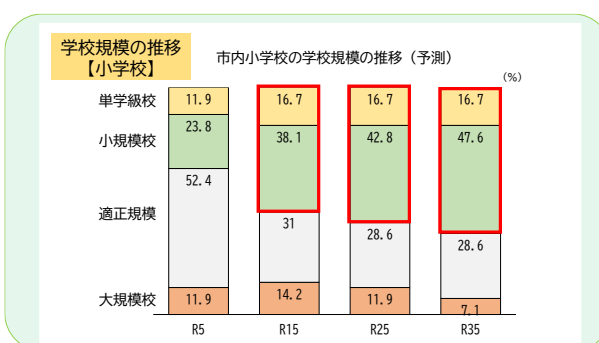
現状② 特別支援教育のあり方



現状③ 児童数・生徒数が大幅に減少



現状④ 将来にわたり、小規模校が増加する見込み



- ・「自他の対話を大切にしながら、学び続けるかしわっ子 ～よりよい自分 よりよい“かしわ”を目指して～」を本市の学校教育が目指す子ども像として定め、その実現に向けてソフト・ハードの両面から具体的な取組を推進します。

⑥ 今後の方向性

- 児童生徒数の減少により望ましい学校規模を下回り、一定の教育環境を維持できない場合には、「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」に基づき、将来にわたる児童生徒数の見込みや学校施設の老朽化状況等を勘案し、中学校区単位での学校のあり方(小中一貫校の設置を含む)の検討等、一定の集団規模を確保した学校づくりを進めていきます。
- 一方で、児童生徒数の増加が見込まれ教室数の不足が懸念される学校では、施設の増改築等により、良好な教育環境の確保に努めます。
- 安全・安心な学校施設を維持・継続するため、日常的な点検や維持保全に加え、「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)に基づき、計画的に大規模改修等を実施します。また、児童生徒数の減少等による教育環境の変化に対応するため、将来の学校のあり方を十分検討し、適時適切な施設整備に努めます。
- 大規模改修や建替等の機会を捉え、こどもルームや図書館、近隣センター等との複合化により学校施設の有効活用を図ります。複合化を行う場合は、教育環境に支障のないことを第一に、施設用途の選定、安全性の確保、円滑な動線確保等を慎重に検討します。また、地域とともにある学校づくりの推進に向け、コミュニティ・スクールとして連携を図りながら学校教育と社会教育の連携や地域との交流についても検討します。
- 令和6(2024)年3月に改訂した「柏市学校給食将来構想」に基づき、給食室について計画的に改修や建替を行い、施設を維持していきます。また、学校給食センターは、老朽化が進行しているため、早急に建替を進めます。
- 学校プールは、小学校の授業では民間プール委託を拡大し、一部の学校を除いてプール施設の利用を廃止する予定です。中学校については、令和7(2025)年度を目途に方向性を示すことができるよう検討を図ります。

⑦ 個別施設再編方針

【小学校】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	柏第一小学校 S38 (1963)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,500.52	期末	6,515.52	6,515.52		6,515.52		6,515.62		
		内容	(第2期) より良い教育環境を確保するため、柏第一小学校、旭東小学校並びに柏中学校を一つの義務教育学校として新たに設置する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	12,805.50	
2	柏第二小学校 S40 (1965)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	増築+改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,416.54	期末	5,813.73	5,813.73		5,813.73		5,813.73		
		内容	(第1期) 児童数の増加に対応するため、仮設校舎の増築を行った。また、体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	16,098.22	
3	柏第三小学校 S39 (1964)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	建替				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,991.46	期末	9,588.31	10,135.53		10,135.53		10,135.53		
		内容	(第1期) 一部の校舎を対象として、安全で充実した教育環境を確保するため、建替を行った。 (第2期) 給食室の増築を行う。また、「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	31,392.47	
4	柏第四小学校 S44 (1969)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,444.31	期末	6,486.35	6,486.35		6,486.35		6,486.35		
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,151.91	
5	柏第五小学校 S42 (1967)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	増築				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,379.68	期末	7,672.64	7,672.64		7,672.64		7,672.64		
		内容	(第1期) 児童数の増加に対応するため、仮設校舎の増築を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	16,457.67	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	柏第六小学校 S38 (1963)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,775.56	期末	5,477.67	5,477.67			5,477.67		5,477.67	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	19,625.83	
7	光ヶ丘小学校 S40 (1965)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,521.60	期末	6,646.91	6,646.91			6,646.91		6,646.91	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	15,285.17	
8	土小学校 S40 (1965)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,485.96	期末	5,560.68	5,560.68			5,560.68		5,560.68	
		内容	(第1期) 継続して建物を使用するため、校舎棟を対象としては柏市初となる長寿命化改修を実施した。 (第2期) 体育館の長寿命化改修を行う。										
	複合施設(親)	複合施設名	土小こどもルーム(子)								敷地面積 (㎡)	12,302.09	
9	富勢小学校 S39 (1964)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,888.50	期末	5,856.13	5,856.13			5,856.13		5,856.13	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,521.66	
10	田中小学校 S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	建替＋改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,662.51	期末	10,985.76	10,985.76			10,985.76		10,985.76	
		内容	(第1期) 一部の校舎を対象として、安全で充実した教育環境を確保するために建替を行い、また、その他の校舎は継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	23,289.67	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	田中北小学校 R4 (2022)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	15,122.49	15,122.49			15,122.49		15,122.49	
		内容	(第1期) 柏たなか駅周辺の児童増加に対応するため、隣接する田中小学校の通学区域の一部を新たに加え、令和5年4月より移転開校。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	田中北小こどもルーム(子)、防災備蓄倉庫(田中北小)(子)									敷地面積 (㎡)	27,117.78
12	土南部小学校 S43 (1968)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,803.74	期末	5,769.67	5,769.67			5,769.67		5,769.67	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	21,630.26
13	柏第七小学校 S44 (1969)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,281.07	期末	6,403.19	6,403.19			6,403.19		6,403.19	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	柏七小こどもルーム(子)									敷地面積 (㎡)	19,644.94
14	柏第八小学校 S45 (1970)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,005.52	期末	6,005.52	6,005.52			6,005.52		6,005.52	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	18,125.61
15	酒井根小学校 S45 (1970)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,842.81	期末	5,827.94	5,816.04			5,816.04		5,816.04	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	18,491.23

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
16	西原小学校 S47 (1972)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,791.47	期末	6,607.48	6,607.48			6,607.48		6,607.48	
		内容	(第1期) 校舎全棟を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行っている。 (第2期) 引き続き長寿命化改修を行う。「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,788.14
17	旭小学校 S47 (1972)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,779.26	期末	5,745.30	5,745.30			5,745.30		5,745.30	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,846.97
18	藤心小学校 S49 (1974)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	4,640.63	期末	4,607.51	4,607.51			4,607.51		4,607.51	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	24,000.39
19	中原小学校 S49 (1974)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,372.17	期末	6,372.17	6,372.17			6,372.17		6,372.17	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,657.02
20	酒井根西小学校 S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,183.78	期末	5,183.78	5,183.78			5,183.78		5,183.78	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,921.03

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
21	高田小学校 S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,141.60	期末	5,308.20	5,308.20			5,308.20		5,308.20	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 校舎棟の長寿命化改修を行う。「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	高田小こどもルーム(子)									敷地面積 (㎡)	28,240.72
22	名戸ヶ谷小学校 S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,044.29	期末	5,156.55	5,156.55			5,156.55		5,156.55	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	名戸ヶ谷小こどもルーム(子)									敷地面積 (㎡)	23,465.94
23	増尾西小学校 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,372.45	期末	6,482.82	6,482.82			6,482.82		6,482.82	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	増尾西小こどもルーム(子)									敷地面積 (㎡)	17,498.03
24	逆井小学校 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,029.41	期末	6,022.25	6,022.25			6,022.25		6,022.25	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	20,327.01
25	富勢東小学校 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,337.68	期末	5,457.68	5,457.68			5,457.68		5,457.68	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	富勢東小こどもルーム(子)									敷地面積 (㎡)	19,815.03

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
26	豊小学校 S54 (1979)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,282.25	期末	5,272.34	5,272.34			5,272.34		5,272.34	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	16,032.24
27	酒井根東小学校 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,681.05	期末	5,679.71	5,679.71			5,679.71		5,679.71	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	16,943.55
28	旭東小学校 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	4,379.72	期末	4,379.72	4,379.72			4,379.72		4,379.72	
		内容	(第2期) より良い教育環境を確保するため、柏第一小学校、旭東小学校並びに柏中学校を一つの義務教育学校として新たに設置する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	12,776.20
29	松葉第一小学校 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,399.70	期末	6,356.67	6,356.67			6,356.67		6,356.67	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,949.72
30	花野井小学校 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,043.53	期末	6,039.30	6,039.30			6,039.30		6,039.30	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,801.00

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
31	松葉第二小学校 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,205.16	期末	6,205.16	6,205.16			6,205.16		6,205.16	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,883.73
32	富勢西小学校 S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,911.72	期末	6,040.30	6,040.30			6,040.30		5,911.72	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	富勢西小こどもルーム(子)									敷地面積 (㎡)	19,701.48
33	十余二小学校 S61 (1986)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	増築				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,418.54	期末	5,915.57	5,915.57			5,915.57		5,915.57	
		内容	(第1期) 児童数や生徒数の増加に対応するため、仮設校舎の増築を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	十余二小こどもルーム第二保育室(子)									敷地面積 (㎡)	19,474.59
34	風早南部小学校 H22 (2010)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,963.19	期末	5,963.19	5,963.19			5,963.19		5,963.19	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	20,000.02
35	風早北部小学校 S43 (1968)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,105.12	期末	6,105.12	6,105.12			6,105.12		6,105.12	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	12,018.96

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
36	手賀西小学校 S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	2,929.32	期末	2,993.32	2,993.32			2,993.32		2,993.32	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	手賀西小こどもルーム(子)								敷地面積 (㎡)	9,923.61	
37	手賀東小学校 S58 (1983)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	3,152.19	期末	3,152.19	3,152.19			3,152.19		3,152.19	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	手賀東小こどもルーム(子)								敷地面積 (㎡)	16,374.61	
38	高柳小学校 S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,960.65	期末	6,024.13	6,024.13			6,024.13		6,024.13	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	高柳小こどもルーム第二保育室(子)								敷地面積 (㎡)	17,171.49	
39	大津ヶ丘第一小学校 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	5,948.41	期末	5,938.66	5,938.66			5,938.66		5,938.66	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,347.00	
40	大津ヶ丘第二小学校 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	4,882.19	期末	4,882.19	4,882.19			4,882.19		4,882.19	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,999.00	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
41	高柳西小学校 S54 (1979)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	4,850.77	期末	4,850.77	4,850.77		4,850.77		4,850.77	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	18,506.61
42	柏の葉小学校 H23 (2011)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	増築				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	9,615.83	期末	14,486.83	14,486.83		14,486.83		14,486.83	
		内容	(第1期) 児童数の増加に対応するため、仮設校舎の増築を行った。 ※柏の葉中学校の新設に伴い校舎、渡り廊下の増築を実施した。 (第2期) 校舎棟の増築を行う。また、「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	複合施設(親)	複合施設名	柏の葉小こどもルーム第三・第四・第五・第六保育室(子)								敷地面積 (㎡)	32,991.40

【中学校】

94

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
48	光ヶ丘中学校 S42 (1967)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	7,324.53	期末	7,258.03	7,258.03		7,258.03		7,258.03	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	22,755.09
49	柏第三中学校 S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	7,876.07	期末	7,876.07	7,876.07		7,876.07		7,876.07	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	22,410.92
50	柏第四中学校 S47 (1972)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	6,669.81	期末	6,441.05	6,441.05		6,441.05		6,441.05	
		内容	(第1期) 校舎全棟を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行っている。 (第2期) 引き続き長寿命化改修を行う。「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	22,125.48
51	南部中学校 S48 (1973)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	6,573.82	期末	6,581.82	6,581.82		6,581.82		6,581.82	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,968.00
52	柏第五中学校 S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	7,122.61	期末	7,086.28	7,086.28		7,086.28		7,086.28	
		内容	(第2期) 体育館の長寿命化改修を行う。「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	24,078.84

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
53	酒井根中学校 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	8,140.80	期末	8,064.17	8,064.17			8,064.17		8,064.17	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	23,579.37
54	西原中学校 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,286.47	期末	7,271.50	7,271.50			7,271.50		7,271.50	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	20,900.80
55	逆井中学校 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,771.32	期末	7,792.17	7,792.17			7,792.17		7,792.17	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	23,123.85
56	松葉中学校 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,858.27	期末	7,823.45	7,823.45			7,823.45		7,823.45	
		内容	(第1期) 体育館を対象として、継続して建物を使用するため、長寿命化改修を行った。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	22,625.41
57	中原中学校 S60 (1985)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,852.12	期末	6,941.94	6,941.94			6,941.94		6,941.94	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	21,746.66

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
58	豊四季中学校 H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,360.93	期末	7,360.93	7,360.93			7,360.93		7,360.93	
		内容	(第2期)「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,704.37
59	風早中学校 S41(1966)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,008.32	期末	6,008.32	6,008.32			6,008.32		6,008.32	
		内容	(第2期)「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,828.56
60	手賀中学校 S42(1967)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	4,026.53	期末	4,018.19	4,018.19			4,018.19		4,018.19	
		内容	(第2期)「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	18,724.61
61	大津ヶ丘中学校 S52(1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	7,283.32	期末	7,283.32	7,283.32			7,283.32		7,283.32	
		内容	(第2期)「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	27,313.00
62	高柳中学校 S55(1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	6,827.35	期末	6,807.35	6,807.35			6,807.35		6,807.35	
		内容	(第2期)「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	26,828.97

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
63	柏の葉中学校 H29 (2017)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	新設				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	9,254.63	9,254.63			9,254.63		9,254.63	
		内容	(第1期) 柏の葉キャンパス駅周辺を区域とする柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業の進捗に伴う生徒数の増加に対応するため、中学校を新設した。 (第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)年3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	27,000.05	

【高等学校】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
64	市立柏高等学校 S52 (1977)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	21,145.20	期末	21,145.20	21,145.20			21,145.20		21,145.20	
		内容	(第2期) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」(令和7(2025)年3月策定)及び「柏市立学校施設個別施設計画」(令和8(2026)3月改定予定)で、今後の児童・生徒数の推移や新しい時代に求められる教育環境を踏まえた再整備の手法等を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)		63,282.25

(3) 保育園

① 施設概要

- ・ 公立保育園は、保護者の就労や病気等により保育が必要な乳幼児を、保護者に代わって保育するとともに、一時預かり事業の実施のために市内に 22 施設設置されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	園児数（人）								認可定員 (人)	入園率
							0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計			
1	桜台保育園	中央2	柏市桜台9－6	1,397.09	S49	48	6	30	30	29	28	27	150	160	93.8%	
2	若葉保育園	中央2	柏市若葉町4－36	1,027.88	S45	52	15	20	20	24	26	28	133	130	102.3%	
3	あけぼの保育園	中央1	柏市あけぼの三丁目4－18	591.02	S46	51	－	15	16	18	18	20	87	90	96.7%	
4	富勢保育園	北部2	柏市布施834－1	1,199.10	H10	24	9	16	20	25	27	30	127	115	110.4%	
5	東中新宿保育園	南部2	柏市東中新宿四丁目5－24	1,086.27	S54	43	9	20	24	27	28	29	137	130	105.4%	
6	豊四季保育園	中央1	柏市豊四季台二丁目1－120	1,880.52	R元	3	17	38	39	45	45	48	232	245	94.7%	
7	増尾保育園	南部1	柏市増尾六丁目6－1	913.02	H21	13	－	20	24	26	27	27	124	100	124.0%	
8	豊住保育園	南部2	柏市豊住三丁目1－43	981.16	S48	49	9	20	22	27	26	28	132	130	101.5%	
9	土南部保育園	南部1	柏市逆井1305－2	915.37	S49	48	2	20	24	26	28	29	129	130	99.2%	
10	西原保育園	北部1	柏市西原一丁目4－20	915.33	S51	46	9	20	24	26	28	28	135	130	103.8%	
11	豊町保育園	中央2	柏市豊四季698－28	1,202.21	S52	45	15	24	29	30	29	29	156	159	98.1%	
12	富士見保育園	中央1	柏市豊四季126－2	931.16	S52	45	8	14	16	25	25	22	110	130	84.6%	
13	酒井根保育園	南部2	柏市酒井根四丁目10－33	1,786.29	S53	44	13	32	40	42	44	47	218	220	99.1%	
14	名戸ヶ谷保育園	南部1	柏市名戸ヶ谷683－1	1,049.24	S53	44	2	20	22	26	25	30	125	127	98.4%	
15	田中保育園	北部1	柏市正連寺100	862.40	S53	44	－	20	24	25	25	24	118	100	118.0%	
16	旭町保育園	中央1	柏市旭町五丁目3－25	1,036.63	S54	43	5	20	21	27	26	30	129	130	99.2%	
17	東町保育園	中央2	柏市東二丁目1－27	1,079.03	S54	43	6	20	21	26	26	24	123	130	94.6%	
18	高野台保育園	北部2	柏市根戸416－67	1,080.71	S55	42	9	18	23	26	28	29	133	130	102.3%	
19	しこだ保育園	中央1	柏市篠籠田1275－5	1,103.66	S55	42	9	20	24	27	29	28	137	130	105.4%	
20	松葉保育園	北部2	柏市松葉町四丁目11	1,322.72	S57	40	9	20	27	30	29	30	145	150	96.7%	
21	高柳保育園	沼南	柏市高柳1503－9	492.69	S58	39	5	7	9	14	11	13	59	60	98.3%	
22	高柳西保育園	沼南	柏市しいの木台五丁目31－2	750.69	H8	26	6	15	17	17	19	20	94	85	110.6%	
				合計	23,604.19											

This map illustrates the urban functional promotion areas (都市機能誘導区域) and the locations of kindergartens (保育園) within the Tama River basin. The map includes a scale bar (0 to 10 km) and a legend. The legend indicates that red outlines represent urban functional promotion areas and orange circles represent kindergartens. The map shows various locations along the Tama River, including Tama (田中), Maebashi (前橋), and Maebashi (前橋). The map also shows the Tama River and surrounding green spaces.

閉館日	日曜日・祝休日・年末年始（12月29日から1月3日まで）
開館時間	月～土：7：00～19：00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 保育園は 22 施設で延床面積合計は約 23,604 ㎡です。
- ・ 22 施設中 17 施設が築 40 年以上となっており老朽化が深刻です。
- ・ 延床面積の平均は約 1,073 ㎡ですが、高柳保育園約 493 ㎡、あけぼの保育園約 591 ㎡のように規模の小さい施設もあります。
- ・ 令和 2（2020）年度には富士見保育園、令和 4（2022）年度には田中保育園、令和 5（2023）年度には桜台保育園などの改修工事を実施しています。

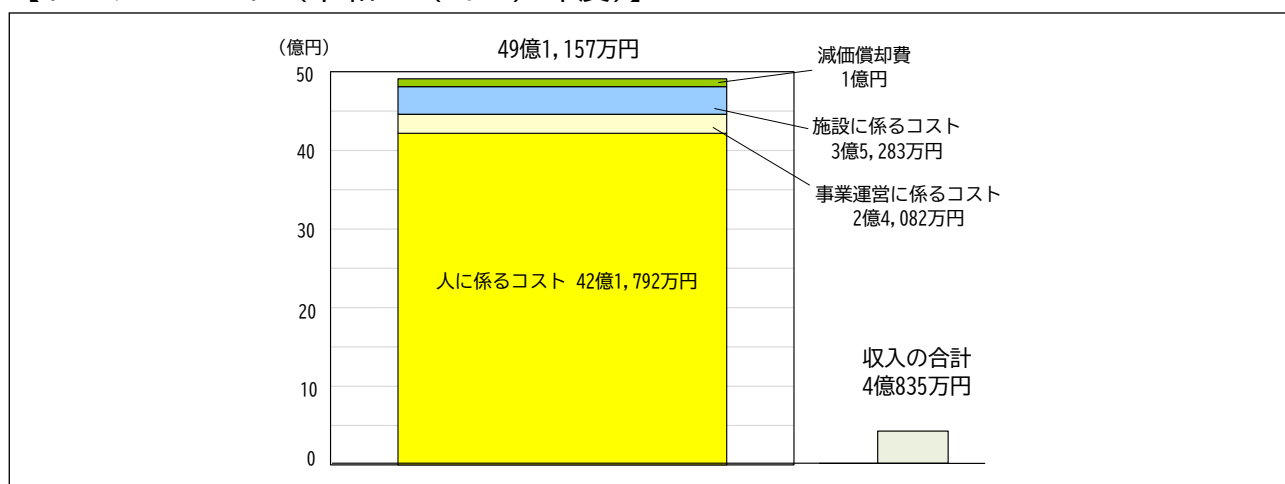
● 利用状況

- ・ 施設数では、公立保育園は令和元（2019）年度以降施設の増減はありませんが、認可保育園は直近 9 年間で 48 園増加し、約 2 倍になっています。保育利用者数も全体で約 1.6 倍増加しており、保育園全体に対するニーズは増加傾向にあると言えます。

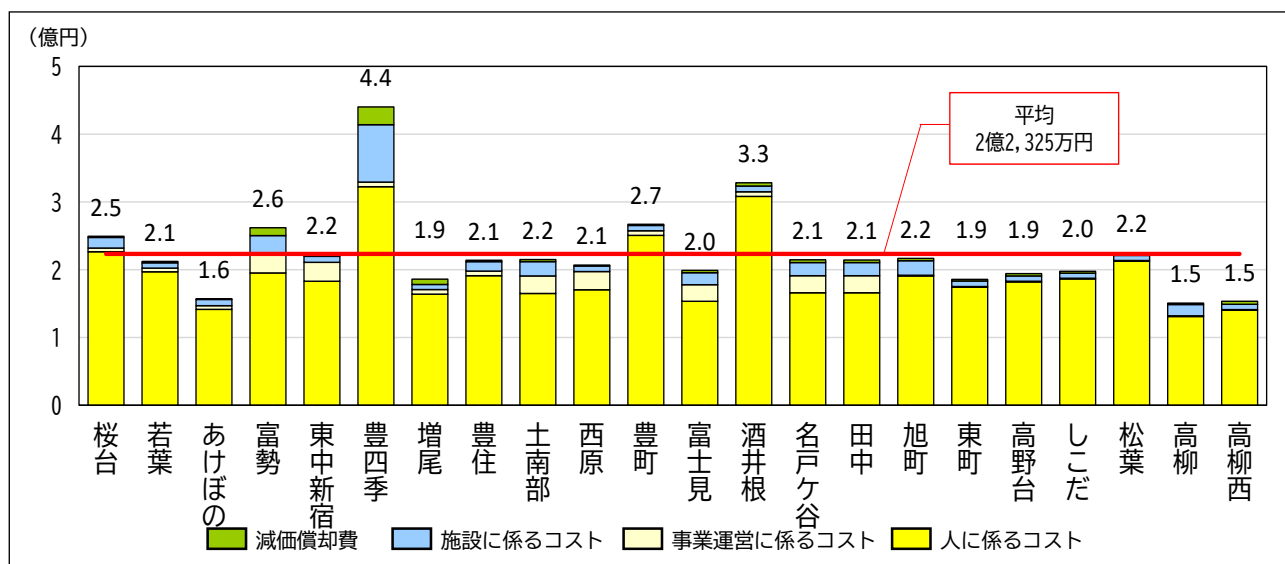
● コスト状況

- ・ トータルコストは約 49 億 1,157 万円、施設に係るコストが約 7.2%ですが、人に係るコストが約 85.9%となっており大半を占めています。
- ・ 施設別トータルコストは、豊四季台保育園、酒井根保育園などが大きくなっていますが、これらの保育園は園児数が 200 人を超えている施設です。

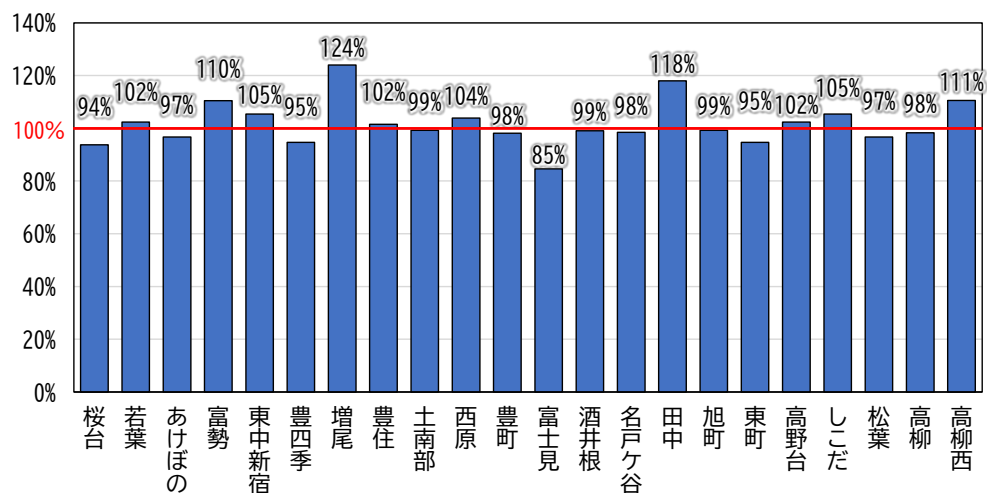
【トータルコスト（令和 4（2022）年度）】



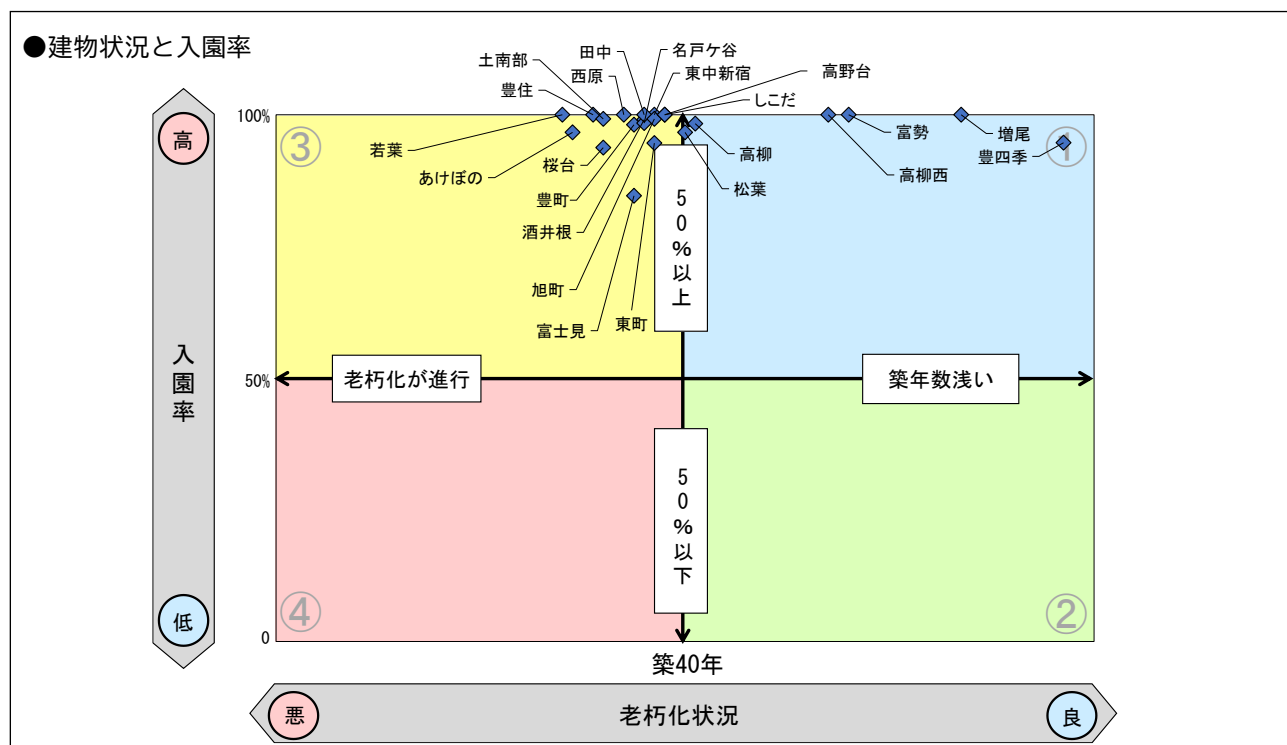
【施設別トータルコスト（令和 4（2022）年度）】



【公立保育園入園率（令和4（2022）年度）】



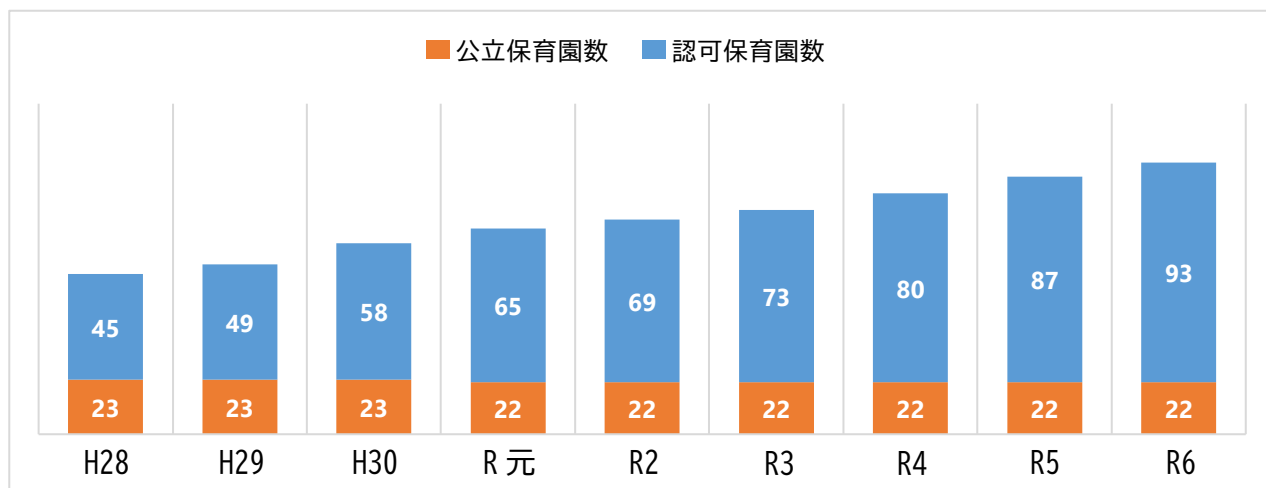
⑤ 2軸評価



【参考】近年の柏市の保育の状況

女性就業率の増加に伴い、柏市全体で保育園利用者は増加しています。保育園利用者の対応するため、私立の認可保育園の整備を進めてきました。そのため、認可保育園数は平成 28（2016）年度と令和 6（2024）年度で比較して約 2 倍の 93 園まで増加していますが、公立保育園数はほぼ変わっていません。

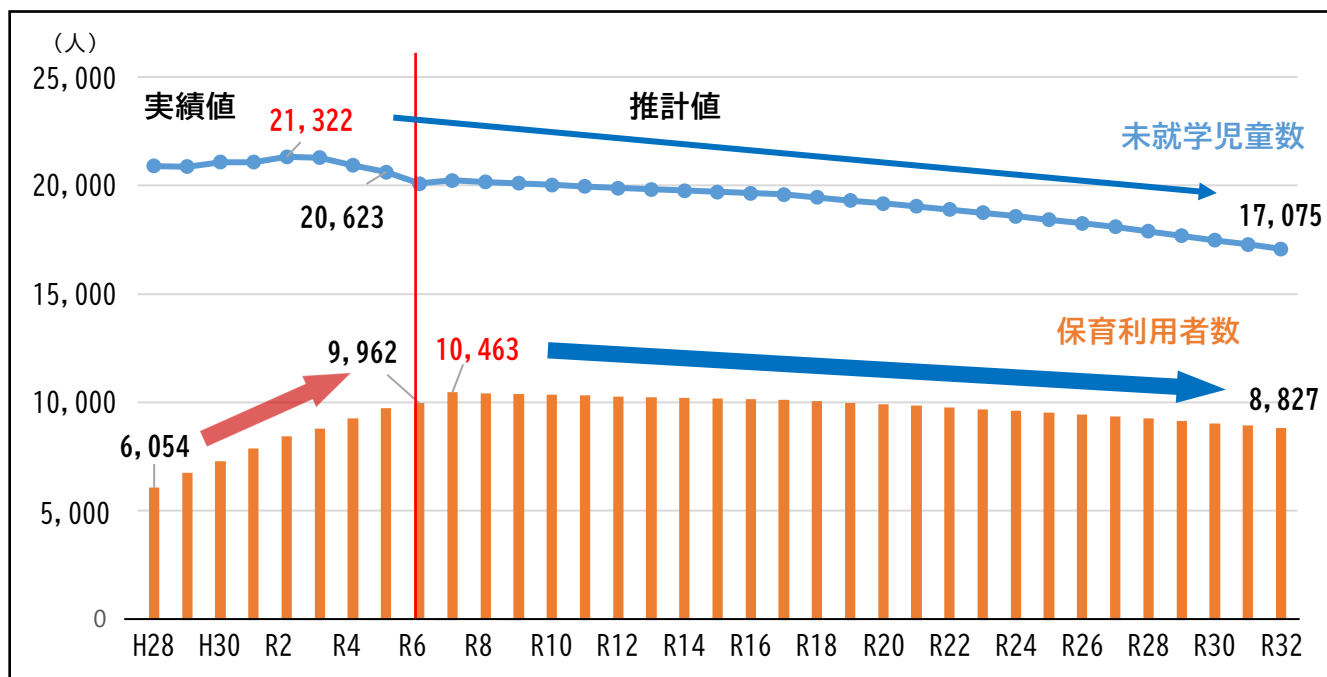
【市内保育施設数 （令和 6（2024）年度）】



【柏市の保育需要の将来推計について（各年 4 月 1 日時点）】

柏市全体として、当面の間は女性就業率の増加で保育需要の増加は見込まれますが、少子化により令和 7（2025）年度をピークに保育利用者数、未就学児童数はともに減少傾向へと変わっていくことが予想されます。

【保育利用者数・未就学児童数推移】



※令和 6（2024）年度までは実績値，令和 7（2025）年度以降は推計値

※令和 5（2023）年度，人口推計（データ分析室作成）をベースに積算

i) 柏市保育のあり方に関する基本方針について

- ・市では、柏市全体の保育の課題解決のため、令和3（2021）年度から「柏市保育のあり方検討懇談会」、「柏市子ども・子育て会議」等で検討を進め、令和5（2023）年3月に「柏市保育のあり方に関する基本方針」を以下のとおり、基本方針を定めています。

ii) 公立保育園の役割について

- ・柏市の保育園では、市が抱える保育に関する課題を以下の3点として整理しています。

多様化する
保育ニーズへの対応

保育人材確保及び
保育の質の向上

変動する保育需要
への対応

- ・これらの課題に対応するため、柏市の保育における公立保育園の役割を「柏市保育のあり方に関する基本方針」等において、以下のように整理しています。

「柏市保育のあり方に関する基本方針」、「柏市保育のあり方検討懇談会報告書」より

地域調整機能

○公立保育園の一部を「基幹園」として位置づけ、地域における保育の調整役となり、私立保育園等と協力して、地域保育の質の向上を図る。（例として、地区別交流会の開催や公開保育等といった研修の機会の提供などが考えられる。）

保育ニーズ 対応調整機能

○保健所、児童相談所、こども発達センター、小学校など、保育に関する他の関係行政機関と連携し、各施設や機関の課題等について情報共有を図る。

セーフティ ネット機能

○保育需要が減少する局面においては、公立保育園における「定員の弾力化」の停止や定員削減を行い、保育需要と供給量のバランスを保つための調整を図る。

○特別な事情のある子どもの急な受け入れなどの緊急時の対応を可能とする。

iii) 公立保育園の機能・設備の検討について

公立保育園を再整備する際には、一般園及び基幹園のそれぞれに必要な機能及び設備を設置することを検討します。

《基幹園》

地域における保育の調整役としての機能を持たせた公立保育園

→一般園の設備に、地域の調整役としての機能（会議室・研修室、公開保育対応スペース等）を付加する。

《一般園》

基幹園以外の公立保育園

→保育室、プレイルーム、職員室、調理室等の既存施設が有する設備に、多様な保育ニーズへの対応や、保育環境の充実を図るための設備（クールダウンスペース、多目的室、相談室、エレベーター等）付加する。

IV) 保育需要の対応

柏市保育のあり方に関する基本方針においては、変動する保育需要への対応について、それぞれの局面においては、以下のとおり取り組むこととしています。

保育需要の増減	取組
保育需要が増加する局面 	* 現地での再整備（改修・建替）を検討する。 * 敷地や周辺の状況によって現地での再整備（改修・建替）が困難な場合は、近隣への移転を検討する。 * 近隣への移転も困難な場合は、代替措置を検討した上で、閉園する。
保育需要が減少する局面 	* 定員数の調整や統廃合によって地域の保育園等の定員数を調整することを検討する。 * 周辺の保育園などの配置状況などから、地域の保育が失われると判断される場合には、再整備を検討する。

⑥ 今後の方向性

《全体の方向性》

- ・現時点においては保育需要が増加傾向にありますが、将来的には減少することが見込まれることから、地域ごとの保育需要や民間施設の整備状況、施設の老朽化の状況等を見据えながら、「柏市保育のあり方に関する基本方針（令和5（2023）年3月）」に基づき、公立保育園が保育需要と供給量のバランスを保つための調整を図ります。また、公立保育園の一部を基幹園として位置付けて保育人材確保及び保育の質の向上に努めます。
- ・公立保育園を主要な建物の築年数で4グループへ分け、令和6（2024）年度までに築45年以上となる園のうち、最も建築年数が経過した4園を第1グループとして位置付け優先して再整備方法を検討します。
- ・第2～4グループは社会情勢を注視し、引き続き検討します。

公立保育園（22園） 再整備検討グループ

第1グループ	主要な建物が令和6（2024）年度までに築45年以上となる園のうち、最も建築年数が経過している園【4園】	若葉保育園(中央(東))／あけぼの保育園(中央(西))／豊住保育園(南部)／桜台保育園(中央(東))
第2グループ	主要な建物が令和6（2024）年度までに築45年以上50年未満となる園のうち、第1グループを除いた園【10園】	土南部保育園(南部)／西原保育園(北部)／豊町保育園(中央(東))／富士見保育園(中央(西))／東中新宿保育園(南部)／酒井根保育園(南部)／名戸ヶ谷保育園(南部)／田中保育園(北部)／旭町保育園(中央)／東町保育園(中央(東))
第3グループ	主要な建物が令和6（2024）年度までに築40年以上45年未満となる園【4園】	高野台保育園(北部)／しこだ保育園(中央)／松葉保育園(北部)／高柳保育園(東部)
第4グループ	主要な建物が令和6（2024）年度時点で築40年未満の園【4園】	高柳西保育園(東部)／富勢保育園(北部)／増尾保育園(南部)／豊四季保育園(中央)

- ・保育園の再整備では、子供たちの安全と教育・保育の提供を最優先に考え、再整備手法等を検討してまいります。

《第1グループの方向性》

令和5（2024）年度公立保育園再整備検討調査の調査結果（報告）を踏まえ、以下のとおりとする。

※柏市公立保育園再整備検討報告書 参照

1 若葉保育園

保護者・園児と工事車両の動線を分離した手法で現地建替が可能であるため、現地建替の方向で検討する。

2 あけぼの保育園、豊住保育園及び桜台保育園

現敷地内での建替には工事期間中の安全性の確保や仮設園舎建設用地の確保などの課題があることから、近隣の保育需要及び供給状況に応じて建築後の経過年数60年を目安に休園することを含め再整備の手法等を検討する。

⑦ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	桜台保育園 S49 (1974)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,397.09	期末	1,397.09	1,397.09			1,397.09		1,397.09	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 現敷地での建替及び移転が困難なため、建築後の経過年数60年令和16年(2034年)3月を目安に休園することを含め再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	3,943.81
2	若葉保育園 S45 (1970)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				建替						
		延床面積 (㎡)	期首	1,027.88	期末	1,027.88	1,027.88			1,027.88		1,027.88	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 隣接する柏市立柏第三小学校の敷地を活用して現敷地での建替を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	3,196.71
3	あけぼの保育園 S46 (1971)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	591.02	期末	591.02	591.02			591.02		591.02	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 現敷地での建替及び移転が困難なため、建築後の経過年数60年(令和13(2031)年)3月を目安に休園することを含め再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	1,459.60
4	富勢保育園 H10 (1998)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,199.10	期末	1,199.10	1,199.10			1,199.10		1,199.10	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,126.27
5	東中新宿保育園 S54 (1979)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,086.27	期末	1,086.27	1,086.27			1,086.27		1,086.27	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	1,983.67

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	豊四季保育園 R元(2019)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転＋集約化(建替)＋廃止(既存施設)＋除却＋その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	889.40	期末	1,880.52	1,880.52			1,880.52		1,880.52	
		内容	(第1期) 令和元年に豊四季保育園を隣接地へ移転し、豊四季乳児保育園を閉園し統合。旧豊四季乳児保育園の建物はこども施設として利活用。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	3,500.00
7	増尾保育園 H21(2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	913.02	期末	913.02	913.02			913.02		913.02	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	3,213.00
8	豊住保育園 S48(1973)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	981.16	期末	981.16	981.16			981.16		981.16	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,314.95
9	土南部保育園 S49(1974)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	915.37	期末	915.37	915.37			915.37		915.37	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,645.89
10	西原保育園 S51(1976)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	915.33	期末	915.33	915.33			915.33		915.33	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,028.18

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	豊町保育園 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,202.21	期末	1,202.21	1,202.21			1,202.21		1,202.21	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	2,241.61	
12	富士見保育園 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	931.16	期末	931.16	931.16			931.16		931.16	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	2,128.90	
13	酒井根保育園 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,786.29	期末	1,786.29	1,786.29			1,786.29		1,786.29	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	3,705.17	
14	名戸ヶ谷保育園 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,049.24	期末	1,049.24	1,049.24			1,049.24		1,049.24	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	3,974.80	
15	田中保育園 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	862.40	期末	862.40	862.40			862.40		862.40	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	3,030.00	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
16	旭町保育園 S54 (1979)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,036.63	期末	1,036.63	1,036.63			1,036.63		1,036.63	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月にに基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,205.56
17	東町保育園 S54 (1979)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,079.03	期末	1,079.03	1,079.03			1,079.03		1,079.03	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月にに基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	1,947.14
18	高野台保育園 S55 (1980)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,080.71	期末	1,080.71	1,080.71			1,080.71		1,080.71	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月にに基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	3,604.81
19	しこだ保育園 S55 (1980)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,103.66	期末	1,103.66	1,103.66			1,103.66		1,103.66	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月にに基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,034.21
20	松葉保育園 S57 (1982)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	1,322.72	期末	1,322.72	1,322.72			1,322.72		1,322.72	
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月にに基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	2,512.00

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組																
21	高柳保育園 S58 (1983)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)				第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)				第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)			
		取組	その他				その他											
		延床面積 (㎡)	期首	492.69	期末	492.69	492.69				492.69				492.69			
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。															
	—	複合施設名	—												敷地面積 (㎡)	1,793.82		
22	高柳西保育園 H8 (1996)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)				第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)				第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)			
		取組	その他				その他											
		延床面積 (㎡)	期首	750.69	期末	750.69	750.69				750.69				750.69			
		内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。 (第2期) 柏市保育のあり方に関する基本方針令和5年(2023年)3月及び柏市公立保育園再整備検討報告書令和6年(2024年)5月に基づき、今後の保育需要や社会背景を踏まえて再整備の手法等を検討する。															
	—	複合施設名	—												敷地面積 (㎡)	1,804.16		

(4) 庁舎等

① 施設概要

- ・ 庁舎等については、本市の行政運営を担う各部署が配置されている本庁舎、分庁舎、沼南庁舎など 11 施設が設置されています。なお、会議室等の不足に対応して本庁舎分室 3 が令和 6（2024）年 11 月に建設されました。

【施設一覧】

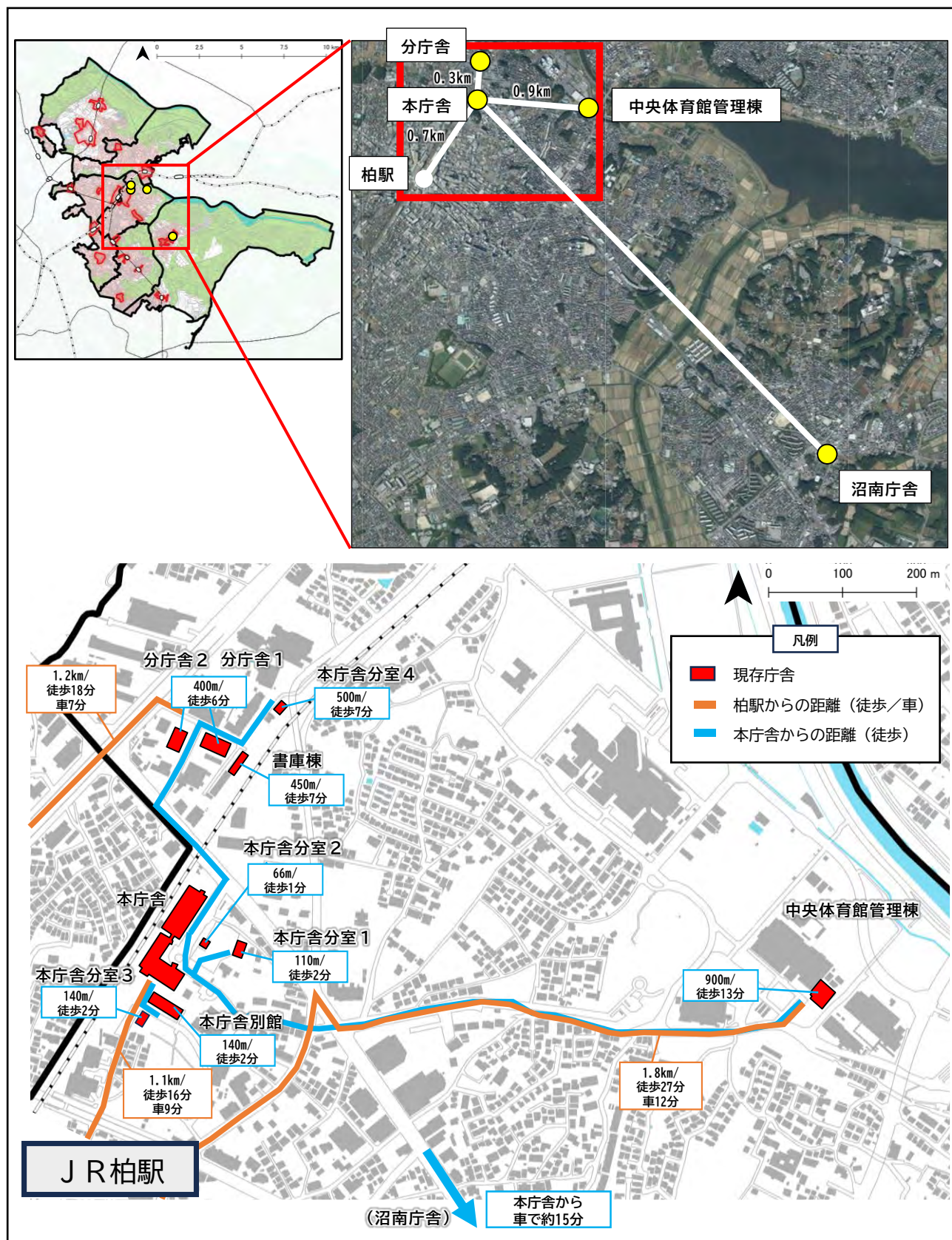
■ 築 40 年以上

No	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	収容可能人数 (人) ※1	勤務している 職員数 (人)	1人当たりの 延床面積(㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	本庁舎	柏市柏五丁目 10-1	14,279.60	571	542	26	S57	40	
2	本庁舎別館	柏市柏五丁目 10-1	2,764.61	111	352	8	H22	12	
3	本庁舎分室 1	柏市柏五丁目 8-32	494.14	20	0	—	H6	28	
4	本庁舎分室 2	柏市柏五丁目 8-32	71.88	3	2	36	S58	39	
5	本庁舎分室 3	柏市柏五丁目 7-22	385.92	15	0	—	R6	—	※2
6	本庁舎分室 4	柏市柏 255-33	273.16	11	0	—	S62	35	
7	分庁舎 1	柏市柏 255	2,189.02	88	162	14	S63	34	
8	分庁舎 2	柏市柏 255-1	993.72	40	67	15	H23	11	
9	書庫棟	柏市柏 255-30	945.76	38	0	—	S54	43	
10	中央体育館管理棟	柏市柏下 73	1,093.13	44	20	55	S51	46	
11	沼南庁舎	柏市大島田 48-1	5,919.45	237	157	38	S40	57	
合計			29,410.39	1,176	1,302				

※1 収容可能人数は、総務省基準「平成 22 年度地方債同意等基準運用要綱」をもとに、他の自治体等と比較して算定した 1 人当たりの基準面積 25 ㎡から収容可能人数を算定

※2 令和 4（2022）年度末時点で建設されていない分室 3 については再編方針検討に影響があるため他施設と同様に扱う

② 配置状況



③ 運営状況

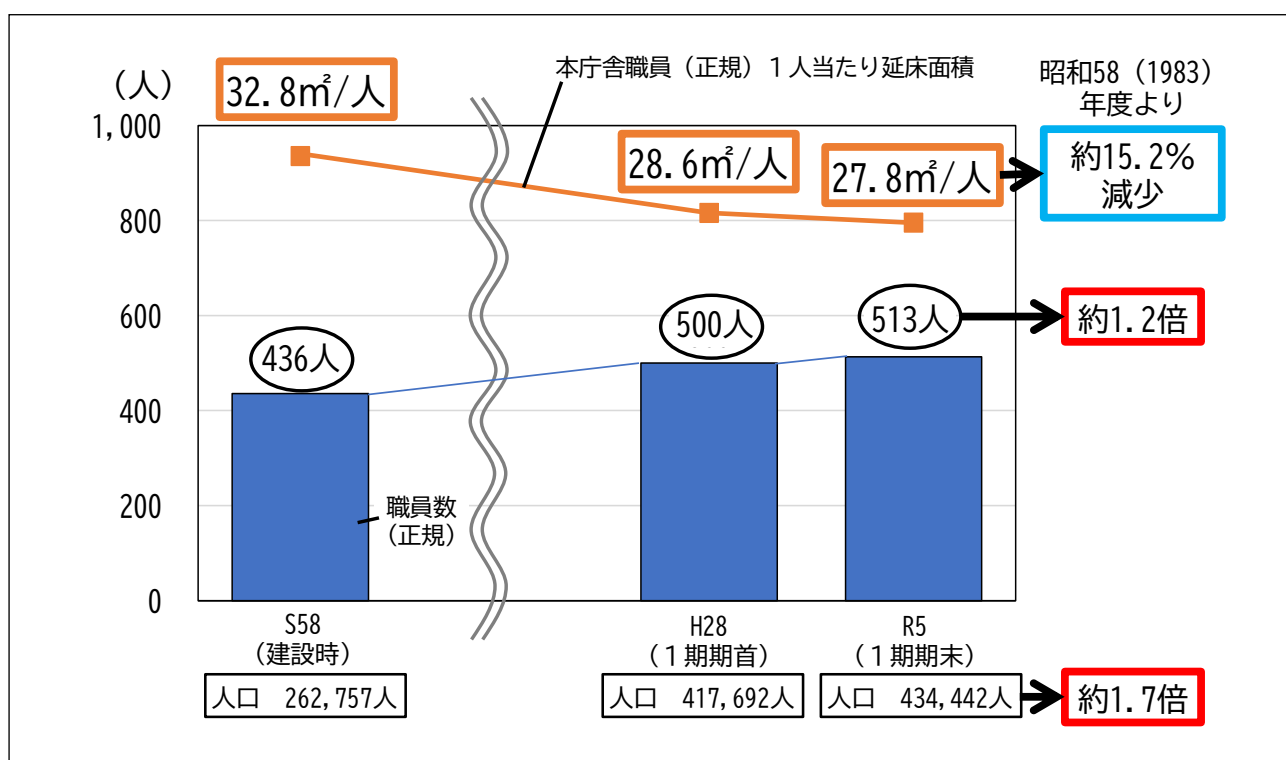
閉庁日	土曜日、日曜日、国民の祝日（振替休日を含む） 年末年始（12月29日～1月3日）
開庁時間	8：30～17：15

④ 実態及び課題

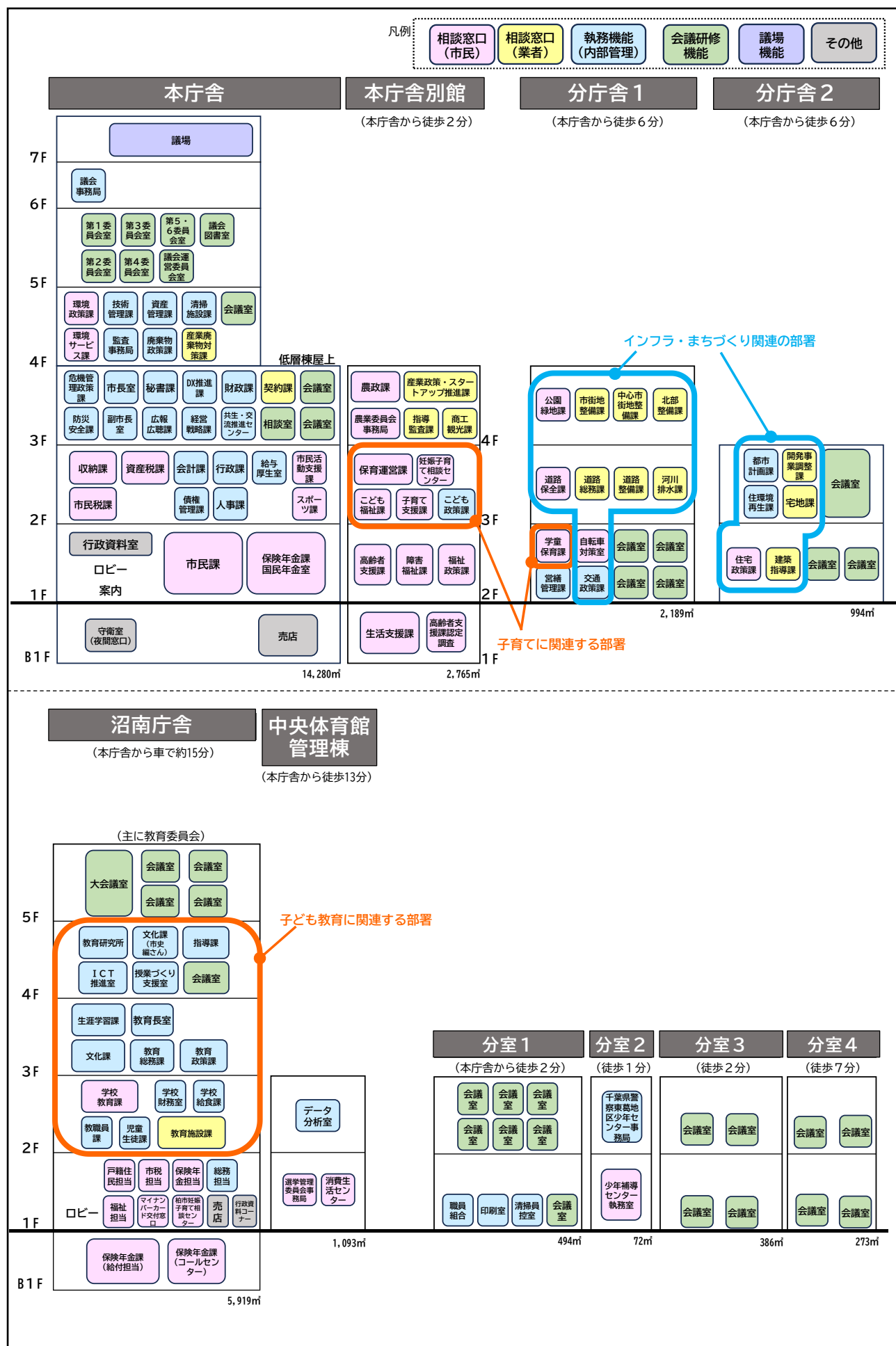
● 建物状況

- ・庁舎等には、11 棟、延床面積約 2.9 万㎡の建物があり、行政運営を担う各部署が配置されている庁舎や、主に会議室が配置されている建物などがあります。
- ・災害時、本庁舎 3 階に災害対策本部を設置しますが、部署や職員が複数の庁舎に分散しているため、災害時の円滑な情報収集や連絡調整等に課題があると考えられます。また、本庁舎は震度 6 強の大地震動が起きても建物の大きな補修をすることなく使用でき、人命の安全確保と建物の機能確保が図られる耐震性能（Iso 値 0.75 相当）を有していますが、国が示す災害対策拠点施設としての耐震性能（Iso 値 0.9）を満たしていないため、震度 6 強を超える大地震動が起きた際は、建物の構造体が損傷し人命の確保や災害対策本部機能の確保が困難となる可能性があります。
- ・職員が多く勤務する本庁舎及び教育委員会が入る沼南庁舎が第 2 期中（～令和 16（2034）年度）に共に築 50 年を超えるなど、老朽化が進んでいる一方で、令和 6（2024）年度に建設された建物もあり、施設水準等に差が生じています。老朽化への対応については、これまで本庁舎の耐震補強、外部が劣化している建物の外部改修、各施設への空調換気設備の設置、トイレ洋式化などの工事を実施しています。
- ・子育てに関する部署と子ども教育に関する部署が本庁舎別館と沼南庁舎に分かれているほか、まちづくり関係の部署が分庁舎 1 と分庁舎 2 に分かれているため、市民にとって不便であるとともに、職員にとっても庁舎間の移動や職員同士のコミュニケーション不足などの懸念があり、部署が分散していることによる課題があると考えられます。
- ・本庁舎建設時の昭和 58（1983）年度から現在にかけて、市の人口増加に伴い本庁舎に勤務する職員数が約 17.7%増加しているにもかかわらず、職員 1 人当たりの延床面積は約 15.2%減少しているため狭隘化が進んでいます。狭隘化対策のために本庁舎分室 3 を新設することにより、さらに分散化が進む状況となっています。

【職員（正規）の狭隘化状況】



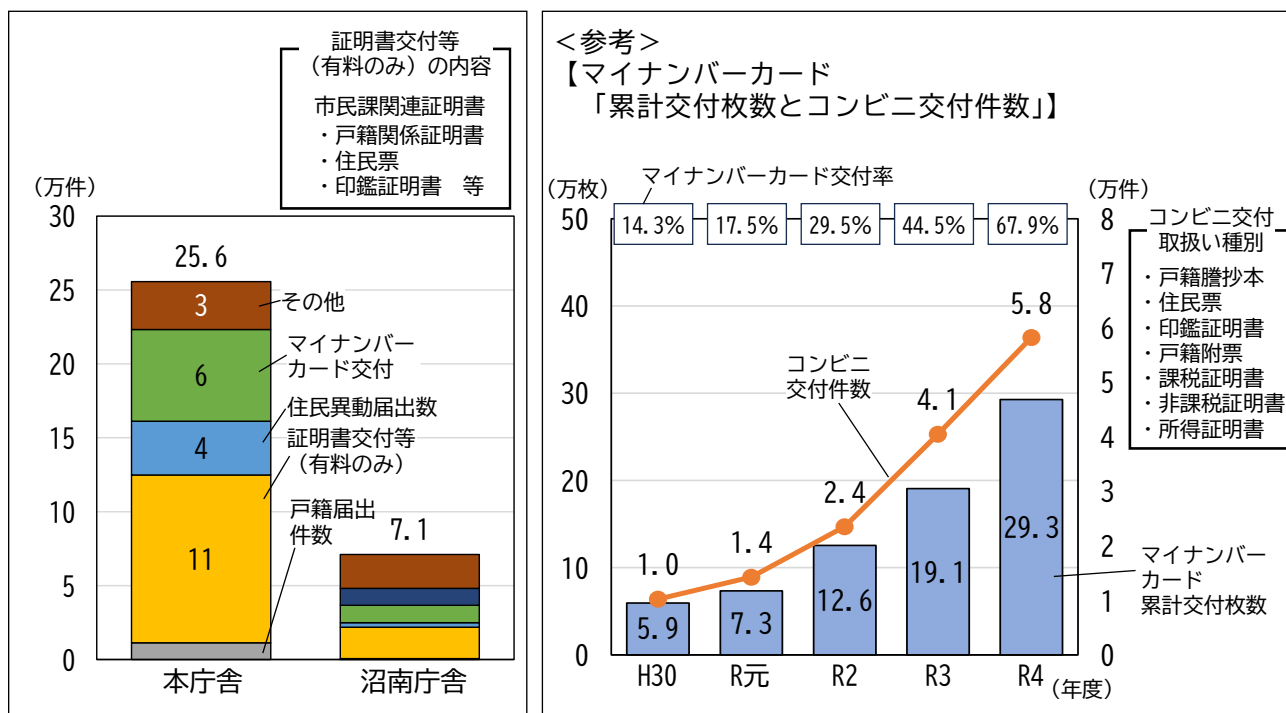
【施設別所管配置状況（令和6（2024）年度）】



● 利用状況

- ・ 証明書交付や各種届出等の施設別利用件数は、本庁舎が約 25.6 万件、沼南庁舎が約 7.1 万件となっています。内訳では、証明書交付等の割合は、本庁舎では約 44.4%，沼南庁舎では約 30.0%と多くなっています。
- ・ 平成 28（2016）年 1 月よりマイナンバーカードが交付され、交付枚数も増加傾向にあります。これにより証明書等交付がコンビニエンスストアでも行えるようになり、今後は証明書交付等の窓口利用が減少していくことが考えられます。出張所の利用状況も踏まえて庁舎機能のあり方を検討する必要があります。

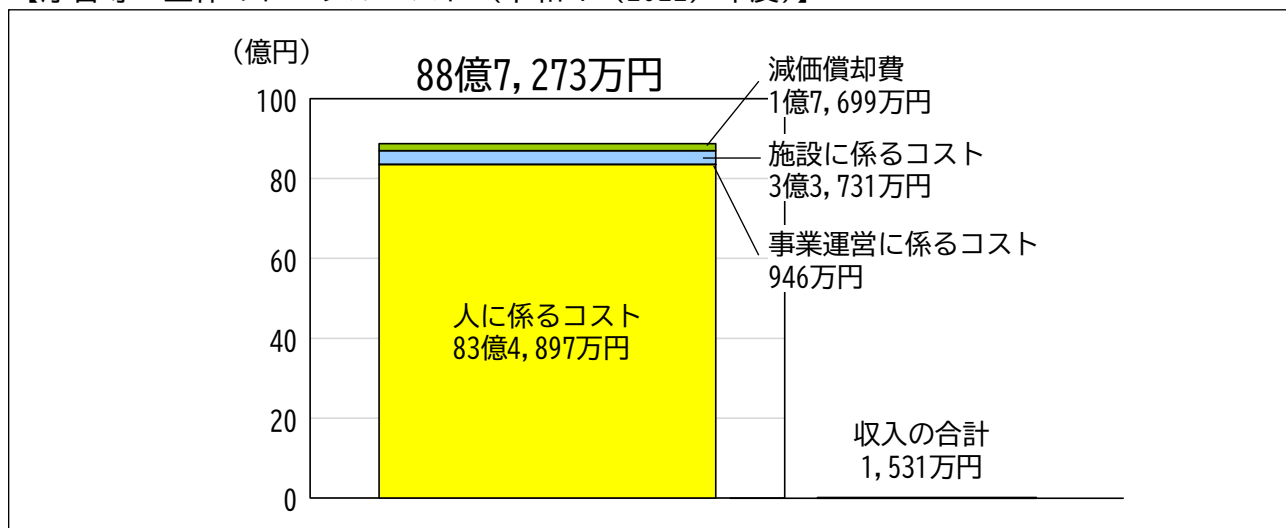
【庁舎等 施設別利用件数（令和 4（2022）年度）】



● コスト状況

- ・ 庁舎等のトータルコストは約 88 億 7,273 万円で、施設に係るコストが約 3.8%，人に係るコストが約 94.1%となっています。

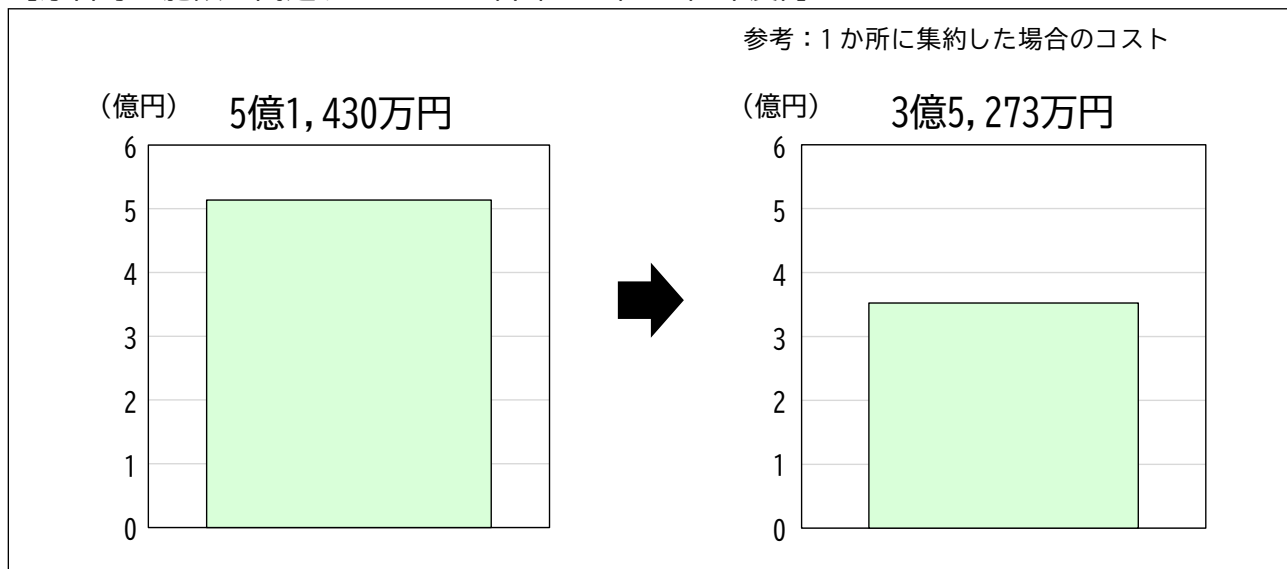
【庁舎等 全体のトータルコスト（令和 4（2022）年度）】



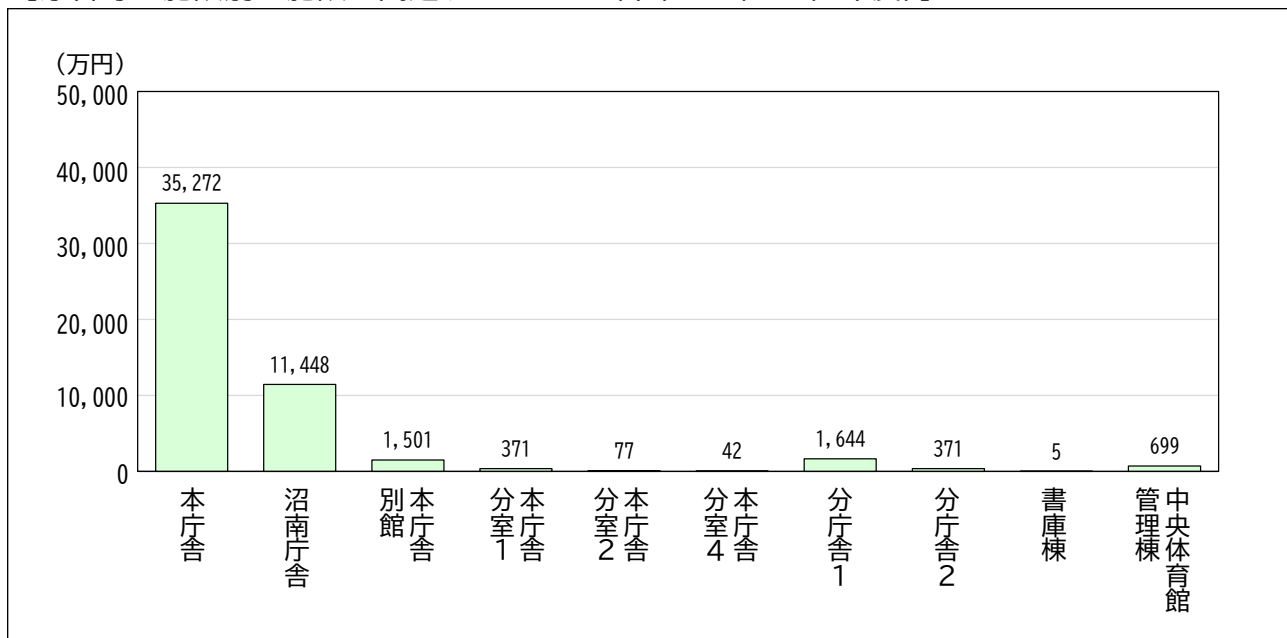
- ・ 施設に関連するコストに着目すると、全体では合計約 5 億 1,430 万円となっています。

- ・ 1 か所に集約した場合のコストと比較すると約 1 億 6,157 万円のコスト削減が試算されます。
- ・ 施設別の施設に関連するコストは、本庁舎が約 3 億 5,272 万円、沼南庁舎が約 1 億 1,448 万円となっています。
- ・ 本庁舎分室 1、本庁舎分室 4 は会議室、書庫棟は書類を保存する施設のため、常駐者はおらず光熱水費のみがかかっている状況です。

【庁舎等 施設に関連するコスト（令和 4（2022）年度）】



【庁舎等 施設別の施設に関連するコスト（令和 4（2022）年度）】



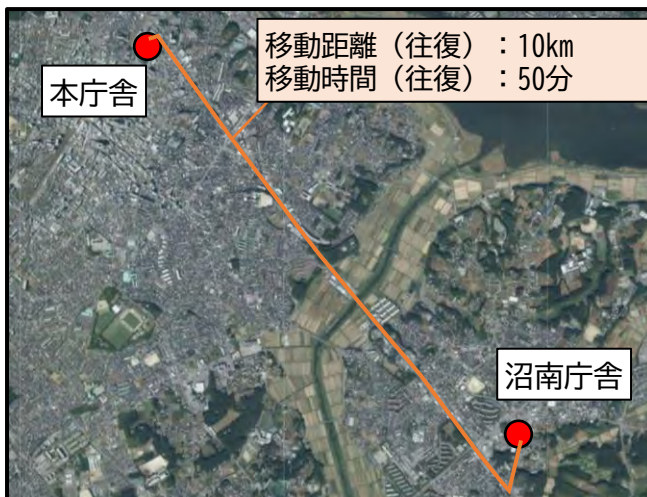
- ・庁舎等に係るコストとして、本庁舎と沼南庁舎の間の移動に係るコストが発生しています。移動には1人当たり人件費が約1,650円/回、燃料費が約160円/回かかっていると試算され、年間移動回数が1,292回、1回に2人移動しているとすると、年間約447万円のコストが発生しています。
- ・年間1人当たり通勤費は本庁舎が約8.5万円、沼南庁舎が約13.3万円と試算され、沼南庁舎の方が約4.8万円のコスト高と考えられます。

【本庁舎と沼南庁舎の年間移動コスト】

●単価算定

人件費	単価	移動時間	金額
	約33円/分	約50分	約1,650円
燃料費	単価	距離	金額
	約16円/km	約10km	約160円

●年間の移動距離



●移動回数

1回の議会月に移動する回数※	323回
年間議会回数	4回
議会月の移動回数（年間）	1,292回/年

※公用車運転日誌状況より

※移動時間には、駐車時間・アルコールチェック時間等を含む

●本庁舎と沼南庁舎間の年間移動コスト

公用車運転日誌より、1回の移動で職員平均2人程度移動していることから

$$\{ (\text{約} 1,650 \text{ 円/人}) \times 2 \text{ 人} + \text{約} 160 \text{ 円} \} \times 1,292 \text{ 回} = \text{約} 4,470,320 \text{ 円/年}$$

本庁舎と沼南庁舎の年間移動コストが

約447万円/年

発生しています。

【各庁舎施設の通勤費用分析】

庁舎分類	所在地	職員数（人）	職員通勤費 （万円/年・1人）
本庁舎	柏市柏五丁目10-1	542	8.5
本庁舎別館	柏市柏五丁目10-1	352	7.2
本庁舎分室1	柏市柏五丁目8-32	—	—
本庁舎分室2	柏市柏五丁目8-32	2	13.6
本庁舎分室3	柏市柏五丁目7-22	—	—
本庁舎分室4	柏市柏255-33	—	—
分庁舎1	柏市柏255	162	8.9
分庁舎2	柏市柏255-1	67	8.4
書庫棟	柏市柏255-30	—	—
中央体育館管理棟	柏市柏下73	20	8.7
沼南庁舎	柏市大島田48-1	157	13.3

⑤ 今後の方向性

- 本庁舎、分庁舎及び沼南庁舎は、行政機能の中枢を担う機能を有しており、さらに本庁舎には災害時の対策本部機能を十分に確保することが求められています。一方、築年数による劣化や、災害対策拠点施設として求められている耐震性能を有していないこと、庁舎機能の分散により組織力の低下が懸念されること、各施設における施設管理費用や施設間の移動コストといった不要なコストが発生していることなども踏まえて、庁舎機能の集約を進めていく必要があります。庁舎機能の集約に際し、中長期的な施設のあり方(必要な機能、規模及び配置など)については、まちづくりの視点や、今後の人口動態による利用者や職員数の変化、DXの進展、働き方の変化等も踏まえて検討します。
- 窓口のワンストップサービスの観点から、市民サービスの向上のため、分散化している窓口所管部署の集約化を図ります。
- 職員1人当たりのスペース確保や会議室等必要諸室の確保により狭隘化^{あい}の解消を図ることで、効率的な市民サービスの提供を目指します。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	本庁舎 S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	14,279.60	期末	14,279.60	14,279.60			14,279.60		14,279.60	
		内容	(第1期) 耐震補強工事を実施し、建物の耐震性能を向上。竣工後については、30年間建物を使用することを目標とする。 ※平成30(2018)年度竣工 (第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	19,417.62
2	本庁舎別館 H22 (2010)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	2,764.61	期末	2,764.61	2,764.61			2,764.61		2,764.61	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	19,417.62
3	本庁舎分室1 H6 (1994)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他			廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	494.14	期末	494.14	494.14			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 老朽化に合わせて廃止及び除却する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	19,417.62
4	本庁舎分室2 S58 (1983)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他			廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	71.88	期末	71.88	71.88			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 老朽化に合わせて廃止及び除却する。										
	複合施設(親)	複合施設名	少年補導センター(子)									敷地面積 (㎡)	19,417.62
5	本庁舎分室3 R6 (2024)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他			(廃止して他の施設と)集約化＋転用			
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	385.92	385.92			385.92		385.92	
		内容	(第1期) こども部の分散化解消及び会議室確保のため、本庁舎分室3(385.92㎡)を新たに整備し、別館機能の拡大を図る。 (第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 分室3としては廃止をし、本庁舎に集約化する。廃止後の建物についての活用方法を検討する。										
	—	複合施設名	—									敷地面積 (㎡)	463.16

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
6	本庁舎分室4 S62(1987)	取組					その他		廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	273.16	期末	273.16	273.16		0.00		0.00	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 老朽化に合わせて廃止及び除却する。									
		複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	305.72
7	分庁舎1 S63(1988)	取組					その他		廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	2,189.02	期末	2,189.02	2,189.02		0.00		0.00	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 老朽化に合わせて廃止及び除却する。									
		複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	1,834.64
8	分庁舎2 H23(2011)	取組					その他		(廃止して他の施設と)集約化＋転用			
		延床面積 (㎡)	期首	993.72	期末	993.72	993.72		993.72		993.72	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 分庁舎2としては廃止をし、本庁舎に集約化する。廃止後の建物についての活用方法を検討する。									
		複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	1,475.60
9	書庫棟 S54(1979)	取組					その他		廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	945.76	期末	945.76	945.76		0.00		0.00	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 老朽化に合わせて廃止及び除却する。									
		複合施設名	—								敷地面積 (㎡)	831.69
10	中央体育館管理棟 S51(1976)	取組					その他		廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	1,093.13	期末	1,093.13	1,093.13		0.00		0.00	
		内容	(第2期) 本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。 (第3期) 老朽化に合わせて廃止及び除却する。									
		複合施設(親)	複合施設名	消費生活センター(子)								敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	沼南庁舎 S40（1965）		第1期 H28（2016）～R6（2024）				第2期 R7（2025）～R16（2034）			第3期 R17（2035）～R26（2044）		第4期 R27（2045）～R36（2054）	
		取組	改修				その他						
		延床面積 （㎡）	期首	5,919.45	期末	5,919.45	5,919.45			5,919.45		5,919.45	
		内容	（第1期）施設の長寿命化に向けた保全計画を策定する。※平成29（2017）年度策定。 第一、第二庁舎の屋上防水及び外壁改修工事を実施済み。 （第2期）本庁舎の防災機能強化、執務室等の狭隘化及び庁舎機能の分散化解消を目的とし、庁舎のあり方や再整備の手法等を検討する。										
		複合施設（親）	複合施設名	市民交流サロン（子）、図書館こども図書館（子）、郷土資料展示室（子）									敷地面積 （㎡）

1. その他集会施設

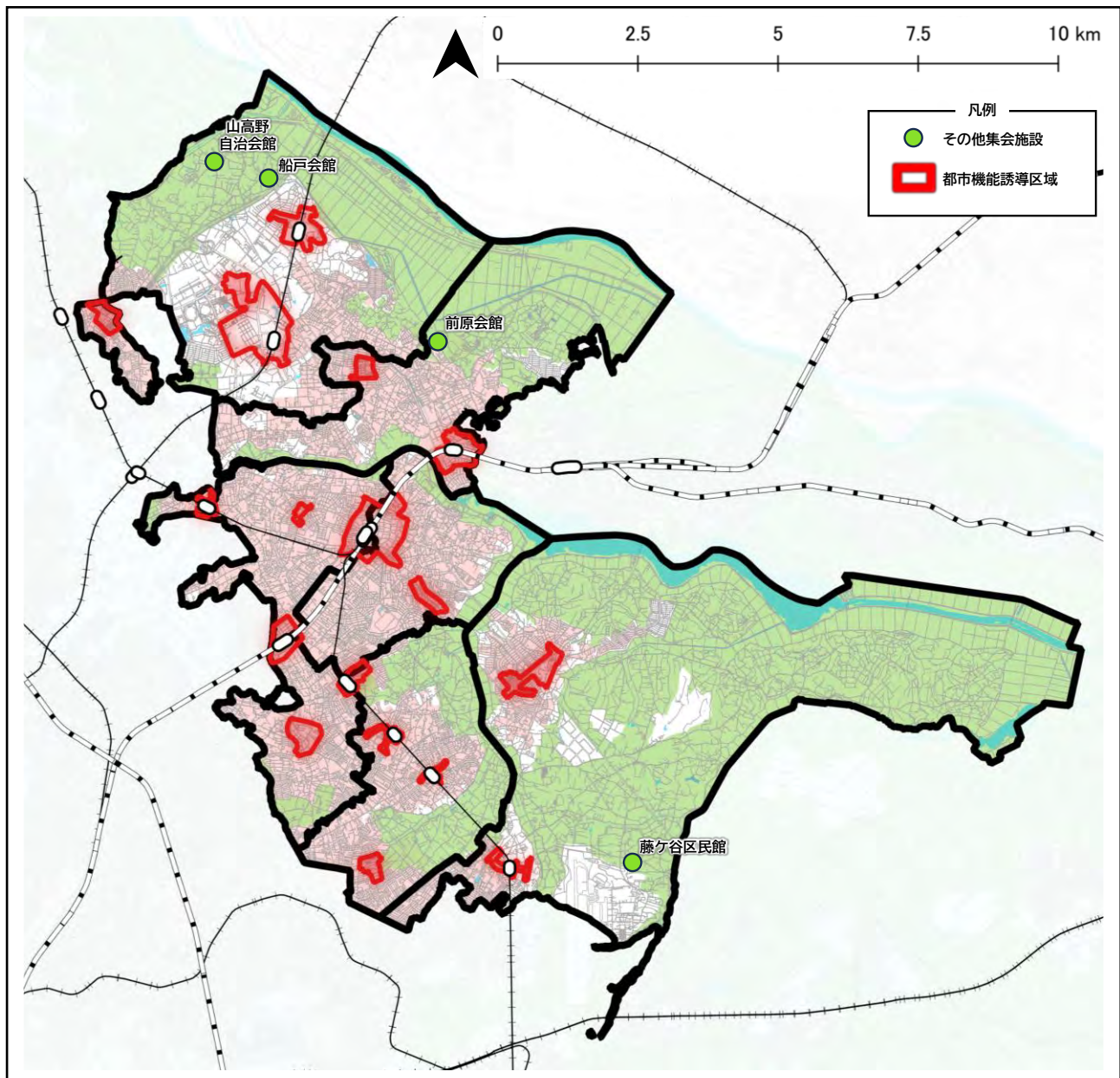
① 施設概要

- ・ その他集会施設は市内に4施設あります。市民に自主的な活動の場を提供し、市民相互の交流を支援して、地域づくりに関する事業を推進していくために設置されています。

【施設一覧】

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	船戸会館	北部1	柏市船戸1 1 2 9 - 1	267.64	S62	35	
2	山高野自治会館	北部1	柏市船戸山高野3 1 9 - 1	274.67	S62	35	
3	前原会館	北部2	柏市布施1 2 6	312.47	S58	39	
4	藤ヶ谷区民館	沼南	柏市藤ヶ谷5 5 8	279.33	H30	4	避難所
合計				1,134.11			

② 配置状況



③ 実態及び課題

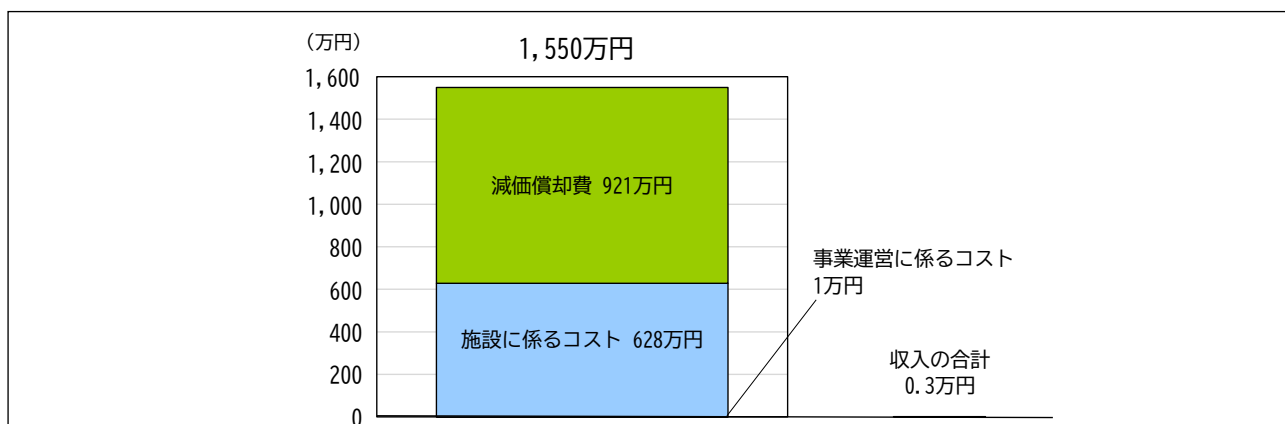
● 建物状況

- ・ その他集会施設 4 施設の延床面積合計は約 1,134 ㎡です。
- ・ 藤ヶ谷区民館は築年数 4 年で新しく、避難所としての機能も有しています。
- ・ 令和元（2019）年度に前原会館の改修（外壁塗装等）を行いました。

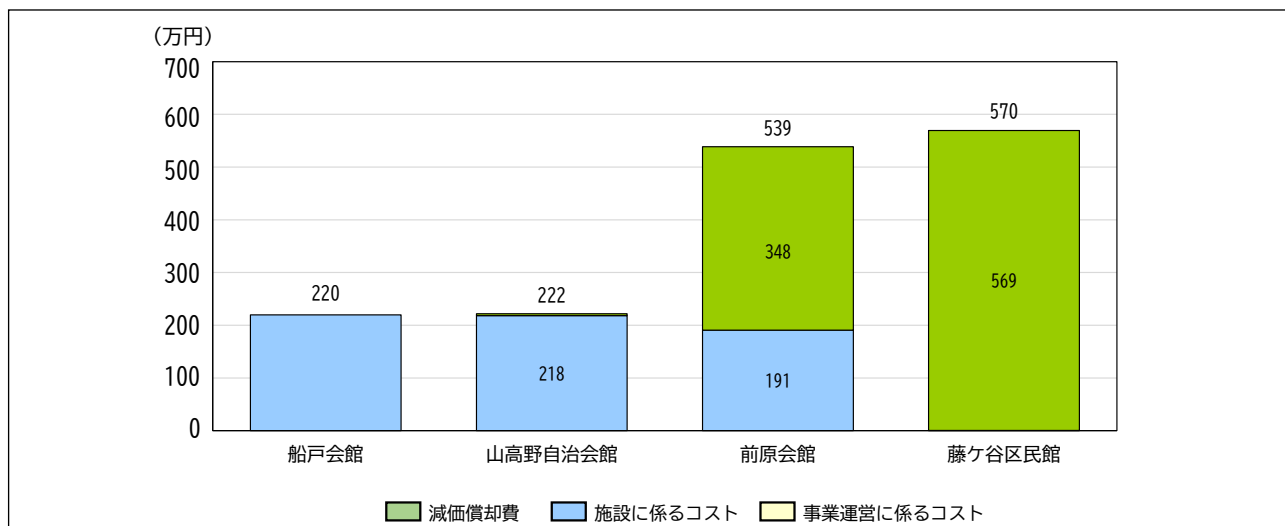
● コスト状況

- ・ トータルコストは約 1,550 万円で、概ね減価償却費と施設に係るコストとなっており、事業運営に係るコストは殆ど発生していません。
- ・ 施設別トータルコストは、藤ヶ谷区民館が約 570 万円と最も多く、次いで前原会館の約 539 万円となっています。この 2 施設はいずれも減価償却費が計上されています。

【トータルコスト 令和 4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和 4（2022）年度】



④ 今後の方向性

- ・ 建替の際には、現位置だけではなく、学校等の他の公共施設の空きスペースや交通結節点等にぎわいのある場所などを移転先として検討します。また、民間施設・資金の活用も検討します。
- ・ 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑤ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
1	船戸会館 S62 (1987)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							現状のまま存続＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	267.64	期末	267.64	267.64		267.64		267.64	
		内容	(第3期) 施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	821.69
2	山高野自治会館 S62 (1987)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							現状のまま存続＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	274.67	期末	274.67	274.67		274.67		274.67	
		内容	(第3期) 施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	800.00
3	前原会館 S58 (1983)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	増築+除却(一部)						現状のまま存続＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	281.88	期末	312.47	312.47		312.47		312.47	
		内容	(第1期) 平成28(2016)年度にトイレを増改築(7.52㎡)。令和2(2020)年度に物置取壊し(13.57㎡, 3.31㎡)、倉庫増築(39.95㎡)。 (第3期) 施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	4,418.67
4	藤ヶ谷区民館 H30 (2018)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	新設								現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	279.33	279.33		279.33		279.33	
		内容	(第1期) ※令和元(2019)年3月に新設									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,651.57

2. 文化施設

① 施設概要

- ・文化施設は，市内に市民文化会館とアミュゼ柏の２施設があり，市民文化の向上と福祉の増進を図るために設置されています。また，アミュゼ柏は，コミュニティ活動の拠点となる柏中央近隣センターとの複合施設になっています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	複合施設 近隣センター	備考
1	柏市民文化会館	中央2	柏市柏下107	5,816.49	S47	50		大ホール：4,808㎡ 定員：1,338名（固定席1,288席，可動席50席） 小ホール：993㎡ 定員：300名（固定席） 避難所
2	アミュゼ柏	中央2	柏市柏六丁目2-22	3,758.44	H10	24	●	クリスタルホール：882㎡ 定員：400名（固定席） プラザ：153㎡ 定員：150名（平土間） リハーサル室：80㎡ 定員50名 複合施設：柏中央近隣センター（子施設） 避難所
合計				9,574.93				

● スペース構成

	大 1,000席以上	中 概ね500席	小 概ね150席
柏市民文化会館	大ホール 1,338席（舞台あり） 固定席：1,288席 可動席：50席	小ホール 300席 （舞台あり，固定席）	
アミュゼ柏		400席 （舞台あり，固定席）	150席 （多目的室）

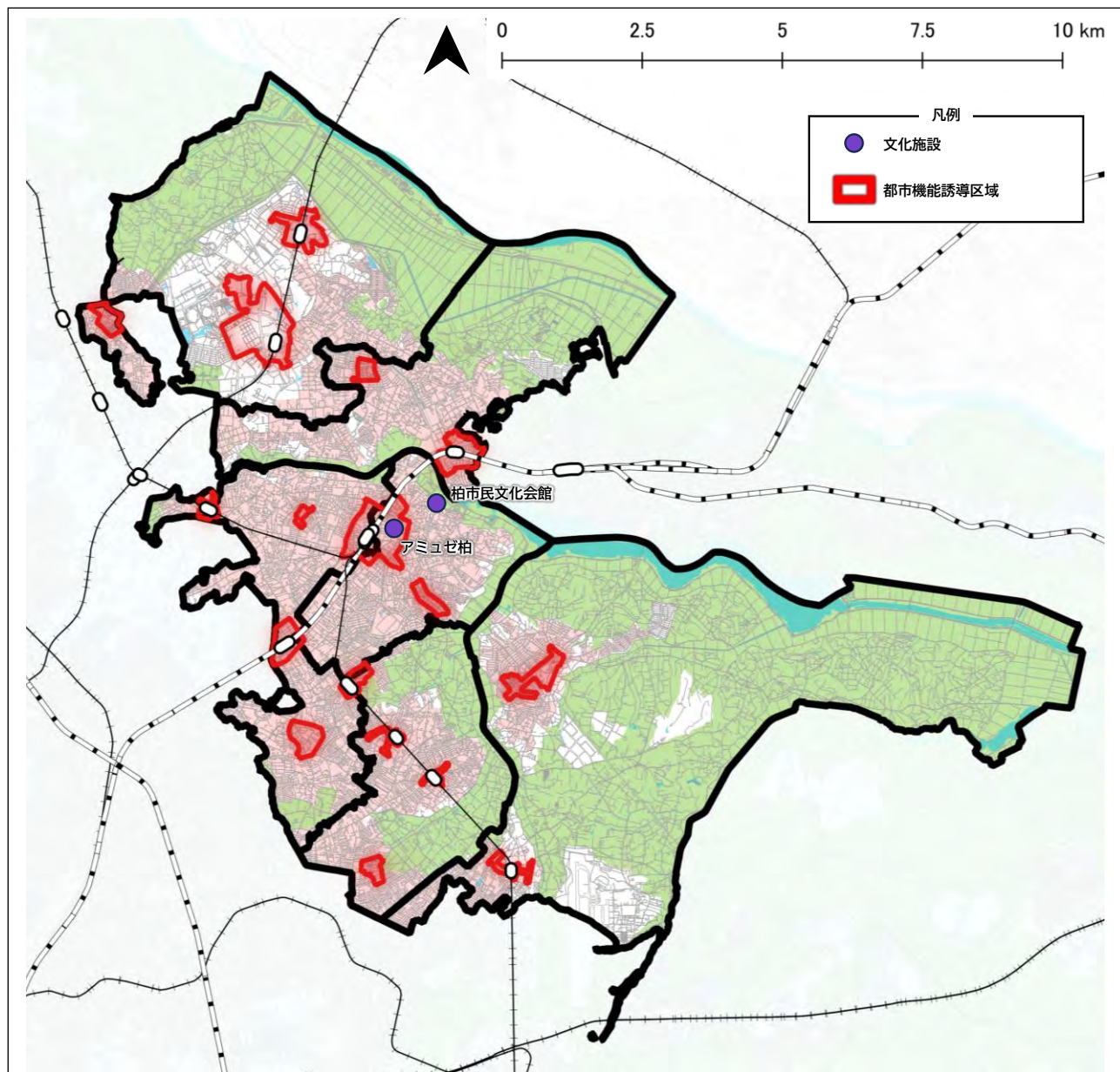
柏市民文化会館（大ホール）



アミュゼ柏（クリスタルホール）



② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	柏市民文化会館：年末年始(12月29日～1月3日)・月曜日(祝日の場合は開館) アミューゼ柏：年末年始(12月29日～1月3日)・毎月第3月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)
開館時間	月～日祝：9：00～22：00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 柏市民文化会館は築年数 50 年を経過しており、老朽化が進んでいます。
- ・ 延床面積は、それぞれ柏市文化会館が約 5,816 ㎡で定員 1,338 名収容できる大ホール他、アミューゼ柏が約 3,758 ㎡で定員 400 名の中ホール他を有しています。
- ・ 柏市民文化会館は平成 26（2014）年度に改修工事を行っています。

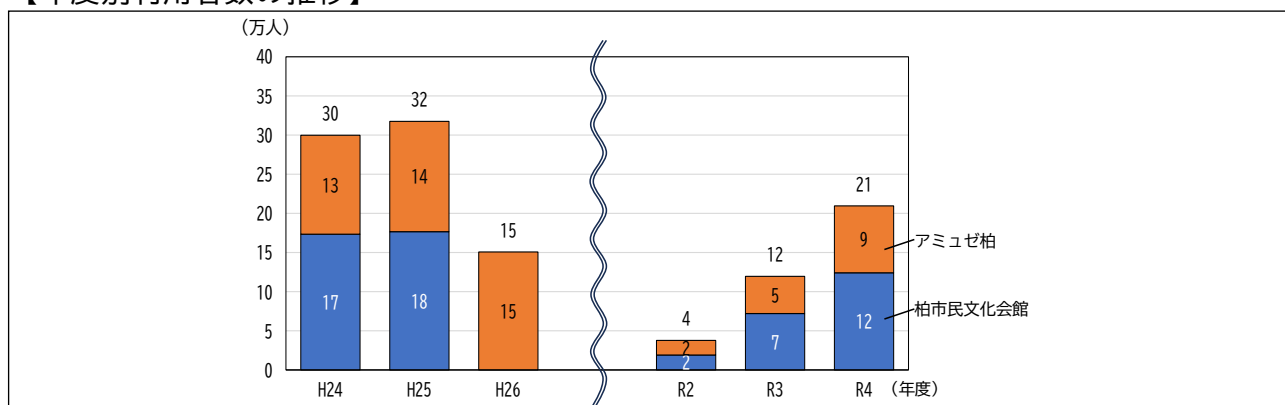
● 利用状況

- ・ 利用者数は、平成 24（2012）年度・平成 25（2013）年度において約 30 万人から約 32 万人で推移していました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者数が落ち込み令和 2（2020）年度は約 4 万人でしたが、令和 4（2022）年度時点では約 21 万人とコロナ禍前の約 7 割程度まで回復しています。
- ・ 令和 4（2022）年度の年間利用者数は、柏市民文化会館が約 12 万人、アミューゼ柏が約 9 万人となっています。どちらもホール機能を保有しており、ホール機能全体の稼働率は柏市民文化会館で 53.0%，アミューゼ柏で 66.6%と、どちらも稼働率が 50%以上となっています。

● コスト状況

- ・ トータルコストは約 3 億 466 万円で、施設に係るコストが約 3.7%，事業運営に係るコストが約 0.5%となっています。また、どちらの施設も運営が指定管理であり、指定管理料がトータルコストの約 50.6%を占めています。
- ・ 施設別トータルコストは、柏市民文化会館が約 1 億 3,365 万円、アミューゼ柏が約 1 億 7,102 万円となっています。

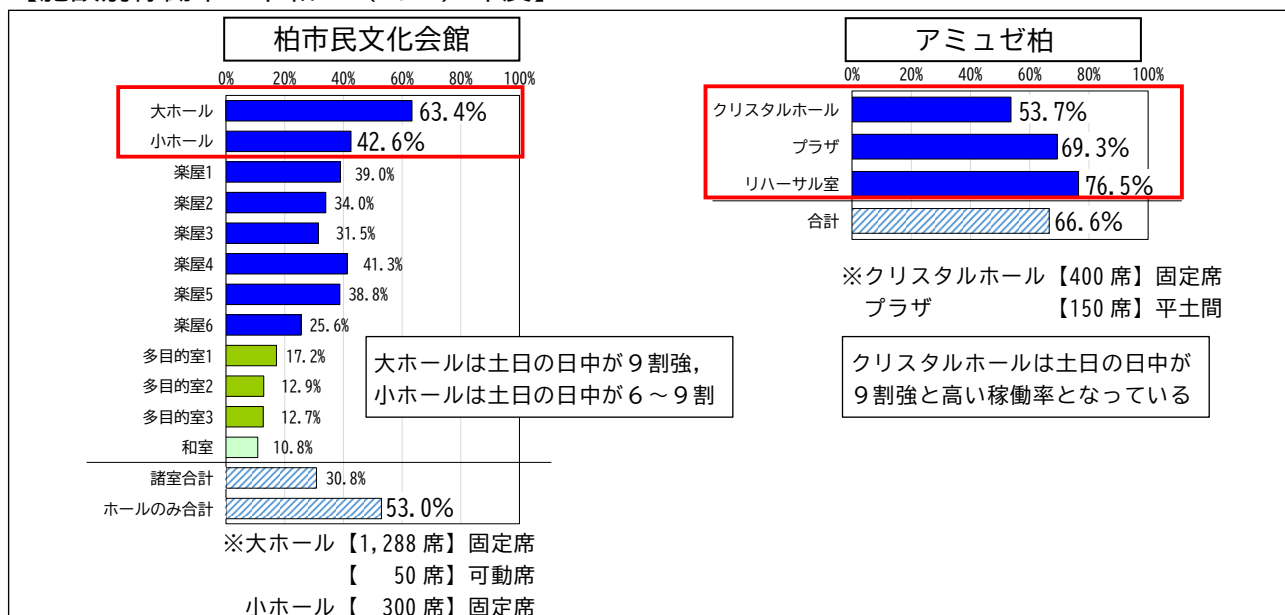
【年度別利用者数の推移】



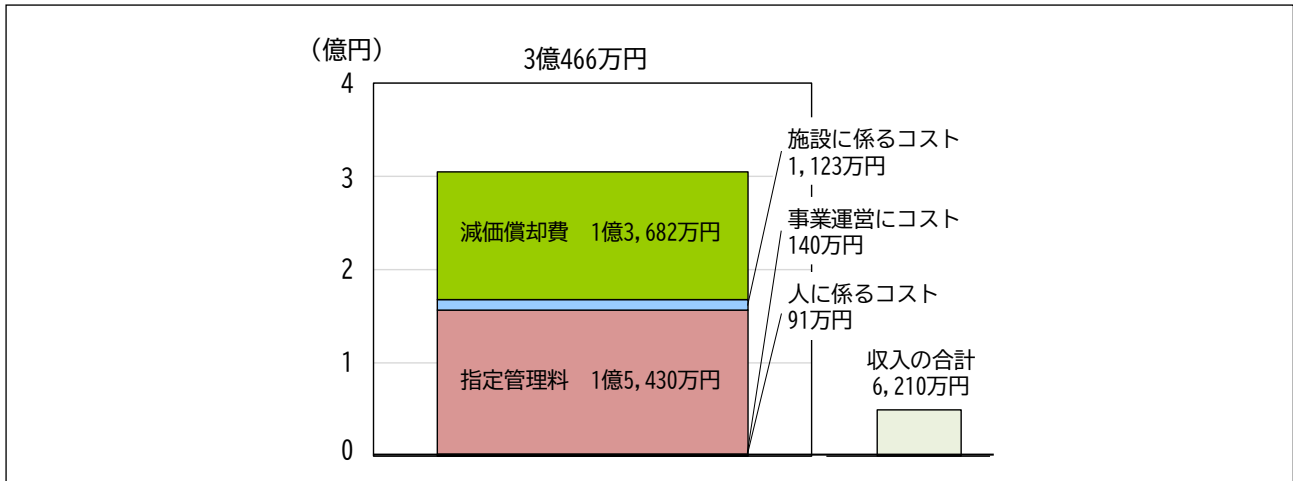
※柏市民文化会館は耐震補強（リニューアル）工事のため、平成 26（2014）年度は休館

出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成 28 年 3 月）

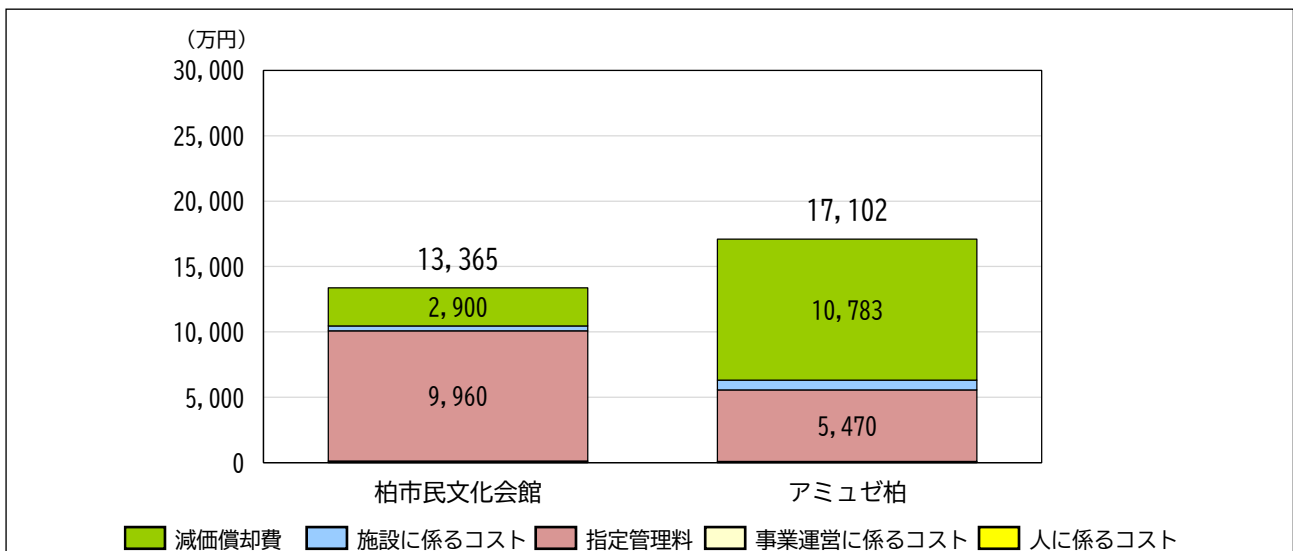
【施設別稼働率 令和 4（2022）年度】



【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 市民文化会館は、建築状況や立地条件から、大幅な機能向上（バリアフリー化や座席数の増加）は難しく、施設へのアクセスや駐車場収容台数に課題があるため、利便性の高い場所に移転します。
- 移転後の施設内ホールの座席数は、40万市民の文化芸術の拠点施設として、中核市に相応しい規模を備え、まちの賑わいや活性化に寄与する施設を整備します。
- アミューゼ柏については、計画的な予防保全を行いながら『現状のまま存続』します。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	柏市民文化会館 S47 (1972)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)		
		取組					移転＋廃止 (既存施設)						
		延床面積 (㎡)	期首	5,816.49	期末	5,816.49	10,000.00		10,000.00		10,000.00		
		内容	(第2期) 大規模改修で更新した設備機器類が更新時期を迎える。費用対効果を考慮し、建築状況や立地条件から、大幅な機能向上は難しく、アクセスにも課題があるため、中核市に相応しい規模で立地適正化計画に基づく適地に移転する。※小ホールは廃止										
	－	複合 施設名	－								敷地面積 (㎡)	13,928.77	
2	アミュゼ柏 H10 (1998)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)		
		取組									現状のまま存続		
		延床面積 (㎡)	期首	3,758.44	期末	3,758.44	3,758.44		3,758.44		3,758.44		
		内容											
		複合施設 (親)	複合 施設名	柏中央近隣センター (子)								敷地面積 (㎡)	2,014.42

3. 交流施設

① 施設概要

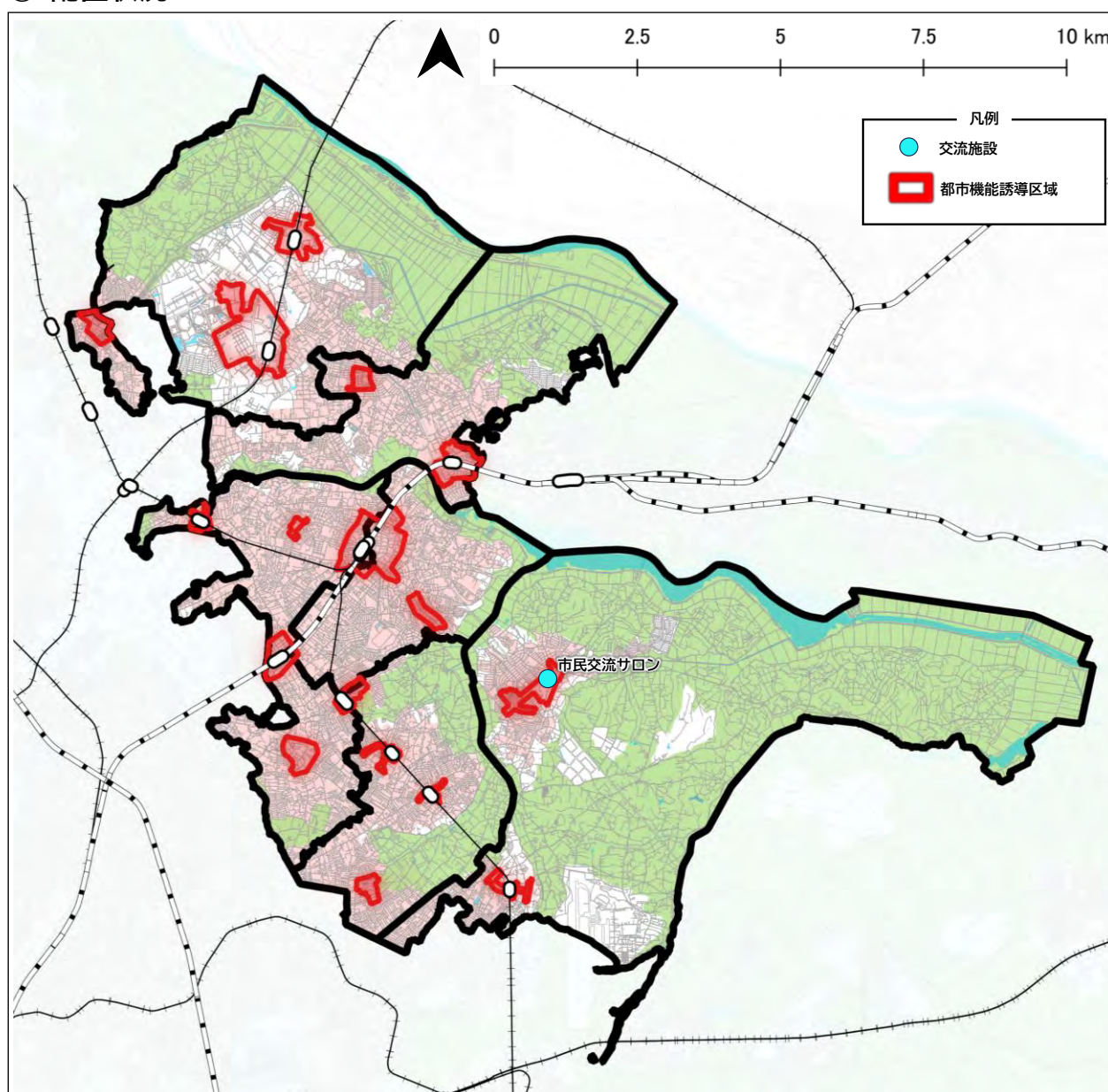
- ・ 交流施設としては、沼南庁舎に市民交流サロンがあります。市民活動団体をはじめ、様々な市民が予約や申請無しで自由に打ち合わせや交流ができる開放型スペースとして設置されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	市民交流サロン	沼南	柏市大島田48-1	63.76	S40	57	

② 配置状況



③ 今後の方向性

- ・ 沼南庁舎のスペースの有効な活用を図る中で、本施設（機能）についても存廃を含めて今後のあり方を検討します。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	市民交流サロン S40（1965）		第1期 H28（2016）～R6（2024）				第2期 R7（2025）～R16（2034）			第3期 R17（2035）～R26（2044）		第4期 R27（2045）～R36（2054）	
		取組					その他						
		延床面積 （㎡）	期首	63.76	期末	63.76	63.76			63.76		63.76	
		内容	（第2期） 庁舎のあり方や再整備の手法等における検討と併せて、当該施設機能について今後のあり方を検討する。										
		複合施設（子）	複合施設名	沼南庁舎（親）、図書館こども図書館（子）、郷土資料展示室（子）								敷地面積 （㎡）	8,552.00

4. 図書館

① 施設概要

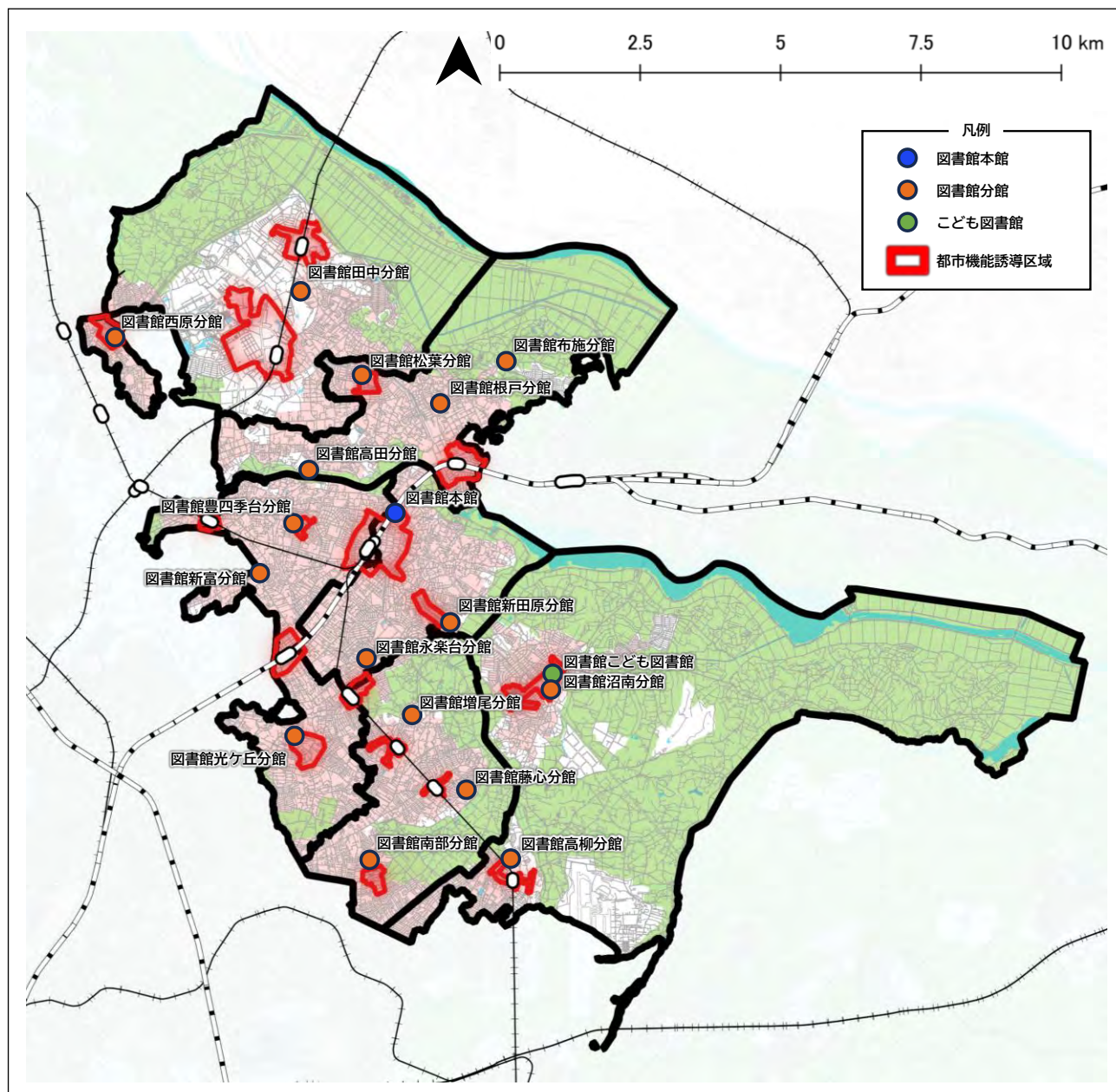
- ・ 図書館は、図書や記録、その他必要な資料を収集、整理、保存し、一般市民の利用に供し、その教養及び調査研究、レクリエーション等に資することを目的として設置されています。本館は1施設、分館は16施設（うち、独立して設置が1施設、近隣センター内が15施設）、こども図書館は1施設（沼南庁舎内）あります。こども図書館は、乳幼児とその保護者を主な対象者とした図書館で、乳幼児の本との出会いの場、親と子の読書活動の普及の場となるほか、子育てや親子の健康に関する情報提供、読み聞かせボランティアの育成・研修・交流なども行い、「絵本を通した子育て・ボランティア支援事業」を推進することを目的とした施設です。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	複合施設 近隣センター	備考
1	図書館本館	中央2	柏市柏五丁目8-12	2,269.11	S50	47		
2	図書館豊四季台分館	中央1	柏市豊四季台一丁目1-111	198.52	S40	57		
3	図書館田中分館	北部1	柏市大室249-1	172.00	S53	44	●	田中近隣センター内に設置
4	図書館西原分館	北部1	柏市西原三丁目2-48	105.00	S53	44	●	西原近隣センター内に設置
5	図書館南部分館	南部1	柏市新逆井二丁目5-13	264.20	S53	44	●	南部近隣センター内に設置
6	図書館布施分館	北部2	柏市布施1196-5	196.00	S54	43	●	布施近隣センター内に設置
7	図書館永楽台分館	中央2	柏市永楽台二丁目11-25	132.00	S54	43	●	永楽台近隣センター内に設置
8	図書館増尾分館	南部1	柏市増尾三丁目1-1	168.00	S55	42	●	増尾近隣センター内に設置
9	図書館光ヶ丘分館	南部2	柏市光ヶ丘団地200-5	187.00	S56	41	●	光ヶ丘近隣センター内に設置
10	図書館新富分館	中央1	柏市豊四季945-1	165.00	S56	41	●	新富近隣センター内に設置
11	図書館高田分館	北部2	柏市高田693-2	137.00	S57	40	●	高田近隣センター内に設置
12	図書館根戸分館	北部2	柏市根戸467	118.00	S43	54	●	根戸近隣センター内に設置
13	図書館新田原分館	中央2	柏市東柏二丁目2-15	110.00	S59	38	●	新田原近隣センター内に設置
14	図書館松葉分館	北部2	柏市松葉町四丁目11	205.00	S62	35	●	松葉近隣センター内に設置
15	図書館藤心分館	南部1	柏市藤心四丁目1-11	147.00	S62	35	●	藤心近隣センター内に設置
16	図書館沼南分館	沼南	柏市大島田440-1	380.00	S52	45	●	沼南近隣センター内に設置
17	図書館高柳分館	沼南	柏市高柳1652-10	127.00	H6	28	●	高柳近隣センター内に設置
18	図書館こども図書館	沼南	柏市大島田48-1	473.00	S40	57		沼南庁舎内に設置
合計				5,553.83				

② 配置状況



③ 運営状況

休館日	図書館本館・豊四季台分館・こども図書館：月曜日（祝日・休日の場合は開館） 年末年始（12/28～1/4） 上記以外：月曜日（祝日・休日の場合は開館）ただし第3月曜日が祝日・休日に 当たる場合は休館）年末年始（12/28～1/4）
開館時間	図書館本館：9:30～17:00（火・土・日曜日，祝日・休日） 9:30～19:00（水～金曜日） 沼南分館・高柳分館・こども図書館：9:30～17:00 上記以外：10:00～17:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・図書館は 18 施設あり、延床面積合計は約 5,554 ㎡です。
- ・築 40 年以上の施設は 14 施設で全体の約 78%を占めており、全体的に老朽化が進んでいます。特に図書館豊四季台分館は築年数 57 年を経過しています。
- ・18 施設の平均延床面積は約 309 ㎡ですが、図書館本館が突出して規模が大きく、延床面積は約 2,269 ㎡です。
- ・平成 28 (2016) 年度に図書館本館の改修（外壁塗装及び屋上防水改修）工事、令和 4 (2022) 年度に館内照明の LED 化工事を行っています。

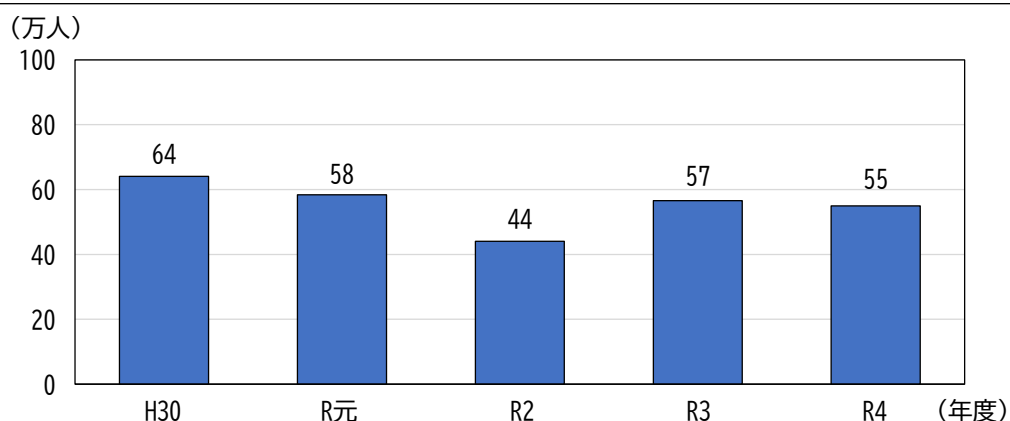
● 利用状況

- ・年間貸出者数は、平成 30 (2018) 年度から令和 4 (2022) 年度までで約 64 万人から約 55 万人となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で貸出者数は一時的に落ち込みましたが、令和 4 (2022) 年度時点で平成 30 (2018) 年度の約 9 割まで回復しています。
- ・図書館本館の貸出者数は年間約 8.9 万人、分館は布施分館の約 1.0 万人から松葉分館の約 5.7 万人となっています。

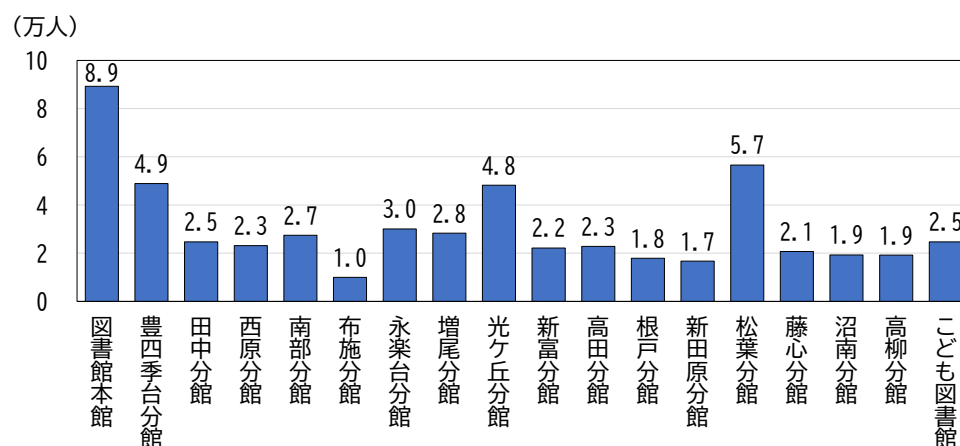
● コスト状況

- ・トータルコストは約 3 億 9,043 万円で、施設に係るコストが約 8.7%，人に係るコストが約 73.8%となっています。
- ・施設別トータルコストは、図書館本館が約 2 億 8,205 万円で、分館は平均約 618 万円となっています。分館の施設別コストは高い順に、松葉分館、光ヶ丘分館、豊四季台分館となっています。

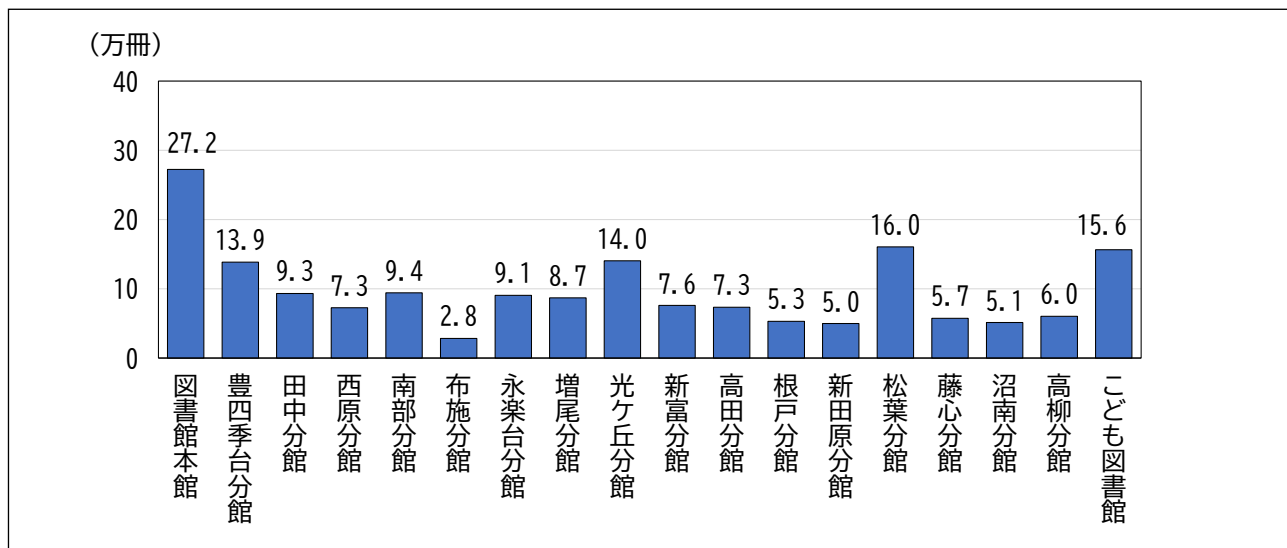
【年度別貸出者数の推移】



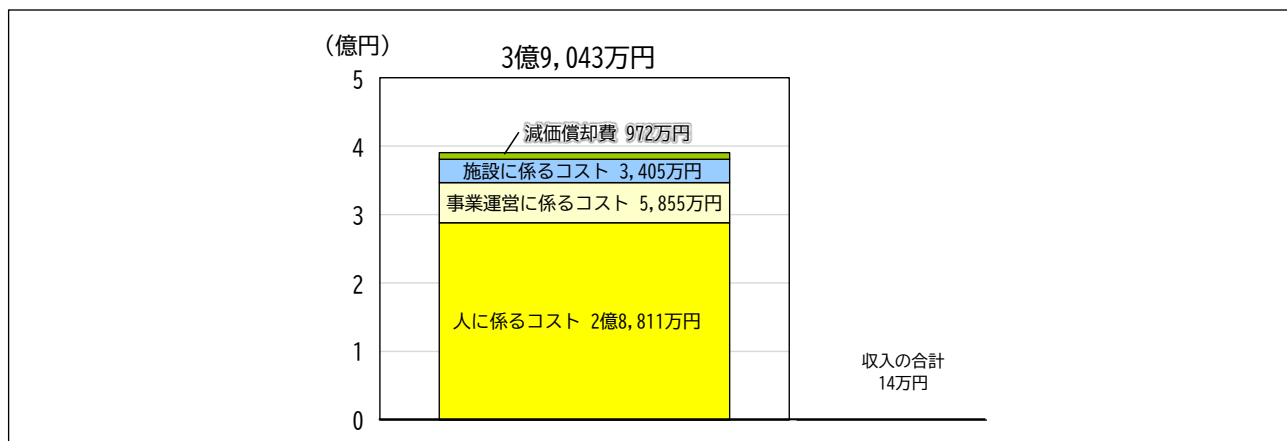
【施設別貸出者数 令和 4 (2022) 年度】



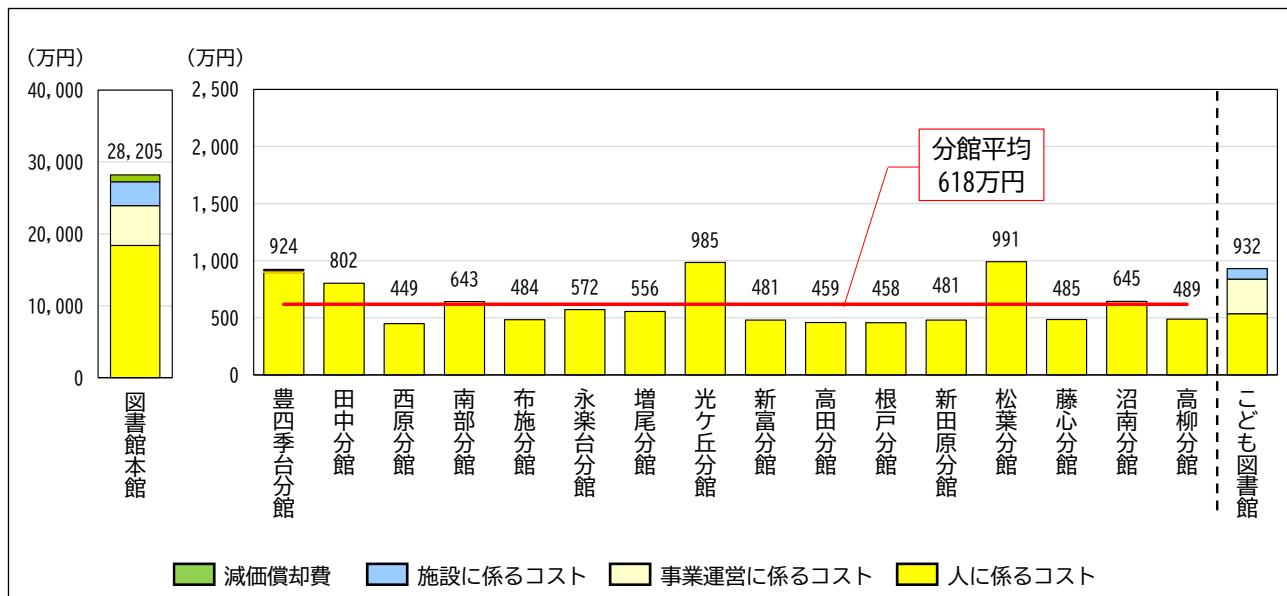
【施設別貸出冊数 令和4（2022）年度】



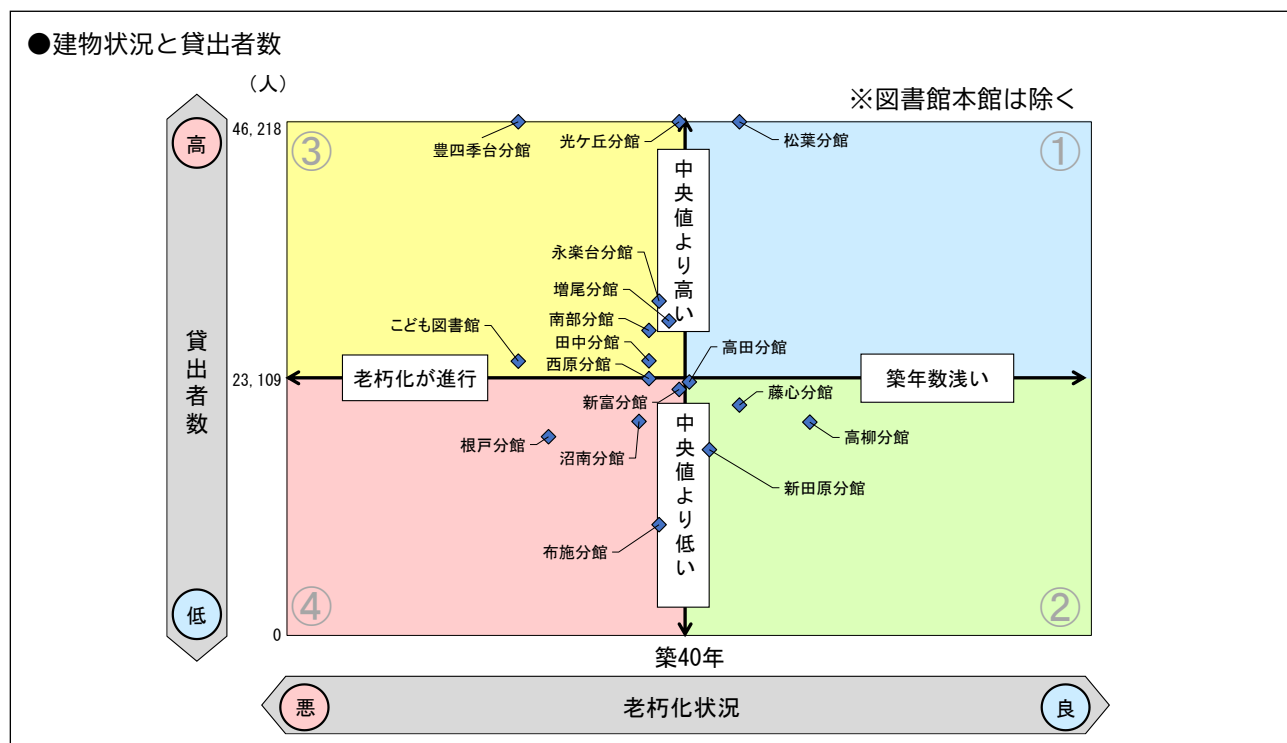
【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 2軸評価



⑥ 今後の方向性

- 各施設の老朽化が進んでいることに加え、本及び利用者を取り巻く社会環境が大きく変化していることから、市民ニーズの変化を捉えて、各施設及び図書館サービス・機能の整備・整理を行っていく必要があります。
- 平成31年2月に策定した図書館の運営方針「図書館のあり方」では、施設の更新・統廃合・長寿命化などを検討する際には、将来の人口動態や財政規模を踏まえて、持続可能な計画とすることが不可欠であると掲げています。
- また、図書の分散問題と本館・分館の役割、方向性について言及しており、本館への集中的配架、分館の機能見直し等の検討を行っていくこととしています。
- 分館は、近隣センター内に設置していることが大半なため、近隣センターの整備方針と整合を図りながら、整備・整理を行っていくこととします。

⑦ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組												
1	図書館本館 S50 (1975)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他							
		延床面積 (㎡)	期首	2,269.11	期末	2,269.11	2,269.11			2,269.11		2,269.11		
		内容	(第2期) 図書館の運営方針「柏市図書館のあり方」及び近隣センターの整備方針を踏まえた図書館サービスの方向性を整理した上で、図書館機能の検討及び維持管理を含む整備を進める。											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	2,234.07	
2	図書館豊四季台分館 S40 (1965)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組								その他				
		延床面積 (㎡)	期首	198.52	期末	198.52	198.52			198.52		198.52		
		内容	(第3期) 豊四季台近隣センターの移転複合化、または建替に合わせて、現在の分館建物は廃止し、近隣センターへの移転及び図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	505.25	
3	図書館田中分館 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組								その他				
		延床面積 (㎡)	期首	172.00	期末	172.00	172.00			172.00		172.00		
		内容	(第3期) 田中近隣センターの移転複合化、または建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。											
		複合施設(子)	複合施設名	田中近隣センター(親)、田中出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,510.61
4	図書館西原分館 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組								その他				
		延床面積 (㎡)	期首	105.00	期末	105.00	105.00			105.00		105.00		
		内容	(第3期) 西原近隣センターの建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。											
		複合施設(子)	複合施設名	西原近隣センター(親)、西原出張所(子)									敷地面積 (㎡)	992.87
5	図書館南部分館 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	改修											
		延床面積 (㎡)	期首	191.00	期末	264.20	264.00			264.00		264.00		
		内容	(第1期) 令和元(2019)年度の南部近隣センターリノベーション改修工事により再整備を実施した。											
		複合施設(子)	複合施設名	南部近隣センター(親)、南部こどもの広場(子)、南部出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,314.26

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	図書館布施分館 S54 (1979)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								その他			
		延床面積 (㎡)	期首	196.00	期末	196.00	196.00			196.00		196.00	
		内容	(第3期) 布施近隣センターの移転、または建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。										
	複合施設(子)	複合施設名	布施近隣センター(親)、布施遊戯室(子)									敷地面積 (㎡)	2,149.14
7	図書館永楽台分館 S54 (1979)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								その他			
		延床面積 (㎡)	期首	132.00	期末	132.00	132.00			132.00		132.00	
		内容	(第3期) 永楽台近隣センターの移転複合化、または建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。										
	複合施設(子)	複合施設名	永楽台近隣センター(親)、永楽台児童センター(子)									敷地面積 (㎡)	944.87
8	図書館増尾分館 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	168.00	期末	168.00	168.00			168.00		168.00	
		内容	(第2期) 増尾近隣センターの長寿命化に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。										
	複合施設(子)	複合施設名	増尾近隣センター(親)、増尾出張所(子)									敷地面積 (㎡)	3,418.87
9	図書館光ヶ丘分館 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								その他			
		延床面積 (㎡)	期首	187.00	期末	187.00	187.00			187.00		187.00	
		内容	(第3期) 光ヶ丘近隣センターの建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。										
	複合施設(子)	複合施設名	光ヶ丘近隣センター(親)、光ヶ丘遊戯室(子)、光ヶ丘出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,906.01
10	図書館新富分館 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								その他			
		延床面積 (㎡)	期首	165.00	期末	165.00	165.00			165.00		165.00	
		内容	(第3期) 新富近隣センターの移転複合化、または建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。										
	複合施設(子)	複合施設名	新富近隣センター(親)									敷地面積 (㎡)	1,446.40

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
11	図書館高田分館 S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修									
		延床面積 (㎡)	期首	137.00	期末	137.00	137.00		137.00		137.00	
		内容	(第1期) 令和5(2023)年度の高田近隣センターリノベーション改修工事により再整備を実施した。									
	複合施設(子)	複合施設名	高田近隣センター(親)									敷地面積 (㎡)
12	図書館根戸分館 S43 (1968)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	118.00	期末	118.00	118.00		118.00		118.00	
		内容	(第2期) 根戸近隣センターの方針に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備の検討を行う。									
	複合施設(子)	複合施設名	根戸近隣センター(親)									敷地面積 (㎡)
13	図書館新田原分館 S59 (1984)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									その他	
		延床面積 (㎡)	期首	110.00	期末	110.00	110.00		110.00		110.00	
		内容	(第4期) 新田原近隣センターの建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。									
	複合施設(子)	複合施設名	新田原近隣センター(親)									敷地面積 (㎡)
14	図書館松葉分館 S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									その他	
		延床面積 (㎡)	期首	205.00	期末	205.00	205.00		205.00		205.00	
		内容	(第4期) 松葉近隣センターの建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。									
	複合施設(子)	複合施設名	松葉近隣センター(親)、松葉出張所(子)									敷地面積 (㎡)
15	図書館藤心分館 S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									その他	
		延床面積 (㎡)	期首	147.00	期末	147.00	147.00		147.00		147.00	
		内容	(第4期) 藤心近隣センターの建替に合わせて、図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。									
	複合施設(子)	複合施設名	藤心近隣センター(親)、藤心出張所(子)									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
16	図書館沼南分館 S52 (1977)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					廃止＋その他＋除却						
		延床面積 (㎡)	期首	380.00	期末	380.00	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 沼南近隣センター現建物の廃止により、当該施設での運営を廃止し、暫定的に沼南庁舎を活用する。また、新たな近隣センターの検討・再整備に合わせ、こども図書館との統合の検討及び図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。旧施設は除却する。										
	複合施設(子)	複合施設名	沼南近隣センター(親)									敷地面積 (㎡)	6,023.14
17	図書館高柳分館 H6 (1994)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組										その他	
		延床面積 (㎡)	期首	127.00	期末	127.00	127.00			127.00		127.00	
		内容	(第4期) 市全体の図書館機能(サービス)を踏まえ、高柳分館機能(サービス)の整理・整備を検討する。										
	複合施設(子)	複合施設名	高柳近隣センター(親)、高柳出張所(子)									敷地面積 (㎡)	2,787.33
18	図書館こども図書館 S40 (1965)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	473.00	期末	473.00	473.00			473.00		473.00	
		内容	(第2期) 沼南近隣センター現建物の廃止による新たな近隣センターの検討・再整備に合わせ、図書館沼南分館との統合の検討及び図書館機能(・サービス)の整理・整備を行う。										
	複合施設(子)	複合施設名	沼南庁舎(親)、市民交流サロン(子)、郷土資料展示室(子)									敷地面積 (㎡)	8,552.00

5. 公民館

① 施設概要

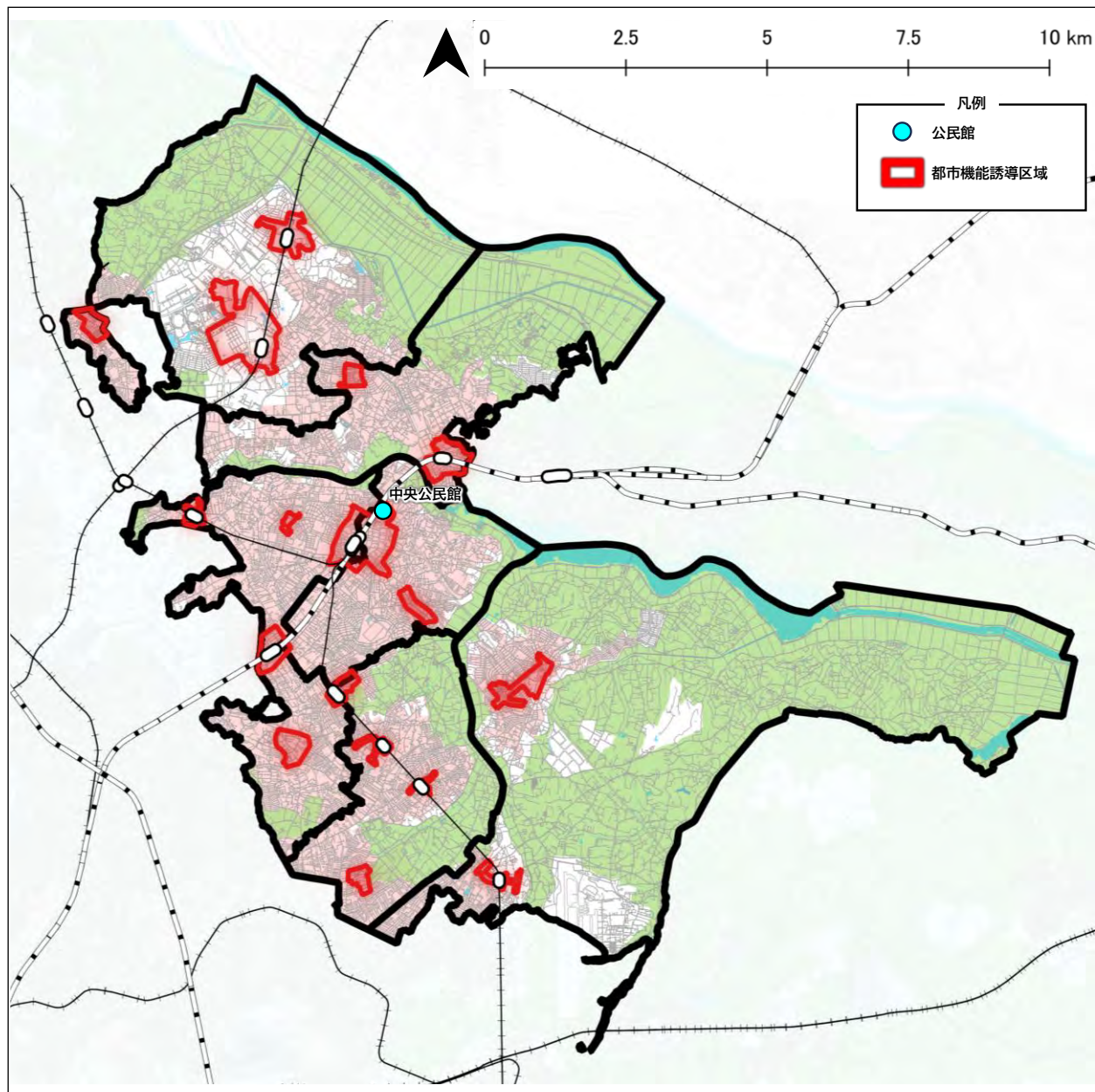
- ・ 中央公民館は、市民のために実際の生活に即する教育，学術及び文化に関する各種事業を行い，市民の教養の向上，健康の増進，情操の純化を図り，生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与するために設置されています。柏市教育福祉会館（ラコルタ柏）の3・4・5階の部分で，会議室，音楽室，講堂など，地域の学習団体，サークル活動で利用されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	中央公民館	中央2	柏市柏五丁目8-12	4,143.63	S55	42	教育福祉会館内に設置 避難所 講堂：固定席（171人）

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	・ 年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日まで）及び施設維持保守等のため臨時休館日があります。
開館時間	月～日祝：9：00～21：00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 中央公民館は延床面積約 4,144 m²，築年数 42 年となっています。
- ・ 老朽化が進んでおり，日常的な点検や定期的な修繕に加え，中長期的な計画に基づく大規模修繕等を実施することが必要です。

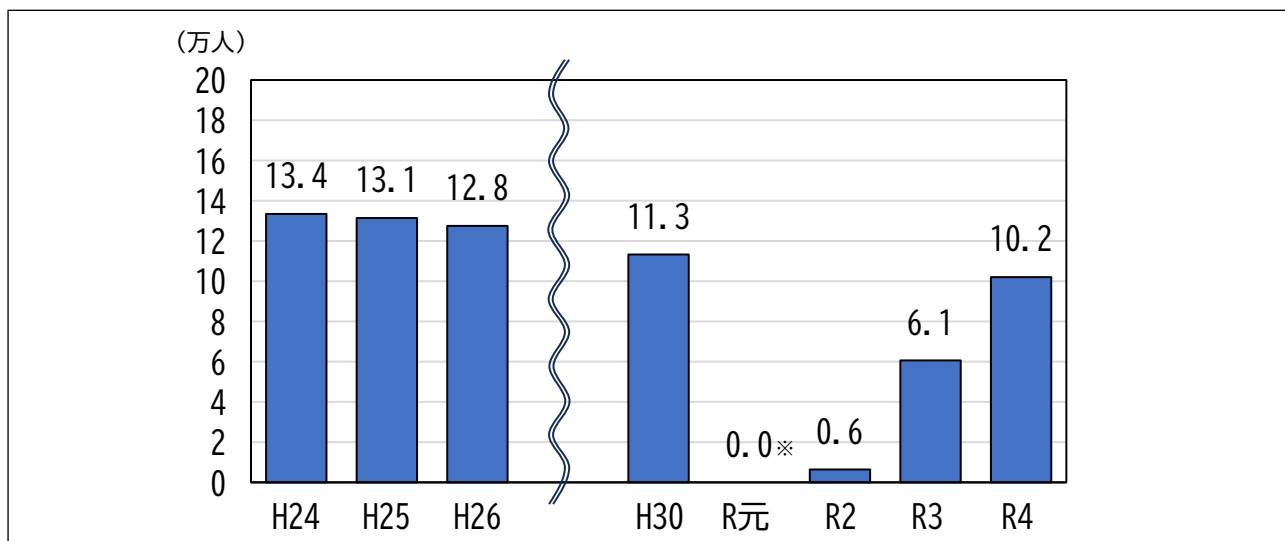
● 利用状況

- ・ 利用者は平成 24（2012）年度から平成 26（2014）年度は約 13 万人前後で推移していました。改修工事の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響もあり，令和元（2019）年度，令和 2（2020）年度は利用者が激減しましたが，令和 4（2022）年度では約 10.2 万人とコロナ禍直前の平成 30（2019）年度の約 9 割まで回復しています。
- ・ 全体の平均稼働率が約 49%となっている一方，料理実習室約 8%，茶室約 15%など稼働率の低いものもあります。

● コスト状況

- ・ トータルコストは約 1 億 5,777 万円で，施設に係るコストが約 19.8%，人に係るコストが約 41.9%となっています。

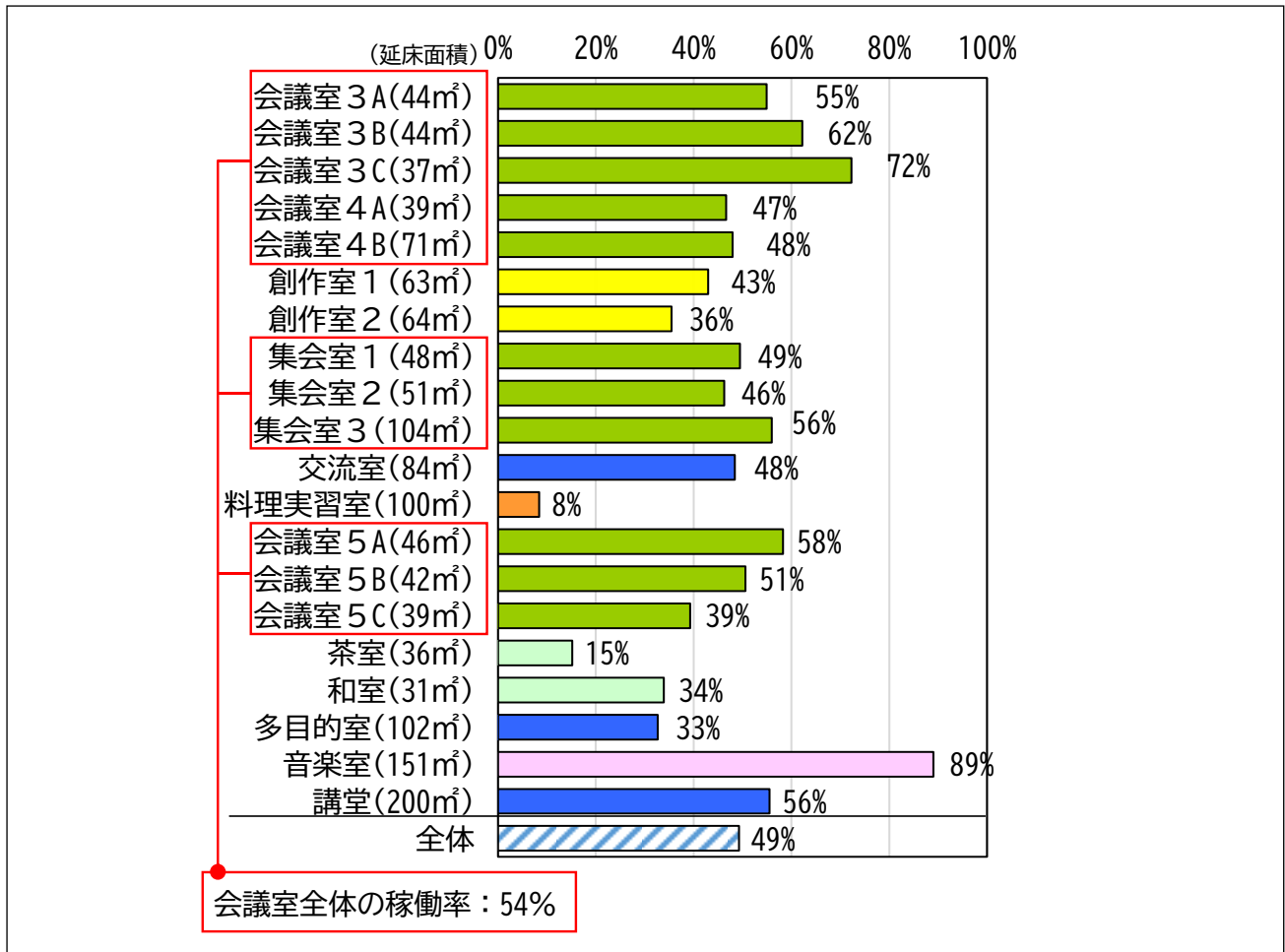
【年度別利用者数の推移】



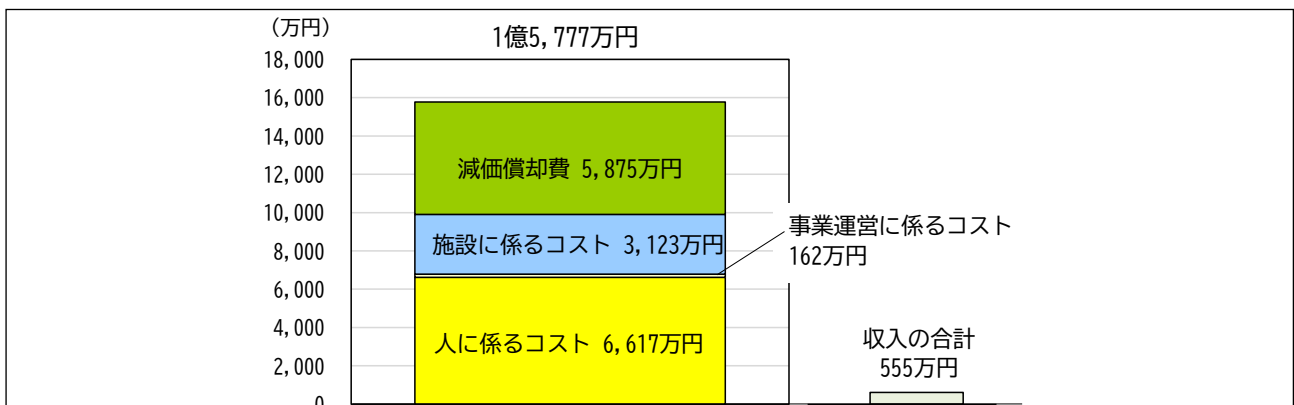
※令和元（2019）年度は教育福祉会館が改修工事の為閉館

出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成 28 年 3 月）

【諸室別稼働率 令和4（2022）年度】



【トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 中央公民館は、平成30（2018）年度から令和2（2020）年度まで教育福祉会館の耐震補強及び大規模改修工事の実施により、避難所としての耐震性の確保、スロープ設置による段差解消、多目的トイレの全階設置・全トイレ洋式化などのバリアフリー対応を行いました。中央公民館の教育分野と総合福祉センターの福祉分野が連携して、市民による自立的な地域活動を推進し地域共生社会の実現を目指す施設として運営を継続します。
- 日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。
- 公民館事業を各近隣センターで実施するなど、他の集会施設との機能連携を進めます。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	中央公民館 S55 (1980)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	改修										
		延床面積 (㎡)	期首	4,143.63	期末	4,143.63	4,143.63			4,143.63		4,143.63	
		内容	(第1期) 耐震補強に加え、老朽化した設備等の改修工事を行うことにより、建物全体の長寿命化を図った。										
	複合施設(親)	複合 施設名	総合福祉センター(子)								敷地面積 (㎡)		4,927.75

6. 博物館等

① 施設概要

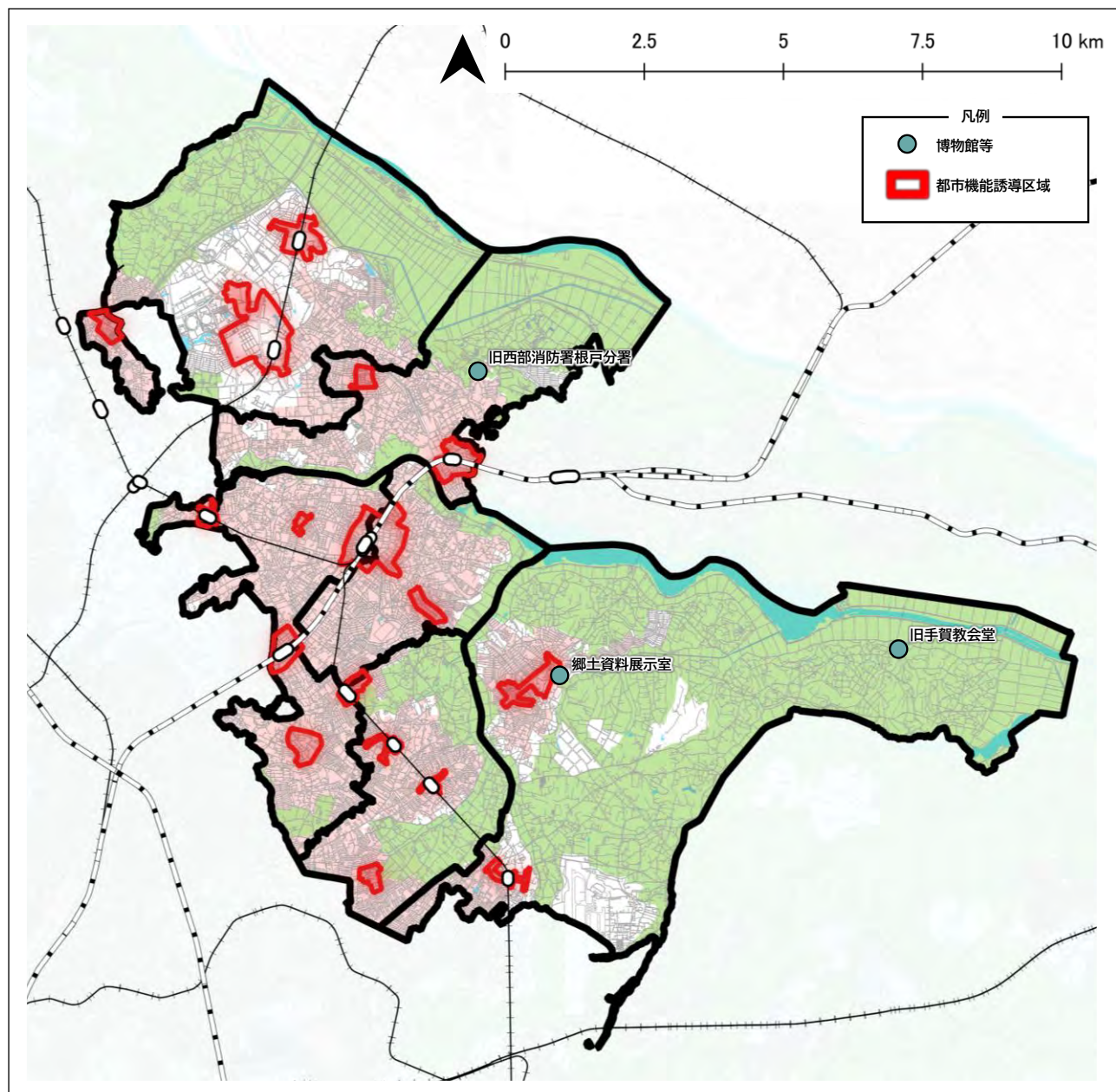
- ・博物館等は市内に3施設あり、文化財2施設と資料展示室1施設に分類されます。
- ・文化財である旧手賀教会堂（千葉県指定文化財）は現存する日本で唯一の茅葺民家転用教会堂であり、首都圏内の教会堂として最古の施設となっています。
- ・旧西部消防署根戸分署は、旧陸軍の高射砲連隊演習施設であることが本市の調査で判明しました。また、この種の建物が国内に現存する例は2例しかなく、その希少性と歴史的重要性から、旧陸軍高射砲第二連隊照空予習室として国登録有形文化財に登録されています。
- ・資料展示室として、郷土資料展示室があり、市民に「郷土かしわ」への興味と理解を深めってもらうため、本市に関する文化財資料、歴史資料などのほか、美術品等を展示しています。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	旧手賀教会堂	沼南	柏市手賀666-2	66.94	—	—	正式名称を日本ハリストス手賀教会(手賀使徒伊望正教会)といい、ギリシャ正教の教会です。現存する首都圏内の教会堂としては最古のもの。
2	旧西部消防署根戸分署	北部2	柏市布施764	256.00	—	—	元々は旧陸軍の高射砲連隊演習施設
3	郷土資料展示室	沼南	柏市大島田48-1	595.24	S40	57	沼南庁舎内に設置
合計				918.18			

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	旧手賀教会堂・郷土資料展示室：月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌平日が休館），年末年始（12月28日～1月4日） ※旧西部消防署根戸分署は現在非公開
開館時間	旧手賀教会堂　：10:00～16:00 郷土資料展示室：9:30～17:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・博物館等は3施設で、延床面積合計は約918㎡です。
- ・旧手賀教会堂は現存する首都圏内の教会堂としては最古のものです。旧西部消防署根戸分署は元々旧陸軍の高射砲連隊演習施設であり、歴史的建物であるため旧手賀教会堂とともに、築年数に応じた保全という考え方をとっていません。郷土資料展示室は沼南庁舎内に設置されており、築年数は57年で老朽化が進んでいます。
- ・令和2（2020）年度に旧手賀教会堂の保存改修工事、令和4（2022）年度に郷土資料展示室の改修工事を行っています。

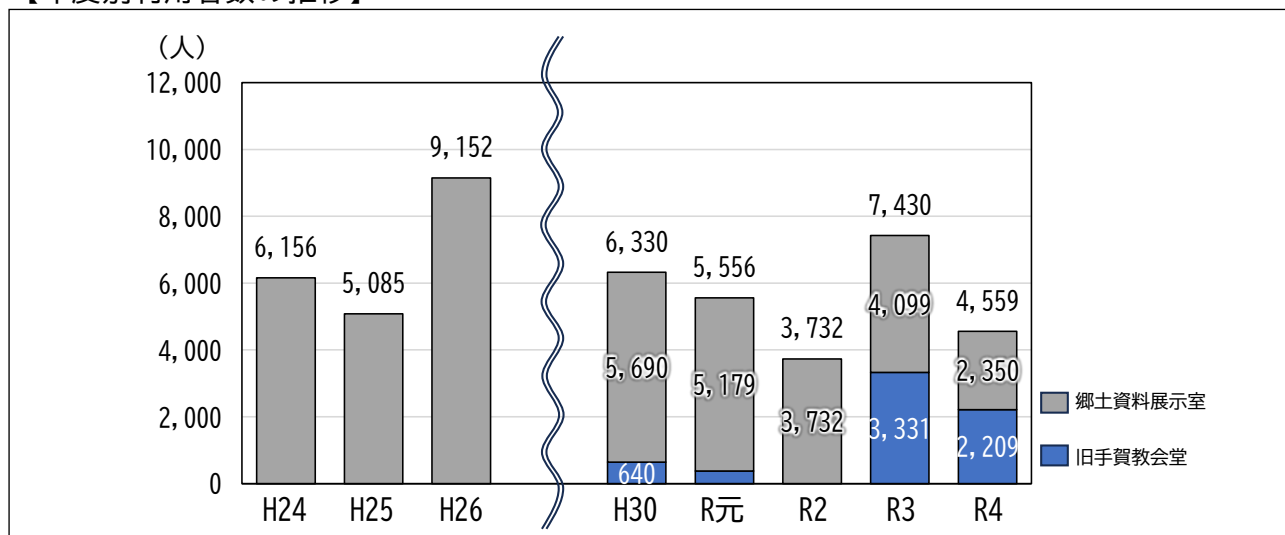
● 利用状況

- ・旧手賀教会堂、郷土資料展示室の利用者数は平成30（2018）年度、令和元（2019）年度は6,000人前後の利用者がありましたが、令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が4,000人を下回りました。令和3（2021）年度に7,430人まで回復しましたが、令和4（2022）年度は再び5,000人を下回っています。
- ・施設別にみると郷土資料展示室は平成26（2014）年度が9,152人に対し、令和4（2022）年度は2,350人と約4分の1程度の利用状況となっています。
- ・旧手賀教会堂は平成30（2018）年度640人、令和4（2022）年度が2,209人とコロナ禍以前より利用が増加しています。

● コスト状況

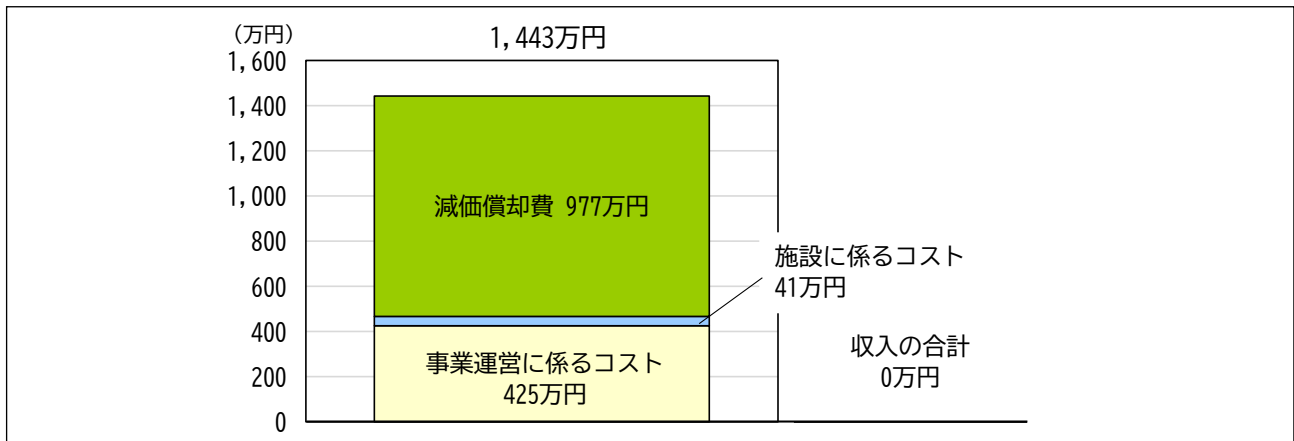
- ・トータルコストは約1,443万円で、施設に係るコストが約2.8%、事業運営に係るコストが約29.5%となっています。
- ・施設別トータルコストでは、旧西部消防署根戸分署は約731万円、旧手賀教会堂は約529万円となっています。

【年度別利用者数の推移】

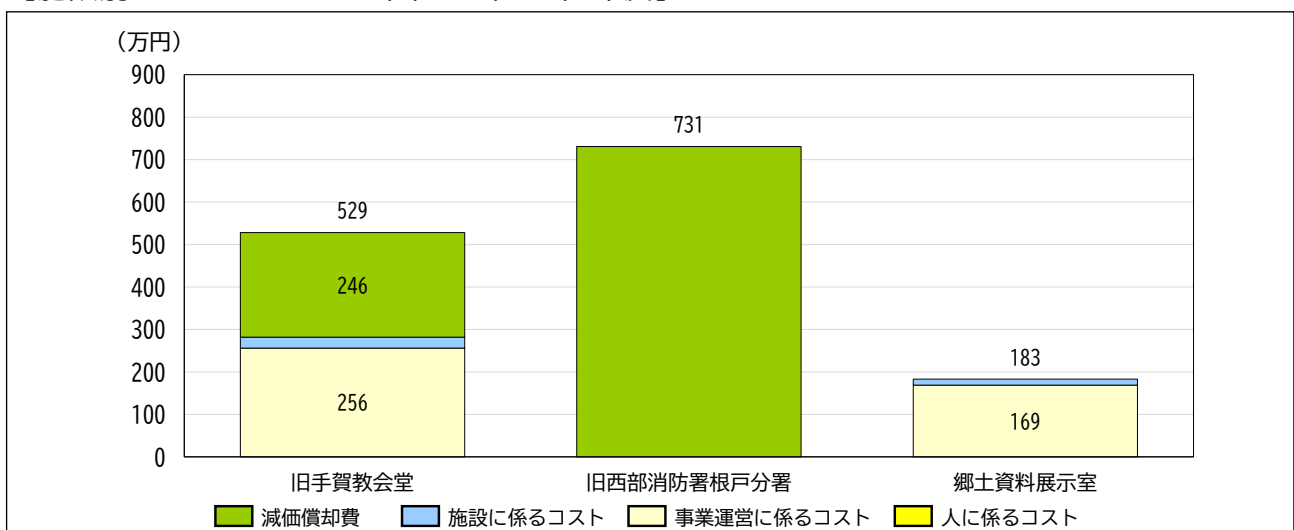


※旧西部消防署根戸分署はデータなし、旧手賀教会堂は平成24（2012）年度～平成26（2014）年度の利用者データなし
 出典：平成24（2012）年度～平成26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成28年3月）」

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 文化財は、文化財保護の観点から日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。また、集客力の向上など有効活用を図ります。
- 郷土資料展示室は、学芸員などの職員が常駐せず、収蔵施設も十分に備わっていないため、博物館機能を果たす施設となっていません。柏市文化財整理室の収蔵量不足の課題もあるため、資料収集・保存・収蔵、調査研究、展示、普及啓発といった活動を一体的に行うために、これらの施設の統廃合も含め、博物館機能を持った展示室に拡充ができるか検討を行います。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	旧手賀教会堂 - -		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組									現状のまま存続		
		延床面積 (㎡)	期首	66.94	期末	66.94	66.94		66.94		66.94		
		内容	(第4期) 千葉県指定文化財に指定されているため、文化財保護の観点から、建物を保存するとともに、施設を現状のまま存続する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	291.90	
2	旧西部消防署根戸分署 - -		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組									現状のまま存続		
		延床面積 (㎡)	期首	256.00	期末	256.00	256.00		256.00		256.00		
		内容	(第4期) 国登録有形文化財に登録されているため、文化財保護の観点から、建物を保存するとともに、施設を現状のまま存続する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	483.31	
3	郷土資料展示室 S40(1965)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	その他				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	595.24	期末	595.24	595.24		595.24		595.24		
		内容	(第1期) 利用状況の向上のため、質の高い展示と情報発信に努めた。 (第2期) 資料収集・保存・収蔵、調査研究、展示、普及啓発といった機能を一体的に果たせる博物館機能を持った展示室に拡充ができるか検討する。										
		複合施設(子)	複合施設名	沼南庁舎(親)、市民交流サロン(子)、図書館こども図書館(子)								敷地面積 (㎡)	8,552.00

7. その他社会教育施設

① 施設概要

- ・ その他社会教育施設として，市内に少年補導センターを設置しています。青少年の健全な育成を期し，少年の補導活動を総合的に推進するための拠点となっています。

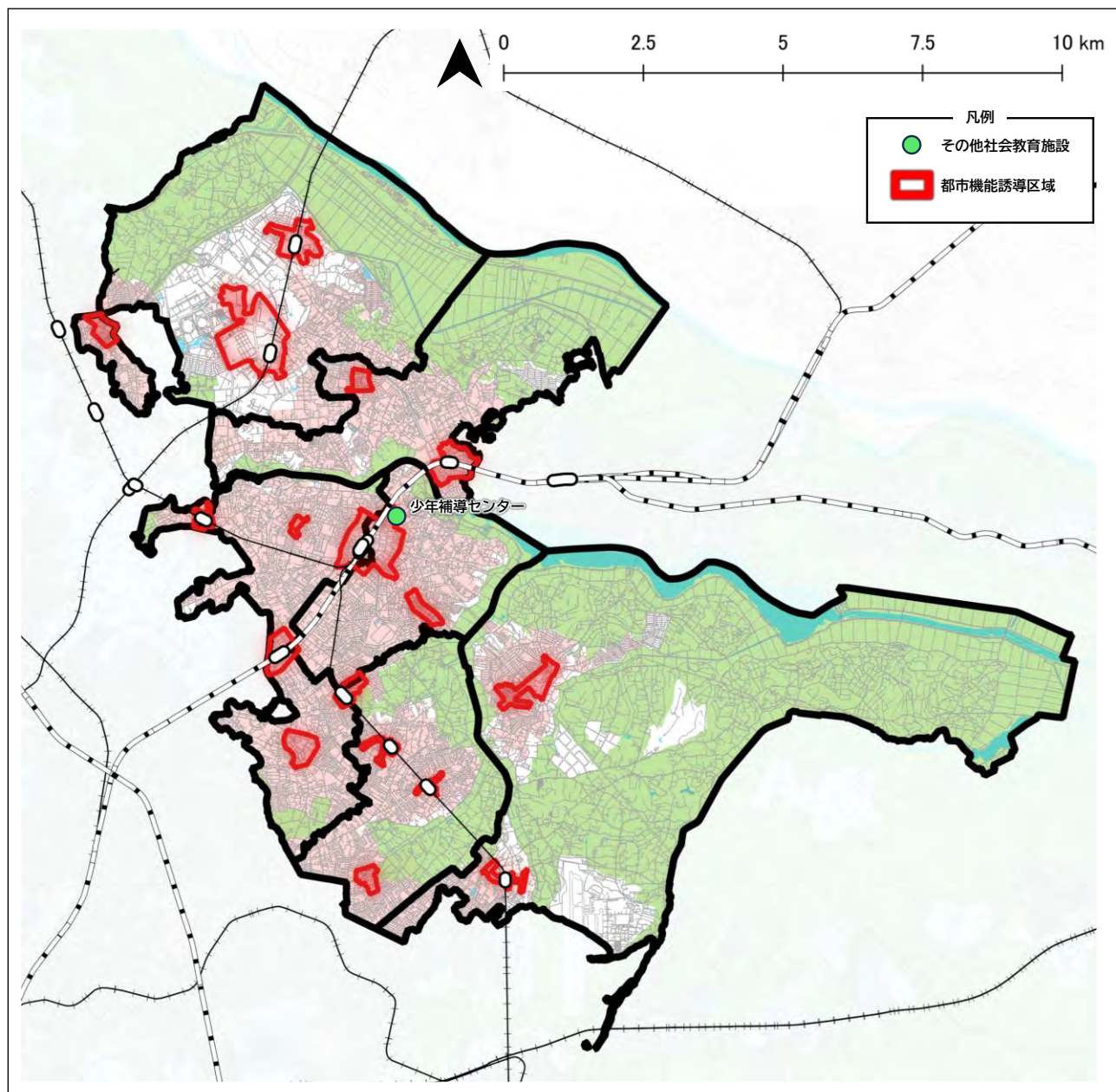
【施設一覧】

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	少年補導センター	中央2	柏市柏五丁目8-32	106.32	S58	39	本庁舎分室2内に設置

● 業務内容

補導	街頭補導，地域補導，特別補導，サイバーパトロール
相談	やまびこ電話相談柏，少年相談，生徒指導巡回相談
環境浄化	成人図書販売状況調査，有害チラシ撤去
広報啓発	月報「すこやかに」，「携帯・スマートフォンの安全な利用」等の非行防止講演
団体事務局	柏市少年補導委員連絡協議会，柏市学校警察連絡協議会

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	土曜日，日曜日，祝日，年末年始（12月29日から1月3日まで）
開館時間	8:30～17:15

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 少年補導センターは本庁舎分室2内に設置され、延床面積は約106㎡です。
- ・ 築年数は39年を経過していますが、これまで大きな改修などは実施しておりません。

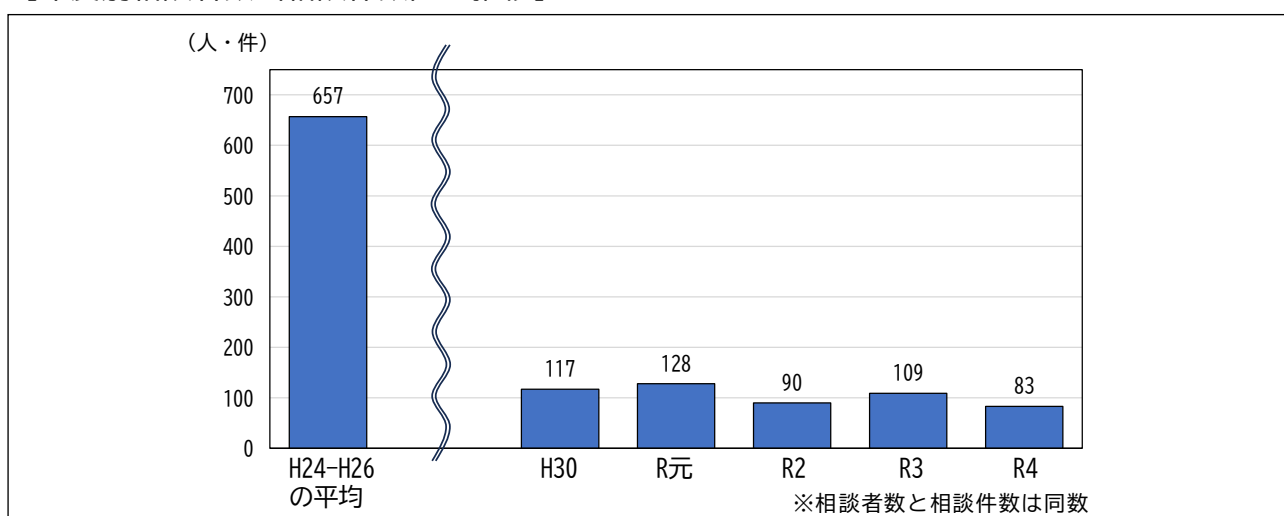
● 利用状況

- ・ 平成24（2012）年度から平成26（2014）年度の平均相談件数は657件でしたが、平成30（2018）年度から令和4（2022）年度までの5か年は平均105件で推移しています。

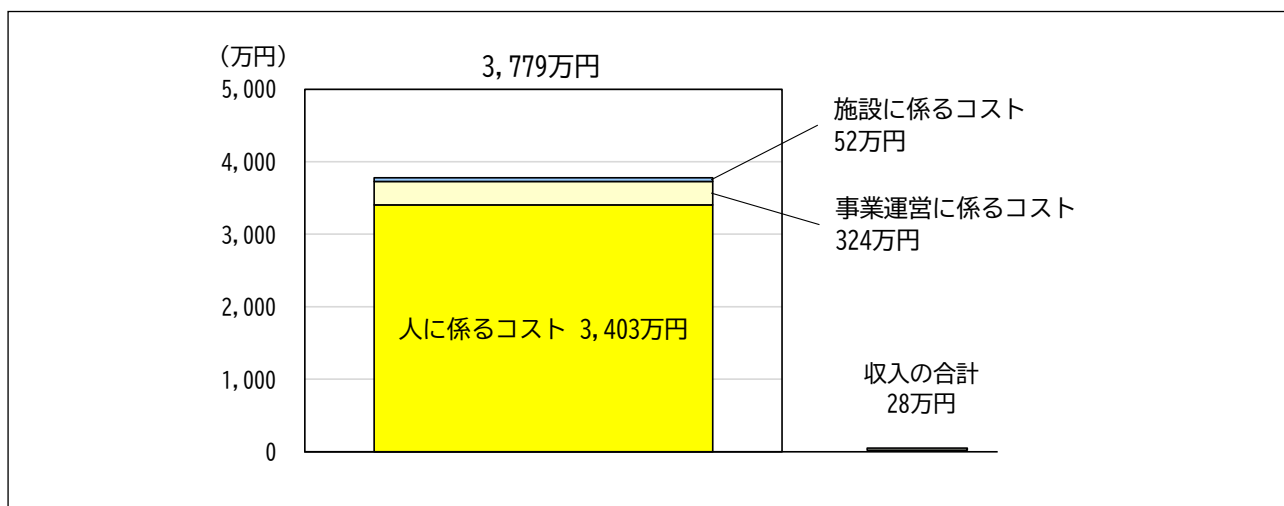
● コスト状況

- ・ トータルコストは約3,779万円で、施設に係るコストが約1.4%、事業運営に係るコストが約8.6%、人に係るコストが約90.1%となっています。

【年度別相談者数（相談件数）の推移】



【トータルコスト（2022年度）】



⑤ 今後の方向性

- ・ 目標使用年数を見据えながら、施設の再整備（移転）の方策を検討します。他の公共施設との複合化や民間施設・資金の活用を検討します。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)		再編の取組											
1	少年補導センター S58(1983)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)			第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								移転＋民間施設の活用＋廃止(既存施設)				
		延床面積 (㎡)	期首	106.32	期末	106.32	106.32			0.00			0.00	
		内容	(第3期) 青少年非行防止活動の拠点事務所であるため、補導活動に最も適した柏駅周辺の民間施設に移転をする。なお、親施設(本庁舎分室2)は、目標使用年数をもって『除却』する。											
	複合施設(子)	複合 施設名	本庁舎分室2(親)									敷地面積 (㎡)	19,417.62	

8. スポーツ施設

① 施設概要

- ・ 建物を有するスポーツ施設としては、屋内施設が5施設、屋外施設が12施設あり、体育館、運動場、市民プールに分類されます。
- ・ 各種スポーツ施設は、健全な体育を普及・振興し、市民の健康増進や体力づくりを図るとともに、スポーツやレクリエーションなどを通じた地域親睦の活動拠点として設置されています。

【施設一覧】

● 体育館

■ 築40年以上

屋内施設	No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
	1	柏市中央体育館	中央2	柏市柏下73-1	6,489.52	S51	46	
	2	柏市中央体育館相撲場	中央2	柏市柏下73	368.92	H4	30	
	3	柏市中央体育館弓道場	中央2	柏市柏下100	357.25	H元	33	
	4	柏市沼南体育館	沼南	柏市藤ヶ谷1908-1	6,004.50	H6	28	
	5	柏市沼南体育館弓道場	沼南	柏市藤ヶ谷1907-3	187.07	H14	20	
合計					13,407.26			

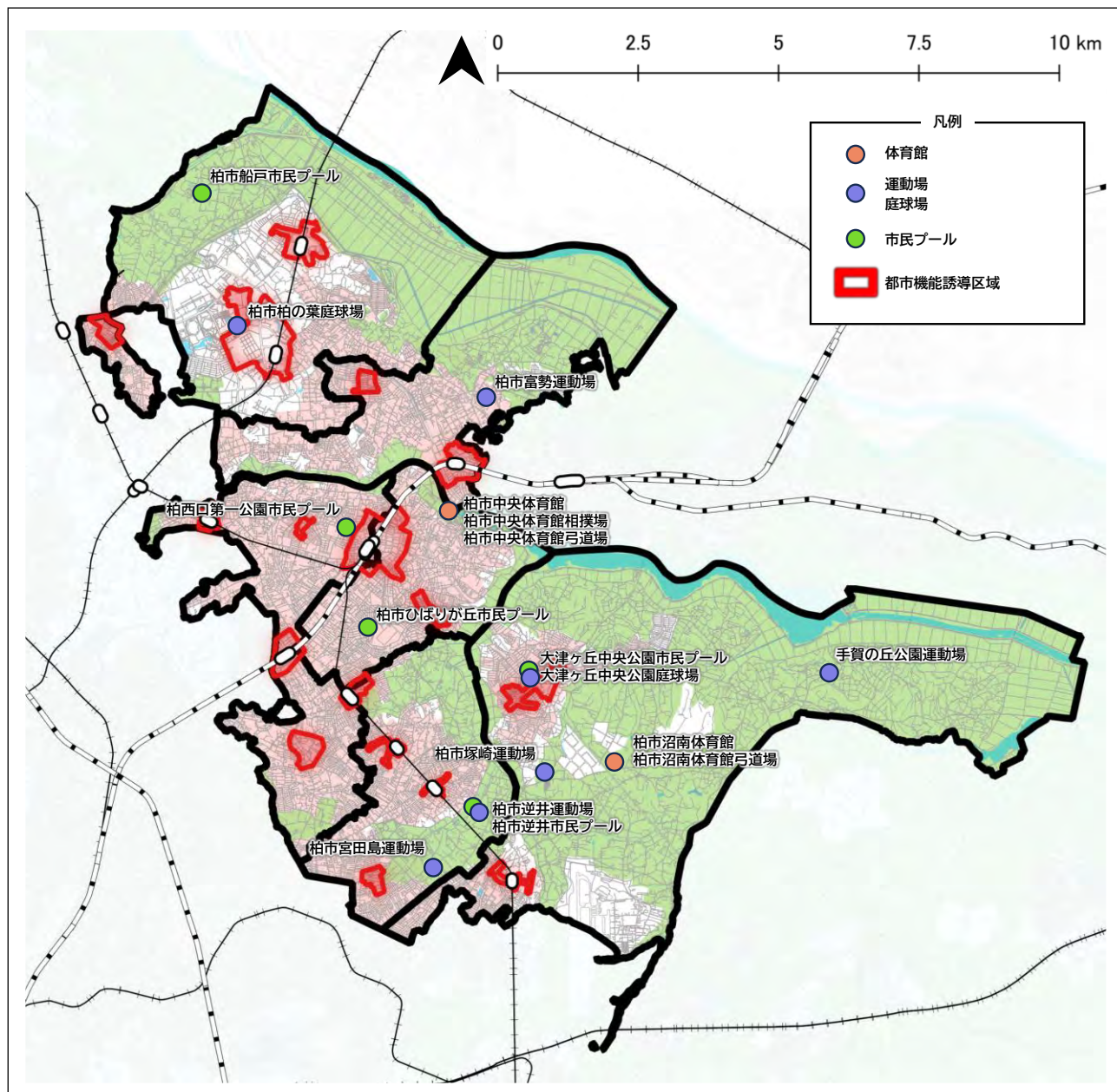
● 運動場

屋外施設	No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
	6	柏市富勢運動場	北部2	柏市布施935	658.07	H10	24	
	7	柏市逆井運動場	南部1	柏市逆井152	199.93	H10	24	
	8	柏市宮田島運動場	南部1	柏市逆井342-1	39.24	H6	28	
	9	柏市塚崎運動場	沼南	柏市塚崎1454	240.85	S56	41	
	10	手賀の丘公園運動場	沼南	柏市片山295	109.00	S61	36	
	11	柏市柏の葉庭球場	北部1	柏市柏の葉六丁目7	200.60	H4	30	
	12	大津ヶ丘中央公園庭球場	沼南	柏市大津ヶ丘二丁目1	14.96	H15	19	
合計					1,462.65			

● プール

屋外施設	No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
	13	柏市逆井市民プール	南部1	柏市逆井152	443.57	S59	38	
	14	柏市船戸市民プール	北部1	柏市船戸山高野170-1	412.90	S57	40	
	15	柏市ひばりが丘市民プール	中央2	柏市ひばりが丘662-10	391.01	S43	54	
	16	柏西口第一公園市民プール	中央1	柏市明原三丁目1-10	138.50	H2	32	
	17	大津ヶ丘中央公園市民プール	沼南	柏市大津ヶ丘二丁目1	278.53	S52	45	
合計					1,664.51			

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	体育館・運動場：第一月曜日（ただし、当該月曜日が祝日に当たるときを除きます） 中央体育館・中央体育館相撲場・中央体育館弓道場・沼南体育館・沼南体育館弓道場・富勢運動場・逆井運動場・宮田島運動場・柏の葉庭球場：12/28～1/3 プール：7月第1日曜日～9月第1日曜日以外の期間
開館時間	中央体育館・中央体育館相撲場・中央体育館弓道場・沼南体育館・沼南体育館弓道場・塚崎運動場・大津ヶ丘中央公園庭球場：月～日祝おおむね 9：00～21：00 富勢運動場・逆井運動場・宮田島運動場・柏の葉庭球場：月～日祝おおむね 9：00～17：00 プール：月～日祝 9：00～17：00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 建物を有するスポーツ施設は屋内施設が5施設、屋外施設が12施設あり、屋内施設の延床面積合計は13,407.26㎡、屋外施設の建築物の延床面積合計は3,127.16㎡です。
- ・ 築40年以上経過しているのは、屋内施設が中央体育館1施設、屋外施設は柏市塚崎運動場1施設、市民プール5施設のうち3施設です。
- ・ 中央体育館の改修工事は令和2（2020）年度完了、沼南体育館は令和10（2028）年度の改修を予定しています。

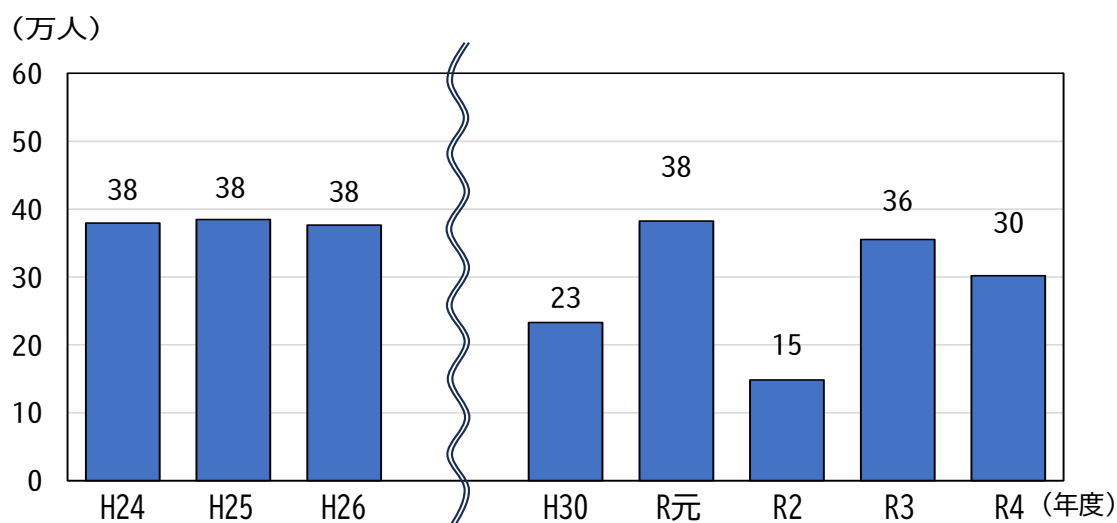
● 利用状況

- ・ 屋内施設の利用者数は平成30（2018）年度を除き、平成24（2012）年度から令和元（2019）年度は約38万人で推移していました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和2（2020）年度は利用者が減少しましたが、令和3（2021）年度より回復し、令和4（2022）年度では約30万人とコロナ前の約8割となっています。
- ・ 施設別では、中央体育館、沼南体育館は令和4（2022）年度において約13万人から約15万人の利用がある一方で、中央体育館相撲場と弓道場、沼南体育館弓道場は特定種目の施設のため、利用者数は約3,000人から約1.3万人程度となっています。
- ・ 屋外施設の利用者数は平成24（2012）年度から令和元（2019）年度は約39万人から約47万人で推移していました。屋外施設も同様に新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和2（2020）年度は利用者が減少しましたが、令和3（2021）年度より回復がみられ、令和4（2022）年度では約38万人とコロナ禍前の約9割程度となっています。
- ・ 施設別では、富勢運動場・逆井運動場の年間利用者数が約9万人前後と多く、その他3施設は3分の1程度の利用となっています。
- ・ 屋外施設では、運動場や庭球場に対し開場期間の短いプールの利用者数が少なくなっています。

● コスト状況

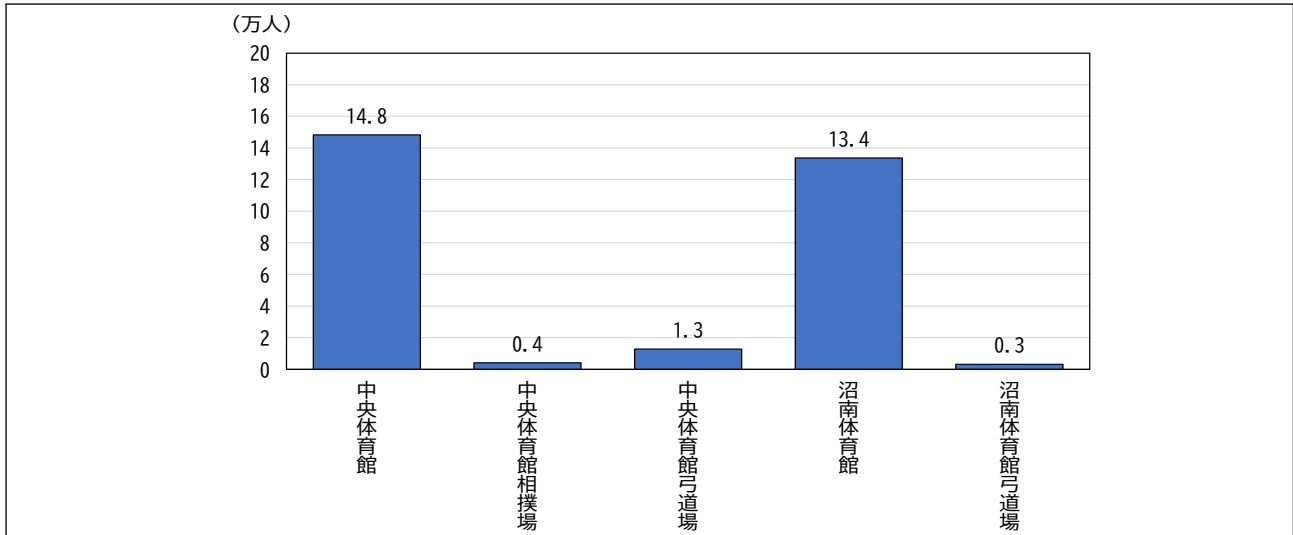
- ・ 全体のトータルコストは約3億6,708万円で、施設に係るコストが約33.6%、指定管理料が約45.0%となっています。
- ・ 施設別トータルコストは、屋内施設では中央体育館が約1億1,202万円、沼南体育館が約1億2,242万円となっています。
- ・ 屋外施設は、平均約1,105万円となっています。最も高いのが塚崎運動場で約2,685万円、次いで富勢運動場で約1,689万円となっています。
- ・ プールは平均と同程度のコストが多く、築40年以上の施設があります。利用期間が短く利用者数も少ないことから、今後の施設のあり方について検討する必要があります。

【屋内施設 年度別利用者数の推移】

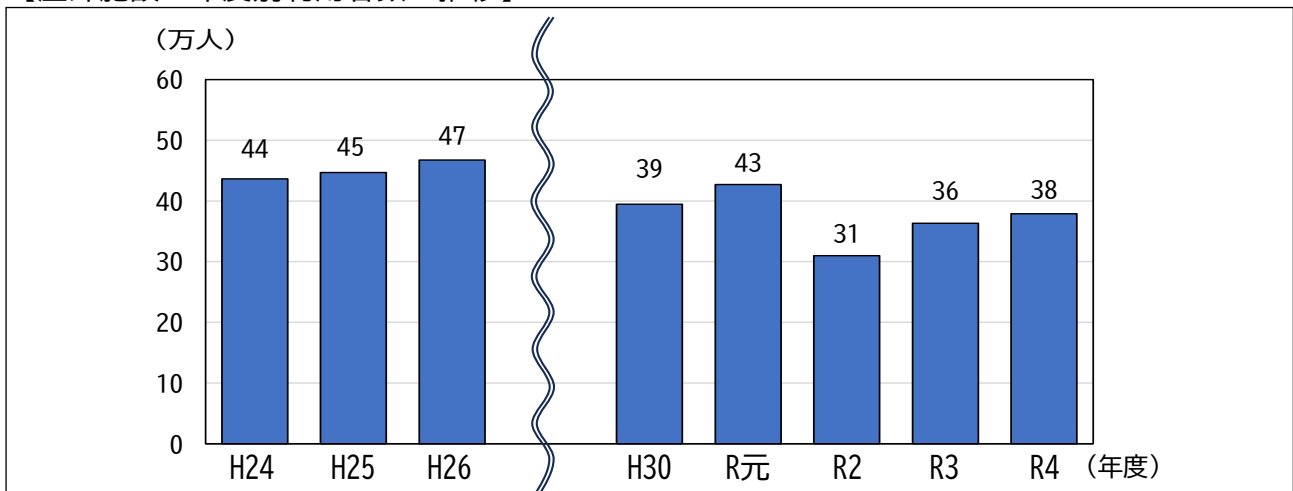


出典：平成24（2012）年度～平成26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成28年3月）

【屋内施設 施設別利用者数 令和4（2022）年度】

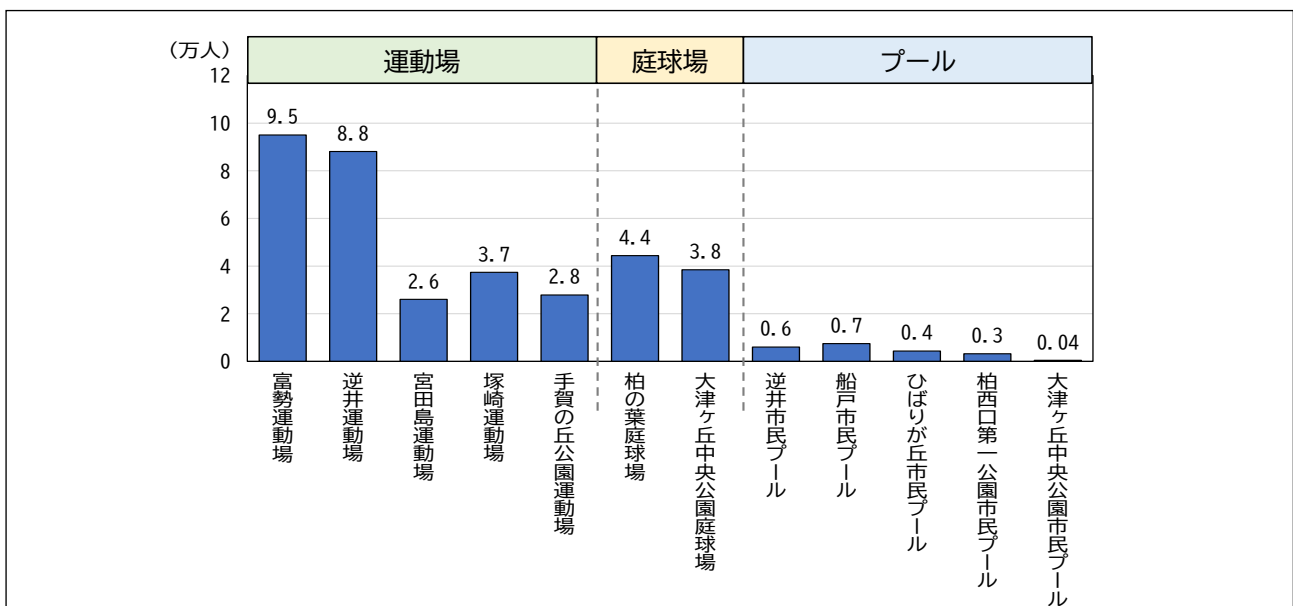


【屋外施設 年度別利用者数の推移】

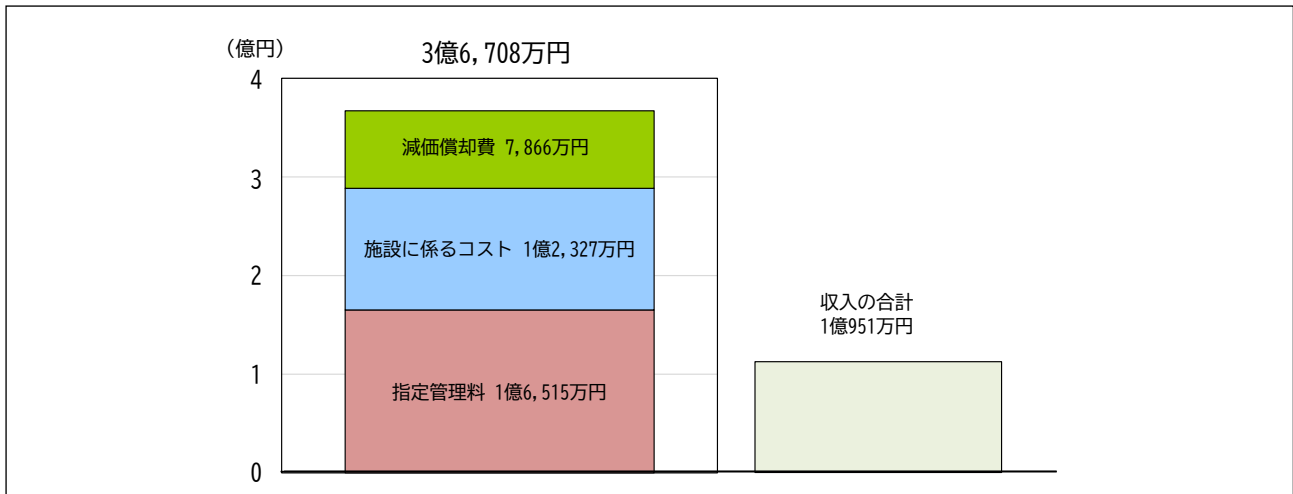


※塚崎運動場と手賀の丘公園運動場は、平成30（2018）年度の利用者数データ不明

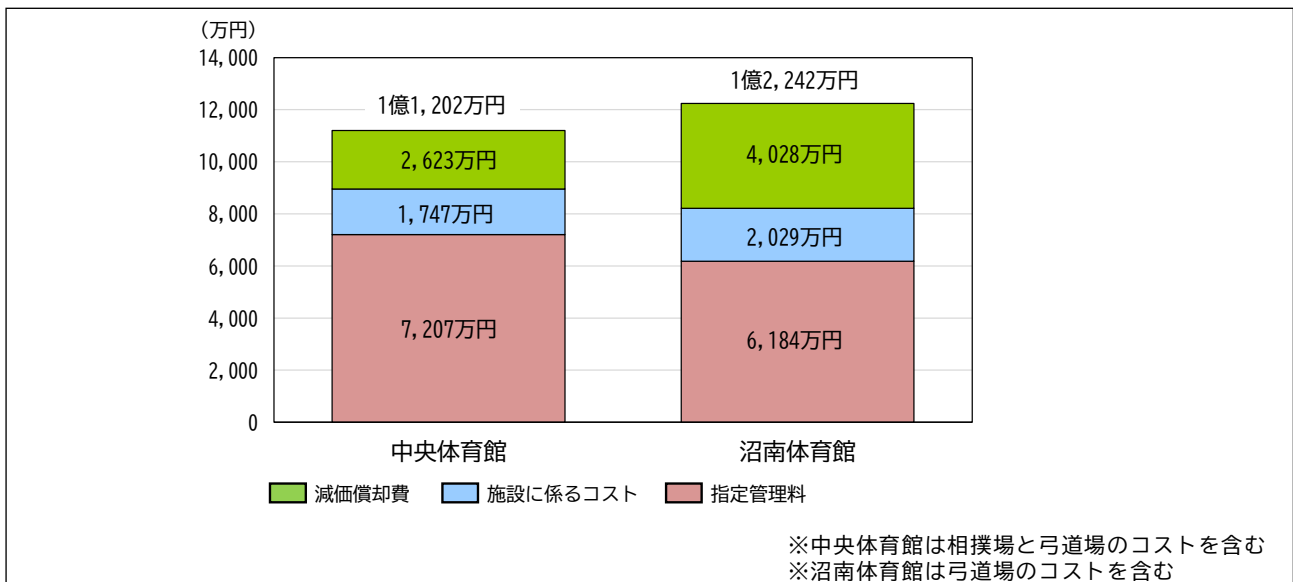
【屋外施設 施設別利用者数 令和4（2022）年度】



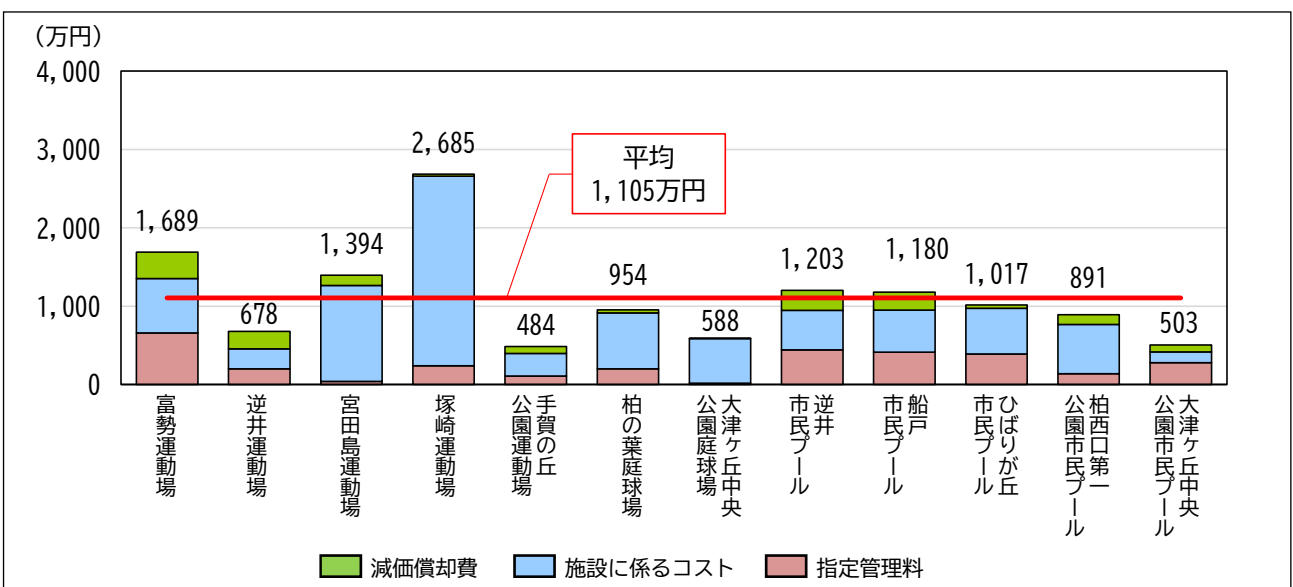
【全体のトータルコスト 令和4（2022）年度】



【屋内施設 施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】

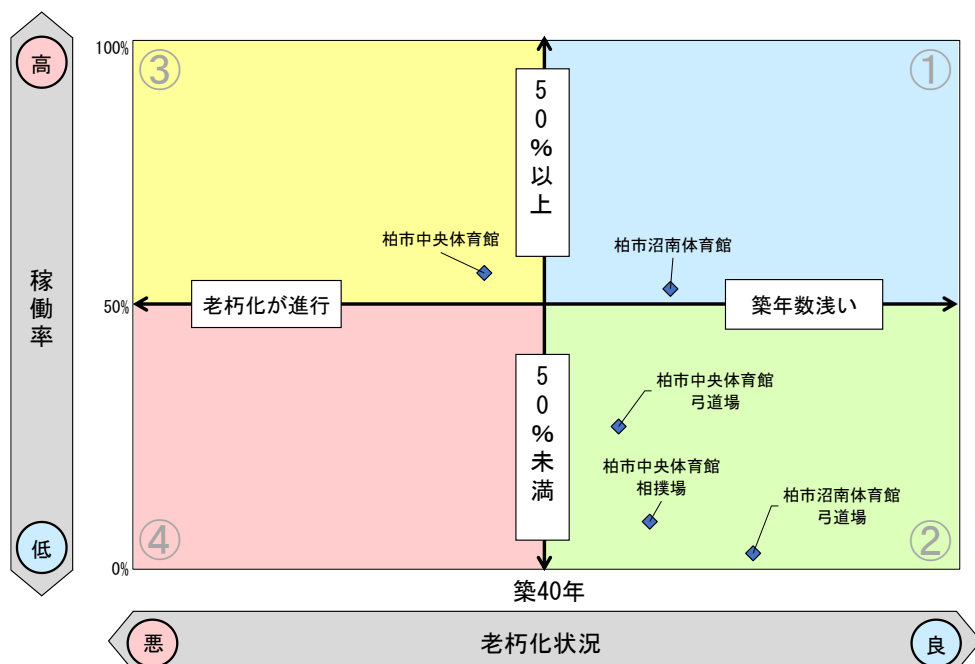


【屋外施設 施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】

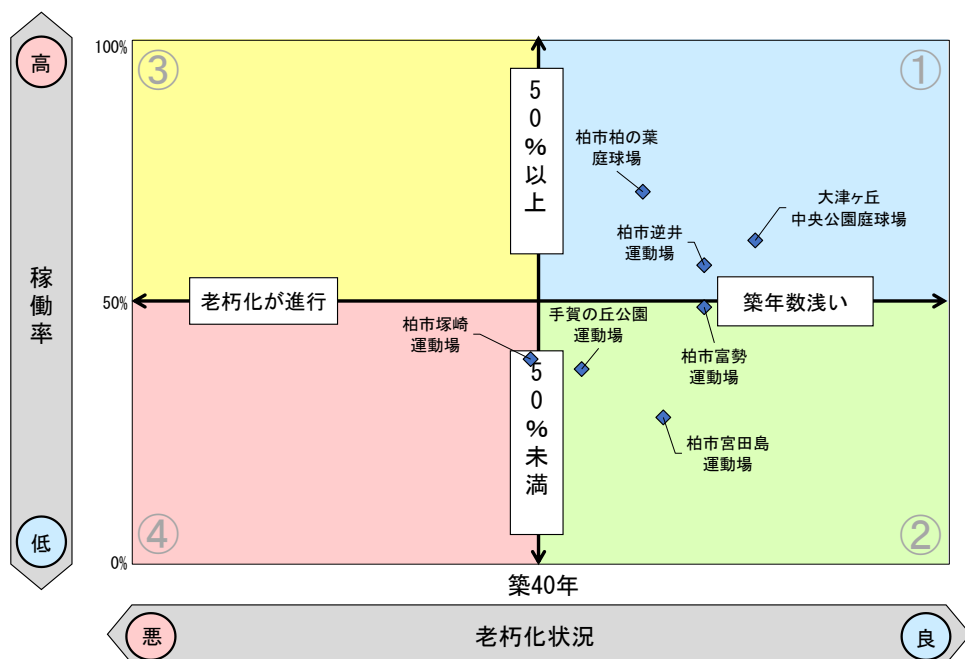


⑤ 2軸評価

●建物状況と稼働率（屋内施設）



●建物状況と稼働率（屋外施設）



⑥ 今後の方向性

- 各施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を見直し、再編を進めます。
- 体育館は、現在の2館体制を存続します。ただし、施設の老朽化に伴い建替または移転も検討します。また利用率が低い施設は、利用団体の意向も踏まえながら、そのあり方を検討します。
- 運動場は、小規模に分散している施設や利用率が低い施設や機能について、転用、集約化、廃止を含めた検討を行います。また、施設の再編にあわせて、借地の解消を図ります。
- 市民プールは、日常的な点検や定期的な修繕により延命化を図りつつ、中長期的には、北部地域と南部地域の2か所を存続します。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。
- 受益者負担の適正化を進めます。

⑦ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	柏市中央体育館 S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修							建替または移転			
		延床面積 (㎡)	期首	6,489.52	期末	6,489.52	6,489.52			6,489.52		6,489.52	
		内容	(第1期) 屋内スポーツ活動の中心的拠点施設であり、経年により損傷や設備の劣化が進行していることから、利用者の利便性及び安全性を考慮し、2020年に保全工事を実施した。 (第3期) 目標使用年数にあわせて、建替または移転を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,373.23
2	柏市中央体育館 相撲場 H4 (1992)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								その他			
		延床面積 (㎡)	期首	368.92	期末	368.92	368.92			368.92		368.92	
		内容	(第3期) 柏市中央体育館の建替にあわせ、建替または移転を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,373.23
3	柏市中央体育館 弓道場 H元 (1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								集約化+その他			
		延床面積 (㎡)	期首	357.25	期末	357.25	357.25			357.25		357.25	
		内容	(第3期) 弓道場施設として基幹となる施設であるため、沼南体育館の弓道場を廃止し、当該施設と集約化する。また、柏市中央体育館の建替にあわせ、建替または移転を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,373.23
4	柏市沼南体育館 H6 (1994)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修					建替または移転	
		延床面積 (㎡)	期首	6,004.50	期末	6,004.50	6,004.50			6,004.50		6,004.50	
		内容	(第2期) 屋内スポーツ活動の中心的拠点施設であり、経年により損傷や設備の劣化が進行していることから、利用者の利便性及び安全性を考慮し、改修を行う。 (第4期) 老朽化に伴い、建替または移転について検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	32,133.00
5	柏市沼南体育館 弓道場 H14 (2002)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								(廃止して他の施設と)集約化			
		延床面積 (㎡)	期首	187.07	期末	187.07	187.07			187.07		0.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて廃止をし、柏市中央体育館弓道場と集約化する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	187.00

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	柏市富勢運動場 H10 (1998)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	658.07	期末	658.07	658.07		658.07		658.07	
		内容	(第4期) 屋外スポーツ活動の中心的拠点施設であり、現状のまま存続する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	71,033.86
7	柏市逆井運動場 H10 (1998)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他		拡大+集約化			
		延床面積 (㎡)	期首	199.93	期末	199.93	199.93		199.93		199.93	
		内容	(第2期) 南部地域のスポーツ施設のあり方を検討する。 (第3期) 南部地域における屋外スポーツ活動の中心的拠点施設であるため、柏市宮田島運動場及び柏市塚崎運動場を廃止し、当該施設を拡大して集約化する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	37,389.88
8	柏市宮田島運動場 H6 (1994)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							(廃止して他の施設と)集約化			
		延床面積 (㎡)	期首	39.24	期末	39.24	39.24		0.00		0.00	
		内容	(第3期) 南部地域における屋外スポーツ活動の中心的拠点施設である逆井運動場への集約化にあわせ、廃止する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	14,605.51
9	柏市塚崎運動場 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							集約化(一部)		建替または移転	
		延床面積 (㎡)	期首	240.85	期末	240.85	240.85		240.85		240.85	
		内容	(第3期) 南部地域における屋外スポーツ活動の中心的拠点施設である逆井運動場への集約化にあわせ、野球場以外廃止する。 (第4期) 野球場は、本部席(S62)の目標使用年数にあわせて、建替または移転を行う。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	29,945.00
10	手賀の丘公園 運動場 S61 (1986)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									その他	
		延床面積 (㎡)	期首	109.00	期末	109.00	109.00		109.00		109.00	
		内容	(第4期) 旧沼南地域で屋外スポーツを行う上での活動拠点となっており、老朽化状況を踏まえ、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,154.00

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	柏市柏の葉庭球場 H4 (1992)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組										その他	
		延床面積 (㎡)	期首	200.60	期末	200.60	200.60			200.60		200.60	
		内容	〈第4期〉 庭球場施設として、中心的拠点となる施設であり、老朽化状況を踏まえ、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	31,640.00
12	大津ヶ丘中央公園庭球場 H15 (2003)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	14.96	期末	14.96	14.96			14.96		14.96	
		内容	〈第4期〉 庭球場施設として、中心的拠点となる施設であり、現状のまま存続する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	8,480.00
13	柏市逆井市民プール S59 (1984)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組					その他			建替			
		延床面積 (㎡)	期首	443.57	期末	443.57	443.57			443.57		443.57	
		内容	〈第2期〉 南部地域のスポーツ施設のあり方を検討する。 〈第3期〉 逆井運動場の拡大・集約化にあわせ、柏市南部地域のプール施設として再整備する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	10,300.00
14	柏市船戸市民プール S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組								現状のまま存続＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	412.90	期末	412.90	412.90			412.90		412.90	
		内容	〈第3期〉 柏市北部地域のプール施設として存続する。また、施設の老朽化等の状況に伴い、改修について検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	12,395.74
15	柏市ひばりが丘市民プール S43 (1968)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組					廃止＋除却						
		延床面積 (㎡)	期首	391.01	期末	391.01	0.00			0.00		0.00	
		内容	〈第2期〉 施設の老朽化に伴い、民間施設への代替えが可能なため、廃止し除去する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	5,787.28

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
16	柏西口第一公園 市民プール H2 (1990)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	138.50	期末	138.50	138.50		138.50		0.00	
		内容	〈第4期〉施設の老朽化に伴い、民間施設への代替えが可能なため、廃止し除去する。									
	－	複合 施設名	－								敷地面積 (㎡)	2,243.00
17	大津ヶ丘中央公園市 民プール S52 (1977)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	278.53	期末	278.53	278.53		0.00		0.00	
		内容	〈第3期〉施設の老朽化に伴い、廃止し除去する。									
	－	複合 施設名	－								敷地面積 (㎡)	1,730.00

9. 産業系施設

① 施設概要

- ・産業系施設は市内に2施設あります。
- ・都市農業センターは、都市地域に住む市民の農業に対する理解を促すとともに、都市近郊農業の振興を図る必要性から、都市農業振興拠点の核として設置されています。
- ・わしのや農業交流拠点は手賀沼周辺の休憩スペースとして、建物内にテーブルとベンチ、トイレが設置されています。

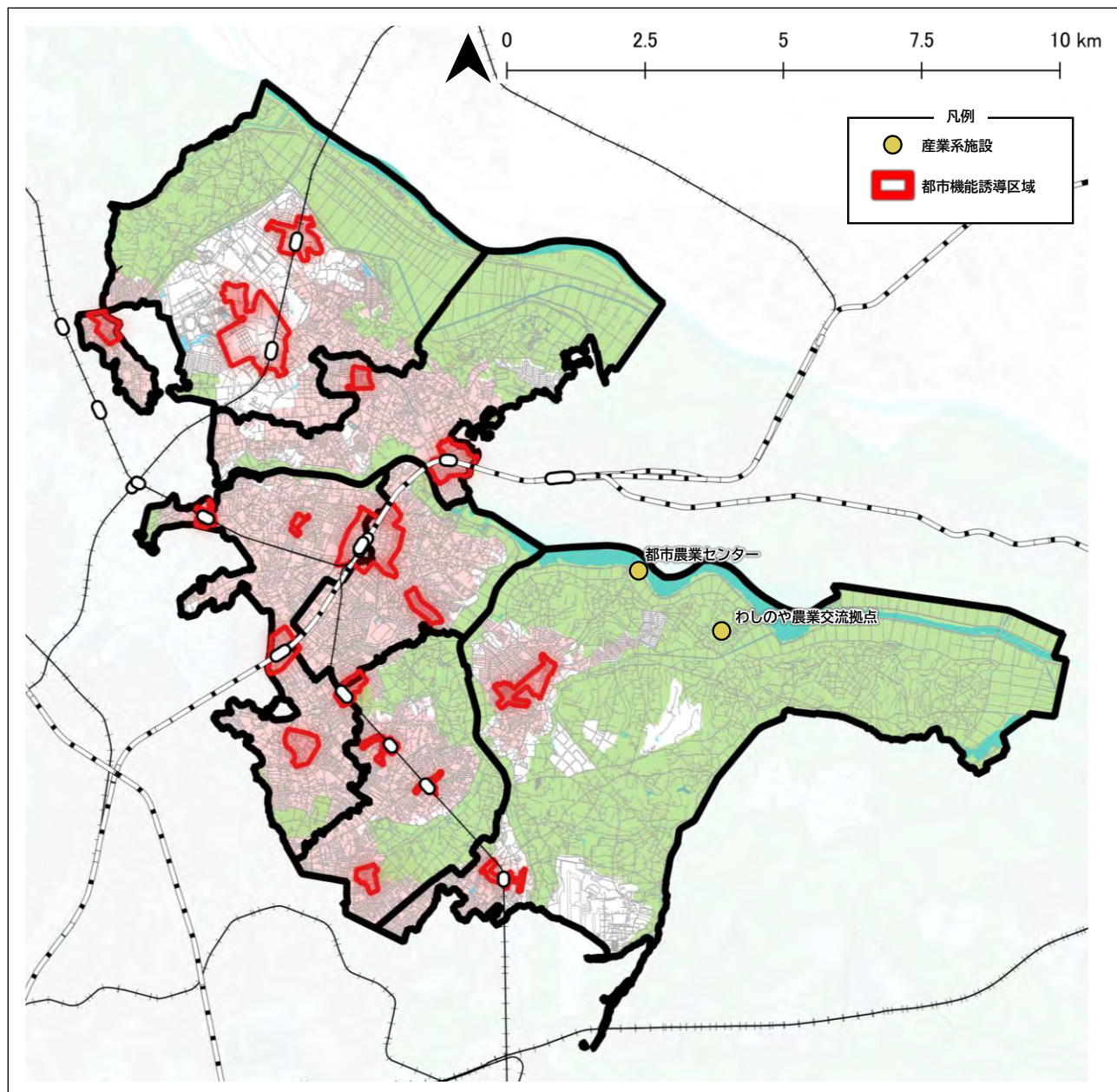
【施設一覧】

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	都市農業センター	沼南	柏市箕輪新田59-2	3,857.21	H13	21	
2	わしのや農業交流拠点	沼南	柏市鷺野谷199-1	121.59	H29	5	
合計				3,978.80			

● 事業内容

都市農業センター	・平成13（2001）年度に都市農業センターが設置。その後、令和3（2021）年12月16日に道の駅しょうなん（てんと）が新設棟として開設、令和4（2022）年4月1日には道の駅しょうなん（つばさ）がリニューアルオープンしている。 ・経済の中心的拠点として、地域の農産品や新たな加工品等に関連する観光商品などを開発。情報発信の中心的拠点として観光農園や地域の行事、スポーツやイベントなど様々な情報を発信。 ・地域課題の解消とまちづくりに関する中心的な推進施設として耕作放棄地や荒れた竹林の解消と、その後の利活用を前提とした体験プログラムの開発や商品化など、地域の困りごとを地域の人と話し合い、課題解決に向けた取組として展開。
わしのや農業交流拠点	・手賀沼地域の周遊における拠点（休憩スペース）、催事スペース等、人々の交流の場の提供。

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	都市農業センター：年始（1/1～1/3）※施設によって異なる わしのや農業交流拠点：年中無休
開館時間	都市農業センター：9:00～18:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・産業系施設は2施設で延床面積合計は約3,979㎡です。
- ・築40年以上経過した施設はなく、比較的新しい施設となっています。
- ・都市農業センターは延床面積が約3,857㎡と規模の大きな施設ですが、わしのや農業交流拠点は約122㎡と小規模な施設です。
- ・都市農業センターは令和5（2023）年に改修工事を行っています。

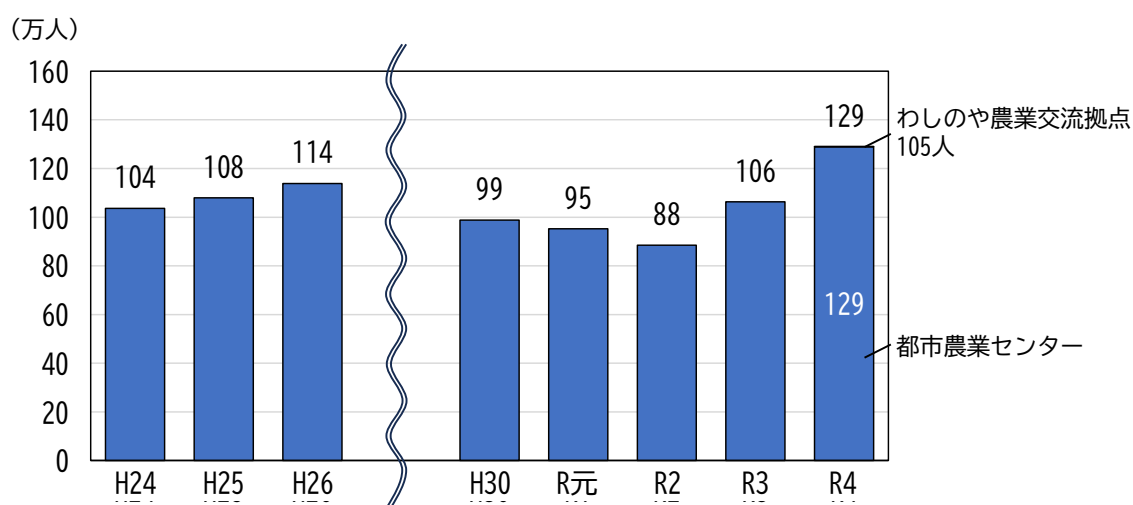
● 利用状況

- ・都市農業センターの年間利用者数は、平成24（2012）年度から平成26（2014）年度は約104万人から約114万人で推移していました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり平成30（2018）年度から令和2（2020）年度は利用者が減少しましたが、令和3（2021）年12月16日に「道の駅しょうなん（てんと）」が新設棟として開設、令和4（2022）年4月1日には道の駅しょうなん（つばさ）がリニューアルオープンし、利用者は増加傾向にあります。
- ・わしのや農業交流拠点は毎年の利用者の把握がされていないため、今後利用の把握を行い施設のあり方検討を行うためのデータを集める必要があります。

● コスト状況

- ・トータルコストは約1億1,391万円で、施設に係るコストが約20.7%となっています。
- ・施設別トータルコストは、都市農業センターが約1億1,303万円、わしのや農業交流拠点が約87万円で、殆どが都市農業センターのコストです。

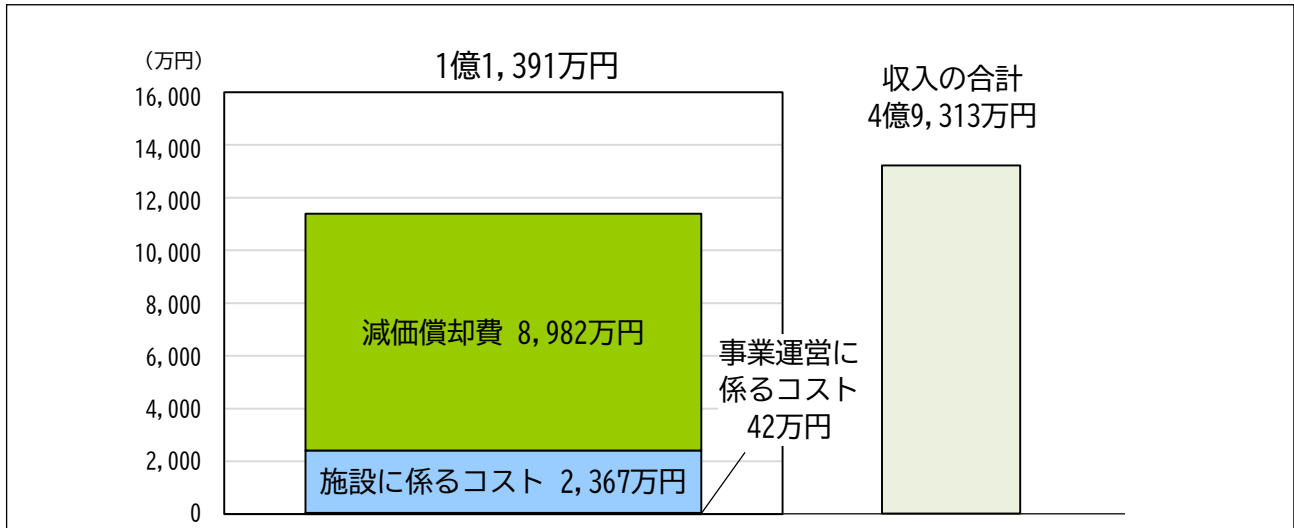
【年度別利用者数の推移】



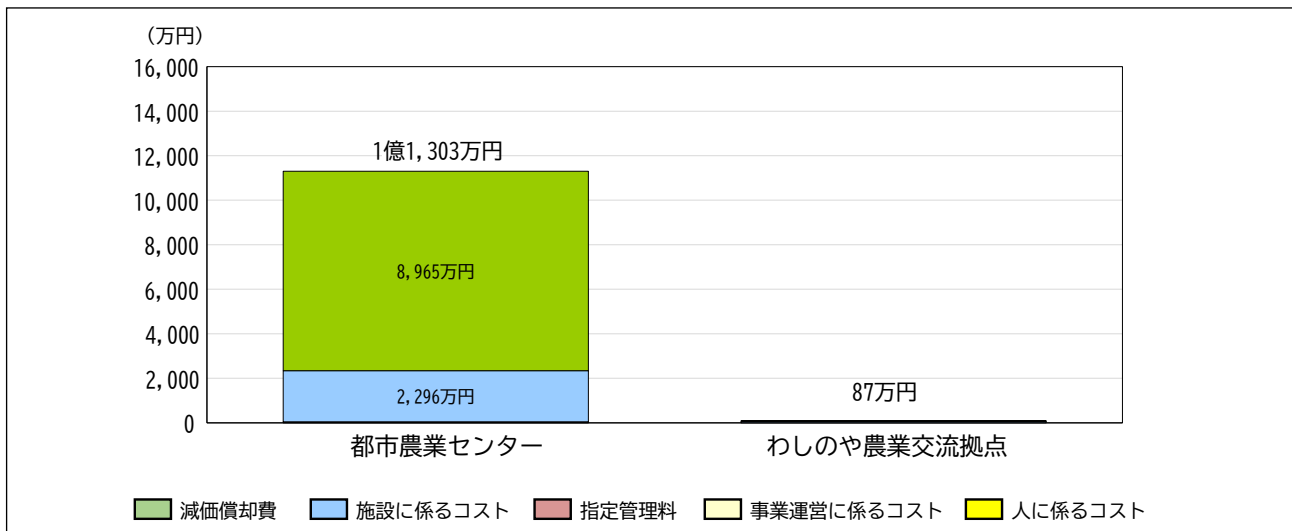
※わしのや農業交流拠点の利用者数は令和4（2022）年度のみ把握

出典：平成24（2012）年度～平成26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成28年3月）

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 都市農業センターは、令和3（2021）年12月16日に「道の駅しょうなん（てんと）」が新設棟として開設、令和4（2022）年4月1日には道の駅しょうなん（つばさ）がリニューアルオープンし、高い集客力となっています。引き続き、手賀沼周辺地域全体の振興拠点を目指します。
- わしのや農業交流拠点は今後、利用者数のデータを取得し、あり方検討を行っていきます。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	都市農業センター H13(2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	増築										
		延床面積 (㎡)	期首	869.62	期末	3,857.21	3,857.21			3,857.21		3,857.21	
		内容	(第1期) 施設利用者数の増加や様々なニーズに対応すべく、平成30(2018)～令和4(2022)年度に施設を拡張、令和4(2022)年度に一部施設のリニューアルを実施するとともに、地域振興の中心的拠点として、サービスの拡充を図った。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	39,516.32	
2	わしのや農業交流拠点 H29(2017)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設										
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	121.59	121.59			121.59		121.59	
		内容	(第1期) ※平成29(2017)年度に新設した。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,839.45	

10. その他教育施設

① 施設概要

- ・ その他教育施設として、学校給食センターと柏市教育委員会教育支援室があります。
- ・ 学校給食センターは、旧沼南町域内の小学校7校と中学校4校の計11校の児童および生徒に対し、給食を実施するため設置されています。
- ・ 柏市教育委員会教育支援室は、心理相談を専門とする相談員が、子ども（幼児、児童、生徒）の教育についての心配事に関し、保護者の相談に応え、また、子どもに対しても必要に応じた心理的な支援を行うために設置されています。また、教育支援センター「きぼうの園」を併設し、何らかの要因により不登校状態の児童および生徒に対し、本人の社会的自立を支援します。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	学校給食センター	沼南	柏市大島田305-2	1,082.75	S52	45	
2	柏市教育委員会教育支援室	北部1	柏市十余二313-92	300.98	H26	8	教育支援センターきぼうの園として運営
合計				1,383.73			

● 事業内容

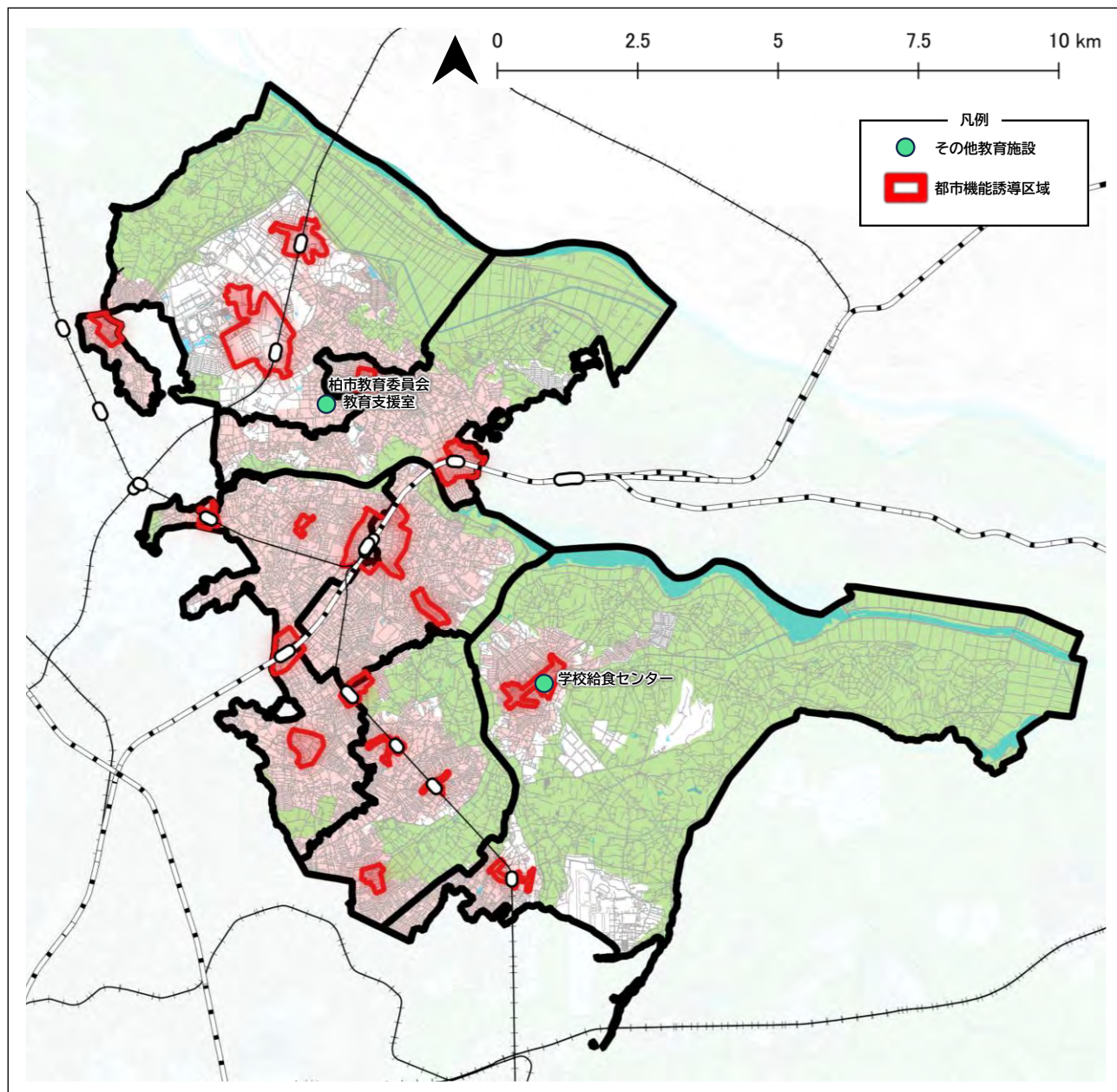
学校給食センター	旧沼南地域小中学校11校（風早南部小学校を除く）に提供する学校給食の調理及び配食
柏市教育委員会教育支援室	柏市不登校児童生徒支援事業

※柏市教育委員会教育支援室について

現在「教育支援センターきぼうの園」として施設を利用。令和4（2022）年度までは、市教育相談の機能として「教育支援室」を同一の建物で運営していた。子ども若者総合支援センター（仮）設置の工事に伴い、令和5（2023）年度からは、田中北小学校内に機能を移転している。

令和7（2025）年度からは、再度「教育支援センターきぼうの園」内へ移設予定。

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	柏市教育委員会教育支援室：国民の祝日に関する法律に規定する日，日曜日及び土曜日，教育委員会が定める日
開館時間	月～金：9:15～15:45

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 其他教育施設 2 施設の延床面積合計は約 1,384 m²です。
- ・ 学校給食センターの延床面積は約 1,083 m²、柏市教育委員会教育支援室の延床面積は約 301 m²です。
- ・ 学校給食センターは築年数 45 年で老朽化が進んでいます。

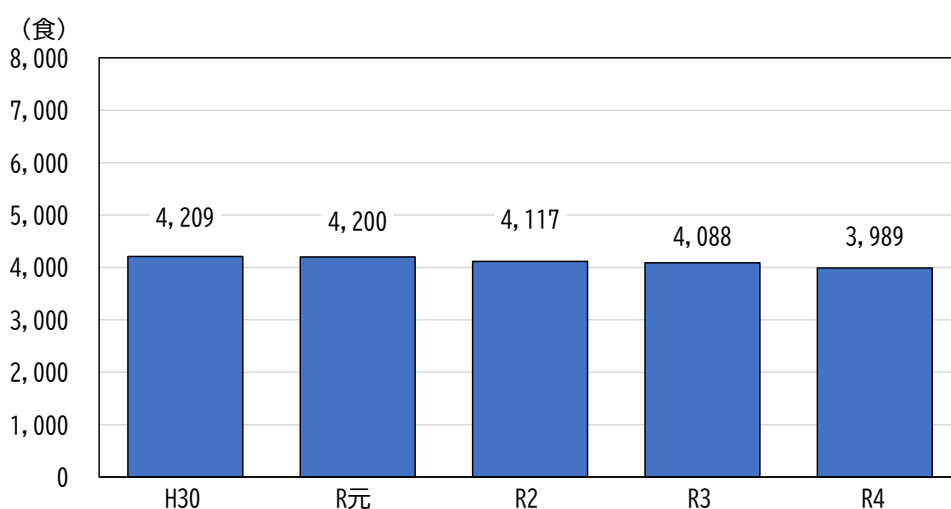
● 利用状況

- ・ 学校給食センターの給食提供対象児童数は、平成 30（2018）年度以降減少傾向になっています。
- ・ 柏市教育委員会教育支援室の利用者数は、平成 30（2018）年度 2,778 人でした。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和 2（2020）年度には 1,727 人まで減少しましたが、令和 4（2022）年度では 2,487 人まで回復しています。

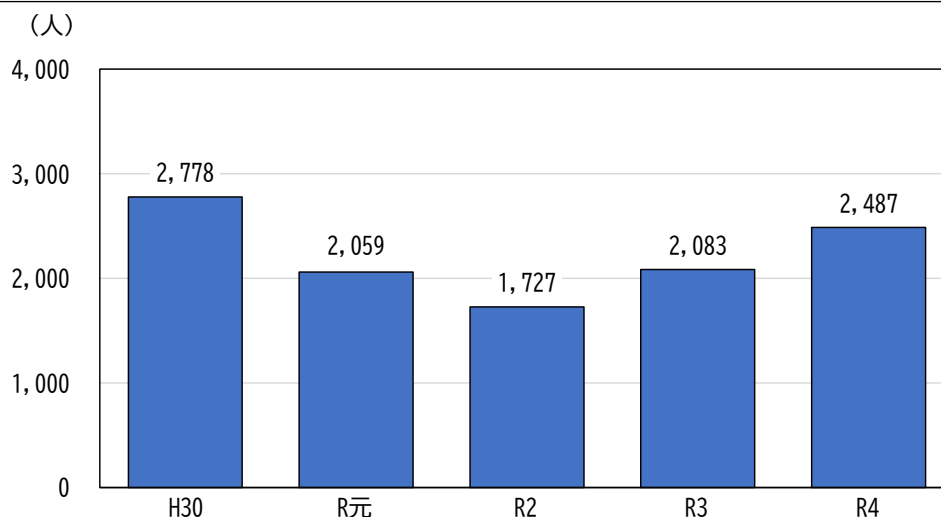
● コスト状況

- ・ トータルコストは約 3 億 4,920 万円で、事業運営に係るコストが約 74.7%と過半を占めています。
- ・ 施設別トータルコストは、学校給食センターが約 3 億 4,487 万円、柏市教育委員会教育支援室が約 433 万円となっています。

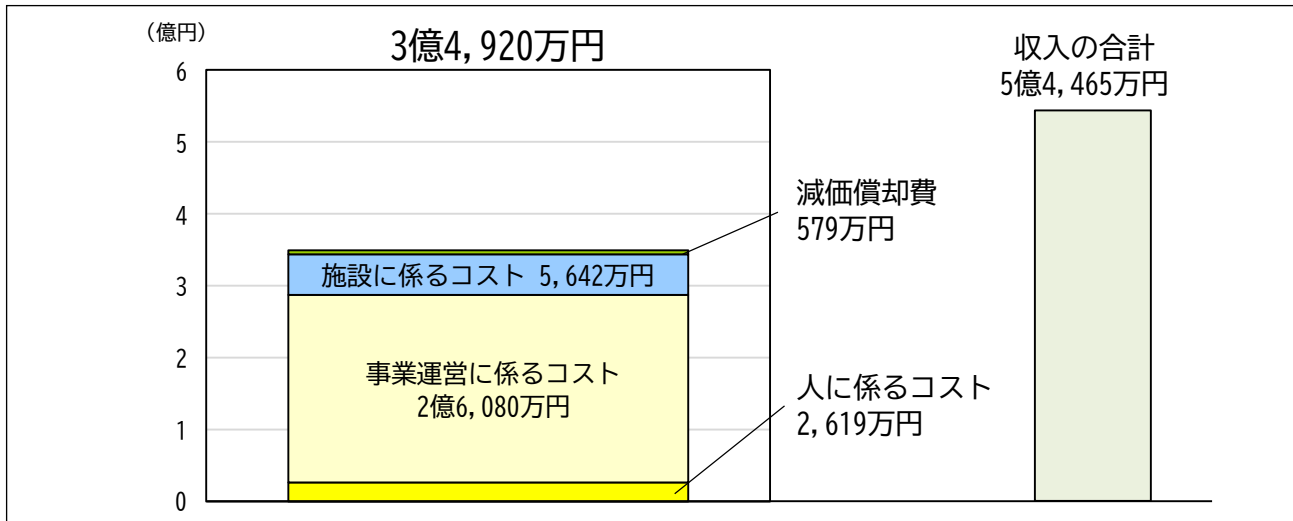
【学校給食センター 年度別給食提供対象児童数の推移】



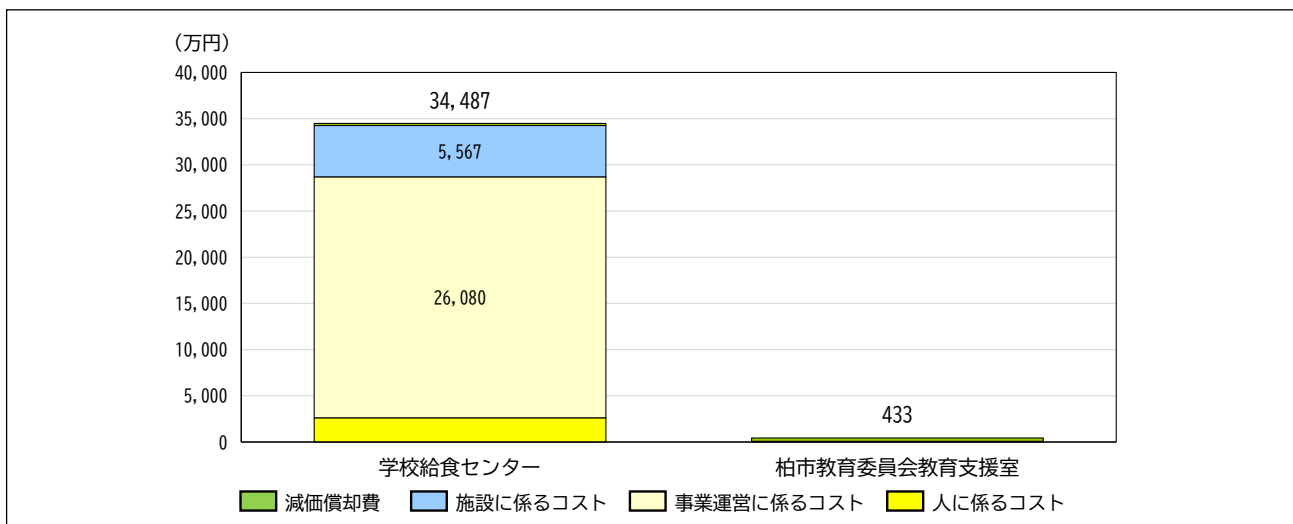
【柏市教育委員会教育支援室 年度別利用者数の推移】



【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 学校給食センターは、将来における児童・生徒数の推移を考慮しつつ、必要な調理食数に見合った十分な広さ、機能を備えた施設を整備します。また、老朽化が進行しており、万が一事故等が発生した場合はその影響が11校に及ぶため、早期の建替を目指します。なお、新しい学校給食センターには、自校方式調理場の改修時等にも給食提供が可能な調理能力を確保します。
- 教育支援室は、「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」での検討結果を踏まえ、あり方の検討をすることとし、存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	学校給食センター S52 (1977)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	その他				移転＋建替＋廃止 (既存施設)						
		延床面積 (㎡)	期首	1,082.75	期末	1,082.75	1,082.75			1,082.75		1,082.75	
		内容	(第1期) 自校単独調理方式、給食センター調理方式のメリットやデメリットを精査し、児童・生徒数の増減及び予測される給食施設・調理機器等の更新費用等も踏まえた上で、施設の整備に着手する。 (第2期) 児童・生徒数の増減及び予測される給食施設・調理機器等の更新費用等も踏まえた上で、施設の整備を推進する。										
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	5,115.84	
2	柏市教育委員会教育 支援室 H26 (2014)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組										現状のまま維持	
		延床面積 (㎡)	期首	300.98	期末	300.98	300.98			300.98		300.98	
		内容											
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	1,545.24	

11. 幼児・児童施設

① 施設概要

- ・ 幼児・児童施設として、児童センターが7施設、こどもルームが59施設の計66施設が設置されています。
- ・ 児童センターは、18歳未満のすべての子どもを対象に、遊びによる育成を支援するとともに、地域における子育て支援を行い、子どもが心身ともに健やかに成長することを目的に設置されています。
- ・ こどもルームは、保護者が働いているなどの理由で、昼間帰宅しても保育する人がいない小学1年生から6年生の児童を対象に、児童が安心して過ごせるよう見守るとともに、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るために設置されています。

【施設一覧】

● 児童センター

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	しこだ児童センター	中央1	柏市篠籠田609-5	442.00	S56	41	
2	豊四季台児童センター	中央1	柏市かやの町二丁目26	983.25	S51	46	
3	永楽台児童センター	中央2	柏市永楽台二丁目88-5	36.42	S54	43	永楽台近隣センター内に設置
4	光ヶ丘遊戯室	南部2	柏市光ヶ丘団地200-5	32.00	S56	41	光ヶ丘近隣センター内に設置
5	高柳児童センター	沼南	柏市高柳1652-1	539.86	S63	34	
6	南部こどもの広場	南部1	柏市新逆井二丁目5-13	204.80	S53	44	南部近隣センター内に設置
7	布施遊戯室	北部2	柏市布施1196-5	45.00	S54	43	布施近隣センター内に設置
合計				2,283.33			

● こどもルーム

■ 築40年以上

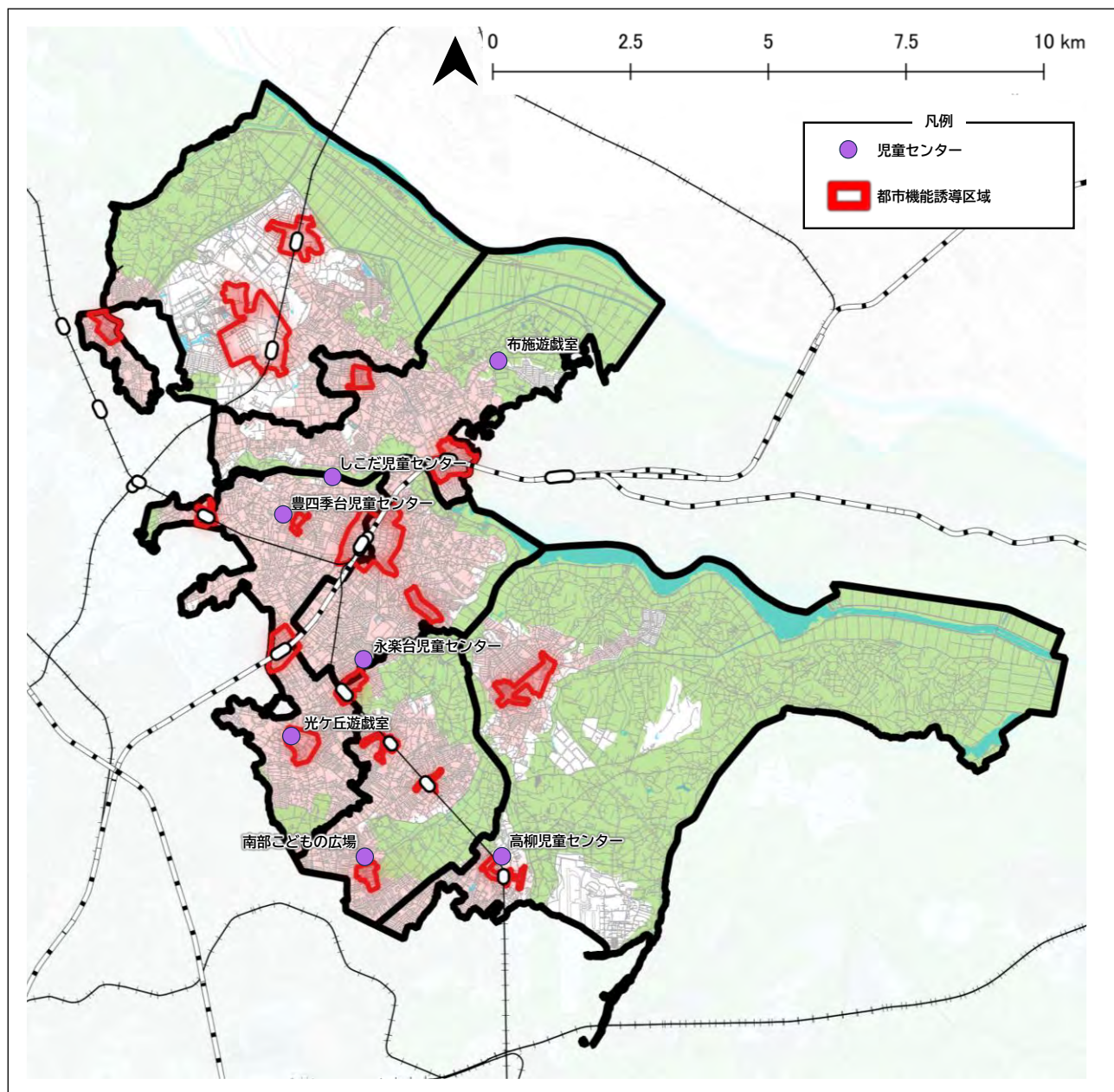
No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	田中小こどもルーム	北部1	柏市大室1193-3	93.18	H12	22	
2	田中小こどもルーム第二・第三保育室	北部1	柏市大室1193-3	332.70	H30	4	
3	田中北小こどもルーム第一～第七保育室	北部1	柏市船戸一丁目7-1	934.06	R4	0	校舎内に設置
4	西原小こどもルーム	北部1	柏市西原四丁目17-1	127.71	H13	21	
5	西原小こどもルーム第二保育室	北部1	柏市西原四丁目17-1	76.72	H17	17	
6	花野井小こどもルーム	北部1	柏市花野井1652-34	167.58	H20	14	
7	十余二小こどもルーム第一保育室	北部1	柏市柏の葉四丁目4-1	95.30	H13	21	
8	十余二小こどもルーム第二保育室	北部1	柏市柏の葉四丁目4-1	147.30	H29	5	校舎内に設置
9	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	北部1	柏市十余三348-48 404-3	344.02	H24	10	
10	柏の葉小こどもルーム第三・第四・第五・第六保育室	北部1	柏市十余三348-51 404-1	651.86	R3	1	校舎内に設置
11	松葉一小こどもルーム第一保育室	北部2	柏市松葉町五丁目3	170.00	H18	16	
12	松葉一小こどもルーム第二保育室	北部2	柏市松葉町五丁目3	185.01	R元	3	
13	松葉二小こどもルーム	北部2	柏市松葉町二丁目16	94.32	H11	23	
14	松葉二小こどもルーム第二保育室	北部2	柏市松葉町二丁目16	52.50	H17	17	
15	柏四小こどもルーム	北部2	柏市松ヶ崎1182-9	92.28	H12	22	
16	柏四小こどもルーム第二保育室	北部2	柏市松ヶ崎1182-9	60.78	H23	11	
17	富勢西小こどもルーム	北部2	柏市布施84-2	128.58	S57	40	校舎内に設置

● こどもルーム(つづき)

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
18	富勢東小こどもルーム	北部2	柏市布施2176-2	120.00	S54	43	校舎内に設置
19	高田小こどもルーム第一・第二保育室	北部2	柏市高田376-3	186.00	S52	45	校舎内に設置
20	富勢小こどもルーム第一・第二保育室	北部2	柏市布施925-1	292.19	H28	6	
21	柏二小こどもルーム	中央1	柏市豊四季310	92.27	H11	23	
22	柏二小こどもルーム第二保育室	中央1	柏市豊四季310	39.83	H16	18	
23	旭小こどもルーム	中央1	柏市旭町六丁目5-17	90.72	H4	30	
24	旭小こどもルーム第二保育室	中央1	柏市旭町六丁目5-17	55.82	H19	15	
25	旭東小こどもルーム	中央1	柏市旭町五丁目3-9	140.43	H21	13	
26	柏六小こどもルーム第一保育室	中央1	柏市豊四季台四丁目2-1	99.84	H23	11	
27	柏六小こどもルーム第二保育室	中央1	柏市豊四季台四丁目2-1	101.70	H29	5	
28	柏七小こどもルーム	中央1	柏市篠籠田723-1	122.12	S46	51	校舎内に設置
29	柏七小こどもルーム第二・第三保育室	中央1	柏市篠籠田723-1	412.06	R3	1	
30	柏一小こどもルーム	中央2	柏市あけぼの一丁目7-6	172.08	H18	16	
31	柏三小こどもルーム	中央2	柏市若葉町4-54	159.32	H18	16	
32	柏三小こどもルーム第二保育室	中央2	柏市若葉町4-54	73.74	H21	13	
33	柏三小こどもルーム第三・第四保育室	中央2	柏市若葉町4-54	342.65	R元	3	
34	柏五小こどもルーム第一・三保育室	中央2	柏市柏932-7	268.30	H23	11	
35	柏五小こどもルーム第二保育室	中央2	柏市柏932-7	59.13	H17	17	
36	柏八小こどもルーム	中央2	柏市永楽台二丁目8-1	120.29	H16	18	
37	豊小こどもルーム	中央2	柏市豊四季610-2	163.54	H17	17	
38	土小こどもルーム第一・第二保育室	南部1	柏市増尾四丁目4-1	190.00	S49	48	校舎内に設置
39	土南部小こどもルーム	南部1	柏市新逆井一丁目10-1	93.24	H9	25	
40	土南部小こどもルーム第二保育室	南部1	柏市新逆井一丁目10-1	69.32	H17	17	
41	中原小こどもルーム	南部1	柏市中原1821-1	156.00	H18	16	
42	増尾西小こどもルーム	南部1	柏市増尾台三丁目5-9	121.32	S53	44	校舎内に設置
43	名戸ヶ谷小こどもルーム	南部1	柏市名戸ヶ谷474-1	111.49	S52	45	校舎内に設置
44	逆井小こどもルーム	南部1	柏市逆井452-2	137.46	H19	15	
45	酒井根小こどもルーム	南部2	柏市酒井根19-2	90.72	H9	25	
46	酒井根東小こどもルーム	南部2	柏市酒井根一丁目2-1	95.30	H13	21	
47	酒井根西小こどもルーム	南部2	柏市酒井根662-1	121.02	H14	20	
48	藤心小こどもルーム	南部2	柏市藤心880-1	94.32	H10	24	
49	光ヶ丘小こどもルーム第一・第二保育室	南部2	流山市向小金四丁目20-1	336.23	H29	5	
50	大津ヶ丘一小こどもルーム	沼南	柏市大津ヶ丘三丁目50	115.02	H14	20	
51	大津ヶ丘二小こどもルーム	沼南	柏市大津ヶ丘四丁目8	116.80	S55	42	校舎内に設置
52	高柳小こどもルーム	沼南	柏市高南台三丁目14-12	115.02	H6	28	
53	高柳小こどもルーム第二保育室	沼南	柏市高南台三丁目14-12	54.65	H26	8	校舎内に設置
54	高柳西小こどもルーム	沼南	柏市しいの木台三丁目2	115.02	H10	24	
55	風早北部小こどもルーム	沼南	柏市大井1852-10	106.85	H13	21	
56	風早北部小こどもルーム第二保育室	沼南	柏市大島田25	127.71	H23	11	
57	風早南部小こどもルーム	沼南	柏市藤ヶ谷新田111-9	142.15	H22	12	
58	手賀西小こどもルーム	沼南	柏市泉541	64.00	S53	44	校舎内に設置
59	手賀東小こどもルーム	沼南	柏市手賀479-7	65.84	S61	36	校舎内に設置
合計				9,505.41			

② 配置状況

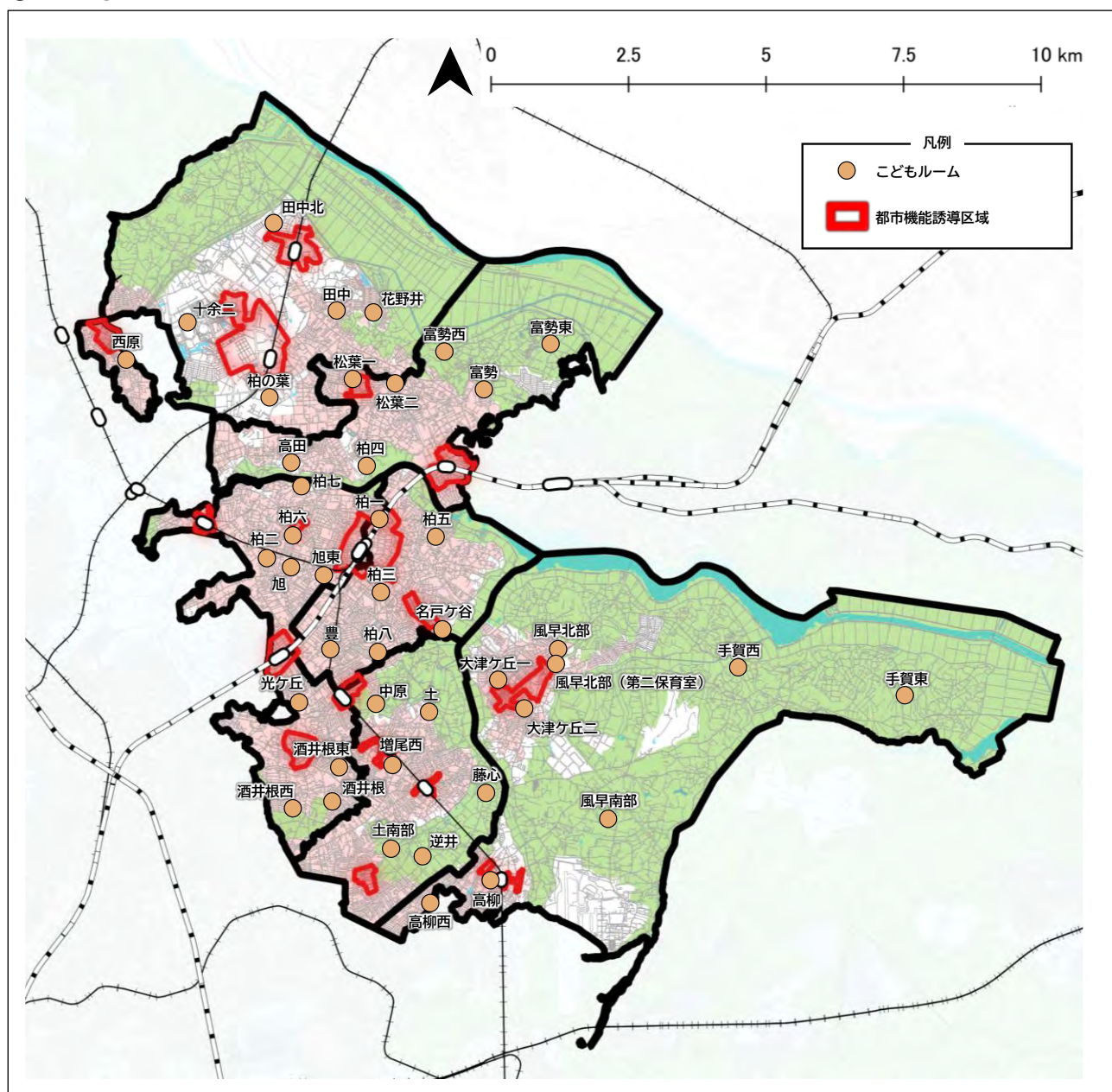
● 児童センター



③ 運営状況

閉館日	しこだ児童センター・豊四季台児童センター・光ヶ丘遊戯室・高柳児童センター： 月曜日，祝日，年末年始(12月29日～1月3日) 除く 永楽台児童センター・南部こどもの広場・布施遊戯室：第3月曜日，年末年始(12月29日～1月3日) 除く
開館時間	9：00～17：00（布施遊戯室：13：00～17：00）（光ヶ丘遊戯室：9：00～12：00， 13：00～17：00）
利用資格	0歳～18歳未満の子供及び保護者

● こどもルーム



閉館日	日曜日，祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）除く
開館時間	月～金 13:30～19:00 土 8:00～18:30
利用資格	柏市在住又は柏市の小学校に通う，小学1年生から6年生までの児童 ※小学1年生から3年生や特に支援を必要とする児童の入所を優先

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 児童センター 7 施設の延床面積合計は約 2,283 ㎡, こどもルーム 59 施設の延床面積合計は約 9,505 ㎡です。
- ・ 児童センターは老朽化が進んでおり, 7 施設中 6 施設が築 40 年以上となっています。平均延床面積は約 326 ㎡ですが, 光ヶ丘遊戯室・永楽台児童センターは近隣センター内に設置されており, それぞれ 32 ㎡, 36 ㎡と小規模な施設です。
- ・ 令和 2 (2020) 年度にしこだ児童センターの改修工事を実施しています。
- ・ こどもルームは 59 施設中 9 施設の約 15.3%が築 40 年以上となっています。築 50 年を超える建物がある一方で, 築 10 年未満の新しい建物もあります。平均延床面積は約 161 ㎡です。

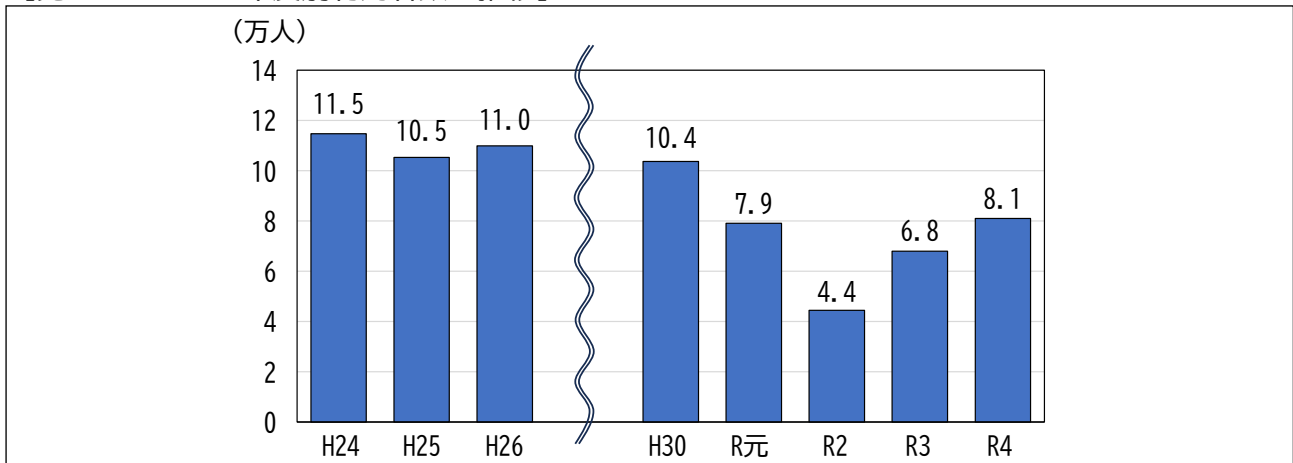
● 利用状況

- ・ 児童センターの利用者数は平成 24 (2012) 年度から平成 26 (2014) 年度は 11 万人前後で推移していました。平成 30 (2018) 年度は約 10.4 万人でしたが, 新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和 2 (2020) 年度に利用者が約 4.4 万人まで減少しました。令和 4 (2022) 年度には約 8.1 万人とコロナ前の約 8 割程度まで回復しています。
- ・ こどもルームは, 平成 24 (2012) 年度 51 施設, 入所児童数 1,917 人から令和 4 (2022) 年度には 59 施設, 入所児童数 3,879 人になっています。10 年間で 8 施設増加し, 入所児童数も約 2 倍になっています。

● コスト状況

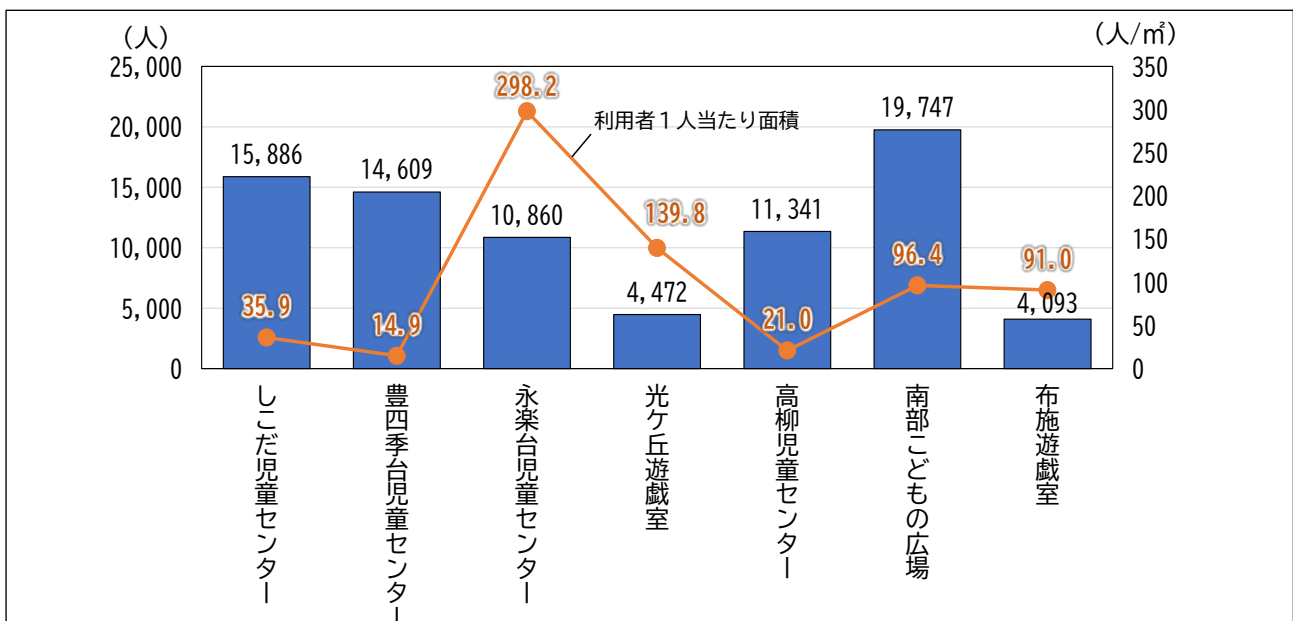
- ・ 児童センターのトータルコストは約 8,634 万円で, 人に係るコストが約 87.3%, 施設に係るコストが約 9.0%, となっています。
- ・ 施設別トータルコストは, しこだ児童センターが約 3,857 万円と突出して高く, 施設ごとの差が大きくなっています。
- ・ こどもルームのトータルコストは約 13 億 8,947 万円で, 施設に係るコストが約 27.3%, 人に係るコストが約 61.8%となっています。
- ・ 施設別トータルコストは, 田中北小が突出して高くなっており, 次いで粕一小, 光ヶ丘小 (第一・第二保育室), 田中小の順で高くなっています。

【児童センター 年度別利用者数の推移】

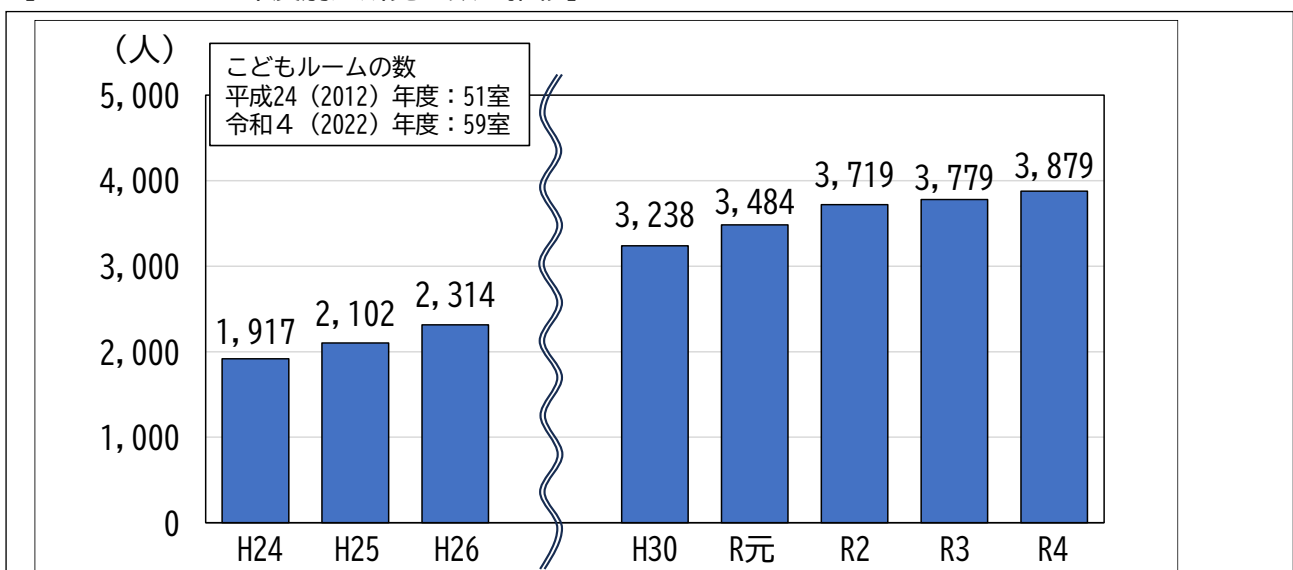


出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成 28 年 3 月）

【児童センター 施設別利用者数 令和 4（2022）年度】

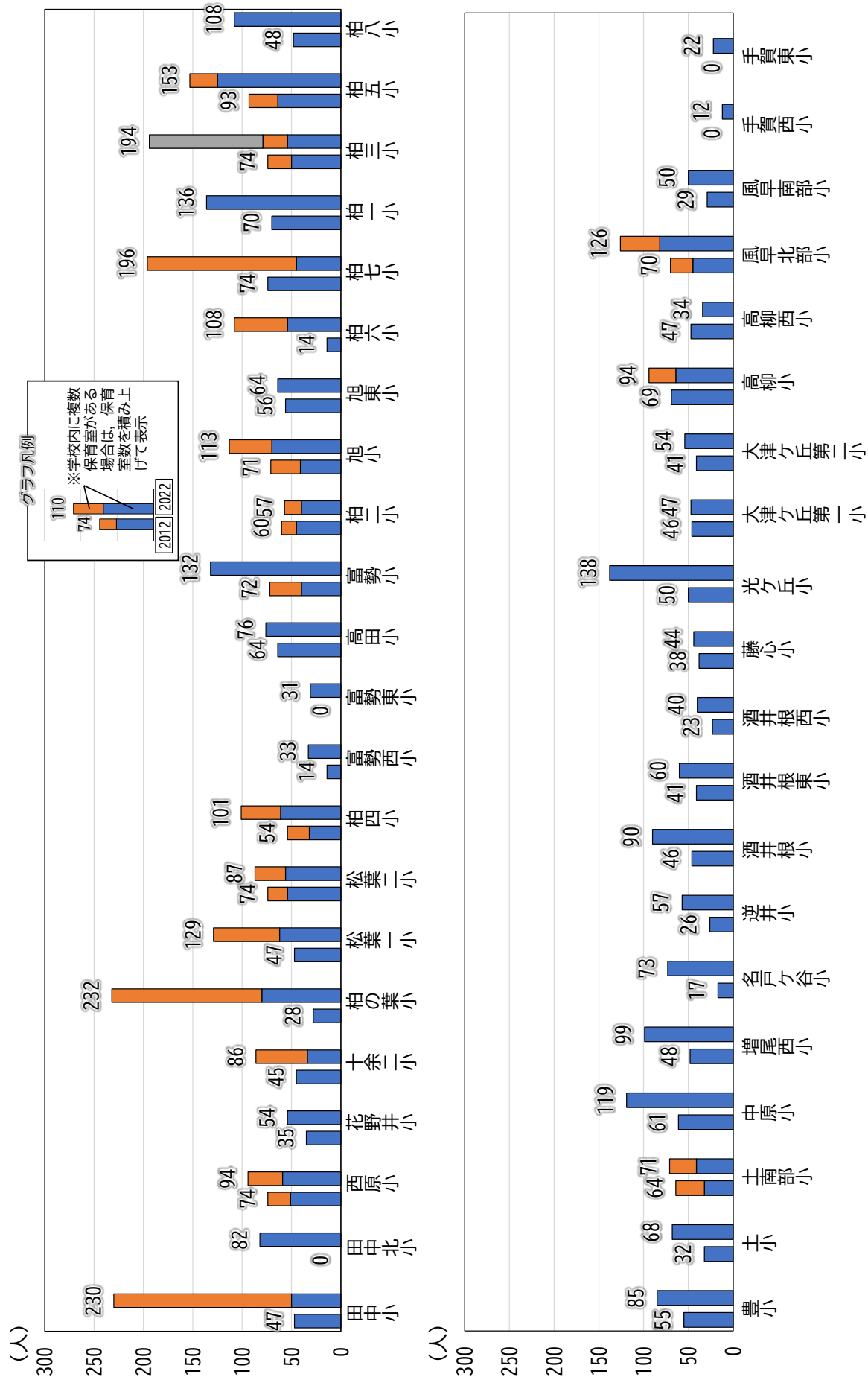


【こどもルーム 年度別入所児童数の推移】



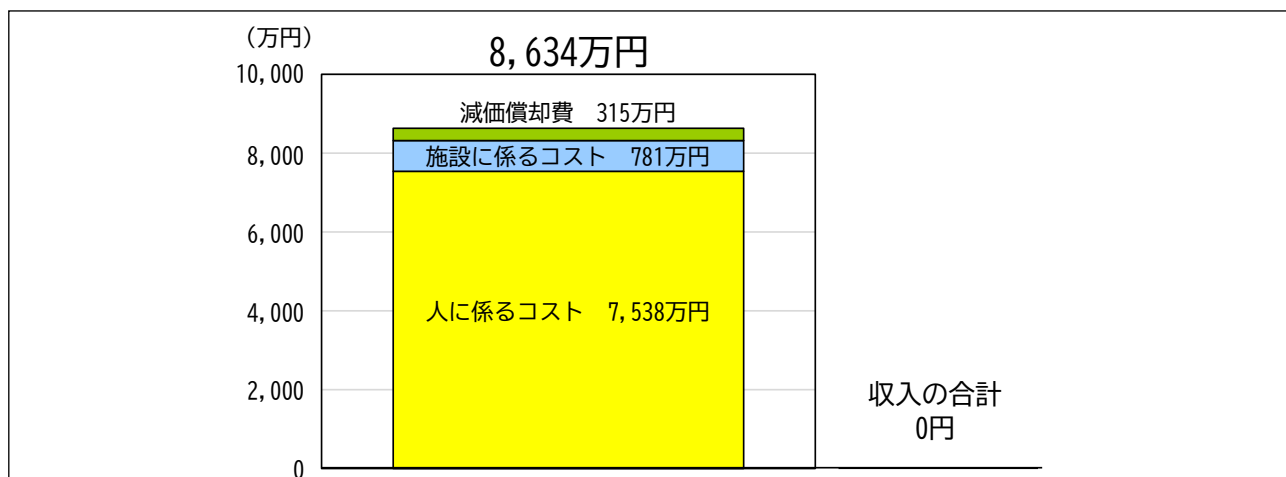
※田中北小こどもルーム及び大津ヶ丘二小こどもルームにおける入所児童数は、旧田中北小学校こどもルーム（移転前）及び旧大津ヶ丘二小こどもルーム（校舎複合化前）の数値を集計しています。

【こどもルーム 施設別入所児童数 平成24（2012）年度、令和4（2022）年度 比較】

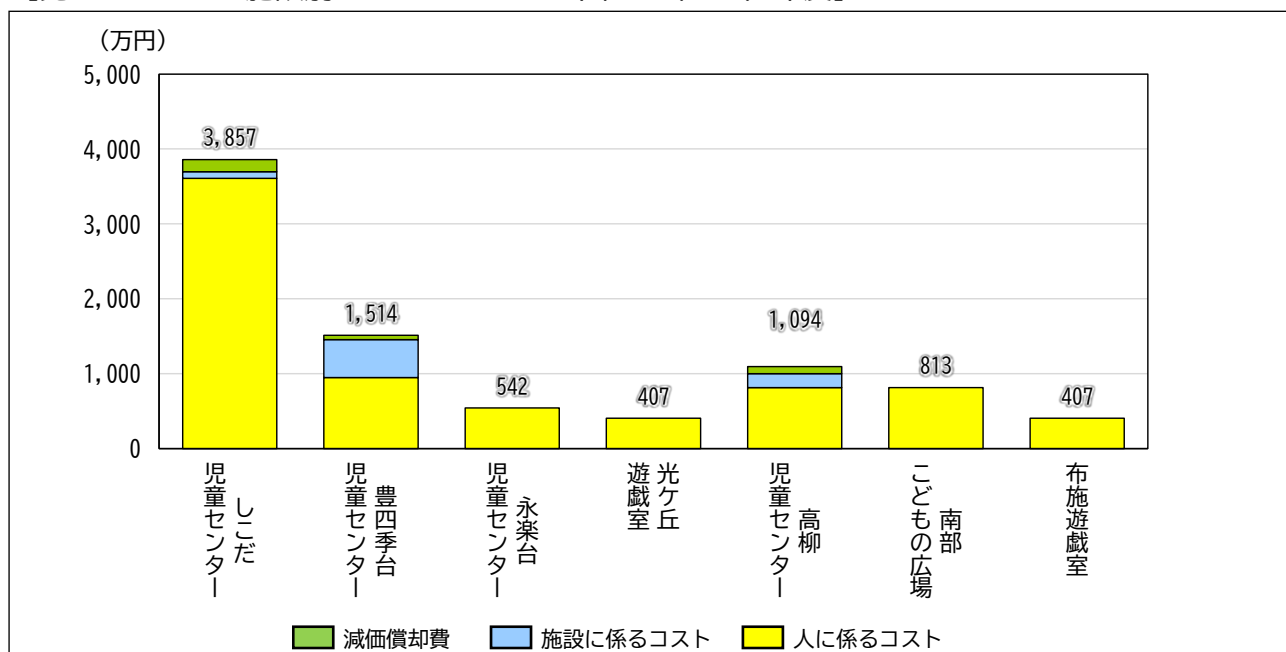


※田中北小こどもルーム及び大津ヶ丘二小こどもルームにおける入所児童数は、旧田中北小学校こどもルーム（移転前）及び旧大津ヶ丘二小こどもルーム（校舎複合化前）の数値を集計しています。

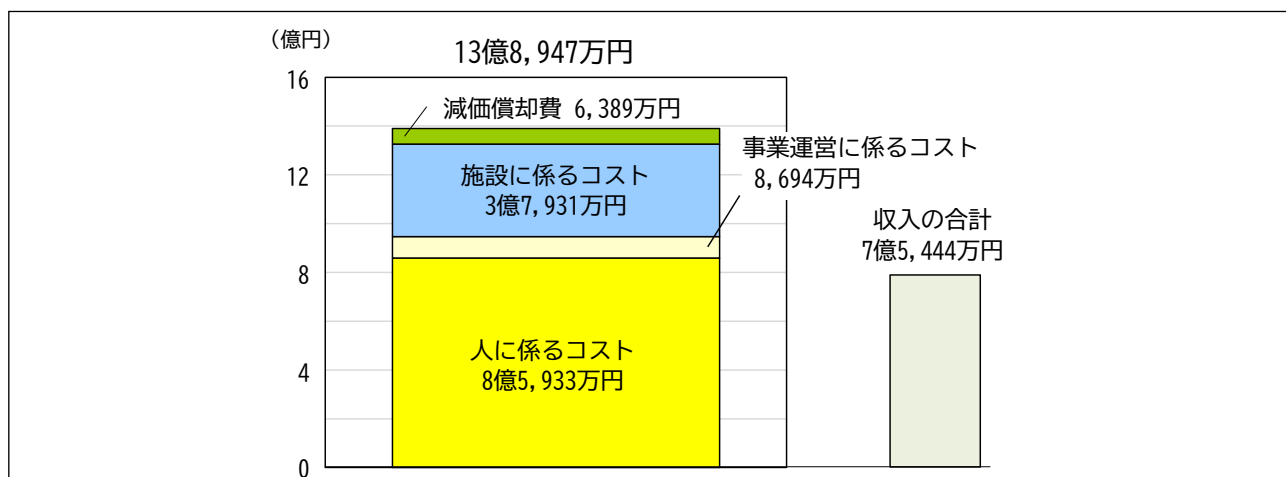
【児童センター トータルコスト 令和4（2022）年度】



【児童センター 施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】

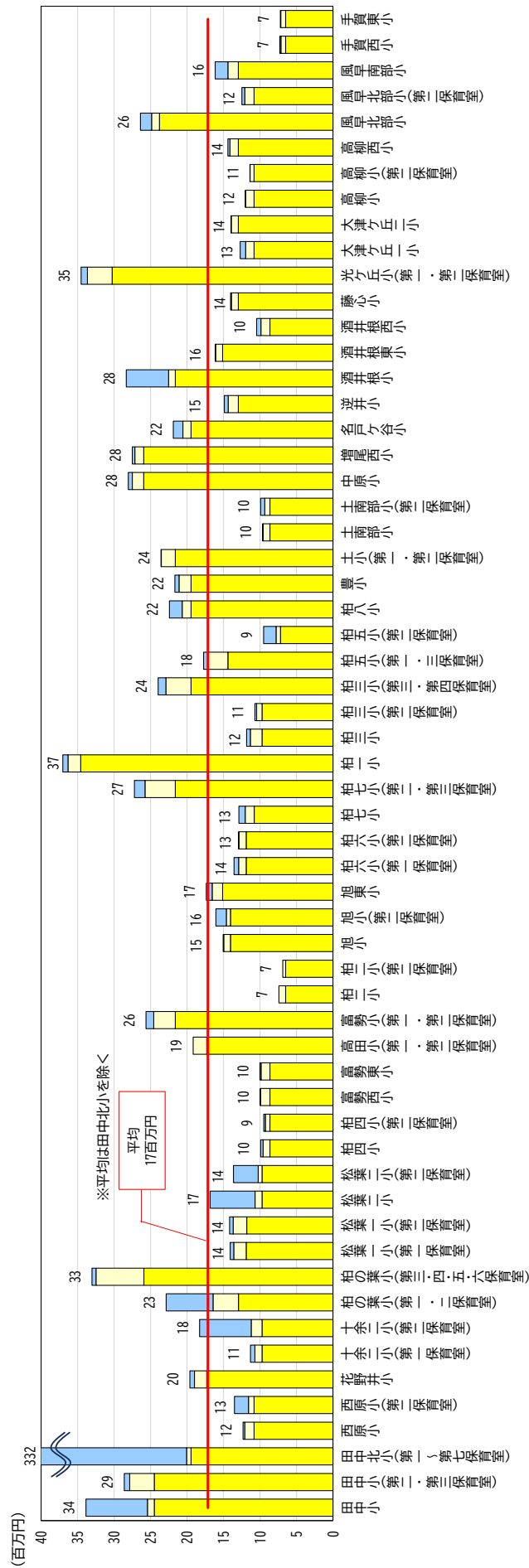


【こどもルーム トータルコスト 令和4（2022）年度】



※田中北小こどもルーム及び大津ヶ丘二小こどもルームにおけるコストは、旧田中北小学校こどもルーム（移転前）及び旧大津ヶ丘二小こどもルーム（校舎複合化前）の数値を集計しています。

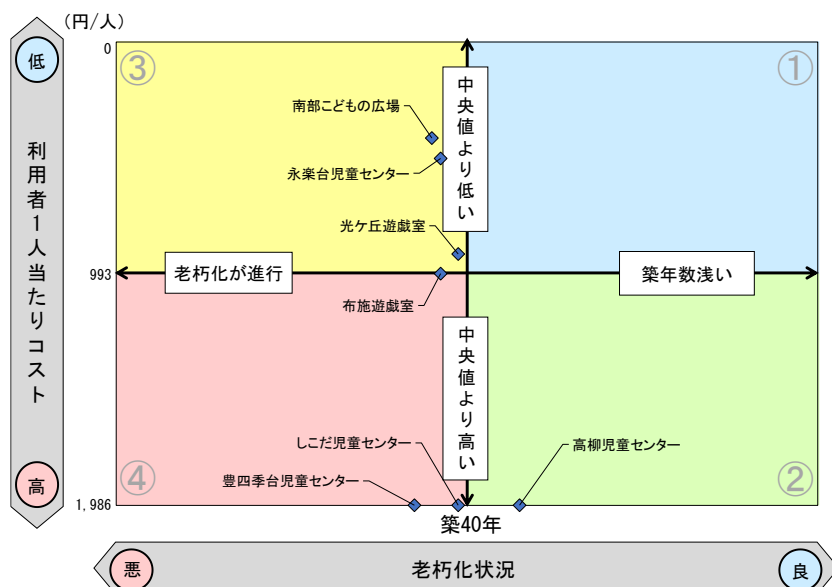
【こどもルーム 施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



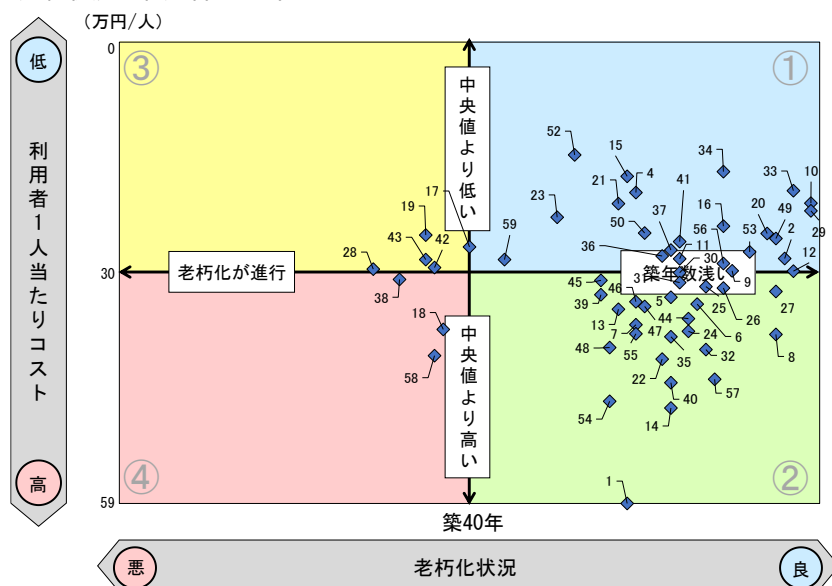
※田中北小こどもルーム及び大津ヶ丘二小こどもルームにおけるコストは、旧田中北小学校こどもルーム（移転前）及び旧大津ヶ丘二小こどもルーム（校舎複合化前）の数値を集計しています。

⑤ 2軸評価

●児童センター 建物状況と利用者1人当たりコスト



●こどもルーム 建物状況と利用者1人当たりコスト



【こどもルーム2軸凡例】

番号	施設名	番号	施設名	番号	施設名
1	田中小こどもルーム	21	柏二小こどもルーム	41	中原小こどもルーム
2	田中小こどもルーム第二・第三保育室	22	柏二小こどもルーム第二保育室	42	増尾西小こどもルーム
-	田中北小こどもルーム第一～第七保育室	23	旭小こどもルーム	43	名戸ヶ谷小こどもルーム
4	西原小こどもルーム	24	旭小こどもルーム第二保育室	44	逆井小こどもルーム
5	西原小こどもルーム第二保育室	25	旭東小こどもルーム	45	酒井根小こどもルーム
6	花野井小こどもルーム	26	柏六小こどもルーム第一保育室	46	酒井根東小こどもルーム
7	十余二小こどもルーム第一保育室	27	柏六小こどもルーム第二保育室	47	酒井根西小こどもルーム
8	十余二小こどもルーム第二保育室	28	柏七小こどもルーム	48	藤心小こどもルーム
9	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	29	柏七小こどもルーム第二・第三保育室	49	光ヶ丘小こどもルーム第一・第二保育室
10	柏の葉小こどもルーム第三・第四・第五・第六保育室	30	柏一小こどもルーム	50	大津ヶ丘一小こどもルーム
11	松葉一小こどもルーム第一保育室	31	柏三小こどもルーム	-	大津ヶ丘二小こどもルーム
12	松葉一小こどもルーム第二保育室	32	柏三小こどもルーム第二保育室	52	高柳小こどもルーム
13	松葉二小こどもルーム	33	柏三小こどもルーム第三・第四保育室	53	高柳小こどもルーム第二保育室
14	松葉二小こどもルーム第二保育室	34	柏五小こどもルーム第一・三保育室	54	高柳西小こどもルーム
15	柏四小こどもルーム	35	柏五小こどもルーム第二保育室	55	風早北部小こどもルーム
16	柏四小こどもルーム第二保育室	36	柏八小こどもルーム	56	風早北部小こどもルーム第二保育室
17	富勢西小こどもルーム	37	豊小こどもルーム	57	風早南部小こどもルーム
18	富勢東小こどもルーム	38	土小こどもルーム第一・第二保育室	58	手賀西小こどもルーム
19	高田小こどもルーム第一・第二保育室	39	土南部小こどもルーム	59	手賀東小こどもルーム
20	富勢小こどもルーム第一・第二保育室	40	土南部小こどもルーム第二保育室		

⑥ 今後の方向性

- 児童センター及び地域子育て支援拠点事業は、他の公共施設との複合化や民間施設の活用を検討します。
- いずれの施設も、中長期的には需要の減少が見込まれることから、目標使用年数を見据えて、複合化（小学校の校舎内への移転等）や廃止を含めた施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を検討します。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。
- こどもルームについては、小学校校舎との複合化、また、特別教室等の活用により、サービス量の確保を図ります。こどもルームと放課後子ども教室との連携を図り、効率的な既存施設の運用を検討していきます。

⑦ 個別施設再編方針
【児童センター】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	南部こどもの広場 S53 (1978)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)									
		延床面積 (㎡)	期首	113.17	期末	204.80	204.80		204.80		204.80	
		内容	(第1期) 南部近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をした。									
	複合施設(子)	複合施設名	南部近隣センター(親)、図書館南部分館(子)、南部出張所(子)								敷地面積 (㎡)	2,314.26
7	布施遊戯室 S54 (1979)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							その他			
		延床面積 (㎡)	期首	45.00	期末	45.00	45.00		45.00		45.00	
		内容	(第3期) 布施近隣センターの計画に沿って、目標使用年数到達年度に向けた再整備を検討する。									
	複合施設(子)	複合施設名	布施近隣センター(親)、図書館布施分館(子)								敷地面積 (㎡)	2,149.14

【こどもルーム】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	田中小こどもルーム H12 (2000)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	93.18	期末	93.18	93.18			93.18		93.18	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、新たに第二・第三保育室を新設した。(平成30(2018)年度設置) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	23,289.67
2	田中小こどもルーム第二・第三保育室 H30 (2018)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	332.70	332.70			332.70		332.70	
		内容	(第1期) 平成30(2018)年度末に新設した。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	23,289.67
3	田中北小こどもルーム第一～第七保育室 R4 (2022)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	60.00	期末	934.06	934.06			934.06		934.06	
		内容	(第1期) 小学校の移転に伴うもの。令和5(2023)年度より開所した(計7保育室)。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合施設名	田中北小学校(親)									敷地面積 (㎡)	27,117.78
4	西原小こどもルーム H13 (2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	127.71	期末	127.71	127.71			127.71		127.71	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,788.14
5	西原小こどもルーム第二保育室 H17 (2005)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	76.72	期末	76.72	76.72			76.72		76.72	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,788.14

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	花野井小こども ルーム H20(2008)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	167.58	期末	167.58	167.58		167.58		167.58		
		内容	〈第2期〉児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	19,801.00	
7	十余二小こどもルーム 第一保育室 H13(2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	拡大				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	95.30	期末	95.30	95.30		95.30		95.30		
		内容	〈第1期〉現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、増築した十余二小学校の仮設校舎内に第二保育室を新設(複合化)した。(平成29(2017)年度設置) 〈第2期〉児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	19,474.59	
8	十余二小こどもルーム 第二保育室 H29(2017)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	新設(複合化)				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	147.30	147.30		147.30		147.30		
		内容	〈第1期〉平成29(2017)年度に新設した。 〈第2期〉児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合 施設名	十余二小学校(親)								敷地面積 (㎡)	19,474.59	
9	柏の葉小こどもルーム 第一・二保育室 H24(2012)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	拡大				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	344.02	期末	344.02	344.02		344.02		344.02		
		内容	〈第1期〉現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、増築する柏の葉小学校校舎内に第三～第六保育室を新設(複合化)。(令和3(2021)年度設置) 〈第2期〉児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	-	
10	柏の葉小こどもルーム 第三・第四・第五・第 六保育室 R3(2021)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組	新設				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	651.86	651.86		651.86		651.86		
		内容	〈第1期〉令和3(2021)年度に新設した。 〈第2期〉児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合 施設名	柏の葉小学校(親)								敷地面積 (㎡)	32,991.40	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	松葉一小こどもルーム 第一保育室 H18 (2006)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	170.00	期末	170.00	170.00			170.00		170.00	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、新たに第二保育室を新設した。(令和元(2019)年度設置) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,949.72
12	松葉一小こどもルーム 第二保育室 R元 (2019)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	185.01	185.01			185.01		185.01	
		内容	(第1期) 令和元(2019)年度に新設した。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,949.72
13	松葉二小こども ルーム H11 (1999)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	94.32	期末	94.32	94.32			94.32		94.32	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,883.73
14	松葉二小こどもルーム 第二保育室 H17 (2005)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	52.50	期末	52.50	52.50			52.50		52.50	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	19,883.73
15	柏四小こどもルーム H12 (2000)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	92.28	期末	92.28	92.28			92.28		92.28	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	20,151.91

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
16	柏四小こどもルーム第二保育室 H23 (2011)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	60.78	期末	60.78	60.78		60.78		60.78	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,151.91
17	富勢西小こどもルーム S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	128.58	期末	128.58	128.58		128.58		128.58	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	複合施設(子)	複合施設名	富勢西小学校(親)								敷地面積 (㎡)	19,701.48
18	富勢東小こどもルーム S54 (1979)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	120.00	期末	120.00	120.00		120.00		120.00	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	複合施設(子)	複合施設名	富勢東小学校(親)								敷地面積 (㎡)	19,815.03
19	高田小こどもルーム第一・第二保育室 S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					改修＋その他					
		延床面積 (㎡)	期首	186.00	期末	186.00	186.00		186.00		186.00	
		内容	(第2期) 高田小学校の改修に伴い長寿命化改修をする。また、児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	複合施設(子)	複合施設名	高田小学校(親)								敷地面積 (㎡)	28,240.72
20	富勢小こどもルーム第一・第二保育室 H28 (2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	292.19	292.19		292.19		292.19	
		内容	(第1期) 平成28(2016)年度に設置した。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,521.66

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
21	柏二小こどもルーム H11 (1999)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	92.27	期末	92.27	92.27		92.27		92.27	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	16,098.22
22	柏二小こどもルーム第二保育室 H16 (2004)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	39.83	期末	39.83	39.83		39.83		39.83	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	16,098.22
23	旭小こどもルーム H4 (1992)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	90.72	期末	90.72	90.72		90.72		90.72	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,846.97
24	旭小こどもルーム第二保育室 H19 (2007)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	55.82	期末	55.82	55.82		55.82		55.82	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,846.97
25	旭東小こどもルーム H21 (2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	140.43	期末	140.43	140.43		140.43		140.43	
		内容	(第2期) 入所児童数が増加傾向にあるため、柏中学校区義務教育学校の新設にあわせて、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	12,776.20

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
26	柏六小こどもルーム第一保育室 H23 (2011)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	99.84	期末	99.84	99.84		99.84		99.84	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、新たに第二保育室を新設した。(平成29(2017)年度設置) (第2期) 周辺地域の整備状況により、入所児童数が増加傾向にあるため、学校の増設に合わせて受け入れ人数の拡大を検討する。また、児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)
27	柏六小こどもルーム第二保育室 H29 (2017)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	101.70	期末	101.70	101.70		101.70		101.70	
		内容	(第1期) 平成29(2017)年度に新設した。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)
28	柏七小こどもルーム S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	122.12	期末	122.12	122.12		122.12		122.12	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、新たに第二・第三保育室を新設した。(令和3(2021)年度設置) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設(子) 複合施設名	柏第七小学校(親)									敷地面積 (㎡)
29	柏七小こどもルーム第二・第三保育室 R3 (2021)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	412.06	412.06		412.06		412.06	
		内容	(第1期) 令和3(2021)年度に新設した。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)
30	柏一小こどもルーム H18 (2006)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	172.08	期末	172.08	172.08		172.08		172.08	
		内容	(第2期) 入所児童数が増加傾向にあるため、柏中学校区義務教育学校の新設にあわせて、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。									
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
31	柏三小こどもルーム H18 (2006)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	159.32	期末	159.32	159.32			159.32		159.32	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、新たに第三・第四保育室を新設した。(令和元(2019)年度設置) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	31,392.47
32	柏三小こどもルーム第二保育室 H21 (2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	73.74	期末	73.74	73.74			73.74		73.74	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、新たに第三・第四保育室を新設した。(令和元(2019)年度設置) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	31,392.47
33	柏三小こどもルーム第三・第四保育室 R元 (2019)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	342.65	342.65			342.65		342.65	
		内容	(第1期) 令和元(2019)年度に新設した。 (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	31,392.47
34	柏五小こどもルーム第一・三保育室 H23 (2011)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	268.30	期末	268.30	268.30			268.30		268.30	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	16,457.67
35	柏五小こどもルーム第二保育室 H17 (2005)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	59.13	期末	59.13	59.13			59.13		59.13	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	16,457.67

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
36	柏八小こどもルーム H16 (2004)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	120.29	期末	120.29	120.29		120.29		120.29	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	18,125.61
37	豊小こどもルーム H17 (2005)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	163.54	期末	163.54	163.54		163.54		163.54	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	16,032.24
38	土小こどもルーム第一・第二保育室 S49 (1974)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修+拡大				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	114.21	期末	190.00	190.00		190.00		190.00	
		内容	(第1期) 現状の施設では入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、土小学校の長寿命化改修に併せて拡大した。(令和2(2020)年度) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設(子) 複合施設名	土小学校(親)								敷地面積 (㎡)	12,302.09
39	土南部小こどもルーム H9 (1997)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	93.24	期末	93.24	93.24		93.24		93.24	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	21,630.26
40	土南部小こどもルーム第二保育室 H17 (2005)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										
		延床面積 (㎡)	期首	69.32	期末	69.32	69.32		69.32		69.32	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	21,630.26

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
41	中原小こどもルーム H18 (2006)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	156.00	期末	156.00	156.00		156.00		156.00	
		内容	(第2期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、中原小学校の空スペースの活用を検討する。また、児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	19,657.02
42	増尾西小こども ルーム S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	121.32	期末	121.32	121.32		121.32		121.32	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	複合施設(子)	複合施設名	増尾西小学校(親)								敷地面積 (㎡)	17,498.03
43	名戸ヶ谷小こどもル ーム S52 (1977)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	111.49	期末	111.49	111.49		111.49		111.49	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	複合施設(子)	複合施設名	名戸ヶ谷小学校(親)								敷地面積 (㎡)	23,465.94
44	逆井小こどもルーム H19 (2007)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	137.46	期末	137.46	137.46		137.46		137.46	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,327.01
45	酒井根小こども ルーム H9 (1997)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	90.72	期末	90.72	90.72		90.72		90.72	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	18,491.23

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
46	酒井根東小こどもルーム H13 (2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	95.30	期末	95.30	95.30		95.30		95.30	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	16,943.55
47	酒井根西小こどもルーム H14 (2002)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	121.02	期末	121.02	121.02		121.02		121.02	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,921.03
48	藤心小こどもルーム H10 (1998)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	94.32	期末	94.32	94.32		94.32		94.32	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	24,000.39
49	光ヶ丘小こどもルーム 第一・第二保育室 H29 (2017)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	拡大＋建替				拡大＋その他					
		延床面積 (㎡)	期首	95.30	期末	336.23	336.23		336.23		336.23	
		内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、施設規模を拡大の上、建替えた。(平成29(2017)年度建替) (第2期) さらなる入所児童数の増加に対応するため、第三・第四保育室の増設を検討する(令和6(2024)年度に設計、令和7(2025)年度に竣工予定)。また、児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	15,285.17
50	大津ヶ丘一小こども ルーム H14 (2002)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	115.02	期末	115.02	115.02		115.02		115.02	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,347.00

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
51	大津ヶ丘二小こども ルーム S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	複合化+廃止(既存施設)				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	98.15	期末	116.80	116.80			116.80		116.80	
		内容	(第1期) 老朽化に伴い、校舎内に転用(複合化)する工事を実施した。(令和6(2024)年度竣工) (第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合施設名	大津ヶ丘小学校(親)									敷地面積 (㎡)	17,999.00
52	高柳小こどもルーム H6 (1994)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	115.02	期末	115.02	115.02			115.02		115.02	
		内容	(第2期) 今後も児童数の増加が見込まれるため、引き続き教室の活用を検討する。また、児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,171.49
53	高柳小こどもルーム第 二保育室 H26 (2014)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	54.65	期末	54.65	54.65			54.65		54.65	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合施設名	高柳小学校(親)									敷地面積 (㎡)	17,171.49
54	高柳西小こども ルーム H10 (1998)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	115.02	期末	115.02	115.02			115.02		115.02	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	18,506.61
55	風早北部小こどもル ーム H13 (2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	106.85	期末	106.85	106.85			106.85		106.85	
		内容	(第2期) 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	231.82

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
56	風早北部小こどもルーム第二保育室 H23 (2011)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)		
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	127.71	期末	127.71	127.71		127.71		127.71		
		内容	〈第2期〉 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	863.81	
57	風早南部小こどもルーム H22 (2010)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)		
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	142.15	期末	142.15	142.15		142.15		142.15		
		内容	〈第2期〉 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	20,000.02	
58	手賀西小こどもルーム S53 (1978)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)		
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	64.00	期末	64.00	64.00		64.00		64.00		
		内容	〈第2期〉 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合施設名	手賀西小学校(親)								敷地面積 (㎡)	9,923.61	
59	手賀東小こどもルーム S61 (1986)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)		
		取組	新設				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	65.84	65.84		65.84		65.84		
		内容	〈第1期〉 小学校区ごとのこどもルーム設置を原則として、手賀東小学校の校舎内にこどもルームを新設した。 ※平成30(2018)年度末に設置。 〈第2期〉 児童数の推移や施設の目標使用年数を見据えて、施設のあり方を検討する。										
	複合施設(子)	複合施設名	手賀東小学校(親)								敷地面積 (㎡)	16,374.61	

12. 幼児・児童福祉施設

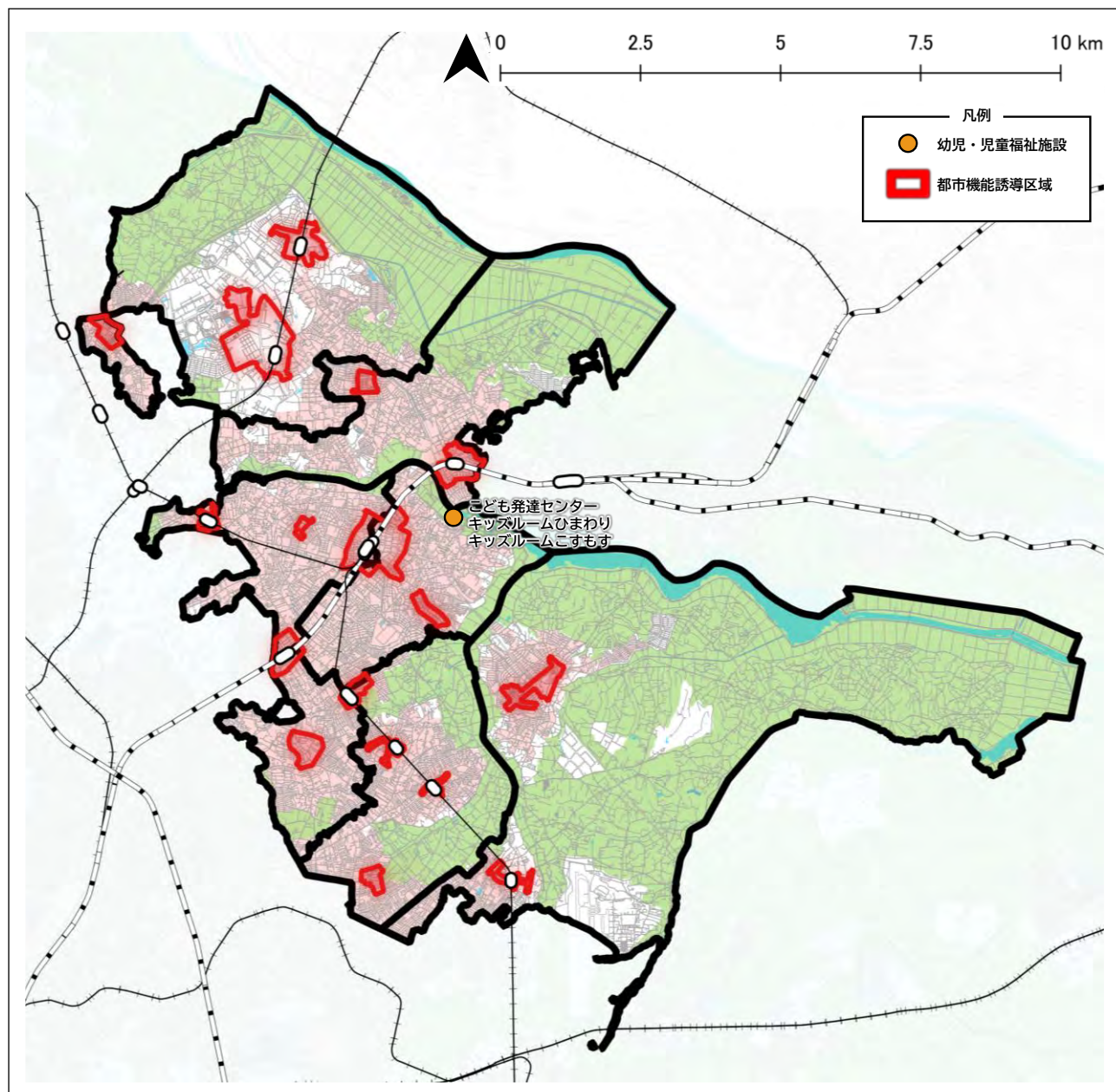
① 施設概要

- ・ 幼児・児童福祉施設は、市内に3施設あります。
- ・ こども発達センターは、発達に不安や心配のある就学前のこどもについての相談に専門職が応じ、必要であれば集団あるいは個別での支援を提供し、問題の改善や軽減を図ることを目的に設置されています。
- ・ キッズルームひまわりは、社会性や基本的な生活習慣などでつまずきのある就学前のこどもに対して、日常生活に必要な基本動作の習得、集団生活への適応を支援するために設置されています。
- ・ キッズルームこすもすは、おすわりやはいはいがなかなかできないなど、運動の発達に遅れのある就学前のこどもに対して、機能訓練や療育を行い、心身の発達を支援することを目的に設置されています。

【施設一覧】

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	定員 (人)	備考
1	こども発達センター	中央2	柏市柏下65-1	410.69	H21	13	—	総合保健医療福祉施設 (ウェルネス柏)内に設置 ひまわり：児童発達支援 こすもす：児童発達支援(旧医療型)
2	キッズルームひまわり	中央2	柏市柏下65-1	971.72	H21	13	55	
3	キッズルームこすもす	中央2	柏市柏下65-1	817.75	H21	13	40	
合計				2,200.16				

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	こども発達センター	土曜日、日曜日、祝日、年末年始
	キッズルームひまわり	土曜日、日曜日、祝日、夏季・冬季・春季休園日 (年に1～2回土、日で行事あり)
	キッズルームこすもす	土曜日、日曜日、祝日、夏季・冬季・春季休園日
開館時間	こども発達センター	8:30～17:15
	キッズルームひまわり	9:50～14:20
	キッズルームこすもす	9:50～14:20

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 幼児・児童福祉施設 3 施設の延床面積合計は約 2,200 ㎡です。
- ・ 3 施設とも総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内に設置されており、こども発達センターの延床面積は約 411 ㎡ですが、キッズルームひまわりが約 972 ㎡、キッズルームこすもすが約 818 ㎡と、どちらも 1,000 ㎡近い規模の施設となっています。
- ・ 3 施設とも特に大きな改修の履歴はありません。

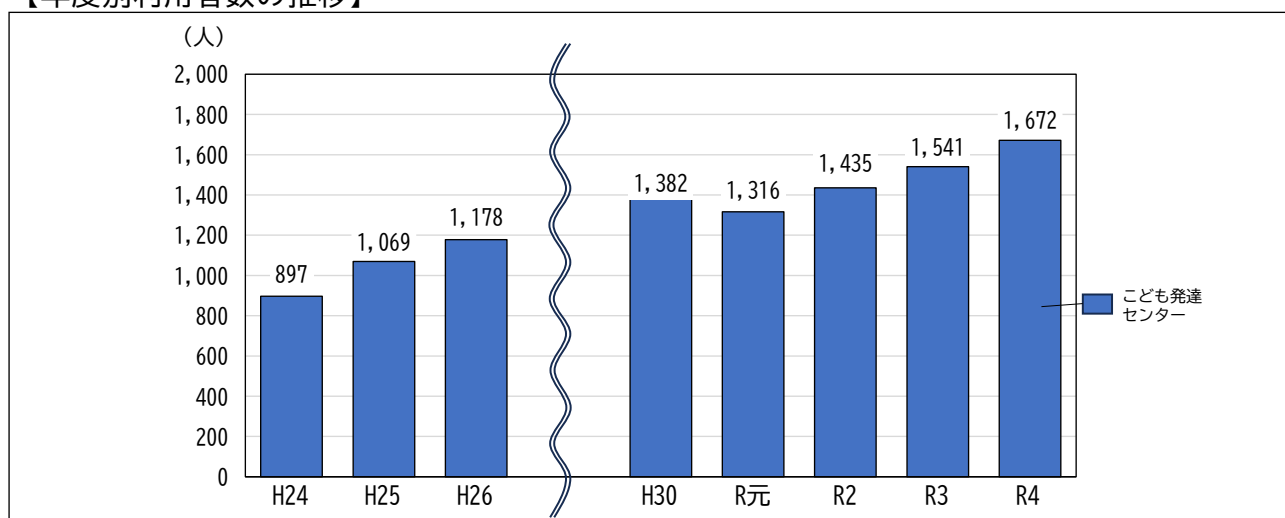
● 利用状況

- ・ こども発達センターの利用者数は平成 24（2012）年度の 897 人から令和 4（2022）年度は 1,672 人と約 2 倍近く増加しています。
- ・ キッズルームこすもすの利用者は、平成 24（2012）年度の 24 人から令和 4（2022）年度の 25 人とほぼ同数で推移しています。キッズルームひまわりの利用者数は、平成 24（2012）年度には 66 人でしたが、平成 30（2018）年以降は 50 人台で推移しています。

● コスト状況

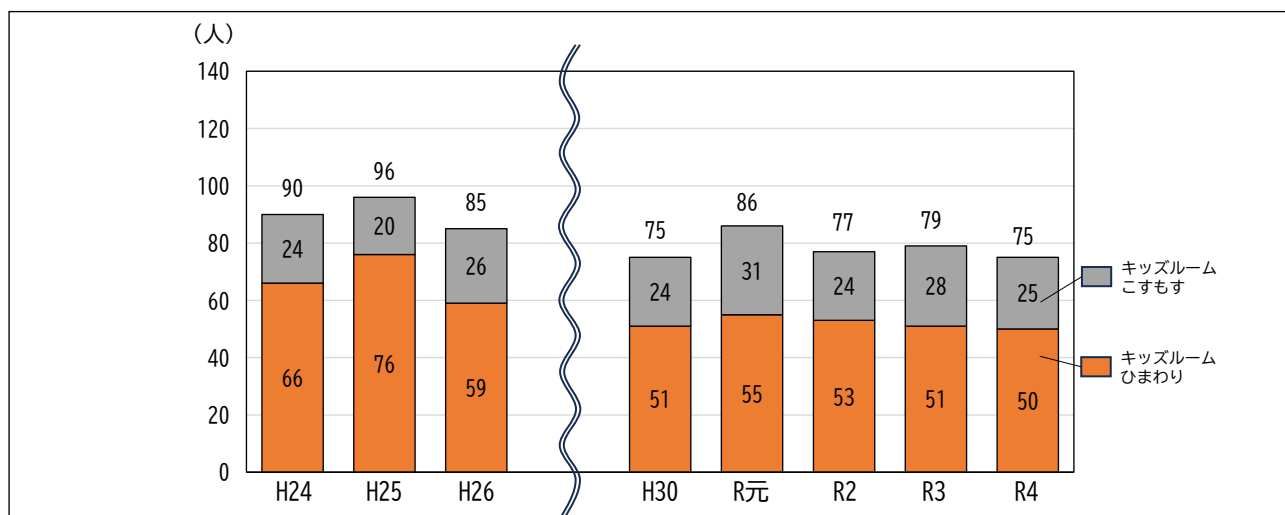
- ・ トータルコストは約 4 億 1,047 万円で、人に係るコストが約 89.8%，事業運営に係るコストが約 9.0%で人に係るコストがほとんどを占めています。
- ・ 施設別トータルコストは、こども発達センター約 1 億 9,566 万円、キッズルームひまわり約 1 億 4,826 万円、キッズルームこすもす約 6,655 万円です。

【年度別利用者数の推移】



平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度 利用者

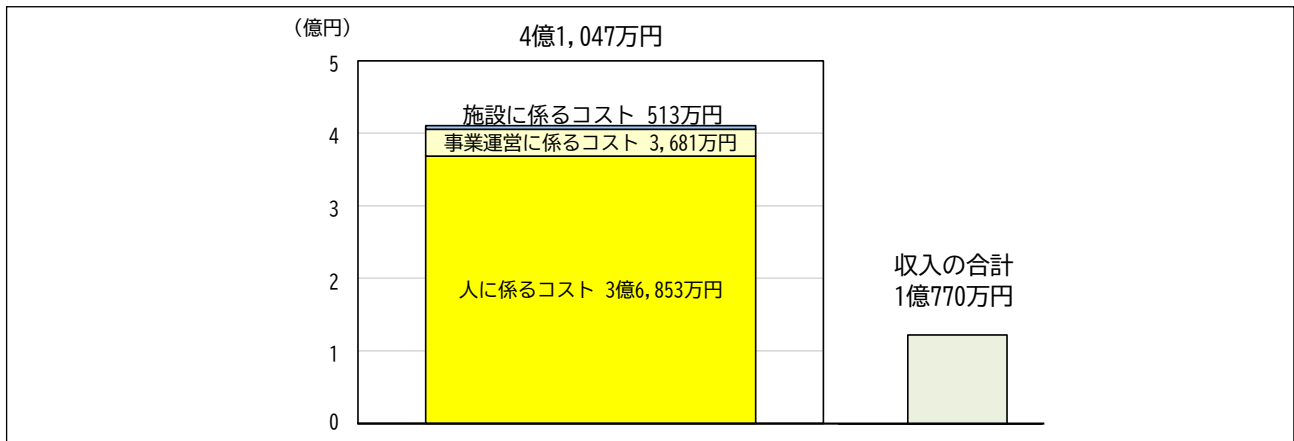
出典：「平成 27 年度 柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成 28 年 3 月）



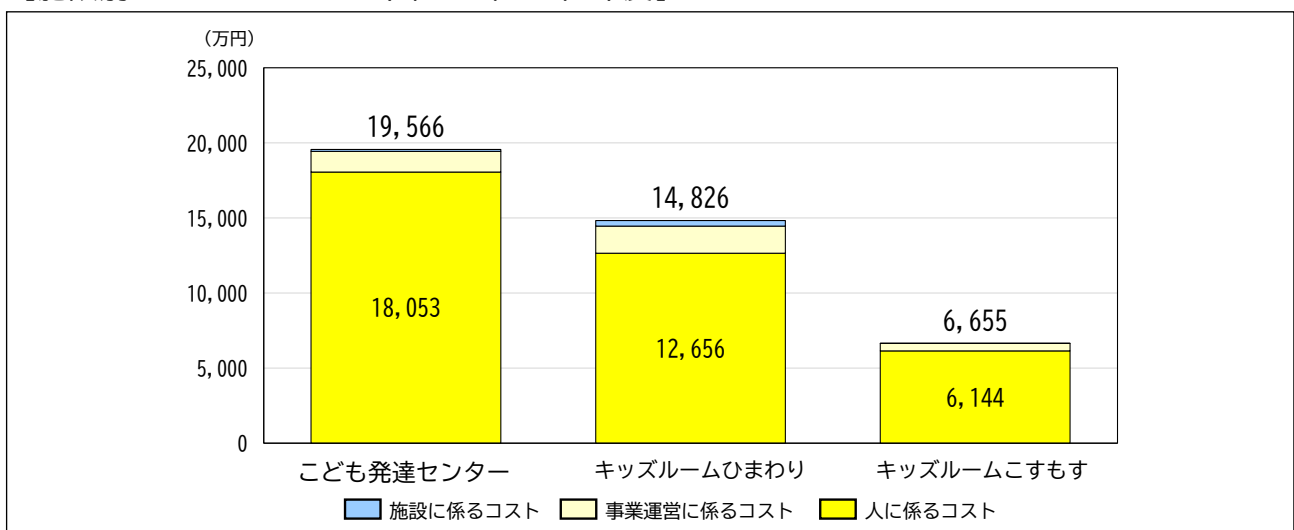
平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度 児童・園児数

出典：「平成 27 年度 柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成 28 年 3 月）

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 施設は、総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）とあわせて、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組													
1	こども発達センター H21 (2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組												現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	410.69	期末	410.69	410.69			410.69		410.69			
		内容													
	複合施設(子)	複合施設名	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)(親)、キッズルームひまわり(子)、キッズルームこすもす(子)、柏市保健所(子)、医療センター(子)										敷地面積 (㎡)	9,774.41	
2	キッズルームひまわり H21 (2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組												現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	971.72	期末	971.72	971.72			971.72		971.72			
		内容													
	複合施設(子)	複合施設名	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)(親)、こども発達センター(子)、キッズルームこすもす(子)、医療センター(子)、柏市保健所(子)										敷地面積 (㎡)	9,774.41	
3	キッズルームこすもす H21 (2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組												現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	817.75	期末	817.75	817.75			817.75		817.75			
		内容													
	複合施設(子)	複合施設名	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)(親)、こども発達センター(子)、キッズルームひまわり(子)、柏市保健所(子)、医療センター(子)										敷地面積 (㎡)	9,774.41	

13. 高齢者福祉施設

① 施設概要

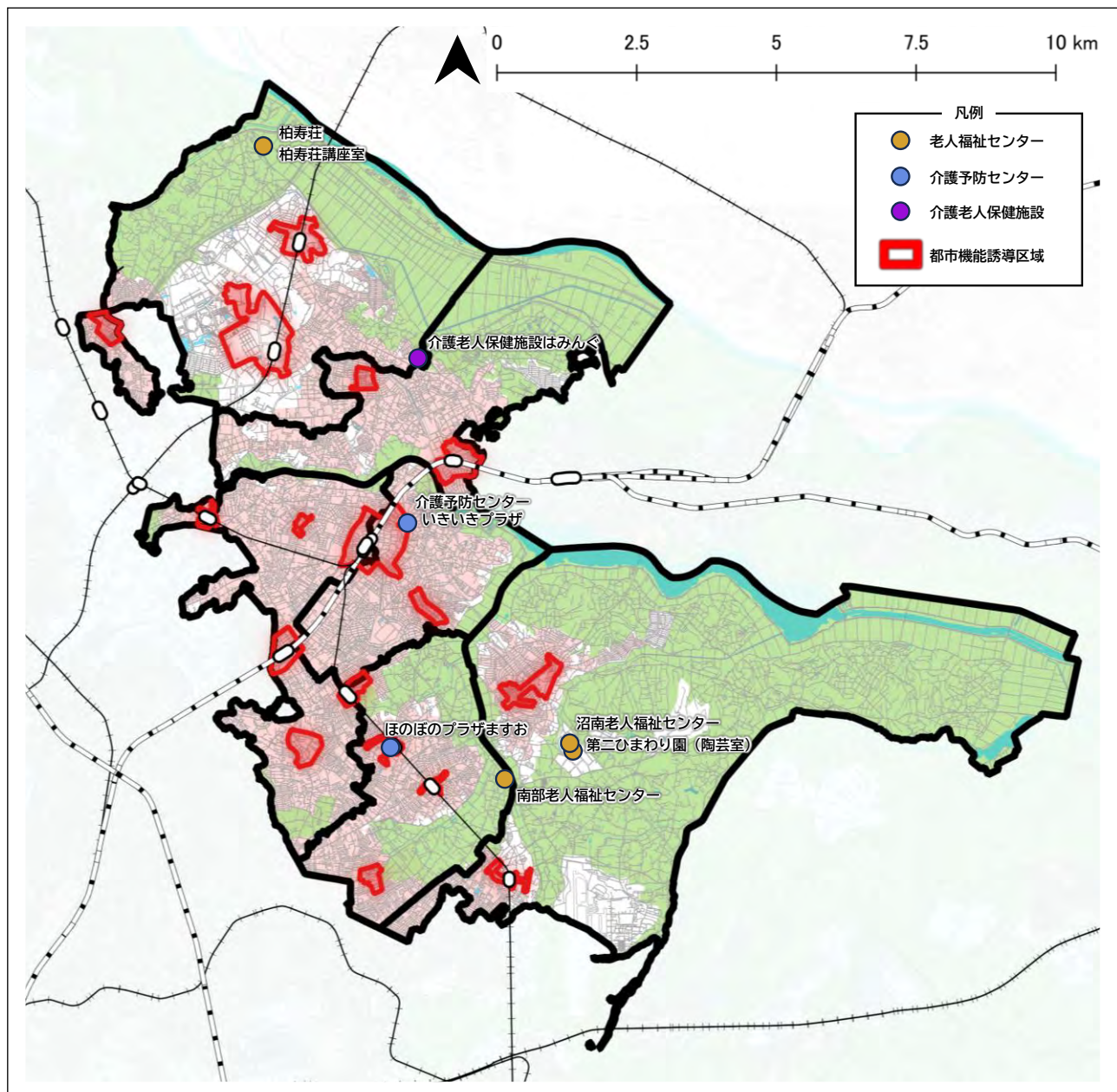
- ・ 高齢者福祉施設は、市内に8施設あり、老人福祉センター、介護予防センター、介護老人保健施設に分類されます。
- ・ 老人福祉センターは、地域の高齢者に対して各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者の健康で明るい生活を支援することを目的に設置されています。
- ・ 介護予防センターは、高齢者の介護予防、健康増進等の事業及びその場を提供することにより、高齢者福祉の増進を図るために設置されています。
- ・ 介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者に対して、医学的管理の下で介護や機能回復訓練等のサービスを提供し、在宅生活への復帰及び自立の支援を行うことを目的に設置されています。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏寿荘	北部1	柏市船戸山高野535	1,264.98	S49	48	避難所
2	柏寿荘講座室	北部1	柏市船戸山高野535	194.40	H11	23	
3	南部老人福祉センター	南部2	柏市藤心293	1,546.16	H5	29	避難所
4	沼南老人福祉センター	沼南	柏市塚崎1356	756.50	S58	39	避難所
5	第二ひまわり園(陶芸室)	沼南	柏市塚崎1373-1	44.25	H8	26	
6	介護予防センターいきいきプラザ	中央2	柏市柏五丁目214-1	579.41	H12	22	
7	ほのぼのプラザますお	南部1	柏市加賀三丁目1823-25	588.43	H13	21	
8	介護老人保健施設はみんぐ	北部1	柏市布施1-3	4,663.68	H9	25	
合計				9,637.81			

② 配置状況



③ 運営状況

休館日	柏寿荘・柏寿荘講座室・南部老人福祉センター・沼南老人福祉センター・第二ひまわり園（陶芸室）・ほのぼのプラザますお・介護老人保健施設はみんぐ：日曜，祝日，年末年始 介護予防センターいきいきプラザ：土日祝日，年末年始（12/29～1/3）
開館時間	柏寿荘・柏寿荘講座室・南部老人福祉センター・沼南老人福祉センター・第二ひまわり園（陶芸室）：9:30～16:00 ほのぼのプラザますお・介護予防センターいきいきプラザ：8:30～17:15 介護老人保健施設はみんぐ：月～土 8:30～17:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・高齢者福祉施設 8 施設の延床面積の合計は約 9,638 m²です。
- ・施設別延床面積では、介護老人保健施設はみんぐが約 4,664 m²で最も規模の大きい施設です。
- ・築 40 年を超える施設は柏寿荘となっています。
- ・平成 30（2018）年度に南部老人福祉センター、令和元（2019）年度に柏寿荘の改修工事を行っています。

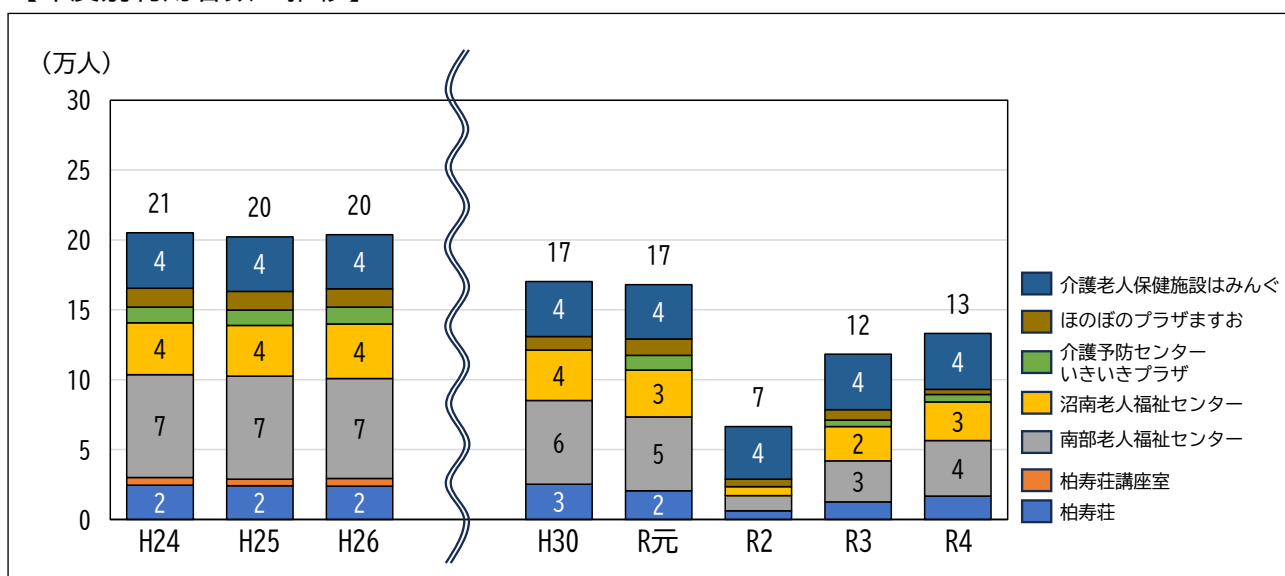
● 利用状況

- ・利用者は平成 24（2012）年度から平成 26（2014）年度までは約 20 万人で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和 2（2020）年度は利用者が減少しましたが、令和 4（2022）年度では約 13 万人とコロナ禍前の約 7 割程度まで回復しています。
- ・令和 4（2022）年度の施設別利用者数について、老人福祉センターは、南部老人福祉センターが約 4 万人と最も利用が多く、次いで沼南老人福祉センターが約 3 万人です。また、介護予防センターの 2 施設は介護予防センターいきいきプラザが 5,333 人、ほのぼのプラザますおが 3,722 人であり、介護老人保健施設はみんぐが約 4 万人となっています。（ほのぼのプラザますおは、令和 4（2022）年 4 月から 10 月までリニューアル工事のため閉館）

● コスト状況

- ・トータルコストは約 2 億 5,532 万円で、指定管理料が約 38.7%，施設に係るコストが約 18.6%となっています。
- ・施設別トータルコストは、平均約 4,255 万円で、介護老人保健施設はみんぐが約 6,365 万円と最も高く、次いで南部老人福祉センターが約 5,948 万円となっています。

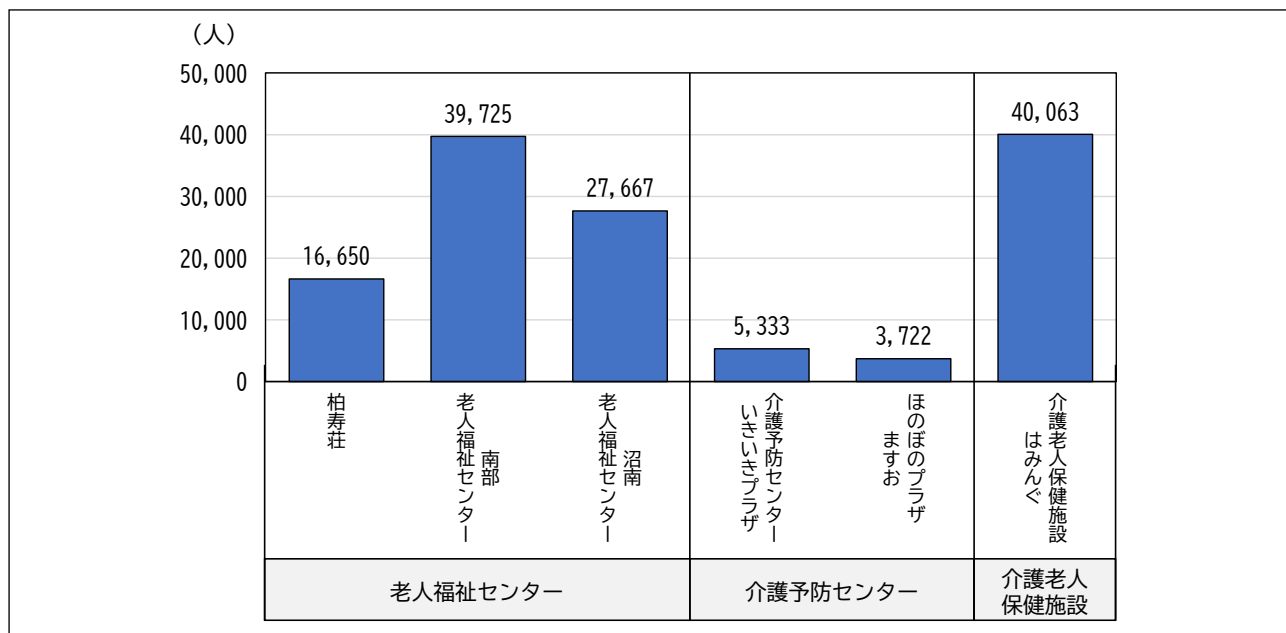
【年度別利用者数の推移】



※柏寿荘講座室は平成 30（2018）年～令和 4（2022）年の利用者数データなし，第二ひまわり園（陶芸室）は利用者数データなし
 ※ほのぼのプラザますおは、令和 4（2022）年 4 月から 10 月までリニューアル工事のため閉館

出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」（平成 28 年 3 月）

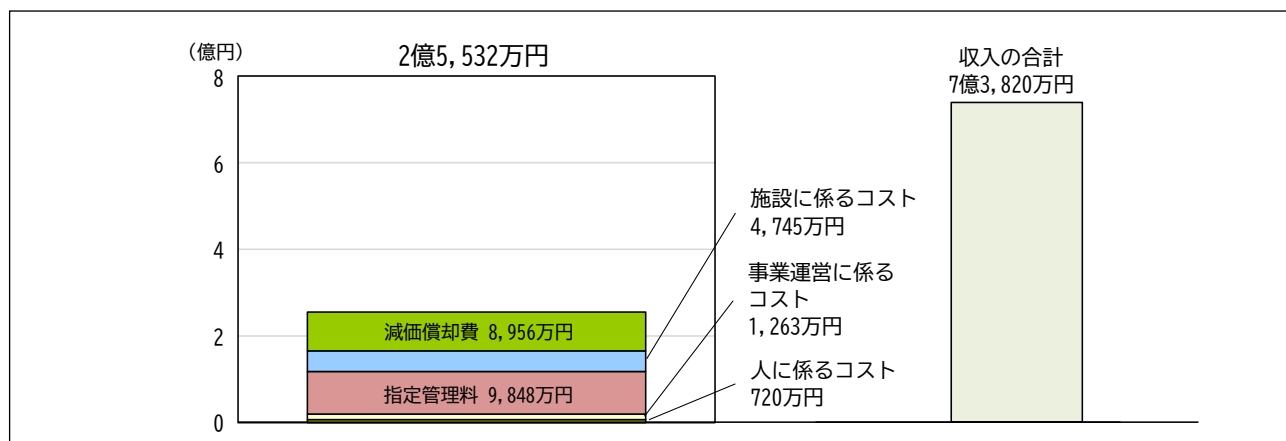
【施設別利用者数 令和4（2022）年度】



※柏寿荘講座室は平成30（2018）年～令和4（2022）年の利用者数データなし、第二ひまわり園（陶芸室）は利用者数データなし

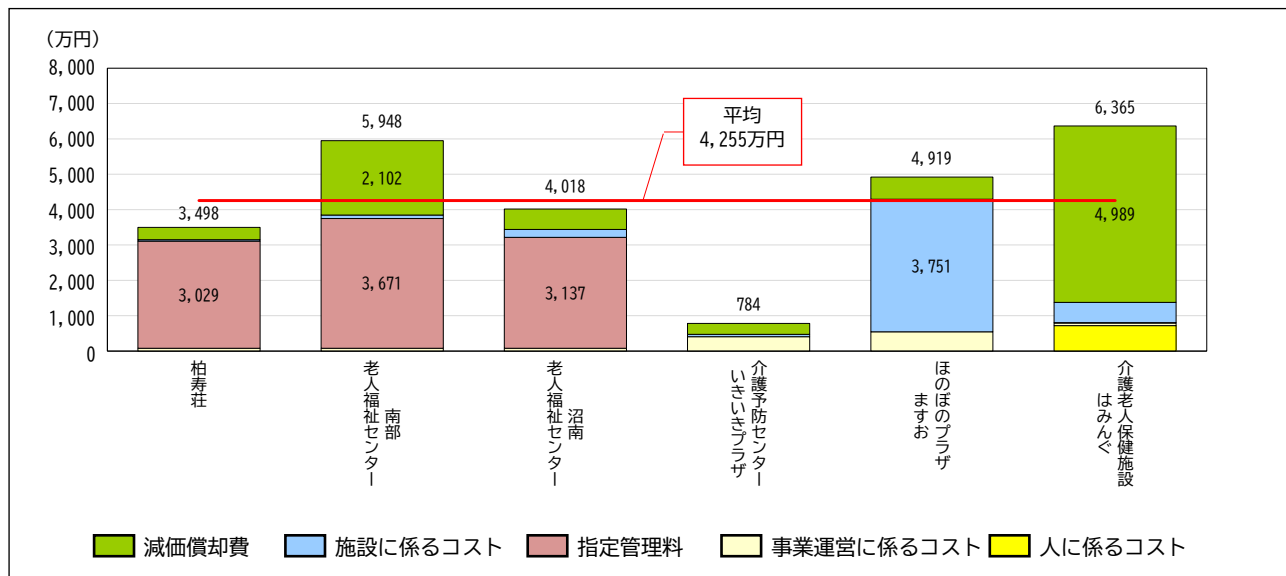
※ほのぼのプラザますおは、令和4（2022）年4月から10月までリニューアル工事のため閉館

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



※柏寿荘講座室のコストは柏寿荘に含まれる、第二ひまわり園（陶芸室）のコストは沼南老人福祉センターに含まれる

【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



※柏寿荘講座室のコストは柏寿荘に含まれる、第二ひまわり園（陶芸室）のコストは沼南老人福祉センターに含まれる

※ほのぼのプラザますおは、令和4（2022）年4月から10月までにリニューアル工事を実施

⑤ 今後の方向性

- 老人福祉センター及び介護予防センターは、目標使用年数を見据えて、施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を見直します。集約化や他の公共施設との複合化、廃止を含めた検討を進めます。
- 介護老人保健施設は、今後のあり方を検討します。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。
- 老人福祉センターは、受益者負担の観点から施設利用料金の設定を検討するとともに、利用対象者の見直しも併せて検討します。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組												
1	柏寿荘 S49 (1974)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					改修＋除却(一部)			その他				
		延床面積 (㎡)	期首	1,264.98	期末	1,264.98	1,163.86			1,163.86		1,163.86		
		内容	(第2期) 令和8(2026)年度、隣接する北部クリーンセンターの基幹的改良工事に合わせ、本館の内装改修工事を実施する。 また、改修工事と合わせて老朽化により利用していない旧講座室の取り壊しを行う。 (第3期) 北部クリーンセンターの排熱活用施設であるため、北部クリーンセンターの稼働期間終了に合わせ閉館の検討を行う。											
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	6,561.16	
2	柏寿荘講座室 H11 (1999)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組								その他				
		延床面積 (㎡)	期首	194.40	期末	194.40	194.40			194.40		194.40		
		内容	(第3期) 北部クリーンセンターの排熱活用施設であるため、北部クリーンセンターの稼働期間終了に合わせ閉館の検討を行う。											
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	6,561.16	
3	南部老人福祉センター H5 (1993)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他							
		延床面積 (㎡)	期首	1,546.16	期末	1,546.16	1,546.16			1,546.16		1,546.16		
		内容	(第2期) 用途変更や民間への譲渡・利活用も含め、あらゆる可能性について検討する。											
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	2,219.24	
4	沼南老人福祉センター S58 (1983)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他							
		延床面積 (㎡)	期首	756.50	期末	756.50	756.50			756.50		756.50		
		内容	(第2期) 用途変更や民間への譲渡・利活用も含め、あらゆる可能性について検討する。											
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	6,328.73	
5	第二ひまわり園(陶芸室) H8 (1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)		
		取組					その他							
		延床面積 (㎡)	期首	44.25	期末	44.25	44.25			44.25		44.25		
		内容	(第2期) 用途変更や民間への譲渡・利活用も含め、あらゆる可能性について検討する。											
		複合施設(子)	複合施設名	第二ひまわり園(親)									敷地面積 (㎡)	162.10

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	介護予防センターいき いきプラザ H12 (2000)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	579.41	期末	579.41	579.41		579.41		579.41	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,144.46
7	ほのぼのプラザますお H13 (2001)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	588.43	期末	588.43	588.43		588.43		588.43	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	833.62
8	介護老人保健施設は みんぐ H9 (1997)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				建替 (一部) + 改修					
		延床面積 (㎡)	期首	4,663.68	期末	4,663.68	4,328.91		4,328.91		4,328.91	
		内容	(第1期) 柏市健康福祉審議会市立病院事業検討専門分科会で答申のあった「市立柏病院のあり方」を踏まえた上で、地域包括ケアシステムにおける位置付けも含め、今後の施設のあり方について検討を進める。 (第2期) 市立柏病院の建替に伴い、「認知症療養棟(B棟)」の移設を行う。新病院開院後に、保全工事(A棟外壁・屋上防水工事)を行う。									
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	37,693.55

14. 障害福祉施設

① 施設概要

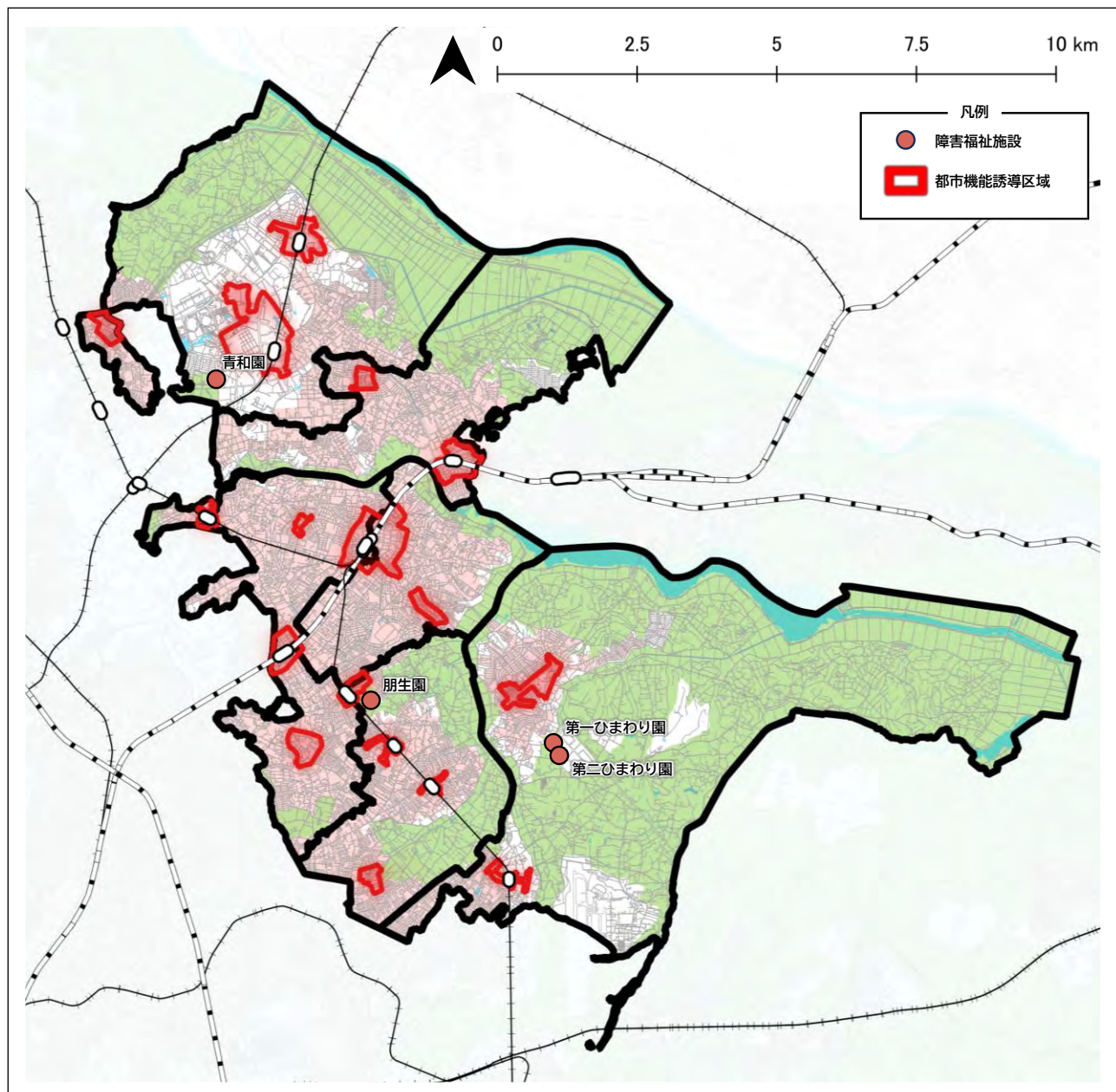
- ・ 障害福祉施設は、青和園、朋生園、第一ひまわり園、第二ひまわり園の4施設があります。
- ・ 朋生園は現在、指定管理者制度を活用し、民間法人に運営を委託しています。
- ・ 青和園及び朋生園は、日常生活での介助や生産活動の機会等を提供する生活介護と、就労に必要な訓練を行う就労継続支援のサービスを提供しています。
- ・ 第一ひまわり園及び第二ひまわり園は、就労継続支援を提供しています。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	青和園	北部1	柏市十余二175-41	1,218.77	S48	49	・ 令和4年4月1日より民営化 ・ 令和7年度中に解体予定
2	朋生園	南部1	柏市中原1816-6	1,220.43	S60	37	
3	第一ひまわり園	沼南	柏市塚崎1373-1	324.04	H2	32	
4	第二ひまわり園	沼南	柏市塚崎1367-1	162.10	H8	26	
合計				2,925.34			

② 配置状況



③ 運営状況

休館日	青和園：日曜, 祝日 ※土曜日は開所する日としない日がある 朋生園：年末年始, 祝祭日, 土日 ※土曜日は開所する日としない日がある。 第一ひまわり園・第二ひまわり園：土日, 祝, 年末年始 ※土曜日は開所する日としない日がある
開館時間	青和園：9:00～16:30 朋生園：月～金 9:00～16:00 土 9:30～14:00 第一ひまわり園・第二ひまわり園：9:00～16:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・施設別の延床面積では青和園約 1,219 m²、朋生園約 1,220 m²の規模が大きい2施設と、ひまわり園などの規模の小さな施設が混在しています。
- ・青和園は築 40 年を超えています。
- ・令和 2（2020）年度に朋生園の改修工事、令和 3（2021）年度に第一・第二ひまわり園の改修工事を実施しています。

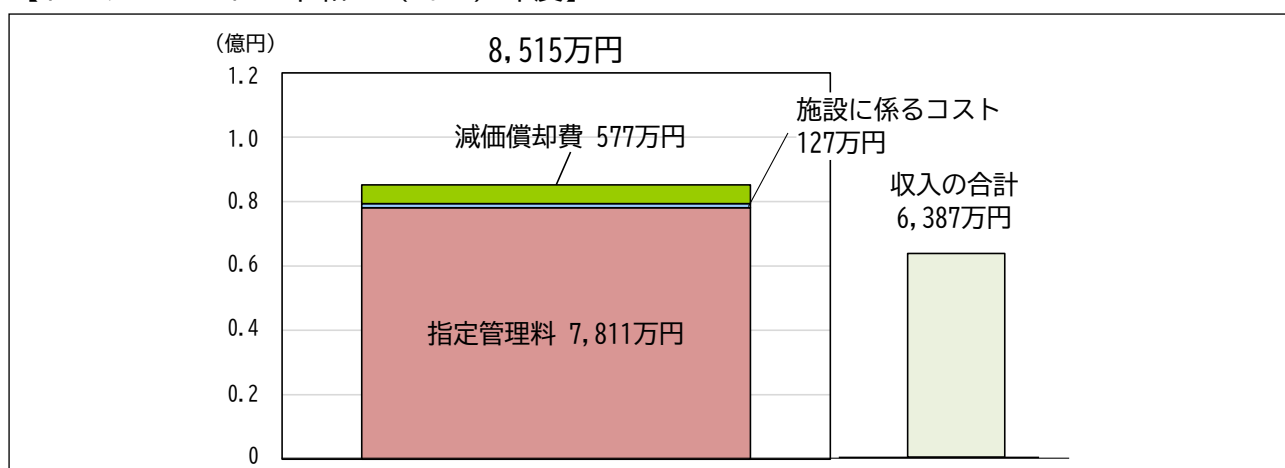
● 利用状況

- ・各障害福祉施設は、以下の定員数で利用者が通所しています。
- ・青和園の定員は 50 名で、内訳は、生活介護 21 名、就労継続支援 B 型 29 名となっています。
- ・朋生園の定員は 50 名で、内訳は、生活介護 23 名、就労継続支援 B 型 27 名となっています。
- ・第一ひまわり園、第二ひまわり園の定員は 20 名となっています。

● コスト状況

- ・トータルコストは約 8,515 万円で、指定管理料が約 91.7%となっています。
- ・収入は約 6,387 万円となっています。

【トータルコスト 令和 4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- ・青和園は、社会福祉法人桐友学園が指定管理者として運営していましたが、令和 4（2022）年度より民営化しました。なお、民営化後に法人が新施設を建設しました。旧施設は令和 7（2025）年度中に柏市が解体予定です。
- ・朋生園は、民間事業者によるサービスの動向を踏まえ、今後のあり方を検討します。
- ・第一ひまわり園、第二ひまわり園は、現在も民間事業者が管理運営していることから、施設の移譲等も含めて施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を検討します。
- ・存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	青和園 S48 (1973)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	廃止＋除却(一部)				除却						
		延床面積 (㎡)	期首	1,218.77	期末	1,170.17	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第1期) これまで指定管理者制度で運営してきたが、令和4(2022)年4月に民営化。民営化後、運営法人により令和6(2024)年度に新施設の整備が完了した。また、令和4(2022)年度に倉庫、令和5(2023)年度に屋外作業所を除却した。 (第2期) 令和6(2024)年度に施設の建替が完了したため、令和7(2025)年度に旧施設を除去予定。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	4,005.91
2	朋生園 S60 (1985)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他			廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	1,220.43	期末	1,220.43	1,220.43			0.00		0.00	
		内容	(第1期) 指定管理者制度を活用し、施設の運営を図る。 (第2期) 次期、施設運営に関し、民営化を検討する。 (第3期) 民営化となった場合、運営法人による新施設の整備予定、旧施設の除却。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	4,500.00
3	第一ひまわり園 H2 (1990)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他					譲渡	
		延床面積 (㎡)	期首	324.04	期末	324.04	324.04			324.04		0.00	
		内容	(第1期) 無償貸付契約を有償貸付とするか検討を行うも、現状の契約形態のまま維持。 (第2期) 再度、有償化の検討を行う。 (第4期) 民間活力による建替を目的として、民間への施設の譲渡を検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,019.00
4	第二ひまわり園 H8 (1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他									譲渡	
		延床面積 (㎡)	期首	162.10	期末	162.10	162.10			162.10		0.00	
		内容	(第1期) ※民間との有償貸付契約を締結中。 (第4期) 民間活力による建替を目的として、民間への施設の譲渡を検討する。										
	複合施設(親)	複合施設名	第二ひまわり園(陶芸室)(子)									敷地面積 (㎡)	162.10

15. 保健施設

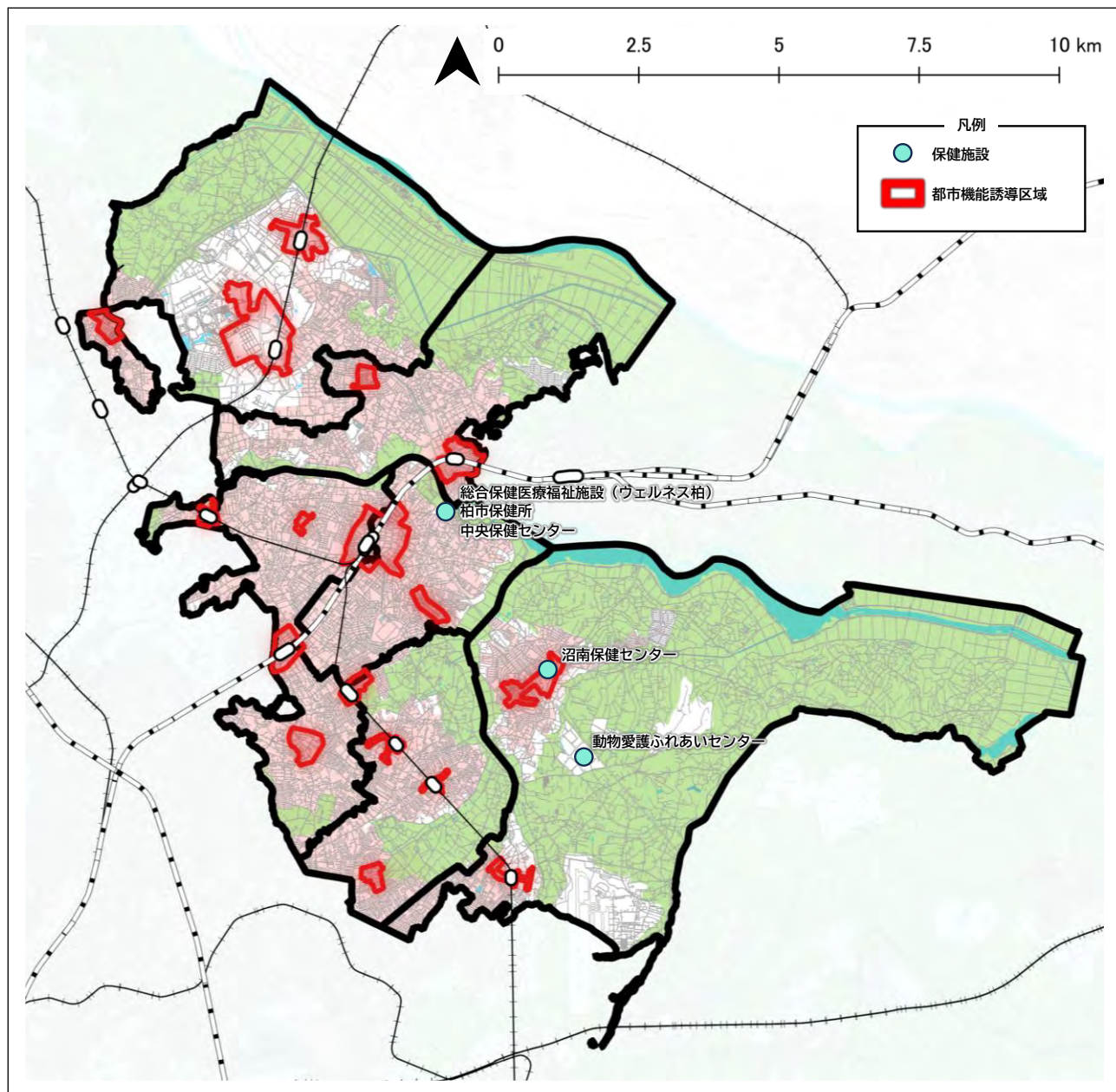
① 施設概要

- ・保健施設として、総合保健医療福祉施設、保健所、保健センター２施設及び動物愛護ふれあいセンターの５施設が設置されています。
- ・総合保健医療福祉施設は、保健、医療及び福祉に係るサービスを総合的に市民に提供することにより、市民の健康で快適な生活を保持するため、また、児童福祉の向上を図るために設置されています。
- ・保健所は、旧沼南町との合併後、中核市への移行とあわせ、千葉県から保健所業務をはじめとした市民生活に密着した業務の移譲を受け、市の地域保健業務（保健センター業務、健康増進や成人健診業務）と集約・統合した一体的な推進による柏市独自の施策展開を図るために設置されています。
- ・保健センターは、地域保健活動の推進及び、市民の健康づくりを推進していくための拠点施設として設置されています。
- ・動物愛護ふれあいセンターは、保健所業務と同様に、柏市が中核市となり狂犬病予防法並びに動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事務を所掌することとなったため、犬や猫の保護収容施設として設置されています。

【施設一覧】

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）	中央2	柏市柏下65-1	3,401.34	H21	13	
2	柏市保健所	中央2	柏市柏下65-1	3,425.35	H21	13	総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏内）に設置
3	中央保健センター	中央2	柏市柏下66-1	1,171.12	S61	36	
4	沼南保健センター	沼南	柏市大島田21-2	870.36	S63	34	
5	動物愛護ふれあいセンター	沼南	柏市風早二丁目4-3	656.09	H26	8	
合計				9,524.26			

② 配置状況



③ 運営状況

休館日	中央保健センター・沼南保健センター ：土曜・日曜日，祝日，年末年始及び事業を実施していない日 動物愛護ふれあいセンター・総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）・柏市保健所：土曜日・日曜日・祝日・年末年始
開館時間	中央保健センター・沼南保健センター：8:30～17:00 動物愛護ふれあいセンター・総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）・柏市保健所：8:30～17:15

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 保健施設 5 施設の延床面積合計は約 9,524 m²です。
- ・ 施設別延床面積は総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）が約 3,401 m²，ウェルネス柏内に設置されている柏市保健所が約 3,425 m²です。

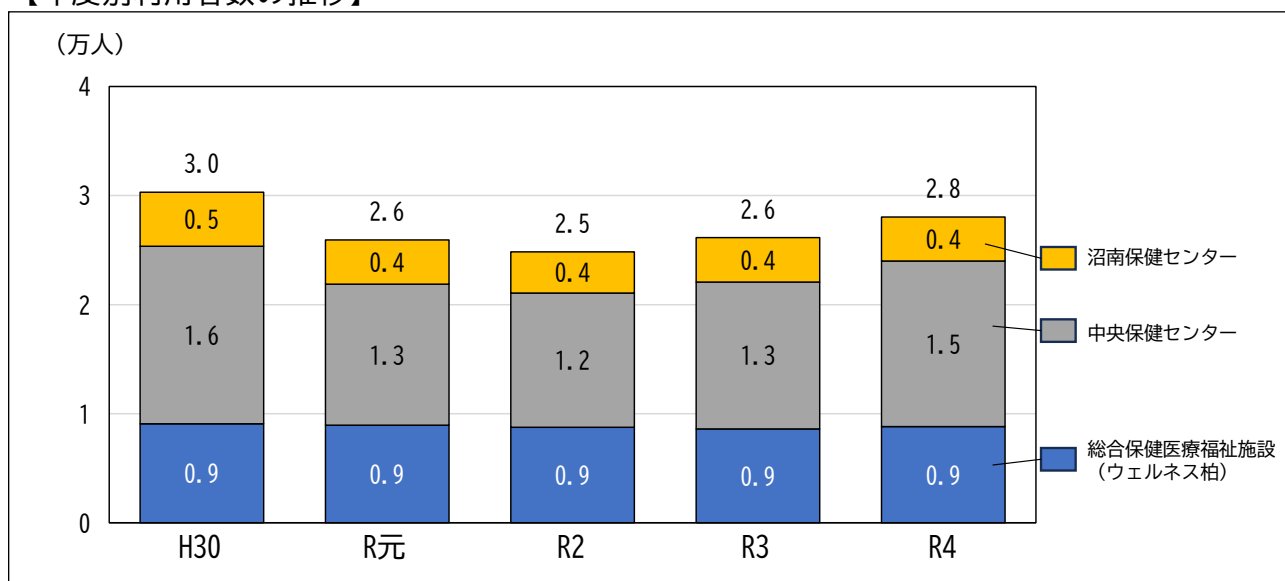
● 利用状況

- ・ 利用者数は平成 30（2018）年度，約 3.0 万人の利用がありましたが，令和 2（2020）年度にかけて減少傾向となっています。その後，利用者数は増加し，令和 4（2022）年度には約 2.8 万人となっています。
- ・ 施設別では，中央保健センターの利用者が最も多く，令和 4（2022）年度で約 1.5 万人となっています。次いで総合保健医療福祉施設が平成 30（2018）年度から約 0.9 万人の利用者で推移しています。

● コスト状況

- ・ 保健施設全体のトータルコストは約 15 億 4,718 万円で，人に係るコストが約 77.2%となっています。
- ・ 施設別トータルコストは，総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）が約 14 億 5,568 万円と 5 施設のコストのほとんどを占めています。

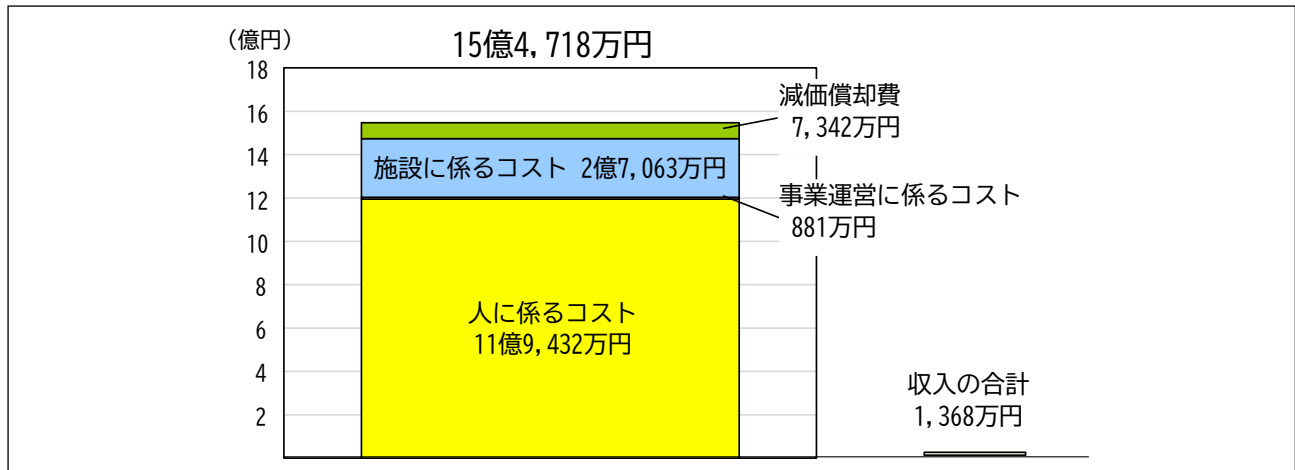
【年度別利用者数の推移】



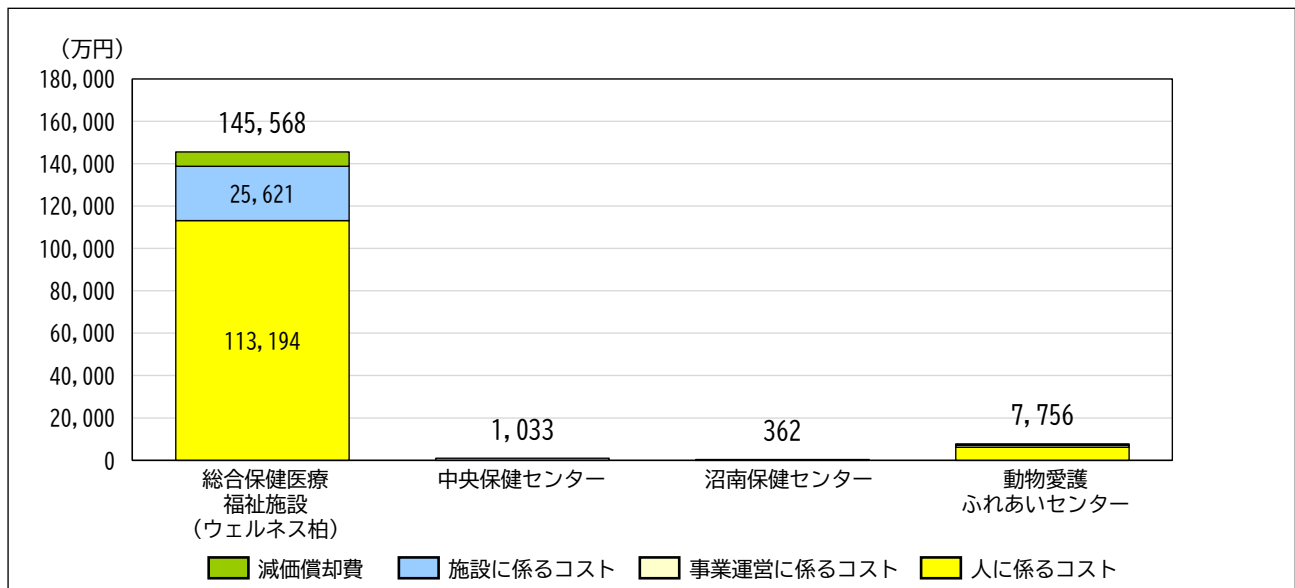
※柏市保健所，動物愛護ふれあいセンターは利用者数データなし

出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



※柏市保健所のコストは総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）に含まれる

⑤ 今後の方向性

- 総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏），保健所及び動物愛護ふれあいセンターは，当面現状のまま存続します。
- 中央保健センター及び沼南保健センターは，利用率が低いことから，必要なサービス機能は維持しながら，多目的での利用が可能となるよう施設のあり方（必要な機能，規模及び配置など）を見直します。
- 存続させる施設については，日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し，施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏) H21(2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	集約化＋転用									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	3,341.34	期末	3,401.34	3,401.34			3,401.34		3,401.34	
		内容	(第1期) (令和2(2020)年度)地域生活支援センターが教育福祉会館に移転したため、該当箇所を執務室として利用。										
	複合施設(親)	複合施設名	こども発達センター(子)、キッズルームひまわり(子)、キッズルームこすもす(子)、柏市保健所(子)、医療センター(子)									敷地面積 (㎡)	9,774.41
2	柏市保健所 H21(2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	3,425.35	期末	3,425.35	3,425.35			3,425.35		3,425.35	
		内容											
	複合施設(子)	複合施設名	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)(親)、こども発達センター(子)、キッズルームひまわり(子)、キッズルームこすもす(子)、医療センター(子)									敷地面積 (㎡)	9,774.41
3	中央保健センター S61(1986)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				その他					建替	
		延床面積 (㎡)	期首	1,171.12	期末	1,171.12	1,171.12			1,171.12		1,171.12	
		内容	(第1期) 稼働率の低いスペースについては、関係部署に貸出を実施し、有効活用を図った。 (第2期) 保健センター事業としての利用がない日程については、庁内部署に貸出を実施し、有効活用を図る。 (第4期) 保健センターとしての機能を継続して維持するため、建替を行う。										
	複合施設(親)	複合施設名	柏市保健勤労会館(柏市シルバー人材センター、かしわ地域若者サポートステーション)(子)									敷地面積 (㎡)	2,287.69
4	沼南保健センター S63(1988)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他				廃止＋その他						
		延床面積 (㎡)	期首	870.36	期末	870.36	870.36			870.36		870.36	
		内容	(第1期) 稼働率が低く、設備の老朽化もみられることから、施設を廃止し、建物について庁内で活用する方向で調整を実施した。 (第2期) 施設機能を廃止し、建物について庁内での活用を図る。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	671.03
5	動物愛護ふれあいセンター H26(2014)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	656.09	期末	656.09	656.09			656.09		656.09	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	2,153.19

16. 福祉施設

① 施設概要

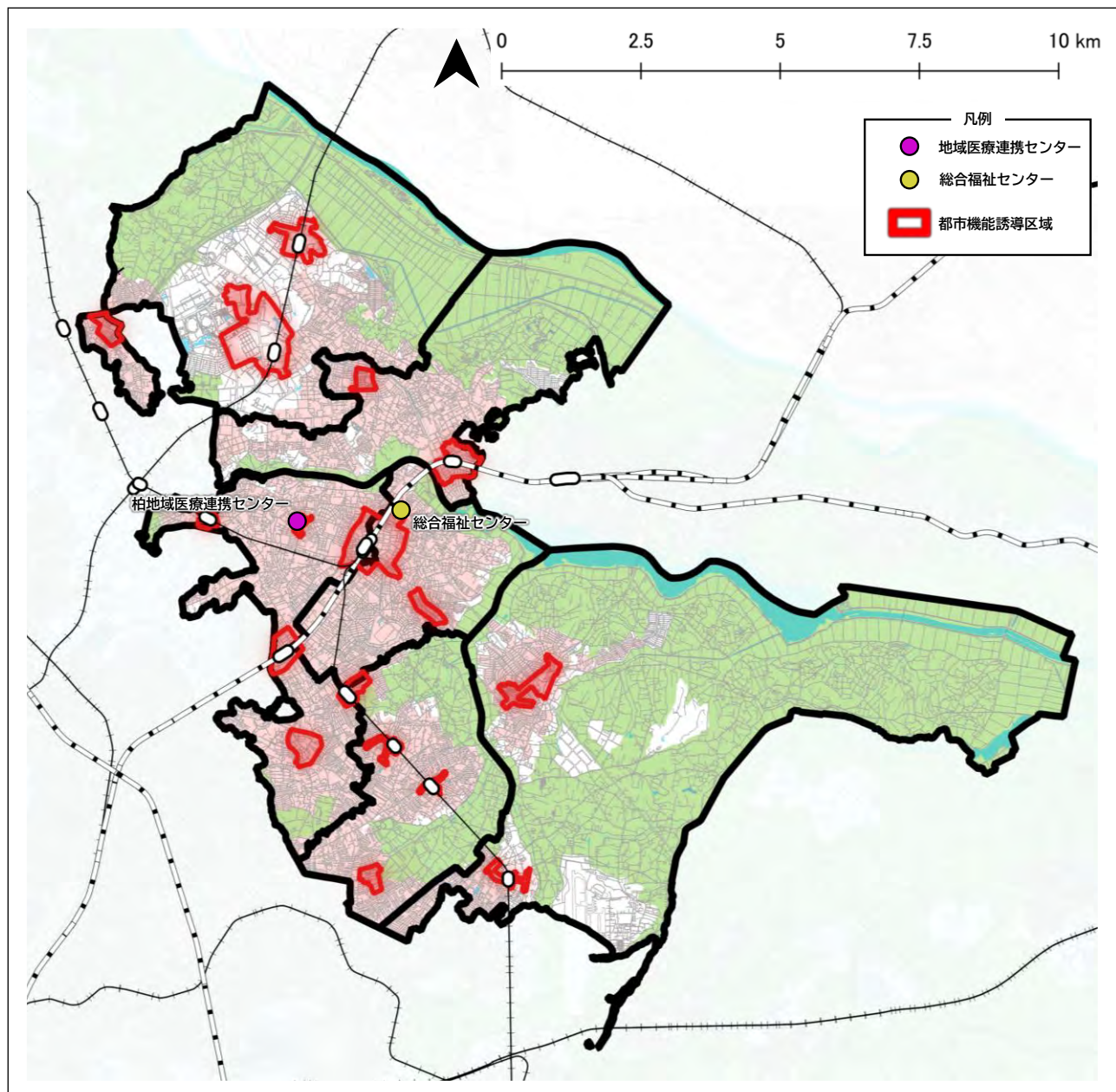
- ・福祉施設は市内に地域医療連携センター、総合福祉センターの2施設があります。
- ・柏地域医療連携センターは、在宅医療も含めた地域医療と介護の連携を推進する拠点として設置されています。
- ・総合福祉センターは、従来の柏市社会福祉協議会ボランティアセンター及び地域福祉センターを統合して、中央公民館が入居する教育福祉会館内に、同施設の耐震工事にあわせてリニューアルオープンしています。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏地域医療連携センター	中央1	柏市豊四季台一丁目1-118	1,042.58	H25	9	
2	総合福祉センター	中央2	柏市柏五丁目8-12	1,830.06	S55	42	教育福祉会館内に設置（1・2階）
合計				2,872.64			

② 配置状況



③ 運営状況

休館日	柏地域医療連携センター：土曜日，日曜日，祝日，年末年始，ただし，会議・研修会等で使用する場合あり（一般市民の利用はなし） 総合福祉センター：年末年始（12月29日から1月3日まで）及び施設維持保守等のため臨時休館日があります。
開館時間	柏地域医療連携センター：8:30～17:15 総合福祉センター：9:00～21:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・福祉施設 2 施設の延床面積合計は約 2,873 ㎡です。2 施設の平均延床面積は約 1,436 ㎡です。
- ・総合福祉センターは築 42 年で老朽化が進んでいますが、総合福祉センターの親施設である教育福祉会館が令和 2（2020）年から令和 3（2021）年にかけ、耐震補強及び長寿命化のための大規模改修工事を行っています。

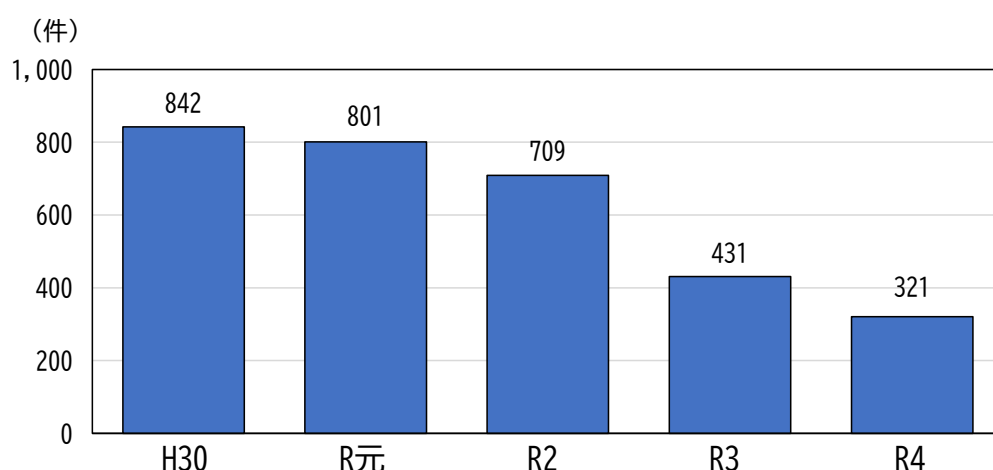
● 利用状況

- ・柏地域医療連携センターの相談件数は平成 30（2018）年度 842 人でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少傾向にあります。令和 4（2022）年度は 321 人まで減少しています。
- ・総合福祉センターは令和 2（2020）年度の利用者数 1,076 人、利用件数 126 件でしたが、令和 4（2022）年度には利用者数 19,571 人、利用件数 1,700 件まで増加しています。

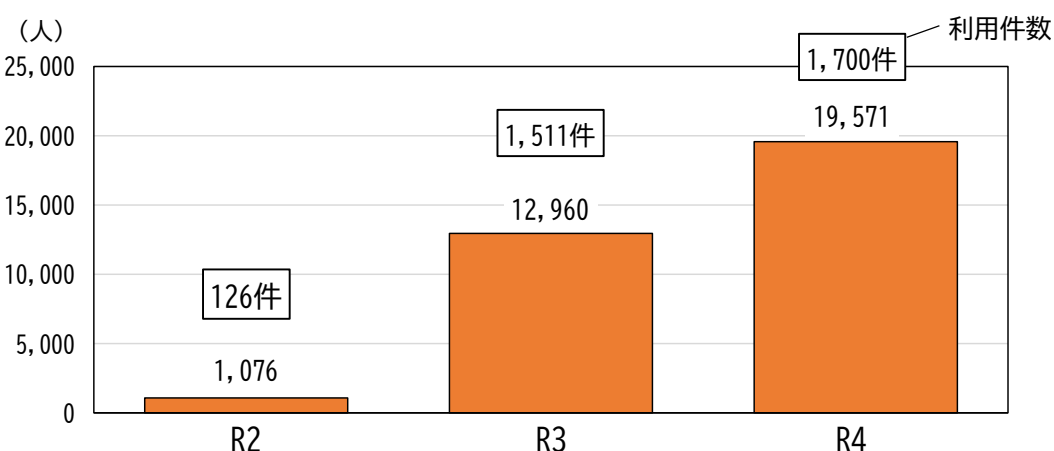
● コスト状況

- ・トータルコストは約 1 億 3,956 万円で、人に係るコストが約 57.2%となっています。
- ・施設別トータルコストは、柏地域医療連携センターが約 1 億 823 万円、総合福祉センターが約 3,133 万円となっています。

【柏地域医療連携センター 年度別相談件数の推移】

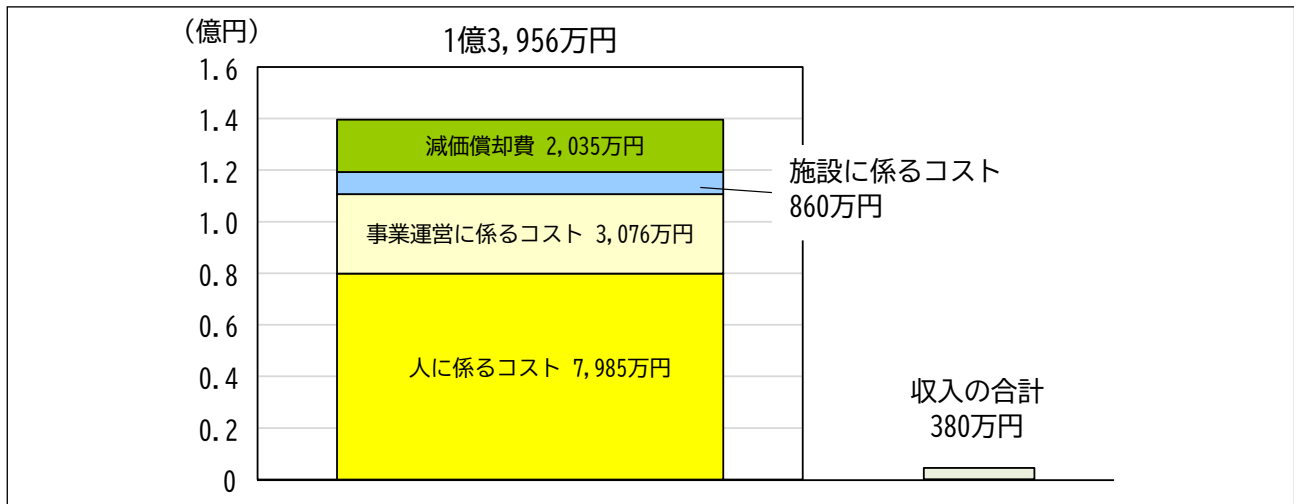


【総合福祉センター 年度別利用者数・利用件数 推移】

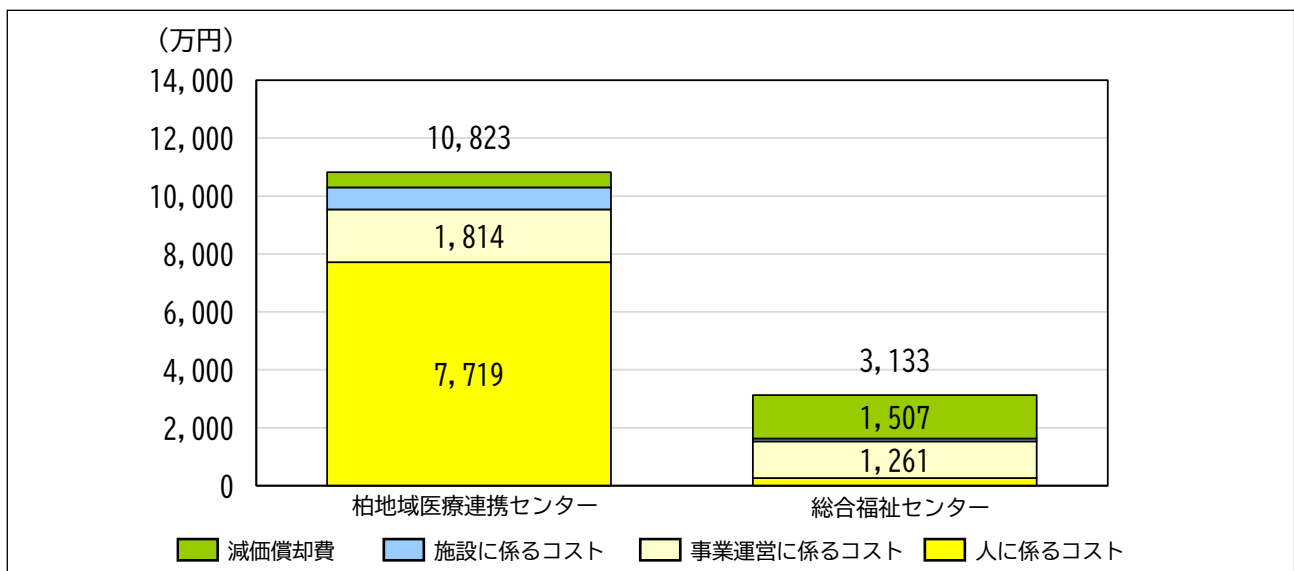


※利用者数・利用件数については、教育福祉会館がリニューアルオープンした令和 3（2021）年 1 月以降の数値

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- ・ 柏地域医療連携センターは、当面現状のまま存続します。
- ・ 総合福祉センター（旧・ボランティアセンター及び地域福祉センター）は、教育福祉会館の耐震工事にあわせてリニューアルオープンしました。「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」をコンセプトに、「ラコルタ柏」として中央公民館と複合化し、一体的に運用し、誰でも気軽に利用できる場に生まれ変わっています。
- ・ 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	柏地域医療連携センター H25 (2013)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,042.58	期末	1,042.58	1,042.58			1,042.58		1,042.58	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,307.99
2	総合福祉センター S55 (1980)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	集約化									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	1,830.06	1,830.06			1,830.06		1,830.06	
		内容	(第1期) 教育福祉会館の耐震改修工事にあわせて、柏市障害福祉就労支援センター、地域生活支援センター、柏市社会福祉協議会ボランティアセンター、地域福祉センターを集約化した。										
	複合施設(子)	複合施設名	中央公民館(親)									敷地面積 (㎡)	4,927.75

17. 医療施設

① 施設概要

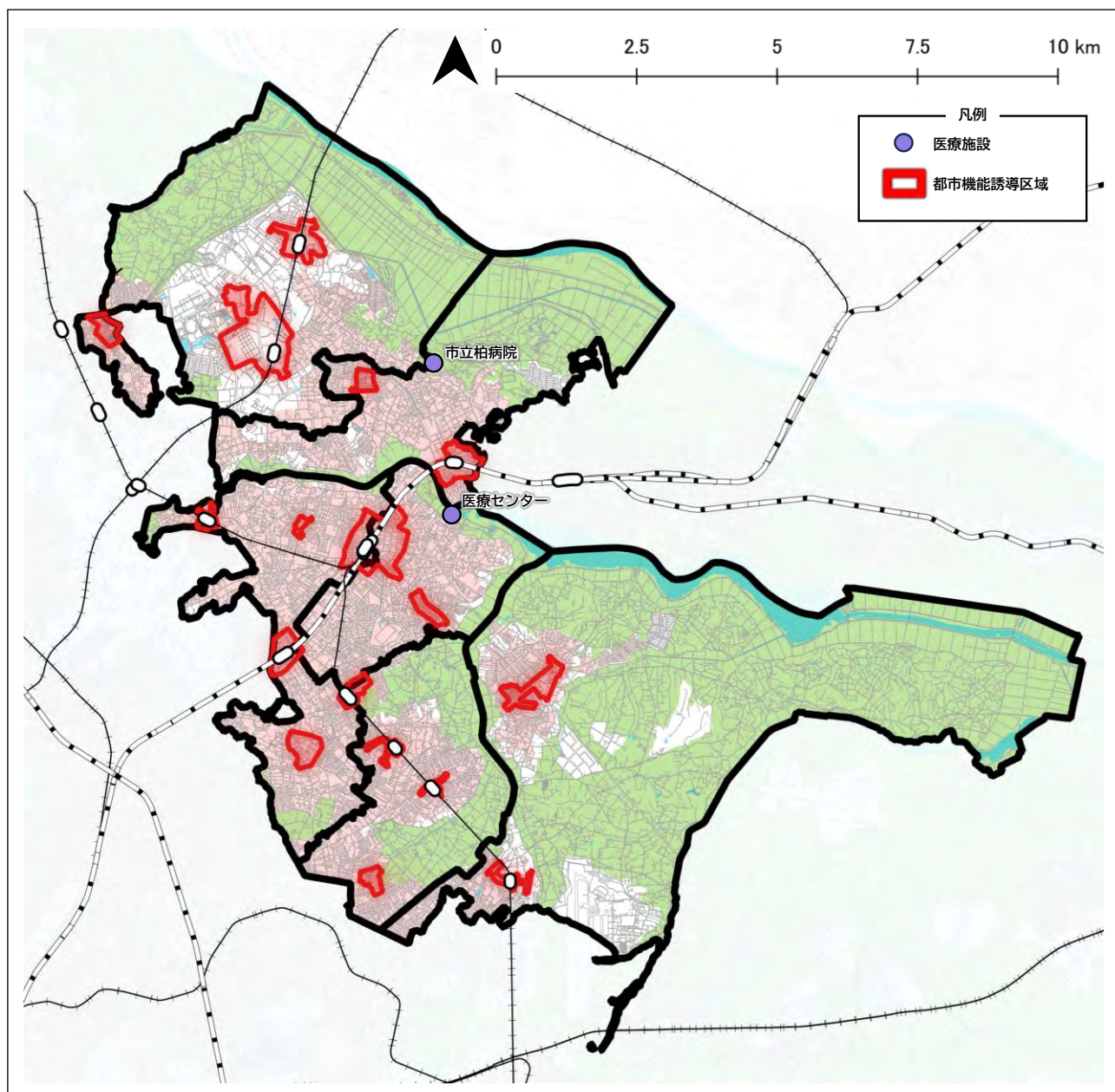
- ・医療施設としては、市内に医療センター（総合保健医療福祉施設内）と市立柏病院の2施設があります。
- ・医療センターは、柏市医師会、柏歯科医師会及び柏市薬剤師会の協力の下、一次の夜間急病診療事業、休日歯科診療事業及び特殊歯科診療事業を実施し、市民の初期救急医療及び歯科口腔医療を確保するために設置されています。
- ・市立柏病院は、国から旧国立柏病院の有償譲渡を受け、公立病院に求められる不採算医療に取り組み、市民の健康維持・増進を図り、地域医療を確保するために設置されています。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	ベッド数	備考
1	医療センター	中央2	柏市柏下6-5-1	893.72	H21	13		延床面積全体を柏市医療公社へ貸付
2	市立柏病院	北部1	柏市布施1-3	12,250.34	S51	46	200	
合計				13,144.06				

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	医療センター：①夜間・休日の急病患者の第一次診療：なし ②普通の歯科医院では治療が難しい障害児・者，要介護者などを専門とした歯科診療，全身麻酔を用いた治療：日曜・月曜 ③休日の急患歯科診療：休日のみ開館 ④柏市立小・中・高等学校の1年生を対象とした心電・心音図検査，柏市民を対象とした柏市がん検診：指定日のみ開館 市立柏病院：日曜日，祝日，年末年始
開館時間	医療センター：①夜間 19：00～22：00，休日昼間（指定日のみ）9：00～17：00 ②9：00～16：00 ③9：45～12：00 ④8：30～17：00（指定日のみ開館） 市立柏病院：8：30～11：00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・医療施設2施設の延床面積合計は約13,144㎡です。市立柏病院は約12,250㎡と非常に規模の大きな施設です。
- ・市立柏病院は築46年を経過しており、老朽化が進行しています。
- ・市立柏病院は令和8（2026）年度から建替工事に着手する予定です。医療センターは築年も浅く、大規模な改修の履歴はありません。

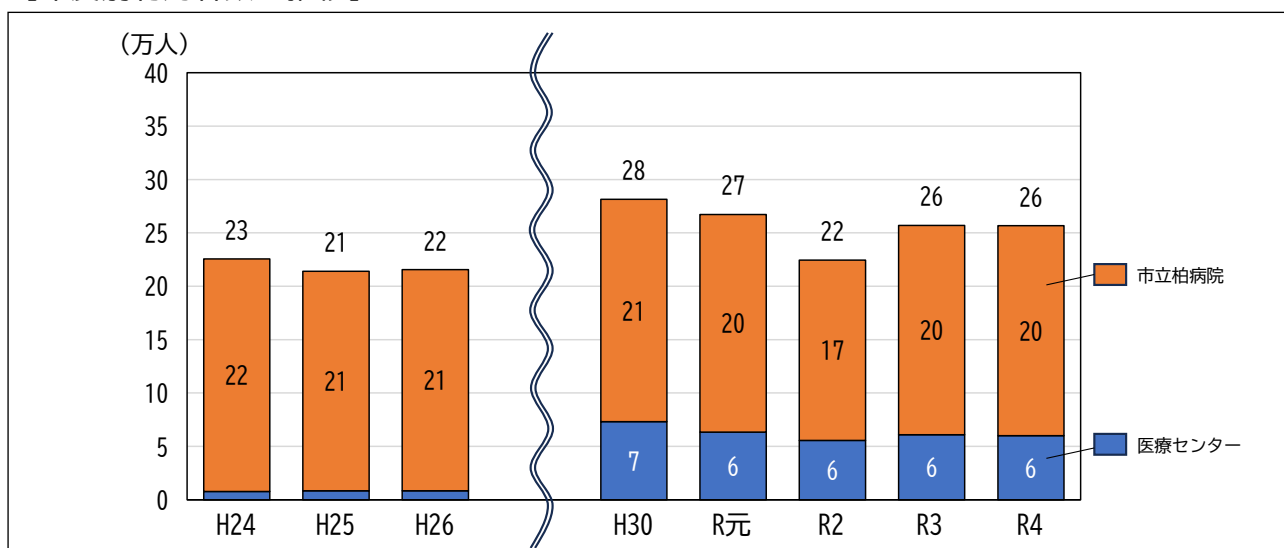
● 利用状況

- ・利用者は平成30（2018）年度の約28万人から、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2（2020）年度は約22万人まで減少しましたが、令和4（2022）年度では約26万人に増加しています。
- ・医療センターは平成30（2018）年度以降約6万人で推移しています。

● コスト状況

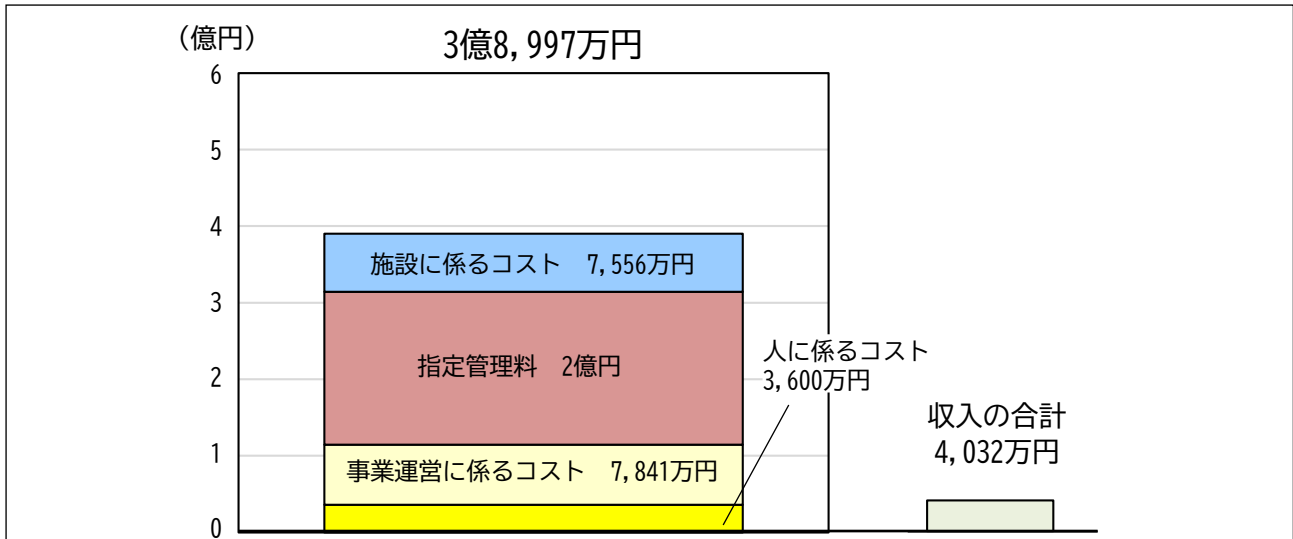
- ・トータルコストは約3億8,997万円で、市立柏病院の指定管理料が約51.2%、施設に係るコストが約19.4%となっています。
- ・収入は4,032万円となっています。
- ・施設別トータルコストは、市立柏病院が約3億1,156万円、医療センターが約7,841万円となっています。

【年度別利用者の推移】

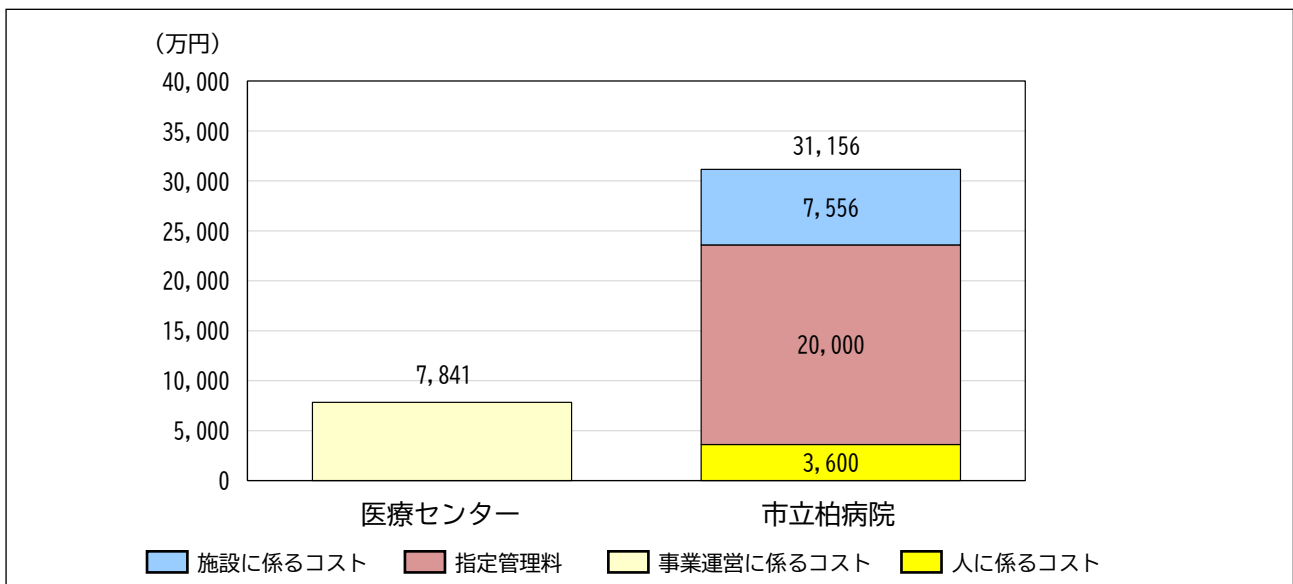


出典：平成24（2012）年度～平成26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成28年3月）

【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 医療センターは、当面現状のまま存続します。総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）とあわせて、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。
- 市立柏病院は、現在地における市立病院が、既に地域包括ケアの一翼を担っていることから、地域や市域における医療体制のバランスが崩れてしまう恐れがあるため、現在地での建替を進めます。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	医療センター H21 (2009)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	893.72	期末	893.72	893.72			893.72		893.72	
		内容											
	複合施設(子)	複合施設名	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)(親)、こども発達センター(子)、キッズルームひまわり(子)、キッズルームこずもす(子)、柏市保健所(子)								敷地面積 (㎡)	9,774.41	
2	市立柏病院 S51 (1976)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	その他				建替						
		延床面積 (㎡)	期首	12,121.31	期末	12,250.34	21,329.87			21,329.87		21,329.87	
		内容	〈第1期〉 現在地での建替えを進めるため、基本計画の策定、基本設計、実施設計等を行う。 〈第2期〉Ⅰ期工事(新病棟建設＋既存病棟及びサービス棟解体)・Ⅱ期工事(新外来棟建設＋既存外来管理治療棟解体)等を実施し、新病院を開院する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	37,693.55	

18. 出張所

① 施設概要

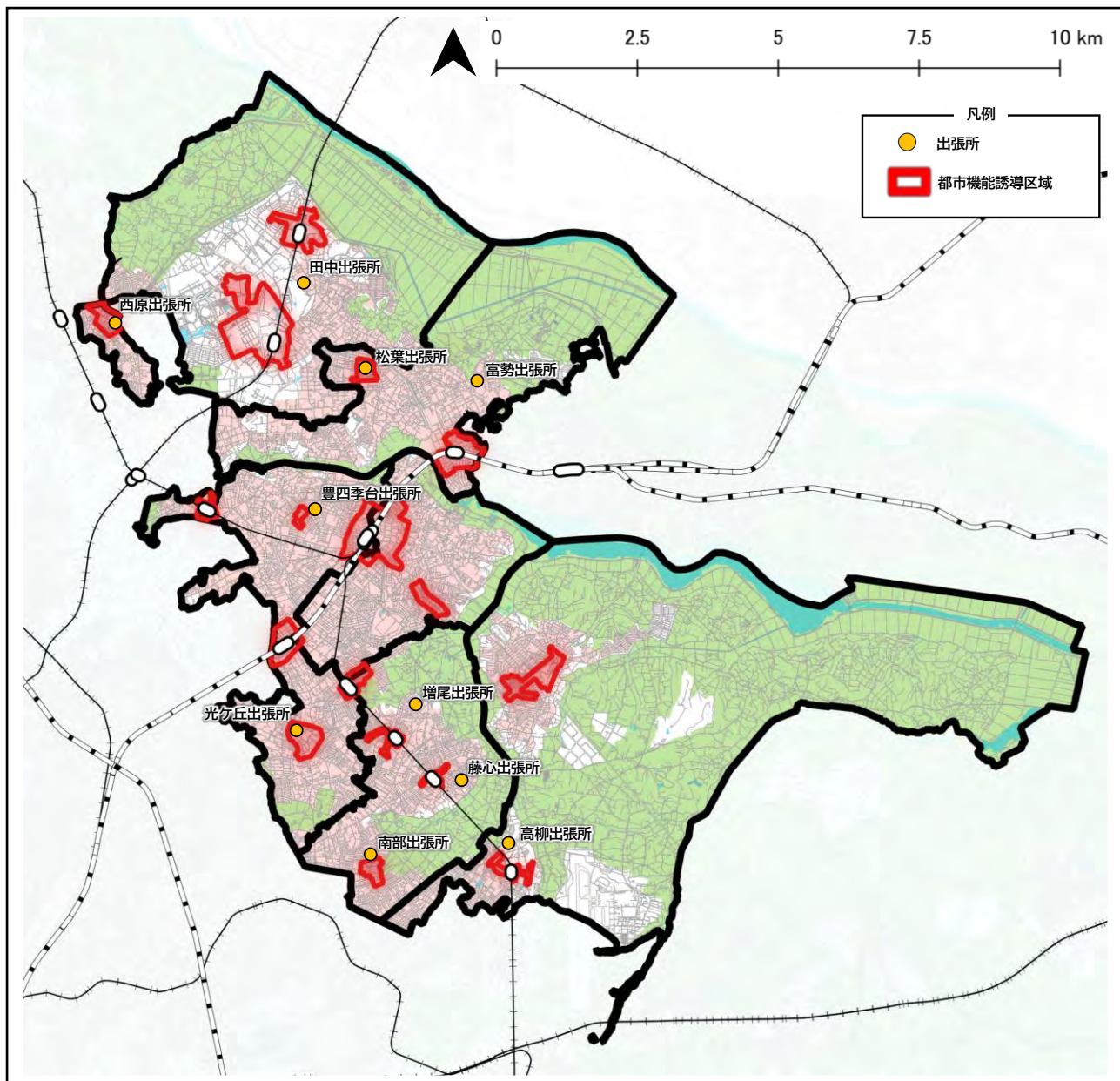
- ・出張所等は市内に 10 施設あります。地域住民が本庁舎等へ出向くことなく行政サービスを楽しむように、利便性の向上や市民サービスに寄与すること等を目的として市内各所に設置されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	田中出張所	北部1	柏市大室249-1	79.75	S53	44	田中近隣センター内に設置
2	増尾出張所	南部1	柏市増尾三丁目1-1	61.50	S55	42	増尾近隣センター内に設置
3	光ヶ丘出張所	南部2	柏市光ヶ丘団地200-5	86.00	S56	41	光ヶ丘近隣センター内に設置
4	豊四季台出張所	中央1	柏市豊四季台一丁目1-116	90.00	S53	44	豊四季台近隣センター内に設置
5	南部出張所	南部1	柏市新逆井二丁目5-13	81.66	S53	44	南部近隣センター内に設置
6	西原出張所	北部1	柏市西原三丁目2-48	72.00	S53	44	西原近隣センター内に設置
7	松葉出張所	北部2	柏市松葉町四丁目11	76.95	S62	35	松葉近隣センター内に設置
8	藤心出張所	南部1	柏市藤心四丁目1-11	64.60	S62	35	藤心近隣センター内に設置
9	高柳出張所	沼南	柏市高柳1652-10	84.30	H6	28	高柳近隣センター内に設置
10	富勢出張所	北部2	柏市布施834-1	118.48	S47	50	
合計				815.24			

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	土日祝日・年末年始（12/29～1 / 3）
開館時間	8:30～17:15

④ 実態及び課題

● 建物状況

- 出張所は 10 施設あり、延床面積合計は約 815 ㎡です。そのうち近隣センター内に設置されている施設が 9 施設あります。単独施設で設置されている富勢出張所の建物は築 50 年を迎え、老朽化しています。

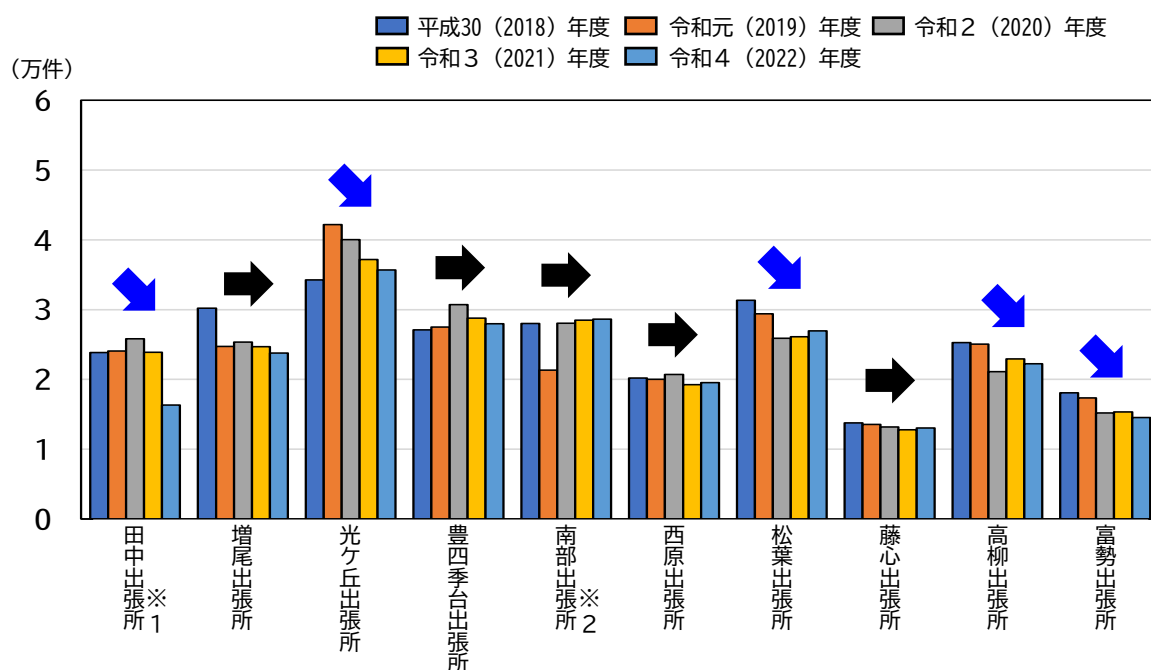
● 利用状況

- 直近 5 年間の年間利用件数では、田中出張所、光ヶ丘出張所、松葉出張所、高柳出張所、富勢出張所は減少傾向にあります。
- 出張所で利用されている行政サービスのうち、証明書交付等については、平成 28（2016）年 1 月より交付されているマイナンバーカードによりコンビニエンスストアでも行えるようになり、今後は証明書交付等の窓口利用が減少していくことが考えられます。また、富勢出張所を除く 9 つの出張所は近隣センター内に設置されているため、近隣センターのあり方と併せて検討する必要があります。

● コスト状況

- トータルコストは約 2 億 9,158 万円で、施設に係るコストが約 0.3%，人に係るコストが約 99.6%となっています。コストの殆どを人に係るコストが占めており、DX 化等による効率化も検討する必要があります。
- 施設別トータルコストは、光ヶ丘出張所が利用件数と併せて高くなっています。

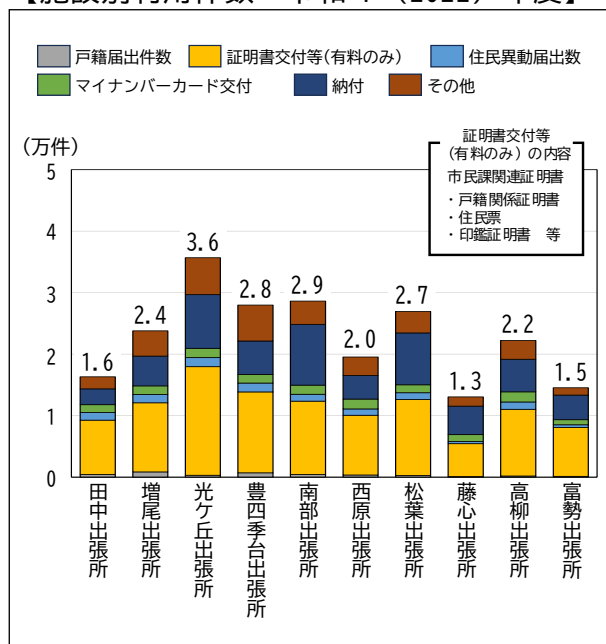
【年度別利用件数の推移】



※1 令和4（2022）年度空調修繕のため一時閉館

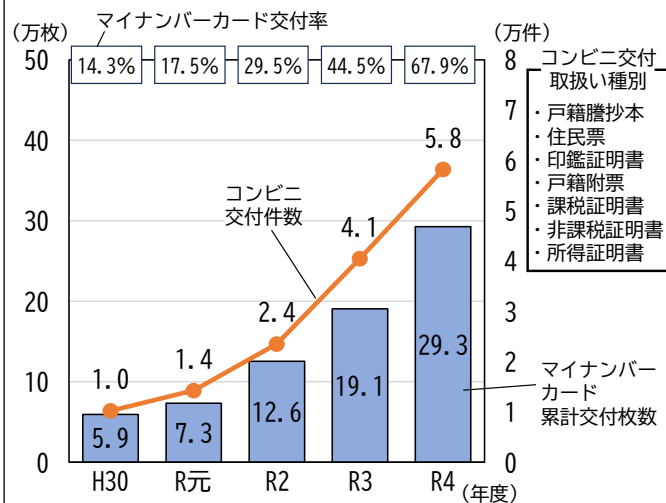
※2 令和元（2019）年度空調修繕のため一時閉館

【施設別利用件数 令和4（2022）年度】

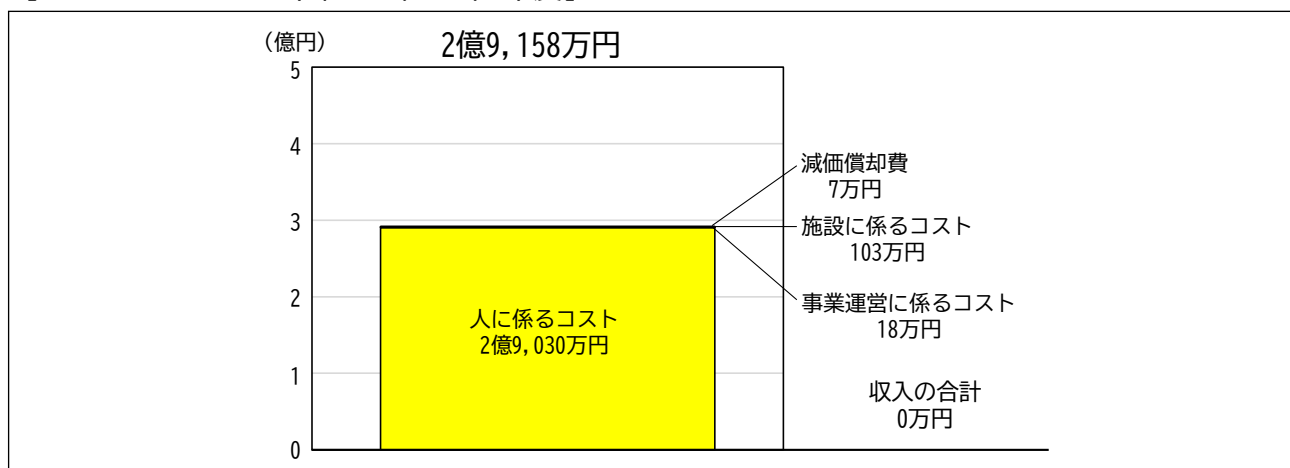


<参考>

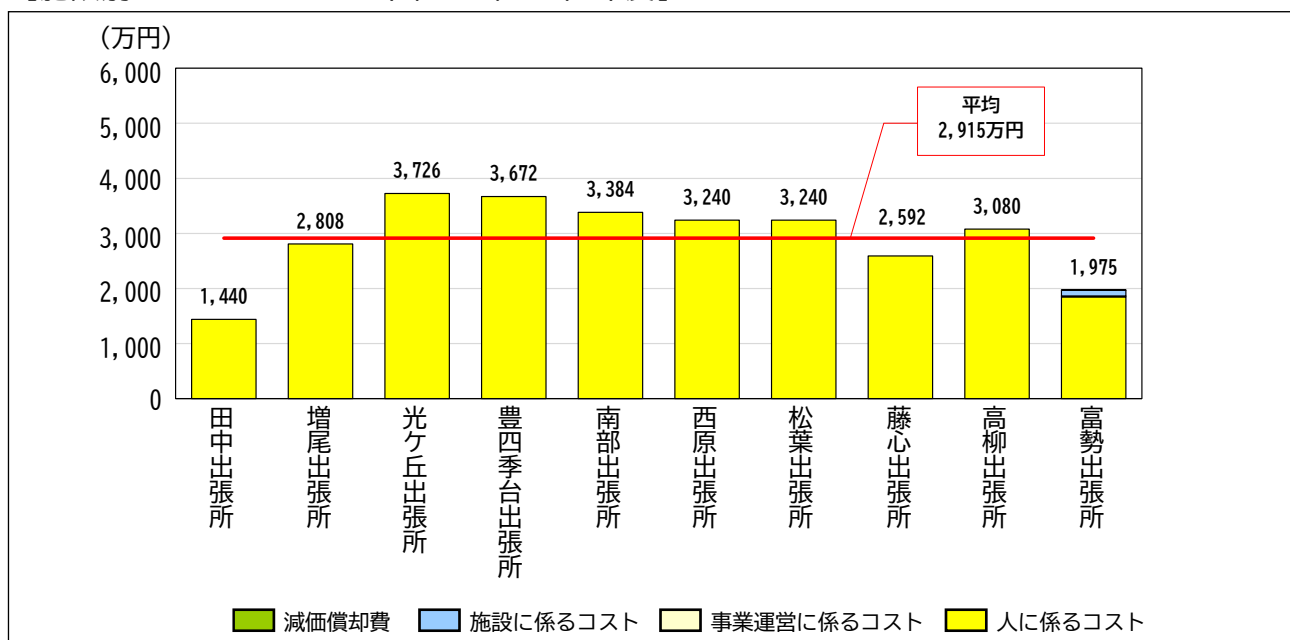
【マイナンバーカード 「累計交付枚数とコンビニ交付件数」】



【トータルコスト 令和4（2022）年度】

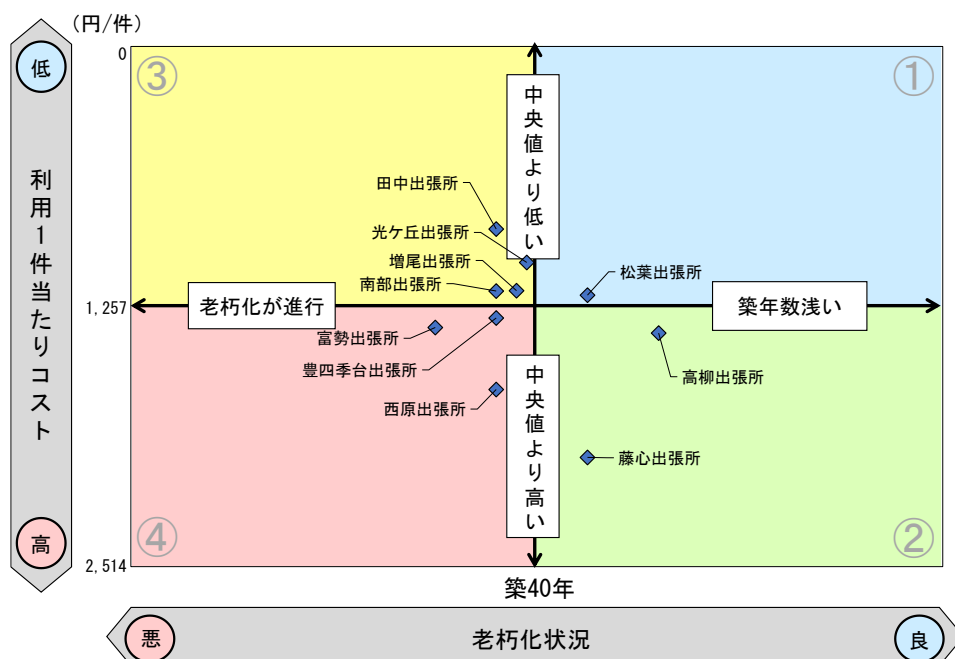


【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 2軸評価

●建物状況と利用1件当たりコスト



⑥ 今後の方向性

- 出張所については、近隣センターの再編の際に、必要最低限の面積かつ市民のニーズを反映した他の機能への転換を想定した整備を行います。また、各種手続きのデジタル化に伴い、対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら市全体の出張所機能のあり方を見直していきます。

⑦ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
1	田中出張所 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	79.75	期末	79.75	79.75		79.75		79.75	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	田中近隣センター(親)、図書館田中分館(子)									敷地面積 (㎡)
2	増尾出張所 S55 (1980)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	61.50	期末	61.50	61.50		61.50		61.50	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	増尾近隣センター(親)、図書館増尾分館(子)									敷地面積 (㎡)
3	光ヶ丘出張所 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	86.00	期末	86.00	86.00		86.00		86.00	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	光ヶ丘近隣センター(親)、図書館光ヶ丘分館(子)、光ヶ丘遊戯室(子)									敷地面積 (㎡)
4	豊四季台出張所 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	90.00	期末	90.00	90.00		90.00		90.00	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	豊四季台近隣センター(親)									敷地面積 (㎡)
5	南部出張所 S53 (1978)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)				その他					
		延床面積 (㎡)	期首	70.20	期末	81.66	81.66		81.66		81.66	
		内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備した。 (第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	南部近隣センター(親)、図書館南部分館(子)、南部こどもの広場(子)									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	西原出張所 S53 (1978)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	72.00	期末	72.00	72.00		72.00		72.00	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	西原近隣センター(親)、図書館西原分館(子)								敷地面積 (㎡)	992.87
7	松葉出張所 S62 (1987)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	76.95	期末	76.95	76.95		76.95		76.95	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	松葉近隣センター(親)、図書館松葉分館(子)								敷地面積 (㎡)	5,002.02
8	藤心出張所 S62 (1987)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	64.60	期末	64.60	64.60		64.60		64.60	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	藤心近隣センター(親)、図書館藤心分館(子)								敷地面積 (㎡)	2,014.53
9	高柳出張所 H6 (1994)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	84.30	期末	84.30	84.30		84.30		84.30	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	複合施設(子)	複合施設名	高柳近隣センター(親)、図書館高柳分館(子)								敷地面積 (㎡)	2,787.33
10	富勢出張所 S47 (1972)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					その他					
		延床面積 (㎡)	期首	118.48	期末	118.48	118.48		118.48		118.48	
		内容	(第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	912.43

19. その他庁舎等

① 施設概要

- ・ その他庁舎等としては、消費生活センターを含む 11 施設が設置されています。
- ・ 柏市計量検査室は、柏市が中核市へ移行したことにより、計量特定市に指定を受け設置されています。
- ・ 柏市観光案内所は、柏駅周辺を中心に多くの市民や来街者でにぎわう中、市政情報や交通情報及び地域情報等を、民間と行政の区別なくワンストップで提供するために設置されています。
- ・ また、文化財整理室は、発掘された遺物の整理や保管を行うために設置されています。

【施設一覧】

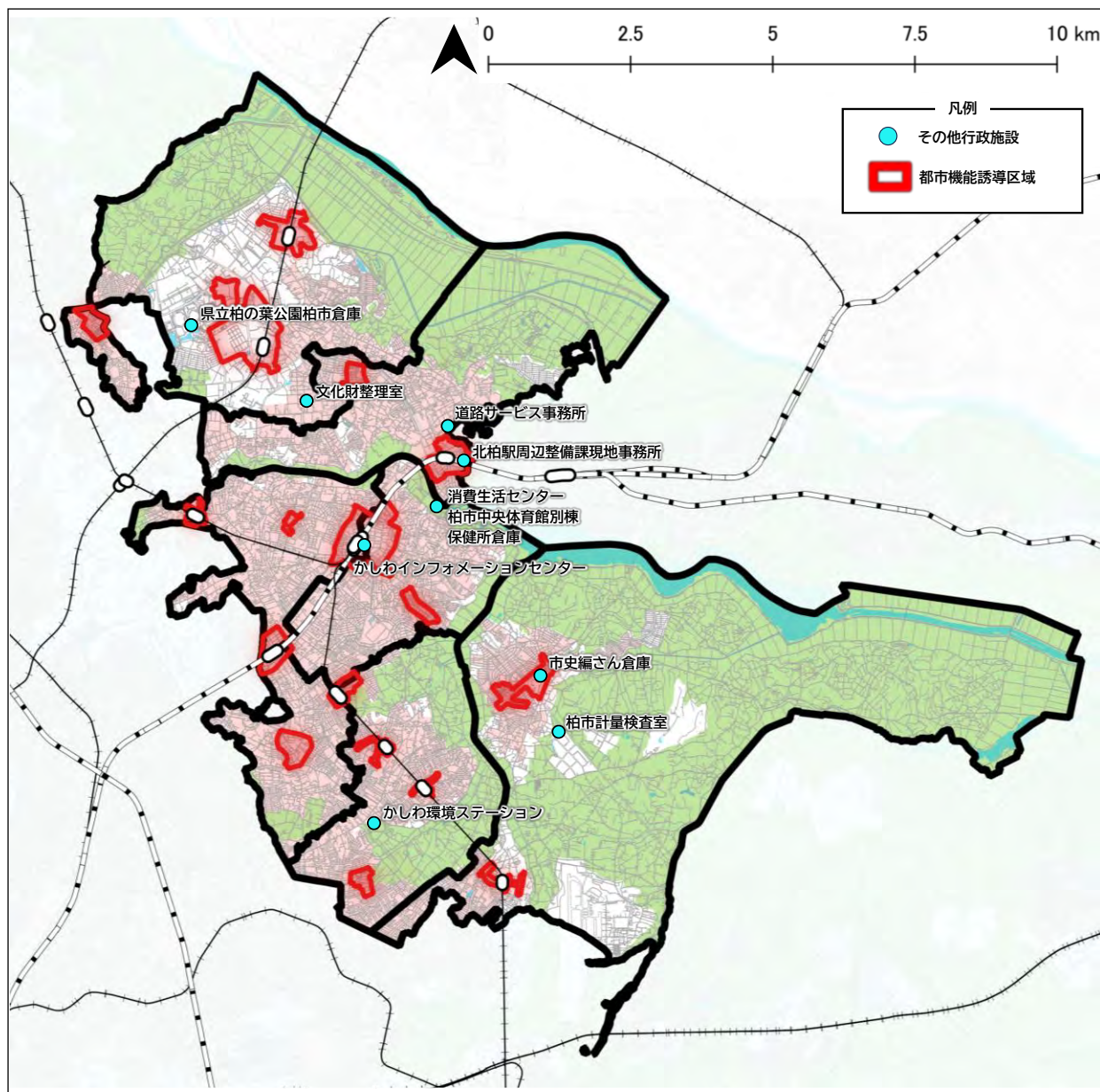
■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	消費生活センター	中央2	柏市柏下73	171.63	S51	46	中央体育館管理棟内に設置
2	柏市計量検査室	沼南	柏市風早一丁目2-1	197.33	H14	20	
3	北柏駅周辺整備課現地事務所	北部2	柏市根戸1854-8	206.77	H20	14	
4	道路サービス事務所	北部2	柏市根戸432-4	1,093.96	S48	49	
5	文化財整理室	北部1	柏市十余二313-649	2,070.45	H12	22	
6	柏市観光案内所※	中央1	柏市柏一丁目822-64	237.37	S48	49	ファミリーかわ内に設置
7	かわ環境ステーション	南部1	柏市南増尾56-2	124.37	H16	18	柏市第二清掃工場内に設置
8	柏市中央体育館別棟	中央2	柏市柏下73	161.72	H10	24	
9	保健所倉庫	中央2	柏市柏下73	202.22	H4	30	
10	市史編さん倉庫	沼南	柏市大島田25	120.00	S57	40	
11	県立柏の葉公園柏市倉庫	北部1	柏市柏の葉四丁目1	121.09	H15	19	

※令和7（2025）年4月1日現在

合計 4,706.91

② 配置状況



③ 今後の方向性

- その他庁舎等の施設は、利用状況や市で所有する必要性を踏まえて、総量の抑制を図ります。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	消費生活センター S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								移転＋集約化(同種の施設を受入れ) ＋廃止(既存施設)			
		延床面積 (㎡)	期首	171.63	期末	171.63	171.63			0.00		0.00	
		内容	(第3期) 親施設(中央体育館管理棟)の廃止にあわせて、既存施設は廃止をし、柏駅周辺の民間施設や、本庁舎等に移転を行う。なお、計量検査室の機能を移転先で集約化する。※縮減された面積は、中央体育館管理棟に加算。										
	複合施設(子)	複合施設名	中央体育館管理棟(親)								敷地面積 (㎡)	17,373.23	
2	柏市計量検査室 H14 (2002)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								(廃止して他の施設と)集約化		除却	
		延床面積 (㎡)	期首	197.33	期末	197.33	197.33			197.33		0.00	
		内容	(第3期) 消費生活センターと計量検査室は統合した方が、コスト的にも管理の上でも効率的であるため、当該施設は廃止の上、機能を消費生活センターに集約化する。 (第4期) 老朽化にあわせて建物を除却する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,763.67	
3	北柏駅周辺整備課現 地事務所 H20 (2008)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				廃止＋除却						
		延床面積 (㎡)	期首	196.78	期末	206.77	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第1期) 令和2(2020)年度に物置を新設した。 (第2期) 当該施設は、令和8(2026)年度完了予定の北柏駅北口土地区画整理事業を施行する現地事務所であり、事業完了後は不要となるため、施設を廃止し、建物を除却する。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	225.24	
4	道路サービス事務所 S48 (1973)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					移転(一部)			除却(一部)			
		延床面積 (㎡)	期首	1,093.96	期末	1,093.96	1,093.96			775.96		775.96	
		内容	(第2期) 定年退職等による職員の減少により、事務所機能が過大となった場合については、資材置場機能は存続させ、事務所機能は分庁舎1等へ移転をする。(時期未定) (第3期) 目標使用年数にあわせて、建物の一部除却を図る。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,250.57	
5	文化財整理室 H12 (2000)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	その他										
		延床面積 (㎡)	期首	2,070.45	期末	2,070.45	2,070.45			2,070.45		2,070.45	
		内容	(第1期) 埋蔵文化財出土遺物の収蔵量増加は避けられないため、市史資料、美術品を含めた文化財全体の収蔵方法・活用のあり方とともに施設の方向性を検討した。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,080.06	

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	柏市観光案内所 S48 (1973)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組					その他＋転用						
		延床面積 (㎡)	期首	162.55	期末	162.55	237.37			237.37		237.37	
		内容	(第2期) 令和6(2024)年度末でかしわインフォメーションセンターを廃止し、新たに柏市観光案内所として、既存の場所で運営を開始する。※延床面積増加分は、旧柏駅前行政サービスセンターから転用。										
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	－
7	かしわ環境ステーション H16 (2004)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	124.37	期末	124.37	124.37			124.37		124.37	
		内容											
	複合施設(子)	複合施設名	柏市第二清掃工場(親)									敷地面積 (㎡)	37,678.33
8	柏市中央体育館 別棟 H10 (1998)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組								廃止＋除去			
		延床面積 (㎡)	期首	161.72	期末	161.72	161.72			0.00		0.00	
		内容	(第3期) 中央体育館の建替または移転にあわせ、方針を検討する。										
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	17,373.23
9	保健所倉庫 H4 (1992)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組					その他			廃止＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	202.22	期末	202.22	202.22			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 建物の老朽化にあわせて、大規模な改修を行うよりも、代替場所の確保を検討する。また、書類はデータ化を推進し、格納物の削減を図る。 (第3期) 配置換えなどにより、総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)内を中心に代替場所が確保されれば、格納されている書類等を移動し、施設を廃止の上、建物を除却する。										
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	17,373.23
10	市史編さん倉庫 S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17(2035)～R26 (2044)		第4期 R27(2045)～R36 (2054)	
		取組	その他							その他			
		延床面積 (㎡)	期首	120.00	期末	120.00	120.00			120.00		0.00	
		内容	(第1期) 令和2(2020)年、令和3(2021)年に、建物の老朽化を踏まえながら、文化財全体の収蔵方法・活用のあり方とともに施設の方向性を検討した。 (第3期) 文化財全体の収蔵方法・活用のあり方とともに施設の方向性を検討する。										
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	2,757.22

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	県立柏の葉公園柏市 倉庫 H15 (2003)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組										除却＋その他	
		延床面積 (㎡)	期首	121.09	期末	121.09	121.09			121.09		0.00	
		内容	(第4期) 老朽化にあわせて建物を除却する。なお、格納されている物品については、必要に応じて代替場所を確保し、移転の検討をする。										
	－	複合 施設名	－									敷地面積 (㎡)	－

20. 消防庁舎

① 施設概要

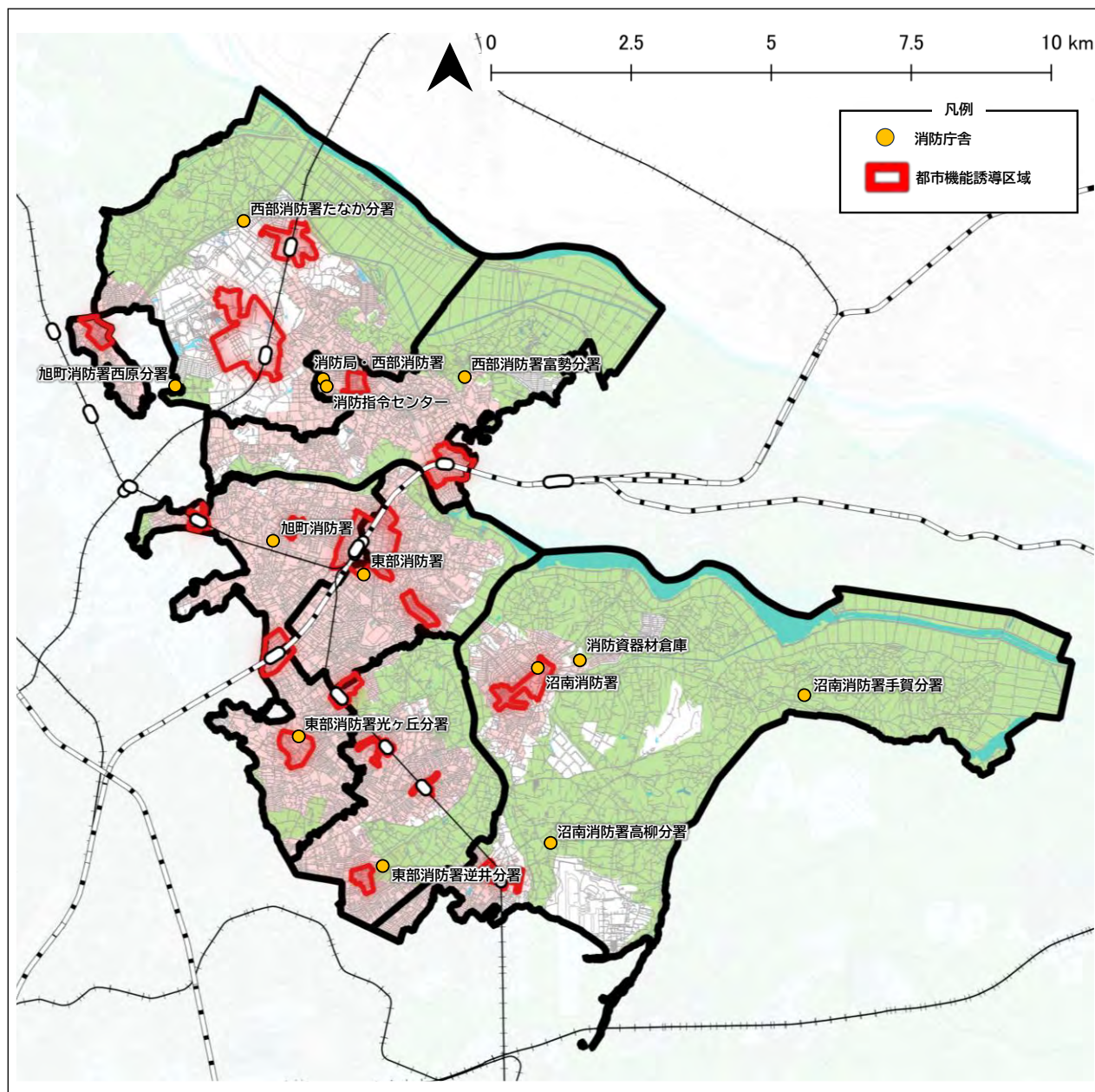
- ・ 消防庁舎は、市内に 13 施設あります。
- ・ 消防庁舎の施設は、保有する施設と人員を活用して、市民の生命や身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災や地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うために設置されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	消防局・西部消防署	北部2	柏市松葉町七丁目 1 6 - 7	3,574.74	S54	43	
2	消防指令センター	北部2	柏市松葉町七丁目 1 7 - 1	580.96	H8	26	
3	西部消防署富勢分署	北部2	柏市布施 7 6 4	1,205.50	H21	13	
4	西部消防署たなか分署	北部1	柏市船戸一丁目 1 9 - 2	884.96	H26	8	
5	東部消防署	中央2	柏市中央二丁目 1 0 - 3	1,717.47	S60	37	
6	東部消防署逆井分署	南部1	柏市逆井 1 4 4 4 - 1 0	1,171.63	H6	28	
7	東部消防署光ヶ丘分署	南部2	柏市東中新宿四丁目 4 - 2 5	674.11	S59	38	
8	旭町消防署	中央1	柏市篠籠田 9 4 4 - 1	877.32	S63	34	
9	旭町消防署西原分署	北部1	柏市十余二 1 5 5 - 1 8	799.91	H2	32	
10	沼南消防署	沼南	柏市大津ヶ丘一丁目 5 6 - 1 2	1,020.15	S54	43	
11	沼南消防署高柳分署	沼南	柏市高柳 8 2 5 - 5	612.20	S60	37	
12	沼南消防署手賀分署	沼南	柏市柳戸 5 1 1 - 1 0	840.45	H23	11	
13	消防資器材倉庫	沼南	柏市大島田 1 5 3 - 1	131.96	H4	30	
合計				14,091.36			

② 配置状況



③ 今後の方向性

- 消防庁舎は、半径 2.1 km を圏域とし、全市をカバーするように配置されています。これは設置基準を概ね満たすものであり、今後も現状の施設数を維持していく必要があります。移転を伴う建替を検討する場合には、この圏域に十分配慮する必要があります。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
1	消防局・西部消防署 S54 (1979)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							建替 (＋移転)			
		延床面積 (㎡)	期首	3,574.74	期末	3,574.74	3,574.74		3,574.74		3,574.74	
		内容	(第3期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、建築当初と違い、北部地域で大幅な人口増が予測されていることから、管内配置のバランスも視野に入れながら、移転も含めて検討を行う。									
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	3,300.00
2	消防指令センター H8 (1996)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	廃止 (一部) ＋ 転用 (一部) ＋ 新設									
		延床面積 (㎡)	期首	526.00	期末	580.96	580.96		580.96		580.96	
		内容	(第1期) 令和2 (2020) 年度に遠隔制御部門を残し、ちば北西部消防指令センターへ機能移転。令和3 (2021) 年度に指揮統制課事務室を移動、内装改修工事を実施、大規模災害時に災害対策指揮本部を設置できるよう整備。令和4 (2022) 年度に車庫新設。									
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	1,026.74
3	西部消防署富勢分署 H21 (2009)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,205.50	期末	1,205.50	1,205.50		1,205.50		1,205.50	
		内容										
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	11,594.03
4	西部消防署たなか分署 H26 (2014)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	884.96	期末	884.96	884.96		884.96		884.96	
		内容										
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	1,398.81
5	東部消防署 S60 (1985)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									建替	
		延床面積 (㎡)	期首	1,717.47	期末	1,717.47	1,717.47		1,717.47		1,717.47	
		内容	(第4期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替とする。									
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	1,356.85

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	東部消防署逆井分署 H6 (1994)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組										建替	
		延床面積 (㎡)	期首	1,171.63	期末	1,171.63	1,171.63			1,171.63		1,171.63	
		内容	(第4期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替とする。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,932.12
7	東部消防署光ヶ丘分署 S59 (1984)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								建替			
		延床面積 (㎡)	期首	674.11	期末	674.11	674.11			674.11		674.11	
		内容	(第3期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替とする。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,249.62
8	旭町消防署 S63 (1988)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	新設									建替	
		延床面積 (㎡)	期首	858.81	期末	877.32	877.32			877.32		877.32	
		内容	(第1期) 令和4(2022)年度に車庫を新設。 (第4期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替とする。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,039.01
9	旭町消防署西原分署 H2 (1990)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組										建替	
		延床面積 (㎡)	期首	799.91	期末	799.91	799.91			799.91		799.91	
		内容	(第4期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替とする。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,570.61
10	沼南消防署 S54 (1979)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								建替(＋移転)			
		延床面積 (㎡)	期首	1,020.15	期末	1,020.15	1,020.15			1,020.15		1,020.15	
		内容	(第3期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、2012年度に手賀分署が開設したことにより、管内配置のバランスが変わったことから、移転も含めて検討を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,216.83

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
11	沼南消防署高柳分署 S60 (1985)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							建替			
		延床面積 (㎡)	期首	612.20	期末	612.20	612.20		612.20		612.20	
		内容	(第3期) 目標使用年数にあわせて建替をする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替とする。									
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,505.88
12	沼南消防署手賀分署 H23 (2011)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	840.45	期末	840.45	840.45		840.45		840.45	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,280.71
13	消防資器材倉庫 H4 (1992)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	転用								除却	
		延床面積 (㎡)	期首	131.96	期末	131.96	131.96		131.96			
		内容	(第1期) 令和2(2020)年度に公園管理室分室から消防資器材倉庫に転用した。 (第4期) 継続して建物の有効活用が図られなければ、目標使用年数をもって除却をする。									
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	164.47

21. 消防団器具置場

① 施設概要

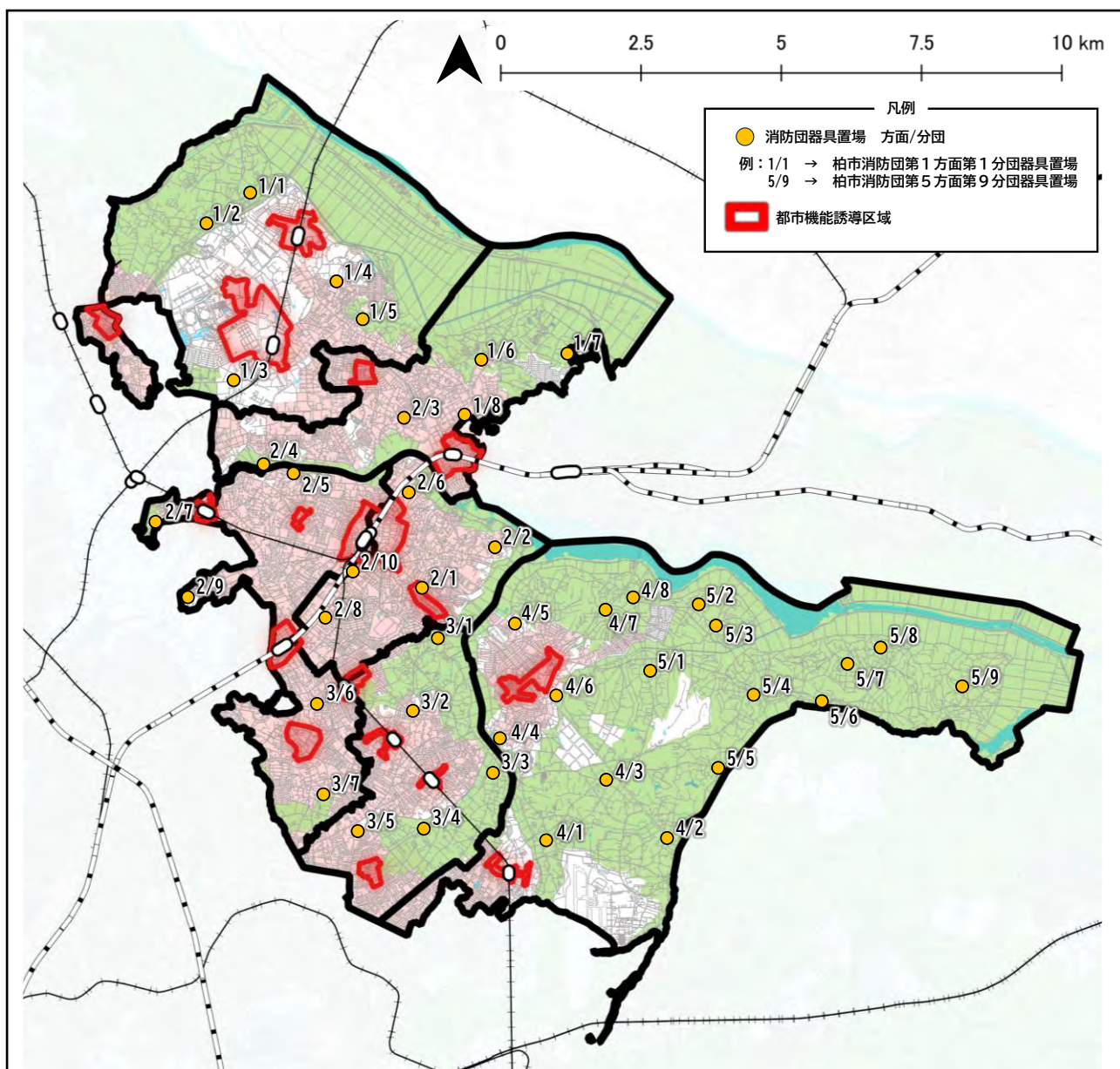
- ・ 消防団器具置場は、市内に 42 施設あります。
- ・ 消防団器具置場は、柏市消防力の合理的な運営を図るため、各地域の消防団拠点施設として整備されており、消防活動に必要な機械器具等が格納されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏市消防団第1方面第1分団器具置場	北部1	柏市船戸1950-12	96.39	H17	17	
2	柏市消防団第1方面第2分団器具置場	北部1	柏市大青田1529-10	110.50	H23	11	
3	柏市消防団第1方面第3分団器具置場	北部1	柏市十余二404-46	57.96	H2	32	
4	柏市消防団第1方面第4分団器具置場	北部1	柏市大室1398	110.50	H27	7	
5	柏市消防団第1方面第5分団器具置場	北部1	柏市花野井864-8	105.40	H19	15	
6	柏市消防団第1方面第6分団器具置場	北部2	柏市布施523-1	110.50	H26	8	
7	柏市消防団第1方面第7分団器具置場	北部2	柏市布施2278	57.96	H元	33	
8	柏市消防団第1方面第8分団器具置場	北部2	柏市根戸470-82	89.44	H28	6	
9	柏市消防団第2方面第1分団器具置場	中央2	柏市東三丁目2-17	110.50	H22	12	
10	柏市消防団第2方面第2分団器具置場	中央2	柏市戸張1411-1	89.44	H28	6	
11	柏市消防団第2方面第3分団器具置場	北部2	柏市松ヶ崎319-2	89.44	R元	3	
12	柏市消防団第2方面第4分団器具置場	北部2	柏市高田382-3	119.00	H8	26	
13	柏市消防団第2方面第5分団器具置場	中央1	柏市篠籠田1266-2	119.60	H13	21	
14	柏市消防団第2方面第6分団器具置場	中央2	柏市柏436-1	121.62	H11	23	
15	柏市消防団第2方面第7分団器具置場	中央1	柏市豊四季104-1	57.96	H2	32	
16	柏市消防団第2方面第8分団器具置場	中央2	柏市豊四季951-10	90.50	R元	3	
17	柏市消防団第2方面第9分団器具置場	中央1	柏市豊四季945-1	57.96	H元	33	
18	柏市消防団第2方面第10分団器具置場	中央1	柏市泉町6-53	82.88	R4	0	
19	柏市消防団第3方面第1分団器具置場	南部1	柏市名戸ヶ谷741-9	110.50	H15	19	
20	柏市消防団第3方面第2分団器具置場	南部1	柏市増尾三丁目9-11	119.68	H10	24	
21	柏市消防団第3方面第3分団器具置場	南部1	柏市藤心304-19	110.50	H21	13	
22	柏市消防団第3方面第4分団器具置場	南部1	柏市逆井1240-2	119.00	H8	26	
23	柏市消防団第3方面第5分団器具置場	南部1	柏市南増尾三丁目20-34	110.50	H15	19	
24	柏市消防団第3方面第6分団器具置場	南部2	柏市東中新宿一丁目7-1	105.75	H7	27	
25	柏市消防団第3方面第7分団器具置場	南部2	柏市酒井根45-4	62.10	H3	31	
26	柏市消防団第4方面第1分団器具置場	沼南	柏市高柳511-1	72.80	S57	40	
27	柏市消防団第4方面第2分団器具置場	沼南	柏市藤ヶ谷680-1	80.31	S56	41	
28	柏市消防団第4方面第3分団器具置場	沼南	柏市藤ヶ谷新田4-1	44.87	S56	41	
29	柏市消防団第4方面第4分団器具置場	沼南	柏市塚崎155-3	89.84	R3	1	
30	柏市消防団第4方面第5分団器具置場	沼南	柏市大井863-1	110.50	H24	10	
31	柏市消防団第4方面第6分団器具置場	沼南	柏市大島田526	45.37	S59	38	
32	柏市消防団第4方面第7分団器具置場	沼南	柏市五條谷131	45.37	S59	38	
33	柏市消防団第4方面第8分団器具置場	沼南	柏市箕輪378-3	44.87	S57	40	
34	柏市消防団第5方面第1分団器具置場	沼南	柏市若白毛509	44.88	S58	39	
35	柏市消防団第5方面第2分団器具置場	沼南	柏市岩井425	44.87	S57	40	
36	柏市消防団第5方面第3分団器具置場	沼南	柏市鷺野谷2-1	75.61	S63	34	
37	柏市消防団第5方面第4分団器具置場	沼南	柏市泉1348	70.48	H2	32	
38	柏市消防団第5方面第5分団器具置場	沼南	柏市金山491	44.87	S56	41	
39	柏市消防団第5方面第6分団器具置場	沼南	柏市柳戸497-2	44.88	S58	39	
40	柏市消防団第5方面第7分団器具置場	沼南	柏市片山730-6	70.00	H15	19	
41	柏市消防団第5方面第8分団器具置場	沼南	柏市手賀713-1	60.28	S59	38	
42	柏市消防団第5方面第9分団器具置場	沼南	柏市布瀬1617-2	59.78	S58	39	
合計				3,465.16			

② 配置状況



【施設凡例】

地図 標記	施設名	地図 標記	施設名	地図 標記	施設名
1/1	柏市消防団第1方面第1分団器具置場	2/7	柏市消防団第2方面第7分団器具置場	4/4	柏市消防団第4方面第4分団器具置場
1/2	柏市消防団第1方面第2分団器具置場	2/8	柏市消防団第2方面第8分団器具置場	4/5	柏市消防団第4方面第5分団器具置場
1/3	柏市消防団第1方面第3分団器具置場	2/9	柏市消防団第2方面第9分団器具置場	4/6	柏市消防団第4方面第6分団器具置場
1/4	柏市消防団第1方面第4分団器具置場	2/10	柏市消防団第2方面第10分団器具置場	4/7	柏市消防団第4方面第7分団器具置場
1/5	柏市消防団第1方面第5分団器具置場	3/1	柏市消防団第3方面第1分団器具置場	4/8	柏市消防団第4方面第8分団器具置場
1/6	柏市消防団第1方面第6分団器具置場	3/2	柏市消防団第3方面第2分団器具置場	5/1	柏市消防団第5方面第1分団器具置場
1/7	柏市消防団第1方面第7分団器具置場	3/3	柏市消防団第3方面第3分団器具置場	5/2	柏市消防団第5方面第2分団器具置場
1/8	柏市消防団第1方面第8分団器具置場	3/4	柏市消防団第3方面第4分団器具置場	5/3	柏市消防団第5方面第3分団器具置場
2/1	柏市消防団第2方面第1分団器具置場	3/5	柏市消防団第3方面第5分団器具置場	5/4	柏市消防団第5方面第4分団器具置場
2/2	柏市消防団第2方面第2分団器具置場	3/6	柏市消防団第3方面第6分団器具置場	5/5	柏市消防団第5方面第5分団器具置場
2/3	柏市消防団第2方面第3分団器具置場	3/7	柏市消防団第3方面第7分団器具置場	5/6	柏市消防団第5方面第6分団器具置場
2/4	柏市消防団第2方面第4分団器具置場	4/1	柏市消防団第4方面第1分団器具置場	5/7	柏市消防団第5方面第7分団器具置場
2/5	柏市消防団第2方面第5分団器具置場	4/2	柏市消防団第4方面第2分団器具置場	5/8	柏市消防団第5方面第8分団器具置場
2/6	柏市消防団第2方面第6分団器具置場	4/3	柏市消防団第4方面第3分団器具置場	5/9	柏市消防団第5方面第9分団器具置場

③ 今後の方向性

- 消防団器具置場は，目標使用年数を見据えて，施設ごとの整備の方向性を各消防団や地域住民と協議して定めます。この中で，集約化や施設規模の縮減（ダウンサイジング）なども検討します。
- 存続させる施設については，日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し，施設の健全度の確保を図ります。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
1	柏市消防団第1方面第1分団 器具置場 H17 (2005)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	96.39	期末	96.39	96.39		96.39		96.39	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	205.76
2	柏市消防団第1方面第2分団 器具置場 H23 (2011)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	305.18
3	柏市消防団第1方面第3分団 器具置場 H2 (1990)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	57.96	期末	57.96	57.96		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。※令和22 (2040) 年度に実施予定。									
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	116.95
4	柏市消防団第1方面第4分団 器具置場 H27 (2015)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	375.82
5	柏市消防団第1方面第5分団 器具置場 H19 (2007)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	105.40	期末	105.40	105.40		105.40		105.40	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	248.84

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	柏市消防団第1方面第6分団 器具置場 H26(2014)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
7	柏市消防団第1方面第7分団 器具置場 H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	57.96	期末	57.96	57.96		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。※令和22(2040)年度に実施予定。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
8	柏市消防団第1方面第8分団 器具置場 H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転+建替+拡大								現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	89.44	期末	89.44	89.44		89.44		89.44	
		内容	(第1期) ※平成28(2016)年度に規模を拡大の上、移転・建替を実施した。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
9	柏市消防団第2方面第1分団 器具置場 H22(2010)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
10	柏市消防団第2方面第2分団 器具置場 H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転+建替+拡大								現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	89.44	期末	89.44	89.44		89.44		89.44	
		内容	(第1期) ※平成28(2016)年度に規模を拡大の上、移転・建替を実施した。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	柏市消防団第2方面第3分団 器具置場 R元(2019)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転＋建替＋拡大										
		延床面積 (㎡)	期首	39.74	期末	89.44	89.44			89.44		89.44	
		内容	(第1期) ※令和元(2019)年度に規模を拡大の上、移転・建替を実施した。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	300.00
12	柏市消防団第2方面第4分団 器具置場 H8(1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	119.00	期末	119.00	119.00			119.00		119.00	
		内容											
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	199.49
13	柏市消防団第2方面第5分団 器具置場 H13(2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	119.60	期末	119.60	119.60			119.60		119.60	
		内容											
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	183.47
14	柏市消防団第2方面第6分団 器具置場 H11(1999)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	121.62	期末	121.62	121.62			121.62		121.62	
		内容											
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	219.67
15	柏市消防団第2方面第7分団 器具置場 H2(1990)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	57.96	期末	57.96	57.96			90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。※令和22(2040)年度に実施予定。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	131.58

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
16	柏市消防団第2方面第8分団 器具置場 R元(2019)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転＋建替＋拡大									
		延床面積 (㎡)	期首	38.88	期末	90.50	90.50		90.50		90.50	
		内容	(第1期) ※令和元(2019)年度に規模を拡大の上、移転・建替を実施した。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
17	柏市消防団第2方面第9分団 器具置場 H元(1989)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	57.96	期末	57.96	57.96		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。※令和21(2039)年度に実施予定。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
18	柏市消防団第2方面第10分 団器具置場 R4(2022)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転＋建替＋拡大									
		延床面積 (㎡)	期首	74.07	期末	82.88	82.88		82.88		82.88	
		内容	(第1期) ※令和4(2022)年度に規模を拡大の上、移転・建替を実施した。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
19	柏市消防団第3方面第1分団 器具置場 H15(2003)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
20	柏市消防団第3方面第2分団 器具置場 H10(1998)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	119.68	期末	119.68	119.68		119.68		119.68	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
21	柏市消防団第3方面第3分団 器具置場 H21 (2009)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
22	柏市消防団第3方面第4分団 器具置場 H8 (1996)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	119.00	期末	119.00	119.00		119.00		119.00	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
23	柏市消防団第3方面第5分団 器具置場 H15 (2003)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
24	柏市消防団第3方面第6分団 器具置場 H7 (1995)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組									移転＋建替＋縮小	
		延床面積 (㎡)	期首	105.75	期末	105.75	105.75		105.75		90.00	
		内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、他の消防団器具置場に比べて過大なため、規模の縮小を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
25	柏市消防団第3方面第7分団 器具置場 H3 (1991)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	62.10	期末	62.10	62.10		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
26	柏市消防団第4方面第1分団 器具置場 S57(1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	72.80	期末	72.80	72.80		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
27	柏市消防団第4方面第2分団 器具置場 S56(1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	80.31	期末	80.31	80.31		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
28	柏市消防団第4方面第3分団 器具置場 S56(1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	44.87	期末	44.87	44.87		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
29	柏市消防団第4方面第4分団 器具置場 R3(2021)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	移転+建替+縮小									
		延床面積 (㎡)	期首	92.78	期末	89.84	89.84		89.84		89.84	
		内容	(第1期) ※令和3(2021)年度に規模を拡大の上、移転・建替を実施した。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
30	柏市消防団第4方面第5分団 器具置場 H24(2012)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	110.50	期末	110.50	110.50		110.50		110.50	
		内容										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
31	柏市消防団第4方面第6分団 器具置場 S59 (1984)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	45.37	期末	45.37	45.37		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
32	柏市消防団第4方面第7分団 器具置場 S59 (1984)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	45.37	期末	45.37	45.37		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
33	柏市消防団第4方面第8分団 器具置場 S57 (1982)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	44.87	期末	44.87	44.87		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
34	柏市消防団第5方面第1分団 器具置場 S58 (1983)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	44.88	期末	44.88	44.88		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)
35	柏市消防団第5方面第2分団 器具置場 S57 (1982)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)		第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組							移転+建替+拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	44.87	期末	44.87	44.87		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
36	柏市消防団第5方面第3分団 器具置場 S63 (1988)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組										移転＋建替＋拡大	
		延床面積 (㎡)	期首	75.61	期末	75.61	75.61			75.61		90.00	
		内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。										
	－	複合 施設名	－									敷地面積 (㎡)	127.45
37	柏市消防団第5方面第4分団 器具置場 H2 (1990)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組										移転＋建替＋拡大	
		延床面積 (㎡)	期首	70.48	期末	70.48	70.48			70.48		90.00	
		内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。										
	－	複合 施設名	－									敷地面積 (㎡)	99.17
38	柏市消防団第5方面第5分団 器具置場 S56 (1981)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組								移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	44.87	期末	44.87	44.87			90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。										
	－	複合 施設名	－									敷地面積 (㎡)	214.56
39	柏市消防団第5方面第6分団 器具置場 S58 (1983)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組								移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	44.88	期末	44.88	44.88			90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。										
	－	複合 施設名	－									敷地面積 (㎡)	140.43
40	柏市消防団第5方面第7分団 器具置場 H15 (2003)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	70.00	期末	70.00	70.00			70.00		70.00	
		内容											
	－	複合 施設名	－									敷地面積 (㎡)	300.53

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
41	柏市消防団第5方面第8分団 器具置場 S59 (1984)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	60.28	期末	60.28	60.28		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	－	複合 施設名	－								敷地面積 (㎡)	103.82
42	柏市消防団第5方面第9分団 器具置場 S58 (1983)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)		第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組							移転＋建替＋拡大			
		延床面積 (㎡)	期首	59.78	期末	59.78	59.78		90.00		90.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替をする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。									
	－	複合 施設名	－								敷地面積 (㎡)	103.07

22. 環境施設

① 施設概要

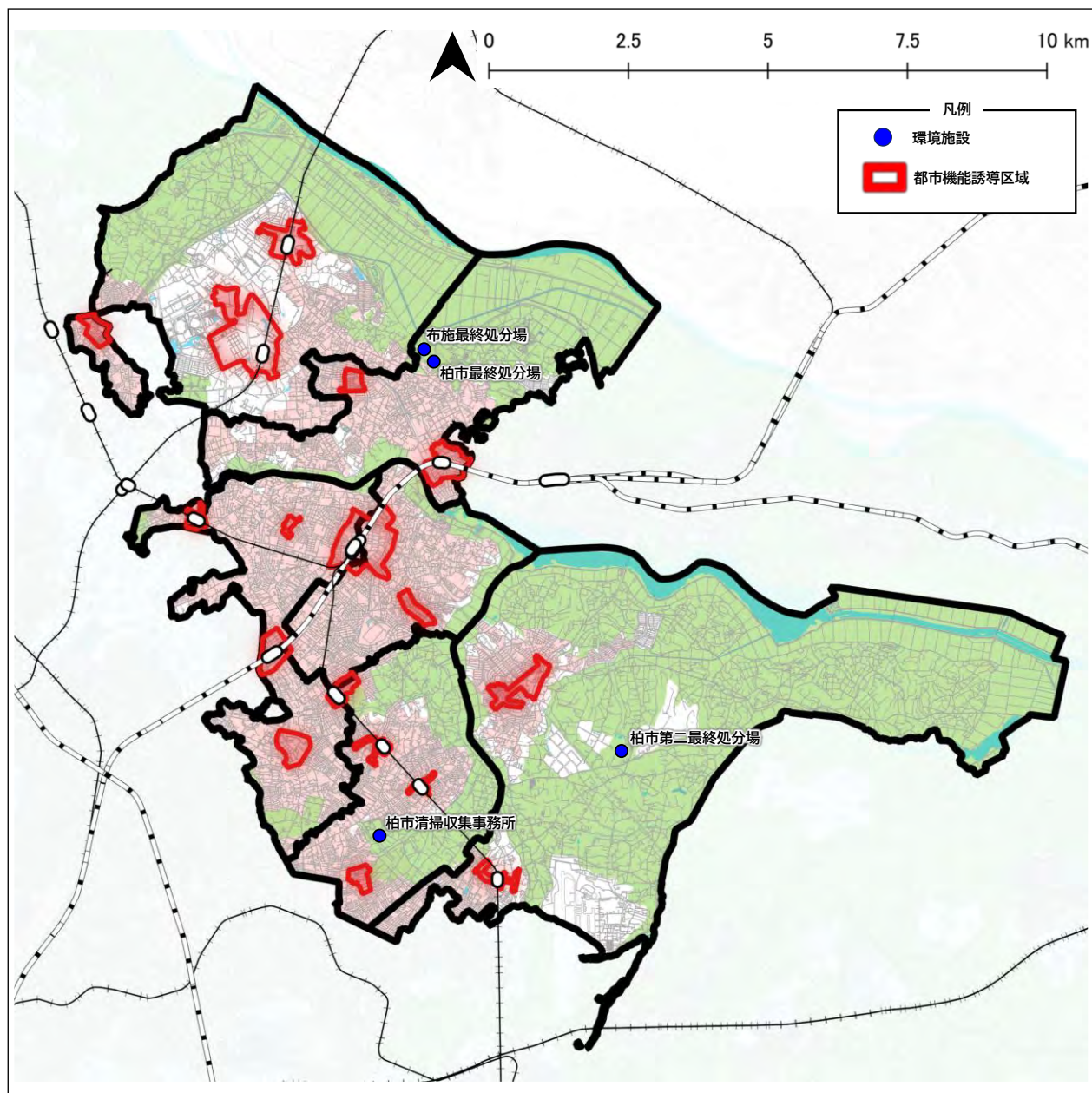
- ・環境施設として、清掃収集事務所と最終処分場3施設の合計4施設があります。
- ・清掃収集事務所は、柏南部地域のごみの収集、ごみ出し指導をする作業員の拠点として設置されています。
- ・最終処分場は、柏市最終処分場、布施最終処分場、柏市第二最終処分場の3施設があり、柏市最終処分場は、平成4（1992）年度に一般廃棄物最終処分場として埋立が開始され、平成23（2011）年度に埋立を終了し、現在は水処理と場内管理業務を行っています。
- ・布施最終処分場は、昭和53（1978）年度に一般廃棄物最終処分場として埋立が開始され、平成3（1991）年度に埋立を終了し、現在は水処理と場内管理業務を行っています。なお、平成18（2006）年度に跡地整備として一部を公園化し、一般開放しています。また、柏市第二最終処分場は、平成16（2004）年度にクリーンセンターしらさぎから排出される不燃残渣処理のため埋立が開始されましたが、平成22（2010）年度に埋立搬入を中止し、現在は浸出水処理及び柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の分別ごみの計量を行っています。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏市清掃収集事務所	南部1	柏市南増尾57-1	2,397.17	H2	32	
2	柏市最終処分場	北部2	柏市布施71	414.81	H3	31	
3	布施最終処分場	北部2	柏市布施54	382.26	S54	43	
4	柏市第二最終処分場	沼南	柏市若白毛749	481.63	H15	19	
合計				3,675.87			

② 配置状況



③ 今後の方向性

- 「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、適正なごみ処理の維持・改善に向けた施設のあり方（必要な機能，規模及び配置など）を検討し，整備を図ります。
- 存続させる施設については，日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し，施設の健全度の確保を図ります。
- 最終処分場は，廃止に向けた処理施設の適正な運転管理を行っていきます。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	柏市清掃収集事務所 H2 (1990)		第1期 H28 (2016) ～R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～R36 (2054)	
		取組								(廃止して他の施設と)複合化		除却	
		延床面積 (㎡)	期首	2,397.17	期末	2,397.17	2,397.17			2,397.17		0.00	
		内容	(第3期) 建物の老朽化の進行に伴い、ごみ収集運搬作業の拠点施設としては機能維持が困難になるため、単独の施設としては廃止をし、事務所としての機能は柏市第二清掃工場内への複合化を検討する。 (第4期) 建物については、目標使用年数をもって除却をする。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	37,678.33
2	柏市最終処分場 H3 (1991)		第1期 H28 (2016) ～R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～R36 (2054)	
		取組										廃止＋その他	
		延床面積 (㎡)	期首	414.81	期末	414.81	414.81			414.81		0.00	
		内容	(第4期) 水質等が安定し、処分場の廃止要件を満たしていれば、目標使用年数にあわせて廃止をし、建物を除却する。なお、処分場の廃止要件を満たさなければ、水処理施設の更新について検討を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	31,384.18
3	布施最終処分場 S54 (1979)		第1期 H28 (2016) ～R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～R36 (2054)	
		取組								廃止＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	382.26	期末	382.26	382.26			0.00		0.00	
		内容	(第3期) 水質等が安定し、処分場の廃止要件を満たしていれば、目標使用年数にあわせて廃止をし、建物を除却する。なお、処分場の廃止要件を満たさなければ、水処理施設の更新について検討を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	76,495.22
4	柏市第二最終処分場 H15 (2003)		第1期 H28 (2016) ～R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～R36 (2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	481.63	期末	481.63	481.63			481.63		481.63	
		内容	(第4期) 施設内で発生している浸出水の管理を行うため、現状のまま存続する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	32,153.52

23. 防災施設

① 施設概要

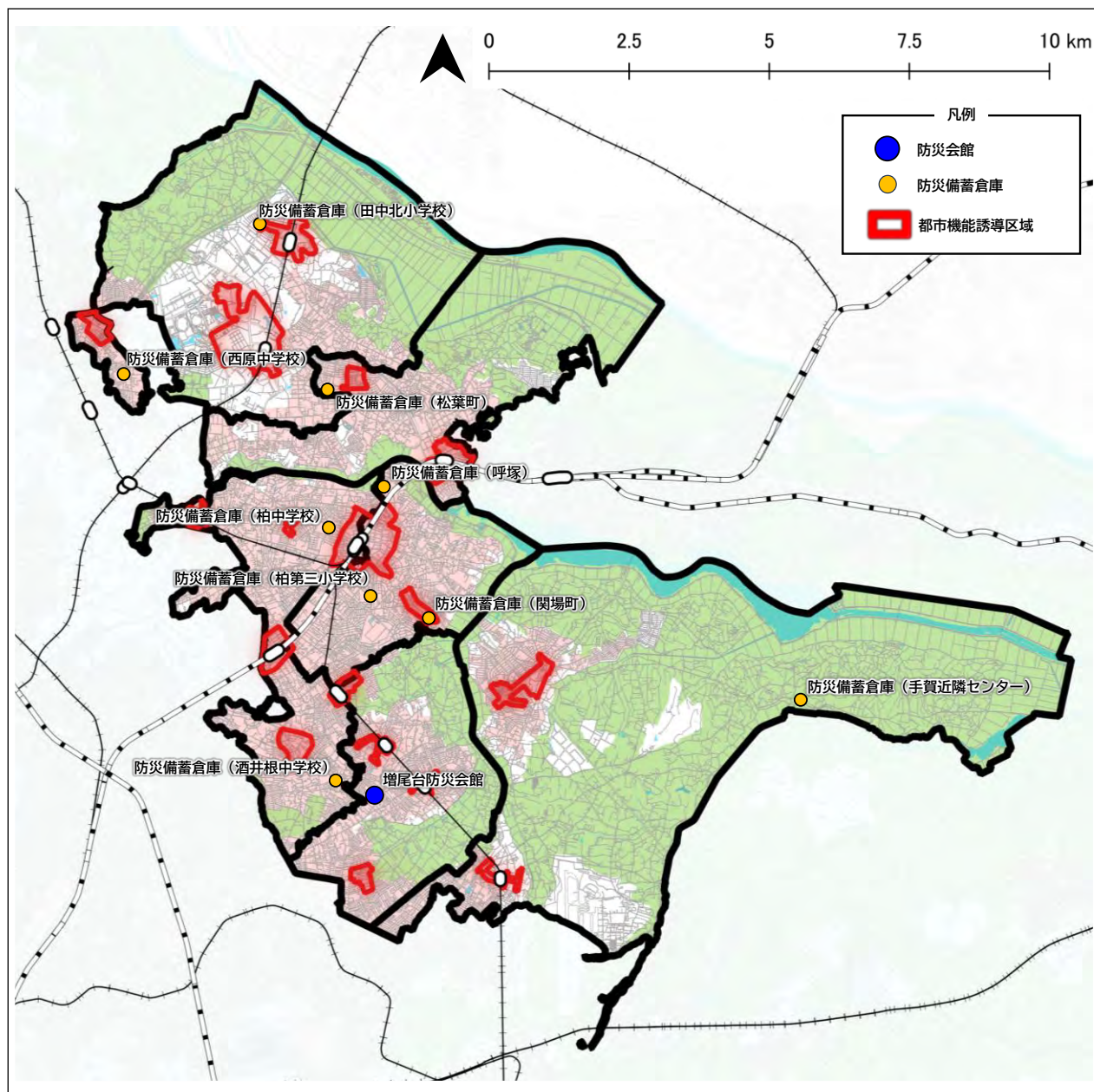
- ・ 増尾台防災会館は、旧東部消防署増尾分署であり、1階部分及び2階部分の一部は防災備蓄倉庫として、2階部分の一部は地域住民が集い交流を深める地域コミュニティ施設として利用されています。
- ・ 防災備蓄倉庫は地域防災の備えとして、食料や生活必需品、防災資機材が備蓄されている倉庫です。

【施設一覧】

■ 築40年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	増尾台防災会館	南部1	柏市増尾台四丁目2148-22	355.50	S50	47	
2	防災備蓄倉庫（西原中学校）	北部1	柏市西原六丁目13-1	100.00	H8	26	
3	防災備蓄倉庫（松葉町）	北部2	柏市松葉町七丁目12-15	55.35	S58	39	
4	防災備蓄倉庫（柏中学校）	中央1	柏市明原四丁目1-1	55.35	S57	40	
5	防災備蓄倉庫（柏第三小学校）	中央2	柏市若葉町4-54	100.00	H8	26	
6	防災備蓄倉庫（関場町）	中央2	柏市関場町842-2	172.50	H8	26	
7	防災備蓄倉庫（酒井根中学校）	南部2	柏市酒井根1905-9	55.35	S57	40	
8	防災備蓄倉庫（手賀近隣センター）	沼南	柏市柳戸511-11	100.11	H27	7	
9	防災備蓄倉庫（呼塚）	中央2	柏市柏255-23	175.35	R4	0	
10	防災備蓄倉庫（田中北小学校）	北部1	柏市船戸一丁目7-6	101.60	R4	0	
合計				1,271.11			

② 配置状況



③ 今後の方向性

- 増尾台防災会館の地域コミュニティ施設としての機能は、更新時期を見据えて廃止に向けた検討を進めます。
- 防災備蓄倉庫は、必要な収容スペースの確保のための整備を進めます。今後整備する防災備蓄倉庫は、単独施設ではなく、複合化を進め、施設整備に係るコストの縮減及び維持管理の効率化を図ります。また、既存の単独防災備蓄倉庫は、集約化を進めます。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
1	増尾台防災会館 S50 (1975)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					(移転＋廃止(既存施設)＋除却)		(移転＋廃止(既存施設)＋除却)			
		延床面積 (㎡)	期首	355.50	期末	355.50	355.50		0.00		0.00	
		内容	(第2期) 県道51号線の交差点改良工事の影響で、将来的に移転を求められるため、施設を廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫の機能は、既存の他施設へと移転を図る。千葉県からの指示等があり次第対応予定。 (第3期) 第2期での改良工事が進まなかった場合は施設を廃止の上、建物を除却予定。									
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	302.65
2	防災備蓄倉庫(西原 中学校) H8 (1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	100.00	期末	100.00	100.00		100.00		100.00	
		内容										
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	20,900.80
3	防災備蓄倉庫(松葉 町) S58 (1983)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転＋廃止(既存施設)＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	55.35	期末	55.35	55.35		0.00		0.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。									
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	210.57
4	防災備蓄倉庫(柏中 学校) S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							(廃止して他の施設と)集約化＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	55.35	期末	55.35	55.35		0.00		0.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、体育館内に設置される防災備蓄倉庫については、他の防災備蓄倉庫との集約化を図る。									
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	40,445.03
5	防災備蓄倉庫(柏第 三小学校) H8 (1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	100.00	期末	100.00	100.00		100.00		100.00	
		内容										
	－	複合施設名	－								敷地面積 (㎡)	31,392.47

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	防災備蓄倉庫(関場町) H8(1996)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	172.50	期末	172.50	172.50		172.50		172.50	
		内容										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,083.39
7	防災備蓄倉庫(酒井根中学校) S57(1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組							移転＋廃止(既存施設)＋除却			
		延床面積 (㎡)	期首	55.35	期末	55.35	55.35		0.00		0.00	
		内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	23,579.37
8	防災備蓄倉庫(手賀近隣センター) H27(2015)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	100.11	期末	100.11	100.11		100.11		100.11	
		内容										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,967.19
9	防災備蓄倉庫(呼塚) R4(2022)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設								現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	175.35	175.35		175.35		175.35	
		内容	(第1期) 令和4(2022)年11月新設した。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	407.96
10	防災備蓄倉庫(田中北小) R4(2022)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設								現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	0.00	期末	101.60	101.60		101.60		101.60	
		内容	(第1期) 令和5(2023)年3月新設した。									
	-	複合施設(子) 複合施設名	田中北小学校(親)、田中北小こどもルーム(子)								敷地面積 (㎡)	27,117.78

24. 公営住宅

① 施設概要

- ・ 公営住宅は、市内に 10 施設あります。
- ・ 公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者等に対し、低廉な家賃の賃貸住宅を供給することにより、生活の安定と福祉の増進を図るために設置されました。

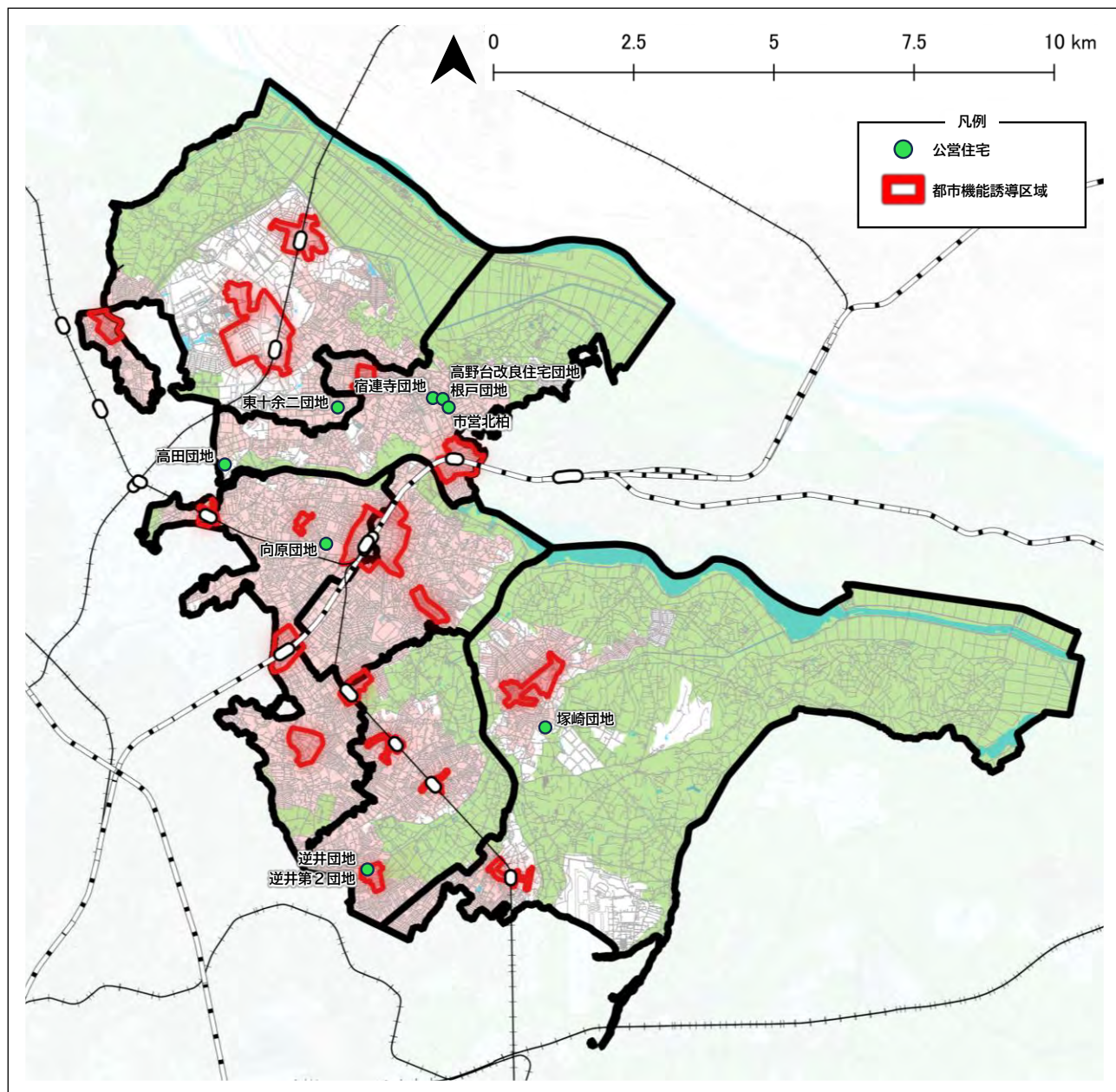
【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	管理戸数 (戸)	入居世帯数 (世帯)	備考
1	根戸団地	北部2	柏市根戸4 6 7－8 6	7,182.89	S43	54	152	118	
2	宿連寺団地	北部2	柏市宿連寺2 3 5－2	1,776.61	S49	48	32	26	
3	高田団地	北部2	柏市高田6 3－8	3,243.35	S51	46	54	45	
4	逆井団地	南部1	柏市新逆井二丁目1 6 4 5－1 3	4,590.80	S54	43	72	57	
5	東十余二団地	北部1	柏市十余二2 9 7－1 3 4	1,600.08	S59	38	24	24	
6	逆井第2団地	南部1	柏市新逆井二丁目1 6 4 5－2 6	887.64	S62	35	12	12	
7	市営北柏	北部2	柏市根戸4 1 1－1 1	12,819.89	H3	31	182	172	
8	塚崎団地	沼南	柏市塚崎1 3 2 5	10,688.24	H7	27	136	117	
9	高野台改良住宅団地	北部2	柏市根戸4 6 7	3,866.34	S39	58	96	69	
10	向原団地	中央1	柏市向原町3 8－1	1,107.76	S46	51	24	13	
合計				47,763.60	-	-	784	653	

※管理戸数及び入居世帯数は令和4（2022）年度時点の数値を掲載

② 配置状況



③ 実態及び課題

● 建物状況

- ・住宅施設 10 施設の建物（倉庫や自転車置き場等を含む）は、約 4.8 万㎡です。

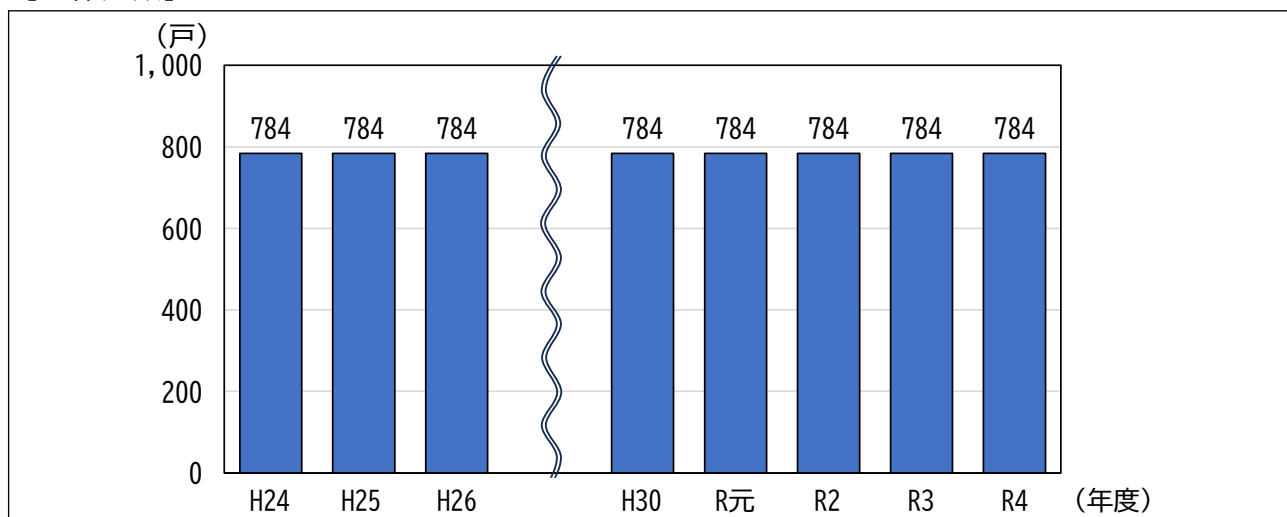
● 戸数・入居世帯数の推移

- ・住宅施設の合計戸数は 784 戸です。
- ・施設別戸数では、市営北柏が 182 戸で最も多く、次いで根戸の 152 戸、塚崎の 136 戸になります。
- ・施設別入居率では、東十余二と逆井第 2 が 100%，市営北柏が約 95%と 3 住宅が 90%以上の高い入居率となっています。
- ・一方、入居率が最も低いのは向原の約 54%で、次いで高野台改良住宅の約 72%，根戸の約 78%です。

● コスト状況

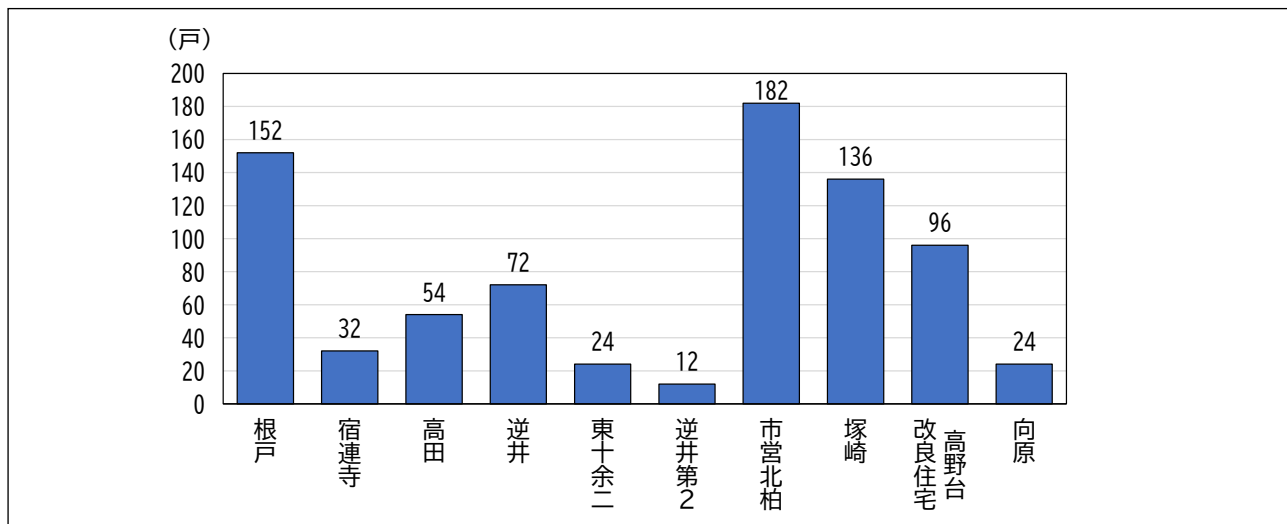
- ・トータルコストは約 3 億 3,615 万円で、施設に係るコストが約 32.2%，減価償却費が約 39.6%となっています。
- ・施設別トータルコストは、最も多いのが塚崎の約 8,685 万円、次に多いのが市営北柏の約 8,086 万円になっています。

【全体戸数】

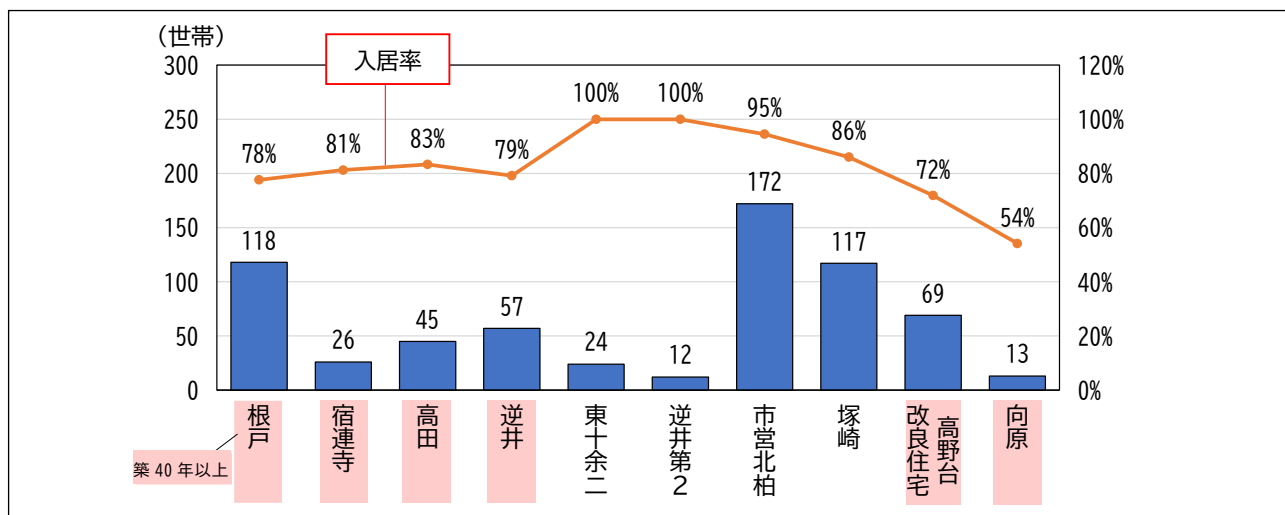


出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度 入居率「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

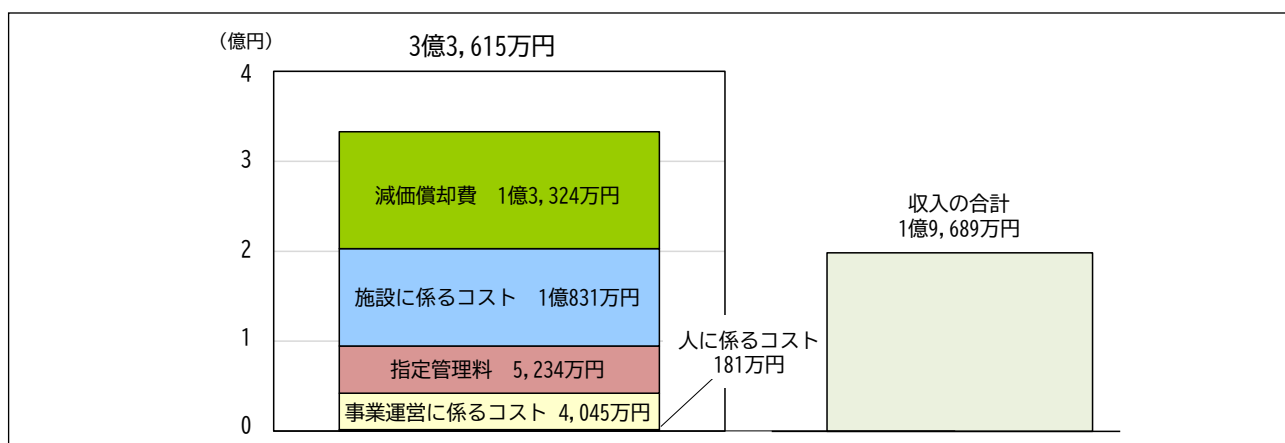
【施設別戸数 令和 4（2022）年度】



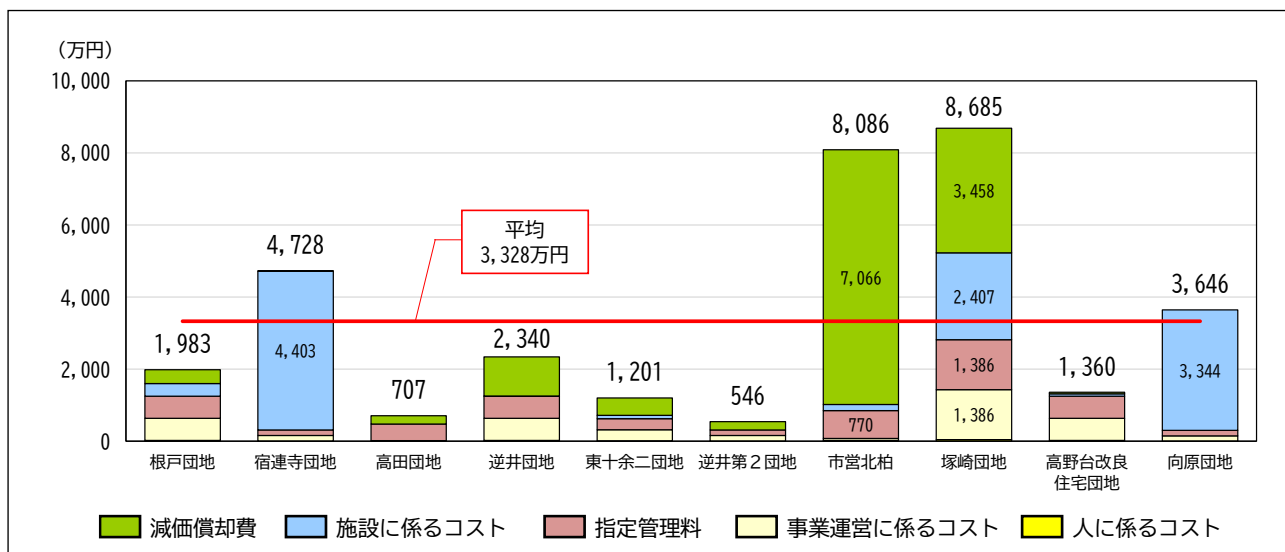
【施設別入居世帯数・入居率 令和4（2022）年度】



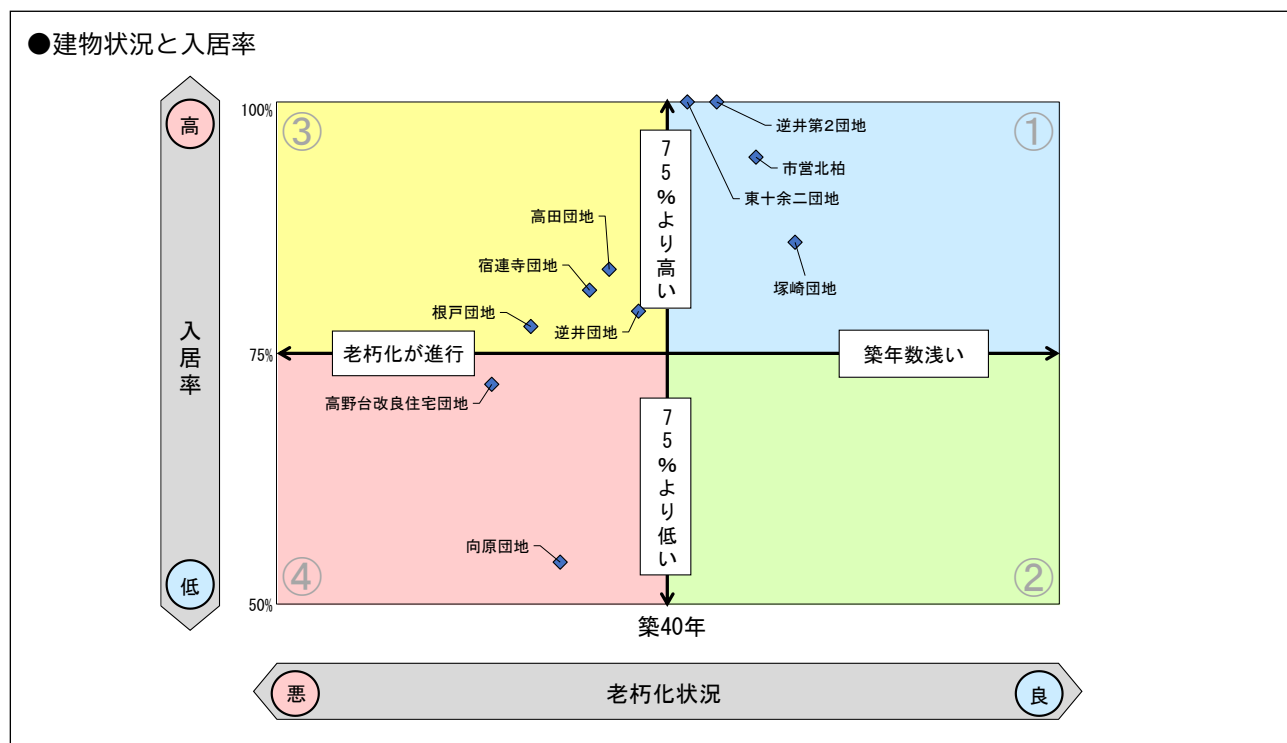
【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



④ 2軸評価



⑤ 今後の方向性

- 老朽化が著しい施設は、建替を前提とせず、目標使用年数を踏まえて廃止に向けた準備を行います。施設の廃止にあたっては、民間ストックを活用した借り上げ住宅や家賃補助などソフト面の施策も合わせて検討します。なお、単身高齢者世帯の急増などに伴って、住宅困窮支援の必要性が急激に高まるなど、社会情勢の変化に対処すべき状況がある場合には、収支バランスに十分配慮しながら、多様な供給方法について検討します。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	根戸団地 S43 (1968)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他			廃止＋除却＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	7,182.89	期末	7,182.89	7,182.89			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 老朽化が著しく、改修による延命は困難なため、目標使用年数を踏まえて廃止の準備を進める。その際には、当該施設の代替として、ハード面では借り上げ方式を、ソフト面では家賃補助などによる民間ストック活用を検討する。 (第3期) 住宅困窮者支援の必要性が急激に高まるなどの状況がある場合には、収支バランスに十分配慮しながら、多様な供給方法について検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	7,300.52
2	宿連寺団地 S49 (1974)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他			廃止＋除却＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	1,776.61	期末	1,776.61	1,776.61			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 老朽化が著しく、改修による延命は困難なため、目標使用年数を踏まえて廃止の準備を進める。その際には、当該施設の代替として、ハード面では借り上げ方式を、ソフト面では家賃補助などによる民間ストック活用を検討する。 (第3期) 住宅困窮者支援の必要性が急激に高まるなどの状況がある場合には、収支バランスに十分配慮しながら、多様な供給方法について検討する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	1,794.75
3	高田団地 S51 (1976)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	3,243.35	期末	3,243.35	3,243.35			3,243.35		3,243.35	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	3,534.25
4	逆井団地 S54 (1979)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	4,590.80	期末	4,590.80	4,590.80			4,590.80		4,590.80	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	5,969.61
5	東十余二団地 S59 (1984)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,600.08	期末	1,600.08	1,600.08			1,600.08		1,600.08	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	3,119.22

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
6	逆井第2団地 S62 (1987)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	887.64	期末	887.64	887.64		887.64		887.64	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,415.84
7	市営北柏 H3 (1991)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	12,819.89	期末	12,819.89	12,819.89		12,819.89		12,819.89	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	8,789.13
8	塚崎団地 H7 (1995)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	10,688.24	期末	10,688.24	10,688.24		10,688.24		10,688.24	
		内容										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	19,917.00
9	高野台改良住宅団地 S39 (1964)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他		廃止＋除却＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	3,866.34	期末	3,866.34	3,866.34		0.00		0.00	
		内容	老朽化が著しく、改修による延命は困難なため、目標使用年数を踏まえて廃止の準備を進める。その際には、当該施設の代替として、ハード面では借り上げ方式を、ソフト面では家賃補助などによる民間ストック活用を検討する。 住宅困窮者支援の必要性が急激に高まるなどの状況がある場合には、収支バランスに十分配慮しながら、多様な供給方法について検討する。									
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	5,138.48
10	向原団地 S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他		廃止＋除却＋その他			
		延床面積 (㎡)	期首	1,107.76	期末	1,107.76	1,107.76		0.00		0.00	
		内容	老朽化が著しく、改修による延命は困難なため、目標使用年数を踏まえて廃止の準備を進める。その際には、当該施設の代替として、ハード面では借り上げ方式を、ソフト面では家賃補助などによる民間ストック活用を検討する。 住宅困窮者支援の必要性が急激に高まるなどの状況がある場合には、収支バランスに十分配慮しながら、多様な供給方法について検討する。									
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	954.47

25. 公園

① 施設概要

- ・市内公園で建築物を有する公園は12か所あり、利用状況を把握している公園は6か所、利用状況を把握していない公園が6か所あります。
- ・あけぼの山公園には、日本庭園内に本格的な茶室「柏泉亭」があります。
- ・あけぼの山農業公園には、事務所や会議室のある「本館」、調理などが可能な「加工実習館」、売店やキッズルームがある「資料館」などがあります。
- ・柏リフレッシュ公園には、柏市第二清掃工場のごみ焼却余熱を利用した余熱利用型健康増進施設「リフレッシュプラザ柏」が市民の交流や学習、健康増進、憩いの広場を提供することを目的に設置されています。
- ・旧吉田家住宅歴史公園は、名主であった吉田家の当時の豪農ぶりが分かる江戸時代末期の貴重な国の重要文化財となっている建築物「長屋門」「主屋」「書院」などが保存されています。
- ・手賀の丘公園には、キャンプ場の受付等で使用されている「どんぐりの家」が設けられています。

【施設一覧】

● 利用状況を把握している公園

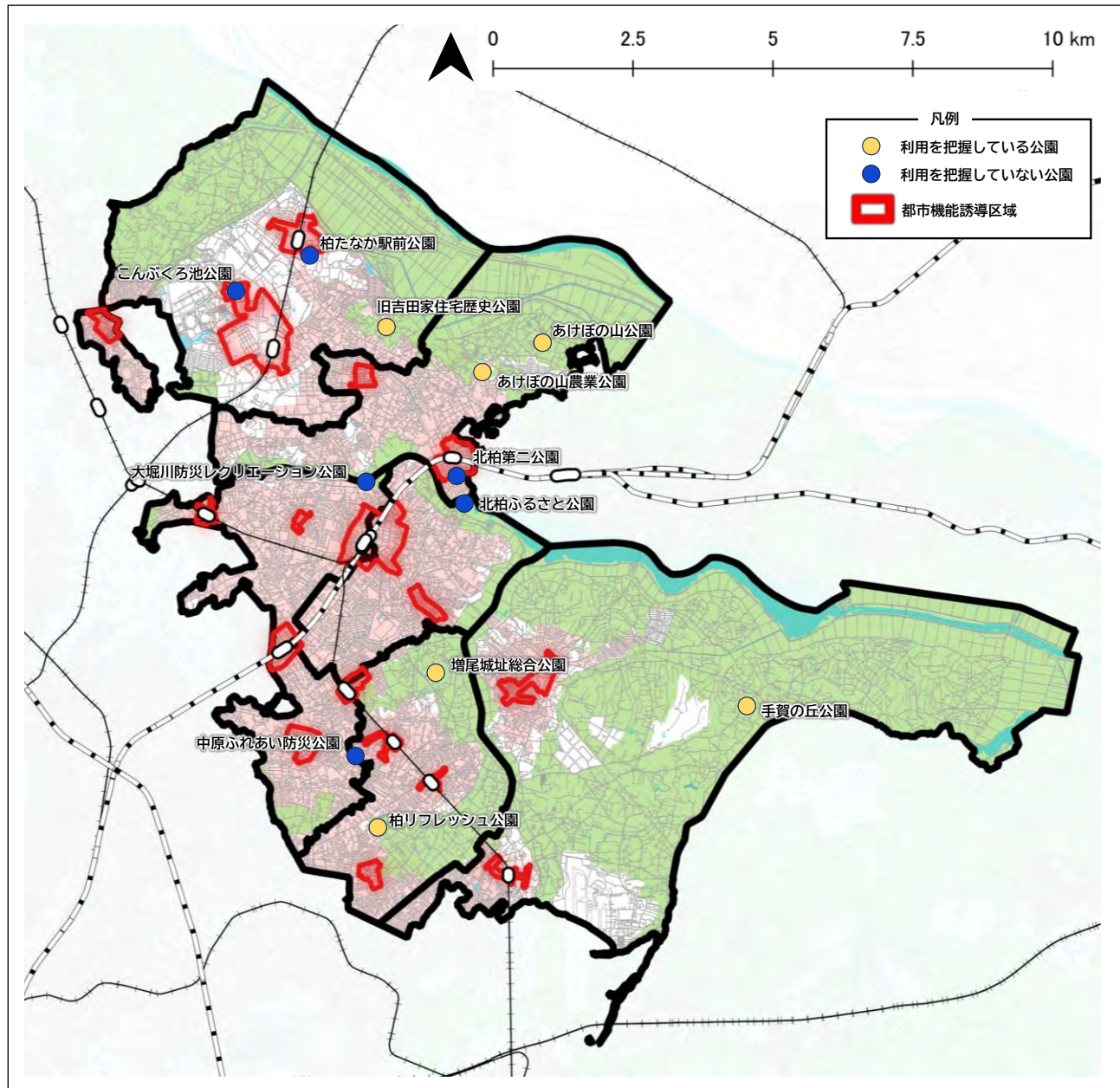
■ 築40年以上

No	施設名	中園域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	あけぼの山公園	北部2	柏市布施1940	234.77	H2	32	指定避難場所 四阿、茶室、集会所（柏泉亭）、便所など
2	あけぼの山農業公園	北部2	柏市布施2005-2	4,196.18	S56	41	管理棟（本館）、農産物加工施設、資料展示館、風車など
3	増尾城址総合公園	南部1	柏市増尾659-1	193.07	H12	22	便所、四阿、管理事務所、炊事棟など
4	柏リフレッシュ公園	南部1	柏市南増尾58-8	7,927.74	H17	17	指定避難場所・避難所 リフレッシュプラザ柏、便所
5	旧吉田家住宅歴史公園	北部1	柏市花野井974-1	1,198.47	-	-	歴史的建造物であり、分析の対象外 指定避難場所 居宅（主屋、書院）、倉庫（長屋門、新蔵など）、便所など
6	手賀の丘公園	沼南	柏市泉1182	995.10	H3	31	屋外学習施設（どんぐりの家）、トイレ、炊事場など
合計				14,745.33			

● 利用状況を把握していない公園

No	施設名	中園域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
7	北柏第二公園	北部2	柏市北柏三丁目9	102.42	S55	42	指定避難場所 管理事務所
8	北柏ふるさと公園	中央2	柏市呼塚新田207-1	217.43	H8	26	指定避難場所 管理事務所、四阿、倉庫、便所
9	中原ふれあい防災公園	南部1	柏市加賀二丁目29-53	345.88	S53	44	広域避難場所・ヘリコプター臨時離着場 管理事務所、便所、倉庫
10	こんぶくろ池公園	北部1	柏市中十余2399-1	84.60	H18	16	管理棟、倉庫
11	大堀川防災レクリエーション公園	中央1	柏市篠籠田119-1	1,184.37	S52	45	管理事務所、便所
12	柏たなか駅前公園	北部1	柏市大室一丁目4	109.99	H21	13	集会所、公園管理事務所、便所
合計				2,044.69			

② 配置状況



③ 運営状況

休館日	・ あけぼの山公園（柏泉亭） 月曜日（月曜日が休日の場合は翌日），年末年始（12/28～1/4） ・ あけぼの山農業公園（本館・加工実習館，資料館など） 月曜日（月曜日が休日の場合は翌日），年末年始（12/28～1/4） ・ 増尾城址総合公園（バーベキューサイト） 年末年始（12/28～1/4） ・ 柏リフレッシュ公園（柏リフレッシュプラザ） 火曜日（火曜日が休日にあたる時は，その翌日以降の最初の平日） ・ 旧吉田家住宅歴史公園（長屋門・主屋・書院など） 月曜日（月曜日が祝日のときは翌日），年末年始（12/29～1/3） ・ 手賀の丘公園（手賀の丘公園センター） 木曜日定休 ※繁忙期，シーズンに応じて変動あり
開館時間	・ あけぼの山公園（柏泉亭） 9:00～16:30 4月～10月は17:00 ・ あけぼの山農業公園（本館・加工実習館，資料館など） 9:00～17:00 ・ 増尾城址総合公園（バーベキューサイト） 10:00～16:00 ・ 柏リフレッシュ公園（柏リフレッシュプラザ） 9:00～22:00 ・ 旧吉田家住宅歴史公園（長屋門・主屋・書院など） 9:30～16:30 ・ 手賀の丘公園キャンプ場（手賀の丘公園センター） 月～金 8:00～18:00 土日祝 8:00～20:00

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・ 公園 12 か所の，建物の延床面積合計は約 16,790 m²です。柏リフレッシュ公園のように規模の大きな建物がある施設と，四阿のような小規模な建物のみの公園があります。

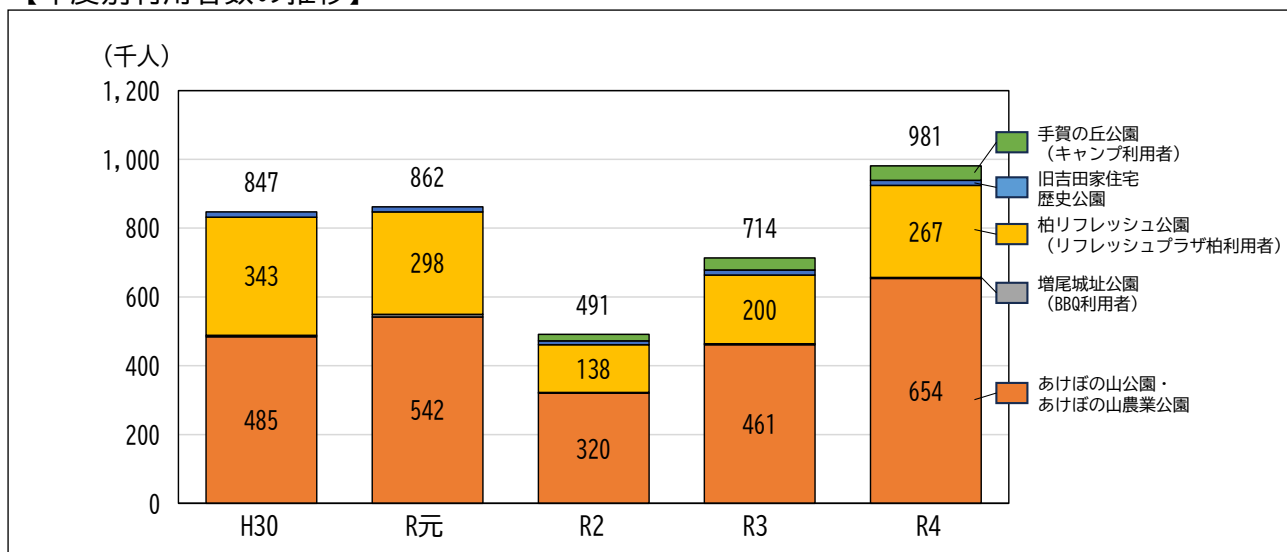
● 利用状況

- ・ 利用者数は平成 30（2018）年度約 84.7 万人でした。新型コロナウイルス感染症の影響もあり，令和 2（2020）年度は利用者約 49.1 万人まで減少しましたが，令和 4（2022）年度は約 98.1 万人まで回復しています。
- ・ 令和 4（2022）年度の施設別では，あけぼの山公園・あけぼの山農業公園が約 65.4 万人と最も多く，次いで柏リフレッシュ公園（リフレッシュプラザ柏利用者のみ）が約 26.7 万人，手賀の丘公園（キャンプ利用者のみ）は約 4.1 万人，旧吉田家住宅歴史公園は約 1.5 万人となっています。

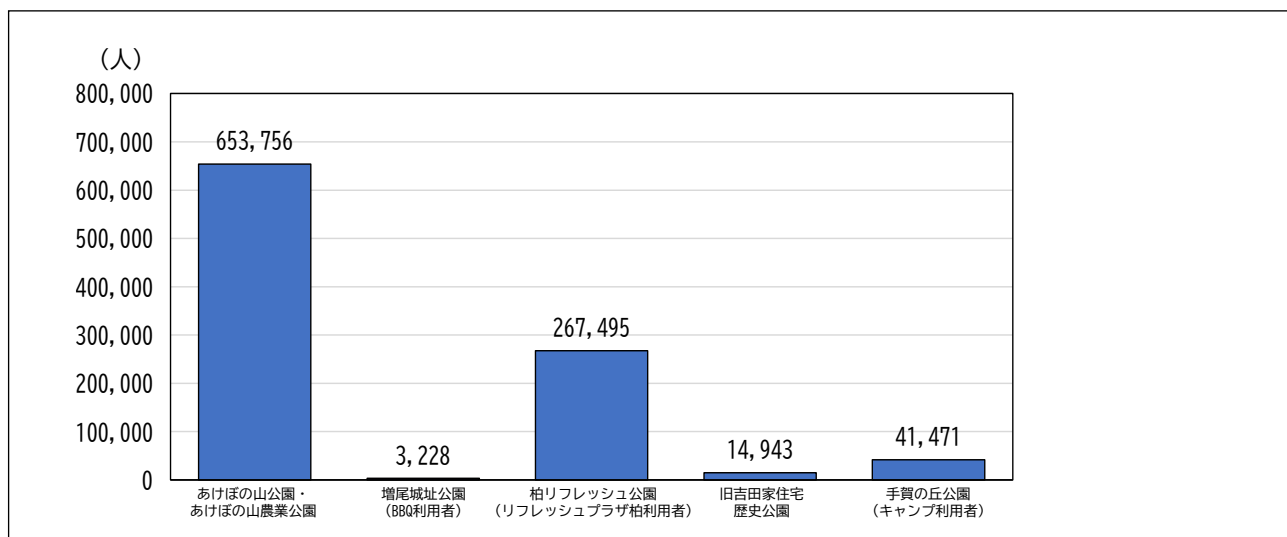
● コスト状況

- ・ トータルコストは約 4 億 881 万円で，指定管理料が約 68.6%，施設に係るコストが約 13.2%，事業運営に係るコストが約 16.5%となっています。
- ・ 施設別トータルコストでは，あけぼの山公園・あけぼの山農業公園が約 1 億 7,934 万円と最も多く，次いで柏リフレッシュ公園（リフレッシュプラザ柏）が約 1 億 4,215 万円となっています。

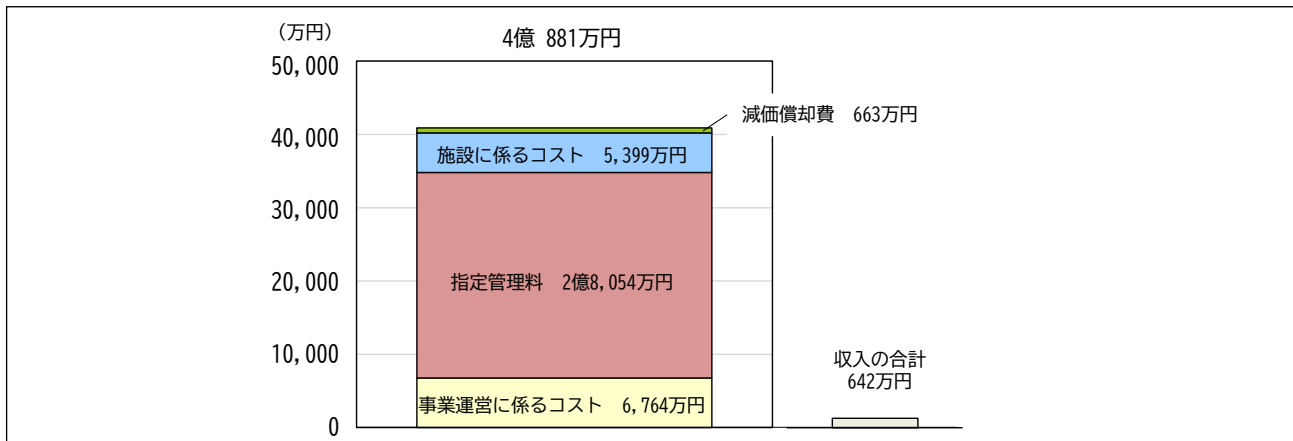
【年度別利用者数の推移】



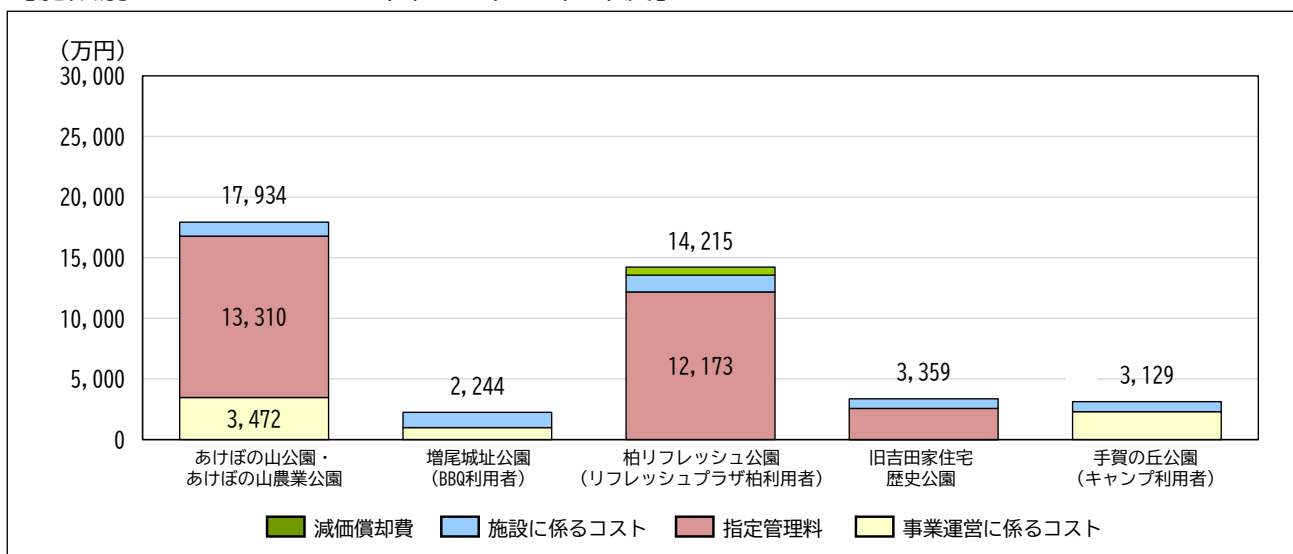
【施設別利用者数 令和4（2022）年度】



【トータルコスト 令和4（2022）年度】



【施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 一部の公園内の建物は、使用状況や劣化状況を踏まえて、廃止も含めて検討していきます。
- 指定管理者制度などを導入している施設や公園については、制度に基づいた業務の進捗管理や指定管理料の見直しなど、維持管理・運営の改善や効率化を進めるだけでなく、マーケットサウンディング調査を実施するなどにより、民間活力を活かして公園が有するポテンシャルを発揮させ、社会状況の変化に伴う多様なニーズに対応して魅力的な公園づくりを進めます。
- あけぼの山公園・あけぼの山農業公園では、アクセスや駐車場などのインフラの課題を解決しつつ、施設の機能を見直すなど、更なる魅力向上に向け、指定管理事業者と連携して、取組を進めます。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	あけぼの山公園 H2 (1990)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	除却(一部)＋その他									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	244.37	期末	234.77	234.77			234.77		234.77	
		内容	(第1期) あけぼの山公園及びあけぼの山農業公園の2つの公園の将来について、あけぼの山周辺地域懇談会を開催し、議論を進めた。また利用頻度が低く、老朽化したトイレについて、除却を実施した。 (第4期) 柏泉亭は市内でも数少ない茶室施設であるため、現状のまま存続する。なお、必要に応じて点在する建物の建替えを行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	59,827.86
2	あけぼの山農業公園 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	転用＋その他										
		延床面積 (㎡)	期首	3,976.43	期末	4,196.18	4,196.18			4,196.18		4,196.18	
		内容	(第1期) あけぼの山公園及びあけぼの山農業公園の2つの公園の将来について、あけぼの山周辺地域懇談会を開催し、議論を進めた。また、旧利根サイクリング事務所を、あけぼの山農業公園の農業体験作業場として転用した。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	72,795.38
3	増尾城址総合公園 H12 (2000)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	193.07	期末	193.07	193.07			193.07		193.07	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	74,324.01
4	柏リフレッシュ公園 H17 (2005)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	7,927.74	期末	7,927.74	7,927.74			7,927.74		7,927.74	
		内容											
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	41,688.89
5	旧吉田家住宅歴史公園 - -		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,198.47	期末	1,198.47	1,198.47			1,198.47		1,198.47	
		内容	(第4期) 江戸時代末期の建築で、国の重要文化財に指定されているため、文化財保護の観点から、建物を保存するとともに、施設を現状のまま存続する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	22,298.24

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
			第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
6	手賀の丘公園 H3(1991)		H28(2016)～R6(2024)				R7(2025)～R16(2034)		R17(2035)～R26(2044)		R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	995.10	期末	995.10	995.10		995.10		995.10	
		内容	(第4期) 公園施設として、今後も活用していくため、施設を現状のまま存続する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	93,991.76
7	北柏第二公園 S55(1980)		H28(2016)～R6(2024)				R7(2025)～R16(2034)		R17(2035)～R26(2044)		R27(2045)～R36(2054)	
		取組							除却			
		延床面積 (㎡)	期首	102.42	期末	102.42	102.42		0.00		0.00	
		内容	(第3期) 設置当初の管理事務所としてではなく、倉庫として使用しているため、目標使用年数にあわせて除却をする。なお、格納されている書類等については、必要に応じて代替場所の確保を検討する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	6,448.34
8	北柏ふるさと公園 H8(1996)		H28(2016)～R6(2024)				R7(2025)～R16(2034)		R17(2035)～R26(2044)		R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	217.43	期末	217.43	217.43		217.43		217.43	
		内容										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	29,013.84
9	中原ふれあい防災公園 S53(1978)		H28(2016)～R6(2024)				R7(2025)～R16(2034)		R17(2035)～R26(2044)		R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設				除却(一部)				現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	197.15	期末	345.88	246.18		246.18		246.18	
		内容	(第1期) 令和3(2021)年度に管理事務所を新設した。 (第2期) 旧管理事務所を除却する。									
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	38,159.30
10	こんぶくろ池公園 H18(2006)		H28(2016)～R6(2024)				R7(2025)～R16(2034)		R17(2035)～R26(2044)		R27(2045)～R36(2054)	
		取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	84.60	期末	84.60	84.60		84.60		84.60	
		内容										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	147,219.73

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	大堀川防災レクリエーション公園 S52 (1977)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	新設＋増築				除却 (一部)			除却 (一部)			
		延床面積 (㎡)	期首	1,110.54	期末	1,184.37	1,128.37			34.77		34.77	
		内容	(第1期) 令和2(2020)年度にトイレを新築、旧柏幼稚園の園舎をリノベーションした。※令和2(2020)年度から「大堀川防災レクリエーション公園」として供用を開始した。 (第2期) 管理事務所の増築部分(2階)を除却する。(56㎡) (第3期) 目標使用年数に合わせて、管理事務所を除却する。(1,093.60㎡)										
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	25,520.77
12	柏たなか駅前公園 H21 (2009)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	移転＋転用＋新設										
		延床面積 (㎡)	期首	86.10	期末	109.99	109.99			109.99		109.99	
		内容	(第1期) 旧環境コンビニステーションを柏たなか駅前公園内に移設し、集会施設として地区の情報発信や住民交流の場として転用した。※平成30(2018)年4月に転用。また、平成30(2018)年3月に便所を新設。										
	－	複合施設名	－									敷地面積 (㎡)	24,661.11

26. 供給処理施設

① 施設概要

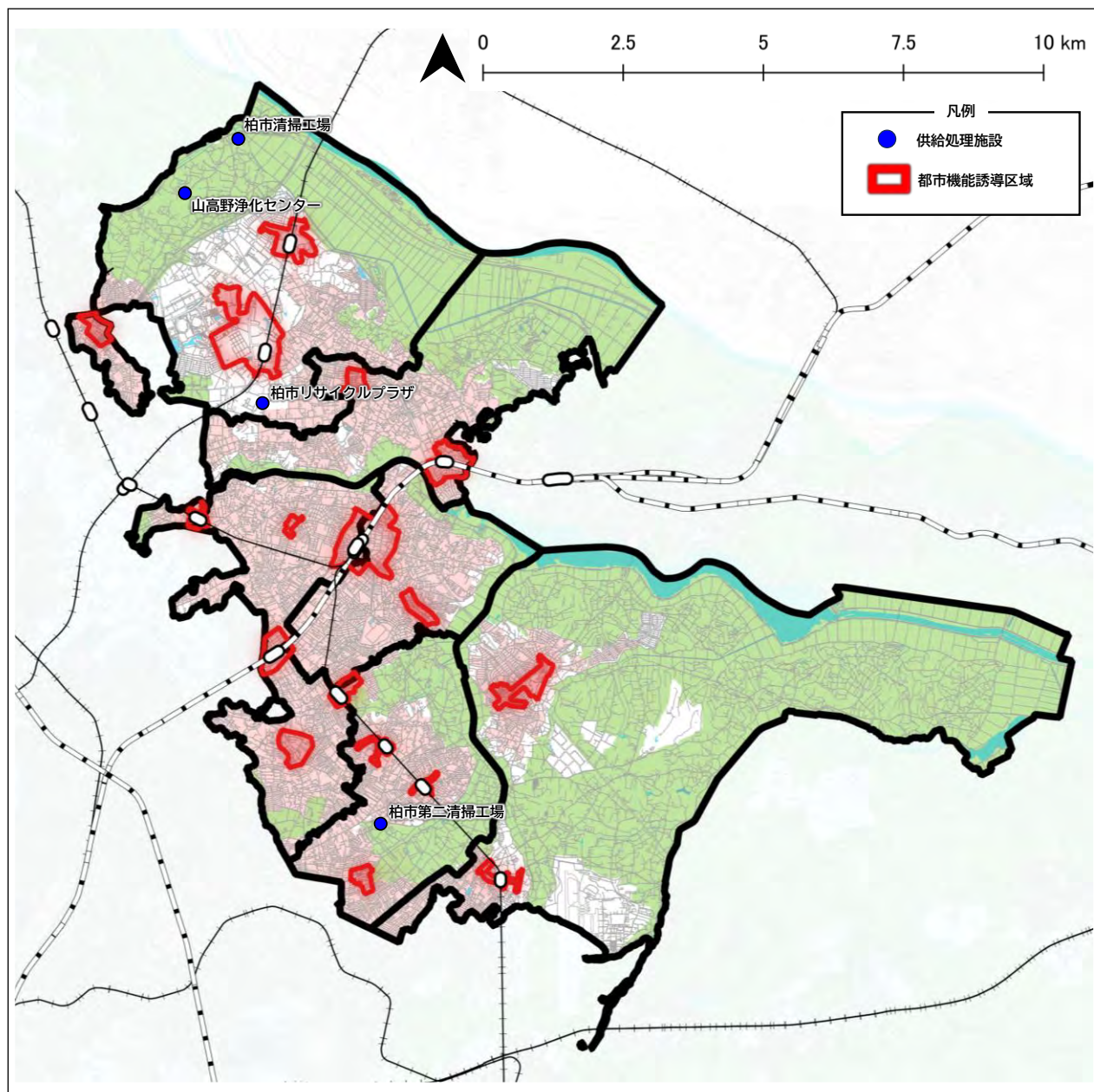
- ・ 供給処理施設としては、清掃工場 2 施設，リサイクルプラザ，山高野浄化センターの 4 施設があります。
- ・ 清掃工場は、旧柏地域の一般廃棄物（可燃ごみ）の焼却施設として設置されています（旧沼南地域の焼却は、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合によるクリーンセンターしらさぎで実施）。
- ・ リサイクルプラザは、合併前の旧柏地域の家庭から出された資源品を収集し、選別や圧縮などをして再生工場へ引き渡すための処理を行う施設として設置されています。
- ・ 山高野浄化センターは、生活環境の保全上支障が生じないように、合併前の旧柏地域のし尿や浄化槽汚泥の処理を行う施設として設置されています。

【施設一覧】

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏市清掃工場	北部1	柏市船戸山高野 5 3 8	9,845.45	H2	32	
2	柏市第二清掃工場	南部1	柏市南増尾 5 6 - 2	22,943.10	H16	18	
3	柏市リサイクルプラザ	北部1	柏市十余二 3 4 8 - 2 0 2	7,661.64	H13	21	
4	山高野浄化センター	北部1	柏市船戸 2 1 1 5	5,974.15	S57	40	
合計				46,424.34			

② 配置状況



③ 今後の方向性

- 「柏市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、適正なごみ処理及び生活排水処理の維持・改善に向けた施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を検討し、整備を図ります。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

④ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	柏市清掃工場 H2 (1990)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修				改修						
		延床面積 (㎡)	期首	9,845.45	期末	9,845.45	9,845.45			9,845.45		9,845.45	
		内容	(第1期) 令和6(2024)年度から令和8(2026)年度にかけて基幹的設備改良工事を実施し、令和23(2041)年度末までの稼働を予定している。 (第2期) 令和6(2024)年度から令和8(2026)年度にかけて基幹的設備改良工事を実施し、令和23(2041)年度末までの稼働を予定している。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	32,455.07
2	柏市第二清掃工場 H16 (2004)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								複合化(他の施設を受入れ)			
		延床面積 (㎡)	期首	22,943.10	期末	22,943.10	22,943.10			22,943.10		22,943.10	
		内容	(第3期) 施設利用の効率化を図り、転用可能なスペースが確保されれば、柏市清掃収集事務所の事務所機能の複合化を検討する。										
	-	複合施設(親) 複合施設名	かしわ環境ステーション(子)									敷地面積 (㎡)	37,678.33
3	柏市リサイクルプラザ H13 (2001)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	改修							その他			
		延床面積 (㎡)	期首	7,661.64	期末	7,661.64	7,661.64			7,661.64		7,661.64	
		内容	(第1期) プラント設備の長寿命化及び建築設備の大規模改修を行った。 (第3期) 大規模改修工事竣工後15年程度経過後を目途に、資源品の中間処理に係る民間事業者の参入動向や、当該施設の需要等も考慮しながら、今後の施設のあり方について検討を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	11,765.78
4	山高野浄化センター S57 (1982)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組					その他			建替+縮小			
		延床面積 (㎡)	期首	5,974.15	期末	5,974.15	5,974.15			4,420.00		4,420.00	
		内容	(第2期) 地震等の災害時に、倒壊や火災等の二次災害を防ぐため、残存している旧施設の除却とその財源の確保について検討する。 (第3期) 施設の老朽化にあわせて、処理量に見合った施設規模も考慮し、建替の検討を行う。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	54,728.53

27. その他施設

① 施設概要

- ・ その他施設は、公設市場、駐輪場、市営駐車場、篠籠田自転車保管所等、市内に 15 施設あります。
- ・ 公設市場は、総合地方卸売市場として設置されました。
- ・ 駐輪場は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律（自転車法）に基づき、通勤や通学等により多くの自転車が集積する市内各駅周辺での混乱を避けるため、公設駐輪場として設置されました。
- ・ 市営駐車場は、柏駅周辺での駐車場不足に伴う慢性的な違法駐車や交通渋滞を解決するために、また、将来の駐車需要に対応するために設置されました。

【施設一覧】

● 公設市場

■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	公設市場	北部1	柏市若柴69-1	43,308.74	S46	51	

● 駐輪場

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏駅東口第一駐輪場	中央1	柏市中央町866-1	450.92	S53	44	
2	柏駅東口第三駐輪場	中央1	柏市泉町6	2,116.80	S62	35	
3	柏駅東口第六駐輪場	中央1	柏市泉町766番283	74.10	H14	20	
4	柏駅西口第一駐輪場	中央1	柏市旭町一丁目14-24	1,995.49	S57	40	
5	柏駅西口第七駐輪場	中央1	柏市旭町一丁目15-1	1,694.10	H23	11	
6	増尾駅西口第一駐輪場	南部1	柏市加賀三丁目23	337.19	S56	41	
7	南柏駅東口第一駐輪場	南部2	柏市南柏中央4-4	4,148.90	H18	16	
8	北柏駅南口第一駐輪場	北部2	柏市北柏二丁目1	1,292.85	H21	13	
9	北柏駅南口第二駐輪場	北部2	柏市根戸1588-6	153.71	S63	34	
10	南柏駅西口第二駐輪場	中央1	柏市南柏二丁目6-1	569.26	H15	19	
11	高柳駅西口第一駐輪場	沼南	柏市高柳一丁目2-4	1,202.31	H30	4	
合計				14,035.63			

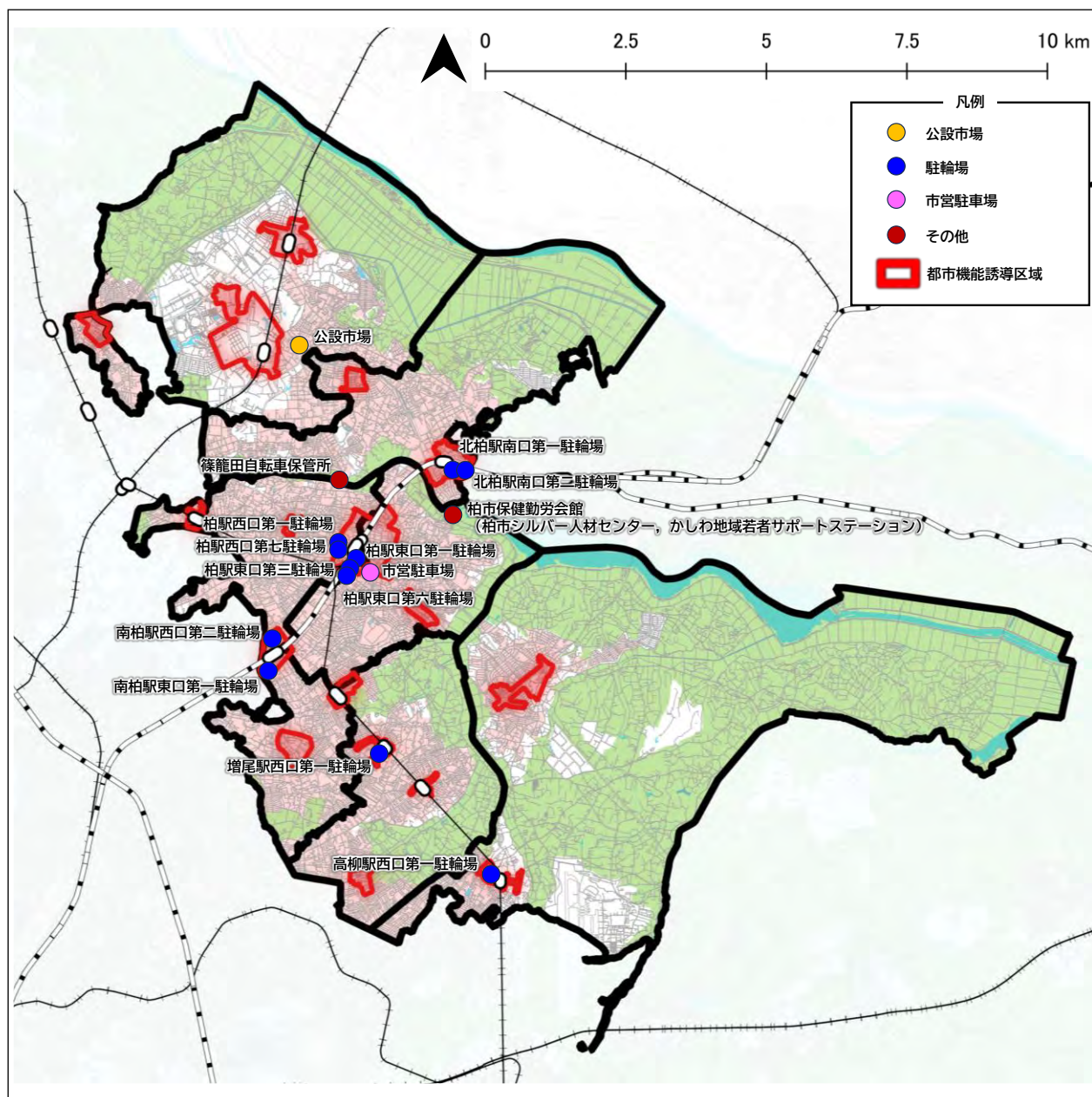
● 市営駐車場

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	市営駐車場	中央1	柏市中央町1-1	8,760.68	H10	24	

● その他

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	篠籠田自転車保管所	中央1	柏市篠籠田593-4	504.44	S40	57	
2	柏市保健勤労会館（柏市シルバー人材センター、かしわ地域若者サポートステーション）	中央2	柏市柏下66-1	603.37	S61	36	
合計				1,107.81			

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	市営駐車場：柏まつり開催日の2日間 篠籠田自転車保管所：月曜日，第2・4・5土曜日，第1・3・5日曜日，祝日及び年末年始 柏市保健勤労会館（柏市シルバー人材センター）：土日，祝日，年末年始 柏市保健勤労会館（かしわ地域若者サポートステーション）：日祝，年末年始
開館時間	駐輪場：24時間 市営駐車場：24時間（柏まつり開催日を除く） 篠籠田自転車保管所：火～金 14:00～20:00 第1・3土曜日，第2・4日曜日 12:00～20:00 柏市保健勤労会館（柏市シルバー人材センター）：8:30～17:15 柏市保健勤労会館（かしわ地域若者サポートステーション）：9:30～16:30

④ 実態及び課題

● 建物状況

- ・その他施設 15 施設の延床面積は，全体で約 67,212.86 m²です。
- ・公設市場の建物は構造や仕様，設備が特殊な建物が多く，個別の点検・維持修繕計画が必要となります。

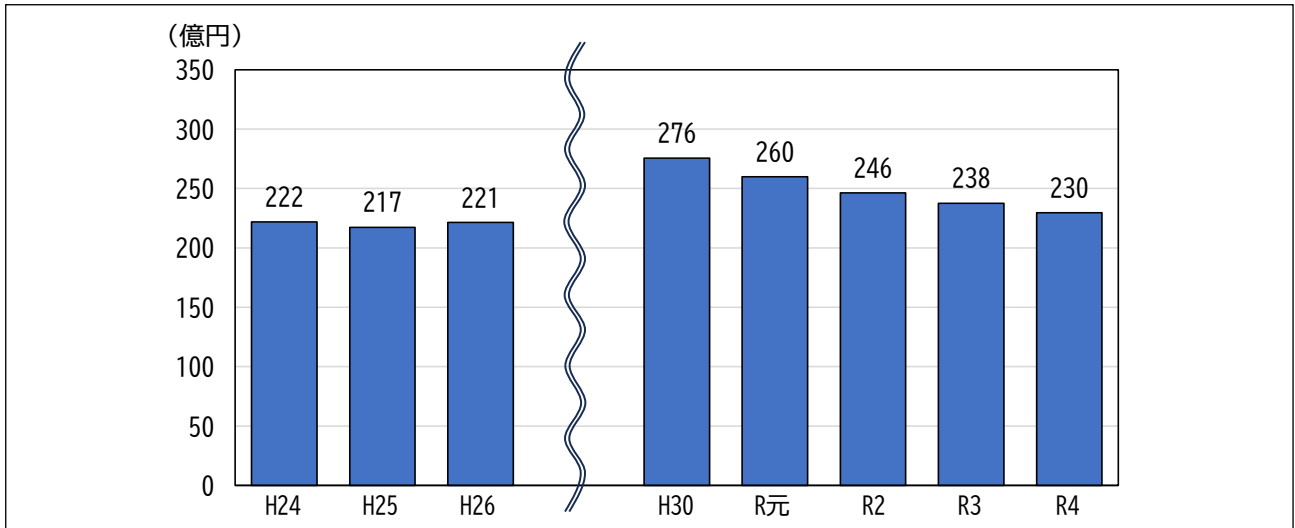
● 利用状況

- ・公設市場の取引金額推移は，平成 30（2018）年度の約 276 億円から，令和 4（2022）年度は約 230 億円となり，近年減少傾向がみられます。
- ・対象の駐輪場の定期利用台数は，平成 30（2018）年度約 1.3 万台から，令和 4（2022）年度は約 1.0 万台となり，年々減少傾向がみられます。
- ・市営駐車場の利用台数は平成 30(2018)年度から 17 万台前後で推移しており，令和 4（2022）年度は約 17.5 万台となっています。
- ・篠籠田自転車保管所の保管自転車引取り台数は，平成 30（2018）年度 1,180 台から，令和 2（2020）年度以降の 600 台未満で推移しています。
- ・柏市シルバー人材センターとかしわ地域若者サポートステーションの利用者数は，平成 30（2018）年度 1,298 人でした。新型コロナウイルス感染症の影響もあり，令和 2（2020）年度・令和 3（2021）年度は利用者が減少しましたが，令和 4（2022）年度は 1,135 人まで回復しています。

● コスト状況

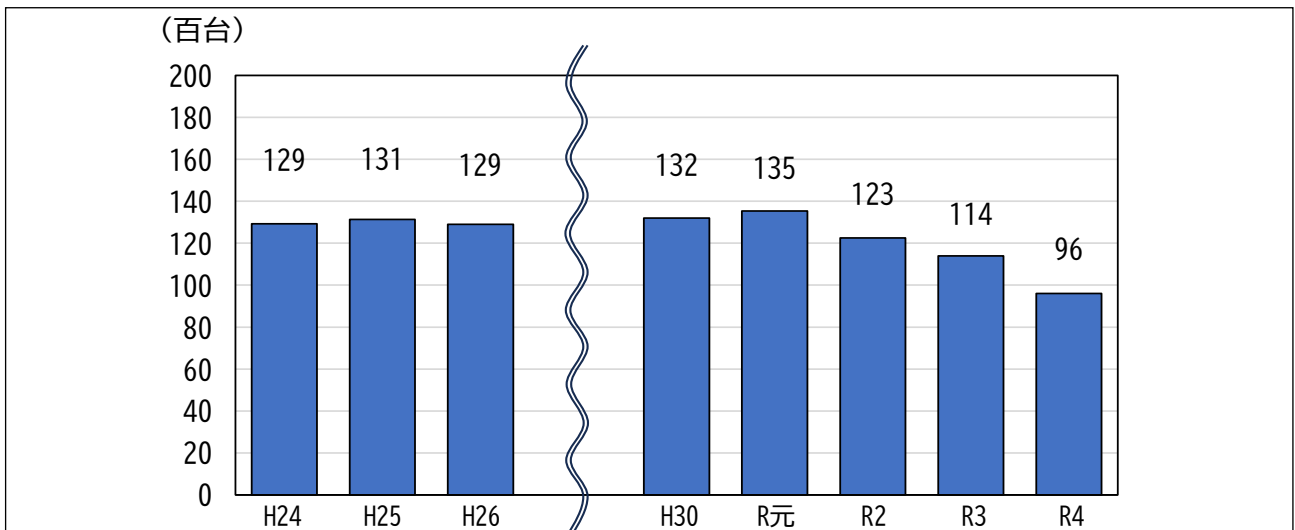
- ・公設市場のトータルコストは約 3 億 5,539 万円で，施設に係るコストが約 62.1%となっています。
- ・駐輪場のトータルコストは約 2 億 733 万円で，施設に係るコストが約 61.5%となっています。
- ・市営駐車場のトータルコストは約 1 億 4,131 万円で，減価償却費が約 74.8%となっています。
- ・その他施設のトータルコストは約 6,741 万円で事業運営に係るコストが約 69.5%となっています。

【公設市場 取引金額推移】



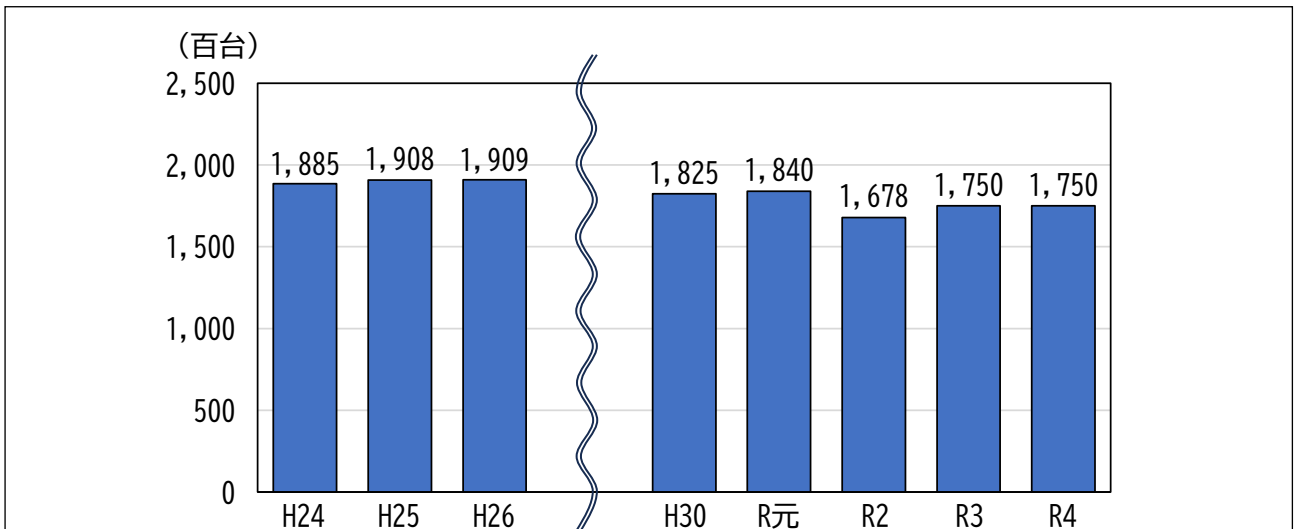
出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

【駐輪場 年度別定期利用台数推移】



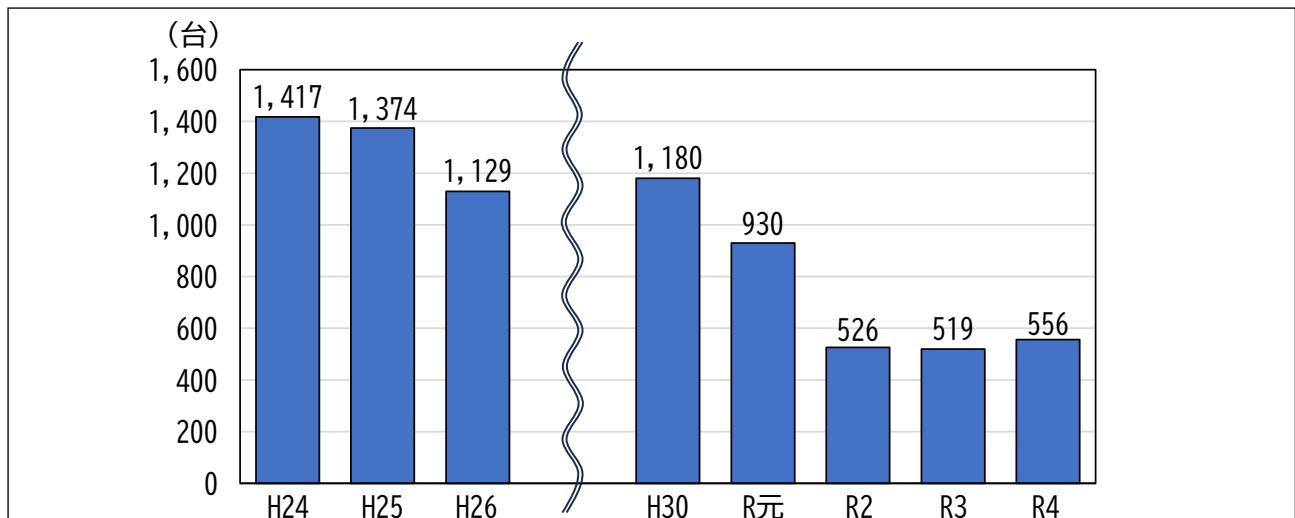
出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

【市営駐車場 年度別利用台数推移】



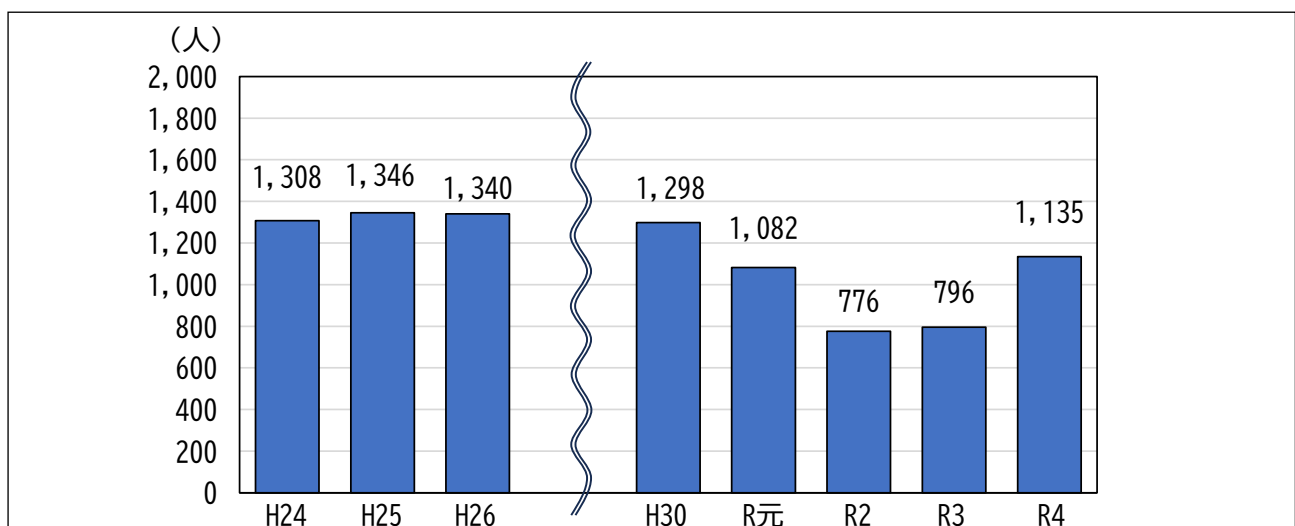
出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

【篠籠田自転車保管所 保管自転車引取り台数推移】



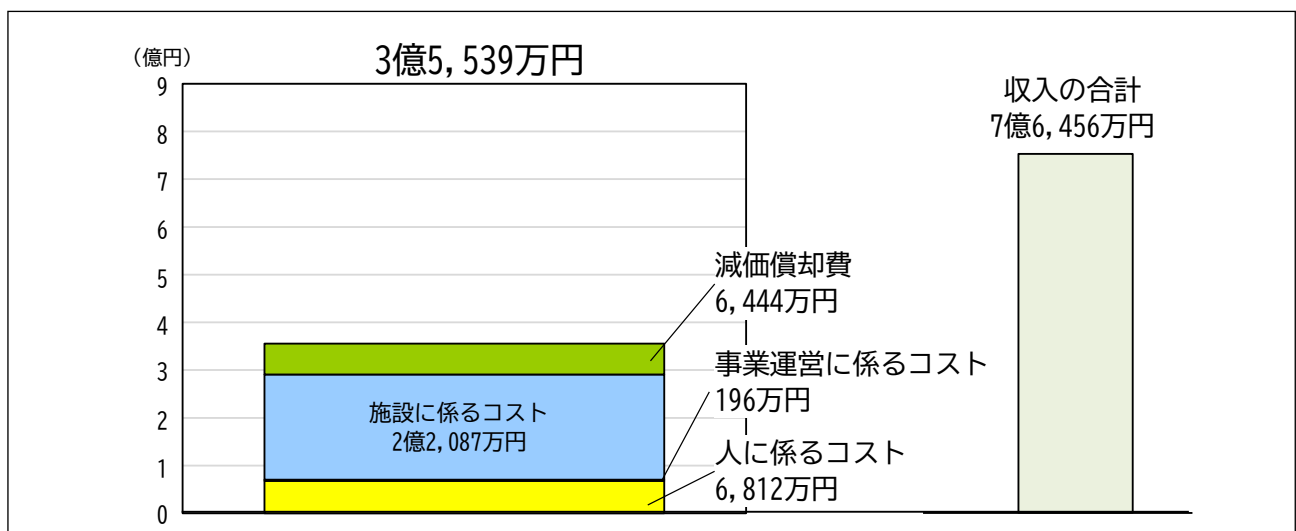
出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

【柏市保健勤労会館（柏市シルバー人材センター，かしわ地域若者サポートステーション）
年度別利用者数推移】

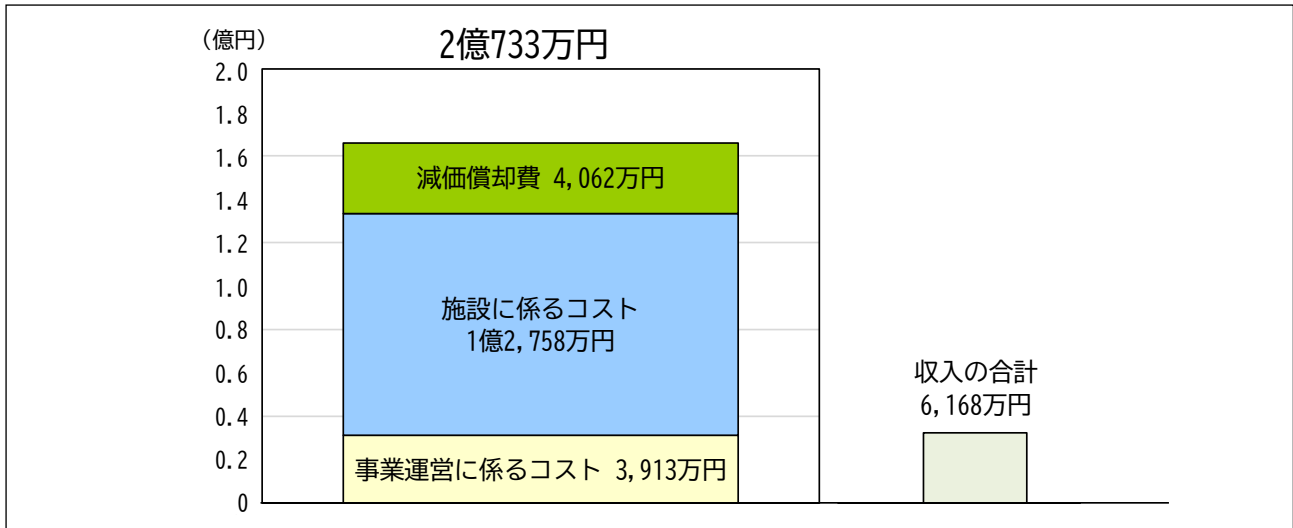


出典：平成 24（2012）年度～平成 26（2014）年度「柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」」（平成 28 年 3 月）

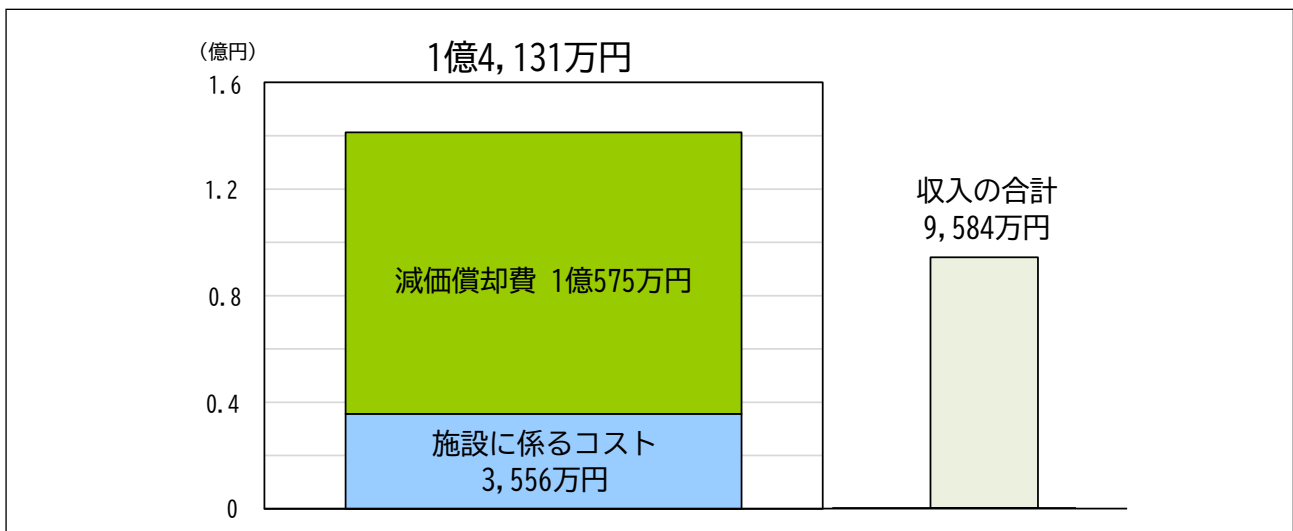
【公設市場 トータルコスト 令和 4（2022）年度】



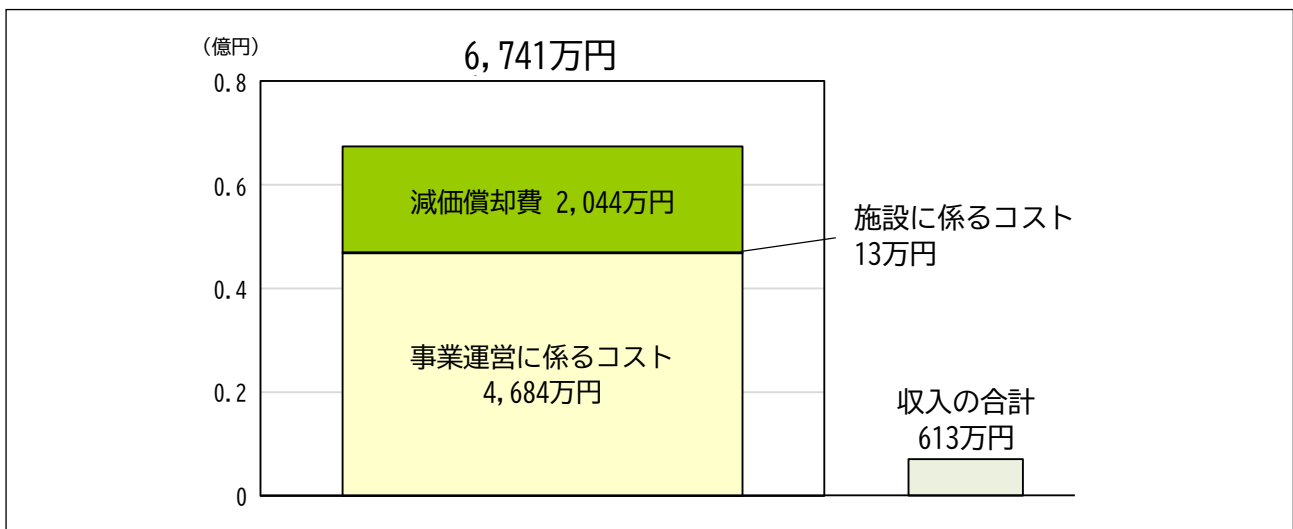
【駐輪場 トータルコスト 令和4（2022）年度】



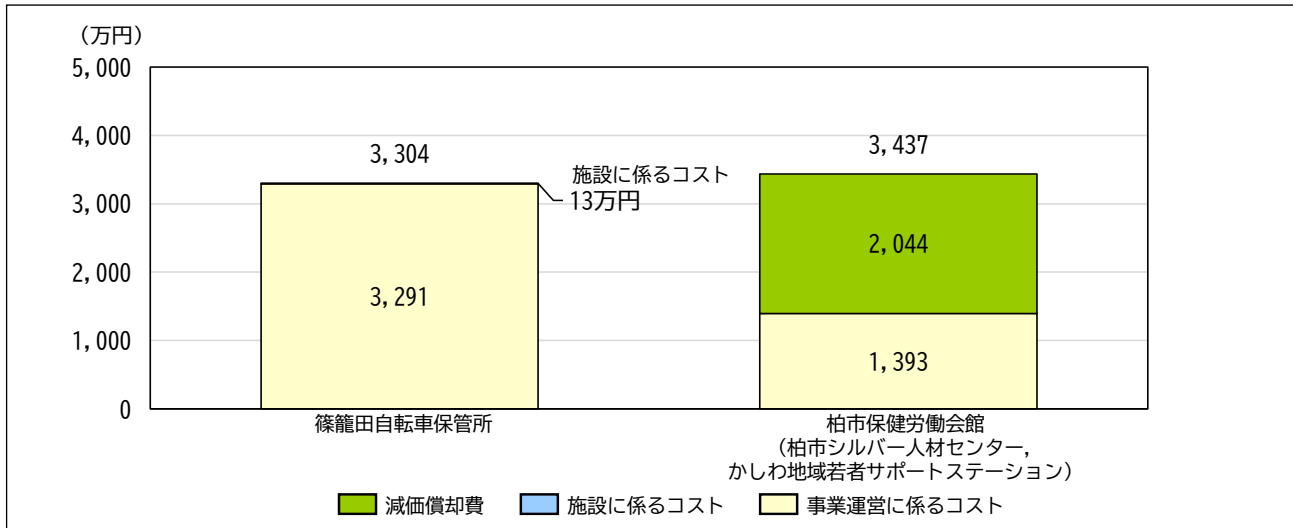
【市営駐車場 トータルコスト 令和4（2022）年度】



【その他 トータルコスト 令和4（2022）年度】



【その他 施設別トータルコスト 令和4（2022）年度】



⑤ 今後の方向性

- 取引数量の減少が続く公設市場は、現状やニーズの変化にあわせて施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を見直します。利用率の低い棟を中心に検討を進め、施設規模の縮減（ダウンサイジング）を検討します。また、施設利用料の見直しを行い、財源確保の強化に努めるとともに、将来的には民営化を検討します。
- 駐輪場は、指定管理者制度や包括的民間委託により管理運営の効率化を進めるとともに、現状やニーズの変化にあわせて施設整備を検討します。駐輪場使用料は、「受益者負担の適正化基準」に基づき、見直しを検討します。
- 市営駐車場は、指定管理者制度や利用料金制を導入しており効果を検証しながら今後の管理運営方法の見直しを検討します。
- 篠籠田自転車保管所は、現状のまま存続とし、放置自転車撤去事業の見直しをすすめながら、効率的な施設利用を図ります。
- 存続させる施設については、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。

⑥ 個別施設再編方針

【公設市場】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
1	公設市場 S46 (1971)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組	新設＋その他				建替					
		延床面積 (㎡)	期首	34,865.17	期末	43,308.74	43,308.74		43,308.74		43,308.74	
		内容	(第1期) 立体駐車場の新設等実施。また、公設市場の再整備及び活性化を目的とした柏公設市場整備計画の見直しや持続可能な市場の再整備及び市場用地の活用について調査・検討を実施。 (第2期) 老朽化した建物の改修を行うとともに、調査・検討をもとに再整備を進める。									
	-	複合施設名	-							敷地面積 (㎡)	82,492.82	

【駐輪場】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組										
			第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)		第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
1	柏駅東口第一駐輪場 S53(1978)	取組							現状のまま存続			
		延床面積 (㎡)	期首	450.92	期末	450.92	450.92		450.92		450.92	
		内容										
		複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	431.38
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	431.38
2	柏駅東口第三駐輪場 S62(1987)	取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	2,116.80	期末	2,116.80	2,116.80		2,116.80		2,116.80	
		内容										
		複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,209.10
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,209.10
3	柏駅東口第六駐輪場 H14(2002)	取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	74.10	期末	74.10	74.10		74.10		74.10	
		内容										
		複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	678.79
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	678.79
4	柏駅西口第一駐輪場 S57(1982)	取組							現状のまま存続			
		延床面積 (㎡)	期首	1,995.49	期末	1,995.49	1,995.49		1,995.49		1,995.49	
		内容										
		複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,119.08
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,119.08
5	柏駅西口第七駐輪場 H23(2011)	取組									現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,694.10	期末	1,694.10	1,694.10		1,694.10		1,694.10	
		内容										
		複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	808.12
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	808.12

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組												
6	増尾駅西口第一駐輪場 S56 (1981)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)			第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組								現状のまま存続				
		延床面積 (㎡)	期首	337.19	期末	337.19	337.19			337.19			337.19	
		内容												
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	141.84		
7	南柏駅東口第一駐輪場 H18 (2006)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)			第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組											現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	4,148.90	期末	4,148.90	4,148.90			4,148.90			4,148.90	
		内容												
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	2,062.76		
8	北柏駅南口第一駐輪場 H21 (2009)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)			第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組											現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,292.85	期末	1,292.85	1,292.85			1,292.85			1,292.85	
		内容												
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	789.14		
9	北柏駅南口第二駐輪場 S63 (1988)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)			第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組											現状のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	153.71	期末	153.71	153.71			153.71			153.71	
		内容												
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	594.40		
10	南柏駅西口第二駐輪場 H15 (2003)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)			第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組											譲渡	
		延床面積 (㎡)	期首	569.26	期末	569.26	569.26			569.26			569.26	
		内容	(第4期) 当該駐輪場は、建物公設、民間運営(公設民営)による駐輪場であるため、建物の民間への譲渡を検討する。											
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	3,079.02		

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
11	高柳駅西口第一駐輪場 H30 (2018)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	新設										
		延床面積 (㎡)	期首	1,202.31	期末	1,202.31	1,202.31			1,202.31		1,202.31	
		内容	(第1期) ※平成30(2018)年度に新設。										
	-	複合施設名	-								敷地面積 (㎡)	675.35	

【駐車場】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	市営駐車場 H10(1998)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										廃止＋除却	
		延床面積 (㎡)	期首	8,760.68	期末	8,760.68	8,760.68			8,760.68		0.00	
		内容	(第4期) 現行契約に基づき、一般定期借地権の終了年度(令和31(2049)年度)をもって施設を廃止し、建物を除却する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,418.70	

【その他】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	篠籠田自転車保管所 S40 (1965)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					現状のまま存続						
		延床面積 (㎡)	期首	504.44	期末	504.44	504.44			504.44		504.44	
		内容	(第2期) 目標使用年数を迎えるが、当該施設は放置自転車の保管場所であり、広く市民に開放された施設ではないため、定期的な修繕を行い安全面に考慮しながら、現状のまま施設を存続する。										
	-	複合施設名	-									敷地面積 (㎡)	5,452.39
2	柏市保健勤労会館 (柏市シルバー人材センター、かしわ地域若者サポートステーション) S61 (1986)		第1期 H28 (2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組								その他		廃止＋削減	
		延床面積 (㎡)	期首	603.37	期末	603.37	603.37			603.37		0.00	
		内容	(第3期) 親施設の建替が予定されており、利用者の利便性という観点からも、当該地での事業継続には検討の余地があるため、民間施設を中心に代替場所の確保を検討する。 (第4期) 代替場所が確保されれば、既存施設は廃止をし、親施設(中央保健センター)の建替にあわせて、当該施設分の面積を削減する。										
	複合施設(子)	複合施設名	中央保健センター(柏市保健勤労会館)(親)									敷地面積 (㎡)	2,287.69

28. 未利用施設・廃止予定施設

① 施設概要

- ・未利用施設として、市内に旧富勢こどもルーム，旧大津ヶ丘二小こどもルーム，旧北柏デイサービスセンターの３施設があります。
- ・廃止予定施設として、市内に旧田中北小学校，高柳第３団地，中通り線事業用地区分所有建物の３施設があります。

【施設一覧】

● 未利用施設

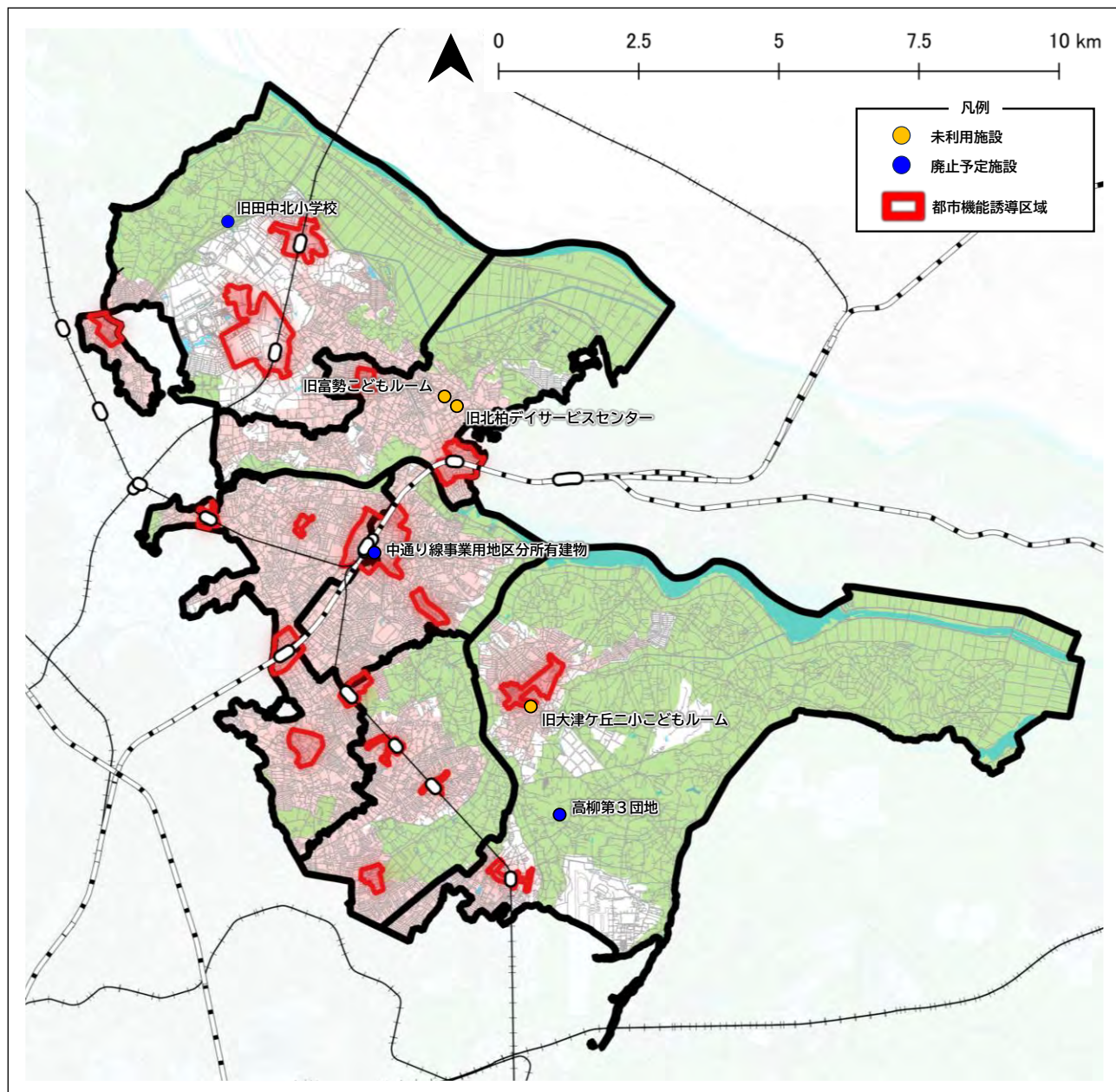
■ 築 40 年以上

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	旧富勢こどもルーム	北部2	柏市根戸4 6 7－1 7 8	91.91	H4	30	
2	旧大津ヶ丘二小こどもルーム	沼南	柏市大津ヶ丘四丁目8	98.15	H6	28	
3	旧北柏デイサービスセンター	北部2	柏市根戸4 6 7－1 8	511.82	H11	23	
合計				701.88			

● 廃止予定施設

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	旧田中北小学校	北部1	柏市大青田1 5 3 6－1	4,775.13	S52	45	
2	高柳第３団地	沼南	柏市高柳7 4 4－2	1,985.60	S43	54	
3	中通り線事業用地区分所有建物	中央2	柏市柏一丁目2－8	99.92	S41	56	
合計				6,860.65			

② 配置状況



③ 今後の方向性

- 新たな利用が見込まれる施設は、できる限り複合化を図るとともに、必要な機能を精査し、施設規模の縮減（ダウンサイジング）を図ります。また、日常的な点検や計画的・予防的な保全を実施し、施設の健全度の確保を図ります。
- 老朽化が著しく安全性が確保できない等の施設は、早急に除却し、財産担当部と財産管理者等が連携して跡地の有料貸付及び売却等により有効活用を図ります。

④ 個別施設再編方針

【未利用施設】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	旧富勢こどもルーム H4 (1992)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7(2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組					その他						
		延床面積 (㎡)	期首	91.91	期末	91.91	91.91			91.91		91.91	
		内容	(第2期) 根戸近隣センターの敷地内に立地をしているため、根戸近隣センターのあり方に合わせて代替場所の確保を含めた施設の方向性を検討する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	4,812.62	
2	旧大津ヶ丘ニ小こども ルーム H6 (1994)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	廃止				その他						
		延床面積 (㎡)	期首	98.15	期末	98.15	98.15			98.15		98.15	
		内容	(第1期) 老朽化に伴い、既存施設を廃止(校舎内に複合化)。 (第2期) 建物の除却を検討する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	17,999.00	
3	旧北柏デイサービスセ ンター H11 (1999)		第1期 H28(2016)～R6 (2024)				第2期 R7 (2025)～R16 (2034)			第3期 R17 (2035)～R26 (2044)		第4期 R27 (2045)～R36 (2054)	
		取組	廃止				転用						
		延床面積 (㎡)	期首	511.82	期末	511.82	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第1期) デイサービスセンターとしての機能を廃止する。 (第2期) 他の施設への転用について検討する。										
	-	複合 施設名	-								敷地面積 (㎡)	1,112.72	

【廃止予定施設】

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
1	旧田中北小学校 S52 (1977)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	移転				廃止＋除却						
		延床面積 (㎡)	期首	4,809.13	期末	4,775.13	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第1期) 令和4 (2022) 年度末に新設校舎へ移転。 (第2期) 老朽化が著しく、改修による延命や他の施設機能を受け入れるのは困難なため、防犯及び安全面も考慮して廃止・除却する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	17,670.77
2	高柳第3団地 S43 (1968)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組					廃止＋除却						
		延床面積 (㎡)	期首	1,985.60	期末	1,985.60	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第2期) 老朽化が著しく、安全な住環境を引続き確保していくことが困難であるため、公営住宅としては廃止をし、建物を除却する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	468.35
3	中通り線事業用地 区分所有建物 S41 (1966)		第1期 H28 (2016) ～ R6 (2024)				第2期 R7 (2025) ～ R16 (2034)			第3期 R17 (2035) ～ R26 (2044)		第4期 R27 (2045) ～ R36 (2054)	
		取組	その他				廃止＋除却						
		延床面積 (㎡)	期首	99.92	期末	99.92	0.00			0.00		0.00	
		内容	(第1期) 都市計画道路予定地に立地する建物であり、老朽化が著しく、改修による延命や他の施設機能を受入れるのは困難なため、建物の共同地権者と除却についての調整を進める。※平成28 (2016) 年に買入 (第2期) 現在、建物の共同地権者と除却についての調整を検討しており、安全面も考慮して速やかに除却する。										
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	286.40

29. 建物賃借物件

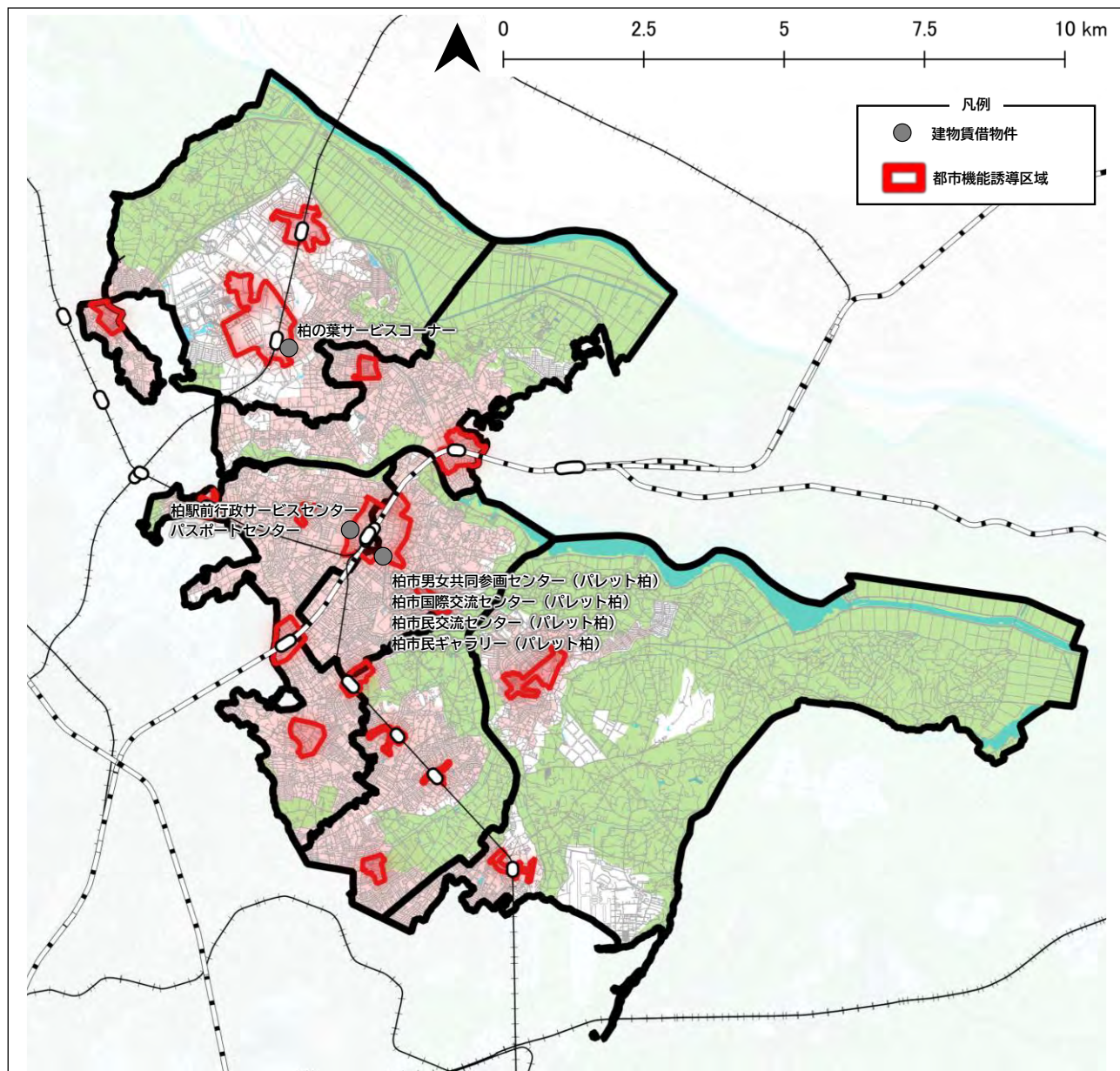
① 施設概要

- ・ 建物賃借物件として、市内に柏駅前行政サービスセンターを含む7施設があります。

【施設一覧】

No	施設名	中圏域	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	備考
1	柏駅前行政サービスセンター	中央1	柏市旭町一丁目5-1	293.67	H20	14	柏高島屋ステーションモール新館12階
2	柏の葉サービスコーナー	北部1	柏市若柴173-8	71.10	H19	15	パークシティ柏の葉キャンパス一番街B棟1階
3	パスポートセンター	中央1	柏市旭町一丁目5-1	149.15	H20	14	柏高島屋ステーションモール新館12階
4	柏市男女共同参画センター（パレット柏）	中央1	柏市柏一丁目7-1	64.50	H28	6	パレット柏内
5	柏市国際交流センター（パレット柏）	中央1	柏市柏一丁目7-1	44.70	H28	6	パレット柏内
6	柏市民交流センター（パレット柏）	中央1	柏市柏一丁目7-1	1,837.20	H28	6	パレット柏内
7	柏市民ギャラリー（パレット柏）	中央1	柏市柏一丁目7-1	377.60	H28	6	パレット柏内
合計				2,837.92			

② 配置状況



③ 個別施設再編方針

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組																
1	柏駅前行政サービスセンター H20(2008)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)				第3期 R17(2035)～R26(2044)				第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組	移転				その他											
		延床面積 (㎡)	期首	156.52	期末	293.67	293.67				293.67				293.67			
		内容	(第1期) 柏駅前行政サービスセンター待合室の狭隘状況等の課題解消のため、パスポートセンターとあわせて、一体的に移転した。 (第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。															
	-	複合施設名	-												敷地面積 (㎡)	-		
2	柏の葉サービスコーナー H19(2007)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)				第3期 R17(2035)～R26(2044)				第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組	現存のまま存続				その他											
		延床面積 (㎡)	期首	71.10	期末	71.10	71.10				71.10				71.10			
		内容	(第1期) つくばエクスプレス沿線での駅前における各種証明書の交付窓口として、現状のまま存続する。 (第2期) デジタル化の推進により対面手続きを段階的に廃止し、業務のスリム化を図りながら、出張所機能のあり方の見直しを行っていく。															
	-	複合施設名	-												敷地面積 (㎡)	-		
3	パスポートセンター H20(2008)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)				第3期 R17(2035)～R26(2044)				第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組	移転															
		延床面積 (㎡)	期首	144.13	期末	149.15	149.15				149.15				149.15			
		内容	(第1期) 業務が一部重複する柏駅前行政サービスセンターとフロアが分かれている等の課題解消のため、柏駅前行政サービスセンターとあわせて、一体的に移転した。															
	-	複合施設名	-												敷地面積 (㎡)	-		
4	柏市男女共同参画センター(バレット柏) H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)				第3期 R17(2035)～R26(2044)				第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組													現存のまま存続			
		延床面積 (㎡)	期首	64.50	期末	64.50	64.50				64.50				64.50			
		内容																
	-	複合施設名	-												敷地面積 (㎡)	-		
5	柏市国際交流センター(バレット柏) H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)				第3期 R17(2035)～R26(2044)				第4期 R27(2045)～R36(2054)			
		取組													現存のまま存続			
		延床面積 (㎡)	期首	44.70	期末	44.70	44.70				44.70				44.70			
		内容																
	-	複合施設名	-												敷地面積 (㎡)	-		

No.	施設名 (建築年度)	再編の取組											
6	柏市民交流センター (パレット柏) H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現存のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	1,837.20	期末	1,837.20	1,837.20			1,837.20		1,837.20	
		内容											
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	-
7	柏市民ギャラリー(パ レット柏) H28(2016)		第1期 H28(2016)～R6(2024)				第2期 R7(2025)～R16(2034)			第3期 R17(2035)～R26(2044)		第4期 R27(2045)～R36(2054)	
		取組										現存のまま存続	
		延床面積 (㎡)	期首	377.60	期末	377.60	377.60			377.60		377.60	
		内容											
	-	複合 施設名	-									敷地面積 (㎡)	-

5-3. インフラ系施設

(1) 上水道施設

本市の上水道施設に関する類型別の方針は、次の通りです。

施設管理の方針	
・上水道の施設（土木構造物，建築物，機械・電気設備等）や管路の多くは，人口急増期に建設されており，建設から 30 年以上を経過したものが多く存在しているため，市民生活の基盤となる重要なライフラインとして，安全な水を安定して供給していくための適切な維持管理が今後ますます重要になっていきます。 ・法定耐用年数による更新は使用実態を考慮すると現実的ではなく，また，必要以上に過大な費用負担を伴います。このため，施設の健全性を確保しながら計画的に更新を進めるため，施設・管路の種別ごとに，使用年数の実績や使用環境，劣化状況等を踏まえた市独自の更新基準年数を設定しています。これに基づきアセットマネジメントを実施することによって，中長期の更新需要を算出し，財政計画に反映させています。 ・このほか様々な経営努力により，令和 40（2058）年頃までは健全な経営のもと，適切に維持管理を行うことが可能な見通しですが，人口減少等の環境変化による水需要の減少が想定を超えるスピードで進むと，これよりも早い時期に，経営改善のため料金改定が必要になることも考えられます。 ・また，市北部地域において人口増加により水需要が伸びている地域については，施設を再拡充する検討も必要です。	
第 2 期計画期間に重点的に取り組む事項	中長期にわたり優先的に取り組む事項
水道事業ビジョンに基づき，着実に施設の耐震化・老朽化対策を推進します。	水需要見通しを踏まえ，適正な総量管理を行います。

(2) 下水道施設

本市の下水道施設に関する類型別の方針は、次の通りです。

施設管理の方針	
・「柏市下水道事業中長期経営計画」に基づき、計画的な点検等により施設状況の正確な把握に努め、予防保全型の維持管理等を計画的に実施し、費用の平準化と施設の長寿命化を図ります。 ・雨水排水施設の一部移管を受け入れるとともに、地域ごとの特性に合わせた計画的・効率的な管理を推進します。 ・下水道使用料は、コスト削減や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、将来の収支見通しを精査したうえで継続的に料金変更を検討します。	
第2期計画期間に重点的に取り組む事項	中長期にわたり優先的に取り組む事項
「柏市下水道事業中長期経営計画」に基づき、ストックマネジメント手法を継続して適切な維持管理・改築を実施します。雨水排水施設の一部移管を受け入れます。	「柏市下水道事業中長期経営計画」に基づき、維持、更新需要を見据えた受益者負担(使用料)のあり方を検証し、将来にわたり安定的なサービスを提供するため経営基盤の強化を図っていきます。

(3) 雨水排水施設

本市の雨水排水施設に関する類型別の方針は、次の通りです。

施設管理の方針	
・ポンプ施設（機械施設）については、劣化状況の把握や不具合発生時期の予測を踏まえ、設備の状態に応じた対策（状態監視保全）を実施します。 ・ポンプ施設（電気施設）については、不具合発生時期の予測が困難であることを踏まえ、一定の周期（目標耐用年数など）ごとの対策（時間計画保全）を実施します。	
第2期計画期間に重点的に取り組む事項	中長期にわたり優先的に取り組む事項
ポンプ施設（機械施設）の予防保全を継続的に実施します。	水路構造物の劣化が激しく、市民生活の安全性が危惧される案件を実施します。

(4) 道路施設

本市の道路施設に関する類型別の方針は、次の通りです。

施設管理の方針	
・「柏市道路維持管理計画」に基づき、計画的な維持管理を行い、長寿命化を図ります。長寿命化により道路（路面）の耐用年数は 20 年（1 級・2 級市道）とします。 ・適切な維持管理と費用の平準化を図ることを目的として、5 年に 1 回の定期点検を適切に実施し、状況を把握します。その上で、損傷度合いに基づくリスクの予測、沿道の人口動向等を踏まえ、優先順位を定めて投資を行います。 ・道路は、利用がある限り廃止することは困難なため、現状の保有ストックを適切に維持管理します。 ・新規整備は極力抑制しますが、北部地域など人口増加が見込まれる場合等は状況に応じた整備も行います。	
第 2 期計画期間に重点的に取り組む事項	中長期にわたり優先的に取り組む事項
「柏市道路維持管理計画」（令和 3（2021）年 12 月策定）に基づき、計画的な維持管理・耐震対策を行います。	適正な総量管理を行います。

(5) 橋 梁 施設

本市の橋梁施設に関する類型別の方針は、次の通りです。

施設管理の方針	
・「柏市橋梁維持管理計画」等に基づき、計画的な維持管理を行い、長寿命化を図ります。長寿命化により橋梁の耐用年数は 100 年とします。 ・適切な維持管理と費用の平準化を図ることを目的として、5 年に 1 回の定期点検を適切に実施し、状況を把握します。その上で、損傷度合いに基づくリスクの予測、沿道の人口動向等を踏まえ、優先順位を定めて投資を行います。 ・橋梁は、利用がある限り廃止することは困難なため、現状の保有ストックを適切に維持管理していくこととします。 ・新規整備は極力抑制しますが、北部地域など人口増加が見込まれる場合等は状況に応じた整備も行います。	
第 2 期計画期間に重点的に取り組む事項	中長期にわたり優先的に取り組む事項
「柏市橋梁維持管理計画」（令和 2（2020）年 3 月策定）に基づき、計画的な維持管理・耐震対策を行います。	適正な総量管理を行います。

(6) 公園施設

本市の公園施設に関する類型別の方針は、次の通りです。

施設管理の方針	
・既存の公園については、社会情勢の変化を考慮し、計画的な再整備等に取り組みます。 ・施設及び各種設備の劣化状況や利用頻度等も勘案し、優先順位付けを行った上で、計画的な施設及び設備の更新を実施します。 ・これまでと同様に、定期的な施設の安全点検を実施することにより、利用者の安全確保に努めます。	
第2期計画期間に重点的に取り組む事項	中長期にわたり優先的に取り組む事項
「公園内高木の管理指針（平成 28（2016）年 9 月 1 日策定）」に基づき樹木を管理します。 公園の再整備を行う場合は、施設の統廃合や機能の再編を進めるとともに、民間活力も活かした新たな魅力の創出を検討します。	公園の老朽化した施設の更新を行います。 変化する社会情勢に対応した公園の配置のあり方等の検討を行います。 市民ニーズ等に対応した公園，管理しやすい施設内容の検討を行います。

第6章 計画の推進に向けて

6-1. 推進体制

6-1-1. 庁内の推進体制

(1) 全庁的な連携強化の実施

第1期計画に基づく取組の推進にあたっては、柏市公共施設マネジメント推進会議を設置し、庁内の連携・協力体制の下、計画の進捗管理などのマネジメントを行ってきました。

本計画では、庁内の組織横断的な連携（情報共有、検討・協議、調整等）を強化し、目標実現に向けた全庁的な取組の推進を図ります。

(2) 情報の管理・共有化のあり方

本計画では、庁内の組織横断的な連携（情報共有、検討・協議、調整等）の強化を図るため、分散管理されている施設（建築物系施設）に関する各種情報を「施設カルテ」として見える化し、一元的管理の下全庁的に共有化します。

管理された施設等情報により施設の実態把握を適切に行うことで、全庁的な取組の効率的な推進を図ります。

(3) 計画の進捗管理・マネジメントのあり方

本計画の進捗管理・マネジメントにあたっては、個々の施設（建築物系施設）の取組の内容及び実施時期等を示した「個別施設再編アクションプラン」を毎年度更新し、PDCAサイクルによる進捗状況の確認を行います。また、「施設カルテ」と合わせた活用により、本計画の取組に関する実行結果の検証や今後の改善策等の検討の推進を図ります。

図 35 計画の進捗管理・マネジメントの流れ

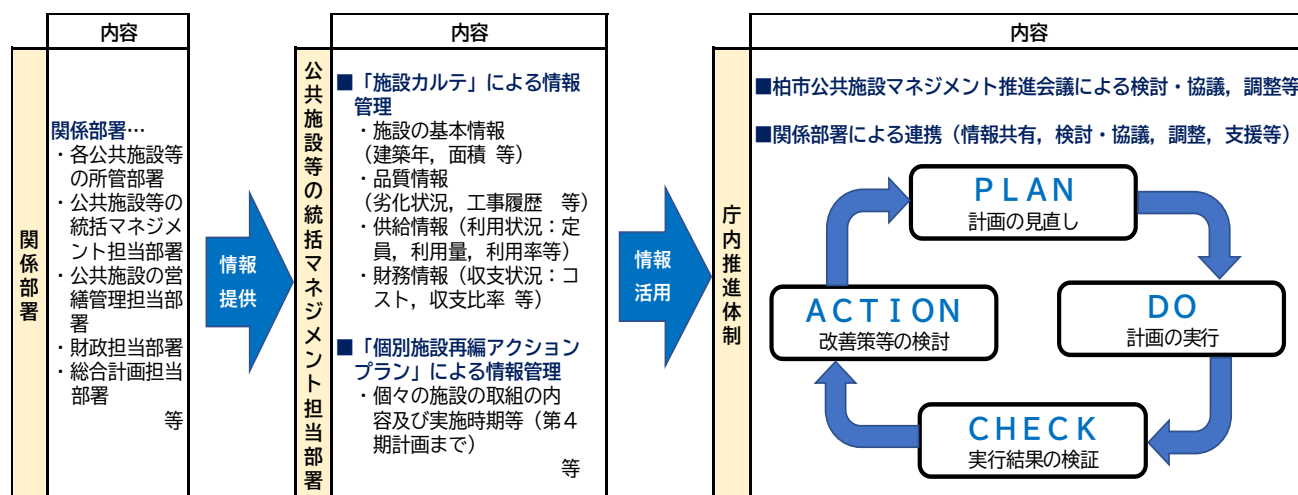
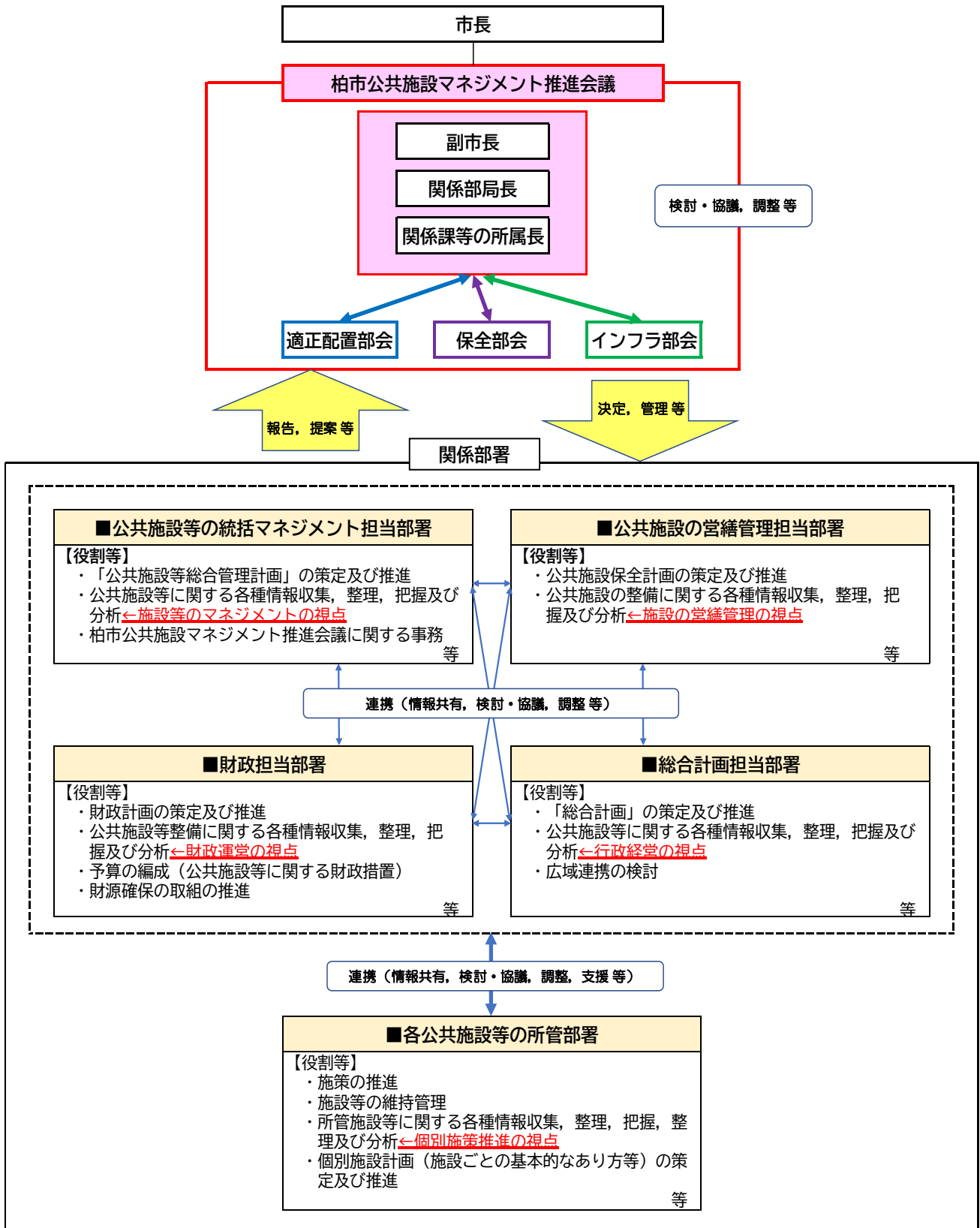


図 36 計画の推進体制



6-1-2. 市民への理解促進（市民参画の促進）

公共施設等には、行政サービスの提供や市民生活を豊かにするための建築物系施設と、市民生活の基盤となるインフラ系施設があり、そのほとんどが市民生活と密着しています。

地域ごとに異なる特性や、多様化が進むニーズに応えるためには、従前の行政施策を越えた対応が必要となる場合があります。

そのため、本計画に基づく取組の推進にあたっては、市民の理解と協力が必要であり、全市的な課題として問題意識を共有し市民参画を促進するため、次のことに積極的に取り組めます。

- 市民に対し、公共施設等に関する各種情報（施設状況、取組状況、検討状況等）について適時適切な情報発信を行います。
- 情報発信の際には、デジタルツールの活用を図りながら、意見募集を行います。
- 公共施設等を日頃利用することの多い団体や市民だけでなく、利用することの少ない市民の声も反映させながら、より公平性の高い行政サービスの提供を進めます。

資料編

- ①過去に行った主な対策の実績
- ②維持管理・更新等に係る経費の試算
- ③公共施設等の管理に関する基本的な考え方
(関連計画等)
- ④策定経過
- ⑤用語の説明

※①～③は、総務省の通知「令和3年度までの公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項について」(令和3年1月26日付総財務第6号)を受けた項目です。



①過去に行った主な対策の実績

平成28(2016)年度以降に実施した、主な対策の概要は、次のとおりです。

対象施設	内容
南部近隣センター	老朽化の進行や地域の実情、市民ニーズの変化を受け、施設のあり方から見直すため、市民参加のワークショップを実施し、平面図やデザインなどを作りあげました。それらを踏まえて、ラウンジスペースの設置など、間取りの変更も含めた用途・機能の変更を行い、建物の性能を刷新しました。 (工事期間:平成30(2018)年度～令和元(2019)年度)
土小学校	長寿命化改修事業として、構造体のコンクリート中性化対策や、耐久性の高い材料や設備への改修を行うとともに、多様な学習内容、学習形態に応じた学習環境を実現するための改修を行いました。また、学校施設の地域拠点化に向け、地域関係者を交えたワークショップの意見を工事内容に取り入れています。 (工事期間:令和元(2019)年度～令和2(2020)年度)
教育福祉会館	耐震補強工事にあわせ、施設のあり方から見直すため、「官民協働検討委員会」を設置し、検討を進めました。複合施設(公民館+各種福祉施設)としてのメリットが生まれにくい状況を改善すべく、個別の施設の見直しとともに、教育福祉の一体的な運営が可能となるような市民参加の仕組みを取り入れました。 (工事期間:令和元(2019)年度～令和2(2020)年度)
下水道管路	安定的かつ継続的に下水道管路の機能が発揮できるよう、包括的業務委託を導入し、施工管理・監督、点検調査業務及び改築業務を一元化して発注しています。これにより、維持管理手法を従来の発生対応型から予防保全型に転換しており、また、業務のパッケージ化による費用削減効果も見込んでいます。 (導入開始時期:平成30(2018)年度)

②維持管理・更新等に係る経費の試算

第2期～第4期までの30年間における公共施設等の維持管理・更新等に係る経費

(百万円)

	長寿命化対策等を講じた場合※1				耐用年数経過時に単純更新した場合※2	長寿命化対策等の効果額	現在要している経費 (過去3年平均、年額)
	維持管理・修繕	改修	更新等	合計			
建築物系施設	68,799	334,409	160,804	564,012	628,482	-64,470	4,819
インフラ系施設	57,023	70,938	106,242	234,203	384,515	-150,312	6,339
計	125,822	405,347	267,046	798,215	1,012,997	-214,782	11,158

	建築物系施設	インフラ系施設
※1	80年建替	各類型における
※2	60年建替	試算

③公共施設等の管理に関する基本的な考え方(関連計画等)

○点検・診断，維持管理・更新，安全確保について【建築物等の保全に関する基本的な考え方】

各施設の保全に関する責任者は，日常的な点検や法令等に基づく点検を実施し，建築物等の状態を適切に把握します。点検や修繕などの過去の記録については，次回の点検等の確実な実施，異常の早期発見，修繕計画の立案等に必要不可欠なため，保全台帳を作成し保管します。また，保全の考え方として，不具合・故障が生じる前又は軽微な段階に修繕を行う「予防保全」を原則として，施設の健全度（安全性・機能性・利便性・快適性）と維持管理・更新費の抑制を図りながらも，事後保全の考え方をバランスよく取り入れるものとします。一方，人身被害，重大な機能不全等が発生するおそれがある重要度の高い部位については，目標とする時間（耐用年数）に達した場合，優先的かつ速やかに修繕・更新を行うものとします。

○耐震化について【柏市耐震改修促進計画】

市有建築物の耐震化状況を公表し，耐震化が必要な市有建築物については，耐震化整備方針を定め，本計画で定められた整備目標，整備の優先度等に基づき，計画的に耐震診断や耐震改修を進めていきます。

○ユニバーサルデザイン化について

施設の機能再編時や大規模改修時等の機会を捉え，「高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」や「千葉県福祉のまちづくり条例」，「柏市バリアフリー基本構想」を踏まえ，市民ニーズに沿ったバリアフリー化を推進するとともに，ユニバーサルデザインに配慮した取組を進めます。

○脱炭素化について【柏市役所ゼロカーボンアクションプラン】

柏市は令和4（2022）年2月25日の第1回市議会定例会において「気候危機宣言」を行い，令和32（2050）年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し，この目標の達成に向け，柏市の全ての公共施設を対象に，令和12（2030）年度において基準年度平成25（2013）年度と比べ，温室効果ガスの51%以上削減を目指します。市役所は，温室効果ガスの大規模排出者であることから，一事業者として，公共施設における排出量の削減に向け「創エネ・省エネ・蓄エネ」に率先して取り組み，エネルギーの「市産市消」を目指していきます。

④策定経過

項目	日付	議題
第11期第1回柏市行政改革推進委員会	令和5(2023)年8月31日(木)	・会長、副会長の選任について ・第1期柏市公共施設等総合管理計画の振り返り ・第2期柏市公共施設等総合管理計画の概要
第11期第2回柏市行政改革推進委員会	令和6(2024)年3月21日(木)	・第2期柏市公共施設等総合管理計画 改定に向けた検討【基本方針・目標値の見直し】 ・重点取組施設の概要（各重点取組施設の方針等における検討状況） 【庁舎等，保育園，近隣センター，学校】
第11期第3回柏市行政改革推進委員会	令和6(2024)年7月1日(月)	・第2期柏市公共施設等総合管理計画について(報告) 【計画書進捗報告（第1章～第3章），基本方針及び数値目標の考え方】 ・重点取組施設における今後の方針 【庁舎等，保育園】
第11期第4回柏市行政改革推進委員会	令和6(2024)年11月22日(金)	・第2期柏市公共施設等総合管理計画について(報告) ・重点取組施設における今後の方針 【近隣センター，学校】 ・保育園における検討
第11期第5回柏市行政改革推進委員会	令和6(2024)年12月25日(水)	・柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画について(報告) ・重点取組施設以外の類型における今後の方針
第11期第6回柏市行政改革推進委員会	令和7(2025)年1月24日(金)	・柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画（素案）について
パブリックコメント	令和7(2025)年2月6日(木) ～3月7日(金)	
第11期第7回柏市行政改革推進委員会	令和7(2025)年3月25日(火)	・パブリックコメント結果報告 ・柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画（案）について

<第11期柏市行政改革推進委員会委員名簿>

(敬称略, 五十音順)

氏名	職等	備考
あきの ともひろ 浅野 朋広	株式会社AIST Solutions	
いけがわ まり あ 池川 真里亜	麗澤大学経済学部准教授	
おかだ なおこ 岡田 尚子	柏商工会議所・税理士	副会長
おぎしま のぞみ 萩嶋 希望	公募委員	
かきの よしのり 垣野 義典	東京理科大学創域理工学部教授	
かんの まり 菅野 万理	公募委員	
こすげ る か 小菅 瑠香	芝浦工業大学建築学部教授	
やなぎさわ かなめ 柳澤 要	千葉大学大学院工学研究院教授	会長

⑤用語の説明

あ	ICT	Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略で、日本語では一般に「情報通信技術」と訳されます。特に公共サービスの分野において使われる用語で、情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称です。主な実例としては、タブレットパソコンなどを使った「デジタル教科書」、情報端末によるスポーツ施設や公民館などの空き情報確認・予約サービス、住民票や印鑑登録証明書などのコンビニ交付サービス、図書館における IC タグ※付資料の自動貸出サービスなど、その活用方法は多岐にわたります。 ※IC チップと小型のアンテナを埋め込み、そこに記憶された情報を電波によって直接触れずに読み取ることができるタグです。
あ	アセットマネジメント (水道事業)	中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動のことをいいます。実践においては、水道事業の特性(代替性が小さい、受益者負担が原則など)を踏まえつつ、技術的な知見に基づき現有資産の状態・健全度を適切に診断・評価し、中長期の更新需要見通しを検討するとともに、財政収支見通しを踏まえた更新財源の確保方策を講じる等により、事業の実行可能性を担保していきます。 *基本的には、下水道事業も同様の考えに基づいて、アセットマネジメントを推進します。
あ	RC 橋	Reinforced Concrete(リーンフォースド・コンクリート)の略で、鉄筋を入れたコンクリート(鉄筋コンクリート)を主要部材に使用することで、引張力に弱いコンクリートを強化した橋です。
い	依存財源	学校や道路などをつくるときに国からもらう補助金や、市債(借金)などの収入をいいます。国・県支出金(国や県が必要だと認めた事業に対して配分されるお金)、市債(施設の建設や財源不足を補うために銀行などから借り入れるお金)、譲与税・交付金(いったん国税や県税として集めてから、自治体に配分されるお金)、地方交付税(自治体の財政力に応じて国から配分されるお金)があげられます。
い	インクルーシブ教育	インクルーシブ(包括的な)教育とは、子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障害の有無に関わらず子ども達が共に遊び、学ぶことを目的とした教育理念や実践のプロセスのことを指します。柏市では令和5(2023)年度に柏ふるさと公園に「みんなの遊び場」をオープンするなど、お互いを思いやる心を育み、その子供達が大人になった時に障害者に対する差別や偏見がなくなる社会の実現を目指しています。

い	インフラ系施設	道路・橋りょう等の土木構造物, 公園や駐輪場及び駐車場, 公営企業の施設(上水道, 下水道等), プラント系施設(環境施設, 供給処理施設等)など, 社会基盤施設の総称をいいます。柏市公共施設等総合管理計画の中では, 公園内の施設で 1 施設の建物延床面積が 50 m ² 以上の施設, プラント系施設, 駐輪場及び駐車場については, 建築物系施設(いわゆるハコモノ)に含めております。
か	柏市高齢者いきいきプラン 21	老人福祉法第 20 条の 8 に基づく老人福祉計画(高齢者の福祉に関する事業量やその確保策等の内容を定める計画)と介護保険法第 117 条に基づく介護保険事業計画(介護保険に関するサービスの見込量やその確保策, 制度の円滑な実施に向けた取組の内容を定める計画), さらに質の向上に不可欠な高齢者の保健に関する事業量について一体的に策定した計画です。
か	柏市都市計画マスタープラン	今日の人口減少社会, 産業構造の変化, 少子高齢化社会, 地球環境問題などを踏まえて, 柏市の目指す都市像及びその実現に向けた『都市づくり』の方向性を整理し, 「計画的に都市計画関連事業を進めていくための指針」とすることを目的とした計画です。
が	学校貯留施設	大雨災害時における周辺地域の浸水被害軽減を目的として, 学校のグラウンド下に設けられた施設です。降った雨水は, 地下を通っている穴の開いた管と, 地下に作られた大きなプール状の施設へ流れ込み, これらの施設は, 水を土の中へ浸透させる機能を持っています。また, 浸透の速度が間に合わない雨量であっても, 施設の容量が一杯になるまでは, 一時的に雨水を貯めておくことができます。雨が止んだ際には, 貯留された雨水が徐々に土の中へと浸透し, 施設は空の状態へと戻ります。
き	義務的経費	地方自治体の経費のうち, 任意に削減できない硬直性の高い経費で, 職員の給与等の人件費, 生活保護費等の扶助費及び地方債の元利償還金等の公債費からなっています。
き	供給処理施設	上水道, ガス, 電力等の供給, 下水道, ごみ処理など都市の生活に必要な循環機能, エネルギー供給にかかわる施設の総称をいいます。柏市公共施設等総合管理計画の中では, 建築物系施設として清掃工場, リサイクルプラザ及びし尿処理施設を対象としています。また, インフラ系施設として, 上水道, 下水道及び雨水排水施設を対象としています。

け	経常収支比率	地方税, 地方交付税を中心とする経常的な一般財源※が, 人件費, 扶助費, 公債費等の義務的性格の経常経費にどの程度充当されているのかを見ることにより, 財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般的には, 70~80%が妥当とされており, 80%を著しく超えると弾力性を失いつつあると考えられます。 ※いかなる経費についても使用できる収入をいい, 地方税, 地方譲与税, 地方特例交付金及び地方交付税がこれにあたります。
け	建築基準法第 12 条	建築基準法第 12 条では, 建物の敷地や構造等の状態について, 一級建築士などの有資格者が定期的に点検し, 損傷や腐食, その他の劣化状況について報告することが義務づけられています。
こ	公営企業	地方公共団体が, 住民の福祉の増進を目的として設置し, 経営している企業で, 柏市では, 上水道, 下水道, 病院がこれにあたります。公営企業の会計は, 地方公営企業の経営状況を明らかにするため, 地方公共団体の一般会計とは独立した会計単位となっており, 企業会計方式により損益計算書, 貸借対照表等が作成されます。
こ	公共施設状況調査	地方財政状況調査の一環として, 総務省が昭和 37(1962)年度から行っている調査で, 市町村が所有又は管理する公共施設の現況を把握して, 住民福祉の向上と市町村の能率的な行政に資するための資料を作成することを目的に実施されています。
こ	公共施設等	公共施設, 公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいい, 具体的には, いわゆるハコモノの他, 道路・橋りょう等の土木構造物, 公営企業の施設(上水道, 下水道等), プラント系施設(廃棄物処理場, 斎場, 浄水場, 污水处理場等)等も含む包括的な概念です。なお, 柏市公共施設等総合管理計画の中では, 一部の事務組合※が保有する施設は対象から外しております。 ※複数の普通地方公共団体や特別区が, 行政サービスの一部を共同で行うことを目的に設置する組織です。
こ	公共施設マネジメント	地方公共団体等が保有し, 又は借り上げている全公共施設を, 自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画, 管理及び利活用する仕組みをいいます。社会環境の変化や地域特性に応じた適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるために, 保有する公共施設を総合的に把握し, 財政運営と連動させながら管理・活用する仕組みである「公共施設マネジメント」を導入することが急務となっています。

ざ	財政力指数	市町村の財政力の強弱を示す指標で、想定される必要な行政需要に対し、想定される収入がどの程度かを表します。数値が大きくなるほど財政力は強いということになり、財政力指数が 1 を超えると、普通交付税の不交付団体となります。
し	市街化調整区域	市街化を抑制し、優れた自然環境等を守る区域として、開発や建築が制限されている区域です。市街化区域と市街化調整区域の区分することにより、無秩序な市街地の拡大を防ぎ、道路や下水道等の公共施設の効率的な整備を行い、計画的なまちづくりを進めることができ、多くの人々にとっての暮らしやすさを早期に確保することが可能となります。
し	修景施設	自然の美しさを損なわないように風景を整備するための施設で、植栽、芝生、花壇、いけがき、日陰たな、噴水、水流、池、滝、つき山、彫像、灯籠、石組、飛石その他これらに類するものと政令※に定められています。 ※日本において、日本国憲法第 73 条第 6 号に基づいて内閣が制定する命令で、行政機関が制定する命令の中では最も優先的な効力を有しています。
し	少子高齢化	少子化(出生数が減少すること)と高齢化(総人口に占める老年人口※が増大すること)が同時に進行している状況をいいます。 ※65 歳以上の人口。年少人口は 15 歳未満の人口、生産年齢人口は 15 歳以上 65 歳未満の人口をいいます。
じ	自主財源	市税や保育料、ごみ処理手数料など、市が自主的に集めることができる収入をいいます。市税(市民や市内に事業所がある法人が納めた市民税や固定資産税など)、繰入金・繰越金(基金[貯金]を取り崩したお金や、前年度から繰り越したお金)、使用料・手数料(施設の利用料や証明書の発行手数料など)、分担金・負担金(保育料など)、その他、寄附金や不動産の売り払いによる収入などがあげられます。この自主財源が多いほど財政が安定し、市独自の事業をより多く行うことができます。
じ	受益者負担	市が提供するサービスに必要な費用は、市税などを通して市民が負担をしていますが、特定の方がサービスの提供を受ける公民館やスポーツ施設の利用、住民票や納税証明書の発行などの場合、サービスを利用する方と利用しない方の負担が公平ではありません。このため、市が提供するサービスを利用する方に、使用料や手数料など、一定の費用負担を求めています。この費用負担のことを受益者負担といいます。

じ	状態監視保全	予防保全の手法の一つで、対象となる施設を一定の監視下におき、その損傷の兆候に基づき、必要に応じて保全を実施することで、安全を確保するための保全手法です。
す	水源地	上水道の水源地となる施設で、市内には第三・第四・第五・第六・岩井の 5 箇所があり、市内を 5 ブロックに分けて配水をコントロールし、安定した給水を行っています。水道事業開始当時は全て地下水に頼っていましたが、水道水使用量の増加とともに北千葉広域水道企業団からも受水し、水質保全と水の安定供給に努めています。
す	ストックマネジメント手法	施設の状況を把握し、中長期的な施設状況を予測し、施設の計画的かつ効率的な管理を行うことにより、調査・点検、修繕・改築を一体的に捉えて、事業の平準化とライフサイクルコストの最小化を実現することを目標とした手法です。
そ	(柏市の)総合計画	本市の目指すまちづくりを実現するための施策等を明らかにし、市政を総合的かつ計画的に進めるための指針であり最上位の計画をいいます。
だ	ダウンサイジング	管理運営や維持修繕に係るコストの縮減を図るため、利用の低い建物や、老朽化が著しい建物について、除却等による規模の縮小を図り、効率的な施設管理を推し進めるための手法です。
ち	中核市	政令指定都市以外で、人口 20 万人以上の要件を満たし、規模や能力などが比較的大きな都市の事務権限を強化し、できる限り住民の身近なところで行政を行うことができるよう、「中核市制度」という都市制度に基づき移行された「市」です。一般の「市」との違いは、都道府県からの移譲事務を所管することにより、保健所の設置、身体障害者手帳の交付、社会福祉法人の設置認可、産業廃棄物処理施設の設置認可などが挙げられます。

ち	長寿命化	老朽化した建物について、物理的な劣化や不具合を改修により直し、建物の耐久性を高めること(機能の回復)に加えて、建物の機能や性能を現在の公共サービスが求められている水準まで引き上げる改修を行うこと(機能の向上)です。これにより、建物を将来にわたり長く使い続けることができます。
ち	調整池	集中豪雨等の際、雨水を一時的に貯留し、流量を絞って流下させることにより、下流域への影響を和らげる施設です。
て	適正配置	利用圏域や機能が重複する施設や、諸室の相互利用が可能な施設などを精査し、老朽化度や市民ニーズ等も勘案しながら、地域の実情に即した施設資源の再配置や統廃合等を行うことです。このことにより、より効率的な行政サービスの提供を図ります。
で	DX化	Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)の略称で、デジタル技術を日常のなかに浸透させることにより、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることです。本市では、令和2(2022)年4月に『柏市DX推進ガイドライン』を策定し、「つながる市役所」と「業務改革・効率化・価値創造」を将来像に掲げ、DXの推進による住みやすいまちづくりを進めています。
と	投資的経費	道路、橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費であり、普通建設事業費などからなっています。
と	都市計画	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための総合的な計画をいいます。人口減少社会、産業構造の変化、少子高齢化社会、地球環境問題などを踏まえ、住宅・商工業地域、公共施設、公園・緑地等を適切に配置し、市街地を開発、上下水道や交通網を整備する等、都市の物質的な環境の整備・改善を主な内容とします。

と	都市計画道路	都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するための、都市交通における最も基幹的な都市施設として、都市計画法に基づいて都市計画決定された道路です。
と	都市公園	住民の利用に供する身近なものから広域的な利用に供するものまで、様々な規模、種類のものがあり、その機能や目的、利用対象等によって、街区公園や近隣公園、総合公園や緑地など、様々な区分に分類されます。
と	土地区画整理事業	安全で快適な生活環境をつくるため、地権者から土地の一部を提供してもらい、これを道路・公園などの公共用地に充当し、併せて宅地の整備や利用増進を図る事業です。
ば	バリアフリー	障害者や高齢者が、日常生活を送る上で支障となる障壁(バリア)を取り除くことをいいます。現在では、意識や各種制度など、社会参加を困難にするもの(ソフトな意味合い)に対しても使われるようになりましたが、柏市公共施設等総合管理計画の中では、主に段差の解消や仕切りの解消など、物理的な側面(ハードな意味合い)としての言葉として使用しています。
ば	パブリックコメント	市が実施しようとする政策や、策定しようとする各種計画等について、案の段階で広く公表し、市民等からの意見を求め、寄せられた意見に対する市の考え方を明らかにするとともに、その意見を考慮して市としての意思決定を行う仕組みです。
び	PC 橋	Prestressed Concrete(プレストレスト・コンクリート)を使用した橋りょうのことをいいます。プレストレスト・コンクリートとは、コンクリートにあらかじめ計画的に圧縮応力度(プレストレスト)を与えることにより、荷重によって生じる引張応力と相互に消しあうように設計・施工されたコンクリートのことです。

び	PDCA サイクル	継続的に業務改善を行う手法で、PDCA とは、P=Plan(計画)、D=Do(実行)、C=Check(評価)、A=Act(改善)という 4 つの段階の頭文字をつなげたものです。この 4 つの段階を順次行い 1 周したところで、最後の Act を次のサイクルへつなげ、1 周ごとに各段階のレベルを向上させていきます。
へ	(財政負担の)平準化	財政支出が一時的に集中しないように、毎年の支出を平均的にすることをいいます。
ぼ	BOX カルバート (ボックスカルバート)	地中に埋設される箱型の構造物をいいます。道路、水路、通信線等の収容など、各種の用途に使用され、場所打ち鉄筋コンクリートやプレキャスト製品などで構築されています。
ま	マーケットサウンディング	市が実施する公共施設の整備や運営、公的不動産の利活用などの事業検討段階において、民間事業者の意見や新たな提案等を把握し、事業案件の形成及び事業の進展を図ることを目的として実施する市場調査・情報収集のことです。
み	民間活力(の活用)	官民が連携して公共サービスの提供を行う手法を指します。官民連携事業のことを PPP(Public Private Partnership)と言い、行政と民間が連携することにより、民間の創意工夫等を活用し、最適な公共サービスを提供する仕組みのことを指します。 この PPP の手法としては、PFI※¹、指定管理者制度等があり、さらに民間委託(包括的民間委託※²、アウトソーシング等)なども含まれます。 ※¹ PFI(Private Finance Initiative)とは、PPP の一類型であり、公共施設等の建設、維持管理、運営等に至るまでの全部又は一部に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、行政が直接実施するよりも効率的かつ効果的に行政サービスを調達する手法です。 ※² 公共施設等に関する複数の業務を一括して民間事業者へ委託することにより、民間事業者の専門性やノウハウを活用し公共施設等の効率的な管理・運営を図る手法です。

ら	ライフサイクルコスト	建物の企画及び設計から始まり, 建設を経て, 光熱・上下水道, 日常の保守点検, 改修などの維持管理, 清掃などの管理運営, 建物保険, 解体処分までを建物の一生涯と定義し, その全てにかかる費用のことをいいます。
ら	ライフライン	市民生活の基盤となる生命線で, 電気, ガス, 上下水道, 電話, 交通, 通信など, 都市生活を支える上で必要不可欠な施設の総称をいいます。
り	立地適正化計画	都市全体の観点から, 居住機能や都市機能の立地及び公共交通の充実に関する包括的なマスタープラン※であり, 民間の都市機能への投資や居住を効果的に誘導するための計画です。 ※全体の基本となる計画をいいます。
り	利用料金制	公の施設の使用料を指定管理者の収入とすることができる制度で, 集客や施設利用の促進が収入の増につながることで, 指定管理者の自主的な経営努力を引き出すことができるとともに, 地方公共団体の会計事務の効率化が図られます。利用料金は, 条例で定める範囲内(金額の範囲, 算定方法)で, 指定管理者が地方公共団体の承認を受けて定めます。
わ	ワンストップサービス	複数の部署・庁舎・機関にまたがっている行政手続きを, 一度にまとめて行えるような環境をいいます。

柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画（案）

令和7（2025）年3月

柏市総務部資産管理課

〒277-8505 柏市柏五丁目10番1号

TEL：04-7167-1114

FAX：04-7163-3728

E-mail：shisankanri@city.kashiwa.chiba.jp